

意識の国際比較における
連鎖的調査分析方法の
実用化に関する研究
—— 総合報告書 ——

1995年3月

統計数理研究所

〒106 東京都港区南麻布4-6-7

当研究所では,

Annals of the Institute of Statistical Mathematics

統計数理

Computer Science Monographs

Research Memorandum

統計数理研究所研究レポート

統計計算技術報告

統計数理研究所共同研究レポート

を発行している。統計数理研究所研究レポートは、研究調査のデータの発表を目的とし、必要に応じて発行する。

All rights reserved. No part of this publication may be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, including photocopy, recording, or any information storage and retrieval system, without permission in writing from the institute.

統計数理研究所

〒106 東京都港区南麻布 4-6-7

TEL 03-3446-1501(代)

(c) The Institute of Statistical Mathematics

意識の国際比較における
連鎖的調査分析方法の
実用化に関する研究
—— 総合報告書 ——

1995年3月

統計数理研究所

〒106 東京都港区南麻布4-6-7

研究組織

研究代表者：

(平成4年度)

鈴木 達三(統計数理研究所 名誉教授)

(平成5-6年度)

吉野 諒三(統計数理研究所 領域統計研究系 助教授)

研究分担者：

林 知己夫(統計数理研究所 名誉教授)

研究分担者：

三宅 一郎(神戸大学 法学部 教授)(1992-1993年度)

研究分担者：

佐々木正道(兵庫教育大学 学校教育学部 教授)

研究分担者：

村上 征勝(統計数理研究所 領域統計研究系 教授)

研究分担者：

林 文(東洋英和女学院大学 人文学部 助教授)

目次

研究計画及び成果の概要

研究目的と第一分冊の構成

第1部 第1章 意識の国際比較の方法論とその基本構想

§ 1 比較可能性の基本的考察
—いかにして比較可能か—

§ 2 国際比較の方法論

§ 3 国際比較研究の基本構想

第2章 調査の計画と実施（特別推進研究における5ヶ国調査）

§ 1 標本調査のデザイン

§ 2 質問票の決定と翻訳の問題

§ 2.1 Cultural Link Analysisに基づく質問内容・項目
の決定

§ 2.2 翻訳と再翻訳

§ 2.3 和訳の問題点、質問票の決定

§ 3 5ヶ国における調査の実施

第3章 イタリア・オランダ調査への発展

§ 1 標本調査のデザインと実施計画

§ 2 翻訳と再翻訳

§ 3 2ヶ国における調査の実施とデータ入力

第2部 データ分析による国際比較

序

§ 1 C L Aによる分析の視点

§ 2 対象地域によるC L A

§ 3 質問項目によるC L A

3.1 ミクロ・マクロ的スケールによる相補的分析

3.2 ヨーロッパ3ヶ国における政治不信（制度不支持）

3.3 イタリアとオランダの宗教による意見差の比較

§ 4 時間によるC L A

§ 5 国民性の国際比較のための
相補的尺度構成について

§ 6 回答者の「属性の意味」の国際比較

§ 7 国際比較調査のデザインの為の視点

§ 8 結び

付録 調査票と統括表

1 調査票（日本A〔国際比較用〕）

2 調査票（日本B〔日本調査用：本来の日本語らしい質問文〕）

3 各質問のニックネーム

4 質問項目履歴一覧

5 7ヶ国単純集計表

はしがき

この研究の目的は、異なる文化圏に属する人々の意識構造の比較研究のための方法論を確立し、それを具体的に適用して国際理解、国際協力の基礎となるべき知見を得ることである。連鎖的国際比較調査方法とそれに基づく統計的データ解析法が、この中心的役割をなす。この報告書は、1985-1989年度文部省科学研究費・特別推進研究「意識の国際比較方法論」の研究成果に基づき、これを発展、確立することを目指した1992-1994年度文部省科学研究費・試験研究(A)「意識の国際比較における連鎖的調査分析方法の実用化に関する研究」の成果をとりまとめたものである。

特別推進研究では、調査対象の国としては、日本、イギリス、フランス、ドイツ、アメリカ(ハワイを含む)をとりあげ、国による比較のための連鎖を形成した。次に、質問内容に関して、連鎖的国際比較可能性を追求するため、対象国に関する情報を収集、各国に共通すると思われる質問群を構成し、各国同一の質問票を作成した。これを各国語に翻訳し、予備調査、再翻訳(バック・トランスレーション)、各国研究者との意見交換などを通して、検討を重ね、各国版の質問票を完成した。各々の国・場所における適切な標本計画を立て、これに基づいて標本を抽出し、1対1面接法により調査を実施した。得られた回答データから、比較のための共通フォーマットのファイルを作成し、種々の統計的データ分析を行った。

通常の方法の他、ダイナミックな立場から考えの筋道を明らかにする数量化の方法等を用い、各国の意識の同じところ、異なっているところを明らかにした。ここで明らかになってきたことは、従来巷間に言われていたことの確認にとどまらず、さらに従来の考え方では考え及ばなかった深い知見が得られ、詳細な分析結果を得ることができた。こうして、国際比較の連鎖的調査分析法の有効性を確認することができ、連鎖的国際比較の方法論が確立した。

この成果を受けて、試験研究(A)では、さらにイタリアとオランダにおける調査を遂行し、われわれの連鎖的比較の方法を実用化するための研究を進め、その成果をここに報告する次第である。

つぎに、本研究の報告書の構成を説明しよう。内容は、7ヶ国の調査データをまとめて分析した「総合報告書」が第1分冊、将来、国際比較調査を遂行される方々への参考書としてまとめた「国民性の国際比較調査の為のマニュアル」が第2分冊、これに資料としてイタリアとオランダ調査の「回答コード・ブック」と「自由回答データ」をまとめたものが、各国毎に2冊ずつで、第3・4分冊、第5・6分冊となっている。

我々は、この研究を遂行してくる中で、社会・人文分野の科学研究にあっても、明確な方法論、データ獲得の方法とデータ分析の方法、それに基づく分析結果の上に立つ論述のほかに、追試の可能性の条件明示、将来の継続研究を可能にするための基本情報の記載があって初めて「科学研究」としての意義があるという考えが重要であることを幾度となく認識してきた。今後、この成果を土台にし、これを越えた研究をさらに発展させる機縁として本報告が用いられれば幸いである。

研究組織

研究代表者：

(平成4年度) 鈴木 達三(統計数理研究所 名誉教授)

(平成5-6年度) 吉野 諒三(統計数理研究所 領域統計研究系 助教授)

研究分担者： 林 知己夫(統計数理研究所 名誉教授)

研究分担者： 三宅 一郎(神戸大学 法学部 教授)(1992-1993年度)

研究分担者： 佐々木正道(兵庫教育大学 学校教育学部 教授)

研究分担者： 村上 征勝(統計数理研究所 領域統計研究系 教授)

研究分担者： 林 文(東洋英和女学院大学 人文学部 助教授)

科学研究費

平成4年度 1550万円

平成5年度 1600万円

平成6年度 690万円

OUTLINE OF THE PROJECT

The purpose of this study was (a) to establish the analytic methods for comparing attitudinal structures among people residing in various cultural contexts, and (b) to utilize such methods to analyze both the existing and the new datasets and acquire basic knowledge that promotes understanding and cooperation among nations. The cultural-link-based international/cross-national comparative survey method and the statistical analytic methods based on it were key to accomplishing our goal. This report puts together the progress of our project "Cultural Link Survey Analytic Method for a Comparison of National Characters using Attitude Survey: Towards its Application" (funded by "Pilot Study (A)" section of the Fund for Scientific Research, by Ministry of Education, Japan, 1992-94). Central to this project were the further development and consolidation of the comparative method established in a previous project entitled "Methods for International Comparison of Attitudes" (funded by "specially promoted project" section of the Fund for Scientific Research, by Ministry of Education, Japan, 1985-89).

In this previous project ("specially promoted project"), Japan, United Kingdom, France, Germany and the United States (including Hawaii) were selected for the survey, and these five countries constituted a "chain" with cultural "linkages" among them. To render effective the cultural-link comparative analyses, the following procedure was followed. To establish the content of the questionnaire, researchers collected the necessary information on each nation and wrote questions that could be used identically or approximately identically across countries. The questions were then translated into each language from Japanese, pilot studies were undertaken, the questions were back-translated, and ideas and opinions were exchanged with researchers in each country, leading finally to the construction of the questionnaire to be used in each country. Samples were drawn via the sampling design most appropriate for each country; and face-to-face interviews were conducted in each of the five nations. Data files, containing questions common to the five nations, were compiled from the data thus collected and analyses undertaken.

In addition to conventional statistical analyses, the quantification method - which clarifies ways of thinking from a dynamic perspective - was used to detect the common and unique elements within each nation's attitudinal structures. Not only did the analysis confirm previous findings and claims, it also led to detailed results and in-depth knowledge not otherwise obtained through conventional analytic methods, confirming therefore the effectiveness of the cultural-link survey analytic method for international comparison.

In the present project ("Pilot Study (A)"), additional data were collected in Italy and the Netherlands, and effort was made to apply our cultural-link-based comparison.

This is rather large as a "report," but we think that it is necessary since a project can qualify as good scientific research, in the field of social sciences and humanities, if it has a clear methodology and provides a detailed and theoretically-informed description of the methods of data collection and data analyses, details of the analyses and of the conditions under which further tests should be conducted. Only when all this information is provided can a project facilitate the continuation of research. We will be very happy if this report is to be utilized to further develop this type of research, beyond the present one.

目次

研究計画及び成果の概要	V
研究目的と第一分冊の構成	XXii
第1部	1
第1章 意識の国際比較の方法論とその基本構想	3
§ 1 比較可能性の基本的考察 —いかにして比較可能か—	
§ 2 国際比較の方法論	
§ 3 国際比較研究の基本構想	
第2章 調査の計画と実施（特別推進研究における5ヶ国調査）	24
§ 1 標本調査のデザイン	
§ 2 質問票の決定と翻訳の問題	
§ 2.1 Cultural Link Analysisに基づく質問内容・項目 の決定	
§ 2.2 翻訳と再翻訳	
§ 2.3 和訳の問題点、質問票の決定	
§ 3 5ヶ国における調査の実施	
第3章 イタリア・オランダ調査への発展	66
§ 1 標本調査のデザインと実施計画	
§ 2 翻訳と再翻訳	
§ 3 2ヶ国における調査の実施とデータ入力	
第2部 データ分析による国際比較	363
序	365
§ 1 CLAによる分析の視点	369
§ 2 対象地域によるCLA	371
§ 3 質問項目によるCLA、及び ミクロ・マクロ的スケールによる相補的分析	415
§ 4 時間によるCLA	514
§ 5 国民性の国際比較のための 相補的尺度構成について	530
§ 6 回答者の「属性の意味」の国際比較	591
§ 7 国際比較調査のデザインの為の視点	615
§ 8 結び	641
付録 調査票と統括表	643
1 調査票(日本A[国際比較用])	644
2 調査票(日本B[日本調査用:本来の日本語らしい質問文])	663
3 各質問のニックネームと履歴一覧	682
4 7ヶ国単純集計表	702

研究計画及び成果の概要

平成4年度科学研究費補助金実績報告書（研究実績報告書）

平成5年度科学研究費補助金実績報告書（研究実績報告書）

平成6年度科学研究費補助金実績報告書（研究実績報告書）

(様式8)

平成4年度科学研究費補助金実績報告書(研究実績報告書)

1. 研究課題番号 62:60:3 2. 研究機関名 統計数理研究所
 3. 研究題目 試験研究A(1) 4. 研究期間 平成4年度～平成6年度
 5. 課題番号 :04509001:
 6. 研究課題 意識の国際比較における連鎖的調査分析方法の実用化に関する研究

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属機関・部局名	職名
	カ スズキ トシユウ 鈴木 達三	統計数理研究所・領域統計研究系	教授

8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属機関・部局名	職名
	カ ハヤシ ナキオ 林 知己夫	統計数理研究所	名誉教授
	カ ミヤケ イチロウ 三宅 一郎	神戸大学・法学部	教授
	カ ササキ マサキ 佐々木 正道	兵庫教育大学 学校教育学部	教授
	カ ムラカミ マサカズ 村上 征勝	統計数理研究所 統計教育情報センター	助教授
	カ ハヤシ フミ 林 文	東洋英和女学院大学 人文学部	助教授
	カ ヨシノ リョウゾウ 吉野 諒三	統計数理研究所 領域統計研究系	助教授

9. 研究実績の概要 (当該年度のまとめ) (600字～800字)

意識の国際比較における連鎖的調査企画・データ分析方法の実用化研究では、調査システムの具体的適用により問題点を克服し、一般的な実用化を目的としている。

平成4年度は、1. 比較対象社会(イタリア)に関する基礎情報の収集及び整理を進め、2. 収集調査データの二次的再分析、分析結果の検討をされた。3. 調査に取り入れる質問項目を選定し連鎖的方法で調査票原案を作成した。4. 質問項目のイタリア語への翻訳、再翻訳によるチェックにより、質問文を確定した。5. 調査企画における問題点を検討、整理し調査実施の委託を調査機関の検討を進めP R A G M A社に委託した。6. 調査実施は(イタリア、ローマ P R A G M A社) a. プリテスト実施、結果検討、本調査用調査票確定(11月13日) b. 調査地点および調査対象者のサンプリングの手順を経て、c. 本調査は11月20日から実施し、調査回答者(集計サンプル)は1048。7. データの連鎖的調査分析は12月中に完了。8. 分析計画作成。9. データ分析、連鎖的調査分析方法の検討。10. イタリア側研究者と調査企画、データ分析法に関する全般的検討を行った。

しかし、当初は文書の交換で調査実施可能と判断し、調査計画を進めたが、調査項目の選定および決定において質問のワーディング等に問題が生じ、研究者の助言等現地での交渉が必要となった。これによりこの方法の実用化に関して、配慮すべき点により明確になった。これらは、(1)比較対象社会の社会制度、社会慣習、および日常的な文化背景についてより一層の考察が必要であること(2)質問項目の選定等を具体化するに当たって、比較対象社会で同等な測定手段となるようにするためには質問文の翻訳等に複数のチャンネルを利用して計画を進めることなどが効果的であること等である。これらをふまえてマニュアルをより実的なものとする。

※ 成果の公表を見合わせる必要がある場合は、その理由及び差し控え期間等を記入した資料(A4縦長横書き1枚)を添付すること。

10. キーワード

- (1) 統計的社会調査法 (2) 日本人の国民性調査 (3) 意識の国際比較
 (4) 多次元的数据分析 (5) 時系列調査 (6) 6か国(独仏英米伊日)比較
 (7) 連鎖的比較調査分析法 (8) 学際的研究
- (裏面に続く)

11. 研究発表 (発表予定も含む。但し、投稿中、投稿準備中は除く。)

[雑誌論文]

著者名	Tatsuzo Suzuki	論文標題	Macro analysis by means of cohort analysis		
雑誌名	Behaviormetrika	巻	発行年	ページ	
		20	1993	77-90	

著者名	Tatsuzo Suzuki Yasumasa Xuroda	論文標題	A Comparative Analysis of the Arab Culture: Arabic, English and Japanese Languages and Values		
雑誌名	Al Mustaqbal Al Arabi (The Arab Future)	巻	発行年	ページ	
		NO. 163	1992	14-31	

著者名	鈴木達三	論文標題	国民性比較の方法論		
雑誌名	統計数理	巻	発行年	ページ	
		40	1993	印刷中	

著者名	Chikio Hayashi	論文標題	Belief systems and the Japanese way of thinking: Interchronological and international perspectives		
雑誌名	Social, Educational and Clinical Psychology, H. Motoaki, J. Misumi and B. Wilpert, Lawrence Erlbaum Associates, Publishers	巻	発行年	ページ	
		3	1992	3-34	

著者名	Chikio Hayashi	論文標題	Quantitative social research---belief systems, the way of thinking and sentiments of five nations---		
雑誌名	Behaviormetrika	巻	発行年	ページ	
		19	1992	127-170	

著者名		論文標題			
雑誌名		巻	発行年	ページ	
			—	

[図書]

著者名	Hayashi, C., Suzuki, T. and M. Sasaki	出版者	North-Holland (Amsterdam)		
書名	Data Analysis for Comparative Social Research: International Perspectives	発行年	総ページ数		
		1992	xxxiv + 496		

著者名		出版者			
書名		発行年	総ページ数		
				

11. 研究発表 (発表予定も含む。但し、投稿中、投稿準備中は除く。)

(雑誌論文)

著者名	Yoshino, R.	論文標題	Superculture as a frame of reference for cross-national comparisons of national characters.		
雑誌名	Behaviormetrika	巻	発行年	ページ	
		19	1992	23-41	

著者名	Yoshino, R.	論文標題	The BIGHT model and its application to the analysis of free-answer responses in social survey.		
雑誌名	Behaviormetrika	巻	発行年	ページ	
		19	1992	83-96	

著者名	吉野諒三	論文標題	社会調査データの国際比較の枠組みの為の"superculture."		
雑誌名	統計数理	巻	発行年	ページ	
		40	1992	1-16	

著者名	Fumi Hayashi T. Suzuki	論文標題	Data Analytic Representation of Characteristics of Various Breakdowns in Cross-cultural Survey		
雑誌名	Data Science and its applications	巻	発行年	ページ	
			1993	予定	

著者名	Fumi Hayashi	論文標題	Comparative Data Analysis of ALLBUS and Japanese Data: Desirable Quality for a Child, Meaning of Human Life, Legal Abortion, and Important Aspect of Job.		
雑誌名		巻	発行年	ページ	
			1993	予定	

著者名		論文標題			
雑誌名		巻	発行年	ページ	
			—	

(図書)

著者名	Sasaki, M.	出版者	New York: Macmillan.		
書名	The Encyclopedia of Sociology. "Japanese Sociology," in E. Borgatta and M. Borgatta (eds.)	発行年	総ページ数		
		1991	1015-1020		

著者名		出版者			
書名		発行年	総ページ数		
				

11. 研究発表 (発表予定も含む。但し、投稿中、投稿準備中は除く。)

(雑誌論文)

著者名	Sasaki, M.	論文 標題	Religious Commitment among Five Industrialised Nations.		
雑誌名	Proceedings of the Fourth Symposium on Quantitative Social Research		巻	発行年	ページ
					印刷中

著者名	Sasaki, M.	論文 標題	Children's Personality as a Function of Family Relations within and between Cultures		
雑誌名	Journal of Cross-Cultural Psychology		巻	発行年	ページ
			22	1991	182-208

著者名		論文 標題			
雑誌名			巻	発行年	ページ

著者名		論文 標題			
雑誌名			巻	発行年	ページ
					—

著者名		論文 標題			
雑誌名			巻	発行年	ページ
					—

著者名		論文 標題			
雑誌名			巻	発行年	ページ
					—

(図 書)

著者名	Sasaki, M. (with William D'Antonio and Yoshino Yonebayashi, eds.)	出版者	Transaction		
書名	Society, Environment and the Quality of Life.		発行年	総ページ数	
				印刷中	

著者名	Sasaki, M. (with Alex Inkeles, eds.)	出版者	Prentice hall		
書名	Comparing Nations and Cultures.		発行年	総ページ数	
				印刷中	

1. 研究機関番号 62603 2. 研究機関名 統計数理研究所
 3. 研究種目名 試験研究(A)(1) 4. 研究期間 平成4年度~平成6年度
 5. 課題番号 04509001
 6. 課題課題名 意識の国際比較における連鎖的調査分析方法の活用化に関する研究
 7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部署局名	職名
7131	吉野 諒三	領域統計研究系	助教

8. 研究分担者(所属機関名は、研究代表者の所属機関と異なる場合に記入すること)

研究者番号	研究分担者名	所属機関名・所属部署局名	職名
7131	林 知己夫	統計数理研究所	非常教授
7131	鈴木 達三	統計数理研究所	非常教授
7131	三宅 一部	神戸大学 法学部	教授
7131	佐々木 正道	兵庫教育大学 学校教育学部	教授
7131	村上 征勝	統計数理研究所	教授
7131	林 文	集英和女学院大学 人文学部	助教

9. 研究実績の要旨(当該年度のまとめ、600字~800字)

本研究は、調査システムの具体的適用により諸々の問題点を克服して、「意識の国際比較における連鎖的調査」のための一般的な実用化マニュアル作成を目的としている。既に実施した「意識の国際比較方法の研究」におけるヨーロッパ3カ国との比較可能性の確保を優先して考え、本研究ではイタリア調査及びオランダ調査では、標本計画として1000サンプル、調査項目は約100項目で実施した。

以下の事柄を念頭において、平成4年度及び5年度に伊・蘭調査を遂行し、その結果を検討し、マニュアル作成を遂行しつつある。

- 1 一般的マニュアル第一次案に基づく調査企画の立案
- 2 調査の質問項目の選定における配慮すべき点の検討
 - a 5カ国における意識の国際比較研究調査結果(特にヨーロッパ3カ国調査及びイタリアとオランダ調査)
 - b 特に宗教に関する意識調査項目の追加
- 3 一般調査機関に調査実施を委託するときの問題点の検討
- 4 イタリア・オランダ調査データのクリーニング、ファイル作成、分析計画作成
- 5 マニュアル第一案による調査実施上の問題点の検討(データ分析、連鎖的関連の検討)
- 6 連鎖的調査企画及び分析の為の方法の実用的マニュアルの検討

※ 成果の公表を見合わせる必要がある場合は、その理由及び差し控え期間等を記入した資料(A4判縦長横書き1枚)を添付すること。

10. キーワード

- | | | |
|-----------------------|---------------------|-----------------|
| (1) <u>社会調査</u> | (2) <u>国民性</u> | (3) <u>国際比較</u> |
| (4) <u>標本調査</u> | (5) <u>意識研究比較</u> | (6) <u>学際研究</u> |
| (7) <u>連鎖的比較調査分析法</u> | (8) <u>統計的データ分析</u> | (裏面に続く) |

11. 研究発表 (発表予定も含む。但し、投稿中、投稿準備中は除く。)
 (雑誌論文)

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
林 知己夫	日本人の国民性				
		Phase 93		1993	64—96

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
Hayashi, C.	Quantification Method II or Correspondence Analysis in Medical Science				
		Ann. of Cancer Research and Therapy	1-1	1993	17—21

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
林 知己夫	日本人の国民性				
		統計数理	40-2	1992	227—234

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
林 知己夫	複雑性のヒエラルキーの統計的考察				
		色彩教育	12-1	1993	1—16

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
林 知己夫	消費者意識の流しを語る				
		観光文化	13-2	1994	2—7

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
Sasaki, Masamichi	Religious Commitment among Five Industrialized Nations.				
		Behaviormetrika	印刷中	1993	—

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
Yoshino, Ryozi	Magical Numbers of Human Short-Term Memory				
		Behaviormetrika	20-2	1993	501—516

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
吉野, 他	応用心理学定量的研究の個人差, 則				
		(財)吉田英雄記念事業財団 助成研究集第26次		1993	141—146

11. 研究発表 (発表予定も含む。但し、投稿中、投稿準備中は除く。)
 (雑誌論文)

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
鈴木 道三	国民性比較の方法論	統計数理	40-2	1992	243-253

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
Hayashi, Fumi	Comparative Analysis of the Japanese and Germans: Some topics on social values.	Behaviormetrika	印刷中		—

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
林文他	日本人の自然観... フォリテスト調査から...	森林野生動物研究会誌	印刷中		—

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
林文他	アラビヤの意識とライオン... 東洋英和女学院大学生調査	人文:社会科学論集(東洋英和女学院大学)第8号		1993	—

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
Miyake, Ichiro	'Trust in Government and Political Cleavages'	Doushisha Hongaku	111-2	1982	—

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
吉野 詩三	国民性意識の比較調査研究	統計数理	印刷中	1997	—

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
Masakata, Murakami et al.	An analysis on experimental radiation carcinogenesis with special reference to competing risks.	Journal of Radiation Research	31-2	1990	141-145

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
村上 恒助他	金山坑の土壌汚染と、放射性物質の移行の調査分析	統計数理	38-2	1991	111-184

11. 研究発表 (発表予定も含む。但し、投稿中、投稿準備中は除く。)
 (雑誌論文)

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
村上 征勝他	日蓮遺文の教理研究				
東洋, 思想と宗教		8	1991	27—35	

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
村上 征勝他	判別分析によるカ行, 藻型, 雌雄差の極当				
統計数理		39-2	1992	169—186	

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
Murakami, Masakatsu	A Scaling Method for Qualitative Multiple Responses Corresponding to Doses of Stimuli				
Behaviormetrika		19-1	1992	43—63	

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
村上 征勝他	三大秘法集承事, 計量文献学的新研究				
大崎 学報		148	1992	1—52	

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
村上 征勝他	音韻学的観点からの中国語高頻度単語, 計量分析				
行動計量学		19-1	1992	49—65	

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
Murakami, Masakatsu	Research Tendency of IMR Extracted from KIND Materials Database				
Science Report of Research Institutes Tohoku University Series A		37-2	1993	214—227	

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
村上 征勝他	読点と書き手の個性				
計量国語学		18-18	1993	382—391	

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
Murakami, Masakatsu	Author's Characteristic Writing Styles as Seen Through Their Use of Commas				
Behaviormetrika		20-2	1993	63—76	

11. 研究発表（発表予定も含む。但し、投稿中、投稿準備中は除く。）
 (雑誌論文)

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
村上 征勝他	中国語 高頻度単、音表記、統計的特性				
		統計数理	40-2	1993	131-150

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
Murakami, Masakata 他	Statistical Test of the Shortening of Latest Periods in Experimental Radition Carcinogenesis Under Competing Risks				
		Journal of Radiation Research	34	1993	1-11

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
村上 征勝 他	手書きとワープロによる文章、計量分析				
		計量国語学	19-3	1993	133-145

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
村上 征勝 他	千葉県貝塚、テ-タバ-ス、計量分析(Ⅱ)				
		統計数理研究所共同研究レポート 38 考古学における計量分析Ⅱ		1992	27-34

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
村上 征勝	情報術と溜り				
		週刊ダイヤモンド 4月4日臨時増刊号		1992	133-134

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
村上 征勝	テ-タから仮説と見方 — 統計的仮説検定 —				
		数学セミナー	32-2	1993	38-41

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
村上 征勝	進歩・発展が期待される技術分野				
		日本機械学会誌	96-891	1993	—

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
村上 征勝 他	千葉県貝塚のテ-タバ-スの計量分析(Ⅲ)				
		第6回 考古学におけるIP-ソリッドのC-14利用の現状		1993	53-60

11. 研究発表（発表予定も含む。但し、投稿中、投稿準備中は除く。）
 （雑誌論文）

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
村上 征勝	考古学データとグラフ分析				
第6回 考古学におけるIT-リソースの活用、現状				1993	121—132

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
村上 征勝他	源氏物語の計量分析、そのデータベース作成				
人文学と情報処理		2		1993	—

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
村上 征勝	考古学データと回帰分析				
統計数理研究所共同研究レポート46 考古学における計量分析Ⅲ				1993	157—167

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
村上 征勝他	千葉県貝塚のデータベースの計量分析(Ⅳ)				
統計数理研究所共同研究レポート46 考古学における計量分析Ⅲ				1993	1—13

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
村上 征勝	計量的文体研究の威力と成果				
月刊『言語』 2月号				1994	30—37

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
村上 征勝	読点の文体論				
月刊『言語』 2月号				1994	66—67

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
					—

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
					—

11. 研究発表 (発表予定も含む。但し、投稿中、投稿準備中は除く。)

(図書)

著者名	出版社	発行年	総ページ数
林 知己夫	ぎょうせい	1993	
書名	国民性, 皇民性, 世論, 世論調査, 現代学校教育大辞典		

著者名	出版社	発行年	総ページ数
林 知己夫	朝倉書店	1993	186
書名	行動計量学序説		

著者名	出版社	発行年	総ページ数
林 知己夫	朝倉書店	1993	229
書名	数量化 — 理論と方法 —		

著者名	出版社	発行年	総ページ数
林(知), 鈴木, 吉野, 林(文)	グライツル日本人調査委員会	1993	481
書名	統計学理論の発展と研究レポート 74 グライツル日本人の意識		

著者名	出版社	発行年	総ページ数
Sasaki, M. Inkeles, A. (Eds.)	Englewood Cliffs, New Jersey : Prentice-Hall.		
書名	Comparing Nations and Cultures.		
			印刷中

著者名	出版社	発行年	総ページ数
Sasaki, M. 他 (Eds.)	New Brunswick, N.J. : Transaction.	1994	
書名	Ecology, Society, and Quality of Social Life.		

著者名	出版社	発行年	総ページ数
三宅 一郎他	東京大学出版会	1986	
書名	日産人の経済行動		

著者名	出版社	発行年	総ページ数
書名			

1. 研究機関番号 62603 2. 研究機関名 統計数理研究所
3. 研究種目名 試験研究(A)(1) 4. 研究期間 平成 年度~平成 年度
5. 課題番号

--	--	--	--	--	--
6. 課題課題名 _____
7. 研究代表者 _____

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
	リョウ リョウジ 吉野 諒三	統計数理研究所領域統計研究系	助教

8. 研究分担者(所属機関名は、研究代表者の所属機関と異なる場合に記入すること)

研究者番号	研究分担者名	所属機関名・所属部局名	職名
	リョウ 知巳夫 林 知巳夫	統計数理研究所	名誉教授
	スズキ タツヲ 鈴木 達三	統計数理研究所	名誉教授
	ササキ マサヒ 佐々木 正道	兵庫教育大学学校教育学部	教授
	ムラカミ マサヲ 村上 征勝	統計数理研究所領域統計研究系	教授
	リョウ フミ 林 文	東洋英和女学院大学人文学部	助教

9. 研究実績の概要(当該年度のまとめ、600字~800字)

本研究の目的は、異なる文化圏に属する人々の意識の比較研究のため新しく開発された「連鎖的調査分析方法」の一般的実用化をはかることである。国際比較調査のための「連鎖的調査分析方法」は「意識の国際比較方法論の研究」(1986-91特別推進研究、1989-90国際学術研究-海外調査-)において基礎的研究ができあがったが、既存の資料および既存の調査データの再分析に依存する度合いが強く、いかなる対象・分野の比較調査にも簡単に利用できるというものではない。従って、この方法を一般的に実用化するための検討が必要であった。このため、この方法で具体的に調査を遂行し、一般的利用の可能性と実用化過程の問題点を解明し、国際比較調査を行うためのマニュアルを作成することであった。

本年度は本研究の最終計画年度として以下の総括報告書作成を行なった。

- 1 イタリア調査、オランダ調査のデータ分析
 - a 調査補助資料のまとめ
 - b データファイルの整備(共通ファイルの作成)
 - c 自由回答の各国対照表
 - e コードブック作成(報告書第3、4、5、6分冊)
- 2 意識の国際比較方法論における「連鎖的調査分析方法」の有効性を確かめる
- 3 5ヶ国調査と合わせた総合的分析結果報告書(第1分冊)の作成
 - a 単純集計分析(データ・フロッピーディスク付き)
 - b 個別トピック毎の分析
 - c 総合分析
- 4 連鎖的調査企画及び分析方法の実用的マニュアルの作成(報告書第2分冊)

※ 成果の公表を見合わせる必要がある場合は、その理由及び差し控え期間等を記入した資料(A4判縦長横書き1枚)を添付すること。

10. キーワード
- | | | |
|--------------------|------------|-----------|
| (1) 国民性 | (2) 国際比較 | (3) 社会調査 |
| (4) 標本調査 | (5) 連鎖的調査法 | (6) 数量化理論 |
| (7) パッケージ・ランシエーション | (8) 意識調査 | (裏面に続く) |

11. 研究発表（発表予定も含む。但し、投稿中、投稿準備中は除く。）
 (雑誌論文)

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
林 知己夫	国民性とコミュニケーション —原子力発電に対する態度構造と発電側の対応—	INSS JOURNAL	1	1994	93 — 158

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
林 知己夫	国民性と環太平洋連帯構想	大平正芳政治的遺産		1994	341 — 348

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
林 知己夫	日本人の国民性：変わる点、変わる点、特殊点、普遍点	ESTRELA	11月号	1994	28 — 32

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
林 知己夫	日本人の国民性：変わる点、変わる点、特殊点、普遍点	ESTRELA	12月号	1994	28 — 31

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
林 知己夫	国民性から見た日本の将来	日本教育	No.221	1995	—

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
林 知己夫	Psychological QOL and Social Attitude	Int. Congr. of Health Psychology		1993	188 — 191

(図 冊)

著者名	出版者	冊名	発行年	総ページ数

著者名	出版者	冊名	発行年	総ページ数

11. 研究発表（発表予定も含む。但し、投稿中、投稿準備中は除く。）
〔雑誌論文〕

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
鈴木 達三	世論調査の「月ライ」ラリーについて	新情報	65		1—8

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
鈴木 達三	国際比較調査の事例から「日本語の国際化」を考へる	日本語学	13	1994	43—59

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
吉野 謙三	国民性意識の国際比較調査研究 —統計数理研究所における社会調査研究の時間的拡大—	統計数理	42巻	1994	259—275

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
林 文	日本人の自然観—テスト調査から—	森林野生動物研究会誌	20	1994	25—29

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
林 文	日本人の自然観についての予備的考察	INSS JOURNAL	1	1994	159—175

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
林 文	調査票の持つ構造を保持した簡易化の試み —EisenckaのL-V法にテストの日本語簡略版の作成—	社会心理学研究	10(2)	1994	123—133

〔図 書〕

著者名	出版者	書名	発行年	総ページ数
村上 征勝	朝倉書店	真贋の科学—計量文献学入門—	1994	

著者名	出版者	書名	発行年	総ページ数
村上 征勝	勉誠社	源氏物語語彙用例索引—自立語編—	1994	

11. 研究発表（発表予定も含む。但し、投稿中、投稿準備中は除く。）
〔雑誌論文〕

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
林 文	Classification of gastric cancer patients based on HLA antigen expression using quantification method III.	Ann. Cancer Res. Ther.	3(2)	1994	117-120

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
佐々木 正道	Religious Factors and General Social Attitudes among Five Industrial Nations	Behaviormetrika	20(2)	1993	187-207

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
佐々木 正道	Research Design of Cross-National Attitudinal Surveys	Behaviormetrika	21(1)	1995	—

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
佐々木 正道	学校教育と青少年の価値意識 - 香港の中高生を事例として	磯村英一編 東アジアが口和リス-21世紀に向けて (国際アジア研究センター)		1995	—

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
林 知己夫	日本人の国民性	フォーリンプレスセンター		1994	—

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
林 知己夫	The Japanese National Character	フォーリンプレスセンター		1994	—

(図 書)

著者名	出版者	書名	発行年	総ページ数
佐々木 正道	Englewood Cliffs, N.J. Prentice Hall	Comparing Nations and Cultures	1995	

著者名	出版者	書名	発行年	総ページ数

11. 研究発表（発表予定も含む。但し、投稿中、投稿準備中は除く。）
 （雑誌論文）

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
村上征勝	Test performances of Three Diagnostic Procedures in Evaluating Thyroid Nodules: Physical Examination, Ultrasonography and Needle Aspiration Cytology	Endocrine Journal	41(3)	1994	243-247

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
村上征勝	Estimate of The Number of International Children in Japan, Based on Trends in Intermarriage	International Journal of Japanese of Japanese Sociology	3	1994	29-43

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
三宅一郎	東アジアにおける価値観の変容	国際協力論集	2(2)	1994	1-19

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
					—

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
					—

著者名	論文標題	雑誌名	巻	発行年	ページ
					—

(図書)

著者名	出版者	書名	発行年	総ページ数
三宅一郎	東大出版会	日本9政治と選挙	1995	244

著者名	出版者	書名	発行年	総ページ数

意識の国際比較における連鎖的調査分析方法の実用化に関する研究
1992-1994年度 文部省科学研究補助・試験研究 A (1)
課題番号 04509001

研究目的

この研究の目的は、異なる文化圏に属する人々の意識構造の比較研究のために新しく開発された方法論「連鎖的調査分析法(Cultural Link Analysis、CLAと略す)」の一般的実用化をはかることである。

「連鎖的調査分析法」は「意識の国際比較方法論の研究」(1985-1989年度特別推進研究)において、一応、基礎的研究が確立し、この方法の根幹である比較の対象国の相互(質問項目の相互)の関連性を、調査企画、質問項目選択の際に適切に考慮し、質問項目の組合せ方をリンクさせてデータ分析を行うことにより、好結果が得られることが明確となった。

しかし、この方法は既存資料および既存調査データの再分析の依存する度合いが強く、まだ実験段階であり、このままの方式でどのような対象・分野の比較調査にも簡単に利用できるという保証はない。したがって、この方法を一般的実用化のためには、どのようにすれば適用可能になるかを検討しなければならない。

本研究では、対象社会・対象分野の連鎖的関連の性質に応じて、どのような基礎情報を収集利用すればよいかについてを中心に、まず(1)収集すべき基礎情報の範囲を特定し、(2)一般的に手に入る基礎情報のみから連鎖的方法による質問項目の選定、調査票の構成を行い、比較分析・研究に有用な方式とするための具体的手続きを検討する。

次に具体的な調査対象を選定して、この方法で調査し、この方法の実用化プロセスについての問題点を解明し、一般的方法として可能な手続きをマニュアル化する。これによって、国際比較調査を実施しようとするものは誰でも利用できるような方法論を確立し、本格的な実用化を図ることを目指す。

報告書第一分冊の構成

前述の「研究目的」での説明の様に、本研究は特別推進研究「意識の国際比較方法論の研究」の成果を基礎として、それを発展させた試験研究(A)「意識の国際比較における連鎖的調査分析方法の実用化に関する研究」である。それを踏まえて、本書の構成は以下の通りとなっている。

第1部

- 第1章 意識の国際比較の方法論とその基本構想
 - §1 比較可能性の基本的考察
—いかにして比較可能か—
 - §2 国際比較の方法論
 - §3 国際比較研究の基本構想
- 第2章 調査の計画と実施（特別推進研究における5ヶ国調査）
 - §1 標本調査のデザイン
 - §2 質問票の決定と翻訳の問題
 - §2.1 Cultural Link Analysisに基づく質問内容・項目の決定
 - §2.2 翻訳と再翻訳
 - §2.3 和訳の問題点、質問票の決定
 - §3 5ヶ国における調査の実施
- 第3章 イタリア・オランダ調査への発展
 - §1 標本調査のデザインと実施計画
 - §2 翻訳と再翻訳
 - §3 2ヶ国における調査の実施とデータ入力

第2部 データ分析による国際比較

- 序
 - §1 CLAによる分析の視点
 - §2 対象地域によるCLA
 - §3 質問項目によるCLA
 - 3.1 ミクロ・マクロ的スケールによる相補的分析
 - 3.2 ヨーロッパ3ヶ国における政治不信（制度不支持）
 - 3.3 イタリアとオランダの宗教による意見差の比較
 - §4 時間によるCLA
 - §5 国民性の国際比較のための相補的尺度構成について
 - §6 回答者の「属性の意味」の国際比較
 - §7 国際比較調査のデザインの為の視点
 - §8 結び

付録 調査票と統括表

- 1 調査票（日本A〔国際比較用〕）
- 2 調査票（日本B〔日本調査用：本来の日本語らしい質問文〕）
- 3 各質問のニックネームと履歴一覧
- 4 7ヶ国単純集計表

主として、第1部の第1・2章は「特別推進研究」における研究経過と成果に関して、第3章は、それに基づいて遂行された「試験研究(A)」における調査に関する研究報告である。第2部は、特別推進研究と試験研究(A)で得られた7ヶ国すべてのデータに国際比較のための総合分析をして、まとめたものである。

第 1 部

第 1 章 意識の国際比較の方法論とその基本構想

第 2 章 調査の計画と実施（特別推進研究における 5 ヶ国調査）

第 3 章 イタリア・オランダ調査への発展

第1章 意識の国際比較の方法論とその基本構想

§ 1 比較可能性の基本的考察

－いかにして比較可能か－

§ 2 国際比較の方法論

§ 3 国際比較研究の基本構想

§ 1 比較可能性の基本的考察

— いかにして比較可能か —

ここに比較における方法論とは、いわゆる cross-societalあるいは cross-culturalな統計調査による比較研究の方法論を指すものとする。仮説をたて、これを検証するという自然科学的方法が社会調査やその分析において基本的な配慮であるべきであるが、未知の部分の多い比較研究の場合においては、それ以前の「素直にもものを観察する」という態度が重要な意味をもつ。「素直にもものを見る」といっても、視点なくしてものを見ることはできない。したがって、最初の仮説をたてるのは当然のことであるが、あまりこれを剛直に守りその枠を出さないような研究方法は得策ではない。つまり仮説検証ばかりに固執することなく、新しい問題の発見、新しい仮説の発見を志向しつつ多くの仮説を按じながら研究を進めることがより一層大事である。

§ 1.1 意識の比較研究の意義と方法

比較研究を始める問題意識から考えを進める必要がある。これは比較という漠然としたものに、明確な形を与えていこうとするとき考えねばならない第一歩である。我々としては、彼我の間に起り得る生きたコミュニケーションにおける問題提起とその解明を志向するという意図を持っている。これは、

- 1) 自らをよりよく知るための鏡としての比較、
- 2) 国際交流における無用な摩擦・障害の排除、相互理解の方法を見出すこと、
- 3) 我々が他の文化を理解し、もっと情緒的にいえば、感得し、それを実り豊かに享受し、我々の文化創造の糧と動因たらしめること、
- 4) 他の国の人々が、日本および日本人、その文化を理解しようとする意欲を持っている場合、その理解を容易にするための科学的手段を提供し、その道をつけること、相手が「日本がわかった」と考え、感じ得るための内容を科学的レトリックにより示すこと

につながるものであることを期待するものである。これはさらに進めると、人間理解の方法にまで高められるものである。

我々の統計的方法に基づく計量的比較研究方法は、大局を逸せずはっきり捉えること、「あたらずと雖も遠からず」ということを根底に据えて考えることである。こうした、計量的方法は科学の共通の言語である。そこに日本固有の論理—日本人には容易に理解できるが日本人以外には理解し難い論理—を介入させないのである。データとしてデータに語らしめつつ、その国の心の構造を計量的方法で分析し、その方法の妥当性のあることをその国の人に理解させる。この方法で日本人の心の方を分析し、そのデータの出方によって日本の姿を知らしめようとするのである。このあたりに、理論優先の解釈を介入させないのである。解釈はもとより否定するべきでなく、解釈は次のデータによる解析のための仮説という立場を堅持するものである。共通の論理で特殊や同一性、類似と差異の構造を理解させようとするのである。

計量的方法以外のものの好ましいところ、注意すべきところもいろいろあるが、こうした手法は一つの固定的立場で現象を切りまくり、都合のよい事例のみを引用し解釈し、説得的に理論を構成するもので、時に大曲解を生むものである点を指摘しておこう。その特色は、洞察力と構想力にある。この点、前にも述べた計

量的方法のあたらずといえども遠からずを狙う方法と趣きを異にする。

計量的方法は、日本人とて一様ならず、外国人とて一様ならず、ヨーロッパは一つならず、アジアは一つならず、しかし、一様でないままに大局的に似ているところ、異なっているところの筋を客観的に、つまり彼我ともに理解し合える科学的方法によって見通すことを考えるのである。相手が理解しようと思えば理解し得る論理、つまり普遍を通して共通のところはもとより特殊をも理解し得るようにすることである。このために、どうするかを方法論的に考えることになる。ある結果が示されたときに、一面的に解釈せず仮説を一步一步深めて探っていくのであって、結論を焦らぬということが大事である。

§ 1.2 比較研究の基本的立場

最も基礎的な考え方は上述の問題発見を重視するという思想であるが、これをもう少し推し進めてみたい。科学的立場から比較するというところは、同じ道具と測定方法を用いて計測し、同じ所、異なる所を明らかにするところに意味がある。科学的な比較は、このように共通点、異なった点を見出すための上述の手段の構成が可能かどうか、可能ならばそれをいかに構成するかを念頭におくことが出発点となる。この尺度は、完全なものが始めから期待できるものではない。不完全ではあるが、ひとまずそれらしいものを考え、それを土台に異なった所、同じ所を析出させ、問題を見出し、さらにそれを良くしていくという逐次近似の思想に立つことが必要である。

つまり、これまでの方法で事実がある程度わかりながら、その上に立って問題点を見出し、新しい知見を得て一層事実をはっきりさせる方法を考えて進むというプロセスそのものが重要なのである。これと同時に、前述のように問題発見つまり探索的な接近方法が重要である。言いかえると、継続・連続調査の分析を通して次第に問題が明らかになっていくのであって、常に出発点に立ち戻りつつ高まっていくという上昇螺旋状に研究が進むということになる。このように比較研究を進めていくところに、方法論の特色があるわけである。

次に社会調査により人々の考え方、ものの見方、感じ方を明らかにしようとする方法の利点と欠点とを考えなくてはならない。社会調査の方法では、all or nothingという抜本的な立場は得策ではないという思想が根底にある。利点はいうまでもなく客観的な方法により共通の土俵に立ちつつ上述の方法論で次第に成果を積みあげ、事を運ぶことができるという点である。しかし、調査で調べ得ることは限りがあり、タテマエ的な回答が出やすく、ホンネが出にくいことである。したがって現実の行動の予測につながり難いという欠点があげられる。これをいかに補うかの工夫がなくてはならない。タテマエはタテマエとして重要な意味があり、これが人間の顔であることに間違いはない。ホンネだけでは世の中は動かないのである。ホンネの肉付けとして必ずタテマエが用いられるので、ものの考え方としてタテマエの分析は重要な意味を持つ。なお、行動の根本原理としては、タテマエのみでなくホンネが主要な動機を与えていることは事実であろう。タテマエとホンネのダイナミックスが人間の社会行動を形成しているということができる。これをどう捉えるかが課題である。ホンネを探り出すことは、従来の質問法、分析法を工夫して、ある程度まで接近できるがもとより十分ではない。ホンネをさぐる手法も手をつけられているが、いまのところ十分ではない。

以上のような限界を十分心得た上で、より一段、より一段と高めていく心構え

が、社会調査方法論として大事なことであって、あまりにも楽観的に問題を処理し事は終わったとすることは危険なこと戒めねばならない点である。

§ 2 国際比較の方法論

§ 2.1 連鎖的調査計画・分析法

§ 1で上昇螺旋という形で研究を進める重要性を述べた。ここで基本に立ち返ってみれば、比較対象をいかに選定して事を進めることが有利か、また分析のために何をユニットとして事を運ぶことが研究戦略上有利であるかを考慮することが大事である。我々の得た結論は、いきなり異なったものを比較するのではなく、相似たところと異なるところがあるものを比較するという考え方である。連鎖的調査計画法というのが、事を理解するのに都合がよいということである。例えば、我々のグループの行なっている例を次に示しておく。日本を起点として、まずアメリカとの比較研究を進める場合を考えよう。基本となる日本の調査は、1953年以来5年おきに今日まで続いており、質問票の問題をはじめ種々のことがわかってきている。日本を起点として、日本と近いところでハワイの日系人、さらにハワイ生まれの非日系アメリカ人、アメリカ本土生まれでハワイ在住の非日系アメリカ人（ほとんどが白人）、アメリカ本土在住のアメリカ人（白人）というように調査対象を拡げ、調査を続けていく、少しずつ似たところを重複させて同異の相を露呈させ、離れて相異なるものを次々繋げながら理解しようとする考え方である。異なるものが異なるだけでは理解を絶するのみで深い情報とはならない。同異の相を連鎖的に理解しつつ相離れて異なるものを了解しようとする立場である。

図 2 - 1 連鎖的調査計画
— 調査対象集団の連鎖 —

また、日本人の自然観とドイツ人・フランス人の自然観の同異をしらべる調査を行なっている。これは多次的連鎖計画と考えるべきもので3者相互に似たところと異なるところを想定しての比較である。問題が限定され自然という基本問題を取り扱っているため、非常に隔絶した姿も示されているものの、これを理解する鍵は見出すことが容易であった。

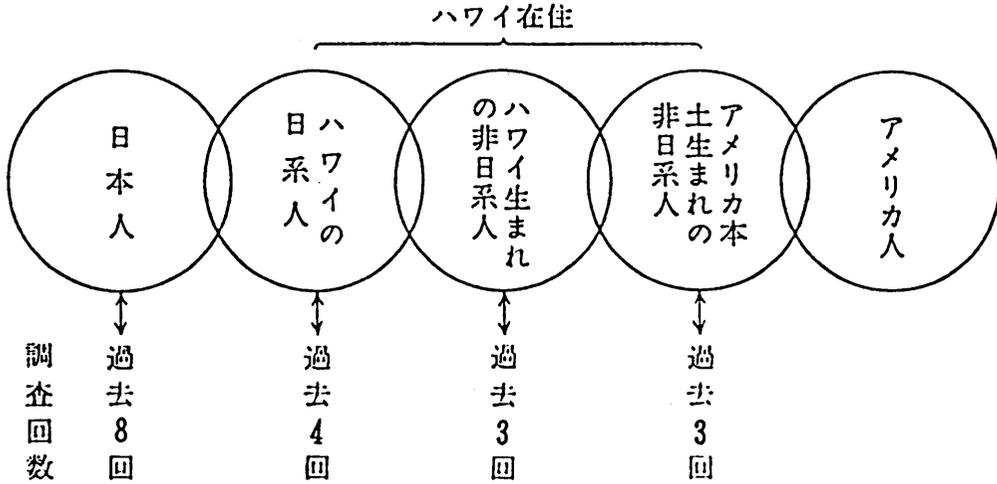
以上は対象の方であるが、質問も連鎖的に連関のあるものを取りあげるのがよい、まず人間である以上、喜怒哀楽の感情、快・不快の感情など基本的感情は同じものだということが出発点になくは調査はできない。人間としての基本条件である。質問はそれぞれの社会（国）に固有と思われる質問群、近代化社会に共通する質問群（これは、それぞれの社会（国）に共通する部面となる）、人間として基本的な素朴な感情ないしは習慣、宗教感情などに関係する質問群（ある程度共通なものとなると予想される）などから構成されるのが情報を豊かにすると考えられる。

図 2 - 2 連鎖的調査計画
— 質問項目の選択 —

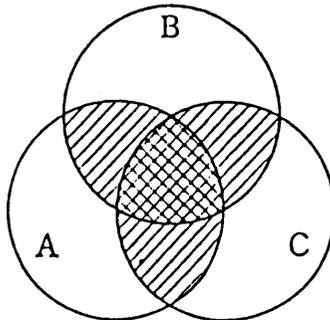
図 2 - 1

連鎖的調査計画---調査対象集団の連鎖---

(a) 一次元的連鎖



(b) 多次元的連鎖

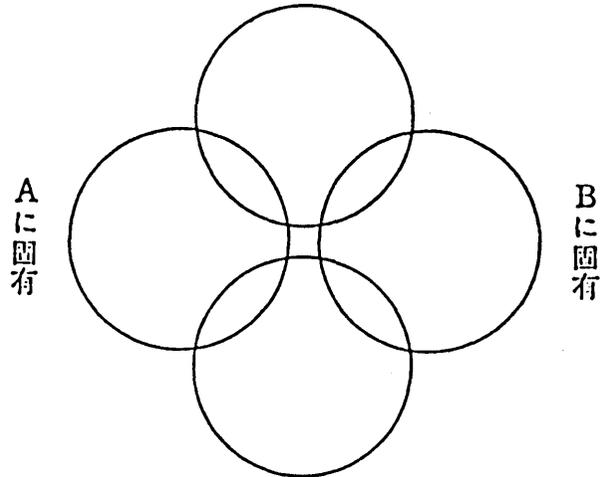


これは二次元的であるが対象が多くなると多次元となる

図 2 - 2

連鎖的調査計画 - 質問項目の選択 -

近代化社会として A, B に共通



日常的な社会生活, 人間としての基本的感情や気持に
関係するものとして A, B にある程度共通

対象のとり方、質問の構成、これらに関連するデータの分析法、あわせて連鎖的調査計画・分析法（略して連鎖的調査・分析法という）と名付けることにするが、この考え方が、有効であると考えられる。

なお、このように考えてくると、時系列調査もこの中に含め得ることがわかる。国際比較でない場合、一つの集団の時系列調査も、同じところと異なるところが出てくるので、時系列で得られたデータは連鎖的であると思えることが出来る。国際比較の場合は、空間と時間とが共に連鎖的につながり合うことになり、このデータ分析は変化の仕方などの比較もでききわめて有意義なものになる。

図 2 - 3 時間的・空間的連鎖と比較

さて、各質問群に入れる質問は、その素姓がよく知られていればいるほど情報量が多くなる。日本での継続調査に用いられ、その変化、不変の相を通して性格がわかっていること、数多くの調査に用いられ、他の諸質問との関連性においてその性格がわかっていること、国際比較調査に用いられ、その質問の意味するところが外国と日本で同じか異なっているかの様相が知られていること、外国の調査でよく用いられており、時系列調査などを通じてその性格が解明されていること、などが重要である。こうした質問文を手なれた道具として用い、上述の質問群を構成するのである。また、分析対象とする集団を個別に分析し、その結果を比較するとともに、二つの集団をあわせて一ポンド・サンプルという一分析し、それぞれの特色が浮かびあがるものか、また両集団がまざり合い個人差が浮かびあがるものか、などについて分析を行なうことも有効である。個別集団とポンド・サンプルによる分析はそれぞれ全く異なった機能を持つもので、これらの特色を巧妙に用いることは深い情報をえぐり出すのに有用である。

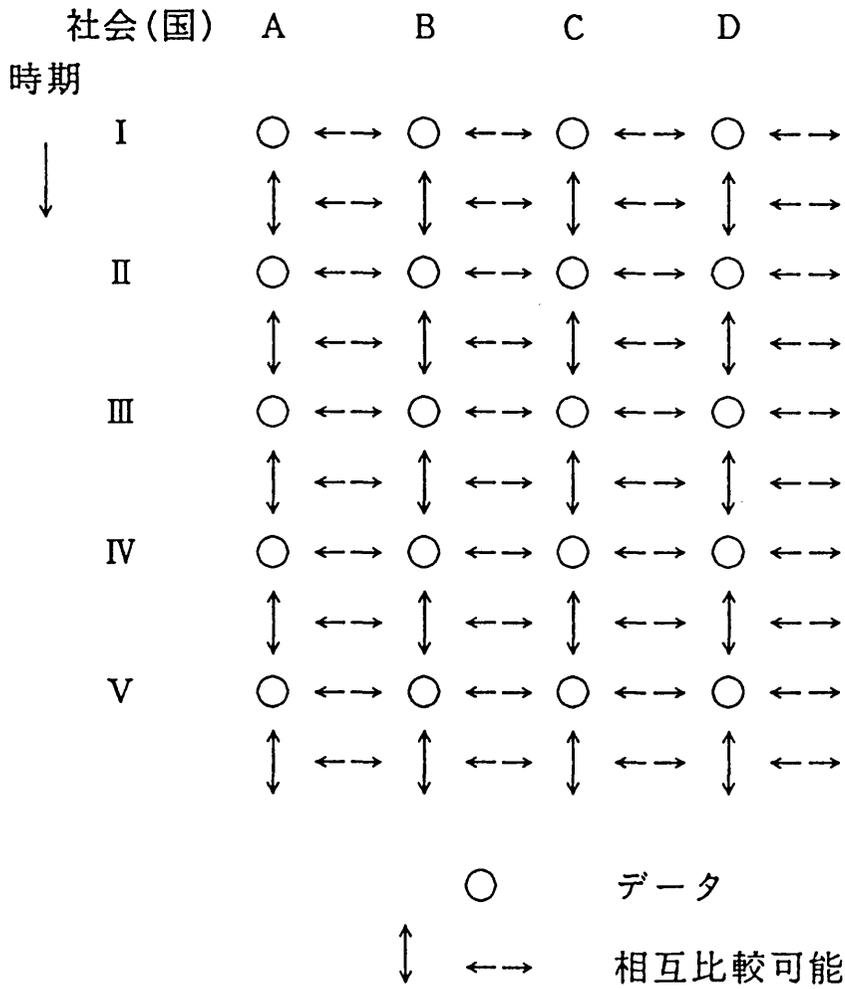
さらにまた、分析に用いる質問項目も適宜入れかえ、それらを用いて意識構造を描き出した結果がどう異なってくるかを知ることが重要な意味をもつ。質問文の性格がよくわかっていると、質問項目の入れかえで結果が変わる、その変わり方の意味を探り出すことができる。

上述のような質問文の入れかえと分析対象の選択（個別集団、ポンド・サンプルを随時併用する）とを絡めて分析し、問題に様々な角度から切り込んでいくというダイナミックないき方からわかってくることは多いものである。こうしたいき方は、結論をすっぱり示すというより、あれこれ考えて情報を探り出していくというものであって、複雑な多次元的様相を持つものの比較研究の方法として望ましいものと考えられ、外国・外国人の行動の予測、文化摩擦の生じる意識の仕組み、文化の相互理解への鍵を見出すのに適した方法ということが出来る。

なお、質問文の選択として日本において事情がよくわかっている日本的質問なるものを第一に用いることは、日本人にとって有利ないき方である。つまり、日本人が日本人自身をこうした客観的方法で知っておき、また、これが外国でどうなっているかを見ることは、日本人は「日本人の見方」なるものを抜け切れないのであるから重要な意味がある。日本人の見方・考え方が外国でも通じると不用意に考えると誤解が生じ、摩擦を生む第一歩となるのであるから、こうした方法によって、日本の論理がどういう形で外国に現われるか、また、どうして通じないかを知ることが大事なことである。こうした日本的質問の他に比較研究として重要であると言及した各種の性格を持つものを加えて、内容を拡大していけば、正鵠を得た情報をつかみ出していくことができる。

図 2 - 3

時間的・空間的連鎖と比較



この比較研究として重要な質問は、新しく我々が作成するよりも、既に外国で作成されたものを用いるのがよい。我々は外国のことを熟知しているわけでないからである。アメリカの質問はアメリカ的価値観によって作られたもので必ずしもこの外国にも通用するものではないし、自国の問題意識となっているところについての質問が中心となっている。フランス、ドイツ、イギリスにおいてもアメリカと同様な性格を持っている。しかし日本のものを含めて、こうしたものの中にどこにでも通用する考え方で答えられる質問も含んでいることがわかる。このようにして、国際比較で用いられる調査票の内容は、恰も万華鏡をみる如きものである。これで初めて、有用な道具となるものである。一つの筋にしたがって作られたものは、その筋がどこに通用するか解らないし、通用したとしても、ものの一面から把んだものであって、それぞれの国の固有の考え方との関連もつかめず、一面の真理は却って多面での誤解を招来するものである点に特に注意したい。

§ 2.2 具体化のための基本的方法論

これは、具体的に比較研究を進める上で、いかなる手だてを工夫するかに関係している。

(ア)．もとになるデータの性格を十分把握することについて

いかなる対象が、いかなる測定法に基づいているのか、その妥当性・信頼性・精度はどのようなものか、どのような歪み・偏りがあるものか等の評価がまず重要である。

(イ)．標本の性格について

どのような性格のサンプルか、調査対象の集りをどう規定し、ランダム・サンプルをいかにとるべきか、もし、ランダム・サンプルとしての性格が弱い(たとえばクォータ法)とするならば、その代表性を確かめるようにその方法を種々検討すべきである。

(ウ)．質問について

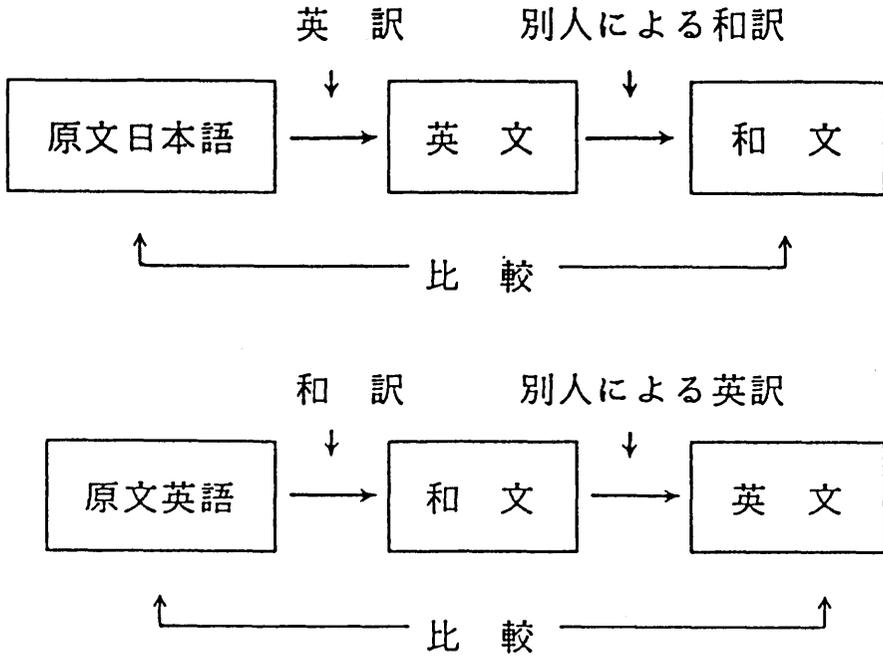
どのような質問を作るか、これには § 2.1 で述べた連鎖的調査計画・分析法によるのが望ましいが、多くの仮説に基づいて幅広い質問を加えておくのが望ましい(初めから仮説をせばめ、問題をあまり絞り込まない方がよい)。その上で、前述のように質問の種類、数、組み合わせ等を適宜入れ替えながら分析を進め、質問の持つ意味・機能を調べながら比較そのものの情報をとり出すといういき方が有用である。さらに質問文の作り方などは、質問法の研究成果を基礎とすることは当然である。

比較研究である以上、質問文の翻訳の問題がある。まず字面の検討が第一であるが、日本文・英文質問についてその方法を説明したのが図 2-4 である。

図 2-4 質問文の翻訳検討の手順

翻訳(和訳・英訳)は例えば、英訳の場合は英語の上手な人による翻訳であって、いわゆる我々のような素人による翻訳ではないのはもちろんである。ここで、原文と再翻訳文とを比較することによって日・英両語で同じ質問文が出来ているかどうかを検討するのである。我々の調査票では、一般にこの程度までは検討を経たものを用いている。

図 2-4
質問文の翻訳検討の手順



字面が同一でも異なったことを訊ねているということもありうる。日本文・英文のニュアンス、イメージの違いがあるかも知れないので、日本固有の質問、ある義理人情に関する質問文の与えるイメージをハワイのアメリカ人に質問してみたが、回答分布は異なるものの、質問によって与えられるイメージは全く同一という興味ある結果が得られている。しかし、すべての質問についてこれを行なうことは不可能で、別の検討を必要とする。

そこで、日・英両語が同じように理解できるグループを折半し、日・英両語で調査をして、回答パターンを比較することが考えられる。しかし、英文・日本文ともに理解できるグループを見出すことはなかなか難しい、英文の理解は不十分でも一応英文を理解できる一ニュアンスまではとても無理と考えられるが一のは日本において集団として存在するのは大学生である。一方、逆の場合つまり英語を国語とする国で、日本文も理解するグループを見付けることは困難である。日本文の理解が不十分でも一応理解できるグループを集団として見出すことが現実的であり、ハワイの日本語専攻学生や日系の宗教団体において見出すことができよう。これを対象に等質のグループをつくり、一方は日本文による調査、一方は英文による調査を行ない、その結果を検討してみるとという試みも一つの接近法である。

こうした比較検討の結果、両者よく一致するものもあるが、英文のニュアンスの不理解、誤解（誤訳して回答することも含む）もあると考えられるものもあり、この方法の妥当性についてはさらに分析を進めなくてはならない。

このような基本的検討をいくら行なっても十分首肯できるところまではいくものではない。以上の基本を踏まえた上で、データ分析を種々の角度から行ない、質問の妥当性や意味を考え、比較可能性を頭に入れて、あちらへひねり、こちらへひねって考えを深めつつ研究を進め、遂次核心に迫るといいうき方がとられるべきものであろうと思う。

こうしたなかで次のような考え方も有効なものとなる。ある程度性格のわかっている質問群の構成を前述のように種々変えることにより一質問群構成のダイナミックスといおう一比較対象群の結果がどう変わってくるか、これらを通して比較対象群に対して持つ質問の性格がより一層明確になるとともに比較対象の性格も把握できてくるという試みも大事である。質問群構成のダイナミックス、とりあげる集団のダイナミックスの相互作用によって両者の性格がより一層明確になってくるという方法を用いるのである。

このためには、以下に述べる分析方法と上述のような配慮とが相互に相携えて進まねばならない。なお、このためには、長い間の継続調査や比較研究を通して、その性格のよくわかっている質問群を中核として話を進めることが望ましい。この意味で、比較して探るための道具として質問の性格を踏まえて質問そのものを大事にしていかななくてはならない。

(エ)．データ獲得の方法について

これは調査実施法に関するもので、データの性格・質に関係するところが多く、調査法を精査し、比較可能性を検討する必要がある。

(オ)．データ分析方法について

データの性格に応じて分析を実施し、その中に潜む情報を過不足なく剔抉しなければならぬ。このために多種多様な方法が開発されねばならない、この一部については、「社会調査と数量化」（林知己夫、鈴木達三、岩波書店、（1986））に述べてあるのでそれを参照されたい。

以上、分析方法まで含めて、どれも完全というものはないことを繰り返しておこう。前にも述べたが重要なので重ねて強調しておきたい。一つずつを完全にしてからでないと比較はできないとなると同一個所に拘泥してそこに留まってしまう。そこに滞っていて完全にできればよいが、そこだけの知識で完全に話が進むものではない。いわば泥沼にあがくようなものである。科学の全体の水準が上がり、他の進んだ知識がポテンシャルとなって、この問題が一步推し進められるようなことになる。同じ所を攻撃し続けても突破できないとき、他の所々を攻め、得られた成果を土台にし、あらためて、もとに戻り攻撃を繰り返せば容易にそこを突破できることも多い。ある個所をある程度まで高めておき(質問法のところを考えていただきたい)、次に標本の比較可能性の検討に進む、これも完全に可能とは限らないがあるところまで突き詰める、こうして獲得されたデータを種々ひねりまわして分析を加える。もとより分析方法も完全なものではないので、現状で可能な限りの新しい有効な方法の開発を行なう。ここである種の知見を得ることになる。こうしたことが可能となるということで質問法の問題へ戻るし、対象の選択のことも考えなおすことになる。このようにもろもろの不完全な道具を使いながら問題を探索的に究めると同時に、調査法という道具をより妥当なものに作りかえつつさらに探索を進めるという形になる。初めに述べた上昇螺旋的研究方法である。仮説から仮説へと進みながら、なにがしかの知見を増しつつ核心に迫ろうとする態度である。

§ 2.3 “成果のまとめ”を通しての研究の進展

同一のデータを用い、比較の対象となった異なる社会双方の研究者が別々に報告書を作りあげる。このような研究では、データ解析や分析のための視点、解釈の他に、次のアプローチ、問題発見、新しい方法の開発意図といった方面のことが問題になるので、出来上がった報告書の相互検討を通して初めて、より一歩進んだ知見が得られ、比較研究のレベルが上がることになる。このことは一見容易で可能と見えながら、双方研究者のレベルが揃っていること、同一プロジェクトを相互に信頼し合い人間関係がよく、緊密に連繫させて行ないつつ、しかも考え方が全く同一でないこと、同一の熱意のあること、双方柔軟な考え方の持ち主であることが必要不可欠のことである。こうした共同研究者を得ることは、非常に難しいと思われるが、このことが共同研究成功の鍵である。

なお、共同研究グループの相互の考え方の理解が、共同研究では不可欠であるが、これが進みすぎると共通の盲点を持つということが出てくる。何によらず、連帯の強いグループには、盲点の出てくるものである。これを打破するために、こうした問題に興味があり、類似の研究を別の角度から進めている専門家を加えて、新しい角度から内容を論議・検討をすることが必要で、非常に有意義なものと考えられる。

このような相互検討における誤解・理解を通して、しかもより高い段階へ進むための建設的意見が形成されるためには、前述した方法論による比較研究が相互に認め合えるということが基本的に重要なことであろうと思う。

§ 3 国際比較研究の基本構想

§ 3. 1 従来の国際比較方法と連鎖的調査方法

以上のような根本的考え方を土台としてそれを具体化するための研究構想を述べることになるが、ここであらためて従来の比較研究方法のあり方を検討することから始めよう。

従来の社会調査法は、調査対象者の選定にランダム・サンプリングの方法を利用し、ある仮説にしたがって作成した質問文を用いて調査し、これを集計して検定していることだけで、科学的・実証的方法とみなしていた。我々の方法は従来の仮説検証的発想に基づく方法ではなく、探究的方法である。これが、比較研究等の複雑な問題の解明に適していることが、これまでの研究から分ってきた。

従来の比較研究は、一連の仮説に基づいて作成された質問項目を、比較研究の対象とされた、それぞれの社会で調査するため翻訳し、翻訳された質問項目の言語的な意味上の同等性を確認し、それぞれの社会の比較調査における共通の測定手段として利用し調査を進めてきた。

しかし、比較可能性を確保し、比較可能性を高めるためには、質問項目の翻訳に十分配慮することは当然のこととしても、これだけでは十分でなく、比較の対象となった社会相互の間の関連を事前に十分見極めると共に、質問項目の選択においても、比較対象社会の間における回答構造のあり方を、探索的に、「回答パターンの相互関連分析」の方法により確認して研究を進めることが不可欠であることが分ってきた。

我々の連鎖的調査方法をもう一度繰り返すと、平たくいえば互に似たところと異なるところのあるものを鎖の環のようにつないでいく方法である。この方法における連鎖は、

- i) 対象社会の選択において(空間的連鎖)
- ii) 質問項目群の構成において(比較における測定方法の連鎖)
- iii) 継続的時系列調査において(時間的連鎖)

すなわち、空間的・時間的ひろがり、測定方法について「連鎖的比較調査」の方法が考えられ、比較研究方法として極めて有効な方式であることが分ってきた。

対象社会の選択における連鎖は基本的には『社会環境』、『文化』、『民族性』の三つが考えられるが、比較対象社会をつなぐ時には重複して種々の組合せが生じる。この三つの基本的なものを軸とし、これらが、比較対象社会相互の意識構造に及ぼす影響力を計量的に解明することが科学的な比較研究を進める上で不可欠でありながら、このことは従来の比較研究では真剣にとり上げられていなかったことである。

このような計量的分析を可能にしたのは、回答構造の統計的分析方法である「回答パターンの相互関連分析」の方法を基礎にする一連の多次元的データ解析方法である。これは、

1. 比較の対象となった二つの社会の共通部分、それぞれの社会の固有部分を仕分けしその相互関連の仕方をみること、
2. 一方の社会で有効に利用されてきた質問項目の組における回答構造が、比較の対象である他方の社会ではどのように変形されるか等の分析を含むものであり、ii)でのべた、質問項目群の構成に関する連鎖的調査方法の適用においても決定的に重要な役割を果す統計的方法である。

この方法は、日本においては1950年代より質的データ解析を必要とする政治学、社会学等社会科学領域および医学、生物学、林学等広範囲の領域に適用されて多大の成果を挙げてきた方法であるが、近年（1970年以降）フランス、イタリア等ヨーロッパ諸国においても同様の方法が開発され研究が進められている。（Benzecri（1973）、Lebart（1984））

このような具体的分析方法を伴った、組織的な比較研究方法である『連鎖的調査方法』は比較研究、比較調査の分野においてはじめてのものであり、ひろく社会調査の分析方法としても、社会現象に対してより一層客観的、合理的な接近の方策を可能にする方法と考えられ、社会調査法の上に新しい時代を開くものといえる。

§ 3. 2 連鎖的調査方法の国際比較調査への具体的適用とその妥当性の検証

連鎖的調査方法は、これまでに日本とアメリカとの比較研究において、ハワイ・ホノルル調査を媒介にして、連鎖をつなぎ、その有効性を確認してきた。（この一例を参考資料としてあげる）しかし、対象社会が二つ三つでは普遍的な有効性、広範囲の適用性が問題となる。このため、少なくともアメリカ・ヨーロッパの先進工業社会等のうちいくつかについて、連鎖的調査方法による国際比較調査を実施し、その有効性を確かめる必要がある。これなくしては、この方法の有効性を広く国際社会に認知させることは不可能である。

連鎖的調査方法における連鎖は、1)でのべたように、基本的には『社会環境』、『文化』、『民族性』の三つがあり、現実には重複した組合せがある。我々はこの方法の具体的適用において

- i) 比較の対象となる社会が上述の意味において連鎖的につながっていると考えられること
- ii) この方法を効果的に適用するため、その社会（国）における継続調査データが何らかの形で存在すること
- iii) 調査の実施が可能であること
- iv) 我々と協力する研究者が現地にいること（これらの研究者は再三、我々と接触しており、統計数理研究所において具体的な共同研究もおこなっている）

すなわち、連鎖の基本となる三つの事項の組合せを考えると連鎖的調査方法を適用すれば効果的であると考えられる数多くの社会がある。そして、それらの社会との比較研究は重要なものといえるが、この研究では、少なくとも上述の4条件を満たす社会を最小限の対象社会と考えた。特にii)、iii)、iv)は相当きつい条件であり、とくに、iv)については、我々の方法で比較研究を実施することを了解し、積極的に協力してくれる現地研究者の存在が本研究にとって極めて重要であるという認識によるものである。

上述のような研究は、抽象的な議論だけではなく、具体的な対象にとり組む必要がある。比較の対象となる社会の具体例として

- (1) これまで調査経験があり、連鎖的調査方法を効果的に適用できるとともに、この方法の安定性および拡大をはかる上でハワイ・ホノルル市民調査、およびアメリカ本土における調査をまず考えた。（1988年が前回1978年実施以来10年目になるので1988年に調査を実施した。）
さらに、日本調査、ハワイ・ホノルルの日系人調査との関連を考える上

でブラジル日系人に関する連鎖的比較が重要である。(調査は1990年に計画され1991年1月-2月に実施された。ブラジル全土からの日系人ランダム・サンプルに対する調査結果は回収率75%で、集計サンプルは500以上になった)。

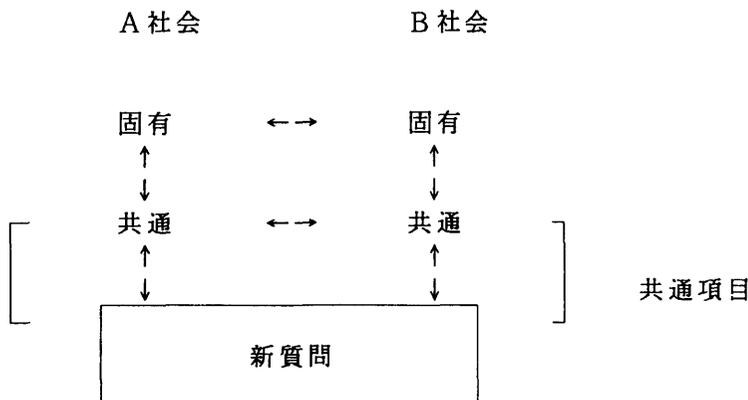
- (2) これまで、共通質問(形式的な)のみの比較で概要だけをとらえていた、フランス、ドイツ(西、東)、イギリスに連鎖的調査方法による比較調査を実施した。(フランス調査1982年より5年目に当る1987年に調査を実施した)これらの連鎖のつながりとして今後、カナダ(英語圏、仏語圏)に対する調査を実施することが極めて緊急且つ主要なことと考えられる。
- (3) この他、将来的には、トルコに対する連鎖的調査方法の適用を考える。これは、宗教の面からみて、また近代化過程がある面で日本と対比され研究されていること、さらに、歴史的にみて、ハワイとは別の次元における、東西文化の接点という観点から、連鎖的調査方法の妥当性を検討する一つの手がかりとなるものと予想される。
(Ward & Rostow(1964)、Bellah(1958))

つぎに、質問票のあり方について具体的にみてみよう。

調査における測定方法としての調査票の構成・各質問項目の作成についてみると、比較の対象となった二つの社会のそれぞれにおいて、実績のある(とくに継続調査されている)質問項目を中核として選定する。この際、中核の質問項目について、対象社会それぞれの固有の部分と、両社会に共通の部分とに仕分けする。中核におけるこの二つの質問項目グループの相互関連のあり方の安定性を確認して比較調査項目として利用する方式をとる。これらに新しく調査すべき共通質問項目を付加することにより、二つの比較対象社会の比較研究に関する形式的な連鎖は図式的には出来上がる。しかし、これだけでは、十分ではない。

これを分析する統計的方法としての回答パターンの相互関連分析の方法(数量化Ⅲ類)がそれぞれの質問項目グループの間をつなぐ真の鎖止めの役を果たすことになる。(図1の←→の部分)

図1



それぞれの質問項目のグループにおける相互関連分析の結果得られた各社会の回答構造について、各社会を通じた共通部分をまず見出し、これを中心軸として他の部分を位置づける。こうすれば、各社会における固有部分に相当するものの仕分けができ、この部分が共通部分とどのような関連をしているかという関連のあり方もわかり、各社会における回答構造を全体として、部分ごとの位置づけをはっきりさせながら、とらえることができる。このようにして、質問項目の組合せにもとづく回答パターンの相互関連分析によりはじめて、回答構造のあり方を客観的にとらえることが可能となる。すなわち、それぞれの社会の回答構造の同異のあり方が各社会における‘ものの考え方’（あるいは思想）の構造をときほぐす手がかりを与え、計量的な比較の第一の目的を達することが出来る。

我々の質問文の構成の仕方をまとめてみよう。

- a) 質問項目の作成にあたり、多年にわたる各種継続調査および国際比較調査の実績を通して築かれた実証的情報を十分に活用し、データにもとづいて性格の明らかにされた質問文を中核におくという方策をとる。
- b) 連鎖的調査方式をとる。ということで対処することにした。この1に関して〈中核になる質問〉項目の選定方針をつぎにのべる。中核になる項目の選定には、それぞれの対象社会において継続調査された質問項目をまず考える。これは、
 - a) 継続してくり返し調査されている項目は、その社会で安定して使用されているという意味で偏りのない情報が得られる可能性が高い。
 - b) 継続調査されている質問項目の調査データはその社会で指標としての役割が高い。（社会環境の変化と相関させて分析すれば多くの情報が得られる可能性が高い）

したがって、継続調査されている質問項目は、その社会の環境の同異（時代的・経年変化の有無）等に相応して、その情報を継続調査のデータとして蓄積している。継続的に調査されている共通項目は人々の意識の面における経年的な動向をとらえる形のものであり、このことは社会科学が「主観ではなく経験にもとづいて客観的に社会現象の因果関連を明らかにする科学であり、とくに社会現象の運動の法則性を追求するものである」と考えれば、社会科学の本来の目的に沿ったものであるといえる。またそればかりではなく、社会現象の運動の法則性を明らかにする方法として組織的な継続調査は重要である。

すなわち、変化をとらえる定時観測は、同一の調査方法を用い、一定間隔において定時的に観測調査を実施し、その変化の中から運動の法則に近づいていくという組織的継続調査の行き方は方法論的にも妥当なものである。

とくに継続調査データを年齢層別にして有機的に連結し、〈時代効果〉、〈年齢効果〉、および同一生年層の効果すなわち〈コウホート（世代）効果〉を識別するコウホート分析は、従来問題が多かったが、新しいコウホート分析方法の開発により、意識の変化過程における要因分析を的確におこなえるようになり、社会変化の動向との関連が、統計的方法の面からも客観的につけられるようになった。

経年的動向、すなわち時間軸の方向における連鎖的調査方法の大きな連環の鎖止めが出来上がってきたといえる。このようにして継続調査データの分析を通し、浮動的な部分および基盤的な部分を仕分けして、安定的（予測可能）な部分を取り出し、これを中核として質問項目の組を構成することができる。これが比較可能性を高めることにつながる。

以上のように、回答パターンの相互関連分析、あるいは継続調査データのコーホート分析等の最新の統計的方法を、適切に選択・構成された質問項目の組に対して的確に利用・分析することにより、連鎖的調査方法の効果的適用法の基礎が出来上がる。これは、クーンのいう、パラダイムは「概念や法則だけでなく、より重要なことは方法論的原理ととるべき方策の総体である」——という見地からみると、連鎖的調査方法の効果的な適用を講究することは社会現象の科学的探究における新しいパラダイムの構築にもつながるものである。

T. Kuhn (1962) 'The Structure of Scientific Revolution'
ch. 2 (文献参照)

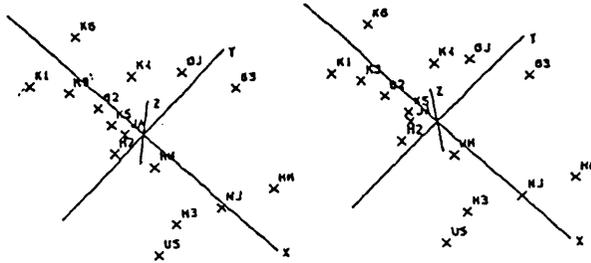
< 連鎖的調査方法の具体的適用例 >

連鎖的調査方法は、日本とアメリカとの比較において、ハワイ日系二世、日系三世、非日系ハワイ生れ、非日系アメリカ本土生れの各グループを媒介にして連鎖させることにより効果的な比較研究方法であることが確認された。すなわち、ハワイ日系人については、その文化変容の過程が明確に示され、ハワイ日系二世グループでは日本の特色である義理人情の質問項目の組が日本と同じような回答構造をもつこと、しかし三世ではハワイ非日系等に近い形で示された。これは、「文化」と社会環境の影響が「民族性」の背景より強いことを示唆するものである。また、別の質問の組については日系各グループ、非日系グループ共ハワイ生れは共通の回答構造をもつが非日系アメリカ本土生れは異なり、社会環境の影響が文化的背景より強い分野のあることも分かってきた。このように、連鎖的調査方法を利用することにより意識構造の変化過程がより一層はっきり示され、文化変容等の複雑な社会現象を解明するに際しても、「収斂理論 (Convergence theory)」の仮説に対する接近に際しても、従来の方法と比較して格段に効果的な成果が期待できると考えられる。

さらに日本における意識構造の経年的変化の一端をアメリカとの関連においてみると、いわゆる「伝統回帰」の内容が具体的に示されてくることが分った。これは回答比率においていわゆる伝統的意見の支持比率が30年前の比率に近づいたということではなく、実は構造的にみると立体図に示されたごとく上昇螺旋型の変化であり比率の接近は見かけ上のものであることが分かった。すなわち、伝統・近代の対立を第一義的に考える意識構造（これは日本特有のものである）が1970年代後半から徐々にくずれ出したことを示すものである。これは1950年代から70年をはじめにかけて伝統的意識から近代的意識へ大きく変化した意識構造の変化過程が単純に「収斂」するものではなく、外来の「ものの考え方」の影響は部分的であり、いわばこの時期はアメリカ文化の取捨選択の過程であったことが示唆された。）

立体視の図

立体鏡により中央に立体像を浮き上がらせてみるようにすること



図中の記号の説明

- K 1 : 1953年 日本調査の結果
- K 3 : 1963年 日本調査の結果
- K 4 : 1968年 日本調査の結果
- K 5 : 1973年 日本調査の結果
- K 6 : 1973年 日本調査の結果
- O 2 : 1971年 ハワイ日系二世の結果
- O 3 : 1971年 ハワイ日系三世の結果
- O J : 1971年 ハワイ日系全体の結果
- H 2 : 1978年 ハワイ日系二世の結果
- H 3 : 1978年 ハワイ日系三世の結果
- H H : 1978年 ハワイ非日系ハワイ生まれの結果
- H M : 1978年 ハワイ非日系アメリカ本土生まれの結果
- J A : 1978年 日系全体の結果
- N J : 1978年 非日系全体の結果

参 考 文 献

- Almond G.A. and Verba, S. (1963). *The Civic Culture*. Princeton : Princeton University Press.
- Bellah, R.N. (1958). "Religious Aspects of Modernization in Turkey and Japan." *American Journal of Sociology*. 64: 1-5.
- Benzecri, J.P., et al. (1973). *L'Analyse des Données 1,2*. Paris: Dunod.
- Berting, Jan, Felix Geyer and Ray Jurkovich. (1979). *Problems in International Comparative Research in the Social Sciences*. Oxford: Pergamon Press.
- CRÉDOC (Centre de Recherche pour l'Étude et l'Observation des Conditions de Vie). (1982). *Situation et Perception des Conditions de Vie et Qualité de la Vie des Français*. Paris: CRÉDOC. (in French)
- Davis, J.A. and Smith, T.W. (1986). *General Social Surveys, 1972-1986 : Cumulative Codebook*. Chicago : National Opinion Research Center.
- Gallup, George H. (1976). Human needs and satisfactions : A global survey. *Public Opinion Quarterly* . 40, 459-67.
- Gallup, George H. (1976). *The Gallup International Public Opinion Polls, France: years 1939, 1944-1975*. New York: Random House.
- Gallup, George H. (1976). *The Gallup International Public Opinion Polls, Great Britain: years 1937-1975*. New York: Random House.
- Gallup, George H. (1979). *The Gallup Poll Public Opinion : Years 1976-1978*. Willington, Delaware: Scholarly Resources Inc.
- Guttman, L. (1950). The principal components of scale analysis. In *Measurement and Prediction*, eds. S.A. Stouffer, L. Guttman, E.A. Suchman, P.F. Lazarsfeld, S.A. Star, et al. Princeton : Princeton University Press.
- Hayashi, C. (1956). Theory and example of quantification (II). *Proceedings of the Institute of Statistical Mathematics*. 4,19-30.
- Hayashi, C. (1987). Statistical study on Japanese national character. *Journal of the Japanese Statistical Society (special issue)* : 71-95.
- Hayashi, C. and Suzuki, T. (1974). Quantitative approach to a cross-societal research-I, A comparative study of Japanese national character. *Annals of the Institute of Statistical Mathematics*. 26 (3), 455-516.
- Hayashi, C. and Suzuki, T. (1975). Quantitative approach to a cross-societal research-II, A comparative study of Japanese national character. *Annals of the Institute of Statistical Mathematics*. 27 (1), 1-32.
- Hayashi, C. and Suzuki, T. (1984). Changes in belief systems, quality of life issues and social conditions over 25 years in post-war Japan. *Annals of the Institute of Statistical Mathematics*. 36 :135-61.
- Hayashi, C. and Suzuki, T. (1986). *Data Analysis for Comparative Social Research : International Perspectives*. Tokyo : Iwanami. (in Japanese).

- Hayashi, C., Hayashi, F., Suzuki, T., Lebart, L. and Kuroda, Y. (1985). Comparative Study of Quality of Life and Multi-dimensional Data Analysis ; Japan. France and Hawaii. *Fourth International Symposium, Data Analysis and Informatics* (Versaille, France, Oct., 1985). INRIA, 573-583.
- Hofstede, Geert. (1980). *Culture's Consequences: International Differences in Work-Related Values*. Beverly Hills, California: Sage.
- Ikeuchi, H. and Miyake, I. (1974). *Shimin-ishiki no kenkyu : Political Participation and Equality in Japan*. Tokyo : Tokyo University Press.
- Inglehart, Ronald. (1977). *The silent revolution : Changing values and political styles among Western publics*. Princeton : Princeton University Press.
- Inglehart, Ronald. (1990). *Culture Shift in Advanced Industrial Society*. Princeton : Princeton University Press .
- Jowell, R. and Airey, C. Eds. (1984). *British Social Attitudes: The 1984 Report*. England: Gower, Hants.
- Kuhn, Thomas S. (1962). *The Structure of Scientific Revolutions*. Chicago : The University of Chicago Press.
- Lebart, L. and others. (1982, 1983, 1984). *SPAD: Systeme portable pour l'analyse des donnees 1,2,3*. SESIA.
- Nakamura, T. (1982). A Bayesian cohort model for Standard cohort table analysis. *Proceedings of the Institute of Statistical Mathematics*. 29, 77-97. (in Japanese).
- Nakamura, T. (1986). Bayesian cohort models for general cohort table analyses. *Annals of the Institute of Statistical Mathematics*. 38, (Part B), 353-70.
- Noelle, Elizabeth. and Neumann, Erich Peter. (1967). *The Germans Public Opinion Polls: years 1947-1966*. West Port, Connecticut: Greenwood Press, Publishers.
- Research committee on the study of the Japanese national character (1977). *Changing Japanese Values*, Tokyo : The Institute of Statistical Mathematics.
- Stoetzel, Jean. (1983). *Les Valeurs du Temps Present : une enquête européenne*. Paris : Presses Universitaires de France.
- Suzuki, T. (1970). A study of the Japanese national character, Part IV- Fourth Nation-Wide Survey. *Annals of the Institute of Statistical Mathematics*. Suppl. 6, 1-80.
- Suzuki, T. (1984). Ways of life and social milieus in Japan and the United States : A comparative study. *Behaviormetrika*. 15, 77-108.
- Suzuki, T. (1986). Macro analyses using cohort analysis. In Hayashi, C. and Suzuki, T. *Data Analysis for Comparative Social Research : International Perspectives*. pp.93-139. Tokyo : Iwanami, (in Japanese).
- Suzuki, T. and Leghorn, R.Y. (1985). Age, sex and cohort : Explicating social change in post-war Japan. *Behaviormetrika*. 18, 1-16.
- Suzuki, T et al. (1972). A Study of Japanese-Americans in Honolulu, Hawaii. *Annals of the Institute of Statistical Mathematics*. Sup.7.

- Szalai, Alexander. (1972). *The Use of Time*. The Hague : Mouton.
- Szalai, Alexander and Andrews, Frank M. (1980). *The Quality of Life : Comparative Studies*. Beverly Hills : Sage.
- The Commission of the European Communities (1988). *Eurobaromètre*. Brussels : The Commission of the European Communities.
- Tokei-suri kenkyujo kokuminsei chosa iinkai (Research committee on the study of the Japanese national character) (1961). *Nippon-jin no Kokuminsei (Japanese National Character)*. Tokyo : Shiseido.
- Tokei-suri kenkyujo kokuminsei chosa iinkai (Research committee on the study of the Japanese national character) (1970). *Daini Nippon-jin no Kokuminsei (Japanese National Character, Vol.II)*. Tokyo : Shiseido.
- Tokei-suri kenkyujo kokuminsei chosa iinkai (Research committee on the study of the Japanese national character) (1975). *Daisan Nippon-jin no Kokuminsei (Japanese National Character, Vol.III)*. Tokyo : Shiseido.
- Tokei-suri kenkyujo kokuminsei chosa iinkai (Research committee on the study of the Japanese national Character) (1982). *Daiyon Nippon-jin no Kokuminsei (Japanese National Character, Vol.IV)*. Tokyo : Shiseido.
- Treiman, Donald J. (1977). *Occupational Prestige in Comparative Perspective*. New York : Academic Press.
- Verba, S., Nie, N. H., and Kim, Jae-On (1985). Political Participation and Equality in Seven Nations 1966-1971 (ICPSR 7768). *ICPSR Guide to Resources and Services*. Ann Arbor : University of Michigan.
- Ward, Robert E. and Dankwart A. Rustow. (1964). *Political Modernization in Japan and Turkey*. Princeton: Princeton University.
- Youth Bureau, Prime Minister's Office of Japan. (1978). *The Youth of the World and Japan*. Prime Minister's Office of Japan.
- ZA. (Zentralarchiv für Empirische Sozialforschung) (1982,1984,1986). Codebuch mit Methodenbericht und Vergleichsdaten (ZA-Nr.1000 ALLBUS 1980, ZA-Nr.1160 ALLBUS 1982. data codebook). Köln: Universität zu Köln.

第2章 調査の計画と実施
―― 特別推進計画における5ヶ国調査 ―――

はじめに

§ 1 標本調査のデザイン

§ 2 質問票の決定と翻訳の問題

1 Cultural Link Analysisに基づく質問内容・項目の決定

2 翻訳と再翻訳

3 和訳の問題点、質問票の決定

§ 3 各国における調査の実施

はじめに

第1章 § 3 国際比較研究の基本構想で示した「連鎖的調査方法」を、§ 3.2 にのべた、ドイツ、フランス、イギリス、アメリカおよび日本の5カ国に関する比較調査として具体化することを考える。

具体化するにあたっては、調査結果の比較可能性およびデータの有効性を高めるため、調査を計画・実施するとき、次の点について慎重に検討することが必要である。

a) 調査対象の選択：それぞれ比較の対象となる社会の範囲、対象者の範囲等を考えにいった上で、比較対象となる社会における代表性を十分に検討すること。

b) 調査項目の選択：

1) 質問文作成の方式、回答形式、回答選択肢の構成等、測定法の基礎となる枠組みの検討

2) 質問項目の組の選択、分類等の検討

3) さらに、比較の対象となる社会の特性によって影響を受けやすい質問項目を扱うのであるから、比較研究を具体的に考える場合、比較可能性について十分な検討が必要となる。

すなわち、この研究で考えている連鎖的比較調査の方法は、形式的に考えれば通常の世論調査の方法と多くの点で共通性をもつと考えられる。したがって、通常の世論調査の場合に考えられている調査法の諸問題を検討し、これらを一定水準以上でクリアできた方法を基礎として、この研究で利用する比較調査の方法を探究していくことになる。

ここで、調査の信頼性・比較可能性についてみると、通常の世論調査は一定の手続きにより抽出された調査対象者に対して、一定の形式の質問紙（票）を用い、一定形式の調査（測定）の過程により回答（情報）を収集する方式をとっている。特に、ここで取り上げる面接（聴取）法による世論調査は「質問に対する回答が次々に言葉による情報として得られ、それを一定の形式で記録するように構成された測定手法」である。

調査から得られる資料（情報）を利用するとき、あるいは調査から結論されたことを評価するとき、測定手法の信頼性および妥当性が問題にされる。測定における信頼性・妥当性の問題については種々述べられているのでここではふれないが、調査を一つの測定の道具として考えたとき、調査の全体は調査の各段階が相互に関連し合う複雑な一つのシステムを構成している。

面接調査のシステムは、調査企画者だけではなく、調査実施指導担当者、面接調査員および調査対象者等、多数の人々の間の合意と協力があって初めて成立するものである。この研究調査のように多数の国を対象として考える場合には、調査に関係するこれらの人々と調査システムの各段階とのかかわり方は多様であるから、信頼性、比較可能性を単純に考えるわけにはいかない。

調査結果の信頼性、比較可能性の程度は、

- 1) サンプリングの企画と調査対象者の抽出に関連した事項
- 2) 面接調査員の訪問調査の努力などの調査実施に関連した事項
- 3) 情報収集手法、質問文、質問形式、および回答形式の作成に関連した事項
- 4) 調査員の質問提示、回答記録等調査実施に関連した事項
- 5) データ整理および分析に関連した事項

等の側面に関連して決まってくる。これらの事項は本来相互に関連し合っているので、どれ一つを取り上げるにも切り離して考えるのは問題もあるが、一応、サンプリング企画と調査対象者訪問の段階までの事項（1）、2）と、情報収集手法と調査実施段階に関連した事項（3）、4）とに分けて検討する。これは、それぞれ、上にのべた、a）、b）と密接に結びついている。

また、研究の対象となるそれぞれの社会で一様には考えられない事項も多い。まず各国で実施した調査の標本計画の概要をのべ、その多様性を具体的に示す。

§ 1 標本調査のデザイン

1 経過

調査の対象として考える社会は、特別推進研究「意識の国際比較方法論の研究」におけるドイツ、フランス、イギリス、アメリカ、および日本の5カ国である。

このうち、日本、アメリカについてはこれまで調査実施の経験があり、今回の研究調査実施計画においてもほとんど問題点はなかった。調査実施の時期とは逆になるが、以下、この二カ国についての概要から知る。日本調査の標本抽出計画とアメリカ調査の標本抽出計画とは、10年前の1978年に実施した日米比較調査の際の標本抽出計画とほぼ同様であり、安定した調査結果が得られるものと期待された。

一方、ヨーロッパの3ヶ国に対しては、これまで調査実施の経験はないが、1980年以降の研究交流の蓄積があり、現地の研究者および調査機関の研究者と調査実施に関する予備的検討を進め、慎重に準備を進めてきた。したがって、調査を計画実施する段階においてもほとんど問題はなく、計画を円滑に進めることができた。

2 各国における調査の標本抽出計画

2.1 1988年日本調査の標本抽出計画と調査実施の概要

日本の調査の場合は、対象となる社会の範囲、および対象者の範囲について、つぎのように定義すれば、標本抽出計画について極めて明確であり、何らの問題もないと考えられよう(注1)。

すなわち、表2-1の2の通りである。標本抽出計画は日本においては、まず、全国の行政単位を地方別(11分類)および人口規模別(4分類)に層別し、政令指定都市(11市)を各1つの層と考え、合計55層に層別する。つぎに、各層の18歳以上の人口を最近時の国勢調査資料および住民基本台帳資料により推計し、層人口に比例した割合で各層に標本($n = 4500$)を割当てる。つぎに各層の割当標本数に応じて、1調査地点当り標本数が(10~15)になるようにして各層の調査地点数を算出する。つぎに、各層ごとに国勢調査の調査区を調査区特性で層別した資料から、各層に割当てられた必要な数だけの調査区(調査地点)を確率比例抽出する。

調査対象個人の抽出は、抽出された調査区の該当する市区町村の町丁字番地から各調査地点ごとに住民基本台帳を利用して、割当標本数を等間隔抽出する。

今回の1988年日本調査では、計画標本数4500で抽出地点数は、都市部：243地点、町村部：72地点 計315地点である。調査できた標本数はA調査2265、B調査1017、計3282で回収率は73%であった。（表2-1の5参照）

なお、標本抽出計画の詳細については特別推進研究報告書の第4部〔Ⅲ〕および資料1：「1988年日本調査のコードブック及び付属資料」を参照のこと。

第4部〔Ⅲ〕標本と翻訳の検討の§1には、1988年日本調査のうちA調査の結果（ $n = 2265$ ）を用いて全質問項目の標本誤差等を算出してある。また基本属性項目についてはA、B両調査を合わせた（ $n = 3282$ ）計算結果を示してある。この結果からみて、日本調査の調査データは代表性および標本精度について予期通りのものといえる。

国際比較研究を念頭においたとき、日本における標本抽出計画は、日本の社会のあり方にそって構成されており、その特徴は「日本人を母集団とする確率標本が容易に抽出できる」ということにある。

以下、他の比較調査対象社会における標本抽出計画を順に示すが、それらの諸計画と対比したとき、この点はよりはっきりしてくる。

表2-1 「意識の国際比較方法論の研究」の日本全国調査〔調査概要〕

1. 調査内容（くわしくは§2以下をみよ）

政治、社会、文化、及び生活に関する意識：75項目および属性項目（うち26項目についてはスプリット方式）

2. 調査対象

- | | |
|--------|-----------------------------|
| 1) 母集団 | 全国の満18歳以上の個人 |
| 2) 標本数 | 4,500人（A、B調査2対1のスプリット割当） |
| 3) 抽出法 | 層別2段無作為抽出法 |
| 4) 抽出枠 | 第1段：国勢調査の調査区、第2段：個人（住民基本台帳） |

3. 調査時期

昭和63年10月6日～19日

4. 調査方法

調査員による個別面接聴取法

5. 回収結果

＊＊結果の表＊＊

	全 体	A 調 査	B 調 査
・有効回収数	3,282人 (72.9%)	2,265人 (73.2%)	1,017人 (72.4%)
・調査不能数	1,218人 (27.1)	831人 (26.8)	387人 (27.6)
・設定標本数	4,500人 (100.0%)	3,096人 (100.0%)	1,404人 (100.0%)
転 居	114人 (2.5%)	70人 (2.3%)	44人 (3.1%)
長期不在	105人 (2.3)	72人 (2.3)	33人 (2.4)
一時不在	436人 (9.7)	306人 (9.9)	130人 (9.3)
住所不明	33人 (0.7)	24人 (0.8)	9人 (0.6)
拒 否	499人 (11.1)	335人 (10.8)	164人 (11.7)
そ の 他	31人 (0.7)	24人 (0.8)	7人 (0.5)
計	1,218人 (27.1%)	831人 (26.8%)	387人 (27.6%)

2.2 1988年アメリカ調査の標本抽出計画

アメリカにおける標本調査の標本抽出計画のうち、日本との相違点は、アメリカでは、日本と異なり調査対象者全体を網羅して記載しており、標本抽出台帳(リスト)として利用できるような名簿がないことである。したがって、調査地点として抽出された地域から、調査対象者個人を抽出するに当たり、調査対象に該当する者全部のリスティングをしなければならない。このようにして作成されたリストを利用して調査対象者の抽出をおこなうことになる。このため、標本抽出の過程が、日本の場合とくらべ、大変手間のかかる作業となる。このため、日本とは異なった標本計画が利用されることが多い。今回の1988年アメリカ調査で利用した標本抽出計画の概要を以下にのべる(注2)。

母集団：アメリカ合衆国在住の18歳以上の成人一般市民(病院や刑務所など施設にいる人を除く)

地域の層別：つぎのように人口規模×地方による。

- 1) (都市人口規模)：アメリカ全体を1980年国勢調査資料に基づき都市人口規模別に次の7つの層に分ける
 - a) 大都市圏の人口100万以上の市(または複合した市)域
 - b) 大都市圏の人口25万から99万9999までの市(同上)域
 - c) 大都市圏の人口5万から24万9999までの市(同上)域
 - d) 都市圏でそれ以外の市街地域
 - e) 都市圏以外の人口2500人以上の市域
 - f) 2500以下の町村
 - g) 町に含まれない農村部
- 2) (地方)：つぎにこれらの層を東部、中西部、南部、西部の4地方にわけ、各地方の区分は国勢調査資料の区分である。

このようにしてアメリカ全体は人口規模×地方の層に層別され、各層内を地理的順序に配列する。

調査地域の抽出：このように並べられた市郡人口を180の等しい人口の層(Zone)に分割し、各層から2調査地域を抽出する。

各地域の抽出は、その地域の1980年国勢調査資料の人口規模に比例した確率比例抽出法による

調査地点の抽出：ブロック統計が利用できる場所では、調査地域から調査地点として、ブロックあるいはブロックの組を確率比例抽出する。

それ以外の場所では、ブロックあるいは地域セグメントのランダム・サンプルをとる

各調査地点では、調査地点を含む地域の地図上に、抽出されたブロックを取り囲む道路をワク取りし、その道路上にランダムに調査出発点を選定し、それ以降の調査経路、および方向を図示する。（道順の矢印はあらかじめランダムにきめる。）

調査の実施：調査は出発点における住宅の居住者の調査から始め、指示された道順に従ってそれ以降の調査を進め、初めに割当てられた数の調査が終了するまで調査を続ける。

すなわち、調査は出発点の住宅から始め、在宅者のうち調査対象資格者18歳以上）を世帯について1人だけ次つぎ調査していく方式をとる。

調査は、各人の在宅率を考え、在宅する可能性の高い週末・休日、それに平日の場合は女性に対しては午後4時以降、男性に対しては午後6時以降に訪問するよう調査員に指示してある。また不在者に対する再訪問をするよりも在宅率で加重する方式（注3）をとった。すなわち、在宅で調査できた対象者には調査前3日間の該當時刻（調査実施可能な時間帯）における在宅の有無を質問し、属性、地域による在宅率を推定し、不在による偏りを減少せざる方式を用いた。

1988年アメリカ調査の標本抽出計画の詳細（抽出調査地域一覧、調査地点地図等を含め）については特別推進研究報告書 資料5：「1988年アメリカ調査のコードブック及び付属資料」を参照のこと。

調査の概要：このようにして抽出された調査地点 360地点のうち、計画標本数1500に対応する322地点について各調査地点当り平均5人ずつ面接調査した。調査不備および調査実施後のチェックにより判明した不完全回答標本を除き、集計に利用したものは1563である。

2. 3 1987年ドイツ調査の標本抽出計画

標本抽出計画はドイツの場合もアメリカとほぼ同様である。

母集団：ドイツの場合は標本抽出計画に利用する地区別有権者数の情報の関係で調査対象集団が16歳以上になっている。

1987年ドイツ調査の基本母集団はドイツ連邦共和国の10の州と西ベルリン（1987年当時の西ドイツ）の16歳以上の成人である。これらの地域に居住する16歳以上のドイツ人（外国人は除く）は1985年12月31日現在で 4,686万2000である。

地域標本の抽出：標本抽出計画にはドイツ市場調査協会（ADM）がドイツの選挙人登録者資料をもとに作成している ADM-mastersample を利用する。

ドイツ市場調査協会は、各調査機関ごとの標本計画にかえて、毎年、ドイツの選挙人登録者資料に基づく全国標本計画の方式を開発整備している。これは、地域、人口規模別層別による多段確率標本法による調査地域標本である。100組の地域標本が作成され、調査ごとに1組の地域標本を利用する。各組の抽出調査地域は全国の210地域（投票区）である。

調査地点内の標本抽出：調査地点内では、地点内の道路について、道路ごの有権者数の大きさに比例した確率で、確率比例抽出し、その道路のランダム・スタートの番地から指定されたルートに沿って3軒目ごとに調査する。

世帯内では16歳以上の成人で、次の誕生日に関する情報から調査員ごとの乱数によって、世帯について1人を抽出選定し面接調査する、もし不在ならこの標本について訪問時刻をかえて2回までくり返し訪問し面接調査する。1調査地点平均5人の調査を完了するまで調査をおこなう。

調査の実施：調査は1987年10月10日から11月16日まで実施し、全体で標本1051の調査を完了した。訪問面接の状況をチェックし、4件は調査不備として除き、調査完了数は1047である。

このうち、比較研究において調査対象の年齢条件をそろえるため、年齢16、17歳の対象をはずした。1987年ドイツ調査の集計標本は1000である。

1987年ドイツ調査の標本抽出計画および調査実施に関して詳しくは特別推進研究報告書資料2：「1987年ドイツ調査のコードブック及び付属資料」を参照のこと。

2. 4 1987年フランス調査の標本抽出計画

フランスでは選挙人登録簿の資料等は、国（公共）の調査機関でなければ利用できない。したがって、アメリカ、ドイツ同様、確率地域抽出法により調査地域を抽出し、抽出調査地点では割当法（クォータ法）により個人を面接調査することになる。

母集団：18歳以上のフランス市民、（18歳以上人口は33,445,200人）

地域層別：最近時のフランス国立経済統計院（INSEE）の国勢調査データにより、全国を地方（9分類）と人口規模（4分類）で層別し、パリ大都市圏は別枠とする。

調査地点の抽出：地方×人口規模による36層およびパリ大都市圏の18歳以上

の人口の大きさに比例して計画標本数（ $n = 1000$ ）を割当てる。つぎに、1調査地点当りの標本数を（平均10）として調査地点数を求め、パリ地区以外では88地点を抽出した。

パリ大都市圏には11地区（パリ地域は8地点）を割り当て、合計99調査地点を抽出した。

調査地点内の個人の抽出：調査地点内の個人の抽出（選択）は各層における母集団の性、年齢、世帯主の職業の各属性の最近時の国勢調査データによる構成比率にしたがって割り当てる。

調査の実施：調査は1987年9月28日から10月16日の間に面接調査法で実施された。調査完了標本1020のうち調査状況のチェック等により7件を除き集計サンプルは1013である。調査完了標本の属性別構成を国勢調査のそれと対比すると次の表のようになり調査は良好に完了したといえる。

1987年フランス調査の標本抽出計画については、特別推進研究報告書の資料3：「1987年フランス調査のコードブック及び付属資料」を参照のこと。

表2-2 標本の属性別構成

属性	1987年フランス調査		国勢調査
	標本数	構成比	の構成比
	N	%	%
Sex			
Men	472	46.6	47
Women	541	53.4	53
	1013	100.0	100
Age			
18-24	154	15.2	14.3
25-34	245	24.2	22.0
35-49	253	26.0	23.7
50-64	212	20.9	21.9
65 ans et plus	149	14.7	18.1
	1013	100.0	100.0
Occupation of head of household			
Farmers	52	5.1	6.0
Shopkeepers, craftsmen	71	7.0	6.6
Executives and business men	94	9.3	9.3
White collars	280	27.6	24.5
Blue collars	236	23.3	25.6
Non active, pensioned, etc	280	27.7	28.0
	1013	100.0	100.0

Size of locality			
Rural	262	25.9	28.2
2,000-20,000	166	16.4	16.0
20,000-100,000	131	12.9	13.0
100,000 (except Paris)	288	28.4	27.4
Paris agglomeration	166	16.4	15.4
	1013	100.0	100.0

2.5 1987年イギリス調査の標本抽出計画

イギリスでは、毎年更新される基本選挙人登録簿が大英博物館の資料部で公開されているので、用途、目的等を記して閲覧を申請すれば誰でも閲覧できる。しかし、全国の開票区、投票区ごとの選挙人名簿を集積し整備するのは時間がかかる。したがって、最近時の名簿を利用した標本抽出計画を立てるとき、この点を考慮する必要がある。

1987年イギリス調査の標本抽出計画は確率標本法（層別2段抽出）によって実施した。

母集団：イギリス（Great Britain）在住の18歳以上の有権者

地域の層別：国勢調査データによる分類システム（国勢調査の調査）により地域を層別する

層の決定と調査地点の抽出：層別は地方別と上述の地域特性別の組合せによる。各層に層人口に比例して150地点を比例割当し、各層から国勢調査の調査区（CED）を確率比例抽出する。（CEDは平均150世帯）

個人の抽出：抽出されたCEDの該当する地域の選挙人登録簿から1調査地点当たり10サンプルを系統抽出して、氏名、住所を受持簿に転記する。

調査の実施：各調査員は受持名簿に記された調査対象者につぎつぎ面接する。

しかし、選挙人登録簿が作成されてから日時が経過しているため、死亡、移転、地域の再開発等のため該当者がいない場合や住所が不明の場合がある。この時は調査地域から同一住所への転入者などをリスティングして代替標本とする（全調査対象のうち10%程度になる）。

調査拒否が予想以上に多くなり、調査完了数は1049であった。

これから属性別のクロスチェック等により調査不備と判明した6件を除き、集計に利用した標本数は1043である。

1987年イギリス調査の標本抽出計画については、特別推進研究報告書の資料4：「1987年イギリス調査のコードブック及び付属資料」を参照のこと。

以上、各国の標本抽出計画の概要をのべた。

研究調査の対象となったそれぞれの社会において通常実施されている継続調査の標本抽出計画とほぼ同一水準の計画である。

各国における標本の代表性についてみると、各国の調査結果の一次的属性分析によって国勢調査結果と比較し、計画した水準を達成していることがわかる。（特別推進研究報告書の資料1～5参照）

1988年アメリカ調査の標本抽出計画の詳細（抽出調査地域一覧、調査地点地図等を含め）については特別推進研究報告書の資料5：「1988年アメリカ調査のコードブック及び付属資料」を参照のこと。

1987年ドイツ調査の標本抽出計画および調査実施に関して詳しくは特別推進研究報告書の資料2：「1987年ドイツ調査のコードブック及び付属資料」を参照のこと。

1987年フランス調査の標本抽出計画については、特別推進研究報告書の資料3：「1987年フランス調査のコードブック及び付属資料」を参照のこと。

1987年イギリス調査の標本抽出計画については、特別推進研究報告書の資料4：「1987年イギリス調査のコードブック及び付属資料」を参照のこと。

§ 2 質問票の決定と翻訳の問題

この章では先にのべたb)調査項目の選択に関連することをとり上げる。

まず、この研究調査に利用する調査項目の質問内容・項目を具体的にきめることを考える。つぎに、これらの質問項目の翻訳の問題について、調査法の観点から検討する。とくに、日本的なニュアンスの含まれている項目の翻訳、および外国で利用されている質問項目の和訳における翻訳質問文の微妙なユレの影響の問題について考察する。さらに調査の実施に関連した質問形式(調査員の質問提示の仕方)、および回答形式、回答記録様式等の問題について検討する。

1 Cultural Link Analysisに基づく質問内容・項目の決定

第11部の§3国際比較研究の基本構想で示した連鎖的調査方法における質問票の構成を具体化することを考える。

まず、比較の対象となった各社会における継続調査のうち、われわれの研究調査の内容と関連すると考えられる調査をとり上げ調査項目を検討することにした。

とり上げた調査は、日本以外では、

アメリカ：(1)シカゴ大学の全米世論調査センター(NORC)が1972年以来毎年実施している一般社会調査(GSS)、(この調査は国立科学財団(NSF)および、社会科学の研究者による一般社会調査実施委員会により実施されている。)

(最新のコードブックはDavis, J. and Smith, T. (1990))

(2)ミシガン大学社会調査研究所(ISR)が1954年以来1年おきに実施している全国調査、(Converse, P. 他(1980))および「アメリカ人の生活の質に関する研究調査」(Campbell, A. 他(1976))このほか、毎年、ISRが実施している政治、経済に関連した調査

イギリス：アメリカの一般社会調査と類似のイギリス一般社会調査、1984年から毎年実施(Jowellらによる(1984))

ドイツ：ZA(ケルン大学中央データ・センター)およびZUNA(調査・方法解析研究センター)が1980年以降隔年に実施している一般社会調査(ALLBUS)。調査項目はほぼアメリカの一般社会調査(GSS)と比較可能な項目となっている。

(Lepsuis, Scheuchら(1980, 82, 84, 86))

フランス：CREDOC(フランス経済研究所)が1978年以降毎年実施している一般社会調査(Lebart, L. (1986))

ヨーロッパ共同体調査：1973年以来毎年2回ずつEC加盟国で実施されている。この調査項目のうちから一般社会調査の項目と考えられる項目(ユーロバロメーター調査報告毎年2回発行)

この他、継続調査ではないが、国際比較調査として、EC諸国およびアメリカを対象とした「基本的価値優先順位の変化および政治参加様式の変化の研究調査」(Inglehart, R. (1977))

ヨーロッパ価値観調査(1981)(Stoetzel, J. (1983))

13カ国価値観調査(1980)等が主なものである。

これらの諸調査で調査されている質問項目についての情報を、報告書、コードブック、調査票、集計用のデータテープ等の形で集積し、質問文と調査結果のカード作成、データの二次的再分析等により集約・整理した。

この結果により、意識の国際比較方法論の研究に利用する質問項目のうち、日本以外のものの大要をつかむことが可能となった。

A) 質問項目の選択:

- (1) 日本の継続調査として、「日本人の国民性調査」をとり上げる。これは統計数理研究所国民性調査委員会が1953年以来5年おきに実施しており、継続質問項目が多数含まれる。(Research Committee, (1982))
- (2) ハワイ・ホノルル日系人調査(1971-72年)およびハワイ・ホノルル一般市民調査(1978, 1983)も日本←→アメリカの連鎖的比較調査として欠かすことはできない。これらの調査の質問項目のうち日本人の国民性調査および次の1978年アメリカ調査と共通の質問項目は連鎖的比較研究にとって重要である。(林・鈴木(1986)、Hayashi, Suzuki(1991))
- (3) 1978年アメリカ調査の質問項目も、連鎖的比較調査の安定性、信頼性を検討するために重要である。また、アメリカの‘ものの考え方’の特徴を考える上で重要である。

とくに(1)にあげた、国民性の調査の質問項目は、日本の‘ものの考え方’の特徴をみる上で、重要であり、また、つぎのような点でも重要である。

- I) 日本における1953年から30年以上にわたる変化の過程を検討することが可能な継続質問項目を多数含んでいる。
- II) これらの質問項目の多くは1978年アメリカ調査および数回にわたるハワイ・ホノルル調査でも比較調査されている
- III) 1983年の国民性調査ではフランスのCREDOC調査と比較研究をおこなった質問項目(20項目)を含んでいる。これらは、フランスの‘ものの考え方’の特徴を考える上で重要である。

以上のことを考えに入れて質問項目の選択を進めた。

調査にとり上げた具体的な質問項目については、一つ一つここでは述べないが、質問項目として取り上げたものを大別して示すと以下ようになる。

すでにのべたように、この連鎖的比較調査では比較の柱として、比較の対象となる各社会で共通に考えられる質問項目の組を考えている。

これに対応するには、それぞれの社会で性質のよくわかっている質問項目の組をとり上げ、その共通部分を考えていくことになる。これらの質問項目は各社会(国)における継続調査の質問項目の組について具体的に検討することにより選定した。

これらの質問項目は

- a) 近代化社会あるいは脱工業社会における‘ものの考え方’の面を調べる形の質問群および
- b) 近代化あるいは高度産業化社会における社会環境に対する一般の人々の考え方を、

(1)生活の質(QOL)の一般的評価

(2)生活各側面に対する満足度、(あるいは不安感)

等について調査する項目であり、各社会における一般の人々の現代社会に対する基本的な評価の一側面を検討することが可能な形の質問項目の組が主なものである。

つぎに、これらと関連づけて各社会の固有のものを考える質問項目の組をとり上げる。

これらは、各社会(国)における継続調査の質問項目のうち、それぞれの社会で基本的な‘ものの考え方’の側面を測るものとしてくり返し調査されている質問項目の組であり、ある社会ではスケールを構成する質問群であるし、別の社会では回答パターンの相互関連分析により、その社会の‘ものの考え方’の特徴を示すものとして析出されてきた質問項目の組である。

このように各社会で共通に考えられる質問項目の組と、どちらかといえば、それぞれの社会における‘ものの考え方’の特徴を示すと考えられる質問の組とがあるが、ここではこれらを合わせて、各社会ごとに大局的にまとめてみる。

日 本：日本人の国民性調査のうち、質問相互の関連分析からみて日本的な‘ものの考え方’のシステムをよく示していると考えられるもの。

(1)一般的な人間関係(いわゆる義理人情)に関連する質問項目の組

(2)各種の組織、社会のしきたり、制度等についての考えをみる質問項目の組(日本ではとくに伝統←→近代の対立概念を含む質問項目の組として考えられ、日本的な‘ものの考え方’の特徴を示すとされるもの)

(3)くらし方、自然観等の質問項目の組等である。これらのうち、(1)、(2)はハワイ・ホノルル日系人調査において、日本人とハワイ日系人の間における差異および関連性のあり方を具体的に描き出すことができ、さらに1978年、83年のハワイ・ホノルル市民調査および1978年アメリカ調査において、より一層具体的に日本とアメリカの同異のあり方を示すことができた項目の組である。(第I部 §3. 参照)

アメリカ：1978年アメリカ調査のとき、とり上げた項目は、主にアメリカの‘ものの考え方’をみるため調査したが、これらの項目の多くはアメリカ的な‘ものの考え方’の特徴を示すと考えられ、アメリカとヨーロッパとの同異のあり方をみるために利用できると予想される。これらは

(1)信頼感スケールの質問項目の組

(2)一般社会調査(GSS)で利用された‘仕事観’、‘一生働くか’等の質問群

(3)EC諸国との比較調査に利用された質問項目

等である。

とくに(2)、(3)の諸項目はEC諸国で比較調査されているものがあり、これらの質問項目をとり上げることにした。

ドイツ、イギリス：ドイツのALLBUS調査およびイギリスの一般社会調査は、すでにのべたように、アメリカの一般社会調査(GSS)と共通するものが多いので、GSSに含めて考えた。また、EC諸国で実施されている調査とも共通に考えることにした。

ヨーロッパ共同体(EC)調査：ユーロバロメータ調査のうち、一般社会調査の項目(アメリカの(2)、(3)と重なるものあり)および‘政治関心’、‘保守か革新か’、‘民主政治に満足か’、‘社会は変えるべきか’等の政治に関連する質問項目の組等をと上げた。

フランス：フランスからはCREDOC調査の質問項目のうち、(1)フランスの‘ものの考え方’の特徴を示し、しかも回答パターンの相互関連分析でフランスの属性別にみた‘ものの考え方’の構造をよく示している質問項目の組(20項目)、および、(2)フランスの‘ものの考え方’の経年変化分析にとって有効な項目(この中には(1)の項目も含むので、それを除き8項目)等となる。

これらの継続質問項目に加えて、科学技術に関する日米比較調査(これは1990年にEC諸国でも質問された)から2項目をとり入れた。

また、異なる社会の比較調査には、質問項目の回答選択肢をあらかじめ作成した質問形式ばかりではなく、各社会における自由な発想を重視する考え方も重要である。この目的のため自由回答法の質問項目を2項目と上げた。自由回答法の質問は調査結果の整理・分析に問題が多いと考えられ、これまで比較調査ではとり上げられなかったが、組織的な分析方法も開発されつつある。

(Lebart, L. (1988)、鈴木・村上(1990))。(自由回答の結果は特別推進研究報告書第4部〔Ⅱ〕に示す。1988年日本調査の自由回答については一部の分析例を示し、他の国の調査の自由回答の結果はそれぞれ、原文と翻訳を対照して示してある)

以上選択した質問項目について5カ国調査に利用する翻訳調査票を作成し、プリテストにより、翻訳の可否、実施可能性(各国で質問の趣旨が理解できるか、異和感なく受けとられるか、疑問点はないか等)を検討するとともに、質問項目の数、分量等の面から調査の可能性を検討し、質問項目の取捨選択をおこない最終的な調査票を確定する手続きをとった。(各国で実施した調査票(質問文)は特別推進研究報告書第4部〔Ⅱ〕：「5カ国調査の質問文対照一覧」等を参照のこと)

本調査で使用した質問項目の原出典は、付録・調査票と総括表を参照のこと。

B) 基本属性項目の選択：

調査結果の分析検討には、それぞれの社会を構成する人々を分割する社会階層として、どのような属性項目、あるいはどのような社会的・地域的構造を考えて分析を進めていくのがよいか問題になる。

このとき、比較の対象となるそれぞれの社会にとって、共通に利用可能な社会階層を取り上げて比較するのがよい。属性項目は、比較の対象となった社会の間で共通性の高い、相互に共通理解の得られる項目であり、さらに、それぞれの社会で一般の人々の間に具体的なイメージが存在し、調査実施過程において一義的に解釈されうるような項目（分類）であることが比較分析上望ましい。

これらの点を考えて、次のような項目：

個人属性：性、年齢、これに学歴、家族構成等

社会経済的属性：職業、収入、および住居の種類等

地域、環境属性：居住地の地域別、都市規模別等

その他の属性的項目：地域層別特性等

等を調査項目に含めている。多数の社会に対する国際比較研究上注意する必要があることは

- (1)ここで比較の対象と考えている5カ国についてみるだけでも、共通に考えられる項目は、個人属性の「性」、「年齢」だけであること
- (2)「学歴」はそれぞれの社会（国）の制度と関連しているので、ごく粗い分類による比較しかできない。（収入も同様）
- (3)都市規模別（都市↔農村）の比較は(2)より問題があると考えられる。したがって、属性別および基本項目別分析として共通には、「性別分析」および「年齢別分析」のみをとり上げ、第4部〔I〕「各国毎の性別、年齢別集計」としてとりまとめて示した。また資料6の5カ国調査の共通ファイルコードブックに示したように、「性」、「年齢」以外の基本属性項目のコードは共通になっていないので注意が必要である。

*注1)しかし、現実には、いくつかの問題があり、これらの問題点については標本抽出計画の問題として別に検討されている。

たとえば、鈴木・高橋(1991)：「標本抽出の計画と方法」放送大学教育振興会、PP225-249.

*注2)アメリカの標本調査の標本抽出計画を日本のそれと対比し検討したものは、特別推進研究第4部〔Ⅲ〕§1に示してある。

*注3) Politz, A. and Simmons, W., "An Attempt to Get the "Not at Homes" into the Sample without Callbacks", JOURNAL OF THE AMERICAN STATISTICAL ASSOCIATION, Volume 44, (March, 1949), pp. 9-31.

*** REFERENCES を挿入する ***

REFERENCES

- Campbell, Angus, Philip E. Converse and Willard L. Rodgers. (1976) The Quality of American Life. New York: Russell Sage Foundation.
- Converse, P. E., J. D. Dotson, W. J. Hoag and W. H. McGee III. (1980) American Social Attitudes Data Source Book 1947-1978. Cambridge, Mass.: Harvard University Press.
- CREDOC (Centre de Recherche pour l'Etude et l'Observation des Conditions de Vie). (1982). Situation et perception des conditions de vie et qualité de la vie des Français. Paris: CREDOC. (in French)
- Davis, James A. and Tom W. Smith. (1986). General Social Surveys, 1972-1986: Cumulative Codebook. Chicago: National Opinion Research Center.
- Hayashi, Chikio, Sigeki Nisihira, Kikuo Nomoto and Tatsuzo Suzuki. (1973). Hikaku Nipponjin Ron [Comparative Studies on Japanese]. Tokyo: Chuokoronsha. (in Japanese)
- Hayashi, Chikio and Tatsuzo Suzuki. (1984). Changes in belief systems, quality of life issues and social conditions over 25 years in post-war Japan. Annals of the Institute of Statistical Mathematics 36: 135-61.
- Hayashi, C. and Suzuki, T. (1986). Data Analysis for Comparative Social Research: International Perspectives. Tokyo: Iwanami. (in Japanese).
- Hayashi, Chikio, Tatsuzo Suzuki and Fumi Hayashi. 1984. Comparative study of lifestyle and quality of life: Japan and France. Behaviormetrika 15: 1-17.
- Hayashi, C., Hayashi, F., Suzuki, T., Lebart, L. and Kuroda, Y. (1985). Comparative Study of Quality of Life and Multi-dimensional Data Analysis: Japan, France and Hawaii. Fourth International Symposium, Data Analysis and Informatics (Versaille, France, Oct., 1985). INRIA, 573-583.
- Inglehart, Ronald. (1977). The silent revolution: Changing values and political styles among Western publics. Princeton: Princeton University Press.
- Inglehart, Ronald. (1990). Culture Shift in Advanced Industrial Society. Princeton: Princeton University Press.

- Japan Prime Minister's Office, Public Relations Office (1987). Public Opinion Survey of Science, Technology and Society. (in Japanese)
- Jowell, R. and Airey, C. Eds. (1984). British Social Attitudes: The 1984 Report. England: Gower, Hants.
- Lebart, L. (1986) Sept ans de Perceptions: Evolution et Structure des Opinions en France de 1978 a 1984. Paris: CREDOC.
- Lebart, L., Y. Houzel-van Effenterre, C. Castro, C. Duflos, F. Gros, P. Pleuvret and P. Reynaud. (1980). Le système d'enquêtes sur les aspirations des Français: une brève présentation. No. 1. Paris: Consommation, CREDOC. (in French)
- Lebart, L. and Salem, A. (1988). Analyse statistique des données textuelles. Dunod, Paris.
- Office of World Value Conference. (1980). Data Book of Value Surveys among 13 Nations.
- Research committee on the study of the Japanese national character (1977). Changing Japanese Values, Tokyo: The Institute of Statistical Mathematics.
- Science and Engineering Indicators (1987). "Public Attitudes Toward Science and Technology." in Science Indicators, 1987. Washington D. C.: National Science Board, Chapter 8.
- Stoetzel, Jean. (1983). Les Valeurs du Temps Present: une enquête européenne. Paris: Presses Universitaires de France.
- Suzuki, T. (1970). A study of the Japanese national character, Part IV-Fourth Nation-Wide Survey. Annals of the Institute of Statistical Mathematics. Suppl. 6, 1-80.
- Suzuki, T. (1984). Ways of life and social milieus in Japan and the United States: A comparative study. Behaviormetrika. 15, 77-108.
- Suzuki, T. and Leghorn, R. Y. (1985). Age, sex and cohort: Explicating social change in post-war Japan. Behaviormetrika. 18, 1-16.
- Suzuki, T et al. (1972). A Study of Japanese-Americans in Honolulu, Hawaii. Annals of the Institute of Statistical Mathematics. Sup. 7.

The Commission of the European Communities (1988). Eurobarometre. Brussels: The Commission of the European Communities.

Tokei-suri Kenkyujo kokuminsei chosa iinkai (Research committee on the study of the Japanese national character) (1961). Nippon-jin no Kokuminsei (Japanese National Character). Tokyo: Shiseido.

Tokei-suri kenkyujo kokuminsei chosa iinkai (Research committee on the study of the Japanese national character) (1970). Daini Nippon-jin no Kokuminsei (Japanese National Character, Vol. II). Tokyo: Shiseido.

Tokei-suri kenkyujo kokuminsei chosa iinkai (Research committee on the study of the Japanese national character) (1975). Daisan Nippon-jin no Kokuminsei (Japanese National Character, Vol. III). Tokyo: Shiseido.

Tokei-suri kenkyujo kokuminsei chosa iinkai (Research committee on the study of the Japanese national character) (1982). Daiyon Nippon-jin no Kokuminsei (Japanese National Character, Vol. IV). Tokyo: Shiseido.

ZA. (Zentralarchiv für Empirische Sozialforschung) (1982, 1984, 1986). Codebuch mit Methodenbericht und Vergleichsdaten (ZA-Nr.1000 ALLBUS 1980, ZA-Nr.1160 ALLBUS 1982. data codebook). Köln: Universität zu Köln.

2 翻訳と再翻訳

意識の国際比較研究では、調査票にとり上げる質問項目の翻訳等、言語上の問題を検討することが重要である。

質問項目はすでにみたように

- (1)日本の調査結果がすでにあり、これを比較の対象となる社会で調査して比較する場合
- (2)逆に比較の対象となる社会における調査がすでにあり、それを今回の比較調査にとり上げる場合
- (3)今回の比較研究調査のため作成した新しい質問項目

の3種類になる。いずれの場合も質問文は比較の対象となる社会(国)の言語(日本語、英語、フランス語、ドイツ語、米語)の質問文が必要で、それぞれの言語による質問文には調査実施上、測定手段としての同等性が必要となる。

これを検討するには

- A: 翻訳→再翻訳の過程を通して同等性を検討する一(これは言語上の同等性である)
- B: 翻訳の適否を検討吟味する調査をおこない、調査結果に基づく同等性の検討をする一(これは実際の調査場面における同等性の確保に通じる)

等が考えられる。(1978年日米比較調査の際の検討手順について詳しくは、林・鈴木(1986)「社会調査と数量化」第II部を参照のこと)

まず、質問文の翻訳、検討、および調査票作成の経緯や検討した手順について、概要を示す。

- (1) § 2.1でのべたように調査に取り上げる質問項目(具体的な質問文、回答選択肢の文)を選択した。
- (2)それぞれの質問項目について、対応する日本語の訳文、および英語の訳文を作成し、これを比較調査のため他の各国語に翻訳する元になる質問文とした。(この多くはすでに1983年ハワイ・ホノルル市民調査および1978年アメリカ調査に利用した質問文であり、その他の質問文は、GSS調査のもの、あるいはEC調査のものがあり参考とした。フランスからの質問文はフランス語質問文に英語の訳文をフランス側で作成したものを参考にした)
- (3)この比較の元となる質問文を、イギリス、フランス、ドイツの調査機関でそれぞれ本国調査用の質問文に翻訳した。
- (4)これらの質問文をそれぞれ日本語に翻訳し、元となる質問文と比較検討した。(Aタイプの検討)
- (5)この検討結果により各調査機関と問題点を協議し、プリテスト用の調査票を作成した。(プリテストでは、翻訳質問文の理解度等のチェック、たとえば、用意された回答選択肢以外の回答の出方一すなわち、質問文

の内容がはっきりしているかどうかという明確さの程度、あるいは調査員の回答処理の仕方、調査対象者が回答するまでにどのくらい考えたか一等について検討すると共に、いくつかの質問項目では翻訳質問文を二種類作成して、どちらがよりよいかを検討した。また、質問順序をかえた二種類の調査票を作成し、どちらの順がよいかも合わせて検討した（これはBタイプの検討と考えられる）

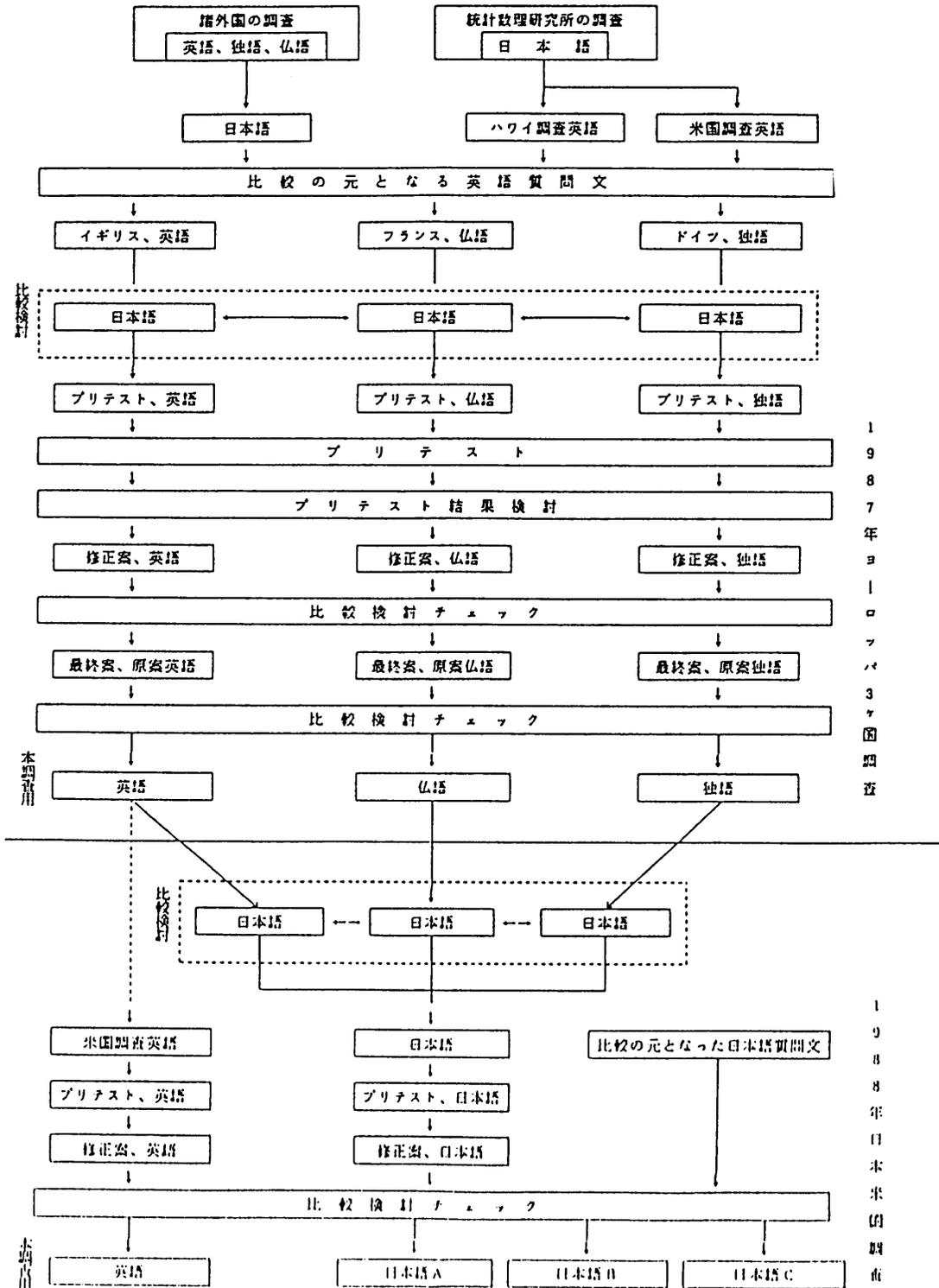
- (6) プリテスト調査結果を各国調査機関の担当者が持ちより、研究者と合同検討会を開いた。質問文、回答選択肢、質問提示方法について一項目ずつ検討をおこない、修正案を作成した。
- (7) 各国の修正案を比較検討すると共に各調査機関の担当者も相互に調査票修正案を検討し、質問文の中の不用意な翻訳ヶ所の修正、および回答選択肢の同等性の検討および質問提示方法（回答をよみ上げるか、回答用リストあるいは回答用手持カードを回答者に提示するか等）のチェックをおこない、最終案を作成した。
- (8) 各国の最終案について比較検討をおこない、イギリス、フランス、ドイツの3国における調査を実施した。
- (9) これらの3カ国で使用した英語、フランス語、ドイツ語の各質問文を日本語に翻訳し、相互に比較検討すると共に、比較調査の元である日本語質問文とそれぞれの翻訳文を比較検討した。
- (10) この結果、多くの質問項目では、比較の元である日本語質問文と実際に各国で調査した質問文の日本語への再翻訳質問文はよく合っていると考えられ、また、各国相互の比較においてもよく合っていると考えられた。
- (11) しかし、比較の元である日本語質問文と各国で実際に調査した質問文の日本語への再翻訳質問文とが多少異なっており、しかも、各国で実際に調査した質問文の間ではあまり差はなく、よく似ているという場合がみられた。
- (12) また、いくつかの質問項目では、各国の質問文の日本語への再翻訳文に多少の違いがみられた。
- (13) したがって、(11)、(12)のような質問項目については、日本調査において、日本語調査票をA、Bの二種類作成し、翻訳←→再翻訳の過程における質問文（回答選択肢の翻訳も含む）のユレの影響を検討することにした。
- (14) 1988年日本調査の日本語調査票は上へのべたようにA、B二種類としたが、この際、1978年日米比較調査（および1983年ハワイ・ホノルル市民調査）以来問題が提起され未解決になっていたいくつかの問題点も合わせて検討することとした。（これについては節をあらためてのべる）

以上のような手続きにより、5カ国比較調査をおこなった。質問文の検討、調査票作成の経緯についてその手順をフローチャートの形に整理してみるとつぎの流れ図のようになる。

＊＊図 質問文の検討，調査票作成の経緯＊＊

特別推進研究「意識の国際比較方法論の研究」

－ 質問文の検討、調査票作成の経緯 －



上でとり上げなかったアメリカ調査については、比較の元になる調査票として、1978年アメリカ調査の調査票および1983年ハワイ・ホノルル調査の調査票があるので、これを基礎とし、今回の5カ国比較調査で新しくつけ加えられた質問項目の質問文はイギリスで利用した質問文を参考とした。アメリカの調査機関の担当者と協議し、プリテスト調査票を作成した。プリテストの結果、アメリカ調査用の調査票を確定した。この際、1978年アメリカ調査と今回の調査と共通する質問項目について、その質問順序が異なるところがいくつか存在し、問題となったが、プリテストの結果、今回の国際比較調査の質問順でよいことになり最終調査票は5カ国共通の順である。

注1 Aタイプの検討の手順の一部(林・鈴木(1986)「社会調査と数量化」岩波書店 PP18-19)

a) 検討の手順

検討の手順を図式的に示すと、図のようになる。

*** 質問文翻訳検討の手順

すなわち、原日本語質問文を英語に翻訳する場合には、英語に翻訳した質問文が、英語圏では調査可能になるように考えており、調査実施に当たっては、実際の調査経験豊かな専門家による検討を加えて調査票にまとめている。

したがって、この実際に利用した英語調査票にある質問文が、もとの日本語調査票の原質問文と同等であるかどうかの問題となる。この問題を検討する一つの方法がここで述べている質問文の翻訳←→再翻訳による検討になるわけである。再翻訳の場合は調査に利用した英語質問文を原日本語質問文を全く知らない翻訳の専門家に、できるだけ英文に忠実に翻訳してもらい、このようにして日本語に再翻訳された質問文を原質問文とつき合せて検討することにした。

このとき、

- 1) 質問の意味は損なわれていないか?
- 2) 質問のねらいが損なわれていないか?
- 3) 日本文として両者のくい違いはどうか?
- 4) 言外の意味、ニュアンス等のくい違いはどうか?

等について検討した。

3 和訳の問題点、質問票の決定

国際比較研究をおこなうとき、日本が「元になる調査票」の原案を作成し、これを、比較の対象となる各社会(国)で利用する調査票に翻訳して調査を実施するという場合、あるいは、諸外国で実施された調査と比較するために、それらの調査票の質問文を日本語に翻訳して、比較調査に利用する場合、このどちらの場合にも問題になることは多いが、とくに、つぎのような点はいつでも問題になる。

(賛成あるいは反対などの回答をさらに細かく分けて)程度を聞く場合
<例> ‘賛成’、‘反対’の回答を‘非常に賛成’、‘やや賛成’… ‘や

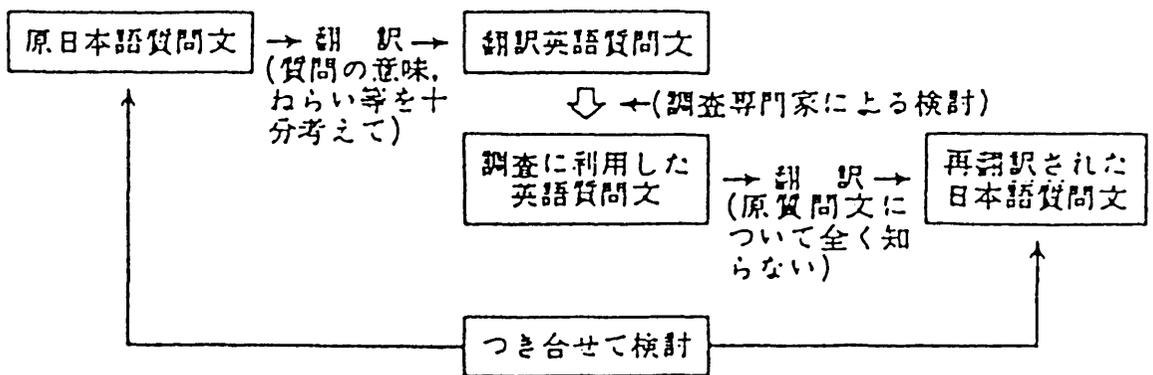


図 II-8 質問文翻訳検討の手順

や反対’、‘非常に反対’等とするときの翻訳…これは多くの場合は外国語の調査票から日本語に翻訳して比較調査をするとき問題となる。

何かと比較するときの質問文等

<例>問 あなたは健康な方ですか？など…これは「あなたは、あなたと同じ年代の人とくらべて健康な方ですか？」、あるいは「あなたは、世間一般の人（ほかの人）とくらべて健康な方ですか？」等の形で英語等に翻訳される…比較調査のとき問題が生じる可能性がある。

日本的な色彩の強い表現の時

<例>‘恩返し’‘恩人’‘親孝行’等を英語等に翻訳するとき、その質問文に沿った形で説明を加え、理解し易くする形にする…これは比較調査のとき注意が必要になる。

外国の質問文を翻訳して比較調査するとき、直訳調の質問文ではなく、多少意識あるいは翻案して利用する場合、（質問文を日本語らしくして調査の実施を容易にする意図で）…これも比較調査のときは注意する必要がある。

しかし、これらの問題点が、実際に比較調査のときの障害になるのかどうかは、これまでに、ほとんど研究はなく、内容的にはっきりしていない。今回の比較調査では、前節の質問文作成の経緯でもふれたように、日本調査を実施するまでに2回翻訳←→再翻訳の検討をおこなっている。そこで出て来た問題点を集約・整理し、いくつかの質問項目については、「比較の元になった質問文及び回答選択肢」と「再翻訳された質問文及び回答選択肢」とを対比して、比較検討できる形の調査計画を立てることにした。ここで考慮した検討事項は、上にのべたことに対応して、

程度を表わす副詞の有無

何かと比較するときの比較の対象を質問文に入れるかどうか

日本的な色彩をもつ質問文の文章をふつうの説明文でおきかえる

意識、翻案の程度の強い質問文を翻訳調に戻してみる等のほか、1978年アメリカ調査の際の翻訳検討以来、懸案となっていた「子供に金は大切と教えるか」の質問項目の、「金は最も大切」と教えるという文を、「金は最も大切なものの一つだ」と教えるという形にして比較検討することにした。（1978年アメリカ調査では…the most important…としたが、今回は…one of the most…とした）その他、日本語→英語（フランス語、ドイツ語）→日本語の翻訳の過程で変わってしまった質問文も検討することにした。

このようにして、1988年日本調査ではA型、B型2種類の調査票を作成して<翻訳のユレ>ともいうべきものを比較検討できる形の調査とした。このうち、A型は比較対象の4カ国の調査票の質問文の翻訳に近い形の質問文を利用し、B

型は元の形の質問文を利用した。翻訳の問題を比較検討する質問項目は24項目になり、この他、翻訳の検討以外の質問文の文章あるいは回答選択肢の文章の検討のため2項目を加えた。したがって、1988年日本調査の2種類の調査票A、Bで質問文の異なる質問項目は26項目になる。これらの質問項目は一つ一つ上げないが、質問文あるいは回答の異なるところを示した一覧表を示しておく。どの質問項目が、上にのべたどの検討事項に該当するかを、A型、B型の質問項目(質問文及び回答選択肢)を対比し比較検討すると、調査結果が同じようになる項目もあり、異なるところもあり、その程度もさまざまで、「翻訳のユレ」の問題は抽象的・観念的議論は避けるべきであることがわかる。

ここでは、一覧表により各質問項目と検討事項との関連を例示しておく。

検討事項	質問項目
<程度>	問1、問2、問2、(問16)
<比較の場合>	問11
<日本的文脈の説明>	問12、問35、問45、問47、問49、(問64)
<意識・翻案>	問20、問23、問30、問39 問46、問51、問52、問53 問71
その他	1) 最も大切→最も大切なものの1つ…問33 2) 調査実施上生じたもの…(問16)、問17、問34、問44、 (問64)
	翻訳検討とは関係ない項目…問22、問73

日本調査A、Bで異なる質問の表

以上のような調査における質問項目の翻訳に関連する事は、日本の場合だけではなく、諸外国にもあるものと予想される。また、社会が異なれば、同じ言葉でも意味が異なって伝えられる可能性もあるわけで、この意味では、国際比較研究における調査方法論は経験の蓄積により分析・検討を行い一步一步進む以外にない。

今回の調査表を比較対象の各国における研究協力者と検討した際、「翻訳のユレ」の問題について討議したが、実際の調査データに基づくものは少なく、今後の研究にまっところが大きいと思われる。

1、2のコメントを例示すると：

日本におけるA、Bの比較検討事項と関連する点の1つは、ドイツ語では例えば回答が‘よい’の場合、ただ‘よい’というだけでは不十分という意識があるので、調査の回答では‘非常によい’ということが多く、回答記入欄を用意するのが普通である。という指摘があった。また、問35の‘しきたり’が1987年ドイツ調査の質問文では‘普通の慣習’というよりも‘掟’に近い印象があり、この影響でドイツ調査の回答結果は‘押し通す’の比率が高くはならないだろうという指摘があったこと等である。

具体的な質問項目の質問文及び回答選択肢の翻訳等に付いては特別推進研究「第4部〔Ⅲ〕§2翻訳の検討」の項を参照のこと。そこには、翻訳検討に取

日本調査 A、B で質問文が異なる質問

			A	B
問1	#7.30B	日本人の生活水準	1 非常によくなった 2 非常にわるくなった	1 よくなった 2 わるくなった
問2	#7.30A	生活水準 10 年の変化	1 非常によくなった 2 非常にわるくなった	1 よくなった 2 わるくなった
問3	#7.31	今後の生活水準	1 非常によくなるだろう 2 非常にわるくなるだろう	1 よくなるだろう 2 わるくなるだろう
問11	#4.11	先祖を尊ぶか	普通より先祖を尊ぶ方	先祖を尊ぶ方
問12	#4.10	他人の子供を養子にするか	養子にとって	養子にもらって
問16	#1.8	社会的階層	もとのまま 1上 2中の上 3中の中 4中の下 5下	上 _____ 下 1 2 3 4 5
問17	#7.81	収入か余暇か	1 収入が増えること 2 余暇が増えること	1 欲しいものがもっと買える 2 自由な時間がもっと長く
問20	#7.24	就職の第1の条件	1 お金のことを気にしないで	1 かなりよい給料がもらえる
問22	#2.4	くらし方	もとのまま 1 一生懸命働き 2 まじめに 3 金や名誉	条件文をカット 1 持ちちに 2 名を上げる 3 自分の 4 のんきに
問23	#2.3F	生活環境満足か	環境や住やすさ 1 満足	生活環境 1 満足
問30	#7.19	才能か運か	今の社会で成功している人をもて	人の成功には
問33	#4.5	子供に金は大切と教える	最も大切なものの1つだ	とても大切なものだ
問34	#8.1B	政治家にまかせるか	その人達にまかせる 3いちがいに	その人にまかせる 3いちがいに
問35	#2.1	しきたりに従うか	世間の慣習	世のしきたり
問39	#4.31	家事や子供の世話	3男性、女性の区別なくやるべきだ	3 男性と女性で公平に分担すべきだ
問44	#7.4	国と個人の幸福	国	日本
問45	#5.1D	大切な道徳	a 親に対する愛情と尊敬 b 助けてくれた	a 親孝行 b 恩返し
問46	#5.6H	他人との仲か仕事か	1 仕事はあまりできない	1 仕事の上ではバツとしない
問47	#2.2B	スジかまるくか	一定の原則に従う、他人との調和	スジを通す まるくおさめる
問49	#5.1C2	入社試験(恩人の子)	昔世話になった人の子供	恩人の子供
問51	#2.12	他人のためか自分のためか	自分のことだけ考えている	自分のことだけに気を配っている
問52	#2.12B	スキがあれば利用されるか	機会があれば	スキがあれば
問53	#2.12C	人は信頼できるか	常に用心した方がよい	用心するにこしたことはない
問64	#3.3	宗教は1つか	独自の教えを説いている	立場が違う
問71	#3.8	社会は変えるべきか	1 根本的に 2 徐々に 3 あらゆる階級的勢力から守り 通す	1 一舉に 2 悪いところは少しずつよくして 3 守り通す いく
問77	#8.7	支持政党	しいていえば何党を支持しますか	しいていえばお考えに近い政党は

§ 3. 各国における調査の実施

1 調査実施の調査機関

各国における調査の実施は、比較の対象となるそれぞれの国における調査機関に委託した。その際、この研究調査の目的等からみて以下の諸点に留意した。

すでにのべたように、本研究における比較調査は、質問項目の選定において、これまでに実施されている諸調査のそれとの比較を最大限に考えるとともに、信頼できる継続調査の質問項目をも含むように計画しており、異なる社会の間の比較調査研究における比較可能性を高めるように計画している。さらに、調査実施には、対象となるそれぞれの社会の調査環境、社会的文化的背景を十分に考え、調査結果の中に、不測の偏りや調査誤差（非標本誤差）が入り込まないようにする必要があるばかりでなく、比較の対象となった各社会（国）における調査の技術的水準が一定水準以上であり、調査結果の比較可能性が高いことが決定的に重要である。このことから調査実施に当たる機関として次のことが重要である。

- 1) 比較の対象であるそれぞれの国において、信頼できる調査結果を得るためのサンプリング技術（全国調査の）および調査技術等の経験が豊富であること
- 2) これまで継続調査の実施経験が豊富であること
- 3) これまで国際比較調査の実施経験が豊富にあること
- 4) これまで学術的研究調査に経験が深いこと
- 5) 国際的な調査機関の連合体に加盟していること

等である。さらに、研究の目的からみて、単にデータを取得して統計的分析を加え、それぞれの対象社会の人びとの意識の特徴（‘ものの考え方’、価値観等）をみるだけではなく、他の社会における結果と比較検討するときの比較可能性をより高めるためには、調査企画・実査の各段階における作業内容が明確に把握されなければならない。

したがって、

- 6) 調査企画・サンプリング実施上の詳細資料による誤差計算の実績があり、その技術水準が客観的に把握できること。
 - 7) 質問文作成・回答記録様式作成・調査票構成・調査員に対する指示要領等、実査の基本的諸段階における実績の評価・検討に関する研究実績があること。
 - 8) 調査票構成、実査、データ整理の各段階において研究者の指導・監督が十分に容易にできること
- 等が望まれる。

比較の対象となった各国における調査実施には、現地の研究協力者の意見も参考にして、下記の諸調査機関が調査を実施した。

比較の対象となった各国における調査実施には、現地の研究協力者の意見も参考にして、下記の諸調査機関が調査を実施した。

ドイツ：EMNID-Institut GmbH
Bodelschwinghstrasse 23-25a
D-4800 Bielefeld 1
Tel. 49. 521. 260. 010

フランス：Falts et Opinions
25, rue Cambon,
F-75001 Paris
Tel. 331. 42. 96. 41. 65

イギリス：Research Services Limited
Station House
Haarow Road
Wembley HA9 6DE
England
Telephone 01. 903. 1399

アメリカ：The Gallup Organization, Inc.
53 Bank Street,
Princeton, New Jersey
Phone : (609) 924-9600

日 本：新情報センター
〒100 東京都千代田区永田町2-10-2
TBRビル
電話03(3580)5231

これらの調査機関により、プリテストおよび本調査が実施された。

以下、プリテストの実施およびプリテスト結果の検討経過のうち、本研究調査の全体計画に影響を与え、調査結果の比較検討において留意すべき諸点についてのべる。

2 プリテスト

プリテストにおいては、すでにのべたように、翻訳質問文の理解度等を検討するとともに、回答型式、回答記入様式、質問提示の型式（質問文だけ読み上げるか、質問文とともに回答選択肢まで読み上げるか、回答選択肢をリストに

査に利用した質問形式、回答形式にならったものである。

この調査票原案にもとづき、二種類のプリテスト用調査票を作成した。プリテストにおける検討事項は

各質問項目の質問順序

回答記入欄に、プリコードの回答選択肢および「その他」の回答を記入する欄を用意するかどうか

質問提示の形式として回答票リスト（提示カード）を利用するかどうか等である。

1)については、プリテスト用調査票作成の段階で、実際の本調査に利用した調査票の質問順序に近いものが提案され、この一部分を原案のものに入れかえて、プリテスト用の調査票（青）を作成し、原案通りの調査票（黄）と比較検討した。この結果、原案ではなくプリテスト用調査票の質問順序を採用した。（この質問順序は調査票参照。）

2)については、「回答記入欄に、プリコードの回答選択肢以外の「その他」の回答を記入する欄を用意することは、面接調査員に、調査に対する負担感を増大させる要因となるから、極力減らす方がよい」という考え方と、「その他の回答が多少でも出る場合には「その他」の回答を記入できるようにした方がよい」という考え方があり、プリテストでは、各質問項目における「その他」の回答の出方を検討した。その結果、各国における「その他」記入欄はそれぞれ異なることになった。これは、各国の調査実施が円滑にいくことを優先して考えたからである。各国における各質問項目ごとの「その他」の記入欄の有無の一覧表を、第2部〔付録〕調査票と総括表にまとめて示す。また、プリコードの回答選択肢のコード順も、2、3の質問項目では、各国の調査で異なっている。これもそれぞれの国の実情によると考えられる。（第2部〔付録〕の質問項目の履歴一覧の注参照）

3)については、日本における考え方と、2、3異なる考え方が示された。その1つは程度に関する回答の場合である。日本では、程度を示す回答選択肢を並べた回答票リストを提示して、回答者が容易に回答できるようにしている。しかし、これらの質問項目ではほとんど回答選択肢を読み上げる形式でよいという考え方である（注1）。また、回答選択肢が、割合簡単な二項選択の場合にも読み上げの形式がとられることがある。一方、支持政党では多数の政党がある場合、回答票リストを示して選択させる形式をとる。したがって、質問提示の方式も各国で多少異なることになった。しいていえば、原則として、回答選択肢が3肢以上では、程度をきく場合を除き各国同一になる。また、多数の

3 調査結果の安定性についての例示

この国際比較調査は、質問項目の選定過程からも分かるように、1978年日米比較調査および1982年フランス調査の質問項目と共通の質問項目が多数含まれる。

ここでは、これらの共通質問項目の調査データを対比して例示する。

<例1> CREOOCの実施した1982年フランス調査と、今回の1987年フランス調査の共通項目の調査結果による比較：これはこの5年間の時期的ズレによる変動と調査主体の違いによる変動とを含んでいる。1987年フランス調査の共通項目に対する回答の比率を横軸に、1982年フランス調査の回答比率を縦軸にとり、各質問項目の回答カテゴリを点打ちしたものが次の図1である。図の作り方から分かるように、各調査における調査誤差および5年間の時期的ズレにもかかわらず回答結果の比率に変化がなければ、45°の対角線上に点が位置することになる。図1をみると、45°の対角線からややハズレ方の大きい点（M、Y等）もみられるが、全体としてよく合っているといえる。各調査の調査誤差および時期的ズレ等を考えれば、調査データは安定しているといえる。また、くい違いの大きい項目が「フランス人の生活水準の評価（問2）」、および「省エネルギーは重要か（問59）」等、時期的な回答変化が予想される項目であることも調査結果の信頼性につながるものといえる。（全体として両調査データの相関は相関係数=0.97である）

このフランス調査に対比して、日本調査の比較をしてみる。利用した調査データは、統計数理研究所の日本人の国民性調査委員会の実施した1983年日本人の国民性調査と、今回の1988年日本調査の共通項目（フランス調査との共通項目）の調査結果である。

結果を図1と同じように横軸に1988年日本調査（A）の結果比率を、縦軸に1983年の国民性調査の結果比率をとり各質問項目の回答カテゴリごとに点打ちしてみると図2のようになる。各調査の標本誤差、5年間の時期的ズレ、調査主体のちがい等を考えに入れてみると、両調査の結果はよく安定しているといえる（両調査の相関はやはり相関係数=0.97となる）、ここで両調査の間のズレがやや大きい項目（EとM）についてみると、これは「生活環境満足か（問23）」と「日本人の生活水準の評価（問2）」でフランス同様、この5年の間に変化が予想される項目である。

これからみると、日本調査、フランス調査とも同程度に安定性が高いといえることができる。

さらに、これらの質問項目について、回答の相互関連分析をおこなった結果では、回答構造について日本、フランス共に時期的変動はほとんどなく、全く安定していることが確かめられている。これはアメリカを含めた分析でも日本、

事項について、あり、なし等の同じことをくり返して質問する形式の質問項目の場合、日本調査では、回答票リストの形式で質問事項を一覧できるリストを提示して回答してもらう形式である点も異なる。各質問項目ごとに回答票リストを、使用したかどうかの一覧表をやはり第2部〔付録〕に示す。

以上のようにしてプリテストの際の検討において、本調査用の調査票の骨組が確定し、本調査が実施された。（注2）

本調査の実施状況については、すでに、§1 標本調査のデザインの項で要点を示しておいた。また詳しくは、特別推進研究の資料1～5「各国調査のコードブック及び付属資料」を参照のこと。

（注1）たとえば、今回の調査票では問1～問3などがそれに該当する。日本調査では、回答の安定性を考えて、程度を示す回答票リストを提示して回答者に選択させている。これは口頭の場合、調査員の判断が入り込み、その分が調査誤差の要因となる可能性があると考えからである。一方、比較対象の4カ国では、回答を読み上げる方式をとる。程度を細かくきく場合、回答選択肢は *much* (*beaucoup, viel*) あるいは *very* (*tres, sehr*) 等がついたものがつけ加わるだけであるから、回答選択肢を並べた回答票リストを用意し、回答者に提示するまでもないということである。しかし、ドイツで実施した実験調査では、読み上げ様式と、カード提示方式とで、調査結果は多少異なる。

（注2）プリテストにおいて検討した質問項目の質問順序、回答形式、および質問提示の形式では、いずれの場合も、調査対象者（回答者）および調査員に対して、調査の負担感を余分にはかけないように考え、しかも調査結果の信頼性、安定性を確保するように考えた方式が選択された。

これは比較の対象となった各社会（国）における調査の方式全体の形式的な統一をとることを考えるより、それぞれの社会（国）で継続して、くり返し調査されている安定した方式に基づいた調査方式をとる方が比較研究上望ましいという考え方による。

第1部第2章のはじめにもふれたが、調査は多数の人々の合意と協力があってはじめて成り立つ大きなシステムである。したがって、これまでに、やや詳しくのべたように、調査のシステムを適切に運用することが、比較可能性を高めることになる。

調査の結果得られた調査データは、調査を企画したとき意図したような抽象的なものではなく、具体的な調査過程を経て、それぞれの段階で利用した方式に関連して得られたいわば人工構築物である。ということを念頭において調査結果の分析・検討を進めることが重要である。

3 調査結果の安定性についての例示

フランス、アメリカの3極構造に変化のないことが示されている（特別推進研究報告書第5部 発表論文2, Suzuki(1989)参照のこと）。また、参考までに、比較にとり上げた各調査の回答比率を一覧表にしておく、図1および図2の図中の記号は表の一番左欄のA B…に対応している。表中の回答比率は回答選択肢をまとめた形で示してあるので注意すること（詳しくは第2部〔付録〕調査票と総括表の単純集計表の国別一覧を参照のこと）。

＊＊ 図1 フランス調査データの安定性＊＊

＊＊ 図2 日本調査データの安定性＊＊

＊＊ 回答分布の一覧表＊＊

<例2> 1978年アメリカ調査と今回の1988年アメリカ調査の共通質問項目の調査結果による比較：

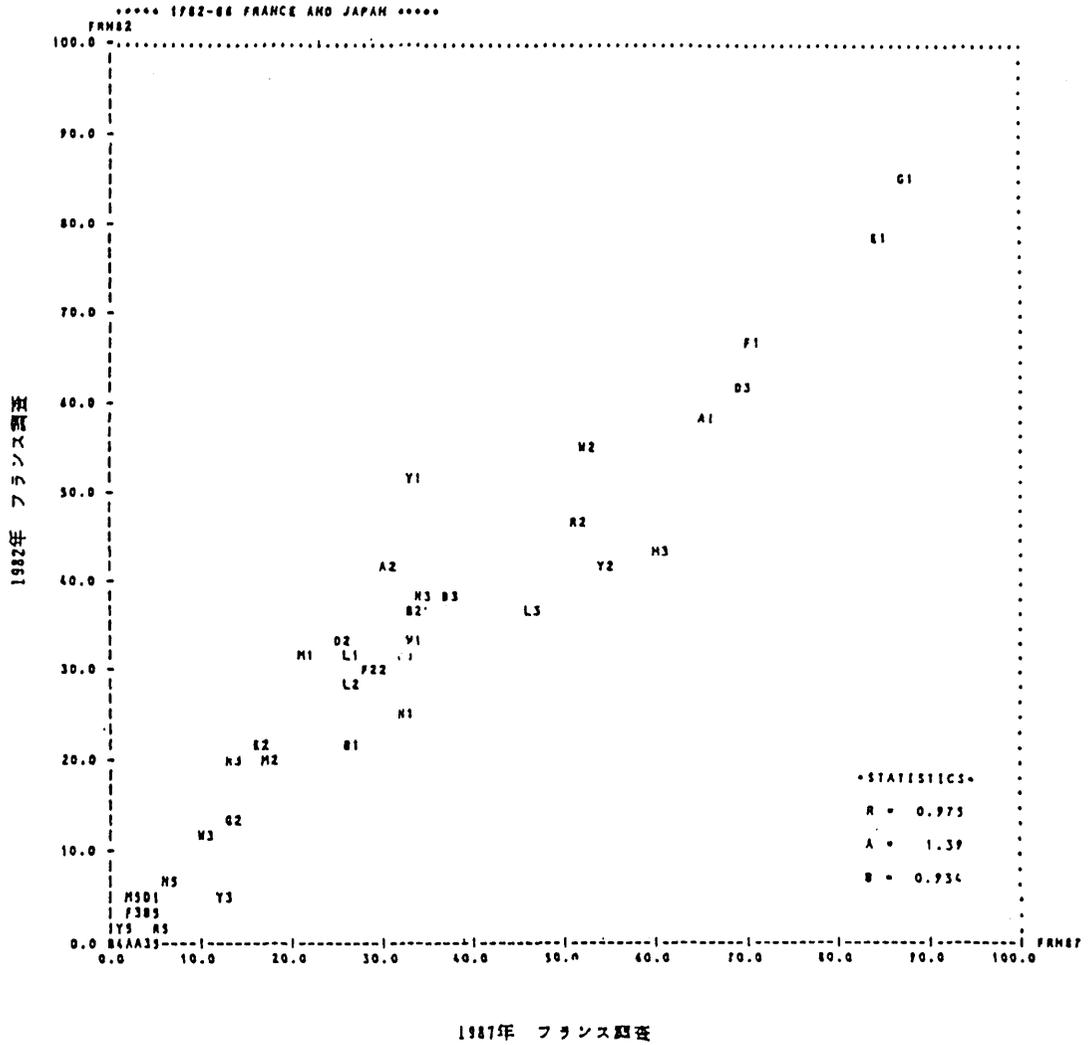
これは、この10年間の時期にズレによる変動を含んでいる。例1のフランスのときと同じように、日本・アメリカ両調査に共通の項目をとり上げ、その回答比率について、横軸に1988年アメリカ調査の共通項目に対する回答の比率をとり、縦軸に1978年アメリカ調査の回答比率をとり、各質問項目の回答カテゴリを点打ちする。結果は図3のようになり、フランスの場合同様の図が得られる。10年の時期のズレを考えに入れれば、1978年調査と1988年調査の調査データは安定しているといえる。

この図からみて、くい違いの大きい項目D、I、Nが目につく。しかし、Dは「子供に「金は大切」と教える（問33）」の項目であり、前節でのべた通り1978年調査の質問文も「the most important…」を今回の1988年調査では「…one of the most important…」とした。このため、「賛成」が増え、「反対」が減少するという影響がでたことになる（これは予想された結果といえる）。

また、Iは「先祖を尊ぶか（問11）」の項目であり、この項目も前節でのべたように日本調査で質問項目の比較検討の対象とした質問項目の1つである。日本では「あなたは先祖を尊ぶ方ですか」と「…普通より先祖を尊ぶ方…」とを比較しているが、アメリカ調査の場合は1978年調査では「…平均より尊ぶか」であり、1988年調査では「平均のアメリカ人より尊ぶか」となっている。この質問文のズレの影響が出ているものと考えられる。

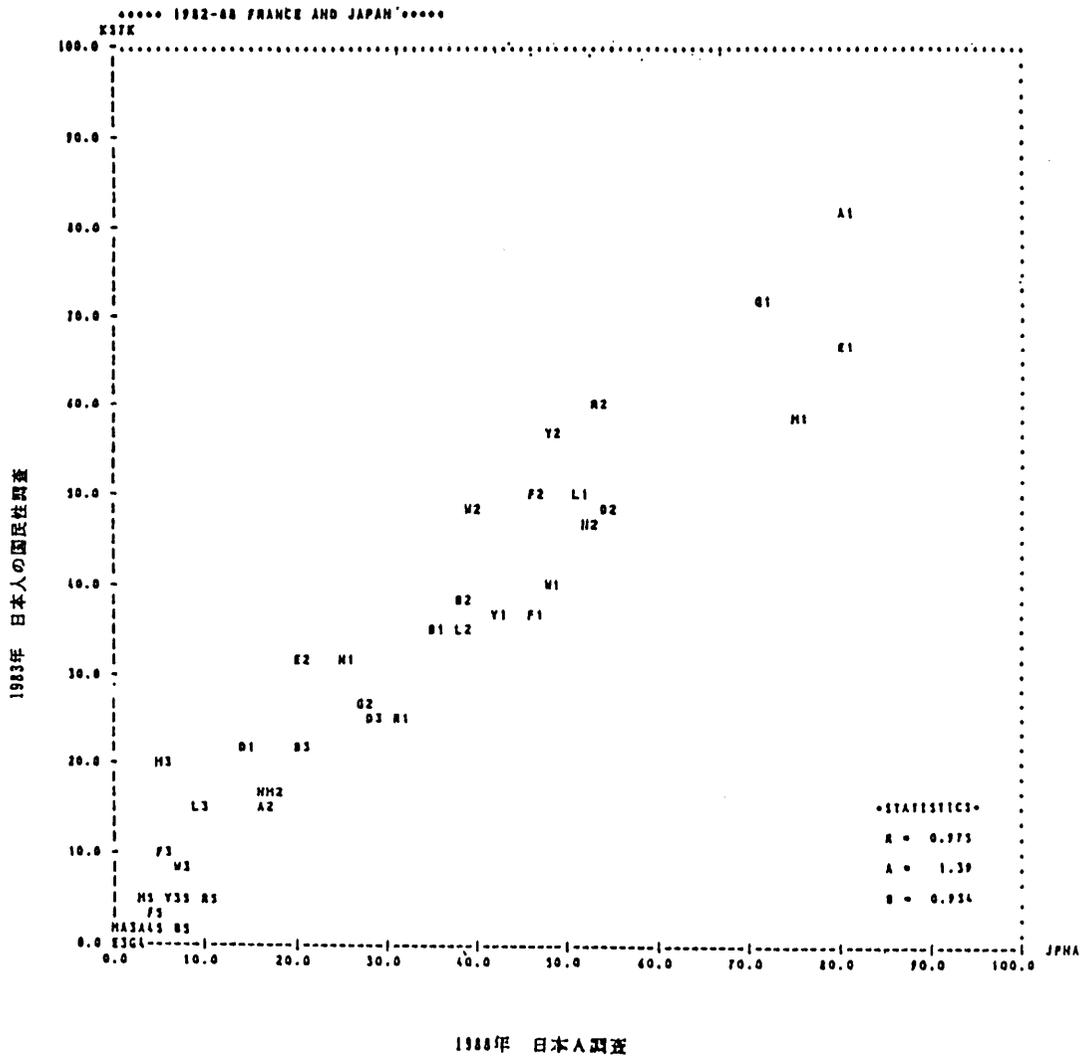
Nは「大切な道徳（問45）」の項目で、この項目も日本調査で質問文の比較検討の対象となった項目である。1978年アメリカ調査では、回答選択肢の「親孝行」、「恩返し」をそれらに対応する英語に翻訳して、あまり説明をしなかったが、1988年アメリカ調査では「親孝行」を「親に対する尊敬」、「恩返し」を「これまでに、助けてくれた人に報いる」等と説明している。この3項目が1978年調査と1988年調査とで質問文（あるいは回答選択肢）の文章がことなっていることは注目される。これ以外の項目の回答結果は、この10年間にほとんど変動していないといえ極めて安定しているといえることができる。（両調査の回答結果の間の相関は、相関係数=0.97でフランス調査同様である）

図-1 フランス調査データの安定性
 日本・フランス共通項目による5年間の動き (1982 - 1987)



1982年データの出所: CREDOC

図-2 日本調査データの安定性
日本・フランス共通項目による5年間の動き (1983 - 1988)



1983年データの出所： 統計数理研究所

回答分布の一覧表

	Q	質問項目	コ 1. 回答選択	記号	日本			フランス	
					1963	1968A	1968B	1962	1967
					2173	2265	1017	2000	1013
A	4.30 37	家庭はくつろぐ場所か	1. そう思う 2. そうは思わない 3. その他 4. D.K.	△ △	42.3 14.5 2.3 1.0	80.3 16.3 0.6 2.8	78.5 18.2 0.3 3.0	58.0 41.8 3.3 0.1	65.4 29.7 3.3 1.6
B	4.32 38	離婚すべきでないか	1. 離婚すべきでない 2. ひどい場合には離婚 3. 合意があれば離婚 4. その他 5. D.K.	△ △ △	35.3 38.7 22.0 1.7 2.3	35.4 37.7 19.5 0.7 6.8	35.2 38.5 19.0 0.6 6.7	22.3 36.8 37.9 3.0	25.9 33.3 37.4 3.5
D	4.31 39	家事や子供の世話	1. すべてが女性の仕事 2. いくつかは女性の仕事 3. 公平に分担すべき 4. その他 5. D.K.	△ △ △	22.5 48.7 25.4 2.4 1.0	13.6 53.7 28.3 0.8 3.5	14.7 61.0 20.9 1.0 2.4	4.3 32.8 62.4 0.4	4.4 25.4 68.6 0.5
E	2.3f 23	生活環境満足か	1. 非常に満足 2. 満足 3. あまり満足していない 4. 満足していない 5. その他 6. D.K.	○ ○	67.5 31.0 0.6 0.9	79.6 19.7 0.0 0.6	76.0 22.6 0.2 1.2	78.5 21.5	84.0 15.9 0.1
Y	7.34 59	省エネルギーは重要か	1. 非常に重要 2. 重要 3. あまり重要ではない 4. 重要ではない 5. その他 6. D.K.	□ △ ■	36.5 56.2 5.1 0.3 1.9	41.9 47.5 6.2 0.0 4.3	39.0 50.7 6.0 0.1 4.1	51.3 41.5 5.5 1.6	33.1 54.2 11.9 0.9
F	7.35 60	環境の保護は重要か	1. 非常に重要 2. 重要 3. あまり重要ではない 4. 重要ではない 5. その他 6. D.K.	□ △ ■	37.1 49.8 9.5 0.6 2.9	45.6 45.7 4.9 0.0 3.8	44.1 47.8 5.1 2.9 3.0	66.9 30.2	69.6 28.1 1.6 0.7
G	2.3g 15	健康状態満足か	1. 非常に満足 2. 満足 3. あまり満足していない 4. 満足していない 5. その他 6. D.K.	○ ○	72.4 26.3 0.7 0.5	71.1 26.5 0.1 2.3	72.8 25.3 0.1 1.8	85.8 14.0	87.0 13.0 0.1
L	7.30a 2	生活水準 10年の変化	1. よくなった 2. ややよくなった 3. 変わらない 4. ややわるくなった 5. わるくなった 6. その他 7. D.K.	○ ○ ○	49.3 35.3 14.5 0.2 0.6	50.9 37.9 9.2 0.1 1.9	53.4 35.5 9.7 0.1 1.5	32.5 28.8 35.9	26.1 25.9 46.2 1.8
NI	7.30b 1	日本人の生活水準 (フランス・フランス人)	1. よくなった 2. ややよくなった 3. 変わらない 4. ややわるくなった 5. わるくなった 6. その他 7. D.K.	○ ○ ○	58.6 16.0 20.2 1.0 4.3	74.9 16.7 5.3 0.1 3.1	74.7 17.0 4.6 0.1 3.5	31.1 20.4 44.1 4.5	21.1 17.1 60.4 1.5
N	7.31 3	今後の生活水準	1. よくなる 2. ややよくなる 3. 変わらない 4. ややわるくなる 5. わるくなる 6. その他 7. D.K.	○ ○ ○	31.1 46.9 16.4 1.2 4.5	25.0 52.2 16.3 0.0 6.5	27.8 50.3 14.6 0.2 7.1	24.4 30.3 38.1 7.2	31.8 28.5 33.8 5.8
W	7.36 55	科学上の発見・発明 は生活に役立つか	1. 役立っている 2. 少し役立っている 3. 役立っていない 4. その他 5. D.K.	□ △ ■	39.3 48.0 7.5 0.8 4.5	47.6 39.2 6.6 0.1 6.4	47.8 39.7 5.9 0.1 6.5	33.1 55.0 11.6 0.3	33.4 52.1 10.2 4.3
R	7.33 56	コンピュータ社会は 好ましいか	1. 好ましい 2. 好まれない 3. 危険なこと 4. その他 5. D.K.	□ △ ■	24.7 60.2 8.2 1.2 5.6	30.5 52.8 6.6 0.3 9.8	31.5 50.4 8.1 0.6 9.4	31.0 47.1 20.1 1.6	31.8 51.0 12.5 4.6

上にのべた3項目について1978年アメリカ調査で利用した質問項目は、特別推進研究第4部〔Ⅲ〕§2の翻訳の検討の各質問項目ごとの翻訳比較対照のところに示してある。(また、前節も参照のこと)

＊＊ 図 アメリカ調査データの安定性＊＊

参考までに、日本における10年間の時期的ズレによる変動の様相をアメリカ調査と共通の質問項目の回答結果について同様の図にして示すと参考図のようになる。

1978年および1988年のアメリカ調査は同一の調査機関によるものであり、この意味の調査システムの差はないと考えられたので、これと比較するため、日本調査の場合も、統計数理研究所の1978年および1988年の「日本人の国民性調査」の結果を利用した。

参考図をみると、これはほぼアメリカ調査の10年間の動きと同じであることがわかる。(相関は相関係数=0.96)

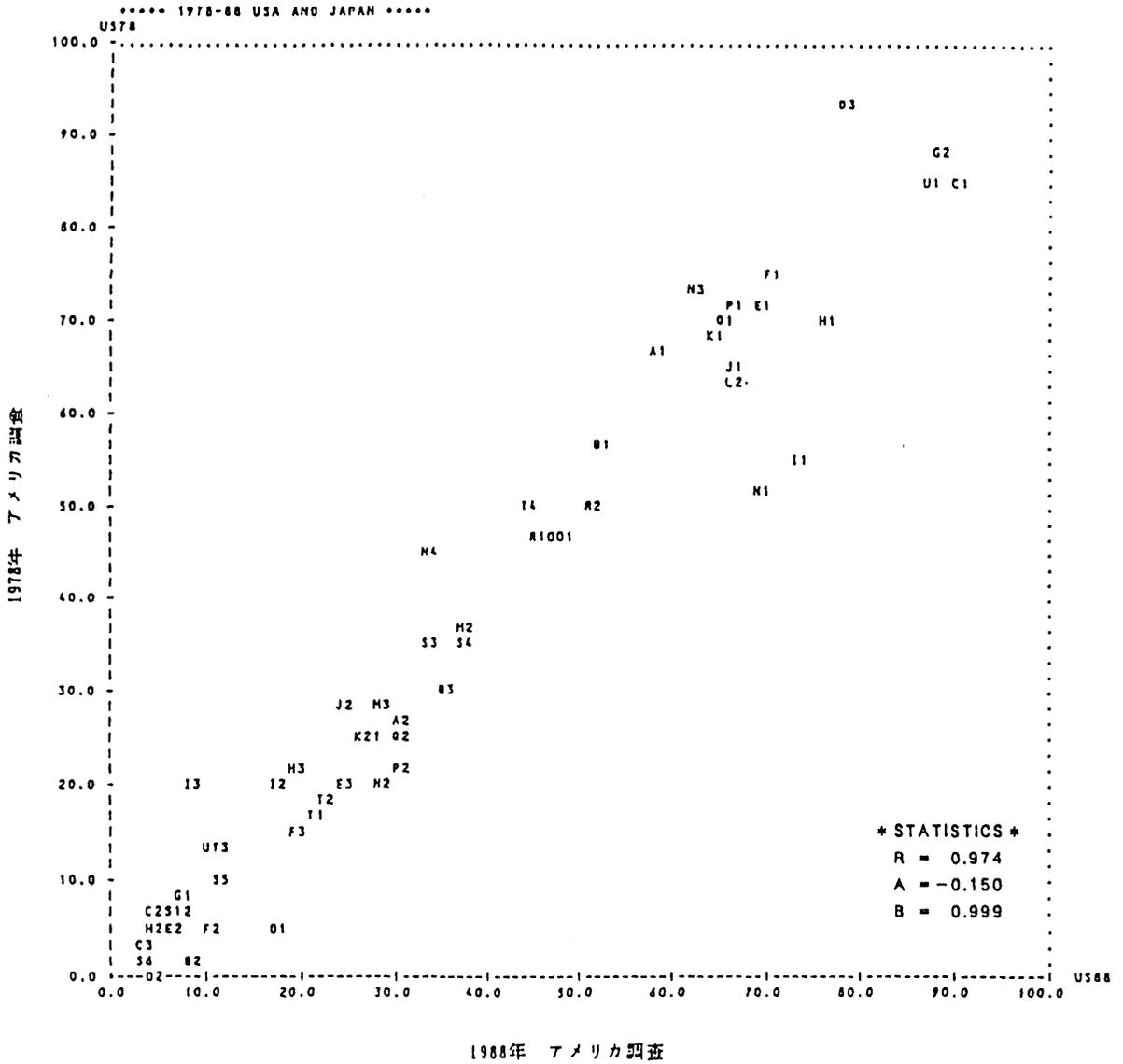
なお、比較検討した回答結果の一覧表は、本報告の主題をはずれるので、第2部〔付録〕の末尾につける。

＊＊ 図 日本調査データの安定性＊＊

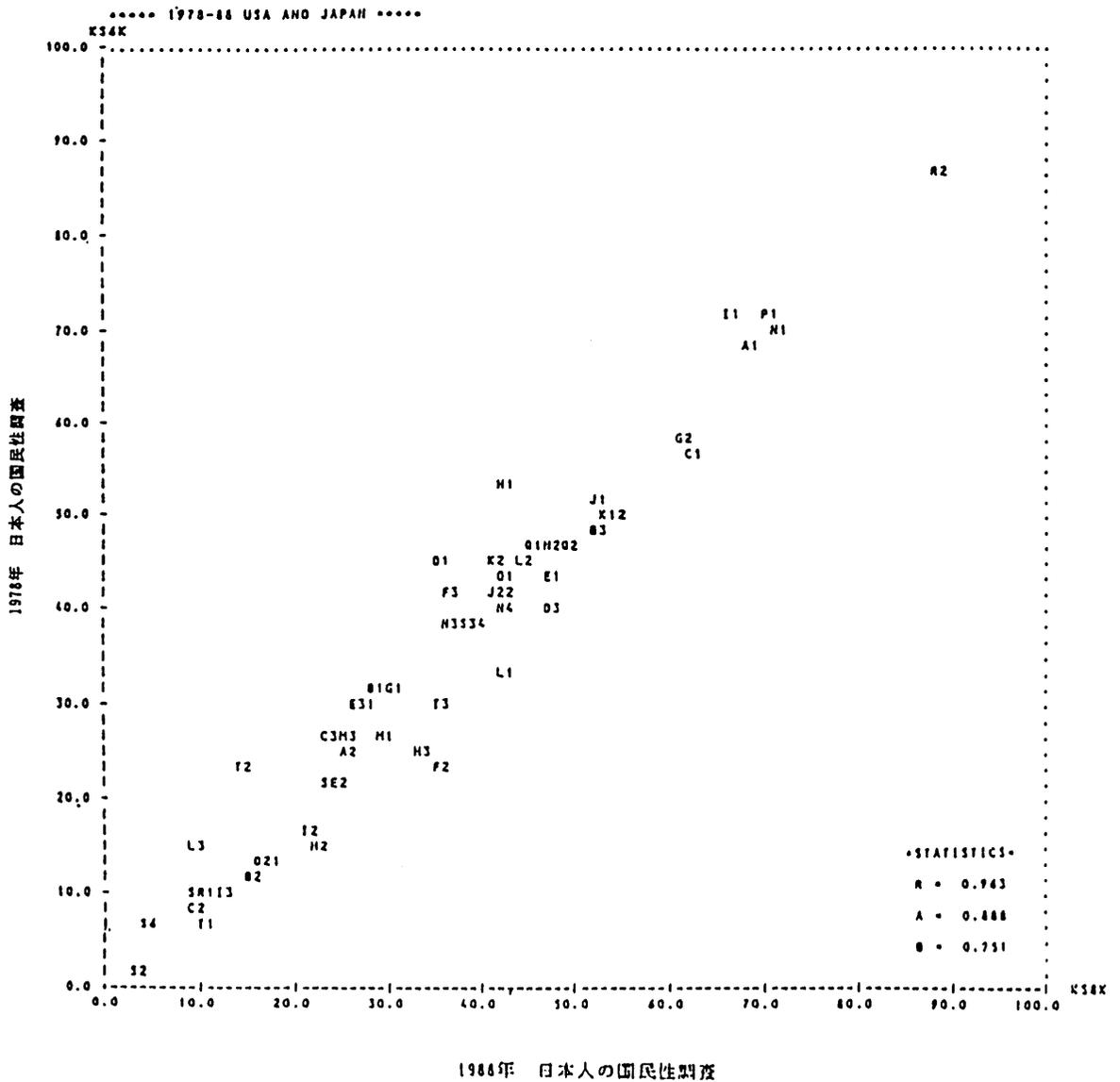
日本・アメリカの共通項目による10年間の動きを、1978年日米比較調査の結果および今回の1988年日本調査と1988年アメリカ調査の比較分析を行いその結果を対比して検討することは本報告書の主題からはなれるのでここではふれない。

以上の検討により、1987年フランス調査、および1988年アメリカ調査の安定性も確かめられた。全体として、今回の5カ国調査の調査結果は調査計画にほぼ沿ったものと考えられる。この調査データを基礎にして、調査結果の分析・検討へと進むため、各調査ごとのデータの整備をおこなうとともに、5カ国の比較分析用の共通ファイルを作成した。これらの詳細については特別推進研究報告書資料1～5、「各国調査のコードブックと付属資料」、および資料6「共通ファイルのコードブック」をそれぞれ参照のこと。

図-3 アメリカ調査データの安定性
日本・アメリカ共通項目による10年間の動き (1978 - 1988)



参考図 日本調査データの安定性
日本・アメリカ共通項目による10年間の動き (1978 - 1988)



1978年、1988年データの出所： 統計数理研究所

比較検討のために示した図-3及び参考図に用いた回答結果の一覧表

図の記号	問番号	1978 US (KSVI)	質問項目	回答選択肢	日本			U.S.A		
					KSVI K 2032	KSVI K 1858	KSVI K+M 3682	1978 1571	1988 1563	
A	18	2 (K-1)	一生働くか # 2.8 H-2	1.ずっと働く 2.働くのをやめる	69.1 24.7	68.5 24.9	65.3 27.6	66.7 27.5	57.8 30.4	
B	12	4 (K-3)	他人の子供を養子にするか # 4.10 H-4	1.つがせた方がよい 2.場合による 3.つがせないでもよい	32.5 11.6 47.8	28.4 15.1 51.6		57.5 2.0 30.6	52.3 8.2 34.5	順番注意
C	40	5 (K-4)	先生が悪いことをしたか # 4.4 H-5	1.ほんとうだという 2.場合による 3.そんなことはないという	56.9 7.6 27.1	62.2 9.4 22.7		84.3 6.7 4.0	90.3 3.8 2.7	"
D	33	6 (K-5)	子供に「金は大切」と教えるか # 4.5 H-6	1.賛成 2.いまいましい 3.反対	44.5 12.8 40.4	35.3 16.2 46.7		5.4 0.8 93.1	16.6* 4.1* 78.4*	"
E	32	7 (K-2)	人間らしさはへるか # 7.1	1.賛成(へる) 2.いちがいにはいえない 3.反対(不変、ふえる)	42.7 21.0 30.3	46.7 24.0 25.8		71.2 4.5 20.4	69.0 5.6 24.2	
F	35	8 (K-6)	しきりに従うか # 2.1 H-7	1.おし通せ 2.場合による 3.従え	30.1 24.1 41.6	27.0 34.6 36.0		74.3 5.5 15.5	69.9 9.5 19.4	"
G	34	9 (K-8)	政治家にまかせるか # 8.1b H-8	1.賛成(まかせる) 2.反対(まかせつきり はよくない)	32.3 58.2	30.0 61.0		8.3 88.6	7.4 88.2	
H	36	11 (K-12)	心の豊かさはへらないか # 7.2	1.賛成(へらない) 2.いちがいにはいえない 3.反対(へる)	52.7 15.4 25.3	42.3 21.6 32.6		70.0 5.3 21.7	76.1 3.5 19.0	"
I	11	14 (K-10)	先祖を尊ぶか # 4.11 H-73	1.尊ぶ 2.普通 3.尊ばない	72.1 16.0 10.3	65.5 21.0 11.5		54.9 20.7 20.6	73.1* 17.0* 8.1*	
J	41	15 (K-15a)	恩人がキトクするとき # 5.1 H-20	1.故郷へ帰る 2.会議に出る	51.3 41.8	51.9 41.2		64.5 28.5	66.3 24.4	
K	42	13 (K-15b)	親がキトクするとき # 5.1b H-21	1.故郷へ帰る 2.会議に出る	49.3 44.4	52.8 41.0		67.6 25.6	64.4 25.7	
L	43	17 (K-17)	自然と人間との関係 # 2.5 H-22	1.自然に従え 2.自然を利用 3.自然を征服	33.0 44.4 15.8	41.7 44.0 8.8		25.0 63.7 5.8	25.5 66.2 4.5	
M	44	18 (K-17)	国家と個人の幸福 # 7.4 H-23	1.個人→国 2.個人=国 3.国→個人	27.2 41.1 27.0	29.2 42.1 24.7		25.8 37.0 29.0	27.1 36.7 28.3	"
N	45	19 (K-18)	大切な道徳 # 5.1d H-24	1.親孝行 2.恩返し 3.権利尊重 4.自由尊重	70.4 47.4 37.7 39.3	70.8 47.2 35.8 42.0		52.1 19.5 74.0 45.4	69.3* 27.6* 62.2 33.1	
O	47	21 (K-13)	スジかまるるか # 2.2b H-28	1.スジを通す 2.まるくおさめる	43.9 49.9	42.1 54.1		46.5 46.5	47.6 47.1	

*印は質問文異なる

図 の 記 号	問 番 号	1978 US (KSVI)	質 問 項 目	回 答 選 択 肢	日 本			U. S. A	
					KSVI K 2032	KSVII K 1858	K+M 3682	1978 1571	1988 1563
P	48	22 (K-21a)	入社試験 # 5. 1c-1 H-29	1.1番の人 2.親戚の人	71.7 22.5	70.2 23.9		72.4 21.8	65.9 29.5
Q	49	23 (K-21b)	入社試験 # 5. 1c-2 H-30	1.1番の人 2.恩人の子	47.2 46.1	44.6 49.2		69.9 24.5	64.9 30.4
R	50	24 (K-22)	めんどうをみる課長 # 5. 6 H-31	1.めんどうをみない 2.めんどうをみる	9.5 87.2	9.7 87.9	9.9 87.3	47.2 49.5	44.9 51.4
S	22	26 (K-19)	くらし方 # 2. 4 H-26	1.金持ち 2.名をあげる 3.趣味 4.のんきに 5.清く正しく 6.社会につくす	13.9 2.0 39.1 21.6 10.7 6.6	17.1 3.2 37.9 22.7 9.4 4.0	15.3 2.7 41.1 23.0 9.0 3.8	7.2 6.7 35.3 35.3 10.2 2.0	6.1 7.2 33.2 37.1 11.2 2.8
T	20	33 (K-24a)	就職の第1の条件 # 7. 24	1.よい給料 2.失業の恐れがない 3.気の合う仲間 4.やりがいのある仕事	6.8 23.4 30.1 38.0	9.5 14.4 35.1 38.8	9.9 15.5 35.7 36.4	16.2 18.7 13.9 49.4	20.9 21.6 11.3 43.6
U	63	42 (K-11a+b)	「宗教心」は大切か # 3. 2 H-F5	1.大切 2.大切でない	48.8* 8.8*	72.1 15.0		85.0 12.5	87.3 10.4

*質問文注意

第3章 イタリア・オランダ調査への発展

§ 1 標本調査のデザインと実施計画

§ 2 翻訳と再翻訳

§ 3 2ヶ国における調査の実施とデータ入力

§ 1 標本調査のデザインと実施計画

イタリア、オランダにおける標本調査のデザインと実施計画を、各調査実施機関の作成したテクニカルレポートに従って説明する。

§ 1.1 イタリア標本調査のデザインと実施計画

a. 標本計画

この調査の対象はイタリア人口の18歳以上の男女である。(国勢調査によると42514199人である。) サンプルは、イタリア全体から三段階無作為にランダム・ウォーク(random walk)方式により18歳以上の成人約1000人(男女比対同)を抽出した。

b. サンプルングの方法

三段階の無作為方式でサンプルを抽出した。

第一段階では、前もって都市化のレベルに応じて分類されている各地区の中から市郡(municipalities)を選んだ。サンプル・サイズは、一人の面接調査員の面接数が10を越えないように配慮して、各地区からそれぞれの規模の市(大中小といった形に市が、規模によっていくつかのクラスに分類されている)が代表されるように決め、その数が決まったらそれぞれのグループ(地区×規模)からサンプルング地点をランダムに抽出した。"class interval"(以下参照)は、各グループの市郡の数とフィールドワークを行うサンプルング地点の数の割合によって決めた。

(例) Piemonte地区には137の市郡があり、2つのサンプルング地点が必要である。ランダムに、例えば105という数が抽出され、それが第一番目のサンプルング地点となる。この数に、この地区の市郡の合計数137をサンプルング地点数の2で割った数66を足して、二つ目のサンプルング地点とする。

この場合は、 $105+66=171$ なので、そこから総数の137を引いて34とした。

$137/2=66$ (これがclass intervalとなる)

$105+66=171$; $171-137=34$

市郡の番号を無作為抽出する際には、0から9までの番号札の入った箱から1枚引いて、その番号を別の紙に控え、又その番号札をもどして2回目を引くというように、一つの番号を引いたら必ず元に戻すという方法を取った。

第二段階では、各サンプルング地点(sampling area)において調査開始点を選んだ。英語のアルファベットが1文字ずつ入った箱の中から文字を抽出し、電話帳のその文字の頁の部分から道の名前を抽出して調査始点とした。

第三段階では、「ランダム・ウォーク」(random walk)方式で回答者を選んだ。その道で一番小さい奇数の番地の世帯を一番目に調査を試みた。アパートの場合

は、その棟で4世帯ごとに調査を試みた。不在の場合や調査を拒否された場合は、そのすぐ上か下のアパート番号の世帯を調査した。各世帯では、「次の誕生日（Next Birthday）」方式を使って、一世帯ごとに一人面接者（つまり、その世帯の中で最も早く誕生日を迎える人）を選んだ。不在の場合は、面接ができるまで一つの住所に最高3回まで通った。それ以後は、その道にそって歩き、3軒（building）ごとに調査を試みた。

c. 面接調査員に配布した資料

面接調査員には、フィールド調査の責任者（Pragma社員）とこの国際調査の責任者（統計数理研究所員）から、調査概要を説明し、そのうえでランダム・ルート方式を使う上での厳密な規則と詳細な指示を与えた。

面接調査員には全員、下記のことを書いたカードを与えた。

- ・調査対象とその定義
- ・面接すべき数
- ・Pragma（イタリア調査実施機関）の連絡係
- ・一面接ごとの報酬料
- ・フィールド・ワークのスケジュール

さらに、指定の紙にフィールド・ワークの記録をきめ細かくつけてもらい、面接が全て終了次第、質問票と一緒にpragmaに送り返すようにして指示した（付録Aを参照）。又、面接調査員にはpragmaからの任命書に署名してもらった。（面接調査員への指示、注意事項〈英語及びイタリア語〉は付録Bに記してある。）

d. フィールド・ワークの組み立てかた

d.1 質問文の翻訳と予備調査

統計数理研究所はPragmaに、75の質問及び個人の属性に関する質問24問の計99問を含む英語とフランス語の質問票を送り、Pragmaがイタリア語の翻訳をした。イタリア語に翻訳する際には、社会階級や教育レベルにかかわらず、回答者が容易に理解でき、疑問を抱かず回答できるように、イタリア人の意識や生活の仕方を十分に考慮した。

最善なものをつくるために、依頼側（統計数理研究所）とPragma両方で数々の推敲を重ね、依頼者が完全に納得したうえで、最終的な質問票が印刷された。

d.2 予備調査

1992年の43週目に、6人の面接調査員によってローマ地域で15の面接、ミラノ地域で15の面接、計30面接の予備調査が行われた。この面接調査員たちは、ローマとミラノのpragmaの本社で依頼者たちの立会いのもとで、Pragma社のフィールド調査責任者からこの調査全般に関する説明を受けた。

さらに、ローマ、ミラノの大都市の他に、メンタナ（町）というイタリア中央部にある小さな町をサンプリング地点に含めた。

短時間で調査を実施しなければならないため、予備調査においては面接調査員の要望に応じて、調査始点をあらかじめ指定した。

予備調査を通して直面した問題などに関しては、面接調査員をローマに集めての調査後の会議で、面接経験、面接結果などを考慮しながら討議した。回答者が分かりやすく、また面接調査員にも質問しやすいものになるように、面接調査員たちも加わって最終的な質問票を作成し、依頼側の承諾後に印刷した。

d.3 調査期間

フィールドワークの実施期間は次のとおりである。

1992年11月23日 開始
1992年12月9日 終了

完了した面接の総数は、1048だった。

d.4 本調査

124のサンプリング地点を、134人の調査員が134の調査始点から調査した。面接調査員たちには、1000の面接、そして、補助サンプルとして使う75の面接（特に回答率の悪いと予想される地域）を合わせて1075の面接を依頼した。

最終的には、134人の調査中の2人だけが質問票と記録を送り返してこなかった（合計20の面接のロス）。

面接調査員各人に、前述の方法で調査始点の住所を与えた。

0から9までの番号札の入った箱の中から何回か番号を抽出し、それによって電話帳の頁を選んだ。（何回番号を取るかはその市郡の電話帳のページ数によって決めた。）その次に、aからzのアルファベットの札が入った箱から、アルファベットを一つ抽出した。先に選んだ電話帳のページから、そのアルファベットで始まる道の名前を捜し、それを調査始点とした。

面接調査員全員、その道のなかで一番小さい番地で居住用に使っている家から調査をはじめ、その道に沿って進むようにした。しかし、場合によってはその市郡の事情によって、指示された道をたどれず、その度変更が必要なこともあった。例えば、ある道は田園地域の方に入っていってしまい、農家の建物が居住用でなく倉庫として使われていたり、また行き止まりになっていてやむを得ず戻らなければならなかったり、またある時にはその道が別の町につながっていて、それに沿っていくと違う市郡に入ってしまったたりした。

e. 面接調査員への指示書

付録Bを参照

付録 A

(イタリア調査pragma社の調査員へ配布し、回収する資料の紙)

PRAGMA SRL
Via Salaria, 298/a
00199 ROMA

NOME INTERVISTATORE _____

COMUNE DI RILEVAZIONE _____

ESITO CONTATTI

INDIRIZZO	N° CIVICO	N° INT.	RISULTATO		
			1	2	3
_____	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
_____	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
_____	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
_____	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
_____	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
_____	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
_____	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
_____	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
_____	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
_____	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
_____	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
_____	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
_____	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
_____	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
_____	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
_____	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
_____	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
_____	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

LEGENDA PER LA CASELLA RISULTATO

- V = APPARTAMENTO VUOTO
- I = INTERVISTA EFFETTUATA
- R = RIFIUTO
- S = SOSPESA
- F = FUORI QUOTA / INELEGGIBILE

IL PRESENTE FOGLIO DEVE ESSERE SPEDITO UNITAMENTE ALLE INTERVISTE.

付録 B
(イタリア調査pragma社の調査員への指示書)

QUESTIONNAIRE

GENERAL RULES

Here are some recommendations for filling in the questionnaire in the correct way:

1. Use only blue or black pens, avoid using the pencil.
2. Circle the answers given.
3. The questions must be asked exactly as they are written and following the same order as that of the questionnaire.
4. Take careful note of the instructions written on the questionnaire before beginning the interview itself, we suggest to evidence all the skips, the writings as "one answer only" or "more answers" so as to make the interview smoother.
5. In the open-ended questions if the respondent should answer "I don't know", "I don't remember" or "refuses" write it down fully in the space of the answer.
6. If the respondent should not understand a question, read again slowly, don't explain it and do not give it your personal meaning.
7. Remain neutral during the entire length of the interview. **DO NOT MAKE ANY COMMENTS.** This does not mean that if the respondent answers without coherence you should not tell him so; it only means you are not to influence the respondent with your personal opinion.

Write clearly and in a readable way, check the interview. If you notice that some information has been left out, ask the question again before greeting the respondent.

GUIDE TO THE QUESTIONNAIRE

The main characteristic of this study is the fact that in many questions in which the show card is foreseen, the answer "other" can be accepted as long as it is specified.

We will herewith give explanations for those questions which can create a problem.

- DOM. 8** The two most important goals must be indicated, coding one answer in the column 1st. place and one in the column 2nd. place.
- DOM. 9** One answer per line must be given.
- DOM. 12** The question appears with a complicated structure; what is meant is if it is right or wrong to turn to adoption in order to have direct heirs.
- DOM. 14** For each ailment suffered one answer must be given.
- DOM. 16** ATTENTION this scale uses the numerical values contrary to those to which the Italians are used to. In this question 1 means high (in school they teach us that it is a low number) and 5 means low.
- DOM. 17** The answer "both" is not accepted as it is foregone, therefore only one answer among the two.
- DOM. 20** Here is a question for which besides answering with the show card, a different answer can be given, specifying it at "altro".
- DOM. 24** Is divided in 24a and 24b. For thefts, household objects, cars, etc. are meant.
In question 24b we speak of personal safety, of mugging.
- DOM. 26A** ATTENTION we want one only answer, the others are to be given at question 26B.

- DOM. 27 ATTENTION in this question the values are the classic ones, that is 1 means not at all important and 7 very important. One answer per line must be given.
- DOM. 28 The question is made also to those living alone (as by family it is also meant the one lead with parents, brothers, uncles, cousins, etc. even if not living together).
- DOM. 30/31 The answer "both" cannot be accepted.
- DOM. 32/33/34/35/36 The answer "undecided/it depends" must not be prompted but accepted only if said spontaneously. The answer "other" must be specified.
- DOM. 38/39 One only answer is possible.
- DOM. 41/42 If at this question, the respondent answers "postpone meeting" since it is too easy as solution and a foregone one, it cannot be accepted therefore you must put the respondent in a position that "postponing the meeting" is impossible and prompt him to give you a different answer.
- DOM. 43/44 One only answer is possible.
- DOM. 45 Only two feelings can be coded in the YES column, all the others must be indicated in column NO. If the respondent thinks that something else, not included on the showcard, is important, you can accept it and remember to specify under "altro".
- DOM. 46/47 One only answer is possible.
- DOM. 51 The most foregone answer is "it depends on whom you meet" because we speak of - "in most cases" -, try to make respondents say more.
- DOM. 54/57/58 One answer per line must be given, accept "don't know" only if said spontaneously.

- DOM. 61** By culture everything is meant, historians, persons of literature, politics, science, important places where events took place, monuments, etc. Isolate the first answer from the others, writing the first answer on the first line and from the second line on all the others.
- DOM. 61-1** It is divided in questions A and B. In question A it is asked for the three most desirable qualities, therefore only three answers are possible; in question B, among the three mentioned at question A, the most desirable one of these three is asked, therefore only one answer.
- DOM. 61-2** To each phrase, indicated by a letter, one answer must be attributed.
- DOM. 61-3** It is meant in a general way, to receive from life.
- DOM. 61-5** Code in the following way: let us suppose the respondent does not want as neighbours persons with a criminal record, heavy drinkers, right wing extremists while they would not have problems with the others.

	would not like as neighbours	no(problem)
Persons with criminal record	1	2
Persons of different race	1	2
Students	1	2
Left wing extremists	1	2
Unmarried mothers	1	2
Heavy drinkers	1	2
Right wing extremists	1	2

- DOM. 61-7** One answer per line must be given.
- DOM. 62A** If the answer is "no" or "I don't know" go to Dom. 63
- DOM. 63** Must be asked to all.

DOM. 67 One answer per line must be given.

DOM. 75A For each political party a number from 0 to 100 must be attributed according to the respondent's feelings. The total amount must not be equal to hundred.

Write zeros as in the example. If the respondent cannot answer for a political party, write 999.

	Temperature
Democrazia Cristiana (DC)	040
Partito Democratico della Sinistra (PDS)	040
Rifondazione Comunista	070
Partito Socialista Italiano (PSI)	040

DEMOGRAPHICS

In this part you will find some points already dealt with in the main questionnaire, make the respondents know that you are aware of it but ask the questions again.

D.03 If you are interviewing students, the interviews will not be many, fill the boxes with two zeros and go to Dom. 5.

D.04 Both questions have to be made, that is if he has started studying again or if he has attended a course.....as for example:

. Eventually started studying again (IF YES) FOR HOW MANY MONTHS? 00

. Eventually have attended a professional training course or worked as apprentice? (IF YES) FOR HOW MANY MONTHS? 00

In the above example, the person has not taken up studying again or attended courses.

- D.09 One answer per line must be given.
- D.10 If the respondent does not carry out a paid work (codes from 01 to 04 at Dom.0A) ask him what he did before retiring or withdrawing from work indicating it in the column of Dom. 15b. If you are interviewing a student, do not take it for granted, by not indicating it, at Dom. 10B that the code is 15 - same goes for the housewives.
- D.11 Is clearly to be made only to those who are actually working, on his own or as dependent (under employer).
- D.12 Is made only to those who in the past or now are doing a paid work or a work on their own (that is from code 05 to code 18 at Dom. 10a or code 01 to code 14 at Dom. 10b).
- D.13 Is only for those who work or have worked in the past as dependent workers.
- D.14 Is useful to identify the figure of the head of the household. Indicate one answer per line.
If the head of the household is not the one you are interviewing, go on with the next questions on the head of the household as made to the respondent if instead the respondent is also the head of the household, go to Dom. 18.

REGISTERING OF INTERVIEWS

- P.03 Indicate the precise length of the interview. It is not possible for 10 interviews to all have the same timing, this would mean that after having carried out the first interview, you have registered the same time for the other ones. If it were so easy, why do you think we would ask you?

P 06 AND 07 MUST BE LEFT BLANK.

P 08 You must personally write the mail code, asking the respondent and looking for it yourself on the street map.

P 09, P 10 AND P11 MUST BE LEFT BLANK.

FOR ANY PROBLEM OR DOUBT, ASK IMMEDIATELY FOR CLARIFICATIONS THROUGH THE FREE TOLL NUMBER 1678-65041.

ITALIAN VERSION

ISTRUZIONI PER L'INTERVISTATORE/TRICE PER LO STUDIO SULLE OPINIONI

Qual e' lo scopo?

Determinare l'opinione degli italiani nei confronti di molti temi correlati per esempio la salute, la violenza, lavoro, la famiglia, ecc.

Qual e' il programma?

1 Interviste personali in casa degli intervistati

Itinerario casuale

Tutte le famiglie sono valide

4 Scelta dell'intervistato tra i componenti in età pari o superiore a 18 anni

Puo' essere intervistata una sola persona a famiglia

Tre tentativi di contatto per famiglia, cioè tre visite con esito negativo (appartamenti vuoti prima di sostituirla con un'altra famiglia)

Sostituzione immediata della famiglia in caso di rifiuto della stessa o del componente prescelto

DETTAGLI IMPORTANTI

1 Orario delle interviste

Le visite dovranno essere effettuate in quelle ore del giorno in cui la maggior parte dei componenti famiglia casa, preferibilmente quindi, nel tardo pomeriggio o sera.

Itinerario casuale e scelta della famiglia

La metodologia per l'effettuazione delle interviste è quella chiamata "Random Walk" cioè scelta casuale della persona da intervistare. La vostra attenzione deve essere rivolta alle "famiglie".

Per "famiglia" si intende un nucleo di una o più persone che vivono insieme. Ogni famiglia deve avere:

a) un ingresso indipendente all'interno di un palazzo o direttamente sulla strada

b) un indirizzo postale diverso

c) una cucina indipendente

La presenza di una qualsiasi di queste caratteristiche è sufficiente per considerarla una unità abitativa indipendente.

La presente ricerca deve essere condotta solo in unità abitative o appartamenti occupati. Sono esclusi i negozi, uffici, scuole, alberghi, case, ecc. I negozi e le attività commerciali vengono esclusi a meno che non vi sia annessa l'abitazione.

Se trovate nella via prescelta un condominio, un palazzo con più appartamenti, ogni singolo appartamento deve essere considerato come un'unità abitativa a sé. Per le interviste in condomini dovete seguire i seguenti criteri:

a) iniziate dall'ultimo piano e scendete fino al piano terra.

b) per ogni piano contattate un appartamento su quattro in ordine decrescente di interno (es. 12, 8, 4, ...)

Nel caso in cui non fosse possibile effettuare l'intervista presso uno degli interni selezionati dalla casualità potete rivolgervi all'interno immediatamente precedente o successivo (es. dovete effettuare l'intervista presso l'interno n.8 ma in casa non c'è nessuno anche dopo la terza visita o vi viene rifiutata l'intervista).

Devete rivolgervi all'interno n.7 o n.9) quindi passate all'interno n.4 cioè proseguite rispettando l'alternanza di partenza.

Nel caso di piccoli comuni ove non fossero presenti palazzi a più abitazioni o nuclei familiari è sufficiente effettuare un'intervista ogni due abitazioni cioè ogni tre numeri civici costruzioni case, villette).

Il caso di assenze o rifiuti vale quanto detto per i grossi centri.

Dopo aver effettuato tutte le interviste possibili presso il condominio di partenza (casa/villetta per i piccoli comuni) dovete porvi con le spalle al ponone e proseguire sulla vostra sinistra, effettuare le interviste in casa o condominio sulla mano sinistra della strada. Al primo incrocio che incontrate girate a sinistra, all'incrocio successivo girate destra.

Proseguite con questo sistema fino ad esaurimento dell'interviste assegnate e sempre mantenendo la sinistra della strada.

Se non potete esaurire le interviste in un solo giorno (a parte le piccole quote) è cosa impossibile dovete riprendere il lavoro dall'indirizzo e dal numero civico da cui avete interrotto il giorno precedente.

3 Selezione delle persone da intervistare

Possono essere intervistate solo le persone che stabilmente fanno parte della famiglia e non siano dipendenti delle stesse (collaboratrici domestiche, giardinieri, segretarie, governanti, ecc..).

b) E' intervistabile qualunque persona abbia compiuto 18 anni nel rispetto delle quote assegnate.

Non intervistate mai più di una persona per famiglia.

Prima di effettuare l'intervista assicuratevi che la persona prescelta sia disponibile a confermare la veridicità del lavoro, questo perchè la fase dei controlli avverrà in modo totale sia telefonicamente che attraverso visite personali. Accertatevi pertanto, di aver riportato l'esatto nome e cognome, indirizzo completo di numero civico ed interno, ed il numero telefonico. Se per qualsiasi motivo non fosse possibile effettuare il controllo allo stesso numero risultasse qualche anomalia annulleremo totalmente il lavoro.

Verificare di ciò comporterà un'interruzione del nostro rapporto compromettendo, inoltre, i rapporti con altre società di ricerca.

NORME GENERALI

Seguire le raccomandazioni per l'esatta compilazione del questionario.

1. Utilizzate solo penne blu o nere, evitate di usare la matita.

2. Cerchiate con un tondino le risposte date.

Le domande devono essere poste esattamente come sono scritte e nello stesso ordine in cui compaiono sul questionario.

4. Familiarizzate con le istruzioni stampate sul questionario prima di iniziare le interviste vere e proprie, vi consigliamo di evidenziare su tutti i questionari i salti, le scritte tipo "una sola risposta".

o "risposte multiple" al fine di rendere maggiormente scorrevole l'intervista.

5. Alle domande aperte se l'intervistato rispondesse "non so", "non ricordo" o "rifiuta" scrivetelo per esteso: risposta della risposta.

6. Se l'intervistato non capisce una domanda, rileggetela lentamente, non spiegatele o non date interpretazioni personali.

7. Rimanete neutrali per tutta la durata dell'intervista. **NON FATE COMMENTI**. Ciò non significa che se l'intervistato risponde in modo incoerente voi non dobbiate intervenire facendogli notare che è incoerente; significa solo che le vostre opinioni personali non devono influenzare il pensiero dell'intervistato.

scrivete in modo chiaro e leggibile, ricontrollate l'intervista. Se vi rendete conto di aver omesso qualche informazione, riproponete la domanda prima di salutare.

GUIDA AL QUESTIONARIO

Una caratteristica particolare di questa ricerca è che per molte domande in cui è previsto il cartellino si può accettare la risposta altro, purché venga specificato.

Non fornire no spiegazioni per tutte le domande ma solo per quelle che possono creare un problema di esecuzione.

DOM. 8: Devono essere indicati i due obiettivi più importanti codificando una risposta nella colonna 1° posto ed una risposta alla colonna 2° posto.

DOM. 9: Deve essere fornita una risposta per riga.

DOM. 12: La domanda appare con una struttura complicata; quello che si intende dire è se per avere degli eredi diretti è giusto o meno fare ricorso all'adozione.

DOM. 14: Per ogni malessere deve essere fornita una risposta.

DOM. 16: ATTENZIONE questa scala usa i valori numerici attribuendo ad essi il valore opposto a quello che noi italiani siamo soliti fare. In questa dom. 1 significa alto (a scuola ci insegnano che è un numero basso) e 5 significa basso.

DOM. 17: La risposta "entrambi" non è accettata in quanto scontata quindi solo una risposta tra le due.

DOM. 20: Ecco un esempio di domanda in cui oltre alle possibilità di risposta del cartellino può essere accettata una risposta diversa da specificare nella voce altro.

DOM. 24: E' divisa in 24a e 24b. Per furti si intendono quelli di oggetti in casa, macchina, ecc. Nella 24b parliamo di sicurezza personale, di aggressioni.

DOM. 26A: ATTENZIONE vogliamo una sola risposta le altre vanno riportate a dom. 6b.

DOM. 27: ATTENZIONE in questa domanda la scala ha i valori classici cioè 1 significa per niente importante e 7 molto importante. Deve essere fornita una risposta per riga.

DOM. 28: Si pone anche a chi attualmente vive solo intendendo, per vita familiare quella con i genitori, fratelli, zii, cugini, ecc.

DOM. 30/31: Non deve essere accettata la risposta entrambi.

DOM. 32/33/34/35/36: La risposta "indeciso/dipende" non deve essere sollecitata ma accettata solo se dettata spontaneamente. La risposta "altro" deve essere specificata.

DOM. 38/39: E' possibile una sola risposta.

DOM. 41/42: Se l'intervistato a queste domande risponde "rimandare la riunione" poiché è una soluzione troppo semplice, scontata, non può essere accettata, pertanto dovete metterlo in una condizione in cui rimandare la riunione sia impossibile ed esortarlo a fornirvi una risposta diversa.

DOM. 43/44: E' possibile una sola risposta.

DOM. 45: Solo due modalità possono essere codificate nella colonna SI, tutte le altre devono essere riportate nella colonna NO. Se l'intervistato ritiene sia più importante qualcosa non inclusa nel cartellino potete accettare la risposta ricordandovi di specificare accanto alla voce altro.

DOM. 46/47: E' possibile una sola risposta.

DOM. 51: La risposta più scontata è "dipende da chi si incontra", poiché parliamo di maggioranza dei carcerati di far sbilanciare le persone.

DOM. 54/57/58: Deve essere fornita una risposta per riga, accettare il non so solo se detto spontaneamente.

DOM. 61: Per cultura si intende tutto: personaggi della storia, della letteratura, della politica, delle scienze, località famose per eventi, monumenti, ecc. Isolate la prima risposta dalle altre scrivendo sulla prima riga la prima risposta e dalla seconda in poi tutte le altre.

DOM. 61-1: E' divisa in dom. A e dom. B. Nella dom. A si chiedono le tre qualità più gradevoli, sono quindi possibili solo tre risposte, nella dom. B si chiede, tra le tre indicate in precedenza, la più gradita in assoluto, si riceve quindi una sola risposta.

DOM. 61-2: Ad ogni frase, contrassegnata da lettera, deve essere attribuita una risposta.

DOM. 61-3: Si intende in senso generale, ricevere dalla vita.

DOM. 61-5: Codificare nel seguente modo: supponiamo l'intervistato non voglia come vicini persone con fedina penale sporca, forti bevitori, estremisti di destra mentre non avrebbe problemi con il resto.

	Non piacerebbe avere come vicini	no
Persone con fedina penale sporca	①	2
Persone di razza diversa	1	②
Studenti	1	②
Estremisti di sinistra	1	②
Madri nubili	1	②
Forti bevitori	①	2
Estremisti di destra	①	2

DOM. 61-7: Deve essere fornita una risposta per riga.

DOM. 62A: Se la risposta è no o non so andare a dom. 63.

DOM. 63: E' da porre a tutti.

DOM. 67: Deve essere fornita una risposta per riga.

DOM. 75A: Per ogni partito deve essere attribuito un numero da zero a cento secondo la simpatia che nutre l'intervistato. La somma non deve essere pari a cento. Anteporre gli zeri come da esempio.

non è in grado di rispondere ad un partito riempire la casella con 999

	Temperatura
Democrazia Cristiana (DC)	0 4 0
Partito Democratico della Sinistra (PDS)	0 4 0
Fondazione Comunista	0 7 0
Partito Socialista Italiano (PSI)	0 4 0

DEMOGRAFICI.

Trovare in questa parte alcuni argomenti già trattati nel questionario principale, fate notare che lo sapete e proponete comunque le domande.

DOM. 03: Se state intervistando studenti, saranno poche interviste, riempire le caselle con due zeri ed andare a dom. 5.

D. 04: Devono essere poste entrambe le domande cioè sia quella se ha ripreso a studiare, se se ha frequentato il corso.....come da esempio.

Eventualmente ripreso a studiare? (SE "SI") PER QUANTITEST? | 0 | 0 |

Eventualmente frequentato un corso di formazione professionale o lavorato come apprendista? (SE "SI") PER QUANTITEST? | 0 | 0 |

Allo stesso tempo la persona non ha ripreso a studiare né ha frequentato corsi di

~~P. 09: Deve essere fornita una risposta per riga.~~

D. 10: Se l'intervistato/a attualmente non esercita alcuna attività retribuita (codici da 01 a 04 a dom. 0A);

Indicare ciò che faceva prima del pensionamento o di ritirarsi dal lavoro riportandolo nella colonna di dom. 15b. Se state intervistando uno studente non date per scontato, non segnandolo, a dom. 10B che il codice è 15; così pure con le casalinghe.

D. 11: Si rivolge chiaramente solo a chi attualmente lavora, sia in proprio che come dipendente.

D. 12: Si rivolge solo a chi svolge o ha svolto un in passato un'attività retribuita o un lavoro autonomo (cod. 05 a 18 a dom. 10a o cod. da 01 a 14 di dom. 10b).

D. 13: Si rivolge a chi attualmente lavora o ha lavorato in passato come lavoratore dipendente.

D. 14: Serve ad individuare la figura del capofamiglia. Riportare una risposta per riga.

Se il capofamiglia è una persona diversa da quella che si sta intervistando proseguire con le successive domande sul capofamiglia come fatto per l'intervistato se, invece l'intervistato è anche capofamiglia, andare a dom. 18.

PROTOCOLLO D'INTERVISTA.

P. 03 - fateci la cortesia di riportare l'orario reale della durata. Non è possibile che 10 interviste abbiano tutte la stessa durata, questo significa che fatta la prima riportate automaticamente lo stesso valore sulle altre. Se fosse così facile perché credete che lo chiediamo a voi?

P. 06 e 07 - **DEVONO ESSERE LASCIATI IN BIANCO.**

P. 08 - dovete riportare voi, di vostro pugno, il codice di avviamento postale, chiedendolo all'intervistato e dando a cercarlo voi stessi sullo stradario.

P. 09, P. 10 e P. 11 - **DEVONO ESSERE LASCIATI IN BIANCO.**

PER QUALSIASI PROBLEMA O DUBBIO CHIEDETE TEMPESTIVAMENTE CHIARIMENTI ALL'ISTITUTO ATTRAVERSO IL NUMERO VERDE 1678-65041 .

§ 1.2 オランダ調査の標本計画と実施

a. 標本計画

この調査の対象は、18歳以上のオランダ国籍を持つ者である。

NIPO社は、オランダ全居住者のマスターサンプル・磁気テープを保有している。これは、一種の「住居番号簿」のようなもので、各地の道路（street）と住居番号（4桁の数字と2英文字でできている。例1365AC）が、翌年建築される住居も含めて記してある。マスターサンプル・テープは、毎年更新されている。このテープには、会社などの建物の番号まで含まれているが、NIPO社が保有している「会社のみ住居番号簿」を利用して、それらを除くことができる。

NIPO社は、このテープを利用して、毎年一度20万人から25万人の居住者の住所を無作為抽出して、その年に必要な面接調査のための標本リストを作成している。次に、それらの番号を647の市郡（municipalities）毎に、ランダムにまとめたリストを作る。面接調査の必要なときに、各市郡において、そのリストの最初の住所番号を選び出すようにしている。

b. サンプルングの方法

b.1 住居番号テープからの代表サンプルの抽出法

オランダの全住居番号のうちの各市郡（municipalities）の割合は、既知である。これらの市郡は、次のように2つに分類されている。

- 1) 代表市郡——大都市部の市郡は常にサンプルに含ませている。
- 2) 非代表市郡——特別の配慮をする市郡。これらのうちのいくつかを、ある経済地域層の区分に含ませる。その地域で必要な面接（interview）の数を考えて、適正な数の市郡を無作為に選び出す。

これら2分類と市郡の割合を考慮して、住居番号を無作為に抽出するのである。

b.2 各住居での面接回答者の選出法

標準：18歳以上のオランダ国籍を持つ者（計：1048名）

無作為抽出：「誕生日ルール」を用いる。即ち、その家の人で次に最初に誕生日を迎える者を選ぶ

選ばれた各住居での面接回答者数：1名のみ

各面接地点での面接回答者数：4名

各面接者は、無作為抽出された住所を調査担当者から受け取る。これが出発点となり、4人の面接回答者を求めるのである。訪問すべき住所は、この出発点に最も近いところとなる。

- 1) 訪問先が不在などで、ドアを開けてくれなかった場合は、後で再訪問することとし、次の住居を訪れる。再訪問は、最高三回まで繰り返す。

2) ドアを開けてくれた場合は、抽出した回答者に面接を試みる。その回答者が不在の場合は、後日面接する為の約束（アポイントメント）を取り付けるようにする。面接が拒否された場合は、次の住居を訪れる。

b.3 面接調査員の確保

NIPO社では常時1200-1300人の面接調査員を確保している。回答者の標本抽出の後に、各サンプリング地点の近くに居住する調査員が選ばれる。

調査員を選ぶ際は、その調査の内容を考慮し調査員の社会・経済的屬性や仕事振り、他のプロジェクトと兼任している数、住居地、連絡の手段が考慮される。

d. 調査遂行の手続き

d.1 質問文翻訳の手続き

まずNIPO社の専門家によって質問文の英訳版にもとづいてオランダ語に翻訳される。もし何らかの問題が生じた場合は、他の国語（米語、仏語、独語）の翻訳を参考にする。この翻訳には、オランダ人の文化背景とこれらの質問に対する態度を十分に考慮する。

そのオランダ語訳文を、日本側代理店R & D社の専門家（日本人翻訳者）により、再び日本語訳する（バック・トランスレーション）。その日本語訳と本来の日本語質問文とを比較検討し、本質的な差異が見出された場合は、該当する質問文を、オランダ語翻訳者と日本語翻訳者双方に検討させる。最終的にはNIPO社側に修正させる。（但し、予備調査中に発見された問題点を考慮して修正したものもある）。

d.2 予備調査

オランダの各地域（provinces）と大小の市郡（municipalities）の全域に広がる56人の面接回答者を用いて、質問文の表現の可否がテストされた。

d.3 調査時期

予備調査	9月21日 - 28日
本調査	11月5日 - 29日

- e. 面接調査員への指示書（オランダ調査Nipo社）
以下に、英語訳版（付録C）とオランダ原語版（付録D）を記す。

付 録 C
面接調査員への指示書（英語訳版）

Dear employee,

Instruction: Survey "Opinions in society" (V-736)

We thank you for your co-operation with this study. you hereby receive the material needed for the survey "Opinions in society". This survey will be held worldwide in several countries. NIPO takes care for the interviews in the Netherlands.

Who and where to interview

You will receive an address to start with (see yellow address list). You first go to that address. For the next interviews you go to the nearest address and so on.

Response-report (address list)

You write down every house-number where you ring. Register what happens. This registration is meant to determine how many addresses you need to realise your 4 interviews.

ATTENTION:

Write down the address where you start (see yellow address list) at the response-report. Then write down the house-numbers (addresses) you're approaching. If you have to go to another street, write the name of this other street down on the second line. Eventually a third or fourth street. If you have to go into a second street, write down near the house-number the second street.

At the first contact it can happen that:

They don't open the door

You can register this by encircling code 2. Then you go to the neighbour-address (you can come back later if they don't open the door)

They do open the door

Register this by encircling code 1.

Then:

They want to co-operate

You interview only the member of the family of 18 years or older who is the first to have his/her birthday. It's of major importance—because this is a person-sample that you interview this person. Preferably you go out for the interviews after 16.00 hours, because that's when you have the biggest chance of finding most of the members of the family at home. You can of course make an appointment with the respondent at a time that most suits you and the respondent.

The firstborn refuses to co-operate

In that case this address is finished. You registrate the house-number and encircle the number that stands for refusal. Then you go to a neighbour address to try to realise an interview.

The firstborn is not at home

If the firstborn is not at home you should, if possible, make an appointment.

The firstborn doesn't have a Dutch nationality

Then there's no interview. You go to a neighbour address to try to realise an interview.

The questionnaire

Before approaching an address read the questionnaire carefully, so that you don't have to expect surprises during the interview. Use the cards if indicated in the questionnaire. Mark the interview number, at the right side at page 1.

Period of interviewing

The interviews should be held in the period of 5 until 13 November. At last at 15 November you send us back the interviews (preferably sooner).

If you have any further questions, don't hesitate to call us (020-5238555).

We wish you success with the assignment.

Best regards,

NIPO BV

付録 D
面接調査員への指示書（オランダ原語版）

INTERVIEWER INSTRUCTIONS

Amsterdam, 4 november 1993

Geachte medewerkster, medewerker,

Instructie: Onderzoek "Meningen in de samenleving" (V-736)

Met onze dank voor de door u toegezegde medewerking ontvangt u hierbij het materiaal voor het onderzoek "Meningen in de samenleving". Dit onderzoek zal in een aantal landen wereldwijd worden gehouden. Het NIPO neemt voor dit onderzoek de interviews in Nederland voor haar rekening.

WIE EN WAAR ONDERVRAGEN

U ontvangt van ons een startadres (zie gele adreslijst). U gaat naar het aangegeven adres. Voor uw volgende vraaggesprekken gaat u naar het dichtst bijzijnde woonadres en zo verder.

Response-verslag (adreslijst)

U noteert elk huisnummer waar u aanbelt. Registreer wat er gebeurt. De registratie is bedoeld om vast te stellen hoeveel woonadressen u benadert om uw 4 vraaggesprekken te realiseren.

LET OP: Noteer het startadres (zie gele adreslijst) op het response-verslag. Noteer vervolgens de huisnummers (woonadressen) die u benadert. Moet u een andere straat in, noteer op de tweede regel de naam van de andere straat. Eventueel een 3e of 4e straat. Als u uw 2e straat ingaat, noteer dan bij het huisnummer 2e straat in het vakje van het huisnummer.

Bij het eerste contact kan het voorkomen dat:

- **Er niet open wordt gedaan:**
U geeft dit aan door kode 2 te omcirkelen. Vervolgens gaat u naar het buuradres. (U kunt later terug als er niet wordt opengedaan.)
- **Er open wordt gedaan:**
U geeft dit aan door kode 1 te omcirkelen.

Vervolgens:

- **Men wil meewerken:**
U ondervraagt uitsluitend het eerstjarige gezinslid van 18 jaar en ouder. Het is van uitermate groot belang - in verband met de personen-steekproef - dat u de eerstjarige ondervraagt. Bij voorkeur gaat u na 16.00 uur op pad, want dan zijn de meeste gezinsleden thuis. U kunt natuurlijk afspraken maken op tijden dat het u en de respondent het beste schikt.
- **De eerstjarige weigert:**
In dat geval heeft u het woonadres afgewerkt. U registreert het huisnummer en geeft aan door het cijfer te omringen dat het een weigering betreft. U gaat vervolgens weer het buuradres benaderen voor een vraaggesprek.
- **De eerstjarige niet thuis is:**
Het kan zijn dat de eerstjarige van 18 jaar of ouder op het moment niet thuis is. U maakt dan, indien mogelijk, een afspraak.
- **De eerstjarige niet de Nederlandse nationaliteit bezit:**
Er vindt dan geen interview plaats. U gaat het volgende buuradres benaderen voor een vraaggesprek.

Zie ommezijde

DE VRAGENLIJST

Leest u de vragenlijst eerst even door, zodat u niet voor verrassingen komt te staan tijdens het interviewen. Gebruik de toonbladen als dat staat aangegeven in de vragenlijst. Streep het interviewnummer aan, rechtsonder op pagina 1.

INTERVIEWPERIODE

De interviews dienen gehouden te worden in de periode van 5 t/m 13 november. Uiterlijk 15 november stuurt u ons de interviews retour (liefst eerder!).

HONORARIUM

Het honorarium bedraagt all-in per geslaagd interview. De porti kunt u uiteraard deklaren.

Nog vragen? Aarzelt u dan niet even te bellen met onze enquêteurslijn (tel. 020 - 5238555).

Wij wensen u veel succes met deze opdracht.

Hoogachtend,

NIPO B.V.

8.2 翻訳と再翻訳

この章では、試験研究(A)による1992年のオランダ調査におけるバック・トランスレーションを利用した調査票の作成の具体的手続きを例示してみよう。

2.1 役割分担

オランダ調査票翻訳における作業は、統計数理研究所(略称:統数研)の我々のグループ以外では、オランダのNIPO社(略称:NIPO)が調査票の検討と翻訳(オランダ語訳)に加わり、日本の代理店(略称:R社)が我々とオランダNIPO社との連絡及び調査票翻訳(BT)に携わった。また、統数研側では、日本語にも堪能なオランダ人留学生 E. R. K. 氏が、NIPO社とは独立に、調査票翻訳(オランダ語訳)にあたり、比較のための参考とし、また、随時、オランダについての情報を提供する任にあたった。

2.2 調査票の翻訳・BTから完成までの手順

オランダ調査にあたっては、5ヶ国調査で使用した英語調査票を元に、オランダ語調査票を作成した。(ただし、質問文に疑義がある場合は、適宜、他の欧米調査票を参考にした。)

基本的な作成手順を以下に示す。

前提:英語調査票は日本語調査票と同値であるとみなす。

- 1)英語調査票をオランダ語に翻訳し、オランダ語訳を作成する。
- 2)オランダ語訳を日本語にバック・トランスレーション(BT)し、BT日本語訳を作成する。
- 3)BT日本語訳と日本語調査票を比較対照する。
- 4)比較対照の結果、些末な点は除いて、同値であると判断できれば完成。
疑義があれば、オランダ語翻訳者とBT担当者に確認させる。同値でなければオランダ語訳の該当箇所を修正し、2)に戻る。

作業日程を含む作成手順は、次の図と表の通りである。

*** 図と表を挿入 ***

コメント1~5及びそれらの検討結果の一部は、具体例として、次節に示す。

2.3 調査票翻訳にあたっての留意点

調査票作成にあたっては、NIPOとE. R. K. 氏の協力を得てオランダ語翻訳を行なった。基本的には原文(ここでは英文質問票)に忠実に翻訳を行うこととし、該当翻訳語のニュアンスの違い等の問題が生じた場合に検討、必要であれば修正を行った。

検討及び修正を行なったケースを概観してみると、当初から予想されていた文化・慣習の違いによる該当翻訳語のニュアンスの違い、翻訳時の単純な誤訳、専門用語の誤解に加え、翻訳者の本来の専門が、意識調査ではなく市場調査であったことから生じたものもあった。

意識調査は、あえて答えにくい設定をして、回答者に究極の選択を迫ることもある。一方、市場調査は、回答者が答えやすいように質問や回答カテゴリーを表現する。今回の調査票作成にあたっては、市場調査に長けたNIPOでは回答者が答えやすい表現を使用する傾向があり、知見が加えて負の結果をもたらした事例(資料参照、問13、問30)も見られた。

代理の調査機関に調査票作成を含む意識調査を委託する場合、以下のことを事前に申し入れ、確認する必要があると思われる。

・本調査は意識調査であり、過去に得た何ヶ国かのデータとの国際比較を目的とする。従って、回答し難い設問もあるが、回答カテゴリーを含めた設問がそのままの形であることが意味があるので、特別な了承を得ない限りは、変更はすべきではない。

・変更した方がよいのではないかという指摘・提案は、それ自体は、調査の背景となる各国の事情を知る上で重要な手がかりとなることも多く、歓迎するが、設問内容・回答カテゴリー等をわずかでであっても変更する場合は、了解を得ること。調査企画主体である当方の指示なしに、回答し易い質問文や回答カテゴリー、回答番号に変更することを禁じる。回答選択肢も含めた質問文、質問の順序、回答選択肢の順序、カードの使用等を変更する場合は、必ず当方の指示に従うこと。

実施者（報告日） 実施内容

E. R. De Koe 英語調査票をオランダ語に翻訳、オランダ語（比較対照用）作成。

(93.7.5)

NIPO 英語調査票をオランダ語に翻訳、オランダ語 Ver.1作成。

->コメント1

(93.8.13)

R社 オランダ語 Ver.1をバックトランスレーション、BT日本語 Ver.1作成。

(93.8.14)

E. R. K. オランダ語 Ver.1とオランダ語（比較対照用）を比較対照。

(93.8下旬)

->コメント2

統数研 日本語調査票とBT日本語 Ver.1を比較対照。 ->コメント3

(93.9月上旬)

NIPO コメント1～3検討結果を反映させ、オランダ語 Ver.2作成。

(93.9.13)

R社 オランダ語 Ver.2をバックトランスレーション、BT日本語 Ver.2作成。

(93.9.14)

統数研 日本語調査票とBT日本語 Ver.2を比較対照。 ->コメント4

(93.9中旬)

NIPO コメント4検討結果を反映させ、オランダ語 Ver.3（予備調査票）作成。

(93.9中旬)

NIPO・統数研 予備調査前の検討、予備調査実施及び最終検討 ->コメント5

(93.9.21-10.1)

NIPO コメント5検討結果を反映させ、オランダ語調査票完成。

(93.10月上旬)

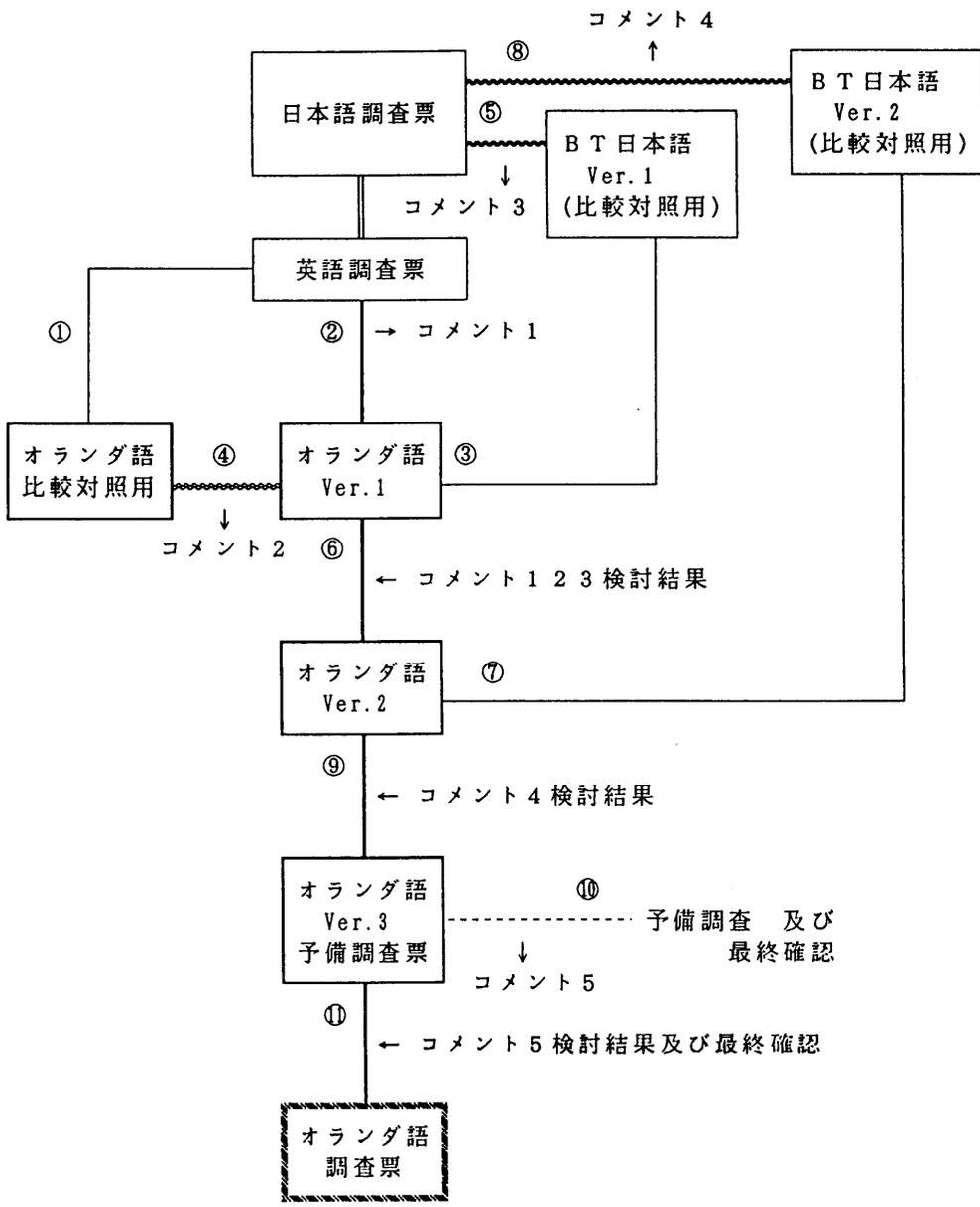


図 オランダ語調査票作成手順詳細

2.4 BT検討の一部の事例

この節では、オランダ調査票作成のためのBT作業時に実際に直面した問題と、その処置の具体例を示そう。以下、本来の日本語質問とBTの日本語訳とで食い違いが生じた各問題について、本来の日本語質問と米語質問、NIPOのオランダ語訳、R社によるBT、それについての統数研の対処の仕方を簡単に説明し、そして最後にオランダ語質問の最終版を示そう。NIPOのオランダ語訳：〔面接調査員への指示の部分〕

Enq: Ondervraag uitsluitend het eerstjarige gezinslid van 18 jaar en ouder
Enq: Geef ondervraagde het toonboekje met het verzoek steeds de door u
genoemde bladen op te slaan.

BT:

アンケート：18才以上の者で、家族の中で最も年長者に質問すること。
アンケート：質問を受ける者にカードを渡して、あなたが指定する頁を開かせる。

〔面接調査員への指示の部分〕

（問題箇所）コメント2

日本語比較対照の結果、「家族の中で最も早く誕生日を迎える者」とあるべきところが、「家族の中で最も年長者」となっていた。

統数研の対処：（検討・処置）

オランダ語翻訳の際、翻訳者がバースデイ・ルール(Birthday Rule)について理解していなかったために生じた誤訳である。「家族の中で最も年長者」ではなく、「家族の中で最も早く誕生日を迎える者」に面接調査を行うよう指示した。

オランダ語最終版：

Enq: Ondervraag uitsluitend het eerstjarige gezinslid van 18 jaar en ouder
Enq: Geef ondervraagde het toonboekje met het verzoek steeds de door u
genoemde bladen op te slaan.

A. Bezit u de Nederlandse nationaliteit?

1 Ja, bezit Nederlandse nationaliteit

2 Neen →STOP INTERVIEW

本来の日本語質問文：

問4 これから先、ひとびとは幸福になると思いますか、不幸になると思いますか。

1 幸福に 2 不幸に 3 変わらない 4 その他(記入) 5 わからない

米語質問文：

Q. 4

Do you think people, in general, will be more happy, or less happy than they are now?

A. 4

1 More happy 2 Less happy 3 No change
4 Other (PLEASE SPECIFY) _____ 0 Don't know

NIPOのオランダ語訳：

[問 4]

vraag 4

Gelooft u dat de mensen in de toekomst in het algemeen gelukkiger zullen worden of juist minder gelukkig?

1 Gelukkiger 2 Minder gelukkig
3 Ongeveer hetzelfde 4 Weet niet/Geen mening

BT:

質問 4

将来、人々は一般に今よりも、幸せまたは不幸せになると思いますか。

1. 今より幸せになる 2. 今より不幸になる
3. 大体同じ 4. 分からない/意見なし

[問 4]

(問題箇所)コメント2

質問文中の「toekomst」には「将来」の意味もあるが、「遠い将来」をも意味するとの指摘がE. R. De Koe氏からあった。

統数研の対処：(検討・処置)

このまま本設問を使用するよう指示した。

オランダ語最終版：

4. Gelooft u dat de mensen in de toekomst in het algemeen gelukkiger zullen worden of juist minder gelukkig?

1 Gelukkiger
2 Minder gelukkig
3 Ongeveer hetzelfde
4 Weet niet/Geen mening

問5 これから先、心のやすらかさは、ますと Think you think it will increase or decrease? へると思 Think you think it will increase or decrease? いますか、 5
 1 2 3 4 5
 ま す へ る 変 わ ら な い そ の 他 (記 入) わ か ら な い

Q. 5
 How about people's peace of mind?
 Do you think it will increase or decrease?

A. 5
 1 Increase 2 Decrease 3 Not change
 4 Other (PLEASE SPECIFY)_____ 0 Don't know

[問 5]
 vraag 5
 En hoe zal de gemoedsrust van de mensen zich ontwikkelen? Zal die toe- of afnemen?
 1 Toenemen
 2 Afnemen
 3 Geen verandering
 4 Anders, nl.....
 5 Weet niet/Geen mening

質問 5
 人々の心の平安(piece of mind)は、今後どう変わるでしょうか。
 増すでしょうか、減るでしょうか。
 1. 増す
 2. 減る
 3. 今と同じ
 4. その他、すなわち_____
 5. 分からない/意見なし

[問 5]
 (問題箇所)コメント1、5
 哲学的すぎる質問で、普通の人々には答えにくいのではないかとの指摘がNIP0からあった。

(検討・処置)
 予備調査を行った結果、特に問題はないことが確認されたので、このまま本設問を使用するよう指示した。

5. En hoe zal de gemoedsrust van de mensen zich ontwikkelen? Zal die toe- of afnemen?
 1 Toenemen 2 Afnemen
 3 Geen verandering 4 Anders, nl.....
 5 Weet niet/Geen mening 6 _____
 7 _____ 8 _____
 9 _____ 0 _____
 11 _____ 12 Weet niet/geen mening

問11 あなたはどちらかといえば、普通より先祖を尊ぶ方ですか、それとも普通より尊ばない方ですか。

- | | | | | |
|-------------|---------------|----|----------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 普通より
尊ぶ方 | 普通より
尊ばない方 | 普通 | その他(記入) | わからない |

Q. 11

Would you say you are, on the whole, more inclined than the average American to respect your ancestors or less?

A. 11

- | | |
|----------------------------------|-------------------------------|
| 1 More than the average American | 2 Less than average American |
| 3 Average | 4 Other (PLEASE SPECIFY)_____ |
| 0 Don't know | |

[問 1 1]

vraag 11

In welke mate bent u volgens uzelf geneigd de nagedachtenis van uw voorouders in ere te houden?

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1 Meer dan gemiddeld | 2 Minder dan gemiddeld |
| 3 Ongeveer evenveel | 4 Anders, nl..... |
| 5 Weet niet/Geen mening | |

質問 1 1

貴方自身は先祖の思い出を下記のどの程度で誇りに思っていますか。

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 平均以上 | 2. 平均以下 |
| 3. 大体普通 | 4. その他、すなわち_____ |
| 5. 分からない/意見なし | |

[問 1 1]

(問題箇所1)コメント1

オランダでは、両親を老人ホームに入れる人も多いくらいなので、先祖について考えないのではないかとの指摘がNIP0からあった。

(検討・処置1)

「先祖」を「自分の直系尊属」として認識することを前提に、このまま本設問を使用するよう指示した。

ちなみに、イギリス等では「ancestor先祖」という言葉から、Newton等昔の偉人を思い浮かべることがあるらしい。オランダではそのようなことがないことを一応確認した。

(問題箇所2)コメント4

日本語訳比較対照の結果、「先祖を尊敬する」であるべきところが「先祖の思い出を誇りに思う」となっていた。

(検討・処置2)

該当箇所のオランダ語を確認し、「尊ぶ」に相当するオランダ語に修正するよう指示した。

11. In welke mate heeft u respect voor uw afkomst(voor uw voorouders)?

- | | | |
|----------------------|-------------------------|----------------------|
| 1 Meer dan gemiddeld | 2 Minder dan gemiddeld | 3 Ongeveer gemiddeld |
| 4 Anders, nl. | 5 Weet niet/geen mening | |

問12 子供がないときは、血のつながりがない他人の子供を、養子にとって家をつがせた方がよいと思いますか、それとも、つがせる必要はないと思いますか。

- 1 2 3 4 5
つがせた方がよい つがせる必要はない 場合による その他(記入)わからない

Q. 12

If you had no children, would you think it desirable to adopt a child in order to continue the family line, even if there is no blood relationship? Or do you not think this is important?

A. 12

- 1 Would adopt 2 Would not adopt 3 Depends
4 Other (PLEASE SPECIFY) _____ 5 Not important
0 Don't know

[問 1 2]

vraag 12

Als u geen eigen kinderen zou krijgen, zou u het dan wenselijk vinden een kind te adopteren zodat de familienaam zou blijven voortbestaan, al is het dan zonder bloedverwantschap, of vindt u dat onbelangrijk?

- 1 Wenselijk 2 Niet wenselijk
3 Misschien/hangt ervan af 4 Anders, nl.....
5 Weet niet/Geen mening

質問 1 2

あなたに実子がないと仮定して、家名を存続させるために、血のつながりがあるなしにかかわらず、だれか子供を養子にするのが望ましいと思いますか。或いは、そんなことは別に重要なことではないとお考えですか。

1. 望ましい 2. 別に意に介さない
3. 多分、そう思う／場合による 4. その他、すなわち_____
5. 分からない／意見なし

[問 1 2]

(問題箇所)コメント2

オランダ語訳比較対照の結果、「家名」に相当するオランダ語には「familienaam姓」のほかに「familieline家系」が挙げられた。

(検討・処置)

両者は同義とし、本設問には「familienaam姓」を採択した。

ちなみに、オランダでは姓をふつう男子に継がせるそうである。

12. Als u geen eigen kinderen zou krijgen, zou u het dan wenselijk vinden een kind te adopteren zodat de familienaam zou blijven voortbestaan, al is het dan zonder bloedverwantschap, of vindt u dat onbelangrijk?

- 1 Wenselijk 2 Niet wenselijk
3 Misschien/hangt ervan af 4 Anders, nl.....
5 Weet niet/Geen mening

問13 現在、一般的な家庭にとって望ましい子供の数は何人だと思えますか。

_____人 ⁹ わからない

Q. 13

What do you think is the ideal number of children in a family? (DO NOT READ)

A. 13

- | | | | |
|-------------------------------|---------------|---------|--------|
| 1 One | 2 Two | 3 Three | 4 Four |
| 5 Five | 6 More than 5 | 7 None | |
| 8 It depends/ no ideal number | 0 Don't know | | |

[問 1 3]

vraag 13

Wat is volgens u het ideale aantal kinderen in een gezin?

- | | | | |
|-------------------------------------|-----|-------------------------|-----|
| 1 Geen | 2 1 | 3 2 | 4 3 |
| 5 4 | 6 5 | 7 Meer dan 5 | |
| 8 Hangt ervan af/geen ideaal aantal | | 9 Weet niet/Geen mening | |

質問 1 3

家族の子供の数は下記のどれが理想的と思えますか。

- | | | | |
|---------------------|-------|---------------------|-------|
| 1. なし | 2. 1人 | 3. 2人 | 4. 3人 |
| 5. 4人 | 6. 5人 | 7. 6人以上 (直訳: 5人を超す) | |
| 8. 場合による / 理想的な数はない | | 9. 分からない / 意見なし | |

[問 1 3]

(問題箇所) コメント 2

日本語訳比較対照の結果、回答番号が変わっていることが判明した。

(検討・処置)

元の回答番号 (データ入力の際のコードに同じ) に合わせるよう修正を指示した。

13. Wat is volgens u het ideale aantal kinderen in een gezin?

- | | |
|------------------------|------------------------------------|
| Geen | 1 |
| 2 | 3 |
| 4 | 5 |
| Meer dan 5 | Hangt ervan af/ geen ideaal aantal |
| Weet niet/ geen mening | |

問18 もし、一生、楽に生活できるだけのお金がたまったら、あなたはずっと働きますか、それとも働くのをやめますか。

1 ずっと働く 2 働くのをやめる 3 その他(記入) 4 わからない

Q.18

If you were to get enough money to live as comfortably as you would like for the rest of your life, would you stop working?

A.18

1 Continue to work 2 Stop working 3 Other (PLEASE SPECIFY) _____
4 Retired 5 Do not work 0 Don't know

[問 1 8]

vraag 18

Als u genoeg geld had om de rest van uw leven zo comfortabel te leven als u maar zou wensen, zou u dan willen blijven werken of zou u stoppen met werken?

1 Wil blijven werken 2 Stop met werken
3 Anders, nl..... 4 Weet niet/Geen mening

質問 1 8

余生を好きなように暮らせるだけの財産(直訳:金)があると仮定した場合、働き続けたいと思いますか、或いは働くのを止めますか。

1. それでも、働き続ける 2. 働くのを止める
3. その他、すなわち _____ 4. 分からない/意見なし

[問 1 8]

(問題箇所)コメント1

仕事を持たぬ人についても回答を求めるのかという指摘がNIP0からあった。

(検討・処置)

回答カテゴリーに「退職している」、「働いていない」の2つのカテゴリーを追加するよう指示した。

Als u genoeg geld had om de rest van uw leven zo comfortabel te leven als u maar zou wensen, zou u dan willen blijven werken of zou u stoppen met werken?

1 Wil blijven werken 2 Stop met werken
3 Anders, nl..... 4 _____
5 Is gepensioneerd 6 Werkt niet
7 Weet niet/geen mening

問27〔カード16〕次にあける生活領域のそれぞれについて、あなたが重要だと思う程度に従って1~7の評価をつけてください。

重 重 そ わ
要 要 の か
で の な ら
ない 要 他 ない

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

- a. まず、「家族や子供」についてはどうですか。… 1 2 3 4 5 6 7 8 9
- b. では、「職業や仕事」についてはどうですか。… 1 2 3 4 5 6 7 8 9
- c. では、「自由になる時間とくつろぎ」について
てはどうですか。… 1 2 3 4 5 6 7 8 9
- d. では、「友人、知人」については… 1 2 3 4 5 6 7 8 9
- e. では、「両親、兄弟、姉妹、親戚」については… 1 2 3 4 5 6 7 8 9
- f. では、「宗教」については… 1 2 3 4 5 6 7 8 9
- g. では、「政治」については… 1 2 3 4 5 6 7 8 9

Q. 27

(HAND CARD) Using this scale, where '7' is "very important," and '1' is "not important at all," can you tell me how important each of the following are to you? (READ EACH ITEM TURN)

A. 27

	Not important at all					Very Important		Don't know	
	1	2	3	4	5	6	7	0	212
Your immediate family and children, if you have any	1	2	3	4	5	6	7	0	213
Career and work	1	2	3	4	5	6	7	0	214
Free time and relaxation	1	2	3	4	5	6	7	0	215
Friends and acquaintances	1	2	3	4	5	6	7	0	216
Parents, brothers, sisters, and other relatives	1	2	3	4	5	6	7	0	217
Religion and church	1	2	3	4	5	6	7	0	218
Politics	1	2	3	4	5	6	7	0	

[問 2 7]

vraag 27

Kunt u mij aan de hand van dit overzicht vertellen hoe belangrijk elk van de weergegeven punten voor u is?

(Enq: Lees de punten een voor een op)

Helemaal niet belangrijk					Zeer belangrijk		Geen mening		
1	2	3	4	5	6	7	8		
a	Uw naaste familie en kinderen					b	Carriere en werk		
c	Vrije tijd en ontspanning					d	Vrienden en kennissen		
e	Ouders, broers en zusters en andere familie					f	Godsdienst en kerk		
g	Politiek								

質問27 カードの頁10

下記の一覧表に挙げられた項目が、それぞれあなたにとってどれほど大切かを言ってください。(下記の項目をひとつひとつ挙げて、答を求める)

重要性なし		きわめて重要				意見なし	
1	2	3	4	5	6	7	8
a. 配偶者と我が子				b. キャリアーと仕事			
c. 余暇と息抜き				d. 友達と知識			
e. 親、兄弟姉妹、家族				f. 信仰と教会			
g. 政治							

[問27]

(問題箇所1) コメント3

日本語比較対照の結果、「友達と知人」とあるべきところが「友達と知識」となっていた。

(検討・処置1)

オランダ語の該当箇所を確認したところ、オランダ語は正しく「友達と知人」を意味していた。日本語訳の誤訳、あるいはタイプミスであった。日本語訳を「友達と知人」に修正した。

(問題箇所2) コメント3

日本語比較対照の結果、「宗教」とあるべきところが「信仰と教会」となっていた。

(検討・処置2)

オランダにおいては、「宗教」と「信仰と教会」は同義であることが確認されたので、このまま本設問を使用するよう指示した。

27. Eng: Toonblad 6

Kunt u mij aan de hand van dit overzicht vertellen hoe belangrijk elk van de weergegeven punten voor u is?

(Eng: Lees de punten een voor een op!)

	Helemaal niet					Zeer		
	belangrijk					belangrijk		Geen
	1	2	3	4	5	6	7	mening
Uw naaste familie en kinderen	a							a
Carrière en werk								b
Vrije tijd en ontspanning ...								c
Vrienden en kennissen								d
Ouders, broers en zusters en								
andere familie								e
Godsdiensten en kerk								f
Politiek								g

問28〔カード17〕あなたは自分の家庭に満足していますか、それとも不満がありますか。

1	2	3	4	5	6	7
満足	やや	どちらとも	やや	不満	その他(記入)	わからない
	満足	いえない	不満			

Q. 28

(HAND CARD) All things considered, how satisfied are you with your family life—the time you spend and the things you do with members of your family? Just call off the letter which comes closest to your feelings.

A. 28

A 1	Completely satisfied	B 2	Somewhat satisfied
C 3	Neither completely satisfied nor completely dissatisfied (neutral)	E 5	Completely dissatisfied
D 4	Somewhat dissatisfied	0	Don't know
6	Other (PLEASE SPECIFY) _____		

[問28]

vraag 28 TOONBLAD 11

Hoe tevreden bent u met uw gezinsleven(alles bij elkaar genomen), dus met de tijd die u doorbrengt en de dingen die u doet met uw gezin?

1	Zeer tevreden	2	Tamelijk tevreden
3	Tevreden noch ontevreden	4	Tamelijk ontevreden
5	Zeer ontevreden	6	Weet niet/Geen mening

質問28 カードの頁11

今の家庭生活(すべてを含めて)にどれほど満足していますか。すなわち、家族と共にいる時間、一緒に何かすることについて。

1. 非常に満足 2. かなり満足 3. 一応満足はしているが、少し不満でもある。
4. かなり不満 5. 非常に不満 6. 分からない/意見なし

[問28]

(問題箇所)コメント1

一人住いの人の場合、「家庭」とはどのように定義すればよいのかとの指摘がNIP〇からあった。(「gezinsleven 家庭」結婚して子供がいる家庭。配偶者と子供を意味する。「familieleven家庭」父母とその両親、兄弟を意味する)

(検討・処置)

人によっては、離れ住んでいる両親や子供を含めることが推察される。しかし、過去に6カ国について本設問に対する回答を得ていることから、国際比較調査の意義を優先し、このまま本設問を使用するよう指示した。

28. Eng: Toonblad 5, VAK B

Hoe tevreden bent u met uw gezinsleven (alles bij elkaar genomen), dus met de tijd die u doorbrengt en de dingen die u doet met uw gezin?

(Eng: Ook vragen indien respondent alleenstaande is.)

1	Zeer tevreden	2	Tamelijk tevreden
3	Tevreden noch ontevreden	4	Tamelijk ontevreden
5	Zeer ontevreden	6	Weet niet/ geen mening

問30 いまの社会で成功している人を見て、その人の成功には、個人の才能や努力と、運やチャンスのどちらが大きな役割をはたしていると思いますか。

1 2 3 4
 個人の才能や努力 運やチャンス その他(記入) わからない

Q. 30

If you look at successful people in society today, which do you think has played the largest part in their success, their ability and effort, or luck and chance?

A. 30

1 Ability and effort 2 Luck and chance
 3 Other (PLEASE SPECIFY) _____
 4 Both 0 Don't know

[問 3 0]

vraag 30

Als kijkt naar de mensen die "geslaagd zijn" in de maatschappij, vindt u dan dat hun succes vooral te danken is aan bekwaamheid en inspanning of vooral aan geluk en toeval?

1 Bekwaamheid en inspanning 2 Geluk en toeval
 3 Beide 4 Anders, nl.....
 5 Weet niet/Geen mening

質問 3 0

社会で成功している人を見ると、それがその人の能力と努力、或いは運のよさによるものと思いますか。

1. 能力と努力 2. 運のよさ
 3. 両方 4. その他、すなわち___
 5. 分からない/意見なし

[問 3 0]

(問題箇所)

元の調査票の回答カテゴリーにはなかった「3. 両方」が挿入されていた。

(検討・処置)

訳語そのものが間違っていなかったこともあり、回答カテゴリーの挿入に気づかず本調査を行ってしまった。(そのため、国際比較調査としての意義を失ってしまった。)

30. Als u kijkt naar de mensen die "geslaagd zijn" in de maatschappij, vindt u dan dat hun succes vooral te danken is aan bekwaamheid en inspanning of vooral aan geluk en toeval?

1 Bekwaamheid en inspanning 2 Geluk en toeval
 3 Beide 4 Anders, nl : _____
 5 _____ 6 _____
 7 _____ 8 _____
 9 _____ 0 Weet niet/ geen mening

問35 あなたは、自分が正しいと思えば世間の慣習に反しても、それをおし通すべきだと思いますか、それとも世間の慣習に、従った方がまちがいないと思いますか。

- 1 おし通せ 2 従え 3 場合による 4 その他(記入) 5 わからない

Q. 35

If you think something is right, do you think you should go ahead and do it even if it is contrary to usual custom, or do you think you are less apt to make a mistake if you follow custom?

A. 35

- 1 Go ahead even if contrary 2 Follow custom 3 Undecided/it depends
4 Other (PLEASE SPECIFY) _____ 0 Don't know

[問 3 5]

vraag 35

Als u ervan overtuigd bent dat iets goed is, vindt u dan dat u daarnaar moet handelen zelfs al gaat het tegen de algemene gebruiken in, of vindt u dat u zich beter aan de algemene gebruiken kunt houden, omdat je dan minder risico loopt?

- 1 Ernaar handelen 2 Aan de gebruiken houden
3 Geen mening/Hangt ervan af 4 Anders, nl.....
5 Weet niet

質問 3 5

何か正しいと信じた場合、一般の風習がそれと反対でも、あなたは正しいと思うところに従って行動しますか、或いは、そのような危険を敢えて冒さず、一般の風習に合わせる方がよいと思いますか。

1. 自分の信条に従って行動する 2. みんなに合わせる 3. 意見なし/場合による
4. その他、すなわち _____ 5. 分からない

[問 3 5]

(問題箇所) コメント 3

日本語訳比較対照の結果、「しきたりに従った方が間違いない」とあるべきところが「危険を敢えて冒さず、一般の風習に合わせる方がよい」となっている。

(検討・処置)

「間違いない」に相当するオランダ語は「fouten」、「危険を冒す」は「risico」であるが、本設問において「間違いない」と「危険を敢えて冒さない」は同義として、このまま本設問を使用するよう指示した。

35. Als u ervan overtuigd bent dat iets goed is, vindt u dan dat u daarnaar moet handelen, zelfs al gaat het tegen de algemene gebruiken in, of vindt u dat u zich beter aan de algemene gebruiken kunt houden, omdat je dan minder risico loopt?

- 1 Ernaar handelen 2 Aan de gebruiken houden
3 Geen mening/Hangt ervan af 4 Anders, nl.....
5 _____ 6 _____
7 _____ 8 Weet niet

問36 こういう意見があります。

「どんなに世の中が機械化しても、人の心の豊かさ(人間らしさ)はへりはしない」というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

- 1 反対(へる) 2 いちがいにはいえない 3 賛成(へらない)
4 その他(記入) 5 わからない

Q. 36

Some people say that no matter how mechanized the world gets, nothing can reduce the richness of human feelings. Do you agree with this opinion, or do you disagree?

A. 36

- 1 Yes 2 No 3 Undecided/ it depends
4 Other (PLEASE SPECIFY) _____ 0 Don't know

[問 3 6]

vraag 36

Sommige mensen menen dat, hoe "gemechaniseerd" de wereld ook wordt, niets de rijkdom van het menselijk gevoel kan verminderen. Bent u het met die mening eens o oneens?

- 1 Eens 2 Oneens 3 Niet eens maar ook niet oneens/Hangt ervan af
4 Weet niet

質問 3 6

世の中がいかにも「機械化」されようと、人間の感情(feelings)の豊かさを減らすことはないと言主張する人がいます。あなたは、その意見に賛成ですか、不賛成ですか。

1. 賛成 2. 不賛成 3. 賛成でも不賛成でもない/場合による
4. 分からない

[問 3 6]

(問題箇所1) コメント1、5

哲学的すぎる質問で、普通の人々には答えにくいのではないかとの指摘がNIPPOからあった。

(検討・処置1)

予備調査を行った結果、特に問題はないことが確認されたので、このまま本設問を使用するよう指示した。

(問題箇所2) コメント2

オランダ語比較対照の結果、「豊か」に相当するオランダ語として「rijkdom(心)豊か」の他に「wardite暖かい、人間味がある」が挙げられた。

(検討・処置2)

両者は同義として、本設問では「rijkdom(心)豊か」を採択した。

36. Sommige mensen menen dat, hoe "gemechaniseerd" de wereld ook wordt, niets de rijkdom van het menselijk gevoel kan verminderen. Bent u het met die mening eens of oneens?

- 1 Eens 2 Oneens
3 Niet eens maar ook niet oneens/ hangt ervan af 4 Weet niet

問43〔カード23〕自然と人間との関係について、つぎのような意見があります。あなたがこのうち真実に近い(ほんとうのことに近い)と思うものを、1つだけ選んでください。

- 1 人間が幸福になるためには、自然に従わなければならない
- 2 人間が幸福になるためには、自然を利用しなければならない
- 3 人間が幸福になるためには、自然を征服していかなければならない
- 4 その他(記入)
- 5 わからない

Q. 43

(NAND CARD 43) Here are three opinions about man and nature. Which one of these do you think is closest to the truth? Just give me the letter.

A. 43

- A 1 In order to be happy, man must follow nature 0 Don't know
- B 2 In order to be happy, man must make use of nature
- C 3 In order to be happy, man must conquer nature
- 4 Other (PLEASE SPECIFY) _____

[問43]

vraag 43 TOONBLAD 18

U ziet hier drie opvattingen over de mens en de natuur. Welke daarvan ligt volgens u het dichtst bij de waarheid?

- 1 Om gelukkig te worden moet de mens zich aan de natuur onderwerpen
- 2 Om gelukkig te worden moet de mens van de natuur gebruik maken
- 3 Om gelukkig te worden moet de mens de natuur domineren
- 4 Anders, nl.....
- 5 Weet niet/Geen mening

質問43 カードの頁18

人間と自然について3つの意見が掲げられています。どの意見があなたの考えに最も近いでしょうか。

1. 人間は、幸せになるためには、自然に没入(直訳:身を投じる)しなければならない
2. 人間は、幸せになるためには、自然を利用しなければならない
3. 人間は、幸せになるためには、自然を支配しなければならない
4. その他、すなわち_____
5. 分からない/意見なし

[問43]

(問題箇所)コメント3

日本語比較対照の結果、「自然に従わなければならない」とあるべきところが「自然に没入しなければならない」となっていた。

(検討・処置)

該当箇所のオランダ語を確認した結果、オランダ語訳は正しく「自然に従わなければならない」を意味していた。バックトランスレーションにおける誤訳で、日本語訳を「自然に従わなければならない」に修正した。

43.

Enq: Toonblad 9, VAK A

U ziet hier drie opvattingen over de mens en de natuur. Welke daarvan ligt volgens u het dichtst bij de waarheid?

- 1 Om gelukkig te worden moet de mens zich aan de natuur onderwerpen
- 2 Om gelukkig te worden moet de mens van de natuur gebruik maken
- 3 Om gelukkig te worden moet de mens de natuur domineren
- 4 Anders, nl..... 5 _____
- 6 _____ 7 _____
- 8 _____ 9 _____
- 0 Weet niet/geen mening

問44〔カード24〕あなたはつぎの意見の、どちらに賛成ですか。1つだけあげてください。

- 1 個人が幸福になって、はじめて国全体がよくなる
- 2 国がよくなって、はじめて個人が幸福になる
- 3 国がよくなることも、個人が幸福になることも同じである
- 4 その他(記入) 5 わからない

Q. 44

(HAND CARD 44) Please choose from among the following statements the one with which you agree most. Just the letter, please.

A. 44

- A 1 If individuals are made happy, then and only then will the country as a whole improve
- B 2 If the country as a whole improves, then and only then can individuals be made happy
- C 3 Improving the country and making individuals happy are the same thing
- 4 Other (PLEASE SPECIFY)_____ 0 Don't know

[問 4 4]

vraag 44 TOONBLAD 19

Welke van de uitspraken op dit blad komt het beste overeen met uw mening?

- 1 Pas als de mensen gelukkiger worden kan een land als geheel vooruitgaan
- 2 De mensen kunnen alleen gelukkig worden als het land als geheel vooruitgaat
- 3 Vooruitgang van het land en geluk van de mensen komen op hetzelfde neer
- 4 Weet niet/Geen mening

質問 4 4 カードの頁 1 9

この頁に記載されている意見の内、あなたの考えに最も近いのはどれですか。

1. 国民が幸せになってこそ、国全体が前進する
2. まず国が全体としてよくなないと、国民は幸せになれない
3. 国としての進歩と国民の幸福は、結局同じものだ
4. 分からない／意見なし

[問 4 4]

(問題箇所) コメント 1

回答カテゴリー 1 「(国が)よくなる」のオランダ語訳として、「vooruitgaan前進する」を使用しているが、意味が広すぎるのではないかとの指摘がNIPOからあった。

(検討・処置)

そのまま本設問を使用するよう指示した。

44.

Enq. : Toonblad 9, VAK B

Welke van de uitspraken op dit blad komt het beste overeen met uw mening?

- 1 Pas als de mensen gelukkiger worden kan een land als geheel vooruitgaan
- 2 De mensen kunnen alleen gelukkig worden als het land als geheel vooruitgaat
- 3 Vooruitgang van het land en geluk van de mensen komen op hetzelfde neer
- 4 Weet niet/Geen mening

問45〔カード25〕つぎのうち、大切なことを2つあげてくれといわれたら、どれにしますか。

	あり	なし
a. 親孝行、親に対する愛情と尊敬	1	0
b. 助けてくれた人に感謝し、必要があれば援助する ...	1	0
c. 個人の権利を尊重すること	1	0
d. 個人の自由を尊重すること	1	0
5. その他(記入) 6. わからない		

(上の質問では、2つの項目をあげてもらうこと)

Q. 45

(HAND CARD 45) If you were asked to choose the two most important items listed on this card, which two would you choose? Just call off the letters.

A. 45

- A1 Respect for parents B2 Repaying people who have helped you in the past
 C3 Respect for the rights of the individual
 D4 Respsct for the freedom of the individual 5 Other answers(PLEASE SPECIFY) _____

[問45]

vraag 45 TOONBLAD 20

Welke twee punten zou u als de belangrijkste kiezen uit deze lijst van vier?
 (Eng: slechts twee "ja" antwoorden weergeven!)

	Ja	Nee
a Liefde en respect voor uw ouders	1	2
b Dankbaarheid tonen tegenover weldoeners uit het verleden	1	2
c Eerbiediging van de rechten van het individu	1	2
d Eerbiediging van de vrijheid van het individu	1	2

質問45 カードの頁20

下記の4つの点で、どのふたつが最も大切と思いますか。(「然り」の答は必ず2つだけとする)

	然り	否
a. 両親への愛情と尊敬	1	2
b. これまで世話になった人々に対する感謝(直訳:過去の恩人)	1	2
c. 個人の権利の尊重	1	2
d. 個人の自由の尊重	1	2
e. その他、すなわち_____	1	2
f. 分からない/意見なし	1	2

[問45]

(問題箇所)コメント2

回答カテゴリーbにおいて、「恩人」に相当するオランダ語はあるが、面接調査ではこのままの方がわかりやすいだろうとの指摘がE. R. De Doe氏からあった。

(検討・処置)

そのまま本設問を使用するよう指示した。

45.

Eng.: Toonblad 10, VAK A

Welke twee punten zou u als de belangrijkste kiezen uit deze lijst van vier?
 (Eng: slechts twee "ja" antwoorden weergeven!)

	Ja	Nee
a Liefde en respect voor uw ouders	1	2
b Dankbaarheid tonen tegenover weldoeners uit het verleden	1	2
c Eerbiediging van de rechten van het individu	1	2
d Eerbiediging van de vrijheid van het individu	1	2
e Anders, nl. :.....		
f Weet niet/geen mening		

問46〔カード26〕つぎのうち、あなたはどちらが人間として望ましいとお考えですか。

- 1 他人と仲がよく、なにかと頼りになるが、仕事はあまりできない人
- 2 仕事はよくできるが、他人の事情や心配事には無関心な人
- 3 その他(記入) 4 わからない

Q. 46

(HAND CARD 46) Whom do you consider more desirable as a person?

A. 46

- A 1 Mr. S. who is friendly and can be counted on to help others but is not an efficient worker
- B 2 Mr. T. who is an efficient worker but is indifferent to the worries and affairs of others
- 3 Other (PLEASE SPECIFY) _____ 0 Don't know

[問 4 6]

vraag 46 TOONBLAD 21

Aan wie van de volgende twee personen geeft u de voorkeur?

- 1 iemand die vriendelijk is en op wie je kunt rekene als je hulp nodig hebt, maar die zijn werk niet erg goed doet
- 2 iemand die heel goed werkt maar geen belangstelling heeft voor de zorgen en bezigheden van anderen
- 3 Weet niet/Geen mening

質問 4 6 カードの頁 2 1

下記のふたりの人物の内どちらを選びますか。

1. 親切で、あなたが困ったときに助けてくれると期待してよいが、自分の仕事はいい加減な人
2. 仕事は非常によくできるが、周囲の人々を助けたり、世話したりする点では全然当てにできない人
3. 分からない/意見なし

[問 4 6]

(問題箇所) コメント 3

日本語比較対照の結果、「仕事はあまりできない人」とあるべきところが「仕事はいい加減な人」となっている。

(検討・処置)

該当箇所のオランダ語は、元になる英語調査票の「inefficient」に相当する言葉であるので、そのまま本設問を使用するよう指示した。

46. Eng: Toonblad 10, VAK B

Aan wie van de volgende twee personen geeft u de voorkeur?

- 1 iemand die vriendelijk is en op wie je kunt rekenen als je hulp nodig hebt, maar die zijn werk niet erg goed doet
- 2 iemand die heel goed werkt maar geen belangstelling heeft voor de zorgen en bezigheden van anderen
- 3 Weet niet/ geen mening

問48〔カード28〕あなたが、ある会社の社長だったとします。その会社で、新しく職員を1人採用するために試験をしました。入社試験をまかせておいた課長が、「社長のご親戚の方は2番でした。しかし、私としましては、1番の人でも、ご親戚の方でも、どちらでもよいと思いますがどうでしょうか」と社長のあなたに報告しました。あなたはどちらをとれ(採用しろ)といえますか。

- 1 1番の人を採用するようにいう 2 親戚を採用するようにいう
3 その他(記入) 4 わからない

Q. 48

(HAND CARD 48) Suppose that you are the president of a company. The company decides to employ one person, and then carries out an employment examination. The supervisor in charge reports to you saying, "Your relative who took the examination got the second highest grade. But I believe that either your relative or the candidate who got the highest grade would be satisfactory. What shall we do?" In such a case, which person would you employ?

- A. 48 A 1 One with the highest grade B 2 Your relative
 3 Other (PLEASE SPECIFY) 0 Don't know

〔問48〕 vraag 48 TOONBLAD 23

Veronderstel dat u directeur bent van een bedrijf. Er is een vacature en het bedrijf houdt een sollicitatietest. De man of vrouw van de afdeling personeels zaken vertelt u dat een familielid van u aan de test meedeed en de op een na hoogste score gehaald heeft. "Maar", zegt hij, "ik geloof dat de als eerste geeindigde kandidaat en uw familielid beiden even geschikt zijn voor de baan. Wat doen we?" Wie neemt u in zo'n geval in dienst?

- 1 De als eerste geeindigde kandidaat 2 Uw familielid
3 Anders, nl..... 4 Weet niet/Geen mening

質問48 カードの頁23

あなたがある会社の社長だとします。空席が生じて、社員をひとり募集するために試験をする事になりました。人事部の話によると、あなたの家族の一人がその試験を受けて、2番目により成績を取めたとのことです。人事部は、トップの者もあなたの家族の者も仕事の適性の点では変わらないと言います。あなたならば、どうしますか。どちらを採用しますか。

1. いずれにしても、成績がよい方を採用する 2. 家族の者を採用する
3. その他、すなわち_____ 4. 分からない/意見なし

〔問48〕

(問題箇所)コメント3

日本語比較対照の結果、「採用」とあるべきところが「募集」に、「親戚」とあるべきところが「家族の一人」となっていた。

(検討・処置)

該当箇所のオランダ語を確認した結果、正しく「採用」、「親戚」を意味していた。バックトランスレーションの際の誤訳であった。日本語訳を「採用」、「親戚」と修正した。

48. Enq.: Toonblad 11, VAK B

Veronderstel dat u directeur bent van een bedrijf. Er is een vacature en het bedrijf houdt een sollicitatietest. De man of vrouw van de afdeling personeels zaken vertelt u dat een kennis van u aan de test meedeed en de op een na hoogste score gehaald heeft. "Maar", zegt hij, "ik geloof dat de als eerste geeindigde kandidaat en uw kennis beiden even geschikt zijn voor de baan. Wat doen we?" Wie neemt u in zo'n geval in dienst?

- 1 De als eerste geeindigde kandidaat 2 Uw familielid 3 Anders, nl.....
4 _____ 5 _____ 6 _____ 7 _____ 8 Weet niet/geen mening

問49〔カード29〕それでは、この場合2番になったのがあなたの親戚の子供でなくて、あなたが昔世話になった人の子供だったとしたら、あなたはどうしますか。(どちらをとれといえますか)

- 1 1番の人を採用するようという 2 昔世話になった人の子供を採用するようという
3 その他(記入) 4 わからない

Q. 49

(HAND CARD 49) In the last question we supposed that the one getting the second highest grade was your relative. Suppose that the one who got the second highest grade was the son of parents to whom you felt indebted. Which person would you employ?

A. 49

- A 1 One with the highest grade B 2 Son of your benefactor
3 Other(PLEASE SPECIFY) 0 Don't know

[問49]

vraag 49 TOONBLAD 24

Bij de vorige vraag gingen we ervan uit dat de als tweede geeindigde kandidaat een familielid van u was. Maar als dat nu de zoon was van iemand bij wie u in het krijt staat, wie nam u dan in dienst?

- 1 De als eerste geeindigde kandidaat
2 De zoon van degene bij wie u in het krijt staat
3 Anders, nl..... 4 Weet niet/Geen mening

質問49 カードの頁24

上記の質問の件で、2番目の候補者がかつてあなたの家族だったとします。例えば、あなたが扶養義務を負う人の息子としましょう。だれを採用されますか。

1. いずれにしても、成績がよい方を採用する
2. 扶養義務を負う者の息子を採用する(直訳)
3. その他、すなわち_____ 4. 分からない/意見なし

[問49]

(問題箇所)コメント3

日本語比較対照の結果、「昔の恩人の息子」とあるべきところが「かつてあなたの家族…あなたが扶養義務を負う人の息子」となっている。

(検討・処置)

該当箇所のオランダ語を確認した結果、正しく「昔の恩人の息子」を意味していた。バックトランスレーションの際の誤訳であった。日本語訳を「昔の恩人の息子」と修正した。

49.

Enq.: Toonblad 12, VAK A

Bij de vorige vraag gingen we ervan uit dat de als tweede geeindigde kandidaat een kennis van u was. Maar als dat nu de zoon was van iemand bij wie u in het krijt staat, wie nam u dan in dienst?

- 1 De als eerste geeindigde kandidaat
2 De zoon van degene bij wie u in het krijt staat
3 Anders, nl..... 4 _____ 5 _____
6 _____ 7 _____ 8 Weet niet/geen mening

問52 他人は、機会があれば、あなたを利用しようとしていると思いますか、それともそんなことはないと思いますか。

- 1 他人は機会があれば利用しようとしていると思う 2 そんなことはないと思う
3 その他(記入) 4 わからない

Q. 52

Do you think that most people would try to take advantage of you if they got the chance, or would they try to be fair?

A. 52

- 1 Take advantage 2 Try to be fair
3 Other(PLEASE SPECIFY) 0 Don't know

[問 5 2]

vraag 52

Denkt u dat de meeste mensen van u zullen profiteren als ze de kans krijgen, of zullen ze proberen eerlijk te zijn?

- 1 Profiteren 2 Eerlijk zijn
3 Anders, nl..... 4 Weet niet/Geen mening

質問 5 2

大部分の人は、機会さえあれば、あなたから利益を得ようとしていると思いますか。或いは、正直に行動しようとして努力していると思いますか。

1. 利用しようとしている 2. 正直である
3. その他、すなわち _____ 4. 分からない/意見なし

[問 5 2]

(問題箇所) コメント 3

日本語比較対照の結果、「profiteren」に対して「利益を得る」、「利用する」の2通りに訳している。

(検討・処置)

両者とも同義であることを確認した。

52. Denkt u dat de meeste mensen van u zullen profiteren als ze de kans krijgen, of zullen ze proberen eerlijk te zijn?

- 1 Profiteren 2 Eerlijk zijn
3 Anders, nl..... 4 _____
5 _____ 6 Weet niet/geen mening

問55〔カード32〕科学上の発見とその利用は、あなたの日常生活の改善に役だっていると思いますか。

- | | |
|-------------|------------|
| 1 役だっている | 4 その他(記入) |
| 2 少しは役だっている | 5 わからない |
| 3 役だっていない | |

Q. 55

To what extent do you think that science and its applications bring improvements to your everyday life? Would you say.... (READ)

A. 55

- | | |
|--------------|----------------------------|
| 1 A lot | 2 A little bit, or |
| 3 Not at all | 0 Don't know (DO NOT READ) |

[問 5 5]

vraag 55

In welke mate vindt u dat de wetenschap en wetenschappelijke toepassingen uw dagelijks leven verbeteren? (Enq: Lees op)

質問 5 5

科学とその応用はあなたの日常生活をよくするのに役立っていると思いますか(読み上げる)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 大変役立っている | 2. 少しだけ役立っている |
| 3. 全く役立っていない | 4. 分からない/意見なし |

[問 5 5]

(設問)

原文

BT文

(問題箇所)コメント3

日本語比較対照の結果、「科学上の発見とその利用」が「科学とその応用」となっていた。

(検討・処置)

該当するオランダ語を確認した結果、正しく「科学上の発見とその利用」を意味していた。日本語訳を「科学上の発見とその利用」と修正した。

55. In welke mate vindt u dat de wetenschap en wetenschappelijke toepassingen uw dagelijks leven verbeteren? (Enq: Lees op)

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1 In hoge mate | 2 Een beetje |
| 3 Helemaal niet | 4 Weet niet/geen mening |

問56〔カード33〕コンピュータがいろいろなところに使われるようになり、情報化社会などということが言われています。このような傾向が進むにつれて、日常生活の上で変わっていく面があると思います。あなたは、このような変化をどう思いますか。

- 1 望ましいことである
- 2 望ましいことではないが、避けられないことである
- 3 困ったことであり、危険なことでもある
- 4 その他(記入)
- 5 わからない

Q. 56

(HAND CARD 56) In the future, computers in general will continue to change our lives. Do you think this is... (READ)

A. 56

- A 1 A desirable thing
B 2 An understandable but inevitable thing, or
C 3 A regrettable and dangerous thing
0 Don't know(DO NOT READ)

[問 5 6] vraag 56

Computers zullen in de toekomst ons leven verder veranderen. Vindt u dat...?
(Eng: Lees op)

- 1 Wenselijk
- 2 Begrijpelijk maar onvermijdelijk
- 3 Spijtig en gevaarlijk
- 4 Weet niet/Geen mening

質問 5 6

コンピューターは、将来、我々の生活をもっと変えるはずです。あなたの考えは(読み上げる)

1. それが望ましい
2. そう思う。それを避けることはできない
3. 残念なことで、むしろ危険である
4. 分からない/意見なし

[問 5 6]

(問題箇所)コメント3

日本語比較対照の結果、[2. 望ましいことではないが、…]とあるべきところが[2. そう思う。…]となっている。

(検討・処置)

該当箇所のオランダ語およびオランダ語訳の元である英語調査票の該当箇所を検討した結果、英語調査票問56の回答カテゴリー2は日本語調査票と同値でなかったことが判明した。本来「undesirable but inevitable」であるべきものが「understandable but inevitable」となっており、それを忠実にオランダ語訳し、「そう思う。…」となっていた。本来の「望ましいことではないが、…」の意味になるよう、オランダ語の修正を指示した。

56. Computers zullen in de toekomst ons leven verder veranderen. Vindt u dat...?
(Eng: Lees op)

- 1 Wenselijk
- 2 Niet wenselijk, maar onvermijdelijk
- 3 Spijtig en gevaarlijk
- 4 Weet niet/Geen mening

問58〔カード35〕つぎに挙げることは今後25年の間に実現すると思いますか。それぞれについてこの中からお答えください。

- | | 多分
実現する | 実現する
可 | 実現し
ない | その他 | わから
ない |
|------------------------------------|------------|-----------|-----------|-----|-----------|
| a. まず、「原子力廃棄物の安全な処理方法」についてはどうですか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| b. 「ガンの治療方法の解明」についてはどうですか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| c. 「老人性痴呆症（ぼけ）の治療方法の解明」についてはどうですか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| d. 「宇宙ステーションでの生活」についてはどうですか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

Q. 58

(HAND CARD 58) How likely do you think it is that we will see each of the following things in the next 25 years? Very likely, possible but not too likely, or not at all likely. (READ EACH IN TURN)

A. 58

	Very <u>likely</u>	Possoble but <u>not too likely</u>	Not at <u>all likely</u>	Don't <u>know</u>	
A safe method for the long-term storage or disposal of waste products from nuclear plants	1	2	3	4	225
A cure for common forms of cancer	1	2	3	4	256
A cure for senility	1	2	3	4	257
People living in space stations	1	2	3	4	258

〔問58〕 vraag 58 TOONBALD 28

Op deze kaart staat een aantal dingen die in de komende 25 jaar kunnen gaan gebeuren. Hoe waarschijnlijk acht u djk van deze gebeurtenissen binnen 25 jaar?

	Zeer waar schijn lijk	Moegelijk maar waar	Helemaal niet waar	Weet niet	Geen niet mening
a Een veilige methode voor de opslag of verwerking van kernafval op lange termijn	1	2	3	4	5
b Een geneesmiddel tegen de meest voorkomende vormen van kanker	1	2	3	4	5
c Een geneesmiddel om dementie ar te remmen	1	2	3	4	5
d Mensen die leven in ruimtestations	1	2	3	4	5

質問58 カードの頁28

この頁には、向こう25年間に実現する可能性のあることがいくつか挙げられています。25年間にそれぞれのことが実現される可能性がどれくらいあると思われますか（読み上げる）

	起きる 可能性 が高い	多分、 起きる だろう	可能性 は全然 ない	分から ない	意見 なし
a. 放射性廃棄物の長期的 の保存または加工のため の安全な方法の開発	1	2	3	4	5
b. 殆どのタイプの癌に利 く薬剤の開発	1	2	3	4	5
c. 痴呆(dementia)に利く 薬剤の開発	1	2	3	4	5
d. 人間が生活できる宇宙 ステーションの開発	1	2	3	4	5

[問 5 8]

(問題箇所 1) コメント 1

質問 e として「 AIDS の治療法 」についての質問を追加したらどうかという提案が NIP0 からあった。

(検討・処置 1)

今日的な話題を加える方が自然であるので、質問 e として「 AIDS の治療法 」についての質問をオランダ語訳、追加するよう指示した。

(問題箇所 2) コメント 3

日本語比較対照の結果、「この頁には、向こう 25 年間に実現する可能性のあることがいくつか挙げられています。」との一文が加わっている。

(検討・処置 2)

回答者に先入観を与える危惧があるので、削除するよう指示した。

58. Eng: Toonblad 13, VAK B

Hoe waarschijnlijk acht u het dat elk van de gebeurtenissen op deze kaart binnen 25 jaar zullen gaan gebeuren? (Eng: Lees op:)

	Zeer waar- schijnlijk	Mogelijk maar waar- schijnlijk	Helemaal niet waar- schijnlijk	Weet niet	Geen mening
Een veilige methode voor de opslag of verwerking van kernafval op lange termijn a					
Een middel tegen de meest voorkomende vormen van kanker b					
Een middel om dementie af te remmen c					
Mensen die leven in ruimtestations d					
Een middel tegen Aids ... e					

[オランダ調査のみ用いた新問題(ドイツ調査との比較に実施した日本調査Cと対応する)
問61-7〔カード提示〕 このカードには、近い将来起きるかもしれないわれわれの生活様式
の変化があげられています。それぞれについて、もし万一、そういう事が起った場合、あ
なたにはそれはよい事だと思いますか、それとも悪い事だと思いますか、それとも気にし
ませんか。

	良い	悪い	気にしない
1 お金や物にあまり執着しなくなる	1	2	3
2 生活の中で、働く事の重要性が減る	1	2	3
3 技術開発がより重視される	1	2	3
4 個人の能力開発がより重視される	1	2	3
5 公の権威や権力がより尊重される	1	2	3
6 家庭生活がより重視される	1	2	3
7 質素でより自然な生活様式になる	1	2	3

Q. 61-7

Here is a list of various changes in our way of life that might take place in the near future. Please tell me for each one, if it were to happen whether you think it would be a good thing, a bad thing or don't you mind?

	Good	Bad	Don't mind
Less emphasis on money and material possessions	1	2	3
Decrease in the importance of work in our lives	1	2	3
More emphasis on the development of technology	1	2	3
Greater emphasis on the development of the individual	1	2	3
Greater respect for authority	1	2	3
More emphasis on family life	1	2	3
A simple and more natural lifestyle	1	2	3

[問61-7] vraag 61-7 TOONBLAD 32

Dit is een lijst van veranderingen die zich in de nabije toekomst in onze manier van leven zouden kunnen voordoen. Kunt u mij bij elke daarvan vertellen of u het als iets goeds of iets slechts zou zien, of dat het u niets uitmaakt?

	Goed	Slecht	Geeft niet
a Minder nadruk op geld en materieel bezit	1	2	3
b Minder belang van werk in ons leven	1	2	3
c Meer nadruk op de ontwikkeling van technologie	1	2	3
d Meer nadruk op de ontwikkeling van de mens als persoon	1	2	3
e Meer eerbied voor het gezag	1	2	3
f Meer nadruk op het gezinsleven	1	2	3
g Een eenvoudiger en natuurlijker manier van leven	1	2	3

質問61-7 カードの頁32

近い将来、私達の生活方式に起きるかも知れない変化をリストにしました。それぞれの点について、あなたは歓迎するか、または厭だと思われるか、或いは別にどうとも思われな
いか、知らせて下さい。

	歓迎	厭だ	何とも思わない
a. 金銭と財産の多少に重きが置かれなくなる	1	2	3
b. 生活の中で仕事に重きが置かれなくなる	1	2	3
c. 技術の進歩に重きが置かれるようになる	1	2	3
d. 人間を個人として開発することに重きが置かれるようになる	1	2	3
e. 権威が尊重されるようになる	1	2	3
f. 家庭生活に重きが置かれるようになる	1	2	3
g. 生活がもっと簡単で自然になる	1	2	3

[問61-7] (7ヶ国共通の質問ではない)

(問題箇所) コメント3

各国により言葉のニュアンスは異なるが、設問eの「権威」にはどのようなイメージがあるのか。

(検討・処置)

オランダにおいて「gezag 権威」とは、警察や法律のイメージが強く、政府や国会のイメージとは違うということを確認した。

61-7.

Enq.: Toonblad 17, VAK A

Dit is een lijst van veranderingen die zich in de nabije toekomst in onze manier van leven zouden kunnen voordoen. Kunt u mij bij elke daarvan vertellen of u het als iets goeds of iets slechts zou zien, of dat het u niets uitmaakt?

	Goed	Slecht	Geeft niet
a Minder nadruk op geld en materieel bezit	1	2	3
b Minder belang van werk in ons leven	1	2	3
c Meer nadruk op de ontwikkeling van technologie	1	2	3
d Meer nadruk op de ontwikkeling van de mens als persoon	1	2	3
e Meer eerbied voor het gezag	1	2	3
f Meer nadruk op het gezinsleven	1	2	3
g Een eenvoudiger en natuurlijker manier van leven	1	2	3

問73 しいていえば、あなたは何党を支持しますか。

- 1 自民党 2 社会党 3 公明党 4 民社党
5 共産党 6 社民連 7 その他の政党(記入)
8 支持政党なし 9 わからない

Q. 73

Which political party do you usually feel closest you?

A. 73

- 1 Republican 2 Democrat 3 Independent 4 Other
5 No political party 6 Refused to say 0 Don't know

[問73] vraag 73 TOONBLAD 37

Door welke politieke partij voelt u zich gewoonlijk het meest aangetrokken?

- 1 CDA 2 PvdA 3 D'66 4 VVD 5 Groen links 6 RPF
7 GPV 8 SGP 9 CD 10 andere partij
11 weigert te zeggen 12 Weet niet/Geen opgave

質問73 カードの頁37

一般的に、どの政党に魅力を感じますか。

- 1 CDA 2 PvdA 3 D'66 4 VVD 5 Groen links 6 RPF
7 GPV 8 SGP 9 CD 10 その他の政党
11 意見発表を拒否する 12 分からない/意見なし

[問73]

(問題箇所) コメント3

「政党」についてはどのように記載するか。

(検討・処置)

各国の事情に応じて記載党数、党名等適切に変えるよう指示した。

73. Enq.: Toonblad 21

Door welke politieke partij voelt u zich gewoonlijk het meest aangetrokken?

- 1 CDA 2 PvdA 3 VVD 4 D'66 5 Groen links 6 RPF
7 GPV 8 SGP 9 CD 10 Andere partij
11 Weigert te zeggen 12 Weet niet/geen mening

付録

イタリア調査票作成のプロセス（バックトランスレーション）

この付録ではイタリア調査票作成のプロセス（バックトランスレーション）を示すが、全体のプロセスは本文中のオランダ語調査票作成と同じなので詳細な説明は省略する。

- 1) 本来の日本語質問票と同値と見なされる英語版調査票をイタリア語に翻訳し、イタリア調査票第一版作成（9月4日受けとり）
- 2) 続いて上記を日本語へ再翻訳した質問文を受け取る
- 3) 上記の2)をもとに本来の日本語質問票と比較検討し、イタリア調査票第二版作成
- 4) 上記の3)の日本語への再翻訳
- 5) 上記4)と本来の日本語調査票との比較によりイタリア調査票第三版作成
- 6) 上記の第三版の詳細を検討確認し、イタリア調査票最終版完成（92年10月）
- 7) 最終確認のためイタリア調査票最終版の和訳を完成させた

1) 本来の日本語質問票と同値と見なされる英語版調査票をイタリア語に翻訳し、イタリア調査票第一版作成 (9月4日受けとり)

Pragma s.r.l.
Via Salaria, 298/A
00199 ROMA
Tel. 1678-65041

RM 1345

R & D
BOZZA DI QUESTIONARIO

DOM. 1 RISPETTO A DIECI ANNI FA, LEI RITIENE CHE COMPLESSIVAMENTE IL TENORE DI VITA DEGLI ITALIANI SIA (Leggere)

- | | |
|------------------------|------|
| Decisamente migliorato | (27) |
| Leggermente migliorato | 1 |
| Più o meno lo stesso | 2 |
| Leggermente peggiorato | 3 |
| Decisamente peggiorato | 4 |
| Non so (non leggere) | 5 |
| | 9 |

DOM. 2 IN CONFRONTO A DIECI ANNI FA IL SUO TENORE DI VITA E' (Leggere)

- | | |
|------------------------|------|
| Decisamente migliorato | (28) |
| Leggermente migliorato | 1 |
| Più o meno lo stesso | 2 |
| Leggermente peggiorato | 3 |
| Decisamente peggiorato | 4 |
| Non so (non leggere) | 5 |
| | 9 |

DOM. 3 NEI PROSSIMI CINQUE ANNI LEI PENSA CHE IL SUO TENORE DI VITA SARÀ (Leggere)

- | | |
|----------------------|------|
| Decisamente migliore | (29) |
| Leggermente migliore | 1 |
| Più o meno lo stesso | 2 |
| Leggermente peggiore | 3 |
| Decisamente peggiore | 4 |
| Non so (non leggere) | 5 |
| | 9 |

DOM. 4 IN GENERALE LEI PENSA CHE LA GENTE SARÀ PIÙ FELICE O MENO FELICE DI QUANTO LO SIA ATTUALMENTE?

- | | |
|------------------------|------|
| Più felice | (30) |
| Meno felice | 1 |
| Più o meno come adesso | 2 |
| Altro (specificare) | 3 |
| Non so | 4 |
| | 9 |

DOM. 5 PENSANDO ALLA LORO SERENITÀ, LEI PENSA CHE AUMENTERÀ O DIMINUIRÀ?

- | | |
|---------------------|---|
| Aumenterà | 1 |
| Diminuirà | 2 |
| Rimarrà invariata | 3 |
| Altro (specificare) | 4 |
| Non so | 9 |

DOM. 6 E PENSANDO ALLA LIBERTÀ DELL'INDIVIDUO, LEI PENSA CHE AUMENTERÀ O DIMINUIRÀ?

- | | |
|---------------------|---|
| Aumenterà | 1 |
| Diminuirà | 2 |
| Non cambierà | 3 |
| Altro (specificare) | 4 |
| Non so | 9 |

DOM. 7 LEI PENSA CHE IN FUTURO LO STATO DI SALUTE DELLE PERSONE MIGLIORERA' O PEGGIORERA'?

Migliorerà	1
Peggiorerà	2
Non cambierà	3
Altro (specificare)	4
Non so	9

DOM. 8 (Mostrare cartellino dom. 8)

SI PARLA MOLTO IN QUESTI GIORNI DI QUALI SARANNO GLI OBIETTIVI DELL'ITALIA PER I PROSSIMI DIECI O QUINDICI ANNI. SUL PRESENTE CARTELLINO SONO ELENCATI GLI OBIETTIVI CHE SECONDO VARIE PERSONE DOVREBBERO AVERE LA PRIORITA' PERSONALMENTE QUALE REPUTA SIA IL PIU' IMPORTANTE? (Solo una risposta)

Mantenere l'ordine nel paese	1
Concedere ai cittadini più voce in capitolo nelle decisioni del Governo	2
Combattere l'aumento dei prezzi	3
Proteggere la libertà di parola	4
Altro (specificare)	5
Non so	9

DOM. 9 (Mostrare cartellino dom. 9)

AIUTANDOSI CON QUESTO CARTELLINO MI DICA FINO A CHE PUNTO SI PREOCCUPA PER SE STESSO E PER LA SUA FAMIGLIA IN MERITO A QUANTO SEGUE: (Leggere una voce alla volta)

	Molto	Abbastanza	Poco	Per niente	Non so
Una grave malattia	1	2	3	4	9
Un incidente d'auto	1	2	3	4	9
La disoccupazione	1	2	3	4	9
La guerra	1	2	3	4	9
Incidenti nelle centrali nucleari	1	2	3	4	9

DOM. 10 MANCA

DOM. 11 LEI DIREBBE DI ESSERE IN GENERE PIU' O MENO INCLINE DELL'ITALIANO MEDIO A RISPETTARE LA MEMORIA DEI SUOI ANTENATI ?

	(50)
Più della media	1
Meno della media	2
Nella media	3
Altro (specificare)	4
Non so	9

DOM. 12 SE NON AVESSE FIGLI, LEI PENSA CHE SAREBBE UN BENE ADOTTARNE UNO PER ASSICURARE LA CONTINUITA' DELLA SUA FAMIGLIA ANCHE SE NON C'E' UN LEGAME DI SANGUE? OPPURE NON PENSA CHE QUESTO SIA IMPORTANTE?

L'adottare	1
Non l'adottare	2
Dipende dalle circostanze	3
Altro (specificare)	4
Non importante	5
Non so	9

DOM. 13 SECONDO LEI QUAL'E' IL NUMERO IDEALE DI FIGLI IN UNA FAMIGLIA? (Non leggere)

Uno	1
Due	2
Tre	3
Quattro	4
Cinque	5
Più di cinque	6
Nessuno	7
Dipende, non c'è numero ideale	8
Non so	9

DOM. 14 DURANTE LE ULTIME QUATTRO SETTIMANE HA SOFFERTO DI..... ? (Leggere uno alla volta)

	SI	NO	Non so
Mal di testa/emicrania	1	2	9
Mal di schiena	1	2	9
Nervosismi	1	2	9
Stato depressivo	1	2	9
Insomnia	1	2	9

DOM. 15 IN RAPPORTO ALLA SUA ETA', QUANTO E' SODDISFATTO DEL SUO STATO DI SALUTE? LEI DIREBBE DI ESSERE (leggere)

Molto soddisfatto	1
Abbastanza soddisfatto	2
Abbastanza insoddisfatto	3
Molto insoddisfatto	4
Non so	9 (non leggere)

DOM. 16 (Mostrare cartellino dom. 16)

TUTTO CONSIDERATO COME DEFINIREBBE IL SUO ATTUALE TENORE DI VITA? RISPONDA CON L'AUTO DELLA PRESENTE SCALA DOVE 1 SIGNIFICA IL LIVELLO PIU' ALTO E 5 QUELLO PIU' BASSO:

Alto	1
Medio alto	2
Medio	3
Medio basso	4
Basso	5
Non so	9

DOM. 17 SE DOVESSE SCEGLIERE, COSA PREFERIREBBE TRA (leggere, una sola risposta)

Avere più denaro	1
Avere più tempo libero a disposizione	2
Non so (non leggere)	9

DOM. 18 SE AVESSE SUFFICIENTE DENARO PER VIVERE PER IL RESTO DELLA VITA QUANTO PIU' COMODAMENTE LE PIACE, CONTINUEREBBE A LAVORARE O SMETTEREBBE?

Continuerei a lavorare	1
Smetterei di lavorare	2
Altro (specificare)	3
Pensionato	4
Non lavora	5
Non so	9

DOM. 19 (Mostrare cartellino dom. 19)

QUALE TRA LE DUE AFFERMAZIONI PRESENTI SUL CARTELLINO SI AVVICINA MAGGIORMENTE ALLA SUA OPINIONE?

Indipendentemente da quanto denaro uno abbia, la vita senza lavoro è senza senso	1
Finché ci sono i soldi, la vita ha un senso anche senza un lavoro	2
Non so	9

DOM. 20 (Mostrare cartellino dom. 20)
 SU QUESTO CARTELLINO SONO ELENCAE ALCUNE COSE CHE LA GENTE PRENDE IN CONSIDERAZIONE IN RELAZIONE AL PROPRIO LAVORO. LEI PERSONALMENTE QUALE PORREBBE AL PRIMO POSTO?

- . Un buono stipendio per non avere preoccupazioni monetarie 1
- . Un lavoro sicuro senza rischio di cessazione di attività o di disoccupazione 2
- . Lavorare con persone che le piacciono 3
- . Fare un lavoro importante che le dia un senso di appagamento 4
- . Altro (specificare) _____ 5
- . Non so 9

DOM. 21 NELL'ORGANIZZAZIONE DELLA SUA SETTIMANA, ACCADE TALVOLTA CHE IL LAVORO INTRALCI LA SUA VITA PRIVATA O FAMILIARE?

- . Sì 1
- . No 2
- . Non lavora 3
- . Non so 9

DOM. 22 (Mostrare cartellino dom. 22)
 CI SONO DIVERSI ATTEGGIAMENTI NEI CONFRONTI DELLA VITA. QUALE DELLE SEGUENTI AFFERMAZIONI SI AVVICINA MAGGIORMENTE AL SUO MODO DI VIVERE? (Solo una risposta)

- . Lavorare sodo e diventare ricco 1
- . Studiare seriamente e farsi un nome 2
- . Non pensare nè ai soldi nè al successo, ma vivere secondo i propri gusti 3
- . Vivere alla giornata allegramente e senza pensieri 4
- . Resistere a tutte le insidie del mondo e condurre una vita pura e giusta 5
- . Mai pensare a sè stesso, consacrarsi interamente al bene della società 6
- . Altro (specificare) _____ 7
- . Non so 9

DOM. 23 COSA NE PENSA DELLA QUALITA' DELLA VITA NELLA SUA ZONA DI RESIDENZA? (Leggere) LEI SI DIREBBE.....

- . Molto soddisfatto/a 1
- . Abbastanza soddisfatto/a 2
- . Abbastanza insoddisfatto/a 3
- . Molto insoddisfatto/a 4
- . Non so (non leggere) 9

DOM. 24A (Mostrare cartellino dom. 24)
 AIUTANDOSI CON QUESTO CARTELLINO, MI PUO' DIRE FINO A CHE PUNTO RAPPRESENTANO UN PROBLEMA DI SICUREZZA NEL SUO QUARTIERE I SEGUENTI PUNTI: INIZIAMO CON I FURTI. QUANTO E' SERIO QUESTO PROBLEMA?

DOM. 24B (Lasciare il cartellino dom. 24)
 E LA SICUREZZA PERSONALE, COME AD ESEMPIO LE AGGRESSIONI? QUANTO E' SERIO QUESTO PROBLEMA NEL SUO QUARTIERE?

	Un problema serio	Un problema	Non è un problema serio	Non è affatto un problema	Non so
24A Furti	1	2	3	4	9
24B Sicurezza personale/ aggressioni	1	2	3	4	9

DOM. 25 (Mostrare cartellino dom. 25)

LEI CONOSCE LA FAVOLA DELLA CICALA DI LA FONTAINE. LA CICALA, DOPO AVER CANTATO TUTTA L'ESTATE, ALL'ARRIVO DELL'INVERNO NON AVEVA NIENTE DA MANGIARE, ALLORA VA A CHIEDERE AIUTO ALLA FORMICA CHE AVEVA LAVORATO TUTTA L'ESTATE. LA FORMICA AVREBBE POTUTO DARE UNA DELLE DUE RISPOSTE CHE LEGGE SUL PRESENTE CARTELLINO. QUALE DELLE DUE RISPOSTE SCEGLIEREBBE COME CONCLUSIONE DELLA STORIA?

- . La formica manda via la cicala dicendo che ha avuto ciò che si merita 1
- . La formica prima fa la morale alla cicala dicendo "sei in torto perchè sei stata pigra, dovresti lavorare di piu' " e poi spartisce con lei il cibo 2
- . Altro (specificare) _____ 3
- . Non so 9

DOM. 26A QUAL'E' PER LEI LA COSA PIU' IMPORTANTE NELLA VITA? ME NE DICA SOLAMENTE UNA.

- . Non so 9

DOM. 26B QUALI ALTRE COSE SONO MOLTO IMPORTANTI PER LEI? NE PUO' MENZIONARE QUANTE DESIDERA. Sollecitare: E ALTRO?

- . Non so 9

DOM. 27 USANDO LA SCALA SUL CARTELLINO MI PUO' DIRE QUANTO E' IMPORTANTE PER LEI OGNI SINGOLA VOCE? (Leggere una voce alla volta)

	Per niente importante					Molto importante			Non so
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
. La sua famiglia o figli se ne ha	1	2	3	4	5	6	7	8	9
. La carriera ed il lavoro	1	2	3	4	5	6	7	8	9
. Il tempo libero e gli svaghi	1	2	3	4	5	6	7	8	9
. Amici e conoscenti	1	2	3	4	5	6	7	8	9
. Genitori, fratelli, sorelle ed altri parenti	1	2	3	4	5	6	7	8	9
. La religione e la chiesa	1	2	3	4	5	6	7	8	9
. La politica	1	2	3	4	5	6	7	8	9

DOM. 28 (Mostrare cartellino dom. 28)

TUTTO CONSIDERATO, QUANTO E' SODDISFATTO DELLA SUA VITA FAMILIARE - CIOE' IL TEMPO CHE TRASCORRE E LE COSE CHE FA CON LE PERSONE DELLA SUA FAMIGLIA? MI RISPONDA AIUTANDOSI CON QUESTO CARTELLINO.

- . Molto soddisfatto 1
- . Abbastanza soddisfatto 2
- . Ne' soddisfatto ne' insoddisfatto 3
- . Abbastanza insoddisfatto 4
- . Molto insoddisfatto 5
- . Altro (specificare) _____ 6
- . Non so 9

- DOM. 29 (Lasciare cartellino dom. 28)**
 ORA LE VORREI CHIEDERE QUALCOSA SULLA SUA VITA IN GENERALE. QUANTO E' SODDISFATTO DELLA SUA VITA IN QUESTO PERIODO? MI RISPONDA UTILIZZANDO LO STESSO CARTELLINO.
- | | |
|-----------------------------------|---|
| . Molto soddisfatto | 1 |
| . Abbastanza soddisfatto | 2 |
| . Nè soddisfatto nè insoddisfatto | 3 |
| . Abbastanza insoddisfatto | 4 |
| . Molto insoddisfatto | 5 |
| . Altro (specificare) _____ | 6 |
| . Non so | 9 |
- DOM. 30** SE PENSA ALLE PERSONE DI SUCCESSO NELLA SOCIETA' ODIERNA. CHE COSA SECONDO LEI HA GIOCATO IL RUOLO PIU' IMPORTANTE PER LA LORO RIUSCITA? LA LORO ABILITA' E I LORO SFORZI OPPURE LA FORTUNA E IL CASO?
- | | |
|-----------------------------|---|
| . L'abilità e gli sforzi | 1 |
| . La fortuna ed il caso | 2 |
| . Altro (specificare) _____ | 6 |
| . Ambedue | 4 |
| . Non so | 9 |
- DOM. 31 (Mostrare cartellino dom. 31)**
 QUALE TRA LE OPINIONI ELENcate SUL PRESENTE CARTELLINO S'AVVICINA MAGGIORMENTE ALLA SUA OPINIONE IN MERITO ALLA SEGUENTE AFFERMAZIONE? "QUANDO LO STATO AIUTA LE FAMIGLIE IL CUI REDDITO E' INSUFFICIENTE...."
- | | |
|--|---|
| . Dà loro la possibilità di vivere | 1 |
| . Toglie loro il senso di responsabilità | 2 |
| . Altro (specificare) _____ | 3 |
| . Ambedue | 4 |
| . Non so | 9 |
- DOM. 32** ALCUNI DICONO CHE CON IL PROGREDIRE DELLA SCIENZA E DELLA TECNOLOGIA, LA VITA DIVENTA SEMPRE PIU' COMODA, MA ALLO STESSO TEMPO LA RENDE PIU' INUMANA. LEI E' D'ACCORDO O MENO?
- | | |
|-----------------------------|---|
| . Sono d'accordo | 1 |
| . Non sono d'accordo | 2 |
| . Indeciso/dipende | 3 |
| . Altro (specificare) _____ | 4 |
| . Non so | 9 |
- DOM. 33** ALCUNI SONO DELL'AVVISO CHE SIN DALLA SCUOLA ELEMENTARE AI BAMBINI DEBBA ESSERE INSEGNATO CHE I SOLDI SONO UNA DELLE COSE PIU' IMPORTANTI DELLA VITA. LEI E' D'ACCORDO OPPURE NO?
- | | |
|----------------------|---|
| . Sono d'accordo | 1 |
| . Non sono d'accordo | 2 |
| . Indeciso/dipende | 3 |
| . Altro | 4 |
| . Non so | 9 |
- DOM. 34** SECONDO ALCUNE PERSONE SE NOI AVESSIMO DEGLI ECCELLENTI CAPI POLITICI DOVREMMO, PER IL BENE DEL NOSTRO PAESE, AVERE PIENA FIDUCIA NEL LORO OPERATO ANZICHE' CONTINUARE A DISCUTERE DI POLITICA TRA DI NOI. LEI E' D'ACCORDO OPPURE NO?
- | | |
|-----------------------------|---|
| . Sono d'accordo | 1 |
| . Non sono d'accordo | 2 |
| . Indeciso/dipende | 3 |
| . Altro (specificare) _____ | 4 |
| . Non so | 9 |

DOM. 35	SE LEI E' CONVINTO CHE UNA DETERMINATA COSA SIA GIUSTA, PENSA CHE NON BISOGNEREBBE AVERE ESITAZIONI E FARLA ANCHE SE CIO' E' CONTRARIO ALLE NORMALI CONSUETUDINI, OPPURE PENSA CHE SIA MEGLIO CONFORMARSI ALLE CONSUETUDINI PER NON CORRERE IL RISCHIO DI SBAGLIARE?	
	Agire di conseguenza anche se contrariamente alle normali consuetudini	1
	Conformarsi alle consuetudini	2
	Sono indeciso/dipende dal caso	3
	Altro (specificare)	4
	Non so	9
DOM. 36	ALCUNI DICONO CHE, INDIPENDENTEMENTE DA QUANTO IL MONDO POSSA MECCANIZZARSI, NULLA POTRA' DIMINUIRE LA RICCHEZZA DELL'ANIMO UMANO. LEI E' D'ACCORDO O MENO CON QUESTA OPINIONE?	
	Sono d'accordo	1
	Non sono d'accordo	2
	Sono indeciso/dipende	3
	Altro (specificare)	4
	Non so	9
DOM. 37	LEI E' D'ACCORDO SULLA SEGUENTE FRASE " CASA MIA E' L'UNICO POSTO DOVE POSSO RILASSARMI E SENTIRMI BENE"?	
	Si	1
	No	2
	Altro (specificare)	3
	Non so	9
DOM. 38	(Mostrare cartellino dom. 38) QUALE TRA LE AFFERMAZIONI PRESENTI SUL CARTELLINO S'AVVICINA MAGGIORMENTE ALLA SUA OPINIONE SUL MATRIMONIO?	
	Il matrimonio è indissolubile	1
	Il matrimonio può essere sciolto solo in casi molto gravi	2
	Il matrimonio può essere sciolto semplicemente con il reciproco accordo dei coniugi	3
	Non so	9
DOM. 39	(Mostrare cartellino dom. 39) QUALE DELLE SEGUENTI AFFERMAZIONI RISPETTUA MAGGIORMENTE LA SUA OPINIONE SUI LAVORI DOMESTICI E LA CURA DEI BAMBINI?	
	Sono mansioni delle donne	1
	Alcune mansioni sono più adatte alla donna	2
	Tutte le mansioni dovrebbero essere indifferentemente divise tra l'uomo e la donna	3
	Non so	9
DOM. 40	SUPPONIAMO CHE UN BAMBINO DI CIRCA DIECI ANNI RITorni DALLA SCUOLA, E RACCONTI AI GENITORI CHE HA SENTITO DIRE CHE IL SUO MAESTRO HA FATTO QUALCOSA DI BRUTTO, ED I GENITORI SANNO CHE CIO' E' VERO. SECONDO LEI E' MEGLIO CHE I GENITORI DICANO LA VERITA' AL BAMBINO OPPURE CHE NON LA DICANO?	
	Dicano la verità	1
	Non la dicano	2
	Altro (specificare)	3
	Dipende dall'età del bambino	4
	Non so	9

DOM. 41 (Mostrare cartellino dom. 41)
 IMMAGINIAMO LA SEGUENTE SITUAZIONE. IL SIG. A E' RIMASTO ORFANO IN TENERA ETA' ED E' STATO ALLEVATO DAL SIG. B, UN BUON VICINO, CHE GLI HA DATO UNA BUONA EDUCAZIONE E GLI HA DATO LA POSSIBILITA' DI SEGUIRE GLI STUDI UNIVERSITARI. ADESSO, IL SIG. A E' DIVENTATO IL PRESIDENTE DI UNA SOCIETA'. UN GIORNO RICEVE UN TELEGRAMMA CHE IL SIG. B CHE L'HA ALLEVATO E' GRAVEMENTE AMMALATO E GLI CHIEDE DI ANDARE IMMEDIATAMENTE DA LUI. QUESTO TELEGRAMMA GIUNGE MENTRE IL SIG. A STA PARTENDO PER ANDARE AD UNA IMPORTANTISSIMA RIUNIONE DURANTE LA QUALE SI DECIDERA' SE LA SOCIETA' ANDRA' FALLITA OPPURE SI SALVERA'. SECONDO LEI COSA DOVREBBE FARE IL SIG. A?

- Lasciare tutto ed andare subito dal Sig. B 1
- Per quanto possa essere preoccupato, dovrebbe andare alla riunione 2
- Altro (specificare) _____ 3
- Rimandare la riunione 4
- Non so 9

DOM. 42 (Mostrare cartellino dom. 42)
 NELLA PRECEDENTE DOMANDA SI PRESUPPONEVA CHE IL SIG. B AVESSE ADOTTATO IL SIG. A. SUPPONIAMO INVECE CHE FOSSE IL VERO PADRE DEL SIG. A E CHE FOSSE GRAVEMENTE AMMALATO. IN QUESTO CASO LEI COSA AVREBBE RISPOSTO?

- Lasciare tutto e andare subito da suo padre 1
- Per quanto possa essere preoccupato per suo padre, dovrebbe andare alla riunione 2
- Altro (specificare) _____ 3
- Rimandare la riunione 4
- Non so 9

DOM. 43 (Mostrare cartellino dom. 43)
 QUI DI SEGUITO CI SONO TRE OPINIONI SUI RAPPORTI TRA L'UOMO E LA NATURA. QUALE PENSA SI AVVICINI MAGGIORMENTE ALLA VERITA'?

- Per essere felice, l'uomo deve conformarsi alla natura 1
- Per essere felice, l'uomo deve servirsi della natura 2
- Per essere felice, l'uomo deve dominare la natura 3
- Altro (specificare) _____ 4
- Non so 9

DOM. 44 (Mostrare cartellino dom. 44)
 TRA LE SEGUENTI AFFERMAZIONI SCELGA QUELLA CON LA QUALE E' MAGGIORMENTE D'ACCORDO.

- Un paese potrà progredire soltanto se si rendono felici gli individui 1
- Soltanto se il paese progredisce gli individui potranno essere felici 2
- Far progredire il paese e rendere felici gli individui è in sostanza la stessa cosa 3
- Altro (specificare) _____ 4
- Non so 9

DOM. 45 (Mostrare cartellino dom. 45)
 SE LE VENISSE CHIESTO DI SCEGLIERE LE DUE COSE PIU' IMPORTANTI TRA QUELLE INDICATE SUL CARTELLINO, QUALI SCEGLIEREBBE?

- Affetto e rispetto per i genitori 1
- Sdebitarsi con coloro che l'hanno aiutata nel passato 2
- Rispettare i diritti dell'individuo 3
- Rispettare la libertà dell'individuo 4
- Altro (specificare) _____ 5

DOM. 46 (Mostrare cartellino dom. 46)
QUALE TRA I DUE SEGUENTI PERSONAGGI PREFERIREBBE AVERE COME COLLEGA?

- Il Sig. S. che è una persona cordiale e sul cui aiuto si può contare ma che non è un lavoratore molto efficiente 1
- Il Sig. T. che è un lavoratore ma che rimane indifferente alle preoccupazioni ed ai problemi del prossimo 2
- Altro (specificare) _____ 3
- Non so 9

DOM. 47 (Mostrare cartellino dom. 47)
QUALE DELLE DUE PERSONE DESCRITTE SUL CARTELLINO PREFERISCE?

- Una persona che rimane fedele ai propri principi piuttosto che raggiungere il consenso degli altri 1
- Una persona per la quale è importante raggiungere il consenso degli altri piuttosto che tener fede ai propri principi 2
- Altro (specificare) _____ 3
- Non so 9

DOM. 48 (Mostrare cartellino dom. 48)
SUPPONIAMO CHE LEI SIA IL PRESIDENTE DI UNA SOCIETA'. LA SOCIETA' DECIDE DI ASSUMERE UNA PERSONA ED EFFETTUA UNA SELEZIONE PER L'ASSUNZIONE. TRA I CANDIDATI C'E' UN SUO PARENTE. LA PERSONA INCARICATA DELLA SELEZIONE VIENE DA LEI E LE DICE: "IL SUO PARENTE CHE HA PRESO PARTE ALLA SELEZIONE E' RISULTATO SECONDO IN GRADUATORIA E PER NOI SIA COLUI CHE HA OTTENUTO IL PRIMO POSTO CHE IL SUO PARENTE ANDREBBERO BENE; COSA DOBBIAMO FARE?" QUALE PERSONA ASSUMEREBBE IN UN CASO DEL GENERE?

- La persona che è risultata prima in graduatoria 1
- Il suo parente 2
- Altro (specificare) _____ 3
- Non so 9

DOM. 49 (Mostrare cartellino dom. 49)
NELLA PRECEDENTE DOMANDA ABBIAMO PRESUPPOSTO CHE COLUI CHE HA OTTENUTO IL SECONDO POSTO IN GRADUATORIA SIA UN SUO PARENTE. SUPPONIAMO INVECE CHE COLUI CHE E' RISULTATO AL SECONDO POSTO SIA IL FIGLIO DI PERSONE VERSO LE QUALI LEI HA UN DEBITO DI RICONOSCENZA. QUALE PERSONA IN QUESTO CASO SCEGLIEREBBE?

- La persona che è risultata prima in graduatoria 1
- Il figlio delle persone a cui deve riconoscenza 2
- Altro (specificare) _____ 3
- Non so 9

DOM. 50 (Mostrare cartellino dom. 50)
SUPPONIAMO CHE LEI LAVORI IN UNA DITTA DOVE CI SONO DUE TIPI DI CAPI-SERVIZIO. AIUTANDOSI CON QUESTO CARTELLINO, MI PUO' DIRE SOTTO QUALE CAPO SERVIZIO PREFERIREBBE LAVORARE?

- Un uomo che attiene sempre al regolamento e non le chiede mai dei lavori assunti ma che d'altro canto non farebbe nulla per lei personalmente al di fuori del campo lavorativo 1
- Una persona che delle volte richiede del lavoro supplementare malgrado le norme lo vietino ma che si occupa di lei personalmente anche al di fuori del campo lavorativo 2
- Altro (specificare) _____ 3
- Non so 9

DOM. 51 LEI DIREBBE CHE NELLA MAGGIORANZA DEI CASI LA GENTE CERCA D' ESSERE D'AUTO O CHE SI PREOCCUPA SOPRATTUTTO DI SE' STESSA E DEI PROPRI INTERESSI?

Cerca di essere d'aiuto	1
Si preoccupa di se stessa	2
Altro (specificare)	3
Non so	9

DOM. 52 LEI PENSA CHE LA MAGGIOR PARTE DELLA GENTE CERCHEREBBE DI APPROFITTARSI DI LEI SE NE AVESSE L'OCCASIONE O CERCHEREBBE DI ESSERE CORRETTA?

Cercherebbe di approfittarsi	1
Cercherebbe di essere corretta	2
Altro (specificare)	3
Non so	9

DOM. 53 IN LINEA GENERALE, LEI DIREBBE CHE CI SI PUO' FIDARE DELLA MAGGIORANZA DELLE PERSONE OPPURE CHE NON SI PUO' MAI ESSERE TROPPO SICURI?

Ci si può fidare	1
Non si può mai essere troppo sicuri	2
Altro (specificare)	3
Non so	9

DOM. 54 LE LEGGERO' ALCUNE AFFERMAZIONI CHE ALCUNE PERSONE HANNO FATTO SULLA VITA DI OGGI, AIUTANDOSI CON QUESTO CARTELLINO MI PUO' DIRE QUANTO E' D'ACCORDO O MENO CON CIASCUNA AFFERMAZIONE? (Leggere una alla volta)

	Molto d'accordo	Abbastanza d'accordo	Poco d'accordo	Per niente d'accordo	Non so
La maggior parte delle persone fanno del tutto per essere d'aiuto agli altri	1	2	3	4	5
Ho l'impressione di far parte di una comunità locale molto unita	1	2	3	4	5
Oggi giorno bisogna vivere alla giornata senza preoccuparsi del domani	1	2	3	4	5
Il modo in cui si guadagna da vivere è più importante di quanto si guadagna	1	2	3	4	5
Oggi giorno le persone come me si sentono spesso sole e tagliate fuori dalla società	1	2	3	4	5

DOM. 55 IN CHE MISURA PENSA CHE LE SCOPERTE SCIENTIFICHE E LA LORO APPLICAZIONE POSSANO PORTARE AD UN MIGLIORAMENTO DELLA SUA VITA QUOTIDIANA?

Molto	1
Poco	2
Per niente	3
Non so (non leggere)	9

DOM. 56 NEGLI ANNI FUTURI, LA DIFFUSIONE DELL'INFORMATICA CONTINUERA' A MODIFICARE ALCUNI ASPETTI DELLE CONDIZIONI DI VITA. LEI CONSIDERA QUESTA EVOLUZIONE COME.....

Una cosa augurabile	1
Una cosa poco augurabile ma inevitabile	2
Una cosa spiacevole e pericolosa	3
Non so (non leggere)	9

DOM. 57 (Mostrare cartellino dom. 57)
COSA PENSA DELLE SEGUENTI AFFERMAZIONI? PER CIASCUNA MI DIA UNA DELLE RISPOSTE INDICATA SUL PRESENTE CARTELLINO. (Una risposta per riga)

	Molto d'accordo	Abbastanza d'accordo	Poco d'accordo	Per niente d'accordo	Non so
Ci sono delle malattie che vengono curate meglio con metodi che la medicina moderna non riconosce	1	2	3	4	0
Un giorno la scienza permetterà di conoscere completamente il funzionamento della mente umana	1	2	3	4	0
La maggior parte dei problemi sociali ed economici che affrontiamo oggi verranno risolti grazie al progresso della scienza e della tecnologia	1	2	3	4	0

DOM. 58 (Mostrare cartellino dom. 58)
FINO A CHE PUNTO, SECONDO LEI, LE SEGUENTI COSE DIVERRANNO O MENO UNA REALTA' NEI PROSSIMI 25 ANNI? PER CIASCUNA VOCE SCELGA UNA DELLE RISPOSTE ELENCAE SUL PRESENTE CARTELLINO.

(1 risposta per ogni voce)	Molto probabile	Possibile ma non troppo probabile	Per niente probabile	Non so
Un metodo sicuro per smaltire i rifiuti delle centrali nucleari	1	2	3	4
Una cura per le forme più comuni di cancro	1	2	3	4
Una cura per la senilità	1	2	3	4
La possibilità di vivere in una base spaziale	1	2	3	4

DOM. 59 **SI SENTE MOLTO PARLARE DI RISPARMI ENERGETICI. LEI PENSA CHE SI TRATTA DI UN PROBLEMA.....**

Molto importante	1
Importante	2
Poco importante	3
Per niente importante	4
Non so (non leggere)	9

DOM. 60 **LA TUTELA DELL'AMBIENTE COSTITUISCE PER LEI UN PROBLEMA.....**

Molto importante	1
Importante	2
Poco importante	3
Per niente importante	4
Non so (non leggere)	9

DOM. 61 **QUALE E' LA PRIMA COSA CHE LE VIENE IN MENTE QUANDO PENSA ALLA CULTURA ITALIANA? MI DICA TUTTO CIO' CHE LE VIENE IN MENTE. Sollecitare: QUALCOS'ALTRO?**

DOM. 61-1 (Mostrare cartellino dom. 61-1)

A) SECONDO LEI TRA LE QUALITÀ ELENcate SUL PRESENTE CARTELLINO QUALI SONO LE PIU' TRE PIU' GRADEVOLI IN UN BAMBINO?

B) QUALE DI QUESTE TRE E' LA PIU' GRADEVOLE DI TUTTE?

	Tre piu' gradevoli	La piu' gradevole
. Che un bambino abbia buone maniere	2	1
. Che un bambino si sforzi per riuscire	2	1
. Che un bambino sia onesto	2	1
. Che un bambino sia ordinato e pulito	2	1
. Che un bambino abbia buon senso e sia giudizioso	2	1
. Che un bambino abbia auto-controllo	2	1
. Che un ragazzo si comporti come tale e che una ragazza faccia altrettanto	2	1
. Che vada d'accordo con gli altri bambini	2	1
. Che obbedisca ai suoi genitori	2	1
. Che sia responsabile	2	1
. Che sia premuroso nei confronti degli altri	2	1
. Che sia interessato in che modo e perchè avvengono le cose	2	1
. Che sia un bravo studente	2	1

DOM. 61-2 (Mostrare cartellino dom. 61-2)

MOLTE PERSONE SI CHIEDONO CHE SIGNIFICATO ABBA LA VITA UMANA. SULLA PRESENTE PAGINA CI SONO DELLE OPINIONI SUI SIGNIFICATI DELLA VITA. UTILIZZANDO LA SCALA PRESENTE SUL CARTELLINO VORREI CHE LEI MI DICESSE, PER OGNI OPINIONE, QUALE S'AVVICINA MAGGIORMENTE ALLA SUA.

A) La vita ha un significato solamente se le viene dato un significato

1. Pienamente d'accordo	1
2. Abbastanza d'accordo	2
3. Non ho una ferma opinione in merito	3
4. Abbastanza in disaccordo	4
5. Pienamente in disaccordo	5
6. Non ci ho mai pensato	6
9. Non so	9

B) Per me la vita non ha significato

1. Pienamente d'accordo	1
2. Abbastanza d'accordo	2
3. Non ho una ferma opinione in merito	3
4. Abbastanza in disaccordo	4
5. Pienamente in disaccordo	5
6. Non ci ho mai pensato	6
9. Non so	9

C) Penso che la vita delle persone abbia un chiaro significato e segua una certo schema

1. Pienamente d'accordo	1
2. Abbastanza d'accordo	2
3. Non ho una ferma opinione in merito	3
4. Abbastanza in disaccordo	4
5. Pienamente in disaccordo	5
6. Non ci ho mai pensato	6
9. Non so	9

DOM. 61-3 IN CONFRONTO A COME VIVONO ALTRE PERSONE IN ITALIA, LEI PENSA DI RICEVERE: IL GIUSTO, PIU' DI QUANTO SIA GIUSTO, UN PO' MENO O MOLTO MENO DI QUANTO SIA GIUSTO?

. Il giusto	1
. Piu' di quanto sia giusto	2
. Un po' meno di quanto sia giusto	3
. Molto meno di quanto sia giusto	4
. Non so	9

DOM. 61-4 E' SPIACEVOLE PER LEI TROVARSI CON DELLE PERSONE CHE HANNO IDEE, FEDI, CONVINZIONI, PRINCIPI E VALORI DIVERSI DAI SUOI? PER LEI E'..... (Ruotare l'ordine ad ogni intervista)

- | | |
|-----------------------|---|
| Molto spiacevole | 1 |
| Abbastanza spiacevole | 2 |
| Poco spiacevole | 3 |
| Per niente spiacevole | 4 |
| Non so | 9 |

DOM. 61-5 (Mostrare cartellino domi 61-5)

SUL PRESENTE CARTELLINO FIGURANO VARIE CATEGORIE DI PERSONE. MI INDICHI QUELLE CHE NON LE PIACEREBBE AVERE COME VICINI. (Piu' risposte possibili)

- | | |
|---|---|
| Persone con una fedina penale sporca | 1 |
| Personie di razza diversa | 2 |
| Studenti | 3 |
| Estremisti di sinistra | 4 |
| Madri rubili | 5 |
| Forti bevitori | 6 |
| Estremisti di destra | 7 |
| Personie con una famiglia numerosa | 8 |
| Personie emottivamente instabili | 9 |
| Membr di sette o culti religiosi minori | X |
| Imigrati/lavoratori stranieri | Y |
| Nessuna di queste categorie | 0 |

DOM. 61-6 LE VORREI ESPORRE UN CASO E CHIEDERE LA SUA OPINIONE. CI SONO DUE SEGRETARIE DELLA STESSA ETA' E CHE ESPLETANO IN PRATICA LO STESSO LAVORO. UNA DELLE SEGRETARIE SCOPRE CHE LA SUA COLLEGA GUADAGNA LIRE 25.000 IN PIU' ALLA SETTIMANA. E VA A LAMENTARSI DAL SUO CAPO. QUESTO LE RISPONDE CHE E' VERO IN QUANTO L'ALTRA SEGRETARIA E' PIU' VELOCE, PIU' EFFICIENTE E PIU' AFFIDABILE. SECONDO LEI E' GIUSTO CHE UNA SEGRETARIA VENGA PAGATA PIU' DELL'ALTRA?

- | | |
|----------|---|
| Giusto | 1 |
| Ingiusto | 2 |
| Non so | 9 |

DOM. 61-7 ECCO UNA LISTA DI CAMBIAMENTI NEL SUO MODO DI VIVERE CHE POTREBBERO VERIFICARSI NEL PROSSIMO FUTURO. PER OGNUNO MI DICA SE SAREBBE UN BENE CHE AVVENISSE, UN MALE O SE LA COSA NON FA ALCUNA DIFFERENZA.

	Buona	Cattiva	Nessuna differenza
Dare meno importanza ai soldi ed ai beni materiali	1	N	3
Che il lavoro abbia un ruolo meno importante nella nostra vita	1	N	3
Occuparsi maggiormente dello sviluppo della tecnologia	1	N	3
Interessarsi di piu' della completezza morale di un individuo	1	N	3
Avere maggiore rispetto per l'autorita	1	N	3
Dare piu' importanza alla vita familiare	1	N	3
Un modo di vivere piu' semplice e piu' naturale	1	N	3

QUALCHE DOMANDA RIGUARDO LA RELIGIONE.

DOM. 62A LEI SI CONSIDERA APPARTENENTE AD UNA RELIGIONE?

- | | |
|--------|---|
| Si | 1 |
| No | 2 |
| Non so | 9 |

DOM. 62B SE "SI", QUALE?

- | | |
|--|---|
| Cattolica | 1 |
| Protestante (include: Batista, Metodista, Luterana...) | 2 |
| Ebraica | 3 |
| Musulmana | 4 |
| Altro (specificare) | 5 |
| Non so | 9 |

DOM. 63 INDIPENDENTEMENTE DAL TIPO DI RELIGIONE, LEI PENSA CHE SIA IMPORTANTE O MENO AVERE DEI SENTIMENTI RELIGIOSI?

- . Importante 1
- . Non importante 2
- . Altro (specificare) _____ 3
- . Non so 9

DOM. 64 ALCUNI DICONO CHE BENCHE' AL MONDO CI SIANO TANTE DIVERSE RELIGIONI, OGNUNA CON IL PROPRIO CREDO, LA GRAN PARTE DEI LORO INSEGNAMENTI SONO PIU' O MENO GLI STESSI. LEI E' D'ACCORDO O MENO SU QUESTA IDEA?

- . Sono d'accordo 1
- . Non sono d'accordo 2
- . Altro (specificare) _____ 3
- . Non so 9

DOM. 65 NON ESISTE.

DOM. 66 QUANTO S'INTERESSA DI POLITICA? (Leggere)

- . Moltissimo 1
- . Abbastanza 2
- . Non molto 3
- . Per niente 4
- . Non so 9

DOM. 67 LE CITERO' ALCUNE PAROLE CHE CARATTERIZZANO DELLE IDEE. LEI DIREBBE DI AVERE UN'OPINIONE FAVOREVOLE O SFAVOREVOLE NEI CONFRONTI DI CIASCUNA DELLE SEGUENTI IDEE? (Leggere ruotando l'ordine)

	Favorevole	Dipende	Sfavorevole	Non so
<input type="checkbox"/> Democrazia	1	2	3	9
<input type="checkbox"/> Capitalismo	1	2	3	9
<input type="checkbox"/> Socialismo	1	2	3	9
<input type="checkbox"/> Liberalismo	1	2	3	9

DOM. 68 IN GENERALE, QUANTO E' SODDISFATTO DEL MODO IN CUI FUNZIONA LA DEMOCRAZIA IN ITALIA? LEI SI DIREBBE.... (Leggere)

- . Molto soddisfatto 1
- . Abbastanza soddisfatto 2
- . Non molto soddisfatto 3
- . Per niente soddisfatto 4
- . Non so (non leggere) 9

DOM. 69 IN BASE ALLE SUA CONOSCENZA DEL SISTEMA GIUDIZIARIO, COME PENSA CHE FUNZIONI OGGI IN ITALIA? LEI DIREBBE..... (Leggere)

- . Molto bene 1
- . Abbastanza bene 2
- . Abbastanza male 3
- . Molto male 4
- . Non so 9

DOM. 70 (Mostrare cartellino dom. 70)
SUL PRESENTE CARTELLINO SONO RIPORTATE DUE OPINIONI SUI RAPPORTI TRA DIPENDENTI E DATORI DI LAVORO. QUALE DELLE DUE ESPRIME MEGLIO IL SUO PARERE?

- . Poichè gli interessi del dipendente e del datore sono completamente all'opposto, è giusto e normale che siano sempre in conflitto tra loro 1
- . In fondo gli interessi del dipendente e del datore sono gli stessi in quanto se una società guadagna bene può pagare stipendi migliori e pertanto le due parti dovrebbero collaborare 2
- . Non so 9

DOM. 71 (Mostrare cartellino dom. 71)
SU QUESTO CARTELLINO SONO INDICATI TRE ATTEGGIAMENTI FONDAMENTALI RIGUARDANTI LA SOCIETA' NELLA QUALE VIVIAMO. SCELGA L'ATTEGGIAMENTO CHE MEGLIO CORRISPONDE ALLE SUE IDEE PERSONALI.

- . E' necessario cambiare radicalmente l'organizzazione della nostra società con una azione rivoluzionaria 1
- . La nostra società va migliorata lentamente con delle riforme 2
- . La nostra attuale società va difesa coraggiosamente contro tutte le forze sovversive 3
- . Non so 9

DOM. 72A SECONDO LEI LA SOCIETA' ITALIANA HA NECESSITA' DI CAMBIARE PROFONDAMENTE?

- . Si 1
- . No 2
- . Non so 9

DOM. 72B PER CAMBIARE LA SOCIETA' SECONDO LE SUE ASPETTATIVE, LEI E' FAVOREVOLE A DELLE RIFORME GRADUALI O AD UN CAMBIAMENTO RADICALE?

- . Riforme graduali 1
- . Cambiamenti radicali 2
- . Non so 9

DOM. 73 A QUALE PARTITO POLITICO SI SENTE PIU' VICINO?

- . Democrazia Cristiana (DC) 01
- . Partito Democratico della Sinistra (PDS) 02
- . Rifondazione Comunista 03
- . Partito Socialista Italiano (PSI) 04
- . Movimento Sociale Italiano Destra Nazionale (MSI-DN) 05
- . Partito Repubblicano Italiano (PRI) 06
- . Partito Socialdemocratico Italiano (PSDI) 07
- . Federazione delle Liste Verdi 08
- . Partito Radicale (PR) 09
- . Partito Liberale Italiano (PLI) 10
- . Democrazia Proletaria (DP) 11
- . Sudtiroler volkspartei (SUP) 12
- . Sinistra indipendente 13
- . Lega lombarda 14
- . Partito Sardo d'azione 15
- . Altri 16
- . Nessun partito politico 17
- . Rifiuta di rispondere 18
- . Non so 99

DOM. 74 LEI SI SENTE MOLTO VICINO A QUESTO PARTITO, ABBASTANZA VICINO O PER NIENTE VICINO?

- . Molto vicino 1
- . Abbastanza vicino 2
- . Non molto vicino 3
- . Non so 9

UOM. 75A (Mostrare cartellino dom. 75A)

SU QUESTO CARTELLINO E' RIPORTATO UNA SPECIE DI TERMOMETRO CHE VA DA 0 A 100 GRADI. VORREI CHE LEI LO UTILIZZASSE PER ESPRIMERE LA SUA SIMPATIA NEI CONFRONTI DEI VARI PARTITI POLITICI. AL CENTRO DELLA SCALA LA POSIZIONE 50 E' NEUTRA. PIU' SIMPATIA HA PER UN PARTITO, PIU' IL TERMOMETRO SALIRA', MENTRE PIU' E' OSTILE PIU' IL TERMOMETRO SCENDERA' VERSO LO 0. INIZIAMO PARLANDO DELLA D.C. (Leggere tutti i partiti, ruotare l'ordine di lettura)

	Temperatura
Democrazia Cristiana (DC)	□ □ □ □
Partito Democratico della Sinistra (PDS)	□ □ □ □
Rifondazione Comunista	□ □ □ □
Partito Socialista Italiano (PSI)	□ □ □ □
Movimento Sociale Italiano Destra Nazionale (MSI-DN)	□ □ □ □
Partito Repubblicano Italiano (PRI)	□ □ □ □
Partito Socialdemocratico Italiano (PSDI)	□ □ □ □
Federazione delle Liste Verdi	□ □ □ □
Partito Radicale (PR)	□ □ □ □
Partito Liberale Italiano (PLI)	□ □ □ □
Democrazia Proletaria (DP)	□ □ □ □
Sudtiroler Volkspartei (SUP)	□ □ □ □
Sinistra Indipendente	□ □ □ □
Lega lombarda	□ □ □ □
Partito Sardo d'azione	□ □ □ □
Non so	9 9 9

NOME E COGNOME DELLA PERSONA INTERVISTATA _____

INDIRIZZO _____

COMUNE _____ PROVINCIA _____ TEL. _____

DICHIARO CHE LA PRESENTE INTERVISTA E' STATA ESEGUITA DA ME PERSONALMENTE SECONDO LE ISTRUZIONI CONTENUTE, NONCHE' IN BASE ALLE NORME CHE REGOLANO LA COLLABORAZIONE TRA GLI INTERVISTATORI E GLI ISTITUTI MEMBRI DELL'AIMS ALLEGATE ALLA PROPOSTA DI INCARICO, DELLE QUALI DICHIARO DI AVERE PIENA CONOSCENZA. APPROVO IN PARTICOLARE, AI SENSI E PER GLI EFFETTI DEGLI ARTICOLI 1341 E 1342 C.C., LE CLAUSOLE 8, 9 E 11 IVI CONTENUTE.

Data intervista _____

Firma intervistatore _____

P. S. Kindly note Q. 10 and
Q. 65 are missing.

2) イタリア調査票第1版を日本語へ再翻訳した質問文

世論調査草案

問 1. 10年前と比較し、全体的にイタリア人の生活水準は(読むこと)(27)

良くなった	1
やや良くなった	2
あまり変わらない	3
やや悪くなった	4
悪くなった	5
わからない(読まないこと)	9

問 2. 10年前と比較し、あなたの生活水準は(読むこと)(28)

良くなった	1
やや良くなった	2
あまり変わらない	3
やや悪くなった	4
悪くなった	5
わからない(読まないこと)	9

問 3. これからの5年間にあなたの生活水準は(読むこと)(29)

良くなるだろう	1
やや良くなるだろう	2
あまり変わらないだろう	3
やや悪くなるだろう	4
悪くなった	5
わからない(読まないこと)	9

問 4. 一般的に、人々は今よりもっと幸せ、又は不幸せになると思うか。(30)

もっと幸せになる	1
もっと不幸せになる	2
今と変わらない	3
その他(具体的に言うこと)	4
わからない(読まないこと)	9

問 5. 彼らの平静(心の安らぎ)の度合いは大きくなるか、小さくなるだろうか。

大きくなる	1
-------	---

- 小さくなる 2
- 変わらない 3
- その他（具体的に言うこと） 4
- わからない（読まないこと） 9

問 6. 個人の自由は拡大するか、又は減退すると思うか。

- 拡大する 1
- 減退する 2
- 変わらない 3
- その他（具体的に言うこと） 4
- わからない（読まないこと） 9

問 7. 将来人々の健康状態は良くなるか、悪くなるか。

- 拡大する 1
- 減退する 2
- 変わらない 3
- その他（具体的に言うこと） 4
- わからない（読まないこと） 9

問 8. （問 8 のカードを見せながら）

現在、今から 10 年か 15 年の間、イタリアが何を目的にすべきかについて議論されている。このカードに一部の人が選んだ優先すべき目的が記載されている。この中でどれが一番重要だと思うか（一つだけ選ぶこと）

- 国の治安を守ること 1
- 政府決定に国民の声を
もっと反映すること 2
- インフレを抑止すること 3
- 言論の自由を守ること 4
- その他（具体的に言うこと） 5
- わからない（読まないこと） 9

問 9. （問 9 のカードを見せながら）

このカードのリストに基づいて自分あるいは家族のことにに関してどれだけ心配するか（一答ずつ読むこと）

	と	ち	や	全	解
	て	っ	や	く	ら
	も	と		な	な
				い	い
重病	1	2	3	4	5
交通事故	1	2	3	4	5
失業	1	2	3	4	5
戦争	1	2	3	4	5
原子力発電所	1	2	3	4	5
での事故					

問 10. (ありません)

問 11. あなたは普通のイタリア人より祖先を尊敬する気持ちは強い。 (50)

平均より強い	1
平均より弱い	2
普通	3
その他 (具体的に言うこと)	4
わからない	9

問 12. もし自分に子供がなければ、家系を存続させる為に血のつながりがなくても養子縁組みをするのは良いことか。それともこれはあまり大事ではないか。

養子縁組みをする	1
養子縁組みをしない	2
状況次第	3
その他 (具体的に言うこと)	4
大事ではない	5
わからない	9

問 13. あなたの理想では家庭の中に子供が何人位いればいいか。

一人	1
二人	2
三人	3
四人	4
五人	5
六人以上	6
子供がいないのが理想	7

状況次第。

理想的な人数はいない 8
わからない 9

問 14. ここ 4 週間の間に下記の病状に襲われた（一答ずつ読むこと）。

	はい	いいえ	解らない
頭痛	1	2	3
腰痛	1	2	3
いらだち /			
神経過敏症	1	2	3
抑うつ状態	1	2	3
不眠	1	2	3

問 15. あなたは自分の年齢としては健康状態に満足しているか（読むこと）

とても満足している 1
十分満足している 2
とても不満 4
わからない（読まないこと） 9

問 16. （問 16 のカードを見せながら）

あなたは全体的に自分の生活水準（暮らしの裕福さ）をどう思うか。カードを参考に答えてください。1 は最も高い水準で、5 は一番低い水準を言う。

高い	1
中の高	2
平均	3
平均より低い	4
低い	5
わからない	9

問 17. もし選べるならこのリストの中でどれが一番ほしいか（読むこと。一答だけ）。

お金	1
自分の為の時間	2
わからない（読まないこと）	9

問 18. 死ぬ時まで楽に暮らせるお金を持っていれば仕事を続けるか、それともやめるか。

- | | |
|-------------|---|
| 仕事を続ける | 1 |
| 仕事をやめる | 2 |
| その他（具体的に言う） | 3 |
| 年金生活者 | 4 |
| 仕事をしていない | 5 |
| わからない | 9 |

問 19. （問 19 のカードを見せながら）このカードに書いてある内容のうち、どちらがあなたの考え方に近いか。

- | | |
|-------------------------------------|---|
| いくらお金をもっている
仕事をしなければ人生は無
意味だ。 | 1 |
| お金さえあれば仕事はしな
くても人生には意味がある。 | 2 |
| わからない。 | 9 |

問 20. （問 20 のカードを見せながら）

このカードにリストされているのが人々が仕事に関して大事だと思う諸要素である。あなたにとってどれが一番重要か。

良い給料

- | | |
|----------------|---|
| （お金の心配をなくすような） | 1 |
| 安定した仕事 | |
| （失業の恐れのない仕事） | 2 |
| 好きなタイプの人と仕事をする | 3 |
| 充実感を得られる | |
| 重要な仕事をする | 4 |
| その他（具体的に言う） | 5 |
| わからない | 9 |

問 21. 一週間の日程を組み立てると、仕事のことで私生活又は家庭生活がじゃまされることがあるか。

- | | |
|----|---|
| ある | 1 |
| ない | 2 |

仕事していない 3
 わからない 9

問 22. (問 22 のカードを見せながら)

人生に対する態度は様々だが、下記の項目の中ではどれがあなたの生き方に適しているか(一答のみ)。

一生懸命働き金持ちになること 1
 勤勉に勉強して名をあげる 2
 お金とか出世のことを考えずに自分のパーソナリティーに一番適している生き方をする 3
 あまり心配せずに日々楽しく暮らす 4
 世の中の誘惑に負けずに正義と純潔な生き方に徹する 5
 自分のことを忘れ社会の為に献身する 6
 その他(具体的に言う) 7
 わからない 9

問 23. あなたが住んでいる住民区域の生活水準と環境(quality of life)についてどう思うか(読むこと)。

とても満足している 1
 十分満足している 2
 ちょっと不満 3
 とても不満 4
 わからない 9

問 24A. (問 24 のカードを見せながら)

このカードをもとに、下記の項目はあなたの近所でどれだけ重大で問題になっているか。例えば盗難の問題は深刻か。

問 24B. (問 24 のカードをしまっておくこと)

個人の安全という点で人が襲われることがあなたの近所にあるか。この問題はどれだけ重大か。

	重 大 問 題	問	重 大 問 題	全 く な い	解 ら な い
24A 盗難	1	2	3	4	9
24B 個人の 安全 / 攻撃	1	2	3	4	9

問 25. (問 25 のカードを見せながら)

あなたはあの「アリとセミの話」をき
 っとご存知であろう。セミは夏中歌い
 続けた後、冬が来たときには何も食べ
 物をためていない。そして夏の間働き
 続けたアリに助けを求めに行く。アリ
 はこのカードに書いてある 2 つの回答
 の内、一つを答えた。あなたは結びと
 してはどちらを選ぶか。

アリは「当然の報いだ」と
 助けを断る 1

アリは「怠けたのがいけな
 かった。もっと働きなさい。」
 とお説教しながらも食べ物を
 分けてあげる 2
 その他(具体的に言う) 3
 わからない 9

問 26A. あなたにとって人生の中で一番重要な
 のは何か。1 つだけ言ってください。

わからない 9

問 26B. その他にあなたにとってとても大事な
 のは何か。幾つでも言ってください。
 (うながし) それから?

わからない 9

問 27. カードのスケールに基づいて下記の各項目はあなたにとってどれだけ重要か。

(一項目ずつ読むこと)

	全						と	解
	く						て	ら
	重						も	重
	要						重	要
	い						い	
家族と子供	1	2	3	4	5	6	7	9
(いる場合)								
キャリアと仕事	1	2	3	4	5	6	7	9
自由時間と娯楽	1	2	3	4	5	6	7	9
友人と知り合い	1	2	3	4	5	6	7	9
両親、兄弟、姉妹	1	2	3	4	5	6	7	9
その他の親戚								
宗教と教会	1	2	3	4	5	6	7	9
政治	1	2	3	4	5	6	7	9

問 28. (問 28 のカードを見せながら)

總体的に考えると自分の家庭生活にどれだけ満足しているか。特にあなたの

家族とどれだけ時間を過ごし、何をするか。このカードに従って教えてください。

大変満足	1
十分満足	2
満足でも不満でもない	3
ちょっと不満	4
とても不満	5
その他(具体的に言う)	6
わからない	9

問 29. (問 28 のカードを残しておく)

あなたの人生に関する一般的な質問をさせてください。自分の人生に対して近ごろどれだけ満足しているか。同じカードを使用しながら教えてください。

とても満足	1
十分満足	2
満足でも不満でもない	3
ちょっと不満	4

とても不満	5
その他（具体的に言う）	6
わからない	9

問 30. 現代社会で偉く出世した人々のことを考えると、彼らに成功をもたらした一番大きな要素は何か。能力と努力、それとも運と偶然か。

能力と努力	1
好運と偶然	2
その他（具体的に言うこと）	3
両方	4
わからない（読まないこと）	9

問 31. 「所得の不十分な家庭は国に助けられると…」この文を完成する下記の項目の内、どれがあなたの考え方に一番近いか。

生活を営むことが可能になる	1
責任感がなくなってしまう	2

その他（具体的に言う）	3
わからない	9

問 32. 一部の人は、科学と技術の進歩のおかげで生活はますます便利になるが、それと同時に非人間的になってしまう。あなたは賛成するか。

賛成	1
賛成でない	2
決められない / 状況次第	3
その他（具体的に言う）	4
わからない	9

問 33. 一部の人には、お金が人生の中で一番重要なものの一つであるということ、子供達に小学校から教えるべきだという考え方がある。あなたは賛成か。

賛成	1
賛成でない	2
決められない / 状況次第	3

その他（具体的に言う） 4
 わからない 9

問 34. 一部の人々には、優れた政治家達がいれば国の為を考えると彼らを全面的に信頼し、一般人は政治的な議論をやめるべきだという意見がある。あなたは賛成か。

賛成 1
 賛成でない 2
 決められない / 状況次第 3
 わからない 9

問 35. もしあることが絶対正しいと思ったら、一般の慣習に逆行してもためらうことなくそれを実行すべきだと思うか。それとも間違いを起こさない方が大事だと思って慣習に従うべきか。

一般の慣習に逆行しても
 実行すべき 1

一般の慣習に従うべき 2
 決められない / 状況次第 3
 その他（具体的に言う） 4
 わからない 9

問 36. 一部の人々には幾ら世の中が省力化しても人間の感情と魂はずっと豊かなものであり続けられるという意見がある。あなたは賛成か。

賛成 1
 賛成でない 2
 決められない / 場合による 3
 その他（具体的に言う） 4
 わからない 9

問 37. 「家はリラックスして居心地の良い唯一の所」。この文章に賛成か。

賛成 1
 賛成でない 2
 その他（具体的に言う） 3

わからない 9

問 38. (問 38 のカードを見せる)

ここに書いてある文章の中でどれがあ
あなたの結婚に対する考え方に一番近い
か。

結婚は永遠に解消できない 1

結婚は非常に深刻なケース

のみ解消しても良い 2

結婚は両配偶者の同意が

あれば解消しても良い 3

わからない 9

問 39. (問 39 のカードを見せる)

ここに家事と子供に関する文章が書い
てある。このうちどれがあなたの考え
方に一番近いか。

女性が担うべき役目だ 1

一部の役目は特に

女性に向いている 2

あらゆる役目は差別なく

男女に分けるべきだ 3

わからない 9

問 40. 10才前後の子供が学校から帰って、
自分の先生が悪いことをしたという噂
があるよ、と両親に言うとする。もし
両親がそれが事実だとわかっていると
すれば、子供には真実を言うべきか、
それとも何も言わない方がよいと思う
か。

真実を言うべき 1

真実は言わない方がよい 2

その他(具体的に言う) 3

子供の年齢による 4

わからない 9

問 41. (問 41のカードを見せながら)

次の状況を思い浮かべてみよう。Aさんという人は幼い頃両親をなくし、近所に住んでいるBさんに育てられた。おかげで良い教育を受け、大学まで卒業した。会社の社長になったAさんの所にある日突然電報が来た。Bさんが重病だからすぐ訪ねてほしいとのこと。ちょうどその時Aさんは重要な会議に行こうとしている所だった。会社が倒産するか救済されるかの問題だ。あなたの意見ではAさんはどうすべきか。

全部忘れてすぐBさんの所に

- | | |
|-------------|---|
| かけつけるべきだ | 1 |
| いくら心配でも会議に | |
| 出席しなければならない | 2 |
| その他(具体的に言う) | 3 |
| 会議を延期する | 4 |
| わからない | 9 |

問 42. (問 42のカードを見せながら)

問 41の話でBさんはAさんの養父だと仮定したが、もし実父だとすればAさんはどうすべきだろうか。

全部忘れてすぐBさんの所に

- | | |
|-------------|---|
| かけつけるべきだ | 1 |
| いくら心配でも会議に | |
| 出席しなければならない | 2 |
| その他(具体的に言う) | 3 |
| 会議を延期する | 4 |
| わからない | 9 |

問 43. (問 43のカードを見せながら)

この下に人間と自然の関係について三つの意見が書かれている。その内のどれが一番真実に近いと思うか。

幸せになる為に人間は自然に

順応しなければならない 1

幸せになる為に人間は自然を

利用すべきだ 2

幸せになる為に人間は自然を	
支配すべきだ	3
その他（具体的に言う）	4
わからない	9

問 44. (問 44 のカードを見せながら)

下記の中でどれに一番賛成できるか。

国の進歩は個人を幸せにする事によってのみ可能だ	1
国が進歩すればこそ個人は幸せになる	2
国の進歩と個人の幸せは結果的に同じことだ	3
その他（具体的に言う）	4
わからない	9

問 45. (問 45 のカードを見せながら)

下記の項目の中で、一番大事な項目はどれか。

両親に対する愛情と敬い	1
-------------	---

過去に助けてくれた人に対する恩返し	2
個人の権利を尊重	3
個人の自由を尊重	4
その他（具体的に言うこと）	5

問 46. (問 46 のカードを見せながら)

下記に描かれている人物の中で、仕事の同僚としてはどちらが一番良いか。

仕事の能力はそれほどないが、性格がよく場合によって力になってくれる S さん	1
近くにいる人の心配や悩みに無関心だが仕事ができる T さん	2
その他（具体的に言う）	3
わからない	9

問 47. (問 47 のカードを見せながら)

カードに書いてある人のタイプでどちらが好きか。

他人の合意を得るよりも	
自分の考え方に歡する人	1
自分の考え方に歡するよりも	
他人の合意を重んじる人	2
その他（具体的に言う）	3
わからない	9

- 問 48. (問 48のカードを見せながら)
- あなたが会社の社長になったとしよう。会社でもう一人採用する事になり、多くの応募者の中にあなたの親戚も一人もいる。人事部長が言うには、候補者を採用するに当たって試験の成績で2位になったその親戚を雇っても、1位になった人を雇っても、会社にとっては実質的に何も違いがない。あなたならこのケースをどうするか。
- | | |
|--------------|---|
| 1位になった応募者を雇う | 1 |
| 親戚を雇う | 2 |
| その他（具体的に言う） | 3 |

わからない 9

- 問 49. (問 49のカードを見せながら)
- 問 48のケースでは2位になった人はあなたの親戚と仮定した。だがその人が恩人の息子であればどうするか。
- | | |
|--------------|---|
| 1位になった応募者を雇う | 1 |
| 恩人の息子を雇う | 2 |
| その他（具体的に言う） | 3 |
| わからない | 9 |

- 問 50. (問 50のカードを見せながら)
- あなたが働いている会社には2タイプの上司がいるとしよう。このカードに書かれている内でどちらが好きか。
- | | |
|--|---|
| 会社の規則を順守し、非常識な仕事は求めないが仕事以外ではあなたのために何も力を貸してくれない上司 | 1 |
| 会社の規則に反していても時 | |

々色々な仕事を求めるが、
 仕事以外でも面倒を見てく
 れる上司 2
 その他（具体的に言う） 3
 わからない 9

問 51. 一般に人間は他人に力を貸すか、それ
 とも自分の利益だけ守って自分にしか
 関心を持たないと思うか。

他人を助けようとする 1
 自分にしか関心がない 2
 その他（具体的に言う） 3
 わからない 9

問 52. 一般に人間は機会さえあればあなたに
 つけこむと思うか、それとも正直に振
 る舞うと思うか。

つけこむと思う 1
 正直に行動する 2
 その他（具体的に言う） 3

わからない 9

問 53. 一般的にはほとんどの人々は信用して
 もよいか、それとも警戒した方がよい
 か。

信用してよい 1
 警戒した方がよい 2
 その他（具体的に言う） 3
 わからない 9

問 54. これからある人たちが今日の世の中に
 ついて言った事を読み上げる。どれだ
 け各々の発言に賛成か言ってください
 （4つずつ読むこと）。

	と	や	あ	成	全	で	解
	て	や	ま	で	く	き	ら
	も	賛	賛	り	き	賛	ず
		成	成	賛	ず	成	い
ほとんどの人々は他人							
を助ける為にあらゆる							
事を試みる	1	2	3	4	5		
私が住んでいる近所の							
人達は人間と人間のつ							
ながりが強い	1	2	3	4	5		
今日では日毎の暮らし							
方をし、明日の事を心							
配すべきでない	1	2	3	4	5		
今日では私のような人							
間はしばしば一人ぼっ							
ちで社会から締め出さ							
れている	1	2	3	4	5		

問 55. 科学の発明とその応用は、どれだけ日常生活を良くすると思うか。

かなり良くすると思う	1
少し良くすると思う	2
役に立たないと思う	3
わからない	9

問 56. 将来、情報化の普及で日常生活の諸側面に変貌をもたらすと思われるが、このような変化はあなたにとってどうであるか。

歓迎すべきこと	1
歓迎すべきでないが	
回避できないこと	2
不愉快で危険をはらむこと	3
わからない(読まないこと)	9

問 57. (問 57 のカードを見せながら)
ここに書かれている諸文章についてどう思うか。各々についてカードに記さ

れている回答を一つだけ選んでください
（一項目につき一つの回答のみ）。

と成ま賛あ成全で解
てあ成までくきら
もままりき賛ずな
賛あ賛ず成い

現代医学では知られてい ない療法で一番よい治療 ができる病気がある	1	2	3	4	5
いずれ科学の進歩により 人間の頭脳の働きが完全 に解明されるだろう	1	2	3	4	5
今日我々が直面している 経済・社会諸問題はいつ れ科学技術の進歩によっ て解決されるだろう	1	2	3	4	5

問 58. 問 58 のカードを見せながら)

下記に記されている項目は、これからの
25年の間にどれだけ実現されるだ
ろうか。カードに書いてある回答のう
ち一つを選んでください（一項目につ
き一つの回答のみ）。

確	可率	確な	わ
率	能	率い	か
が	だ低	が	ら
高	がい	全	な
い	確	く	い

核廃棄物の安全

処理法	1	2	3	4
もっとも普及し ている癌の治療	1	2	3	4
老人痴呆の治療	1	2	3	4
宇宙基地での生活	1	2	3	4

問 59. 省エネの議論が活発だが、この問題についてあなたはどうか。

- とても重要な問題だ 1
- 重要な問題だ 2
- あまり重要な問題でない 3
- 全く重要な問題でない 4
- わからない(読まないこと) 9

問 60. 環境保護はあなたにとってどの程度の問題か。

- とても重要な問題だ 1
- 重要な問題だ 2
- あまり重要な問題でない 3
- 全く重要な問題でない 4
- わからない(読まないこと) 9

問 61. イタリア文化を考えると、何が頭に浮かんでくるか。思い出す事をすべて言ってください。
(うながす)それから?

問 61-1. (問 61-1のカードを見せながら)

A) このカードに記されている項目で子供にとって好ましいと思う3項目を指定してください。

B) この3つのうち、どれが一番好ましいか。

	一番好ましい	三項目	一番好ましい	一項目
行儀よくすること	2		1	
努力すること	2		1	
正直なこと	2		1	
清潔で整理整頓していること	2		1	
常識と識別力のあること	2		1	
自制心のあること	2		1	
男の子は男の子らしく女の子				

は女の子らしく振る舞うこと	2	1
ほかの子供と仲よくすること	2	1
両親の言うことをよく聞くこと	2	1
責任感があること	2	1
他の子供に対して気を配ること	2	1
色々な出来事の原因などに		
興味を抱くこと	2	1
まじめに勉強していること	2	1

問 61-2. (問 61-2のカードを見せながら)
 多くの人は人生の意味は何かと問いかけている。このカードに複数の意見が記されている。カードのスケールに基づいて各々の意見についてどれがあなたの考え方に一番近いか。

A) 自分の人生に自分が意味を見いださない限り、意味はあまりない。

1) 完全に同意できる	1
2) かなり同意できる	2
3) はっきりとした意見がない	3

4) あまり同意できない	4
5) 全然同意できない	5
6) 考えたことがない	6
9) わからない	9

B) 私にとって人生には意味がない。

1) 完全に同意できる	1
2) かなり同意できる	2
3) はっきりとした意見がない	3
4) あまり同意できない	4
5) 全然同意できない	5
6) 考えたことがない	6
9) わからない	9

C) 人生にははっきりとした意味があり、ある一定の図式に制されているはずだ。

1) 完全に同意できる	1
2) かなり同意できる	2
3) はっきりとした意見がない	3
4) あまり同意できない	4
5) 全然同意できない	5
6) 考えたことがない	6

9) わからない

9

問 61-3. イタリアの他の人々と比べ、あなたの報酬は適正か、適正より多くもらっているか、適正より少し少ないか、ずいぶん少なくもらっているか。

適正	1
適正より多くもらっている	2
適正よりやや少ない	3
適正よりうんと少ない	4
わからない	9

問 61-4. あなたと異なる意見、宗教、価値観、主義を持つ人と一緒にいることは、あなたにとってどういうことか（順位をインタビューごとに変えること）。

大変不愉快	1
かなり不愉快	2
あまり不愉快でない	3
不愉快でない	4

わからない

9

問 61-5. (問 61-5のカードを見せながら)

このカードに色々な人のタイプが記されている。近所の隣人としてはどのタイプが好ましくないと思うか（複数の回答も可能）。

前科のある人	1
異人種の人	2
学生	3
左翼の過激派	4
未婚の母親	5
酒飲み	6
右翼の過激派	7
大家族	8
情緒不安の人	9
新興宗教のメンバー達	X
外国人労働者その他の移民	Y
これと異なるタイプの人	O

問 61-6. ご意見を聞かせてください。 Aさんと Bさんは同じ年齢で同じ仕事をしているけれど、 Aさんは毎週 2 万 5 千リラづつ多くもらっている。 それを知った Bさんは上司に文句を言ったが、上司が言うには Aさんはもっと仕事が早く、もっと能力があり、もっと頼りになるからそれでいいと答えた。あなたにとってこれは正しいことか。

- 正しい 1
 正しくない 2
 わからない 9

問 61-7. 近い将来、下に書かれているような変化があなたの生活に起こるかも知れない。あなたにとってこれはよいか悪いか、それともどちらとも言えないようなことか。

	良い	悪い	どちらでもない
お金や物質的裕福に感 心が薄くなる	1	2	3
自分にとっては仕事の 重要性が少なくなる	1	2	3
技術の進歩にもっと感 心を持つ	1	2	3
個人の道徳にもっと感 心を持つ	1	2	3
権威に対する尊敬をも っと強く感じる	1	2	3
家庭生活にもっと重要 性を感じる	1	2	3
よりシンプルで自然な 生き方をする	1	2	3

では宗教に移ろう。

問 62-A. あなたは自分が宗教に属していると思うか。

思う 1
 思わない 2
 わからない 9

問 62-B. そう思うならどの宗教に属しているか。

カトリック教 1
 プロテスタント教 2
 (バプティスト派、メソヂ
 スト派、ルーテル派を含む)
 ユダヤ教 3
 回教 4
 その他(具体的に言う) 5
 わからない 9

問 63. どの宗教に属するかは別にして、信仰することは重要だと思うか。

そう思う 1

そう思わない 2

その他(具体的に言う) 3

わからない 9

問 64. 一部の人は、世界には様々な宗教があるが、信仰が違ってもほとんどの教えは同様のものであると思っている。あなたはこれに賛成か。

賛成 1

賛成でない 2

その他(具体的に言う) 3

わからない 9

問 65. ありません。

問 66. 政治にどれだけ興味をもっているか(読むこと)。

大いに興味がある 1

かなり興味がある 2

あまり興味がない 3

全然興味がない 4

わからない 9

あまり満足していない 3

全く満足していない 4

わからない（読まないこと） 9

問 67. 下に記されている政治的主義に対するあなたの意見を述べてください（読むとき順位を変えること）。

賛	場	不	わ
成	合	賛	か
	に	成	ら
	よ		な
	る		い

民主主義 1 2 3 4

資本主義 1 2 3 4

社会主義 1 2 3 4

自由主義 1 2 3 4

問 68. 一般的にイタリアの民主主義についてどう思うか（読むこと）。

大変満足 1

やや満足 2

問 69. あなたの知識では、イタリアの司法制度はうまく働いていると思うか（読むこと）。

大変うまく働いている 1

かなりうまく働いている 2

かなり悪く働いている 3

ちっとも良く働いていない 4

わからない 9

問 70. （問 70 のカードを見せながら）

このカードに労使関係に関する定義が書いてある。どちらがあなたの意見により近いか。

経営側と労働者側の利害関係は相反しているので労使関係に对立が生じるのは当たり前 1

経営者と労働者の利害は結果的に一致している。なぜなら会社が儲かればもっと高い給料だ出せるからだ。だから双方が協力すべきだ。 2
 わからない 9

問 71. (問 71 のカードを見せながら)

このカードには我々が生きている社会に対する 3 つの態度のタイプが記されている。この中であなたの意見に一番近い定義を選んでください。

革命によって我々の社会の仕組みを抜本的に変えるべきだ。 1

我々の社会は徐々に革新的な方法で改善すべきだ。 2

我々は社会を勇気を持ってあらゆる過激勢力から守るべきだ。 3

わからない 9

問 72A. イタリア社会には抜本的な改革をもたらす必要があるか。

ある 1

ない 2

わからない 9

問 72B. あなたの希望では、社会を変える為には段階的な改革がよいか、それとも急進的な変革がよいか。

段階的な改革 1

急進的な変革 2

わからない 9

問 73. あなたはどの政党を支持するか。

キリスト教民主党 0 1

左翼民主党 0 2

共産主義再生党 0 3

社会党 0 4

イタリア社会運動	0 5
共和党	0 6
民社党	0 7
グリーン諸党	0 8
急進党	0 9
自由党	1 0
プロレタリアート民主党	1 1
南チロル国民党	1 2
独立左翼党	1 3
ロンバルディア同盟	1 4
サルディニア行動党	1 5
その他	1 6
どの政党も支持しない	1 7
答を差し控える	1 8
わからない	9 9

問 74. あなたはこの政党を強く支持するか、
それともややの支持か。また、全く支
持しないか。
強く支持する 1

やや支持する	2
あまり支持しない	3
わからない	9

問 75A. (問 75A のカードを見せながら)

このカードに温度計があるが、これは
0 度から 100 度まで行く。これを使
って、各政党に対する支持度をしるし
てください。なお、50 度というのは
中間的な考え方を示す。支持する場合
50 度から上の方へ行く。不支持の政
党に対しては 50 度以下の温度にする。
最初はキリスト民主党から始めましょ
う(すべての政党名を読むこと。読む
順番を変えること)。

温度

キリスト教民主党
左翼民主党
共産主義再生党
社会党

イタリア社会運動

共和党

民社党

グリーン諸党

急進党

自由党

プロレタリアート民主党

南チロル国民党

独立左翼党

ロンバルディア同盟

サルディニア行動党

その他

どの政党も支持しない

答を差し控える

わからない

9 9 9

回答者の名前 _____

住所 _____

都道府県 _____

T E L. _____

誓約

このインタビューは私自身の支持、及びA I S Mメンバー機関とインタビュアーの協力関係を定める諸規制に従って行われたものである。

私は仕事の依頼書に添付されている同上の諸規則の内容を全て心得ている。

特に第1341条項及び第1342条項に関して、ここに含まれている第8、第9及び第11条の内容に同意する。

インタビュー実施日 インタビュアーの署名

追伸.

問10及び問65がないのでご注意ください。

3) 日本語へ再翻訳した質問文と本来の日本語質問票を比較検討し、イタリア調査票第二版作成

RM 1345

DOM. 1 RISPETTO A DIECI ANNI FA, LEI RITIENE CHE COMPLESSIVAMENTE IL TENORE DI VITA DEGLI ITALIANI SIA..... (Leggere)

- . Decisamente migliorato 1
- . Leggermente migliorato 2
- . Più o meno lo stesso 3
- . Leggermente peggiorato 4
- . Decisamente peggiorato 5
- . Non so (non leggere) 9

DOM. 2 IN CONFRONTO A DIECI ANNI FA IL SUO TENORE DI VITA E'..... (Leggere)

- . Decisamente migliorato 1
- . Leggermente migliore 2
- . Più o meno lo stesso 3
- . Leggermente peggiorato 4
- . Decisamente peggiorato 5
- . Non so (non leggere) 9

DOM. 3 NEI PROSSIMI CINQUE ANNI LEI PENSA CHE IL SUO TENORE DI VITA SARA (Leggere)

- . Decisamente migliore 1
- . Leggermente migliore 2
- . Più o meno lo stesso 3
- . Leggermente peggiore 4
- . Decisamente peggiore 5
- . Non so (non leggere) 9

DOM. 4 IN GENERALE LEI PENSA CHE LA GENTE SARA' PIU' FELICE O MENO FELICE DI QUANTO LO SIA ATTUALMENTE?

- . Più felice 1
- . Meno felice 2
- . Più o meno come adesso 3
- . Altro (specificare) _____ 4
- . Non so 9

DOM. 5 PENSANDO ALLA LORO SERENITA', LEI PENSA CHE AUMENTERA' O DIMINUIRA'?

- . Aumenterà 1
- . Diminuirà 2
- . Rimarrà invariata 3
- . Altro (specificare) _____ 4
- . Non so 9

DOM. 6 E PENSANDO ALLA LIBERTA' DELL'INDIVIDUO, LEI PENSA CHE AUMENTERA' O DIMINUIRA'?

- . Aumenterà 1
- . Diminuirà 2
- . Non cambierà 3
- . Altro (specificare) _____ 4
- . Non so 9

DOM. 7 LEI PENSA CHE IN FUTURO LO STATO DI SALUTE DELLE PERSONE MIGLIORERA' O PEGGIORERA'?

- . Migliorerà 1
- . Peggiorerà 2
- . Non cambierà 3
- . Altro (specificare) _____ 4
- . Non so 9

DOM. 8 (Mostrare cartellino dom. 8)

SI DISCUTE MOLTO IN QUESTI GIORNI SU QUALI OBIETTIVI DOVREBBE CERCARE DI RAGGIUNGERE IL NOSTRO PAESE NEI PROSSIMI 10 O 15 ANNI. SU QUESTO CARTELLINO SONO ELENCATI DEGLI OBIETTIVI A CUI, SECONDO VARIE PERSONE, DOVREBBE ESSERE DATA LA PRIORITA' ASSOLUTA. MI PUO' DIRE QUAL E' CHE LEI GIUDICA IL PIU' IMPORTANTE? (Una sola risposta per colonna) E QUALE SCEGLIEREBBE PER SECONDO?

OBIETTIVI PIU' IMPORTANTI

	1' posto	2' posto
. Mantenimento dell'ordine nel paese	1	1
. Aumentare la partecipazione dei cittadini nelle decisioni di governo	2	2
. Combattere l'aumento dei prezzi	3	3
. Garantire la libertà di parola	4	4
. Non so	9	9

DOM. 9 (Mostrare cartellino dom. 9)

AIUTANDOSI CON QUESTO CARTELLINO MI DICA FINO A CHE PUNTO SI PREOCCUPA PER SE STESSO E PER LA SUA FAMIGLIA IN MERITO A QUANTO SEGUE: (Leggere una voce alla volta)

	Molto	Abbastanza	Poco	Per niente	Non so
. Una grave malattia	1	2	3	4	9
. Un incidente d'auto	1	2	3	4	9
. La disoccupazione	1	2	3	4	9
. La guerra	1	2	3	4	9
. Incidenti nelle centrali nucleari	1	2	3	4	9

DOM. 10 MANCA

DOM. 11 LEI DIREBBE DI ESSERE IN GENERE PIU' O MENO DISPOSTO DELLA MEDIA DELLE PERSONE A RISPETTARE LA MEMORIA DEI SUOI ANTENATI ?

- . Più della media 1
- . Meno della media 2
- . Nella media 3
- . Altro (specificare) _____ 4
- . Non so 9

DOM. 12 NELL'IMPOSSIBILITA' DI AVERE FIGLI, RITIENE SIA DESIDERABILE FAR RICORSO ALL'ADOZIONE, ANCHE IN ASSENZA DI LEGAMI DI SANGUE, AL FINE DI GARANTIRE LA CONTINUITA' DELLA LINEA DI DISCENDENZA FAMILIARE, O LO TROVA AL CONTRARIO INDESIDERABILE?

- . Desiderabile 1
- . Indesiderabile 2
- . Dipende dalle circostanze 3
- . Altro (specificare) _____ 4
- . Non so 9

DOM. 13 SECONDO LEI QUAL'E' IL NUMERO IDEALE DI FIGLI IN UNA FAMIGLIA? (Non leggere)

- . Uno 1
- . Duo 2
- . Tre 3
- . Quattro 4
- . Cinque 5
- . Più' di cinque 6
- . Nessuno 7
- . Dipende, non c'è numero ideale 8
- . Non so 9

DOM. 14 DURANTE LE ULTIME QUATTRO SETTIMANE HA SOFFERTO DI..... ? (Leggere uno alla volta)

	Si	No	Non so
. Mal di testa/emicrania	1	2	9
. Mal di schiena	1	2	9
. Nervosismi	1	2	9
. Stato depressivo	1	2	9
. Insonnia	1	2	9

DOM. 15 IN RAPPORTO ALLA SUA ETA', QUANTO E' SODDISFATTO DEL SUO STATO DI SALUTE? LEI DIREBBE DI ESSERE (leggere)

. Molto soddisfatto	1
. Abbastanza soddisfatto	2
. Abbastanza insoddisfatto	3
. Molto insoddisfatto	4
. Non so	9 (non leggere)

DOM. 16 (Mostrare cartellino dom. 16)

TUTTO CONSIDERATO COME DEFINIREBBE IL SUO ATTUALE TENORE DI VITA? RISPONDA CON L'AIUTO DELLA PRESENTE SCALA DOVE 1 SIGNIFICA IL LIVELLO PIU' ALTO E 5 QUELLO PIU' BASSO.

. Alto	1
. Medio-alto	2
. Medio	3
. Medio basso	4
. Basso	5
. Non so	9

DOM. 17 SE DOVESSE SCEGLIERE, COSA PREFERIREBBE TRA (leggere, una sola risposta)

. Avere più denaro	1
. Avere più tempo libero a disposizione	2
. Non so (non leggere)	9

DOM. 18 SE AVESSE SUFFICIENTE DENARO PER VIVERE PER IL RESTO DELLA VITA QUANTO PIU' COMODAMENTE LE PIACE, CONTINUEREBBE A LAVORARE O SMETTEREBBE?

. Continuerei a lavorare	1
. Smetterei di lavorare	2
. Altro (specificare)	3
. Non lavora	4
. Non so	9

此取ると言てい。要確認

DOM. 19 (Mostrare cartellino dom. 19)

QUALE TRA LE DUE AFFERMAZIONI PRESENTI SUL CARTELLINO SI AVVICINA MAGGIORMENTE ALLA SUA OPINIONE?

. Indipendentemente da quanto denaro uno abbia, la vita senza lavoro è senza senso	1
. Finchè ci sono i soldi, la vita ha un senso anche senza un lavoro	2
. Non so	9

DOM. 20 (Mostrare cartellino dom. 20)
 SU QUESTO CARTELLINO SONO ELENCALE ALCUNE COSE CHE LA GENTE PRENDE IN
 CONSIDERAZIONE IN RELAZIONE AL PROPRIO LAVORO. LEI PERSONALMENTE QUALE PORREBBE
 AL PRIMO POSTO?

- . Un buono stipendio per non avere preoccupazioni monetarie 1
- . Un lavoro sicuro senza rischio di cessazione di attività o di disoccupazione 2
- . Lavorare con persone che le piacciono 3
- . Fare un lavoro importante che le dia un senso di appagamento 4
- . Altro (specificare) _____ 5
- . Non so 9

DOM. 21 NELL'ORGANIZZAZIONE DELLA SUA SETTIMANA, ACCADE TALVOLTA CHE IL LAVORO INTRALCI LA SUA VITA PRIVATA O FAMILIARE?

- . Sì 1
- . No 2
- . Non lavora 3
- . Non so 9

DOM. 22 (Mostrare cartellino dom. 22)
 CI SONO DIVERSI ATTEGGIAMENTI NEI CONFRONTI DELLA VITA. QUALE DELLE SEGUENTI
 AFFERMAZIONI SI AVVICINA MAGGIORMENTE AL SUO MODO DI VIVERE? (Solo una risposta)

- . Lavorare sodo e diventare ricco 1
- . Studiare seriamente e farsi un nome 2
- . Non pensare nè ai soldi nè al successo, ma vivere secondo i propri gusti 3
- . Vivere alla giornata allegramente e senza pensieri 4
- . Resistere a tutte le insidie del mondo e condurre una vita pura e giusta 5
- . Mai pensare a sè stesso, consacrarsi interamente al bene della società 6
- . Altro (specificare) _____ 7
- . Non so 9

DOM. 23 COSA NE PENSA DELLA QUALITA' DELLA VITA NELLA SUA ZONA DI RESIDENZA? (Leggere) LEI SI DIREBBE.....

- . Molto soddisfatto/a 1
- . Abbastanza soddisfatto/a 2
- . Abbastanza insoddisfatto/a 3
- . Molto insoddisfatto/a 4
- . Non so (non leggere) 9

DOM. 24A (Mostrare cartellino dom. 24)
 AIUTANDOSI CON QUESTO CARTELLINO, MI PUO' DIRE FINO A CHE PUNTO RAPPRESENTANO UN
 PROBLEMA DI SICUREZZA NEL SUO QUARTIERE I SEGUENTI PUNTI: INIZIAMO CON I FURTI.
 QUANTO E' SERIO QUESTO PROBLEMA?

DOM. 24B (Lasciare il cartellino dom. 24)
 E LA SICUREZZA PERSONALE, COME AD ESEMPIO LE AGGRESSIONI? QUANTO E' SERIO QUESTO
 PROBLEMA NEL SUO QUARTIERE?

	Un problema serio	Un problema	Non è un problema serio	Non è affatto un problema	Non so
24A Furti	1	2	3	4	9
24B Sicurezza personale/ aggressioni	1	2	3	4	9

DOM. 25 (Mostrare cartellino dom. 25)
 LEI CONOSCE LA FAVOLA DELLA CICALA E LA FORMICA? LA CICALA, DOPO AVER CANTATO TUTTA L'ESTATE, ALL'ARRIVO DELL'INVERNO NON AVEVA NIENTE DA MANGIARE, ALLORA VA A CHIEDERE AIUTO ALLA FORMICA CHE AVEVA LAVORATO TUTTA L'ESTATE. LA FORMICA AVREBBE POTUTO DARE UNA DELLE DUE RISPOSTE CHE LEGGE SUL PRESENTE CARTELLINO. QUALE DELLE DUE RISPOSTE SCEGLIEREBBE COME CONCLUSIONE DELLA STORIA?

- . La formica manda via la cicala dicendo che ha avuto ciò che si merita 1
- . La formica prima fa la morale alla cicala dicendo "sei in torto perchè sei stata pigra, dovresti lavorare di più" e poi spartisce con lei il cibo 2
- . Altro (specificare) _____ 3
- . Non so 9

DOM. 26A QUAL'E' PER LEI LA COSA PIU' IMPORTANTE NELLA VITA? ME NE DICA SOLAMENTE UNA.

-
-
-
- . Non so 9

DOM. 26B QUALI ALTRE COSE SONO MOLTO IMPORTANTI PER LEI? NE PUO' MENZIONARE QUANTE DESIDERA. Sollecitare: E ALTRO?

-
-
-
- . Non so 9

DOM. 27 USANDO LA SCALA SUL CARTELLINO MI PUO' DIRE QUANTO E' IMPORTANTE PER LEI OGNI SINGOLA VOCE? (Leggere una voce alla volta)

	Per niente importante					Molto importante		Non so
. La sua famiglia o figli se ne ha	1	2	3	4	5	6	7	9
. La carriera ed il lavoro	1	2	3	4	5	6	7	9
. Il tempo libero e gli svaghi	1	2	3	4	5	6	7	9
. Amici e conoscenti	1	2	3	4	5	6	7	9
. Genitori, fratelli, sorelle ed altri parenti	1	2	3	4	5	6	7	9
. La religione e la chiesa	1	2	3	4	5	6	7	9
. La politica	1	2	3	4	5	6	7	9

DOM. 28 (Mostrare cartellino dom. 28)
 TUTTO CONSIDERATO, QUANTO E' SODDISFATTO DELLA SUA VITA FAMILIARE - CIOE' IL TEMPO CHE TRASCORRE E LE COSE CHE FA CON LE PERSONE DELLA SUA FAMIGLIA? MI RISPONDA AIUTANDOSI CON QUESTO CARTELLINO.

- . Molto soddisfatto 1
- . Abbastanza soddisfatto 2
- . Nè soddisfatto nè insoddisfatto 3
- . Abbastanza insoddisfatto 4
- . Molto insoddisfatto 5
- . Altro (specificare) _____ 6
- . Non so 9

- DOM. 29** (Lasciare cartellino dom. 28)
 ORA LE VORREI CHIEDERE QUALCOSA SULLA SUA VITA IN GENERALE. QUANTO E' SODDISFATTO DELLA SUA VITA IN QUESTO PERIODO? MI RISPONDA UTILIZZANDO LO STESSO CARTELLINO.
- | | |
|-----------------------------------|---|
| . Molto soddisfatto | 1 |
| . Abbastanza soddisfatto | 2 |
| . Nè soddisfatto nè insoddisfatto | 3 |
| . Abbastanza insoddisfatto | 4 |
| . Molto insoddisfatto | 5 |
| . Altro (specificare) _____ | 6 |
| . Non so | 9 |
- DOM. 30** SE PENSA ALLE PERSONE DI SUCCESSO NELLA SOCIETA' ODIERNA, CHE COSA SECONDO LEI HA GIOCATO IL RUOLO PIU' IMPORTANTE PER LA LORO RIUSCITA? LA LORO ABILITA' E I LORO SFORZI OPPURE LA FORTUNA E IL CASO?
- | | |
|-----------------------------|---|
| . L'abilità e gli sforzi | 1 |
| . La fortuna ed il caso | 2 |
| . Altro (specificare) _____ | 3 |
| . Non so | 9 |
- DOM. 31** (Mostrare cartellino dom. 31)
 QUALE TRA LE OPINIONI ELENCAE SUL PRESENTE CARTELLINO S'AVVICINA MAGGIORMENTE ALLA SUA OPINIONE IN MERITO ALLA SEGUENTE AFFERMAZIONE? "QUANDO LO STATO AIUTA LE FAMIGLIE IL CUI REDDITO E' INSUFFICIENTE...."
- | | |
|--|---|
| . Dà loro la possibilità di vivere | 1 |
| . Toglie loro il senso di responsabilità | 2 |
| . Altro (specificare) _____ | 3 |
| . Ambedue | 4 |
| . Non so | 9 |
- DOM. 32** ALCUNI DICONO CHE CON IL PROGREDIRE DELLA SCIENZA E DELLA TECNOLOGIA, LA VITA DIVENTA SEMPRE PIU' COMODA, MA ALLO STESSO TEMPO LA RENDE PIU' INUMANA. LEI E' D'ACCORDO O MENO?
- | | |
|-----------------------------|---|
| . Sono d'accordo | 1 |
| . Non sono d'accordo | 2 |
| . Indeciso/dipende | 3 |
| . Altro (specificare) _____ | 4 |
| . Non so | 9 |
- DOM. 33** ALCUNI SONO DELL'AVVISO CHE SIN DALLA SCUOLA ELEMENTARE AI BAMBINI DEBBA ESSERE INSEGNATO CHE I SOLDI SONO UNA DELLE COSE PIU' IMPORTANTI DELLA VITA. LEI E' D'ACCORDO OPPURE NO?
- | | |
|-----------------------------|---|
| . Sono d'accordo | 1 |
| . Non sono d'accordo | 2 |
| . Indeciso/dipende | 3 |
| . Altro (specificare) _____ | 4 |
| . Non so | 9 |
- DOM. 34** SECONDO ALCUNE PERSONE SE NOI AVESSIMO DEGLI ECCELLENTI CAPI POLITICI DOVREMMO, PER IL BENE DEL NOSTRO PAESE, AVERE PIENA FIDUCIA NEL LORO OPERATO ANZICHE' CONTINUARE A DISCUTERE DI POLITICA TRA DI NOI. LEI E' D'ACCORDO OPPURE NO?
- | | |
|-----------------------------|---|
| . Sono d'accordo | 1 |
| . Non sono d'accordo | 2 |
| . Indeciso/dipende | 3 |
| . Altro (specificare) _____ | 4 |
| . Non so | 9 |

DOM. 35 SE LEI E' CONVINTO CHE UNA DETERMINATA COSA SIA GIUSTA, PENSA CHE NON BISOGNEREBBE AVERE ESITAZIONI E FARLA ANCHE SE CIO' E' CONTRARIO ALLE NORMALI CONSUETUDINI, OPPURE PENSA CHE SIA MEGLIO CONFORMARSI ALLE CONSUETUDINI PER NON CORRERE IL RISCHIO DI SBAGLIARE?

- . Agire di conseguenza anche se contrariamente alle normali consuetudini 1
- . Conformarsi alle consuetudini 2
- . Sono indeciso/dipende dal caso 3
- . Altro (specificare) _____ 4
- . Non so 9

DOM. 36 ALCUNI DICONO CHE, INDIPENDENTEMENTE DA QUANTO IL MONDO POSSA MECCANIZZARSI, NULLA POTRA' DIMINUIRE LA RICCHEZZA DELL'ANIMO UMANO. LEI E' D'ACCORDO O MENO CON QUESTA OPINIONE?

- . Sono d'accordo 1
- . Non sono d'accordo 2
- . Sono indeciso/dipende 3
- . Altro (specificare) _____ 4
- . Non so 9

DOM. 37 LEI E' D'ACCORDO SULLA SEGUENTE FRASE* CASA MIA E' L'UNICO POSTO DOVE POSSO RILASSARMI E SENTIRMI BENE*?

- . Si 1
- . No 2
- . Altro (specificare) _____ 3
- . Non so 9

DOM. 38 (Mostrare cartellino dom. 38)
 QUALE TRA LE AFFERMAZIONI PRESENTI SUL CARTELLINO S'AVVICINA MAGGIORMENTE ALLA SUA OPINIONE SUL MATRIMONIO?

- . Il matrimonio è indissolubile 1
- . Il matrimonio può essere sciolto solo in casi molto gravi 2
- . Il matrimonio può essere sciolto semplicemente con il reciproco accordo dei coniugi 3
- . Non so 9

DOM. 39 (Mostrare cartellino dom. 39)
 QUALE DELLE SEGUENTI AFFERMAZIONI RISPESCHIA MAGGIORMENTE LA SUA OPINIONE SUI LAVORI DOMESTICI E LA CURA DEI BAMBINI?

- . Sono mansioni delle donne 1
- . Alcune mansioni sono piu' adatte alla donna 2
- . Tutte le mansioni dovrebbero essere indifferentemente divise tra l'uomo e la donna 3
- . Non so 9

DOM. 40 SUPPONIAMO CHE UN BAMBINO DI CIRCA DIECI ANNI RITORNI DALLA SCUOLA E RACCONTI AI GENITORI CHE HA SENTITO DIRE CHE IL SUO MAESTRO HA FATTO QUALCOSA DI BRUTTO, ED I GENITORI SANNO CHE CIO' E' VERO. SECONDO LEI E' MEGLIO CHE I GENITORI DICANO LA VERITA' AL BAMBINO OPPURE CHE NON LA DICANO?

- . Dicano la verità 1
- . Non la dicano 2
- . Altro (specificare) _____ 3
- . Non so 9

- DOM. 41 (Mostrare cartellino dom. 41)**
 IMMAGINIAMO LA SEGUENTE SITUAZIONE. IL SIG. A E' RIMASTO ORFANO IN TENERA ETA' ED E' STATO ALLEVATO DAL SIG. B, UN BUON VICINO, CHE GLI HA DATO UNA BUONA EDUCAZIONE E GLI HA DATO LA POSSIBILITA' DI SEGUIRE GLI STUDI UNIVERSITARI. ADESSO, IL SIG. A E' DIVENTATO IL PRESIDENTE DI UNA SOCIETA'. UN GIORNO RICEVE UN TELEGRAMMA CHE IL SIG. B CHE L'HA ALLEVATO E' GRAVEMENTE AMMALATO E GLI CHIEDE DI ANDARE IMMEDIATAMENTE DA LUI. QUESTO TELEGRAMMA GIUNGE MENTRE IL SIG. A STA PARTENDO PER ANDARE AD UNA IMPORTANTISSIMA RIUNIONE DURANTE LA QUALE SI DECIDERA' SE LA SOCIETA' ANDRA' FALLITA OPPURE SI SALVERA'. SECONDO LEI COSA DOVREBBE FARE IL SIG. A NEL CASO CHE LA RIUNIONE NON POSSA ESSERE RIMANDATA?
- | | |
|--|---|
| . Lasciare tutto ed andare subito dal Sig. B | 1 |
| . Per quanto possa essere preoccupato, dovrebbe andare alla riunione | 2 |
| . Altro (specificare) _____ | 3 |
| . Non so | 9 |
- DOM. 42 (Mostrare cartellino dom. 42)**
 NELLA PRECEDENTE DOMANDA SI PRESUPPONEVA CHE IL SIG. B AVESSE ADOTTATO IL SIG. A. SUPPONIAMO INVECE CHE FOSSE IL VERO PADRE DEL SIG. A E CHE FOSSE GRAVEMENTE AMMALATO. IN QUESTO CASO LEI COSA AVREBBE RISPOSTO?
- | | |
|--|---|
| . Lasciare tutto e andare subito da suo padre | 1 |
| . Per quanto possa essere preoccupato per suo padre, dovrebbe andare alla riunione | 2 |
| . Altro (specificare) _____ | 3 |
| . Non so | 9 |
- DOM. 43 (Mostrare cartellino dom. 43)**
 QUI DI SEGUITO CI SONO TRE OPINIONI SUI RAPPORTI TRA L'UOMO E LA NATURA. QUALE PENSA SI AVVICINI MAGGIORMENTE ALLA VERITA'?
- | | |
|--|---|
| . Per essere felice, l'uomo deve conformarsi alla natura | 1 |
| . Per essere felice, l'uomo deve servirsi della natura | 2 |
| . Per essere felice, l'uomo deve dominare la natura | 3 |
| . Altro (specificare) _____ | 4 |
| . Non so | 9 |
- DOM. 44 (Mostrare cartellino dom. 44)**
 TRA LE SEGUENTI AFFERMAZIONI SCELGA QUELLA CON LA QUALE E' MAGGIORMENTE D'ACCORDO.
- | | |
|---|---|
| . Un paese potrà progredire soltanto se si rendono felici gli individui | 1 |
| . Soltanto se il paese progredisce gli individui potranno essere felici | 2 |
| . Far progredire il paese e rendere felici gli individui è in sostanza la stessa cosa | 3 |
| . Altro (specificare) _____ | 4 |
| . Non so | 9 |
- DOM. 45 (Mostrare cartellino dom. 45)**
 SE LE VENISSE CHIESTO DI SCEGLIERE LE DUE COSE PIU' IMPORTANTI TRA QUELLE INDICATE SUL CARTELLINO, QUALI SCEGLIEREBBE?
- | | <u>Si</u> | <u>No</u> |
|---|-----------|-----------|
| . Affetto e rispetto per i genitori | 1 | 0 |
| . Sdebitarsi con coloro che l'hanno aiutata nel passato | 1 | 0 |
| . Rispettare i diritti dell'individuo | 1 | 0 |
| . Rispettare la libertà dell'individuo | 1 | 0 |
| . Altro (specificare) _____ | | |
| | 1 | 0 |
| . Non so | 9 | 9 |

DOM. 46 (Mostrare cartellino dom. 46)
 QUALE TRA I DUE SEGUENTI PERSONAGGI PREFERIREBBE AVERE COME COLLEGA?

- . Il Sig. S. che è una persona cordiale e sul cui aiuto si può contare ma che non è un lavoratore molto efficiente 1
- . Il Sig. T. che è un lavoratore ma che rimane indifferente alle preoccupazioni ed ai problemi del prossimo 2
- . Altro (specificare) _____ 3
- . Non so 9

何の向文を被更
(2次A-C)

DOM. 47 QUALE DEI DUE SEGUENTI TIPI DI PERSONA PREFERITE?

- . Una persona per la quale, al momento di prendere una decisione, la cosa più importante è tener fede ai propri principi 1
- . Una persona per la quale, al momento di prendere una decisione, la cosa più importante è mantenere l'armonia nei propri rapporti con gli altri 2
- . Altro (specificare) _____ 3
- . Non so 9

DOM. 48 (Mostrare cartellino dom. 48)

SUPPONIAMO CHE LEI SIA IL PRESIDENTE DI UNA SOCIETA'. LA SOCIETA' DECIDE DI ASSUMERE UNA PERSONA ED EFFETTUA UNA SELEZIONE PER L'ASSUNZIONE. TRA I CANDIDATI C'E' UN SUO PARENTE. LA PERSONA INCARICATA DELLA SELEZIONE VIENE DA LEI E LE DICE: "IL SUO PARENTE CHE HA PRESO PARTE ALLA SELEZIONE E' RISULTATO SECONDO IN GRADUATORIA E PER NOI SIA COLUI CHE HA OTTENUTO IL PRIMO POSTO CHE IL SUO PARENTE ANDREBBERO BENE. COSA DOBBIAMO FARE?" QUALE PERSONA ASSUMEREBBE IN UN CASO DEL GENERE?

- . La persona che è risultata prima in graduatoria 1
- . Il suo parente 2
- . Altro (specificare) _____ 3
- . Non so 9

DOM. 49 (Mostrare cartellino dom. 49)

NELLA PRECEDENTE DOMANDA ABBIAMO PRESUPPOSTO CHE COLUI CHE HA OTTENUTO IL SECONDO POSTO IN GRADUATORIA SIA UN SUO PARENTE. SUPPONIAMO INVECE CHE COLUI CHE E' RISULTATO AL SECONDO POSTO SIA IL FIGLIO DI PERSONE VERSO LE QUALI LEI HA UN DEBITO DI RICONOSCENZA. QUALE PERSONA IN QUESTO CASO SCEGLIEREBBE?

- . La persona che è risultata prima in graduatoria 1
- . Il figlio delle persone a cui deve riconoscenza 2
- . Altro (specificare) _____ 3
- . Non so 9

DOM. 50 (Mostrare cartellino dom. 50)

SUPPONIAMO CHE LEI LAVORI IN UNA DITTA DOVE CI SONO DUE TIPI DI CAPI-SERVIZIO. AIUTANDOSI CON QUESTO CARTELLINO, MI PUO' DIRE SOTTO QUALE CAPO SERVIZIO PREFERIREBBE LAVORARE?

- . Un uomo che attiene sempre al regolamento e non le chiede mai dei lavori assurdi ma che d'altro canto non farebbe nulla per lei personalmente al di fuori del campo lavorativo 1
- . Una persona che delle volte richiede del lavoro supplementare malgrado le norme lo vietino ma che si occupa di lei personalmente anche al di fuori del campo lavorativo 2
- . Altro (specificare) _____ 3
- . Non so 9

DOM. 46 (Mostrare cartellino dom. 46)
TRA I DUE SEGUENTI TIPI DI PERSONA QUALE PREFERISCE?

- . Il Sig. S. che è una persona affabile e sul cui aiuto si può contare in caso di bisogno ma che non è efficiente sul lavoro 1
- . Il Sig. T. che è un lavoratore efficiente ma che non si interessa dei problemi e degli affari degli altri 2
- . Non so 9

~~3. Altro (specificare)~~
~~4. Altro~~

DOM. 47 E TRA I DUE SEGUENTI TIPI DI PERSONA QUALE PREFERISCE?

- . Una persona per la quale, al momento di prendere una decisione, la cosa più importante è tener fede ai propri principi 1
- . Una persona per la quale, al momento di prendere una decisione, la cosa più importante è mantenere l'armonia nei propri rapporti con gli altri 2
- . Altro (specificare) 3
- . Non so 9

この変更
DOM 47 のカードは
変え。

DOM. 48 (Mostrare cartellino dom. 48)
SUPPONIAMO CHE LEI SIA IL PRESIDENTE DI UNA SOCIETA'. LA SOCIETA' DECIDE DI ASSUMERE UNA PERSONA ED EFFETTUA UNA SELEZIONE PER L'ASSUNZIONE. TRA I CANDIDATI C'E' UN SUO PARENTE. LA PERSONA INCARICATA DELLA SELEZIONE VIENE DA LEI E LE DICE: "IL SUO PARENTE CHE HA PRESO PARTE ALLA SELEZIONE E' RISULTATO SECONDO IN GRADUATORIA E PER NOI SI' COLUI CHE HA OTTENUTO IL PRIMO POSTO CHE IL SUO PARENTE ANDREBBERO BENE. COS DOBBIAMO FARE?" QUALE PERSONA ASSUMEREBBE IN UN CASO DEL GENERE?

- . La persona che è risultata prima in graduatoria 1
- . Il suo parente 2
- . Altro (specificare) 3
- . Non so 9

DOM. 49 (Mostrare cartellino dom. 49)
NELLA PRECEDENTE DOMANDA ABBIAMO PRESUPPOSTO CHE COLUI CHE HA OTTENUTO IL SECONDO POSTO IN GRADUATORIA SIA UN SUO PARENTE. SUPPONIAMO INVECE CHE COLUI CHE E' RISULTATO AL SECONDO POSTO SIA IL FIGLIO DI PERSONE VERSO LE QUALI LEI HA UN DEBITO DI RICONOSCENZA. QUALE PERSONA IN QUESTO CASO SCEGLIEREBBE?

- . La persona che è risultata prima in graduatoria 1
- . Il figlio delle persone a cui deve riconoscenza 2
- . Altro (specificare) 3
- . Non so 9

DOM. 60 (Mostrare cartellino dom. 50)
SUPPONIAMO CHE LEI LAVORI IN UNA DITTA DOVE CI SONO DUE TIPI DI CAPI-SERVIZIO AIUTANDOSI CON QUESTO CARTELLINO, MI PUO' DIRE SOTTO QUALE CAPO SERVIZIO PREFERIREBBE LAVORARE?

- . Un uomo che attiene sempre al regolamento e non le chiede mai dei lavori assurdi ma che d'altro canto non farebbe nulla per lei personalmente al di fuori del campo lavorativo 1
- . Una persona che delle volte richiede del lavoro supplementare malgrado le norme lo vietino ma che si occupa di lei personalmente anche al di fuori del campo lavorativo 2
- . Altro (specificare) 3
- . Non so 9



PRAGMA sri

MARKET RESEARCH COMPANY
00199 ROMA - VIA SALARIA, 298/A
TEL 39/6 - 8413557 - 8848057 - 8558018
TELEFAX 39/6 - 8540038

DATE: 21/10/92 FAX No. 0081335859235
NUMBER OF PAGES TO FOLLOW THIS COVER SHEET 1 + 10
TO: Masayoshi Kimura COMPANY: R & D
FROM: A. Santilli / C. Mariotti
MESSAGE REF: Cultural Link Analysis

Dear Masayoshi

Answering to your faxes of September 30th and October, enclosed please find the pages with the corrections requested by your client.

46
47
A.R.
1992

Anyway, for what concerns qu.46, we cannot accept the word "amichevole" that in Italian refers to a behaviour or relationship that can not be referred to a person. We changed "amichevole" with "affabile" that we consider the correct word. We have also slightly modified the question writing it with the same wording of qu. 47. We really think this is the best version for a correct Italian.

In qu. 55, we did not add "Un poco" which is also an incorrect mention.

For what concerns the Hotel accommodation in Rome, in the following page please find the tariffs of 4 Hotels closed to our office.

Looking forward to your reply, we send our best regards.

Adelaide Santilli

Adelaide

Clara Mariotti

Clara Mariotti

DOM. 51 LEI DIREBBE CHE NELLA MAGGIORANZA DEI CASI LA GENTE CERCA D' ESSERE D'AIUTO O CHE SI PREOCCUPA SOPRATTUTTO DI SE' STESSA E DEI PROPRI INTERESSI?

- . Cerca di essere d'aiuto 1
- . Si preoccupa di sè stessa 2
- . Altro (specificare) _____ 3
- . Non so 9

DOM. 52 LEI PENSA CHE LA MAGGIOR PARTE DELLA GENTE CERCHEREBBE DI APPROFITTARSI DI LEI SE NE AVESSE L'OCCASIONE O CERCHEREBBE DI ESSERE CORRETTA?

- . Cercherebbe di approfittarsi 1
- . Cercherebbe di essere corretta 2
- . Altro (specificare) _____ 3
- . Non so 9

DOM. 53 IN LINEA GENERALE, LEI DIREBBE CHE CI SI PUO' FIDARE DELLA MAGGIORANZA DELLE PERSONE OPPURE CHE NON SI PUO' MAI ESSERE TROPPO SICURI?

- . Ci si può fidare 1
- . Non si può mai essere troppo sicuri 2
- . Altro (specificare) _____ 3
- . Non so 9

DOM. 54 LE LEGGERO' ALCUNE AFFERMAZIONI CHE ALCUNE PERSONE HANNO FATTO SULLA VITA DI OGGI. AIUTANDOSI CON QUESTO CARTELLINO MI PUO' DIRE QUANTO E' D'ACCORDO O MENO CON CIASCUNA AFFERMAZIONE? (Leggere una alla volta)

	Molto d'accordo	Abbastanza d'accordo	Poco d'accordo	Per niente d'accordo	Non so
. La maggior parte delle persone fanno del tutto per essere d'aiuto agli altri	1	2	3	4	9
. Ho l'impressione di far parte di una comunità locale molto unita	1	2	3	4	9
. Oggigiorno bisogna vivere alla giornata senza preoccuparsi del domani	1	2	3	4	9
. Il modo in cui si guadagna da vivere è piu' importante di quanto si guadagna	1	2	3	4	9
. Oggigiorno le persone come me si sentono spesso sole e tagliate fuori dalla società	1	2	3	4	9

DOM. 55 IN CHE MISURA PENSA CHE LE SCOPERTE SCIENTIFICHE E LA LORO APPLICAZIONE POSSANO PORTARE AD UN MIGLIORAMENTO DELLA SUA VITA QUOTIDIANA?

- . Molto 1
- . Poco 2 ← 4.2 poco 2.0 2.1 2.2 2.3 2.4
- . Per niente 3
- . Non so (non leggere) 9

DOM. 56 NEGLI ANNI FUTURI, LA DIFFUSIONE DELL'INFORMATICA CONTINUERA' A MODIFICARE ALCUNI ASPETTI DELLE CONDIZIONI DI VITA. LEI CONSIDERA QUESTA EVOLUZIONE COME....

- . Una cosa augurabile 1
- . Una cosa poco augurabile ma inevitabile 2
- . Una cosa spiacevole e pericolosa 3
- . Non so (non leggere) 9

DOM. 51 LEI DIREBBE CHE NELLA MAGGIORANZA DEI CASI LA GENTE CERCA D' ESSERE D'AUTO O CI PREOCCUPA SOPRATTUTTO DI SE' STESSA E DEI PROPRI INTERESSI?

- Cerca di essere d'aiuto 1
- Si preoccupa di se stessa 2
- Altro (specificare) 3
- Non so 9

(5)

DOM. 52 LEI PENSA CHE LA MAGGIOR PARTE DELLA GENTE CERCHEREBBE DI APPROFITTARSI DI LE NE AVESSE L'OCCASIONE O CERCHEREBBE DI ESSERE CORRETTA?

- Cercherebbe di approfittarsi 1
- Cercherebbe di essere corretta 2
- Altro (specificare) 3
- Non so 9

DOM. 53 IN LINEA GENERALE, LEI DIREBBE CHE CI SI PUO' FIDARE DELLA MAGGIORANZA DELLE PERSI OPPURE CHE NON SI PUO' MAI ESSERE TROPPO SICURI?

- Ci si può fidare 1
- Non si può mai essere troppo sicuri 2
- Altro (specificare) 3
- Non so 9

DOM. 54 (Mostrare cartellino dom. 54 con la scala d'accordo) *7-10 50 50 50*
 LE LEGGERO ALCUNE AFFERMAZIONI CHE ALCUNE PERSONE HANNO FATTO SULLA VITA OGGI AIUTANDOSI CON QUESTO CARTELLINO MI PUO' DIRE QUANTO E D'ACCORDO O MI CON CIASCUNA AFFERMAZIONE? (Leggere una alla volta)

	Molto d'accordo	Abbastanza d'accordo	Poco d'accordo	Per niente d'accordo	Non so
La maggior parte delle persone fanno del bene per essere d'aiuto agli altri	1	2	3	4	9
Ho l'impressione di far parte di una comunità locale molto unita	1	2	3	4	9
Oggi giorno bisogna vivere alla giornata senza preoccuparsi del domani	1	2	3	4	9
Il modo in cui si guadagna da vivere è più importante di quanto si guadagna	1	2	3	4	9
Oggi giorno le persone come me si sentono spesso isolate e tagliate fuori dalla società	1	2	3	4	9

DOM. 55 IN CHE MISURA PENSA CHE LE SCOPERTE SCIENTIFICHE E LA LORO APPLICAZIONE POSSA PORTARE AD UN MIGLIORAMENTO DELLA SUA VITA QUOTIDIANA?

- Molto 1
- Poco *変えない / 変えようと思わない* 2
- Per niente *と、さして* 3
- Non so (non leggere) 9

DOM. 56 NEGLI ANNI FUTURI LA DIFFUSIONE DELL'INFORMATICA CONTINUERA A MODIFICARE ALCI ASPETTI DELLE CONDIZIONI DI VITA. LEI CONSIDERA QUESTA EVOLUZIONE COME

- Una cosa augurabile 1
- Una cosa poco augurabile ma inevitabile 2
- Una cosa inevitabile e pericolosa 3
- Non so (non leggere) 9

DOM. 57 (Mostrare cartellino dom. 57)
 COSA PENSA DELLE SEGUENTI AFFERMAZIONI? PER CIASCUNA MI DIA UNA DELLE RISPOSTE INDICATA SUL PRESENTE CARTELLINO. (Una risposta per riga)

	Molto d'accordo	Abbastanza d'accordo	Poco d'accordo	Per niente d'accordo	Non so
. Ci sono delle malattie che vengono curate meglio con metodi che la medicina moderna non riconosce	1	2	3	4	9
. Un giorno la scienza permetterà di conoscere completamente il funzionamento della mente umana	1	2	3	4	9
. La maggior parte dei problemi sociali ed economici che affrontiamo oggi verranno risolti grazie al progresso della scienza e della tecnologia	1	2	3	4	9

DOM. 58 (Mostrare cartellino dom. 58)
 FINO A CHE PUNTO, SECONDO LEI, LE SEGUENTI COSE DIVERRANNO O MENO UNA REALTA' NEI PROSSIMI 25 ANNI? PER CIASCUNA VOCE SCELGA UNA DELLE RISPOSTE ELENcate SUL PRESENTE CARTELLINO.

(1 risposta per ogni voce)	Molto probabile	Possibile ma non troppo probabile	Per niente probabile	Non so
. Un metodo sicuro per smaltire i rifiuti delle centrali nucleari	1	2	3	9
. Una cura per le forme più comuni di cancro	1	2	3	9
. Una cura per la senilità	1	2	3	9
. La possibilità di vivere in una base spaziale	1	2	3	9

DOM. 59 SI SENTE MOLTO PARLARE DI RISPARMI ENERGETICI. LEI PENSA CHE SI TRATTA DI UN PROBLEMA.....

. Molto importante	1
. Importante	2
. Poco importante	3
. Per niente importante	4
. Non so (non leggere)	9

DOM. 60 LA TUTELA DELL'AMBIENTE COSTITUISCE PER LEI UN PROBLEMA.....

. Molto importante	1
. Importante	2
. Poco importante	3
. Per niente importante	4
. Non so (non leggere)	9

DOM. 61 QUAL'E' LA PRIMA COSA CHE LE VIENE IN MENTE QUANDO PENSA ALLA CULTURA ITALIANA? MI DICA TUTTO CIO' CHE LE VIENE IN MENTE. Sollecitare: QUALCOS'ALTRO?

DOM. 61-1 (Mostrare cartellino dom. 61-1)

A) SECONDO LEI TRA LE QUALITA' ELENcate SUL PRESENTE CARTELLINO QUALI SONO LE PIU' TRE PIU' GRADEVOLI IN UN BAMBINO?

B) QUALE DI QUESTE TRE E' LA PIU' GRADEVOLE DI TUTTE?

	Tre piu' gradevoli	La piu' gradevole
. Che un bambino abbia buone maniere	2	1
. Che un bambino si sforzi per riuscire	2	1
. Che un bambino sia onesto	2	1
. Che un bambino sia ordinato e pulito	2	1
. Che un bambino abbia buon senso e sia giudizioso	2	1
. Che un bambino abbia auto-controllo	2	1
. Che un ragazzo si comporti come tale e che una ragazza faccia altrettanto	2	1
. Che vada d'accordo con gli altri bambini	2	1
. Che obbedisca ai suoi genitori	2	1
. Che sia responsabile	2	1
. Che sia premuroso nei confronti degli altri	2	1
. Che sia interessato in che modo e perchè avvengono le cose	2	1
. Che sia un bravo studente	2	1
. Non so	9	9

DOM. 61-2 (Mostrare cartellino dom. 61-2)

MOLTE PERSONE SI CHIEDONO CHE SIGNIFICATO ABBA LA VITA UMANA. SULLA PRESENTE PAGINA CI SONO DELLE OPINIONI SUI SIGNIFICATI DELLA VITA. UTILIZZANDO LA SCALA PRESENTE SUL CARTELLINO VORREI CHE LEI MI DICESSE, PER OGNI OPINIONE, QUALE S'AVVICINA MAGGIORMENTE ALLA SUA.

A) La vita ha un significato solamente se le viene dato un significato

1. Pienamente d'accordo	1
2. Abbastanza d'accordo	2
3. Non ho una ferma opinione in merito	3
4. Abbastanza in disaccordo	4
5. Pienamente in disaccordo	5
6. Non ci ho mai pensato	6
9. Non so	9

B) Per me la vita non ha significato

1. Pienamente d'accordo	1
2. Abbastanza d'accordo	2
3. Non ho una ferma opinione in merito	3
4. Abbastanza in disaccordo	4
5. Pienamente in disaccordo	5
6. Non ci ho mai pensato	6
9. Non so	9

C) Penso che la vita delle persone abbia un chiaro significato e segue una certo schema

1. Pienamente d'accordo	1
2. Abbastanza d'accordo	2
3. Non ho una ferma opinione in merito	3
4. Abbastanza in disaccordo	4
5. Pienamente in disaccordo	5
6. Non ci ho mai pensato	6
9. Non so	9

DOM. 61-3 IN CONFRONTO A COME VIVONO ALTRE PERSONE IN ITALIA, LEI PENSA DI RICEVERE: IL GIUSTO, PIU' DI QUANTO SIA GIUSTO, UN PO' MENO O MOLTO MENO DI QUANTO SIA GIUSTO?

. Il giusto	1
. Piu' di quanto sia giusto	2
. Un po' meno di quanto sia giusto	3
. Molto meno di quanto sia giusto	4
. Non so	9

DOM. 61-4 E' SPIACEVOLE PER LEI TROVARSI CON DELLE PERSONE CHE HANNO IDEE, FEDI, CONVINZIONI, PRINCIPI E VALORI DIVERSI DAI SUOI? PER LEI E'.....

. Molto spiacevole	1
. Abbastanza spiacevole	2
. Poco spiacevole	3
. Per niente spiacevole	4
. Non so	9

DOM. 61-5 (Mostrare cartellino dom. 61-5)
SUL PRESENTE CARTELLINO FIGURANO VARIE CATEGORIE DI PERSONE. MI INDICHI QUELLE CHE NON LE PIACEREBBE AVERE COME VICINI. (Piu' risposte possibili)

	<u>Si</u>	<u>No</u>
. Persone con una fedina penale sporca	1	0
. Persone di razza diversa	1	0
. Studenti	1	0
. Estremisti di sinistra	1	0
. Madri nubili	1	0
. Forti bevitori	1	0
. Estremisti di destra	1	0
. Persone con una famiglia numerosa	1	0
. Persone emotivamente instabili	1	0
. Membri di sette o culti religiosi minori	1	0
. Immigrati/lavoratori stranieri	1	0
. Nessuna di queste categorie	1	0

DOM. 61-6 LE VORREI ESPORRE UN CASO E CHIEDERE LA SUA OPINIONE. CI SONO DUE SEGRETARIE DELLA STESSA ETA' E CHE ESPLETANO IN PRATICA LO STESSO LAVORO. UNA DELLE SEGRETARIE SCOPRE CHE LA SUA COLLEGA GUADAGNA 100.000 LIRE IN PIU' AL MESE E VA A LAMENTARSI DAL SUO CAPO. QUESTO LE RISPONDE CHE E' VERO IN QUANTO L'ALTRA SEGRETARIA E' PIU' VELOCE, PIU' EFFICIENTE E PIU' AFFIDABILE. SECONDO LEI E' GIUSTO CHE UNA SEGRETARIA VENGA PAGATA PIU' DELL'ALTRA?

. Giusto	1
. Ingiusto	2
. Non so	9

DOM. 61-7 ECCO UNA LISTA DI CAMBIAMENTI NEL SUO MODO DI VIVERE CHE POTREBBERO VERIFICARSI NEL PROSSIMO FUTURO. PER OGNUNO MI DICA SE SAREBBE UN BENE CHE AVVENISSE, UN MALE O SE LA COSA NON FA ALCUNA DIFFERENZA.

	Buona	Cattiva	Nessuna differenza
. Dare meno importanza ai soldi ed ai beni materiali	1	2	3
. Che il lavoro abbia un ruolo meno importante nella nostra vita	1	2	3
. Occuparsi maggiormente dello sviluppo della tecnologia	1	2	3
. Interessarsi di piu' della compiutezza morale di un individuo	1	2	3
. Avere maggiore rispetto per l'autorità	1	2	3
. Dare piu' importanza alla vita familiare	1	2	3
. Un modo di vivere piu' semplice e piu' naturale	1	2	3

QUALCHE DOMANDA RIGUARDO LA RELIGIONE.

DOM. 62A LEI SI CONSIDERA APPARTENENTE AD UNA RELIGIONE?

. Si	1
. No	2
. Non so	9

DOM. 62B SE "SI", QUALE?

. Cattolica	1
. Protestante (include: Battista, Metodista, Luterana....)	2
. Ebraica	3
. Musulmana	4
. Altro (specificare) _____	5
. Non so	9

DOM. 63 INDIPENDENTEMENTE DAL TIPO DI RELIGIONE, LEI PENSA CHE SIA IMPORTANTE O MENO AVERE DEI SENTIMENTI RELIGIOSI?

- . Importante 1
- . Non importante 2
- . Altro (specificare) _____ 3
- . Non so 9

DOM. 64 ALCUNI DICONO CHE BENCHE' AL MONDO CI SIANO TANTE DIVERSE RELIGIONI, OGNUNA CON IL PROPRIO CREDO, LA GRAN PARTE DEI LORO INSEGNAMENTI SONO PIU' O MENO GLI STESSI. LEI E' D'ACCORDO O MENO SU QUESTA IDEA?

- . Sono d'accordo 1
- . Non sono d'accordo 2
- . Altro (specificare) _____ 3
- . Non so 9

A TUTTI

DOM. 65 (Mostrare il cartellino dom. 65)
IN POLITICA DI SOLITO DI PARLA DI "DESTRA" E DI "SINISTRA". IN QUALE PUNTO DI QUESTA SCALA COLLOCHEREBBE LA SUA POSIZIONE? (Non suggerire - l'intervistato dovrà situarsi in una casella, se esita, insistere)

Sinistra										Destra
01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	
				1						
				9						

DOM. 66 QUANTO S'INTERESSA DI POLITICA? (Leggere)

- . Moltissimo 1
- . Abbastanza 2
- . Non molto 3
- . Per niente 4
- . Non so 9

DOM. 67 LE CITERO' ALCUNE PAROLE CHE CARATTERIZZANO DELLE IDEE. LEI DIREBBE DI AVERE UN'OPINIONE FAVOREVOLE O SFAVOREVOLE NEI CONFRONTI DI CIASCUNA DELLE SEGUENTI IDEE?

	Favorevole	Dipende	Sfavorevole	Non so
<input type="checkbox"/> Democrazia	1	2	3	9
<input type="checkbox"/> Capitalismo	1	2	3	9
<input type="checkbox"/> Socialismo	1	2	3	9
<input type="checkbox"/> Liberalismo	1	2	3	9

DOM. 68 IN GENERALE, QUANTO E' SODDISFATTO DEL MODO IN CUI FUNZIONA LA DEMOCRAZIA IN ITALIA? LEI SI DIREBBE.... (Leggere)

- . Molto soddisfatto 1
- . Abbastanza soddisfatto 2
- . Non molto soddisfatto 3
- . Per niente soddisfatto 4
- . Non so (non leggere) 9

DOM. 69 IN BASE ALLE SUA CONOSCENZA DEL SISTEMA GIUDIZIARIO, COME PENSA CHE FUNZIONI OGGI IN ITALIA? LEI DIREBBE..... (Leggere)

- . Molto bene 1
- . Abbastanza bene 2
- . Abbastanza male 3
- . Molto male 4
- . Non so 9

DOM. 70 (Mostrare cartellino dom. 70)
SUL PRESENTE CARTELLINO SONO RIPORTATE DUE OPINIONI SUI RAPPORTI TRA DIPENDENTI E DATORI DI LAVORO. QUALE DELLE DUE ESPRIME MEGLIO IL SUO PARERE?

- . Poichè gli interessi del dipendente e del datore sono completamente all'opposto, è giusto e normale che siano sempre in conflitto tra loro 1
- . In fondo gli interessi del dipendente e del datore sono gli stessi in quanto se una società guadagna bene può pagare stipendi migliori e pertanto le due parti dovrebbero collaborare 2
- . Non so 9

DOM. 71 (Mostrare cartellino dom. 71)
SU QUESTO CARTELLINO SONO RIPORTATE TRE OPINIONI SULLA SOCIETA' CONTEMPORANEA. POTREBBE SCEGLIERE QUELLA CHE MEGLIO DESCRIVE LA SUA? (Una sola risposta)

- . Bisogna cambiare radicalmente l'organizzazione della società in cui viviamo con un'azione rivoluzionaria 1
- . Bisogna migliorare gradualmente la società in cui viviamo mediante le riforme 2
- . Bisogna difendere coraggiosamente la società in cui viviamo da tutte le forze sovversive 3
- . Non so 9

DOM. 72A SECONDO LEI LA SOCIETA' ITALIANA HA NECESSITA' DI CAMBIARE PROFONDAMENTE?

- . Sì 1
- . No 2
- . Non so 9

DOM. 72B PER CAMBIARE LA SOCIETA' SECONDO LE SUE ASPETTATIVE, LEI E' FAVOREVOLE A DELLE RIFORME GRADUALI O AD UN CAMBIAMENTO RADICALE?

- . Riforme graduali 1
- . Cambiamenti radicali 2
- . Non so 9

DOM. 73 C'E' UN PARTITO POLITICO AL QUALE SI SENTE PIU' VICINO CHE AD ALTRI? (Se "SI") SI SENTE MOLTO VICINO A QUESTO PARTITO ABBASTANZA VICINO O SOLAMENTE SIMPATIZZANTE?

- . Molto vicino 1
- . Abbastanza vicino 2
- . Semplice simpatizzante 3
- . Non sono vicino a nessun partito 4
- . Non so 9

2/5 2/10-2

DOM. 74 LEI SI SENTE MOLTO VICINO A QUESTO PARTITO, ABBASTANZA VICINO O PER NIENTE VICINO?

- . Molto vicino 1
- . Abbastanza vicino 2
- . Non molto vicino 3
- . Non so 9



MARKET RESEARCH COMPANY
00199 ROMA - VIA SALARIA, 298/A,
TEL. 39/6 - 8413557 - 8848057 - 8558018
TELEFAX 39/6 - 8540038

DATE: 13.10.1992 FAX No. 0081.3.3545.9235
NUMBER OF PAGES TO FOLLOW THIS COVER SHEET 1
TO: HASIME MAEDA COMPANY: RPD
CC: MASAYOSHI KIMURA
FROM: M. A. DELAIDE SANTILLI
MESSAGE REF: CULTURAL LINK ANALYSIS

Dear Mr. Maeda.

I hope you have received copy of the fax my secretary sent to Mr. Kimura on Friday, the 9th. inst., concerning the sampling points which will be selected before the pre-testing.

For DOM.73 we will replace it as requested by you, but would suggest using the list of political parties indicated in the last Eurobarometer and precisely the following:

- ⊙ Democrazia Cristiana (DC)
- ⊙ Partito Democratico della Sinistra (PDS)
- ⊙ Rifondazione Comunista
- ⊙ Partito Socialista Italiano (PSI)
- ⊙ Movimento Sociale Italiano Destra Nazionale (MSI-DN)
- ⊙ Partito Repubblicano Italiano (PRI)
- ⊙ Partito Socialdemocratico Italiano (PSDI)
- △ Federazione dei Verdi ← 党員もいる
- Lista Pannella ← 党員
- ⊙ Partito Liberale Italiano (PLI)
- ⊙ Südtiroler Volkspartei (SVP)
- ⊙ Lega Lombarda
- La Rete - Movimento per la Democrazia ← 党員
- Altri Partiti
- Nessun partito politico
- Rifiuta di rispondere
- Non so.

As mentioned by you, we will review the questionnaire with the client for his final approval.

DOM. 75A (Mostrare cartellino dom. 75A)

SU QUESTO CARTELLINO E' RIPORTATO UNA SPECIE DI TERMOMETRO CHE VA DA 0 A 100 GRADI. VORREI CHE LEI LO UTILIZZASSE PER ESPRIMERE LA SUA SIMPATIA NEI CONFRONTI DEI VARI PARTITI POLITICI. AL CENTRO DELLA SCALA LA POSIZIONE 50 E' NEUTRA. PIU' SIMPATIA HA PER UN PARTITO, PIU' IL TERMOMETRO SALIRA', MENTRE PIU' E' OSTILE PIU' IL TERMOMETRO SCENDERA' VERSO LO 0. INIZIAMO PARLANDO DELLA D.C. (Leggere tutti i partiti, ruotare l'ordine di lettura)

	Temperatura
. Democrazia Cristiana (DC)	_ _ _
. Partito Democratico della Sinistra (PDS)	_ _ _
. Rifondazione Comunista	_ _ _
. Partito Socialista Italiano (PSI)	_ _ _
. Movimento Sociale Italiano Destra Nazionale (MSI-DN)	_ _ _
. Lega lombarda	_ _ _
. Altri (specificare) _____	_ _ _
. Non so	9 9 9

党.6は6党に減点.

この板は17年2月 - 2'

イタリアの現在の議席数.

* DOM75. 巨大幅にcutした根拠に因りた.

Total欄 全624議席に等し.

1+2+3+4+5+11 = 529議席 84.8%を占めていた.

**RISULTATI DELLE ELEZIONI
DELLA CAMERA DEI DEPUTATI (5 aprile 1992)**
secondo i dati dell'Ufficio elettorale centrale nazionale

**1. — LISTE CHE HANNO USUFRUITO DELLA RIPARTIZIONE
DEI VOTI RESIDUI**

(avendo conseguito oltre 300.000 voti complessivi ed ottenuto un quoziente in sede circoscrizionale)

LISTA (secondo l'ordine indicatedo dall'Ufficio centrale nazionale)	Voti complessivi (tranne Collegio uninomiale Valle d'Aosta)	Totale voti residui (tranne Collegio uninomiale Valle d'Aosta)	Seggi attribuiti nei Collegi	Seggi attribuiti in base al riparto dei resti	Seggi com- ples- sivi	Totale voti residui dopo il riparto dei resti
1. Democrazia Cristiana	11.637.569	760.344	195	11	206	* 52.264
2. Partito Democratico della Sinistra	6.317.962	895.918	94	13	107	* 46.222
3. Rifondazione Comuni- sta	2.198.355	986.704	21	14	35	* 66.200
4. Partito Socialista Ita- liano	5.343.808	672.324	83	9	92	35.052
5. Movimento Sociale Italiano-Destra Nazio- nale	2.104.927	930.541	21	13	34	10.037
6. Partito Repubblicano Italiano	1.723.756	829.157	15	12	27	* 50.269
7. Partito Liberale Ita- liano	1.121.854	778.990	6	11	17	102
8. Partito Socialista De- mocratico Italiano	1.066.672	749.286	6	10	16	41.206
9. Lista Pannella	486.344	423.592	1	6	7	* 69.552
10. Federazione dei Verdi	1.088.074	851.096	4	12	16	1.400
11. Lega Lombarda	3.395.384	571.242	47	8	55	4.778
12. La Rete - Movimento per la Democrazia	730.293	401.870	6	6	12	* 47.830
Totale ...	37.214.998	8.851.064	199	125	624	

* I contrassegni indicano i maggiori resti in base ai quali sono stati assegnati dei seggi attribuiti con i resti.

No. of vote — 3 — Sub. (No. of seats) Total.

D. 01

IN POLITICA DI SOLITO SI PARLA DI "DESTRA" E DI "SINISTRA" IN QUALE PUNTO DI QUESTA SCALA COLLOCHEREBBE LA SUA POSIZIONE? (MOSTRARE IL CARTELLINO D.01 NON SUGGERIRE L'INTERVISTATO DOVRA' SITUARSI IN UNA CASELLA, SE ESITA, INSISTERE)

	Sinistra					Destra			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
. Bilista					1				
. Non so					2				

(LE DOMANDE DALLA 02 ALLA 05 NON ESISTONO)

01
D. 06

A) LEI PERSONALMENTE E' ISCRITTO AD UN SINDACATO DEI LAVORATORI?
B) E QUALCUN'ALTRO DELLA SUA FAMIGLIA E' ISCRITTO AD UN SINDACATO DEI LAVORATORI?

	SI	No	Non so
. L'intervistato	1	2	3
. Un altro componente della famiglia	1	2	3

02
D. 07

LEI E'.....?

. Celibe o nubile	1
. Sposato/a	2
. Convivente	3
. Divorziato/a	4
. Separato/a	5
. Vedovo/a	6

03
D. 08

A QUANTI ANNI HA TERMINATO/INTERROTTO I SUOI STUDI A TEMPO PIENO? (SE E' ANCORA STUDENTE CODICE 00 - ANDARE A DOM. 10)

Età

04
D. 09

DOPO AVER TERMINATO/INTERROTTO I SUOI STUDI A TEMPO PIENO LEI HA.....? (SE "MAI": CODICE 00)

Leggere:

Mesi

. Eventualmente ripreso a studiare?	(SE "SI") PER QUANTI MESI?	<input type="text"/>
. Eventualmente frequentato un corso di formazione professionale o lavorato come apprendista?	(SE "SI") PER QUANTI MESI?	<input type="text"/>

⁰⁵
D. ~~10~~ SESSO DELL'INTERVISTATO

. Maschio 1
. Femmina 2

⁰⁶
D. ~~11~~ QUANTI ANNI HA?

. Anni

⁰⁷
D. ~~12~~ DI QUANTE PERSONE E' COMPOSTA LA SUA FAMIGLIA, LEI COMPRESO?

. 1 persona 1
. 2 persone 2
. 3 persone 3
. 4 persone 4
. 5 persone 5
. 6 persone 6
. 7 persone 7
. 8 persone 8
. 9 persone ed oltre 9

⁰⁸
D. ~~13~~ QUANTI BAMBINI AL DI SOTTO DEI 15 ANNI VIVONO NELLA SUA FAMIGLIA?

. 1 bambino 01
. 2 bambini 02
. 3 bambini 03
. 4 bambini 04
. 5 bambini 05
. 6 bambini 06
. 7 bambini 07
. 8 bambini 08
. 9 bambini ed oltre 09
. Nessuno 10

⁰⁹
D. ~~14~~ LEI O QUALCUNO NELLA SUA FAMIGLIA POSSIEDE.....? (LEGGERE)

.....un televisore a colori 01
.....un videoregistratore 02
.....una videocamera 03
.....una radiosveglia 04
.....un personal/home computer 05
.....una macchina fotografica 06
.....un trapano elettrico 07
.....una friggitrice elettrica 08
.....duo o più automobili 09
.....una seconda casa o una casa al mare,
in montagna, o in campagna 10

10
D. 16

A) QUAL E' LA SUA ATTUALE OCCUPAZIONE?
B) (SE ATTUALMENTE NON ESERCITA ALCUNA ATTIVITA' RETRIBUITA COD. 1-4 A DOM. 15A) HA ESERCITATO IN PASSATO QUALCHE ATTIVITA' RETRIBUITA? QUAL E' STATA LA SUA ULTIMA OCCUPAZIONE?

	Dom. 15A Occupazione attuale	Dom. 15B Ultima occupazione
<u>Non attivo</u>		
. Responsabile degli acquisti correnti e della conduzione della casa o non esercita attualmente alcuna occupazione	01	----
. Studente	02	----
. Disoccupato, temporaneamente senza occupazione	03	----
. Pensionato o inabile al lavoro	04	----
<u>Lavoratori indipendenti</u>		
. Agricoltore	05	01
. Pescatore	06	02
. Libero professionista (avvocato, medico, commercialista, architetto)	07	03
. Proprietario di un negozio, commerciante, artigiano o altro tipo di lavoro indipendente	08	04
. Industriale, proprietario (unico o socio) di un'azienda	09	05
<u>Lavoratori dipendenti</u>		
. Professioni liberali dipendenti (medico, avvocato..)	10	06
. Quadri superiori/altri dirigenti (direttori generali, amministratori delegati, altri direttori)	11	07
. Quadri intermedi (funzionari, insegnanti...)	12	08
. Impiegati di concetto (che lavorano per lo più davanti ad una scrivania)	13	09
. Impiegati che non lavorano davanti ad una scrivania (venditori, autisti, rappresentanti)	14	10
. Impiegati che non lavorano davanti ad una scrivania ma che offrono dei servizi (ospedali, ristoranti, polizia, pompieri)	15	11
. Supervisore	16	12
. Operai specializzati	17	13
. Altri operai (non specializzati), personale di servizio	18	14
. Non ho mai esercitato alcuna attività retribuita	----	15

(A CHI ATTUALMENTE ESERCITA UN'ATTIVITA' RETRIBUITA O UN LAVORO INDIPENDENTE: CODICI 05-18 A DOM. 15A.)

11
D. 16

NORMALMENTE, QUANTE ORE LAVORA ALLA SETTIMANA?

Ore lavorative settimanali

12
D. 17

(A COLORO CHE SVOLGONO O HANNO SVOLTO ATTIVITA' RETRIBUITE O UN LAVORO AUTONOMO: COD. DA 05 A 18 A D. 15A OPPURE DA 01 A 14 A D. 15B) QUANTE PERSONE LAVORANO/LAVORAVANO SOTTO LA SUA RESPONSABILITA'?

. Nessuna	1
. Da 1 a 4	2
. Da 5 a 9	3
. 10 ed oltre	4
. Non so	5

13
D. 18

(A COLORO CHE SVOLGONO O HANNO SVOLTO ATTIVITA' RETRIBUITE: CODICI DA 10 A 18 A D. 15A OPPURE DA 06 A 14 A D. 15B) IN QUALE SETTORE DI ATTIVITA' LEI LAVORA O HA LAVORATO?

. Pubblico impiego	1
. Industria statale	2
. Industria privata	3
. Servizi privati	4
. Non so (Non e' possibile la codifica da parte dell'intervistatore)	5

D. 19¹⁴

LEI E'.....

Si No

Leggere:

A) Il/la principale responsabile nella Sua famiglia degli acquisti correnti e della conduzione della casa

1 2

B) La persona che contribuisce in maggior misura al reddito familiare

1 2

(PORRE LE DOMANDE DALLA 20 ALLA 22 COMPRESA SE L'INTERVISTATO/A NON E' LA PERSONA CHE CONTRIBUISCE IN MAGGIOR MISURA AL REDDITO FAMILIARE - COD. 2 A DOM. 19B - ALTRIMENTI PASSARE A DOM.23)

D. 20¹⁵

A QUANTI ANNI LA PERSONA CON IL REDDITO PIU' ALTO, CIOE' IL CAPOFAMIGLIA, HA TERMINATO/INTERROTTO I SUOI STUDI A TEMPO PIENO? (SE STUDIA ANCORA CODIFICARE 00)

Anni

D. 21¹⁶

A) (SE "NO" A DOM. 19B), QUAL E' L'ATTUALE PROFESSIONE DELLA PERSONA CHE IN FAMIGLIA HA IL REDDITO PIU' ALTO?

B) (SE ATTUALMENTE NON ESERCITA ALCUNA ATTIVITA' RETRIBUITA - CODICI 01-04 A DOM. 21A) HA ESERCITATO IN PASSATO QUALCHE ATTIVITA' RETRIBUITA? QUAL E' STATA LA SUA ULTIMA OCCUPAZIONE?

	Dom. 21A Occupazione attuale	Dom. 21B Ultima occupazione
<u>Non attivo</u>		
. Responsabile degli acquisti correnti e della conduzione della casa o non esercita attualmente alcuna occupazione	01	----
. Studente	02	----
. Disoccupato, temporaneamente senza occupazione	03	----
. Pensionato o inabile al lavoro	04	----
<u>Lavoratori indipendenti</u>		
. Agricoltore	05	01
. Pescatore	06	02
. Libero professionista (avvocato, medico, commercialista, architetto)	07	03
. Proprietario di un negozio, commerciante, artigiano o altro tipo di lavoro indipendente	08	04
. Industriale, proprietario (unico o socio) di un'azienda	09	05
<u>Lavoratori dipendenti</u>		
. Professioni liberali dipendenti (medico, avvocato..)	10	06
. Quadri superiori/altri dirigenti (direttori generali, amministratori delegati, altri direttori)	11	07
. Quadri intermedi (funzionari, insegnanti....)	12	08
. Impiegati di concetto (che lavorano per lo più davanti ad una scrivania)	13	09
. Impiegati che non lavorano davanti ad una scrivania (venditori, autisti, rappresentanti)	14	10
. Impiegati che non lavorano davanti ad una scrivania ma che offrono dei servizi (ospedali, ristoranti, polizia, pompieri)	15	11
. Supervisoro	16	12
. Operai specializzati	17	13
. Altri operai (non specializzati), personale di servizio	18	14
. Non ho mai esercitato alcuna attività retribuita	----	15

17
D. 22

(A COLORO CHE SVOLGONO O HANNO SVOLTO ATTIVITA' RETRIBUITE O UN LAVORO AUTONOMO: COD. DA 05 A 18 A D. 21A OPPURE DA 01 A 14 A D. 21B) QUANTE PERSONE LAVORANO/LAVORAVANO SOTTO LA SUA RESPONSABILITA'?

- | | |
|---------------|---|
| . Nessuna | 1 |
| . Da 1 a 4 | 2 |
| . Da 5 a 9 | 3 |
| . 10 ed oltre | 4 |
| . Non so | 5 |

18
D. 23

(A TUTTI)

SE LE CHIEDESSERO DI UTILIZZARE UNA DI QUESTE CINQUE CATEGORIE PER DEFINIRE IL SUO CETO SOCIALE, A QUALE DI QUESTE LEI DIREBBE DI APPARTENERE? (MOSTRARE CARTELLINO D. 23 - UNA SOLA RISPOSTA)

- | | |
|------------------------------|---|
| . Classe média | 1 |
| . Classe medio-inferiore | 2 |
| . Classe operaia | 3 |
| . Classe superiore | 4 |
| . Classe medio-superiore | 5 |
| . Rifiuta di rispondere | 6 |
| . Altra risposta (precisare) | 7 |
| _____ | 8 |
| . Non so | 8 |

19
D. 24

LEI ABITA IN UNA VILLETTA O IN UN APPARTAMENTO? L'APPARTAMENTO/VILLETTA IN CUI VIVE E' DI PROPRIETA' SUA O DELLA SUA FAMIGLIA, OPPURE IN AFFITTO? (MOSTRARE CARTELLINO D. 24)

- | | |
|--|---|
| . Una villetta di proprieta' o con mutuo | 1 |
| . Un appartamento di proprieta' o con mutuo | 2 |
| . Una villetta affittata da un privato | 3 |
| . Un appartamento affittato da un privato | 4 |
| . Una villetta di proprieta' del comune in affitto | 5 |
| . Un appartamento di proprieta' del comune in affitto | 6 |
| . Altro (stanza in affitto, pensionato, case a riscatto, ecc.) | 7 |
| . Non so | 8 |

20
D. 25

LEI DEFINIREBBE LA LOCALITA' IN CUI ABITA (LEGGERE):

- | | |
|--|---|
| . Un'area prevalentemente agricola (o piccolo comune, frazione, borgata, casa isolata) | 1 |
| . Una piccola o media citta' | 2 |
| . Una grande citta' | 3 |
| . Non so | 4 |

21
D. 26

LEI SI CONSIDERA APPARTENENTE AD UNA RELIGIONE? (SE "SI") A QUALE?

- | | | |
|-----------------------|----|-------------------|
| . Cattolica | 01 | } PASSARE A D. 27 |
| . Protestante | 02 | |
| . Ortodossa | 03 | |
| . Ebraica | 04 | |
| . Musulmana | 05 | } PASSARE A D. 28 |
| . Buddista | 06 | |
| . Induista | 07 | |
| . Altro (specificare) | 08 | |
| _____ | 09 | |
| . Nessuna | 10 | |
| . Non so | 10 | |

22
D. 27

(A QUELLI CHE HANNO RISPOSTO CON COD. DA 01 A 04 A D.26)

LEI ASSISTE ALLE FUNZIONI RELIGIOSE PIU' VOLTE ALLA SETTIMANA, UNA VOLTA ALLA SETTIMANA, POCHE VOLTE ALL'ANNO, UNA VOLTA ALL'ANNO O MAI? (UNA SOLA RISPOSTA)

- . Piu' volte alla settimana 1
- . Una volta a settimana 2
- . Poche volte all'anno 3
- . Una volta all'anno o meno 4
- . Mai 5
- . Non so 6

(A TUTTI)

23
D. 28

SIA CHE LEI SEGUA OPPURE NO PRATICHE RELIGIOSE, SI DEFINIREBBE.....?

- . Una persona religiosa 1
- . Una persona non religiosa 2
- . Un agnostico (indifferente ai problemi religiosi) 3
- . Un ateo (che nega l'esistenza di Dio) 4
- . Non so 5

24
D. 29

AVREMMO BISOGNO DI ALCUNE INFORMAZIONI SUL REDDITO DELLA SUA FAMIGLIA PER POTER ANALIZZARE I RISULTATI DI QUESTO STUDIO IN FUNZIONE DELLE DIVERSE TIPOLOGIE FAMILIARI. SU QUESTO CARTELLINO SONO ELENCAE DELLE CLASSI DI REDDITO. (MOSTRARE IL CARTELLINO DOM. D. 29)

LEI DOVREBBE SOMMARE TUTTE LE ENTRATE E GLI STIPENDI MENSILI DI TUTTI I COMPONENTI DELLA FAMIGLIA, TUTTE LE PENSIONI ANCHE SOCIALI E LE EVENTUALI RENDITE DA ASSICURAZIONI O DA LOCAZIONE (AFFITTI).....

LE ASSICURO CHE LA SUA RISPOSTA, COME TUTTE QUELLE CHE CI HA DATO NEL CORSO DI QUESTA INTERVISTA, SARA' RITENUTA DEL TUTTO CONFIDENZIALE E QUALUNQUE RIFERIMENTO A LEI O ALLA SUA FAMIGLIA SARA' IMPOSSIBILE.

LA PREGO DI RISPONDERMI CON LA LETTERA DELL'ALFABETO RIPORTATA A FIANCO DELLA CLASSE DI REDDITO LORDO CHE CORRISPONDE A QUELLO DELLA SUA FAMIGLIA, PRIMA DI QUALUNQUE DEDUZIONE, TASSE O ALTRO.

- B. Fino a 750.000 01
- T. Da 750.001 a 1.000.000 02
- P. Da 1.000.001 a 1.500.000 03
- F. Da 1.500.001 a 1.750.000 04
- E. Da 1.750.001 a 2.000.000 05
- H. Da 2.000.001 a 2.500.000 06
- L. Da 2.500.001 a 3.000.000 07
- N. Da 3.000.001 a 3.500.000 08
- R. Da 3.500.001 a 4.000.000 09
- M. Da 4.000.001 a 4.500.000 10
- S. Da 4.500.001 a 5.000.000 11
- K. Oltre 5.000.000 12
- . Rifiuta 13
- . Non so 14

.....
NOME E COGNOME DELLA PERSONA INTERVISTATA _____

INDIRIZZO _____

COMUNE _____ PROVINCIA _____ TEL. _____

.....
DICHIARO CHE LA PRESENTE INTERVISTA E' STATA ESEGUITA DA ME PERSONALMENTE SECONDO LE ISTRUZIONI CONTENUTE, NONCHE' IN BASE ALLE NORME CHE REGOLANO LA COLLABORAZIONE TRA GLI INTERVISTATORI E GLI ISTITUTI MEMBRI DELL'AIMS ALLEGATE ALLA PROPOSTA DI INCARICO, DELLE QUALI DICHIARO DI AVERE PIENA CONOSCENZA. APPROVO IN PARTICOLARE, AI SENSI E PER GLI EFFETTI DEGLI ARTICOLI 1341 E 1342 C.C., LE CLAUSOLE 8, 9 E 11 IVI CONTENUTE.

Data intervista _____

Firma intervistatore _____

4) イタリア調査票第二版を日本語へ再翻訳

世論調査草案

- 問 1. 10年前と比較し、全体的にイタリア人の生活水準は（読むこと）（27）
- | | |
|---------------|---|
| 良くなった | 1 |
| やや良くなった | 2 |
| あまり変わらない | 3 |
| やや悪くなった | 4 |
| 悪くなった | 5 |
| わからない（読まないこと） | 9 |

- 問 2. 10年前と比較し、あなたの生活水準は（読むこと）（28）
- | | |
|---------------|---|
| 良くなった | 1 |
| やや良くなった | 2 |
| あまり変わらない | 3 |
| やや悪くなった | 4 |
| 悪くなった | 5 |
| わからない（読まないこと） | 9 |

問 3. これからの 5 年間にあなたの生活水準
 は (読むこと) (2 9)

良くなるだろう	1
やや良くなるだろう	2
あまり変わらないだろう	3
やや悪くなるだろう	4
悪くなった	5
わからない (読まないこと)	9

問 4. 一般的に、人々は今よりもっと幸せ、
 又は不幸せになると思うか。 (3 0)

もっと幸せになる	1
もっと不幸せになる	2
今と変わらない	3
その他 (具体的に言うこと)	4
わからない (読まないこと)	9

問 5. 彼らの平静 (心の安らぎ) の度合いは
 大きくなるか、小さくなるだろうか。
 大きくなる 1

小さくなる	2
変わらない	3
その他 (具体的に言うこと)	4
わからない (読まないこと)	9

問 6. 個人の自由は拡大するか、又は減退す
 ると思うか。

拡大する	1
減退する	2
変わらない	3
その他 (具体的に言うこと)	4
わからない (読まないこと)	9

問 7. 将来人々の健康状態は良くなるか、悪
 くなるか。

拡大する	1
減退する	2
変わらない	3
その他 (具体的に言うこと)	4
わからない (読まないこと)	9

問 8. (問 8 のカードを見せながら)

現在、今から 10 年か 15 年の間、イタリアが何を目的にすべきかについて議論されている。このカードに一部の人が選んだ優先すべき目的が記載されている。この中でどれが一番重要なのか、それからどれが 2 番目に重要だと思うか。

(一列につき一つだけ選ぶこと)

	一 番	二 番
	重 要	重 要
	目 的	目 的
1) 国の秩序を維持すること	1	1
2) 重要な政策を決める時に、 人々にもっと発言させること	2	2
3) 物価の上昇を食い止めること	3	3
4) 言論の自由を守ること	4	4
5) その他 (記入)	5	5

6) わからない

9 9

問 9. (問 9 のカードを見せながら)

このカードのリストに基づいて自分あるいは家族のことに關してどれだけ心配するか (一答ずつ読むこと)

	と	ち	や	全	解
	て	っ	や	く	ら
	も	と		な	な
				い	い
重病	1	2	3	4	5
交通事故	1	2	3	4	5
失業	1	2	3	4	5
戦争	1	2	3	4	5
原子力発電所 での事故	1	2	3	4	5

問 10. (ありません)

* 翻訳直っていない。
12/15のものは直した。

- 問 11. あなたは ~~普通のイタリヤ人~~ ^{平均的な人} より祖先を尊敬する気持ちは強いのか。(50)
- | | |
|---------------|---|
| 平均より強い | 1 |
| 平均より弱い | 2 |
| 普通 | 3 |
| その他(具体的に言うこと) | 4 |
| わからない | 9 |

- 問 12. もし自分に子供がなければ、家系を存続させる為に血のつながりがなくても養子縁組みをするのは良いことか。それともこれはあまり大事ではないか。
- | | |
|---------------|---|
| 養子縁組みをする | 1 |
| 養子縁組みをしない | 2 |
| 状況次第 | 3 |
| その他(具体的に言うこと) | 4 |
| わからない | 9 |

- 問 13. あなたの理想では家庭の中に子供が何人位いればいいか。
- | | |
|------------|---|
| 一人 | 1 |
| 二人 | 2 |
| 三人 | 3 |
| 四人 | 4 |
| 五人 | 5 |
| 六人以上 | 6 |
| 子供がいないのが理想 | 7 |
| 状況次第。 | |
| 理想的な人数はいない | 8 |
| わからない | 9 |

- 問 14. ここ4週間の間に下記の病状に襲われた(一答ずつ読むこと)。

	はい	いいえ	解らない
頭痛	1	2	3
腰痛	1	2	3
いらだち /			
神経過敏症	1	2	3

抑うつ状態 1 2 3

不眠 1 2 3

問 15. あなたは自分の年齢としては健康状態に満足しているか (読むこと)

とても満足している 1

十分満足している 2

とても不満 4

わからない (読まないこと) 9

3 やや不満
↑
訳が抜けてる
だけ。

問 16. (問 16 のカードを見せながら)

あなたは全体的に自分の生活水準 (暮らしの裕福さ) をどう思うか。カードを参考に答えてください。1 は最も高い水準で、5 は一番低い水準を言う。

高い 1

中の高 2

平均 3

平均より低い 4

低い 5

わからない 9

問 17. もし選べるならこのリストの中でどれが一番ほしいか (読むこと。一答だけ)。

お金 1

自分の為の時間 2

わからない (読まないこと) 9

問 18. 死ぬ時まで楽に暮らせるお金を持っていれば仕事を続けるか、それともやめるか。

仕事を続ける 1

仕事をやめる 2

その他 (具体的に言う) 3

~~年金生活者 4~~

~~仕事をしていない 5~~

わからない 9

問 19. (問 19のカードを見せながら)

このカードに書いてある内容のうち、
どちらがあなたの考え方に近いか。

いくらお金をもっているでも
仕事をしなければ人生は無
意味だ。 1

お金さえあれば仕事はしな
くても人生には意味がある。 2
わからない。 9

問 20. (問 20のカードを見せながら)

このカードにリストされているのが人
々が仕事に関して大事だと思う諸要素
である。あなたにとってどれが一番重
要か。

良い給料
(お金の心配をなくすような) 1

安定した仕事
(失業の恐れのない仕事) 2

好きなタイプの人と仕事をする 3

充実感を得られる
重要な仕事をする 4
その他(具体的に言う) 5
わからない 9

問 21. 一週間の日程を組み立てると、仕事の
ことで私生活又は家庭生活がじゃまさ
れることがあるか。

ある 1
ない 2
仕事していない 3
わからない 9

問 22. (問 22のカードを見せながら)

人生に対する態度は様々だが、下記の
項目の中ではどれがあなたの生き方に
適しているか(一答のみ)。

一生懸命働き金持ちになること 1
勤勉に勉強して名をあげる 2

- お金とか出世のことを考えずに
自分のパーソナリティーに
一番適している生き方をする 3
- あまり心配せずに日々
楽しく暮らす 4
- 世の中の誘惑に負けずに正義と
純潔な生き方に歡する 5
- 自分のことを忘れ社会の
為に献身する 6
- その他（具体的に言う） 7
- わからない 9

- 問 23. あなたが住んでいる住民区域の生活水準と環境 (quolity of life) についてどう思うか (読むこと)。
- とても満足している 1
 - 十分満足している 2
 - ちょっと不満 3
 - とても不満 4
 - わからない 9

問 24A. (問 24 のカードを見せながら)

このカードをもとに、下記の項目はあなたの近所でどれだけ重大で問題になっているか。例えば盗難の問題は深刻か。

問 24B. (問 24 のカードを続けてみせる)

個人の安全という点で人が襲われることがあなたの近所にあるか。この問題はどれだけ重大か。

	重 大 問 題	問 題	重 大 問 題	全 く な い 問 題	解 ら な い 問 題
24A 盗難	1	2	3	4	9
24B 個人の安全 / 攻撃	1	2	3	4	9

問 25. (問 25 のカードを見せながら)

あなたはあの「アリとキリギリスの話」をきつとご存知であろう。キリギリスは夏中歌い続けた後、冬が来たときには何も食べ物をためていない。そして夏の間働き続けたアリに助けを求めに行く。アリはこのカードに書いてある 2 つの回答の内、一つを答えた。あなたは結びとしてはどちらを選ぶか。

- アリは「当然の報いだ」と
助けを断る 1
- アリは「怠けたのがいけない
かった。もっと働きなさい。」
とお説教しながらも食べ物を
分けてあげる 2
- その他(具体的に言う) 3
- わからない 9

問 26A. あなたにとって人生の中で一番重要な
のは何か。1 つだけ言ってください。

わからない 9

問 26B. その他にあなたにとってとても大事な
のは何か。幾つでも言ってください。
(うながし) それから?

わからない 9

問 27. カードのスケールに基づいて下記の各
項目はあなたにとってどれだけ重要か。
(一項目づつ読むこと)

	全 くで 重 な 要 い	1	2	3	4	5	6	と 解 て ら も 重 な 要 い	7	9
家族と子供 (いる場合)		1	2	3	4	5	6		7	9
キャリアと仕事		1	2	3	4	5	6		7	9
自由時間と娯楽		1	2	3	4	5	6		7	9
友人と知り合い		1	2	3	4	5	6		7	9
両親、兄弟、姉妹 その他の親戚		1	2	3	4	5	6		7	9
宗教と教会		1	2	3	4	5	6		7	9
政治		1	2	3	4	5	6		7	9

問 28. (問 28 のカードを見せながら)

總体的に考えると自分の家庭生活にどれだけ満足しているか。特にあなたの家族とどれだけ時間を過ごし、何をするか。このカードに従って教えてください。

大変満足	1
十分満足	2
満足でも不満でもない	3
ちょっと不満	4
とても不満	5
その他(具体的に言う)	6
わからない	9

問 29. (問 28 のカードを残しておく)

あなたの人生に関する一般的な質問をさせていただきます。自分の人生に対して近ごろどれだけ満足しているか。同じカードを使用しながら教えてください。

とても満足	1
十分満足	2
満足でも不満でもない	3
ちょっと不満	4
とても不満	5
その他(具体的に言う)	6
わからない	9

問 30. 現代社会で偉く出世した人々のことを考えると、彼らに成功をもたらした一番大きな要素は何か。能力と努力、それとも運と偶然か。

- | | |
|---------------|---|
| 能力と努力 | 1 |
| 好運と偶然 | 2 |
| その他（具体的に言うこと） | 3 |
| わからない（読まないこと） | 9 |

問 31. 「所得の不十分な家庭は国に助けられると…」この文を完成する下記の項目の内、どれがあなたの考え方に一番近いか。

- | | |
|---------------|---|
| 生活を営むことが可能になる | 1 |
| 責任感がなくなってしまう | 2 |
| その他（具体的に言う） | 3 |
| わからない | 9 |

問 32. 一部の人は、科学と技術の進歩のおかげで生活はますます便利になるが、そ

れと同時に非人間的になってしまう。あなたは賛成するか。

- | | |
|---------------|---|
| 賛成 | 1 |
| 賛成でない | 2 |
| 決められない / 状況次第 | 3 |
| その他（具体的に言う） | 4 |
| わからない | 9 |

問 33. 一部の人には、お金が人生の中で一番重要なものの一つであるということ、子供達に小学校から教えるべきだという考え方がある。あなたは賛成か。

- | | |
|---------------|---|
| 賛成 | 1 |
| 賛成でない | 2 |
| 決められない / 状況次第 | 3 |
| その他（具体的に言う） | 4 |
| わからない | 9 |

問 34. 一部の人々には、優れた政治家達がいれば国の為を考えると彼らを全面的に

信頼し、一般人は政治的な議論をやめるべきだという意見がある。あなたは賛成か。

- 賛成 1
- 賛成でない 2
- 決められない / 状況次第 3
- わからない 9

問 35. もしあることが絶対正しいと思ったら、一般の慣習に逆行してもためらうことなくそれを実行すべきだと思うか。それとも間違いを起こさない方が大事だと思って慣習に従うべきか。

- 一般の慣習に逆行しても
実行すべき 1
- 一般の慣習に従うべき 2
- 決められない / 状況次第 3
- その他（具体的に言う） 4
- わからない 9

問 36. 一部の人々には幾ら世の中が機械化しても人間の感情と魂はずっと豊かなものであり続けられるという意見がある。あなたは賛成か。

- 賛成 1
- 賛成でない 2
- 決められない / 場合による 3
- その他（具体的に言う） 4
- わからない 9

問 37. 「家はリラックスして居心地の良い唯一の所」。この文章に賛成か。

- 賛成 1
- 賛成でない 2
- その他（具体的に言う） 3
- わからない 9

問 38. （問 38 のカードを見せる）

ここに書いてある文章の内どれがあなたの結婚に対する考え方に一番近い

か。

- | | |
|-----------------------|---|
| 結婚は永遠に解消できない | 1 |
| 結婚は非常に深刻なケースのみ解消しても良い | 2 |
| 結婚は両配偶者の同意があれば解消しても良い | 3 |
| わからない | 9 |

問 39. (問 39 のカードを見せる)

ここに家事と子供に関する文章が書いてある。このうちどれがあなたの考え方に一番近いか。

- | | |
|----------------------|---|
| 女性が担うべき役目だ | 1 |
| 一部の役目は特に女性に向いている | 2 |
| あらゆる役目は差別なく男女に分けるべきだ | 3 |
| わからない | 9 |

問 40. 10才前後の子供が学校から帰って、自分の先生が悪いことをしたという噂があるよ、と両親に言うとする。もし両親がそれが事実だとわかっているとすれば、子供には真実を言うべきか、それとも何も言わない方がよいと思うか。

- | | |
|-------------|---|
| 真実を言うべき | 1 |
| 真実は言わない方がよい | 2 |
| その他(具体的に言う) | 3 |
| わからない | 9 |

問 41. (問 41 のカードを見せながら)

次の状況を思い浮かべてみよう。Aさんという人は幼い頃両親をなくし、近所に住んでいるBさんに育てられた。おかげで良い教育を受け、大学まで卒業した。会社の社長になったAさんの所にある日突然電報が来た。Bさんが重病だからすぐ訪ねてほしいとのこと。

ちょうどその時Aさんは重要な会議に行こうとしている所だった。会社が倒産するか救済されるかの問題だ。どんなことがあっても会議は延期できないが、あなたの意見ではAさんはどうすべきか。

- 全部忘れてすぐBさんの所に
 かけつけるべきだ 1
 いくら心配でも会議に
 出席しなければならない 2
 その他（具体的に言う） 3
 わからない 9

問42.（問42のカードを見せながら）

問41の話でBさんはAさんの養父だと仮定したが、もし実父だとすればAさんはどうすべきだろうか。

- 全部忘れてすぐBさんの所に
 かけつけるべきだ 1
 いくら心配でも会議に

- 出席しなければならない 2
 その他（具体的に言う） 3
 わからない 9

問43.（問43のカードを見せながら）

この下に人間と自然の関係について三つの意見が書かれている。その内のどれが一番真実に近いと思うか。

- 幸せになる為に人間は自然に
 順応しなければならない 1
 幸せになる為に人間は自然を
 利用すべきだ 2
 幸せになる為に人間は自然を
 支配すべきだ 3
 その他（具体的に言う） 4
 わからない 9

問44.（問44のカードを見せながら）

下記の中でどれが一番賛成できるか。

国の進歩は個々人を幸せにする事によってのみ可能だ 1

国が進歩すればこそ個々人は幸せになる 2

国の進歩と個人の幸せは結果的に同じことだ 3

その他（具体的に言う） 4

わからない 9

問 45. (問 45 のカードを見せながら)
下記の項目の中で、一番大事な項目はどれか。

はい いいえ

両親に対する愛情と
敬い 1 0

過去に助けてくれた人に対する恩返し 1 0

個人の権利を尊重 1 0

個人の自由を尊重 1 0

その他

(具体的に言うこと) 1 0
わからない 9 9

問 46. (問 46 のカードを見せながら)
下記に描かれている人物の中で、仕事の同僚としてはどちらが好きか。
仕事の能力はそれほどないが、性格がやさしいし、場合によって力になってくれる S さん 1
他人の心配や悩みに無関心だが仕事ができる T さん 2
わからない 9

問 47. 下記の 2 つの人柄でどちらが好きか。
何らかの決定をする時に他人の合意を得るよりも自分の理念に徹することが一番重要だと思う人 1
何らかの決定をする時に

自分の理念に歡するよりも	
他人との協調を重んじる人	2
その他（具体的に言う）	3
わからない	9

問 48. （問 48 のカードを見せながら）
あなたが会社の社長になったとしよう。
会社でもう一人採用する事になり、多
くの応募者の中にあなたの親戚も一人
もいる。人事部長が言うには、候補者
を採用するに当たって試験の成績で 2
位になったその親戚を雇っても、1 位
になった人を雇っても、何も違いがな
い。あなたならこのケースをどうする
か。

1 位になった応募者を雇う	1
親戚を雇う	2
その他（具体的に言う）	3
わからない	9

問 49. （問 49 のカードを見せながら）
問 48 のケースでは 2 位になった人はあ
なたの親戚と仮定した。だがその人が
恩人の息子であればどうするか。

1 位になった応募者を雇う	1
恩人の息子を雇う	2
その他（具体的に言う）	3
わからない	9

問 50. （問 50 のカードを見せながら）
あなたが働いている会社には 2 タイプ
の上司がいるとしよう。このカードに
書かれている内でどちらが好きか。

会社の規則を順守し、非常識 な仕事は求めないが仕事以 外ではあなたのために何も 力を貸してくれない上司	1
会社の規則に反していても時 々色々な仕事を求めるが、 仕事以外でも面倒を見てく	

れる上司	2
その他（具体的に言う）	3
わからない	9

問 51. 一般に人間は他人に力を貸すか、それとも自分の利益だけ守って自分にしか関心を持たないと思うか。

他人を助けようとする	1
自分にしか関心がない	2
その他（具体的に言う）	3
わからない	9

問 52. 一般に人間は機会さえあればあなたにつけこむと思うか、それとも正直に振る舞うと思うか。

つけこむと思う	1
正直に行動する	2
その他（具体的に言う）	3
わからない	9

問 53. 一般的にはほとんどの人々は信用してもよいか、それとも警戒した方がよいか。

信用してよい	1
警戒した方がよい	2
その他（具体的に言う）	3
わからない	9

5k ← WP:R
問 54. (問 50 のカードを見せながら)

これからある人たちが今日の世の中について言った事を読み上げる。どれだけ各々の発言に賛成か言ってください。

(1冊が「読む」) ← 読まなくていい

	と	や	あ	成	全	で	解
	て	や	ま	で	く	き	ら
	も	賛	賛	り	き	賛	ず
	成	成	賛	ず	成	い	
—ほとんどの人々は他人を助ける為にあらゆる事を試みる	1	2	3	4	9		
—私が住んでいる近所の人達は人間と人間のつながりが強い	1	2	3	4	9		
—今日では日毎の暮らし方をし、明日の事を心配すべきでない	1	2	3	4	9		
—お金の稼ぎ方はかせぐ金額よりも大事だ	1	2	3	4	9		
—今日では私のような人間はしばしば一人ぼっちで社会から締め出されている	1	2	3	4	9		

問 55. 科学の発明とその応用は、どれだけ日常生活を良くすると思うか。

かなり良くすると思う	1
少し良くすると思う	2
役に立たないと思う	3
わからない	9

問 56. 将来、情報化の普及で日常生活の諸側面に変貌をもたらすと思われるが、このような変化はあなたにとってどうであるか。

歓迎すべきこと	1
歓迎すべきでないが	
回避できないこと	2
不愉快で危険をはらむこと	3
わからない(読まないこと)	9

問 57. (問 57のカードを見せながら)

ここに書かれている諸文章についてどう思うか。各々についてカードに書き

れている回答を一つだけ選んでください
 (一項目につき一つの回答のみ)。

と成ま賛あ成全で解
 てあ成までくきら
 もま りき賛ずな
 賛 あ 賛ず成 い

現代医学では知られてい ない療法で一番よい治療 ができる病気がある	1	2	3	4	5
いずれ科学の進歩により 人間の頭脳の働きが完全 に解明されるだろう	1	2	3	4	5
今日我々が直面している 経済・社会諸問題ははず れ科学技術の進歩によっ て解決されるだろう	1	2	3	4	5

問58. 問58のカードを見せながら)

下記に記されている項目は、これから
の25年の間にどれだけ実現されるだ
ろうか。カードに書いてある回答のう
ち一つを選んでください(一項目につ
き一つの回答のみ)。

確	可率	確な	わ
率	能	率い	か
が	だ低	が	ら
高	がい	全	な
い	確	く	い

核廃棄物の安全

処理法	1	2	3	4
もっとも普及し ている癌の治療	1	2	3	4
老人痴呆の治療	1	2	3	4
宇宙基地での生活	1	2	3	4

問 59. 省エネの議論が活発だが、この問題についてあなたはどうか。

- とても重要な問題だ 1
- 重要な問題だ 2
- あまり重要な問題でない 3
- 全く重要な問題でない 4
- わからない(読まないこと) 9

問 60. 環境保護はあなたにとってどの程度の問題か。

- とても重要な問題だ 1
- 重要な問題だ 2
- あまり重要な問題でない 3
- 全く重要な問題でない 4
- わからない(読まないこと) 9

問 61. イタリア文化を考えると、何が頭に浮かんでくるか。思い出す事をすべて言ってください。
(うながす) それから?

問 61-1. (問 61-1のカードを見せながら)

A) このカードに記されている項目で子供にとって好ましいと思う3項目を指定してください。

B) この3つのうち、どれが一番好ましいか。

	一番好	一番好
	ましい	ましい
	三項目	一項目
行儀よくすること	2	1
努力すること	2	1
正直なこと	2	1
清潔で整理整頓していること	2	1
常識と識別力のあること	2	1
自制心のあること	2	1
男の子は男の子らしく女の子		

は女の子らしく振る舞うこと	2	1
ほかの子供と仲よくすること	2	1
両親の言うことをよく聞くこと	2	1
責任感があること	2	1
他の子供に対して気を配ること	2	1
色々な出来事の原因などに		
興味を抱くこと	2	1
まじめに勉強していること	2	1
わからない	9	9

問 61-2. (問 61-2のカードを見せながら)

多くの人は人生の意味は何かと問いかけている。このカードに複数の意見が記されている。カードのスケールに基づいて各々の意見についてどれがあなたの考え方に一番近いか。

A) 自分の人生に自分が意味を見いださない

限り、意味はあまりない。

- | | |
|-------------|---|
| 1) 完全に同意できる | 1 |
| 2) かなり同意できる | 2 |

- | | |
|-----------------|---|
| 3) はっきりとした意見がない | 3 |
| 4) あまり同意できない | 4 |
| 5) 全然同意できない | 5 |
| 6) 考えたことがない | 6 |
| 9) わからない | 9 |

B) 私にとって人生には意味がない。

- | | |
|-----------------|---|
| 1) 完全に同意できる | 1 |
| 2) かなり同意できる | 2 |
| 3) はっきりとした意見がない | 3 |
| 4) あまり同意できない | 4 |
| 5) 全然同意できない | 5 |
| 6) 考えたことがない | 6 |
| 9) わからない | 9 |

C) 人生にははっきりとした意味があり、

ある一定の原則に基づいているはずだ。

- | | |
|-----------------|---|
| 1) 完全に同意できる | 1 |
| 2) かなり同意できる | 2 |
| 3) はっきりとした意見がない | 3 |
| 4) あまり同意できない | 4 |
| 5) 全然同意できない | 5 |

6) 考えたことがない 6

9) わからない 9

問 61-3. イタリアの他の人々と比べ、あなたは世の中から当然受けるべき利益や取扱いを受けているか、あるいは本来受けるべきよりも多く、もしくは少なく受けていますか。

はい いいえ

適正 1 0

適正より多く

もらっている 1 0

適正よりやや少ない 1 0

適正よりうんと少ない 1 0

わからない 9 9

問 61-4. (問 61-4のカードを見せながら)

あなたと異なる意見、宗教、価値観、主義を持つ人と一緒にいることは、あなたにとってどういうことか。

大変不愉快 1

かなり不愉快 2

あまり不愉快でない 3

不愉快でない 4

わからない 9

問 61-5. (問 61-5のカードを見せながら)

このカードに色々な人のタイプが記されている。近所の隣人としてはどのタイプが好ましくないと思うか(複数の回答も可能)。

思う 思わない

前科のある人 1 0

異人種の人 1 0

学生 1 0

左翼の過激派 1 0

未婚の母親 1 0

酒飲み 1 0

右翼の過激派 1 0

大家族	1	0
情緒不安の人	1	0
新興宗教のメンバー達	1	0
外国人労働者		
その他の移民	1	0
これと異なる		
タイプの人	1	0

わからない 9

問 61-7. 近い将来、下に書かれているような変化があなたの生活に起こるかも知れない。あなたにとってこれはよいか悪いか、それともどちらとも言えないようなことか。

問 61-6. ご意見を聞かせてください。AさんとBさんは同じ年齢で同じ仕事をしている。Aさんは毎月10万リラづつ多くもらっている。それを知ったBさんは、上司に文句を言ったが、上司が言うにはAさんはもっと仕事が早く、もっと能力があり、もっと頼りになるからそれでいいと答えた。あなたにとってこれは正しいことか。

正しい	1
正しくない	2

	良い	悪い	どちらでもない
お金や物質的裕福に感 心が薄くなる	1	2	3
自分にとっては仕事の 重要性が少なくなる	1	2	3
技術の進歩にもっと感 心を持つ	1	2	3
個人の道徳にもっと感 心を持つ	1	2	3
権威に対する尊敬をも っと強く感じる	1	2	3

家庭生活にもっと重要 1 2 3
 性を感じる
 よりシンプルで自然な 1 2 3
 生き方をする

ユダヤ教 3
 回教 4
 その他（具体的に言う） 5
 わからない 9

では宗教に移ろう。

問 62-A. あなたは自分が宗教に属していると思
 うか。
 思う 1
 思わない 2
 わからない 9

問 62-B. そう思うならどの宗教に属している
 か。
 カトリック教 1
 プロテスタント教 2
 （バプティスト派、メソヂ
 スト派、ルーテル派を含む）

問 63. どの宗教に属するかは別にして、信仰
 することは重要だと思うか。

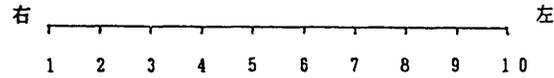
そう思う 1
 そう思わない 2
 その他（具体的に言う） 3
 わからない 9

問 64. 一部の人は、世界には様々な宗教があ
 るが、信仰が違ってもほとんどの教え
 は同様のものであると思っている。あ
 なたはこれに賛成か。

賛成 1
 賛成でない 2
 その他（具体的に言う） 3
 わからない 9

問 65. (問 65 のカードを見せながら)

政治の話ではよく右と左という言葉を使う。あなたは下のスケールのどの位置に自分を置くか。



答えない 1
わからない 9

問 66. 政治にどれだけ興味をもっているか (読むこと)。

大いに興味がある 1
かなり興味がある 2
あまり興味がない 3
全然興味がない 4
わからない 9

問 67. 下に記されている政治的主義に対するあなたの意見を述べてください。

	賛成	場合に	不賛成	わかれ
民主主義	1	2	3	4
資本主義	1	2	3	4
社会主義	1	2	3	4
自由主義	1	2	3	4

問 68. 一般的にイタリアの民主主義についてどう思うか (読むこと)。

大変満足 1
やや満足 2
あまり満足していない 3
全く満足していない 4
わからない (読まないこと) 9

問 69. あなたの知識では、イタリアの司法制度はうまく働いていると思うか（読むこと）。

- | | |
|--------------|---|
| 大変うまく働いている | 1 |
| かなりうまく働いている | 2 |
| かなり悪く働いている | 3 |
| ちっとも良く働いていない | 4 |
| わからない | 9 |

問 70. （問 70 のカードを見せながら）このカードに労使関係に関する定義が書いてある。どちらがあなたの意見により近いか。

経営側と労働者側の利害関係は相反しているので労使関係に対立が生じるのは当たり前
1
経営者と労働者の利害は結果的に一致している。なぜなら会社が儲かればもっと高い給料だ出せるからだ。だから双

方が協力すべきだ。 2
わからない 9

問 71. （問 71 のカードを見せながら）

このカードには我々が生きている社会に対する 3 つの意見が記されている。この中であなたの意見に一番近い定義を選んでください（答は一つのみ）。

革命によって我々の社会の仕組みを抜本的に変えるべきだ。 1

我々の社会は徐々に革新的な方法で改善すべきだ。 2

我々は社会を勇気を持ってあらゆる過激勢力から守るべきだ。 3

わからない 9

問 72A. イタリア社会には抜本的な改革をもたらす必要があるか。

ある 1
ない 2
わからない 9

問 72B. あなたの希望では、社会を変える為には段階的な改革がよいか、それとも急進的な変革がよいのか。

段階的な改革 1
急進的な変革 2
わからない 9

問 73. あなたはどの政党を支持するか。

キリスト教民主党 (DC) 0 1 同
左翼民主党 (PDS) 0 2 同
共産主義再生党 0 3 同
社会党 (PSI) 0 4 同
イタリア社会運動 (MSI-DA) 0 5 同
共和党 (PRI) 0 6 同

民社党 (PSDI) 0 7 同
グリーン諸党 ← 党名少し変える 0 8
急進党 (PR) 0 9 X (選外)
自由党 (PLI) 1 0 同
プロレタリアート民主党 (DP) 1 1 X (選外)
南チロル国民党 (SUP) 1 2 同
独立左翼党 1 3 X (選外)
ロンバルディア同盟 1 4 同
サルディニア行動党 1 5 X (選外)
その他 1 6
どの政党も支持しない 1 7
答を差し控える 1 8
わからない 9 9

直前のE.B.と合わせろ

問 74. あなたはこの政党を強く支持するか、それともややの支持か。また、全く支持しないか。

強く支持する 1
やや支持する 2
あまり支持しない 3

問 75A. (問 75A のカードを見せながら)

このカードに温度計があるが、これは0度から100度まで行く。これを使って、各政党に対する支持度をしるしてください。なお、50度というのは中間的な考え方を示す。支持する場合50度から上の方へ行く。不支持の政党に対しては50度以下の温度にする。最初はキリスト民主党から始めましょう(すべての政党名を読むこと)。

温度

キリスト教民主党

左翼民主党

共産主義再生党

社会党

イタリア社会運動

ロンバルディア同盟

その他

誓約

このインタビューは私自身の支持、及びA I S Mメンバー機関とインタビュアーの協力関係を定める諸規制に従って行われたものである。

私は仕事の依頼書に添付されている同上の諸規則の内容を全て心得ている。

特に第1341条項及び第1342条項に関して、ここに含まれている第8、第9及び第11条の内容に同意する。

インタビュー実施日 インタビュアーの署名

5) イタリア調査票第二版の日本語再翻訳と本来の日本語調査票との比較によりイタリア調査票第三版作成

RM 1345

Codice paese | 8 |
 Ricerca n. | 1 | 3 | 4 | 5 |
 N. questionario | | | | |
 Scheda | |

DOM. 1 RISPETTO A DIECI ANNI FA, LEI RITIENE CHE COMPLESSIVAMENTE IL TENORE DI VITA DEGLI ITALIANI SIA..... (Leggere)

- . Decisamente migliorato 1
- . Leggermente migliorato 2
- . Più o meno lo stesso 3
- . Leggermente peggiorato 4
- . Decisamente peggiorato 5
- . Non so (non leggere) 9

DOM. 2 IN CONFRONTO A DIECI ANNI FA IL SUO TENORE DI VITA E'..... (Leggere)

- . Decisamente migliorato 1
- . Leggermente migliorato 2
- . Più o meno lo stesso 3
- . Leggermente peggiorato 4
- . Decisamente peggiorato 5
- . Non so (non leggere) 9

DOM. 3 NEI PROSSIMI CINQUE ANNI LEI PENSA CHE IL SUO TENORE DI VITA SARA'..... (Leggere)

- . Decisamente migliore 1
- . Leggermente migliore 2
- . Più o meno lo stesso 3
- . Leggermente peggiore 4
- . Decisamente peggiore 5
- . Non so (non leggere) 9

DOM. 4 IN GENERALE LEI PENSA CHE LA GENTE SARA' PIU' FELICE O MENO FELICE DI QUANTO LO SIA ATTUALMENTE?

- . Più felice 1
- . Meno felice 2
- . Più o meno come adesso 3
- . Altro (specificare) _____ 8
- . Non so 9

DOM. 5 PENSANDO ALLA LORO SERENITA', LEI PENSA CHE AUMENTERA' O DIMINUIRA'?

- . Aumenterà 1
- . Diminuirà 2
- . Rimarrà invariata 3
- . Altro (specificare) _____ 8
- . Non so 9

DOM. 6 E PENSANDO ALLA LIBERTA' DELL'INDIVIDUO, LEI PENSA CHE AUMENTERA' O DIMINUIRA'?

- . Aumenterà 1
- . Diminuirà 2
- . Non cambierà 3
- . Altro (specificare) _____ 8
- . Non so 9

DOM. 7 LEI PENSA CHE IN FUTURO LO STATO DI SALUTE DELLE PERSONE MIGLIORERA' O PEGGIORERA'?

- | | |
|-----------------------------|---|
| . Migliorerà | 1 |
| . Peggiorerà | 2 |
| . Non cambierà | 3 |
| . Altro (specificare) _____ | 8 |
| . Non so | 9 |

DOM. 8 (Mostrare cartellino dom. 8)

SI DISCUTE MOLTO IN QUESTI GIORNI SU QUALI OBIETTIVI DOVREBBE CERCARE DI RAGGIUNGERE IL NOSTRO PAESE NEI PROSSIMI 10 O 15 ANNI. SU QUESTO CARTELLINO SONO ELENCATI DEGLI OBIETTIVI A CUI, SECONDO VARIE PERSONE, DOVREBBE ESSERE DATA LA PRIORITA' ASSOLUTA. MI PUO' DIRE QUAL E' CHE LEI GIUDICA IL PIU' IMPORTANTE? (Una sola risposta per colonna) E QUALE SCEGLIEREBBE PER SECONDO?

	OBIETTIVI PIU' IMPORTANTI	
	1° posto	2° posto
. Mantenimento dell'ordine nel paese	1	1
. Aumentare la partecipazione dei cittadini nelle decisioni di governo	2	2
. Combattere l'aumento dei prezzi	3	3
. Garantire la libertà di parola	4	4
. Non so	9	9

DOM. 9 (Mostrare cartellino dom. 9)

AIUTANDOSI CON QUESTO CARTELLINO MI DICA FINO A CHE PUNTO SI PREOCCUPA PER SE STESSO E PER LA SUA FAMIGLIA IN MERITO A QUANTO SEGUE: (Leggere una voce alla volta)

	Molto	Abbastanza	Poco	Per niente	Non so
. Una grave malattia	1	2	3	4	9
. Un incidente d'auto	1	2	3	4	9
. La disoccupazione	1	2	3	4	9
. La guerra	1	2	3	4	9
. Incidenti nelle centrali nucleari	1	2	3	4	9

DOM. 10 MANCA

DOM. 11 RISPETTO ALLA MEDIA DELLE PERSONE, LEI DIREBBE DI ESSERE IN GENERE PIU' O MENO DISPOSTO A RISPETTARE LA MEMORIA DEI SUOI ANTENATI ?

- | | |
|-----------------------------|---|
| . Più della media | 1 |
| . Meno della media | 2 |
| . Nella media | 3 |
| . Altro (specificare) _____ | 8 |
| . Non so | 9 |

DOM. 12 NELL'IMPOSSIBILITA' DI AVERE FIGLI, RITIENE SIA GIUSTO FAR RICORSO ALL'ADOZIONE, ANCHE IN ASSENZA DI LEGAMI DI SANGUE, AL FINE DI GARANTIRE LA CONTINUITA' DELLA LINEA DI DISCENDENZA FAMILIARE, O AL CONTRARIO RITIENE SIA MEGLIO INTERROMPERE LA DISCENDENZA?

- | | |
|--------------------------------------|---|
| . Giusto ricorrere all'adozione | 1 |
| . Meglio interrompere la discendenza | 2 |
| . Dipende dalle circostanze | 3 |
| . Altro (specificare) _____ | 8 |
| . Non so | 9 |

DOM. 13 SECONDO LEI QUAL'E' IL NUMERO IDEALE DI FIGLI IN UNA FAMIGLIA? (Non leggere)

- | | |
|----------------------------------|---|
| . Uno | 1 |
| . Due | 2 |
| . Tre | 3 |
| . Quattro | 4 |
| . Cinque | 5 |
| . Più di cinque | 6 |
| . Nessuno | 7 |
| . Dipende, non c'è numero ideale | 8 |
| . Non so | 9 |

DOM. 14 DURANTE LE ULTIME QUATTRO SETTIMANE HA SOFFERTO DI..... ? (Leggere uno alla volta)

	<u>Si</u>	<u>No</u>	<u>Non so</u>
. Mal di testa/emicrania	1	2	9
. Mal di schiena	1	2	9
. Nervosismi	1	2	9
. Stato depressivo	1	2	9
. Insonnia	1	2	9

DOM. 15 IN RAPPORTO ALLA SUA ETA', QUANTO E' SODDISFATTO/A DEL SUO STATO DI SALUTE? LEI DIREBBE DI ESSERE (leggere)

. Molto soddisfatto/a	1
. Abbastanza soddisfatto/a	2
. Abbastanza insoddisfatto/a	3
. Molto insoddisfatto/a	4
. Non so	9 (non leggere)

DOM. 16 (Mostrare cartellino dom. 16)

TUTTO CONSIDERATO COME DEFINIREBBE IL SUO ATTUALE TENORE DI VITA? RISPONDA CON L'AIUTO DELLA PRESENTE SCALA DOVE 1 SIGNIFICA IL LIVELLO PIU' ALTO E 5 QUELLO PIU' BASSO.

. Alto	1
. Medio-alto	2
. Medio	3
. Medio basso	4
. Basso	5
. Non so	9

DOM. 17 SE DOVESSE SCEGLIERE, COSA PREFERIREBBE TRA (leggere, una sola risposta)

. Avere più denaro	1
. Avere più tempo libero a disposizione	2
. Non so (non leggere)	9

DOM. 18 SE AVESSE DENARO SUFFICIENTE PER VIVERE IL RESTO DELLA VITA QUANTO PIU' COMODAMENTE LE PIACE, CONTINUEREBBE A LAVORARE O SMETTEREBBE?

. Continuerei a lavorare	1
. Smetterei di lavorare	2
. Altro (specificare) _____	8
. Non so	9

DOM. 19 (Mostrare cartellino dom. 19)

QUALE TRA LE DUE AFFERMAZIONI PRESENTI SUL CARTELLINO SI AVVICINA MAGGIORMENTE ALLA SUA OPINIONE?

. Indipendentemente da quanto denaro uno abbia, la vita senza lavoro è senza senso	1
. Finchè ci sono i soldi, la vita ha un senso anche senza un lavoro	2
. Non so	9

DOM. 20 (Mostrare cartellino dom. 20)
 SU QUESTO CARTELLINO SONO ELENCALE ALCUNE COSE CHE LA GENTE PRENDE IN CONSIDERAZIONE IN RELAZIONE AL PROPRIO LAVORO. LEI PERSONALMENTE QUALE PORREBBE AL PRIMO POSTO? (Una sola risposta)

- . Un buono stipendio per non avere preoccupazioni monetarie 1
- . Un lavoro sicuro senza rischio di cessazione di attività o di disoccupazione 2
- . Lavorare con persone che le piacciono 3
- . Fare un lavoro importante che le dia un senso di appagamento 4
- . Altro (specificare) _____ 8
- . Non so 9

DOM. 21 NELL'ORGANIZZAZIONE DELLA SUA SETTIMANA, ACCADE TALVOLTA CHE IL LAVORO INTRALCI LA SUA VITA PRIVATA O FAMILIARE?

- . Sì 1
- . No 2
- . Non lavora 3
- . Non so 9

DOM. 22 (Mostrare cartellino dom. 22)
 CI SONO DIVERSI ATTEGGIAMENTI NEI CONFRONTI DELLA VITA. QUALE DELLE SEGUENTI AFFERMAZIONI SI AVVICINA MAGGIORMENTE AL SUO MODO DI VIVERE? (Solo una risposta)

- . Lavorare sodo e diventare ricco 1
- . Studiare seriamente e farsi un nome 2
- . Non pensare nè ai soldi nè al successo, ma vivere secondo i propri gusti 3
- . Vivere alla giornata allegramente e senza pensieri 4
- . Resistere a tutte le insidie del mondo e condurre una vita pura e giusta 5
- . Mai pensare a sè stesso, consacrarsi interamente al bene della società 6
- . Altro (specificare) _____ 8
- . Non so 9

DOM. 23 COSA NE PENSA DELLA QUALITA' DELLA VITA NELLA ZONA IN CUI RISIEDE? (Leggere) LEI SI DIREBBE.....

- . Molto soddisfatto/a 1
- . Abbastanza soddisfatto/a 2
- . Abbastanza insoddisfatto/a 3
- . Molto insoddisfatto/a 4
- . Non so (non leggere) 9

DOM. 24A (Mostrare cartellino dom. 24)
 AIUTANDOSI CON QUESTO CARTELLINO, MI PUO' DIRE FINO A CHE PUNTO RAPPRESENTANO UN PROBLEMA DI SICUREZZA NEL SUO QUARTIERE I SEGUENTI PUNTI: INIZIAMO CON I FURTI. QUANTO E' SERIO QUESTO PROBLEMA?

DOM. 24B (Lasciare il cartellino dom. 24)
 E LA SICUREZZA PERSONALE, COME AD ESEMPIO LE AGGRESSIONI? QUANTO E' SERIO QUESTO PROBLEMA NEL SUO QUARTIERE?

	Un problema serio	Un problema	Non è un problema serio	Non è affatto un problema	Non so
24A Furti	1	2	3	4	9
24B Sicurezza personale/ aggressioni	1	2	3	4	9

DOM. 25 (Mostrare cartellino dom. 25)

LEI CONOSCE LA FAVOLA DELLA CICALA E LA FORMICA? LA CICALA, DOPO AVER CANTATO TUTTA L'ESTATE, ALL'ARRIVO DELL'INVERNO NON AVEVA NIENTE DA MANGIARE, ALLORA VA A CHIEDERE AIUTO ALLA FORMICA CHE AVEVA LAVORATO TUTTA L'ESTATE. LA FORMICA AVREBBE POTUTO DARE UNA DELLE DUE RISPOSTE CHE LEGGE SUL PRESENTE CARTELLINO. QUALE DELLE DUE RISPOSTE SCEGLIEREBBE COME CONCLUSIONE DELLA STORIA?

- . La formica manda via la cicala dicendo che ha avuto ciò che si merita 1
- . La formica prima fa la morale alla cicala dicendo "sei in torto perchè sei stata pigra, dovresti lavorare di piu' " e poi spartisce con lei il cibo 2
- . Altro (specificare) _____ 8
- . Non so 9

DOM. 26A QUAL'E' PER LEI LA COSA PIU' IMPORTANTE NELLA VITA? ME NE DICA SOLAMENTE UNA.

- . Non so 9

DOM. 26B QUALI ALTRE COSE SONO MOLTO IMPORTANTI PER LEI? NE PUO' MENZIONARE QUANTE DESIDERA. Sollecitare: E ALTRO?

- . Non so 9

DOM. 27 (Mostrare cartellino dom. 27)

USANDO LA SCALA SUL CARTELLINO MI PUO' DIRE QUANTO E' IMPORTANTE SECONDO LEI OGNI SINGOLA VOCE? (Leggere una voce alla volta)

	Per niente importante					Molto importante		Non so
. La sua famiglia o figli se ne ha	1	2	3	4	5	6	7	9
. La carriera ed il lavoro	1	2	3	4	5	6	7	9
. Il tempo libero e gli svaghi	1	2	3	4	5	6	7	9
. Amici e conoscenti	1	2	3	4	5	6	7	9
. Genitori, fratelli, sorelle ed altri parenti	1	2	3	4	5	6	7	9
. La religione e la chiesa	1	2	3	4	5	6	7	9
. La politica	1	2	3	4	5	6	7	9

DOM. 28 (Mostrare cartellino dom. 28)

TUTTO CONSIDERATO, QUANTO E' SODDISFATTO/A DELLA SUA VITA FAMILIARE - CIOE' IL TEMPO CHE TRASCORRE E LE COSE CHE FA CON LE PERSONE DELLA SUA FAMIGLIA? MI RISPONDA AIUTANDOSI CON QUESTO CARTELLINO.

- . Molto soddisfatto/a 1
- . Abbastanza soddisfatto/a 2
- . Nè soddisfatto nè insoddisfatto/a 3
- . Abbastanza insoddisfatto/a 4
- . Molto insoddisfatto/a 5
- . Non so 9

- DOM. 29 (Lasciare cartellino dom. 28)**
 ORA LE VORREI CHIEDERE QUALCOSA SULLA SUA VITA IN GENERALE. QUANTO E' SODDISFATTO/A DELLA SUA VITA IN QUESTO PERIODO? MI RISPONDA UTILIZZANDO LO STESSO CARTELLINO.
- | | |
|-------------------------------------|---|
| . Molto soddisfatto/a | 1 |
| . Abbastanza soddisfatto/a | 2 |
| . Nè soddisfatto nè insoddisfatto/a | 3 |
| . Abbastanza insoddisfatto/a | 4 |
| . Molto insoddisfatto/a | 5 |
| . Non so | 9 |
- DOM. 30** SE PENSA ALLE PERSONE DI SUCCESSO NELLA SOCIETA' ODIERNA, CHE COSA SECONDO LEI HA GIOCATO IL RUOLO PIU' IMPORTANTE PER LA LORO RIUSCITA? LA LORO ABILITA' E I LORO SFORZI OPPURE LA FORTUNA E IL CASO?
- | | |
|-----------------------------|---|
| . L'abilità e gli sforzi | 1 |
| . La fortuna ed il caso | 2 |
| . Altro (specificare) _____ | 8 |
| . Non so | 9 |
- DOM. 31 (Mostrare cartellino dom. 31)**
 QUALE TRA LE OPINIONI ELENCAE SUL PRESENTE CARTELLINO S'AVVICINA MAGGIORMENTE ALLA SUA OPINIONE IN MERITO ALLA SEGUENTE AFFERMAZIONE? "QUANDO LO STATO AIUTA LE FAMIGLIE IL CUI REDDITO E' INSUFFICIENTE...."
- | | |
|--|---|
| . Dà loro la possibilità di vivere | 1 |
| . Toglie loro il senso di responsabilità | 2 |
| . Altro (specificare) _____ | 8 |
| . Non so | 9 |
- DOM. 32** ALCUNI DICONO CHE CON IL PROGREDIRE DELLA SCIENZA E DELLA TECNOLOGIA, LA VITA DIVENTA SEMPRE PIU' COMODA, MA ALLO STESSO TEMPO LA RENDE PIU' INUMANA. LEI E' D'ACCORDO O MENO?
- | | |
|--------------------------------|---|
| . Sono d'accordo | 1 |
| . Non sono d'accordo | 2 |
| . Indeciso/dipende (spontaneo) | 3 |
| . Altro (specificare) _____ | 8 |
| . Non so | 9 |
- DOM. 33** ALCUNI SONO DELL'AVVISO CHE SIN DALLA SCUOLA ELEMENTARE AI BAMBINI DEBBA ESSERE INSEGNATO CHE I SOLDI SONO UNA DELLE COSE PIU' IMPORTANTI DELLA VITA. LEI E' D'ACCORDO OPPURE NO?
- | | |
|--------------------------------|---|
| . Sono d'accordo | 1 |
| . Non sono d'accordo | 2 |
| . Indeciso/dipende (spontaneo) | 3 |
| . Altro (specificare) _____ | 8 |
| . Non so | 9 |
- DOM. 34** SECONDO ALCUNE PERSONE SE NOI AVESSIMO DEGLI ECCELLENTI CAPI POLITICI DOVREMMO, PER IL BENE DEL NOSTRO PAESE, AVERE PIENA FIDUCIA NEL LORO OPERATO ANZICHE' CONTINUARE A DISCUTERE DI POLITICA TRA DI NOI. LEI E' D'ACCORDO OPPURE NO?
- | | |
|--------------------------------|---|
| . Sono d'accordo | 1 |
| . Non sono d'accordo | 2 |
| . Indeciso/dipende (spontaneo) | 3 |
| . Altro (specificare) _____ | 8 |
| . Non so | 9 |

- DOM. 35 SE LEI E' CONVINTO CHE UNA DETERMINATA COSA SIA GIUSTA, PENSA CHE NON BISOGNEREBBE AVERE ESITAZIONI E FARLA ANCHE SE CIO' E' CONTRARIO ALLE NORMALI CONSUETUDINI, OPPURE PENSA CHE SIA MEGLIO CONFORMARSI ALLE CONSUETUDINI PER NON CORRERE IL RISCHIO DI SBAGLIARE?
- . Agire di conseguenza anche se contrariamente alle normali consuetudini 1
 - . Conformarsi alle consuetudini 2
 - . Sono indeciso/dipende dal caso (spontaneo) 3
 - . Altro (specificare) _____ 8
 - . Non so 9
- DOM. 36 ALCUNI DICONO CHE, INDIPENDENTEMENTE DA QUANTO IL MONDO POSSA MECCANIZZARSI, NULLA POTRA' DIMINUIRE LA RICCHEZZA DELL'ANIMO UMANO. LEI E' D'ACCORDO O MENO CON QUESTA OPINIONE?
- . Sono d'accordo 1
 - . Non sono d'accordo 2
 - . Sono indeciso/dipende (spontaneo) 3
 - . Altro (specificare) _____ 8
 - . Non so 9
- DOM. 37 LEI E' D'ACCORDO SULLA SEGUENTE FRASE" CASA MIA E' L'UNICO POSTO DOVE POSSO RILASSARMI E SENTIRMI BENE"?
- . Si 1
 - . No 2
 - . Altro (specificare) _____ 8
 - . Non so 9
- DOM. 38 (Mostrare cartellino dom. 38)
QUALE TRA LE AFFERMAZIONI PRESENTI SUL CARTELLINO S'AVVICINA MAGGIORMENTE ALLA SUA OPINIONE SUL MATRIMONIO?
- . Il matrimonio è indissolubile 1
 - . Il matrimonio può essere sciolto solo in casi molto gravi 2
 - . Il matrimonio può essere sciolto semplicemente con il reciproco accordo dei coniugi 3
 - . Non so 9
- DOM. 39 (Mostrare cartellino dom. 39)
QUALE DELLE SEGUENTI AFFERMAZIONI RISPECCHIA MAGGIORMENTE LA SUA OPINIONE SUI LAVORI DOMESTICI E LA CURA DEI BAMBINI?
- . Sono mansioni delle donne 1
 - . Alcune mansioni sono piu' adatte alla donna 2
 - . Tutte le mansioni dovrebbero essere indifferentemente divise tra l'uomo e la donna 3
 - . Non so 9
- DOM. 40 SUPPONIAMO CHE UN BAMBINO DI CIRCA DIECI ANNI RITORNI DALLA SCUOLA E RACCONTI AI GENITORI CHE HA SENTITO DIRE CHE IL SUO MAESTRO HA FATTO QUALCOSA DI BRUTTO, ED I GENITORI SANNO CHE CIO' E' VERO. SECONDO LEI E' MEGLIO CHE I GENITORI DICANO LA VERITA' AL BAMBINO OPPURE CHE NON LA DICANO?
- . Dicano la verità 1
 - . Non la dicano 2
 - . Altro (specificare) _____ 8
 - . Non so 9

DOM. 41 (Mostrare cartellino dom. 41)
 IMMAGINIAMO LA SEGUENTE SITUAZIONE. IL SIG. A E' RIMASTO ORFANO IN TENERA ETA' ED E' STATO ALLEVATO DAL SIG. B, UN BUON VICINO, CHE GLI HA DATO UNA BUONA EDUCAZIONE E GLI HA DATO LA POSSIBILITA' DI SEGUIRE GLI STUDI UNIVERSITARI. ADESSO, IL SIG. A E' DIVENTATO IL PRESIDENTE DI UNA SOCIETA'. UN GIORNO RICEVE UN TELEGRAMMA CHE IL SIG. B CHE L'HA ALLEVATO E' GRAVEMENTE AMMALATO E GLI CHIEDE DI ANDARE IMMEDIATAMENTE DA LUI. QUESTO TELEGRAMMA GIUNGE MENTRE IL SIG. A STA PARTENDO PER ANDARE AD UNA IMPORTANTISSIMA RIUNIONE DURANTE LA QUALE SI DECIDERA' SE LA SOCIETA' ANDRA' FALLITA OPPURE SI SALVERA'. SECONDO LEI COSA DOVREBBE FARE IL SIG. A? (Se l'intervistato risponde "Rimandare la riunione" chiedere: E nel caso la riunione non possa essere rimandata?)

- . Lasciare tutto ed andare subito dal Sig. B 1
- . Per quanto possa essere preoccupato, dovrebbe andare alla riunione 2
- . Altro (specificare) _____ 8
- . Non so 9

DOM. 42 (Mostrare cartellino dom. 42)
 NELLA PRECEDENTE DOMANDA SI PRESUPPONEVA CHE IL SIG. B AVESSE ADOTTATO IL SIG. A. SUPPONIAMO INVECE CHE FOSSE IL VERO PADRE DEL SIG. A E CHE FOSSE GRAVEMENTE AMMALATO. IN QUESTO CASO LEI COSA AVREBBE RISPOSTO? (Se l'intervistato risponde "Rimandare la riunione" chiedere: E nel caso la riunione non possa essere rimandata?)

- . Lasciare tutto e andare subito da suo padre 1
- . Per quanto possa essere preoccupato per suo padre, dovrebbe andare alla riunione 2
- . Altro (specificare) _____ 8
- . Non so 9

DOM. 43 (Mostrare cartellino dom. 43)
 QUI DI SEGUITO CI SONO TRE OPINIONI SUI RAPPORTI TRA L'UOMO E LA NATURA. QUALE PENSA SI AVVICINI MAGGIORMENTE ALLA VERITA'?

- . Per essere felice, l'uomo deve conformarsi alla natura 1
- . Per essere felice, l'uomo deve servirsi della natura 2
- . Per essere felice, l'uomo deve dominare la natura 3
- . Altro (specificare) _____ 8
- . Non so 9

DOM. 44 (Mostrare cartellino dom. 44)
 TRA LE SEGUENTI AFFERMAZIONI SCELGA QUELLA CON LA QUALE E' MAGGIORMENTE D'ACCORDO.

- . Un paese potrà progredire soltanto se si rendono felici gli individui 1
- . Soltanto se il paese progredisce gli individui potranno essere felici 2
- . Far progredire il paese e rendere felici gli individui è in sostanza la stessa cosa 3
- . Altro (specificare) _____ 8
- . Non so 9

DOM. 45 (Mostrare cartellino dom. 45)
 SE LE VENISSE CHIESTO DI SCEGLIERE LE DUE COSE PIU' IMPORTANTI TRA QUELLE INDICATE SUL CARTELLINO, QUALI SCEGLIEREBBE?

- | | <u>Si</u> | <u>No</u> |
|---|-----------|-----------|
| . Affetto e rispetto per i genitori | 1 | 2 |
| . Sdebitarsi con coloro che l'hanno aiutata nel passato | 1 | 2 |
| . Rispettare i diritti dell'individuo | 1 | 2 |
| . Rispettare la libertà dell'individuo | 1 | 2 |
| . Altro (specificare) _____ | | |
| _____ | 1 | 2 |
| . Non so | 9 | 9 |

- DOM. 46 (Mostrare cartellino dom. 46)**
TRA I DUE SEGUENTI TIPI DI PERSONA QUALE PREFERISCE?
- . Il Sig. S. che è una persona affabile e sul cui aiuto si può contare in caso di bisogno ma che non è efficiente sul lavoro 1
 - . Il Sig. T. che è un lavoratore efficiente ma che non si interessa dei problemi e degli affari degli altri 2
 - . Non so 9
- DOM. 47 (Mostrare cartellino dom. 47)**
E TRA I DUE SEGUENTI TIPI DI PERSONA QUALE PREFERISCE?
- . Una persona per la quale, al momento di prendere una decisione, la cosa più importante è tener fede ai propri principi 1
 - . Una persona per la quale, al momento di prendere una decisione, la cosa più importante è mantenere l'armonia nei propri rapporti con gli altri 2
 - . Altro (specificare) _____ 8
 - . Non so 9
- DOM. 48 (Mostrare cartellino dom. 48)**
SUPPONIAMO CHE LEI SIA IL PRESIDENTE DI UNA SOCIETA'. LA SOCIETA' DECIDE DI ASSUMERE UNA PERSONA ED EFFETTUA UNA SELEZIONE PER L'ASSUNZIONE. TRA I CANDIDATI C'E' UN SUO PARENTE. LA PERSONA INCARICATA DELLA SELEZIONE VIENE DA LEI E LE DICE: "IL SUO PARENTE CHE HA PRESO PARTE ALLA SELEZIONE E' RISULTATO SECONDO IN GRADUATORIA E PER NOI SIA COLUI CHE HA OTTENUTO IL PRIMO POSTO CHE IL SUO PARENTE ANDREBBERO BENE. COSA DOBBIAMO FARE?" QUALE PERSONA ASSUMEREBBE IN UN CASO DEL GENERE?
- . La persona che è risultata prima in graduatoria 1
 - . Il suo parente 2
 - . Altro (specificare) _____ 8
 - . Non so 9
- DOM. 49 (Mostrare cartellino dom. 49)**
NELLA PRECEDENTE DOMANDA ABBIAMO PRESUPPOSTO CHE COLUI CHE HA OTTENUTO IL SECONDO POSTO IN GRADUATORIA SIA UN SUO PARENTE. SUPPONIAMO INVECE CHE COLUI CHE E' RISULTATO AL SECONDO POSTO SIA IL FIGLIO DI PERSONE VERSO LE QUALI LEI HA UN DEBITO DI RICONOSCENZA. QUALE PERSONA IN QUESTO CASO SCEGLIEREBBE?
- . La persona che è risultata prima in graduatoria 1
 - . Il figlio delle persone a cui deve riconoscenza 2
 - . Altro (specificare) _____ 8
 - . Non so 9
- DOM. 50 (Mostrare cartellino dom. 50)**
SUPPONIAMO CHE LEI LAVORI IN UNA DITTA DOVE CI SONO DUE TIPI DI CAPI-SERVIZIO. AIUTANDOSI CON QUESTO CARTELLINO, MI PUO' DIRE SOTTO QUALE CAPO SERVIZIO PREFERIREBBE LAVORARE?
- . Un uomo che si attiene sempre al regolamento e non le chiede mai dei lavori assurdi ma che d'altro canto non farebbe nulla per lei personalmente al di fuori del campo lavorativo 1
 - . Una persona che delle volte richiede del lavoro supplementare malgrado le norme lo vietino ma che si occupa di lei personalmente anche al di fuori del campo lavorativo 2
 - . Altro (specificare) _____ 8
 - . Non so 9

DOM. 51 LEI DIREBBE CHE NELLA MAGGIORANZA DEI CASI LA GENTE CERCA D' ESSERE D'AIUTO O CHE SI PREOCCUPA SOPRATTUTTO DI SE' STESSA E DEI PROPRI INTERESSI?

- . Cerca di essere d'aiuto 1
- . Si preoccupa di se stessa 2
- . Altro (specificare) _____ 8
- . Non so 9

DOM. 52 LEI PENSA CHE LA MAGGIOR PARTE DELLA GENTE CERCHEREBBE DI APPROFITTARSI DI LEI SE NE AVESSE L'OCCASIONE O CERCHEREBBE DI ESSERE CORRETTA?

- . Cercherebbe di approfittarsi 1
- . Cercherebbe di essere corretta 2
- . Altro (specificare) _____ 8
- . Non so 9

DOM. 53 IN LINEA GENERALE, LEI DIREBBE CHE CI SI PUO' FIDARE DELLA MAGGIORANZA DELLE PERSONE OPPURE CHE NON SI PUO' MAI ESSERE TROPPO SICURI?

- . Ci si può fidare 1
- . Non si può mai essere troppo sicuri 2
- . Altro (specificare) _____ 8
- . Non so 9

(Mostrare cartellino dom. 54 con la scala d'accordo)

DOM. 54 LE LEGGERO' ALCUNE AFFERMAZIONI CHE ALTRE PERSONE HANNO ESPRESSO SULLA VITA DI OGGI. AIUTANDOSI CON QUESTO CARTELLINO MI PUO' DIRE QUANTO E' D'ACCORDO O MENO CON CIASCUNA AFFERMAZIONE? (Leggere un'affermazione alla volta)

	Molto d'accordo	Abbastanza d'accordo	Poco d'accordo	Per niente d'accordo	Non so
. La maggior parte delle persone fanno di tutto per essere d'aiuto agli altri	1	2	3	4	9
. Ho l'impressione di far parte di una comunità molto unita	1	2	3	4	9
. Oggigiorno bisogna vivere alla giornata senza preoccuparsi del domani	1	2	3	4	9
. Il modo in cui si guadagna da vivere è piu' importante di quanto si guadagna	1	2	3	4	9
. Oggigiorno le persone come me si sentono spesso sole e tagliate fuori dalla società	1	2	3	4	9

DOM. 55 IN CHE MISURA PENSA CHE LE SCOPERTE SCIENTIFICHE E LA LORO APPLICAZIONE POSSANO PORTARE AD UN MIGLIORAMENTO DELLA SUA VITA QUOTIDIANA?

- . Molto 1
- . Poco 2
- . Per niente 3
- . Non so (non leggere) 9

DOM. 56 NEGLI ANNI FUTURI, LA DIFFUSIONE DELL'INFORMATICA CONTINUERA' A MODIFICARE ALCUNI ASPETTI DELLE CONDIZIONI DI VITA. LEI CONSIDERA QUESTA EVOLUZIONE COME.....

- . Una cosa augurabile 1
- . Una cosa poco augurabile ma inevitabile 2
- . Una cosa spiacevole e pericolosa 3
- . Non so (non leggere) 9

DOM. 57 (Mostrare cartellino dom. 57)
 COSA PENSA DELLE SEGUENTI AFFERMAZIONI? PER CIASCUNA MI DIA UNA DELLE RISPOSTE INDICATA SUL PRESENTE CARTELLINO. (Una risposta per riga)

	Molto d'accordo	Abbastanza d'accordo	Poco d'accordo	Per niente d'accordo	Non so
. Ci sono delle malattie che vengono curate meglio con metodi che la medicina moderna non riconosce	1	2	3	4	9
. Un giorno la scienza permetterà di conoscere completamente il funzionamento della mente umana	1	2	3	4	9
. La maggior parte dei problemi sociali ed economici che affrontiamo oggi verranno risolti grazie al progresso della scienza e della tecnologia	1	2	3	4	9

DOM. 58 (Mostrare cartellino dom. 58)
 SECONDO LEI, QUANTO E' PROBABILE CHE LE SEGUENTI COSE DIVERRANNO O MENO UNA REALTA' NEI PROSSIMI 25 ANNI? PER CIASCUNA VOCE SCELGA UNA DELLE RISPOSTE ELENCAE SUL PRESENTE CARTELLINO.

(1 risposta per ogni voce)	Molto probabile	Possibile ma non troppo probabile	Per niente probabile	Non so
. Un metodo sicuro per smaltire i rifiuti delle centrali nucleari	1	2	3	9
. Una cura per le forme più comuni di cancro	1	2	3	9
. Una cura per la senilità	1	2	3	9
. La possibilità di vivere in una base spaziale	1	2	3	9

DOM. 59 SI SENTE MOLTO PARLARE DI RISPARMI ENERGETICI. LEI PENSA CHE SI TRATTA DI UN PROBLEMA.....

. Molto importante	1
. Importante	2
. Poco importante	3
. Per niente importante	4
. Non so (non leggere)	9

DOM. 60 LA TUTELA DELL'AMBIENTE COSTITUISCE PER LEI UN PROBLEMA.....

. Molto importante	1
. Importante	2
. Poco importante	3
. Per niente importante	4
. Non so (non leggere)	9

DOM. 61 QUAL'E' LA PRIMA COSA CHE LE VIENE IN MENTE QUANDO PENSA ALLA CULTURA ITALIANA? MI DICA TUTTO CIO' CHE LE VIENE IN MENTE. Sollecitare: QUALCOS'ALTRO?

DOM. 61-1 (Mostrare cartellino dom. 61-1)

A) SECONDO LEI TRA LE QUALITÀ ELENATE SUL PRESENTE CARTELLINO QUALI SONO LE ~~TRE~~ TRE PIÙ GRADEVOLI IN UN BAMBINO?

B) QUALE DI QUESTE TRE È LA PIÙ GRADEVOLE DI TUTTE?

	Tre più gradevoli	La più gradevole
. Che un bambino abbia buone maniere	2	1
. Che un bambino si sforzi per riuscire	2	1
. Che un bambino sia onesto	2	1
. Che un bambino sia ordinato e pulito	2	1
. Che un bambino abbia buon senso e sia giudizioso	2	1
. Che un bambino abbia auto-controllo	2	1
. Che un bambino si comporti come tale e che una bambina faccia altrettanto	2	1
. Che vada d'accordo con gli altri bambini	2	1
. Che obbedisca ai suoi genitori	2	1
. Che sia responsabile	2	1
. Che sia premuroso nei confronti degli altri	2	1
. Che sia interessato al modo ed al perché avvengono le cose	2	1
. Che sia un bravo studente	2	1
. Non so	9	9

DOM. 61-2 (Mostrare cartellino dom. 61-2)

MOLTE PERSONE SI CHIEDONO CHE SIGNIFICATO ABBAIA LA VITA UMANA. SULLA PRESENTE PAGINA CI SONO DELLE OPINIONI SUI SIGNIFICATI DELLA VITA. UTILIZZANDO LA SCALA PRESENTE SUL CARTELLINO VORREI CHE LEI MI DICESSE, PER OGNI OPINIONE, QUALE S'AVVICINA MAGGIORMENTE ALLA SUA.

A) La vita ha un significato solamente se le viene dato un significato

1. Pienamente d'accordo	1
2. Abbastanza d'accordo	2
3. Non ho una ferma opinione in merito	3
4. Abbastanza in disaccordo	4
5. Pienamente in disaccordo	5
6. Non ci ho mai pensato	6
9. Non so	9

B) Per me la vita non ha significato

1. Pienamente d'accordo	1
2. Abbastanza d'accordo	2
3. Non ho una ferma opinione in merito	3
4. Abbastanza in disaccordo	4
5. Pienamente in disaccordo	5
6. Non ci ho mai pensato	6
9. Non so	9

C) Penso che la vita delle persone abbia un chiaro significato e segua un certo schema

1. Pienamente d'accordo	1
2. Abbastanza d'accordo	2
3. Non ho una ferma opinione in merito	3
4. Abbastanza in disaccordo	4
5. Pienamente in disaccordo	5
6. Non ci ho mai pensato	6
9. Non so	9

DOM. 61-3 CONSIDERANDO CIÒ CHE RICEVONO LE ALTRE PERSONE IN ITALIA, LEI PENSA DI RICEVERE: IL GIUSTO, PIÙ DI QUANTO SIA GIUSTO, UN PO' MENO O MOLTO MENO DI QUANTO SIA GIUSTO?

. Il giusto	1
. Più di quanto sia giusto	2
. Un po' meno di quanto sia giusto	3
. Molto meno di quanto sia giusto	4
. Non so	9

DOM. 61-4 (Mostrare cartellino dom. 61-4)
 E' SPIACEVOLE PER LEI TROVARSI CON DELLE PERSONE CHE HANNO IDEE, FEDI, CONVINZIONI, PRINCIPI E VALORI DIVERSI DAI SUOI? PER LEI E'.....

- . Molto spiacevole 1
- . Abbastanza spiacevole 2
- . Poco spiacevole 3
- . Per niente spiacevole 4
- . Non so 9

DOM. 61-5 (Mostrare cartellino dom. 61-5)
 SUL PRESENTE CARTELLINO FIGURANO VARIE CATEGORIE DI PERSONE. MI INDICHI QUELLE CHE NON LE PIACEREBBE AVERE COME VICINI. (Piu' risposte possibili)

	Si	No
. Persone con una fedina penale sporca	1	2
. Persone di razza diversa	1	2
. Studenti	1	2
. Estremisti di sinistra	1	2
. Madri nubile	1	2
. Forti bevitori	1	2
. Estremisti di destra	1	2
. Persone con una famiglia numerosa	1	2
. Persone emotivamente instabili	1	2
. Membri di sette o culti religiosi minori	1	2
. Immigrati/lavoratori stranieri	1	2
. Nessuna di queste categorie	1	2

DOM. 61-6 LE VORREI ESPORRE UN CASO E CHIEDERE LA SUA OPINIONE. CI SONO DUE SEGRETARIE DELLA STESSA ETA' E CHE ESPLETANO IN PRATICA LO STESSO LAVORO. UNA DELLE SEGRETARIE SCOPRE CHE LA SUA COLLEGA GUADAGNA 100.000 LIRE IN PIU' AL MESE E VA A LAMENTARSI DAL SUO CAPO. QUESTO LE RISPONDE CHE E' VERO IN QUANTO L'ALTRA SEGRETARIA E' PIU' VELOCE, PIU' EFFICIENTE E PIU' AFFIDABILE. SECONDO LEI E' GIUSTO CHE UNA SEGRETARIA VENGA PAGATA PIU' DELL'ALTRA?

- . Giusto 1
- . Ingiusto 2
- . Non so 9

DOM. 61-7 ECCO UNA LISTA DI CAMBIAMENTI NEL MODO DI VIVERE CHE POTREBBERO VERIFICARSI NEL PROSSIMO FUTURO. PER OGNUNO MI DICA SE SAREBBE UN BENE CHE AVVENISSE, UN MALE O SE LA COSA NON FA ALCUNA DIFFERENZA.

	Un bene	Un male	Nessuna differenza
. Dare meno importanza ai soldi ed ai beni materiali	1	2	3
. Che il lavoro abbia un ruolo meno importante nella nostra vita	1	2	3
. Occuparsi maggiormente dello sviluppo della tecnologia	1	2	3
. Interessarsi di piu' della compiutezza morale di un individuo	1	2	3
. Avere maggiore rispetto per l'autorità	1	2	3
. Dare piu' importanza alla vita familiare	1	2	3
. Un modo di vivere piu' semplice e piu' naturale	1	2	3

QUALCHE DOMANDA RIGUARDO LA RELIGIONE.

DOM. 62A LEI SI CONSIDERA APPARTENENTE AD UNA RELIGIONE?

- . Si 1
- . No 2
- . Non so 9

DOM. 62B SE "SI", QUALE?

- . Cattolica 1
- . Protestante (include: Battista, Metodista, Luterana....) 2
- . Ebraica 3
- . Musulmana 4
- . Altro (specificare) _____ 8
- . Non so 9

DOM. 63 INDIPENDENTEMENTE DAL TIPO DI RELIGIONE, LEI PENSA CHE SIA IMPORTANTE O MENO AVERE DEI SENTIMENTI RELIGIOSI?

- . Importante 1
- . Non importante 2
- . Altro (specificare) _____ 8
- . Non so 9

DOM. 64 ALCUNI DICONO CHE BENCHE' AL MONDO CI SIANO TANTE DIVERSE RELIGIONI, OGNUNA CON IL PROPRIO CREDO, LA GRAN PARTE DEI LORO INSEGNAMENTI SONO PIU' O MENO GLI STESSI. LEI E' D'ACCORDO O MENO SU QUESTA IDEA?

- . Sono d'accordo 1
- . Non sono d'accordo 2
- . Altro (specificare) _____ 8
- . Non so 9

DOM. 65 (Mostrare il cartellino dom. 65)
IN POLITICA DI SOLITO DI PARLA DI "DESTRA" E DI "SINISTRA". IN QUALE PUNTO DI QUESTA SCALA COLLOCHEREBBE LA SUA POSIZIONE? (Non suggerire - l'intervistato dovrà situarsi in una casella, se esita, insistere)

Sinistra										Destra
01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	
				91						
				99						

DOM. 66 QUANTO S'INTERESSA DI POLITICA? (Leggere)

- . Moltissimo 1
- . Abbastanza 2
- . Non molto 3
- . Per niente 4
- . Non so 9

DOM. 67 LE CITERO' ALCUNE PAROLE CHE CARATTERIZZANO DELLE IDEE. LEI DIREBBE DI AVERE UN'OPINIONE FAVOREVOLE O SFAVOREVOLE NEI CONFRONTI DI CIASCUNA DELLE SEGUENTI IDEE?

	Favorevole	Dipende	Sfavorevole	Non so
. Democrazia	1	2	3	9
. Capitalismo	1	2	3	9
. Socialismo	1	2	3	9
. Liberalismo	1	2	3	9

DOM. 68 IN GENERALE, QUANTO E' SODDISFATTO DEL MODO IN CUI FUNZIONA LA DEMOCRAZIA IN ITALIA? LEI SI DIREBBE.... (Leggere)

- . Molto soddisfatto 1
- . Abbastanza soddisfatto 2
- . Non molto soddisfatto 3
- . Per niente soddisfatto 4
- . Non so (non leggere) 9

DOM. 69 IN BASE ALLE SUA CONOSCENZA DEL SISTEMA GIUDIZIARIO, COME PENSA CHE FUNZIONI OGGI IN ITALIA? LEI DIREBBE..... (Leggere)

- . Molto bene 1
- . Abbastanza bene 2
- . Abbastanza male 3
- . Molto male 4
- . Non so 9

DOM. 70	(Mostrare cartellino dom. 70) SUL PRESENTE CARTELLINO SONO RIPORTATE DUE OPINIONI SUI RAPPORTI TRA DIPENDENTI E DATORI DI LAVORO. QUALE DELLE DUE ESPRIME MEGLIO IL SUO PARERE?		
	. Poichè gli interessi del dipendente e del datore sono completamente all'opposto, è giusto e normale che siano sempre in conflitto tra loro	1	
	. In fondo gli interessi del dipendente e del datore sono gli stessi in quanto se una società guadagna bene può pagare stipendi migliori e pertanto le due parti dovrebbero collaborare	2	
	. Non so	9	
DOM. 71	(Mostrare cartellino dom. 71) SU QUESTO CARTELLINO SONO RIPORTATE TRE OPINIONI SULLA SOCIETA' CONTEMPORANEA. POTREBBE SCEGLIERE QUELLA CHE MEGLIO DESCRIVE LA SUA? (Una sola risposta)		
	. Bisogna cambiare radicalmente l'organizzazione della società in cui viviamo con un'azione rivoluzionaria	1	
	. Bisogna migliorare gradualmente la società in cui viviamo mediante le riforme	2	
	. Bisogna difendere coraggiosamente la società in cui viviamo da tutte le forze sovversive	3	
	. Non so	9	
DOM. 72A	SECONDO LEI LA SOCIETA' ITALIANA HA NECESSITA' DI CAMBIARE PROFONDAMENTE?		
	. Si	1	
	. No	2	
	. Non so	9	
DOM. 72B	PER CAMBIARE LA SOCIETA' SECONDO LE SUE ASPETTATIVE, LEI E' FAVOREVOLE A DELLE RIFORME GRADUALI OPPURE AD UN CAMBIAMENTO RADICALE?		
	. Riforme graduali	1	
	. Cambiamenti radicali	2	
	. Non so	9	
DOM. 73	A QUALE PARTITO POLITICO SI SENTE PIU' VICINO?		
	. Democrazia Cristiana (DC)	01	} porre dom. 74
	. Partito Democratico della Sinistra (PDS)	02	
	. Rifondazione Comunista	03	
	. Partito Socialista Italiano (PSI)	04	
	. Movimento Sociale Italiano Destra Nazionale (MSI-DN)	05	
	. Partito Repubblicano Italiano (PRI)	06	
	. Partito Socialdemocratico Italiano (PSDI)	07	
	. Federazione dei Verdi	08	
	. Lista Pannella	09	
	. Partito Liberale Italiano (PLI)	10	
	. Sudtiroler Volkspartei (SUP)	11	
	. La Rete - Movimento per la Democrazia	12	
	. Altri partiti	13/	
	. Nessun partito politico	14	
	. Rifiuta di rispondere	98	} andare a dom. 75
	. Non so	99	
DOM. 74	LEI SI SENTE MOLTO VICINO A QUESTO PARTITO, ABBASTANZA VICINO O NON MOLTO VICINO?		
	. Molto vicino	1	
	. Abbastanza vicino	2	
	. Non molto vicino	3	
	. Non so	9	

DOM. 75A (Mostrare cartellino dom. 75A)

SU QUESTO CARTELLINO E' RIPORTATO UNA SPECIE DI TERMOMETRO CHE VA DA 0 A 100 GRADI. VORREI CHE LEI LO UTILIZZASSE PER ESPRIMERE LA SUA SIMPATIA NEI CONFRONTI DEI VARI PARTITI POLITICI. AL CENTRO DELLA SCALA LA POSIZIONE 50 E' NEUTRA. PIU' SIMPATIA HA PER UN PARTITO, PIU' IL TERMOMETRO SALIRA', MENTRE PIU' E' OSTILE PIU' IL TERMOMETRO SCENDERA' VERSO LO 0. INIZIAMO PARLANDO DELLA D.C. (Leggere tutti i partiti, ruotare l'ordine di lettura)

	Temperatura
. Democrazia Cristiana (DC)	_ _ _
. Partito Democratico della Sinistra (PDS)	_ _ _
. Rifondazione Comunista	_ _ _
. Partito Socialista Italiano (PSI)	_ _ _
. Movimento Sociale Italiano Destra Nazionale (MSI-DN)	_ _ _
. Lega lombarda	_ _ _
. Altri (specificare) _____	_ _ _
. Non so	9 9 9

DEMOGRAFICI

D. 01 A) LEI PERSONALMENTE E' ISCRITTO AD UN SINDACATO DEI LAVORATORI?
B) E QUALCUN'ALTRO DELLA SUA FAMIGLIA E' ISCRITTO AD UN SINDACATO DEI LAVORATORI?

	Si	No	Non so
. L'intervistato	1	2	9
. Un altro componente della famiglia	1	2	9

D. 02 LEI E'.....?

. Celibe o nubile	1
. Sposato/a	2
. Convivente	3
. Divorziato/a	4
. Separato/a	5
. Vedovo/a	6

D. 03 A QUANTI ANNI HA TERMINATO/INTERROTTO I SUOI STUDI A TEMPO PIENO? (SE E' ANCORA STUDENTE CODICE 00 - ANDARE A DOM. 5)

Età [][]

D. 04 DOPO AVER TERMINATO/INTERROTTO I SUOI STUDI A TEMPO PIENO LEI HA.....? (SE "MAI": CODICE 00)

Leggere:		Mesi
. Eventualmente ripreso a studiare? (SE "SI") PER QUANTI MESI?	[][]	[][]
. Eventualmente frequentato un corso di formazione professionale o lavorato come apprendista? (SE "SI") PER QUANTI MESI?	[][]	[][]

D. 05 SESSO DELL'INTERVISTATO

. Maschio	1
. Femmina	2

D. 06 QUANTI ANNI HA?

. Anni [][]

D. 07 DI QUANTE PERSONE E' COMPOSTA LA SUA FAMIGLIA, LEI COMPRESO?

. 1 persona	1
. 2 persone	2
. 3 persone	3
. 4 persone	4
. 5 persone	5
. 6 persone	6
. 7 persone	7
. 8 persone	8
. 9 persone ed oltre	9

D. 08 QUANTI BAMBINI AL DI SOTTO DEI 15 ANNI VIVONO NELLA SUA FAMIGLIA?

. 1 bambino	01
. 2 bambini	02
. 3 bambini	03
. 4 bambini	04
. 5 bambini	05
. 6 bambini	06
. 7 bambini	07
. 8 bambini	08
. 9 bambini ed oltre	09
. Nessuno	10

D. 09 LEI O QUALCUNO NELLA SUA FAMIGLIA POSSIEDE.....? (LEGGERE)

.....un televisore a colori	01
.....un videoregistratore	02
.....una videocamera	03
.....una radiosveglia	04
.....un personal/home computer	05
.....una macchina fotografica	06
.....un trapano elettrico	07
.....una friggitrice elettrica	08
.....due o più automobili	09
.....una seconda casa o una casa al mare, in montagna, o in campagna	10

D. 10 A) QUAL E' LA SUA ATTUALE OCCUPAZIONE?
B) (SE ATTUALMENTE NON ESERCITA ALCUNA ATTIVITA' RETRIBUITA COD. 1-4 A DOM. 10A) HA ESERCITATO IN PASSATO QUALCHE ATTIVITA' RETRIBUITA? QUAL E' STATA LA SUA ULTIMA OCCUPAZIONE?

	Dom. 10A Occupazione attuale	Dom. 10B Ultima occupazione
<u>Non attivo</u>		
. Responsabile degli acquisti correnti e della conduzione della casa o non esercita attualmente alcuna occupazione	01	----
. Studente	02	----
. Disoccupato, temporaneamente senza occupazione	03	----
. Pensionato o inabile al lavoro	04	----
<u>Lavoratori indipendenti</u>		
. Agricoltore	05	01
. Pescatore	06	02
. Libero professionista (avvocato, medico, commercialista, architetto)	07	03
. Proprietario di un negozio, commerciante, artigiano o altro tipo di lavoro indipendente	08	04
. Industriale, proprietario (unico o socio) di un'azienda	09	05
<u>Lavoratori dipendenti</u>		
. Professioni liberali dipendenti (medico, avvocato..)	10	06
. Quadri superiori/altri dirigenti (direttori generali, amministratori delegati, altri direttori)	11	07
. Quadri intermedi (funzionari, insegnanti....)	12	08
. Impiegati di concetto (che lavorano per lo più davanti ad una scrivania)	13	09
. Impiegati che non lavorano davanti ad una scrivania (venditori, autisti, rappresentanti)	14	10
. Impiegati che non lavorano davanti ad una scrivania ma che offrono dei servizi (ospedali, ristoranti, polizia, pompieri)	15	11
. Supervisore	16	12
. Operai specializzati	17	13
. Altri operai (non specializzati), personale di servizio	18	14
. Non ho mai esercitato alcuna attività retribuita	----	15

(A CHI ATTUALMENTE ESERCITA UN'ATTIVITA' RETRIBUITA O UN LAVORO INDIPENDENTE: CODICI 05-18 A DOM. 10A.)

D. 11 NORMALMENTE, QUANTE ORE LAVORA ALLA SETTIMANA?

Ore lavorative settimanali | |_|_|_|_|

D. 12 (A COLORO CHE SVOLGONO O HANNO SVOLTO ATTIVITA' ^{lavorative, autonome o no} ~~RETRIBUITE O UN LAVORO~~ ~~AUTONOMO~~ COD. DA 05 A 18 A D. 10A OPPURE DA 01 A 14 A D. 10B) QUANTE PERSONE LAVORANO/LAVORAVANO SOTTO LA SUA RESPONSABILITA'?

- . Nessuna 1
- . Da 1 a 4 2
- . Da 5 a 9 3
- . 10 ed oltre 4
- . Non so 9

D. 13 (A COLORO CHE SVOLGONO O HANNO SVOLTO ATTIVITA' RETRIBUITE O UN LAVORO DIPENDENTE: CODICI DA 10 A 18 A D. 10A OPPURE DA 06 A 14 A D. 10B) IN QUALE SETTORE DI ATTIVITA' LEI LAVORA O HA LAVORATO?

- . Pubblico impiego 1
- . Industria statale 2
- . Industria privata 3
- . Servizi privati 4
- . Non so (Non e' possibile la codifica da parte dell'intervistatore) 9

D. 14 LEI E'.....

	Si	No
Leggere:		
A) Il/la principale responsabile nella Sua famiglia degli acquisti correnti e della conduzione della casa	1	2
B) La persona che contribuisce in maggior misura al reddito familiare	1	2

(PORRE LE DOMANDE DALLA 15 ALLA 17 COMPRESA SE L'INTERVISTATO/A NON E' LA PERSONA CHE CONTRIBUISCE IN MAGGIOR MISURA AL REDDITO FAMILIARE - COD. 2 A DOM. 14B - ALTRIMENTI PASSARE A DOM. 18)

D. 15 A QUANTI ANNI LA PERSONA CON IL REDDITO PIU' ALTO, CIOE' IL CAPOFAMIGLIA, HA TERMINATO/INTERROTTO I SUOI STUDI A TEMPO PIENO? (SE STUDIA ANCORA CODIFICARE 00)

Anni

D. 16 A) (SE "NO" A DOM. 14B). QUAL E' L'ATTUALE PROFESSIONE DELLA PERSONA CHE IN FAMIGLIA HA IL REDDITO PIU' ALTO?

B) (SE ATTUALMENTE NON ESERCITA ALCUNA ATTIVITA' RETRIBUITA - CODICI 01-04 A DOM. 16A) HA ESERCITATO IN PASSATO QUALCHE ATTIVITA' RETRIBUITA? QUAL E' STATA LA SUA ULTIMA OCCUPAZIONE?

	Dom. 16A Occupazione attuale	Dom. 16B Ultima occupazione
<u>Non attivo</u>		
. Responsabile degli acquisti correnti e della conduzione della casa o non esercita attualmente alcuna occupazione	01	----
. Studente	02	----
. Disoccupato, temporaneamente senza occupazione	03	----
. Pensionato o inabile al lavoro	04	----
<u>Lavoratori indipendenti</u>		
. Agricoltore	05	01
. Pescatore	06	02
. Libero professionista (avvocato, medico, commercialista, architetto)	07	03
. Proprietario di un negozio, commerciante, artigiano o altro tipo di lavoro indipendente	08	04
. Industriale, proprietario (unico o socio) di un'azienda	09	05
<u>Lavoratori dipendenti</u>		
. Professioni liberali dipendenti (medico, avvocato..)	10	06
. Quadri superiori/altri dirigenti (direttori generali, amministratori delegati, altri direttori)	11	07
. Quadri intermedi (funzionari, insegnanti...)	12	08
. Impiegati di concetto (che lavorano per lo più davanti ad una scrivania)	13	09
. Impiegati che non lavorano davanti ad una scrivania (venditori, autisti, rappresentanti)	14	10
. Impiegati che non lavorano davanti ad una scrivania ma che offrono dei servizi (ospedali, ristoranti, polizia, pompieri)	15	11
. Supervisore	16	12
. Operai specializzati	17	13
. Altri operai (non specializzati), personale di servizio	18	14
. Non ho mai esercitato alcuna attività retribuita	----	15

D. 17 (A COLORO CHE SVOLGONO O HANNO SVOLTO ATTIVITA' RETRIBUITE O UN LAVORO AUTONOMO: COD. DA 05 A 18 A D. 16A OPPURE DA 01 A 14 A D. 16B) QUANTE PERSONE LAVORANO/LAVORAVANO SOTTO LA SUA RESPONSABILITA'?

. Nessuna	1
. Da 1 a 4	2
. Da 5 a 9	3
. 10 ed oltre	4
. Non so	9

(A TUTTI)

D. 18 SE LE CHIEDESSERO DI UTILIZZARE UNA DI QUESTE CINQUE CATEGORIE PER DEFINIRE IL SUO CETO SOCIALE, A QUALE DI QUESTE LEI DIREBBE DI APPARTENERE? (MOSTRARE CARTELLINO D. 18 - UNA SOLA RISPOSTA)

. Classe media	1
. Classe medio-inferiore	2
. Classe operaia	3
. Classe superiore	4
. Classe medio-superiore	5
. Rifiuta di rispondere	6
. Altra risposta (precisare)	8
. Non so	9

D. 19 LEI ABITA IN UNA VILLETTA O IN UN APPARTAMENTO? L'APPARTAMENTO/VILLETTA IN CUI VIVE E' DI PROPRIETA' SUA O DELLA SUA FAMIGLIA, OPPURE IN AFFITTO? (MOSTRARE CARTELLINO D. 19)

- . Una villetta di proprieta' o con mutuo 1
- . Un appartamento di proprieta' o con mutuo 2
- . Una villetta affittata da un privato 3
- . Un appartamento affittato da un privato 4
- . Una villetta di proprieta' del comune in affitto 5
- . Un appartamento di proprieta' del comune in affitto 6
- . Altro (stanza in affitto, pensionato, case a riscatto, ecc.) 7
- . Non so 9

D. 20 LEI DEFINIREBBE LA LOCALITA' IN CUI ABITA (LEGGERE):

- . Un'area prevalentemente agricola (o piccolo comune, frazione, borgata, casa isolata) 1
- . Una piccola o media citta' 2
- . Una grande citta' 3
- . Non so 9

D. 21 LEI SI CONSIDERA APPARTENENTE AD UNA RELIGIONE? (SE "SI") A QUALE?

- | | | | |
|-----------------------|----|---|-----------------|
| . Cattolica | 01 | } | PASSARE A D. 22 |
| . Protestante | 02 | | |
| . Ortodossa | 03 | | |
| . Ebraica | 04 | | |
| . Musulmana | 05 | } | PASSARE A D. 23 |
| . Buddista | 06 | | |
| . Induista | 07 | | |
| . Altro (specificare) | 08 | | |
| . Nessuna | 09 | } | |
| . Non so | 99 | | |

(A QUELLI CHE HANNO RISPOSTO CON COD. DA 01 A 04 A D. 21)

D. 22 LEI ASSISTE ALLE FUNZIONI RELIGIOSE PIU' VOLTE ALLA SETTIMANA, UNA VOLTA ALLA SETTIMANA, POCHE VOLTE ALL'ANNO, UNA VOLTA ALL'ANNO O MAI? (UNA SOLA RISPOSTA)

- . Piu' volte alla settimana 1
- . Una volta a settimana 2
- . Poche volte all'anno 3
- . Una volta all'anno o meno 4
- . Mai 5
- . Non so 9

(A TUTTI)

D. 23 SIA CHE LEI SEGUA OPPURE NO PRATICHE RELIGIOSE, SI DEFINIREBBE.....?

- . Una persona religiosa 1
- . Una persona non religiosa 2
- . Un agnostico (indifferente ai problemi religiosi) 3
- . Un ateo (che nega l'esistenza di Dio) 4
- . Non so 9

D. 24

AVREMMO BISOGNO DI ALCUNE INFORMAZIONI SUL REDDITO DELLA SUA FAMIGLIA PER POTER ANALIZZARE I RISULTATI DI QUESTO STUDIO IN FUNZIONE DELLE DIVERSE TIPOLOGIE FAMILIARI. SU QUESTO CARTELLINO SONO ELENCAE DELLE CLASSI DI REDDITO. (MOSTRARE IL CARTELLINO DOM. D. 24)

LEI DOVREBBE SOMMARE TUTTE LE ENTRATE E GLI STIPENDI MENSILI DI TUTTI I COMPONENTI DELLA FAMIGLIA, TUTTE LE PENSIONI ANCHE SOCIALI E LE EVENTUALI RENDITE DA ASSICURAZIONI O DA LOCAZIONE (AFFITTI).....

LE ASSICURO CHE LA SUA RISPOSTA, COME TUTTE QUELLE CHE CI HA DATO NEL CORSO DI QUESTA INTERVISTA, SARA' RITENUTA DEL TUTTO CONFIDENZIALE E QUALUNQUE RIFERIMENTO A LEI O ALLA SUA FAMIGLIA SARA' IMPOSSIBILE.

LA PREGO DI RISPONDERMI CON LA LETTERA DELL'ALFABETO RIPORTATA A FIANCO DELLA CLASSE DI REDDITO LORDO CHE CORRISPONDE A QUELLO DELLA SUA FAMIGLIA, PRIMA DI QUALUNQUE DEDUZIONE, TASSE O ALTRO.

B. Fino a 750.000	01
T. Da 750.001 a 1.000.000	02
P. Da 1.000.001 a 1.500.000	03
F. Da 1.500.001 a 1.750.000	04
E. Da 1.750.001 a 2.000.000	05
H. Da 2.000.001 a 2.500.000	06
L. Da 2.500.001 a 3.000.000	07
N. Da 3.000.001 a 3.500.000	08
R. Da 3.500.001 a 4.000.000	09
M. Da 4.000.001 a 4.500.000	10
S. Da 4.500.001 a 5.000.000	11
K. Oltre 5.000.000	12
. Rifiuta	98
. Non so	99

PROTOCOLLO D'INTERVISTA

Questionario n.
Scheda

P. 01 DATA

Giorno [][] Mese [][]

P. 02 ORA INIZIO INTERVISTA

[][][][]
Ora Minuti

P. 03 DURATA INTERVISTA IN MINUTI

Minuti [][][][]

P. 04 NUMERO DI PERSONE PRESENTI
DURANTE L'INTERVISTA

- . Due (l'intervistatore e l'intervistato) 1
- . Tre 2
- . Quattro 3
- . Cinque o più persone 4

P. 05 GRADO DI COLLABORAZIONE DELL'INTERVISTATO/A

- . Eccellente 1
- . Buono 2
- . Medio 3
- . Mediocre 4

P. 06 AMPIEZZA CENTRO

- . < 10.000 1
- . 10.001 - 100.000 2
- . 100.001 - 250.000 3
- . > 250.000 abitanti 4

P. 07 REGIONE

- . Valle d'Aosta e Piemonte 01
- . Liguria 02
- . Lombardia (escl. provincia di Milano) 03
- . Milano e provincia 04
- . Trentino 05
- . Veneto 06
- . Friuli Venezia Giulia 07
- . Emilia 08
- . Toscana 09
- . Marche 10
- . Umbria 11
- . Lazio 12
- . Molise e Abruzzi 13
- . Campania 14
- . Puglie 15
- . Basilicata 16
- . Calabria 17
- . Sicilia 18
- . Sardegna 19

P. 08 CODICE AVVIAMENTO POSTALE

[][][][][][]

P. 09 N. PUNTO DI CAMPIONAMENTO

[][][][]

P. 10 N. INTERVISTATORE

[][][][]

P. 11 PONDERAZIONE

[][][][][][][][][][]

.....
NOME E COGNOME DELLA PERSONA INTERVISTATA _____

INDIRIZZO _____

COMUNE _____ PROVINCIA _____ TEL. _____

.....
DICHIARO CHE LA PRESENTE INTERVISTA E' STATA ESEGUITA DA ME PERSONALMENTE SECONDO LE ISTRUZIONI CONTENUTE, NONCHE' IN BASE ALLE NORME CHE REGOLANO LA COLLABORAZIONE TRA GLI INTERVISTATORI E GLI ISTITUTI MEMBRI DELL'AIMS ALLEGATE ALLA PROPOSTA DI INCARICO, DELLE QUALI DICHIARO DI AVERE PIENA CONOSCENZA. APPROVO IN PARTICOLARE, AI SENSI E PER GLI EFFETTI DEGLI ARTICOLI 1341 E 1342 C.C., LE CLAUSOLE 8, 9 E 11 IVI CONTENUTE.

Data intervista _____

Firma intervistatore _____

6) イタリア調査票第三版の詳細を検討確認し、イタリア調査票最終版完成
(92年10月)

RM 1345

N. questionario |_|_|_|_| (1-4)
Scheda |_1_| (5)
Codice paese |_8_| (6)
Ricerca n. |_1_|_3_|_4_|_5_| (7-10)

DOM. 1 RISPETTO A DIECI ANNI FA, LEI RITIENE CHE COMPLESSIVAMENTE IL TENORE DI VITA DEGLI ITALIANI SIA..... (Leggere)

. Decisamente migliorato	—	1	(11)
. Leggermente migliorato		2	
. Più o meno lo stesso		3	
. Leggermente peggiorato		4	
. Decisamente peggiorato		5	
. Non so (non leggere)		9	

DOM. 2 IN CONFRONTO A DIECI ANNI FA IL SUO TENORE DI VITA E'..... (Leggere)

. Decisamente migliorato		1	(12)
. Leggermente migliorato		2	
. Più o meno lo stesso		3	
. Leggermente peggiorato		4	
. Decisamente peggiorato		5	
. Non so (non leggere)		9	

DOM. 3 NEI PROSSIMI CINQUE ANNI LEI PENSA CHE IL SUO TENORE DI VITA SARA'..... (Leggere)

. Decisamente migliore		1	(13)
. Leggermente migliore		2	
. Più o meno lo stesso		3	
. Leggermente peggiore		4	
. Decisamente peggiore		5	
. Non so (non leggere)		9	

DOM. 4 IN GENERALE LEI PENSA CHE LA GENTE SARA' PIU' FELICE O MENO FELICE DI QUANTO LO SIA ATTUALMENTE?

. Più felice	—	1	(14)
. Meno felice		2	
. Più o meno come adesso		3	
. Altro (specificare) _____		8	
. Non so		9	

DOM. 5 PENSANDO ALLA LORO SERENITA', LEI PENSA CHE AUMENTERA' O DIMINUIRA'?

. Aumenterà		1	(15)
. Diminuirà		2	
. Rimarrà invariata		3	
. Altro (specificare) _____		8	
. Non so		9	

DOM. 6 E PENSANDO ALLA LIBERTA' DELL'INDIVIDUO, LEI PENSA CHE AUMENTERA' O DIMINUIRA'?

. Aumenterà		1	(16)
. Diminuirà		2	
. Non cambierà		3	
. Altro (specificare) _____		8	
. Non so		9	

DOM. 7	LEI PENSA CHE IN FUTURO LO STATO DI SALUTE DELLE PERSONE MIGLIORERA' O PEGGIORERA'?		
	. Migliorerà	1	(17)
	. Peggiorerà	2	
	. Non cambierà	3	
	. Altro (specificare) _____	8	
	. Non so	9	

DOM. 8 (Mostrare cartellino dom. 8)
 SI DISCUTE MOLTO IN QUESTI GIORNI SU QUALI OBIETTIVI DOVREBBE CERCARE DI RAGGIUNGERE IL NOSTRO PAESE NEI PROSSIMI 10 O 15 ANNI. SU QUESTO CARTELLINO SONO ELENCATI DEGLI OBIETTIVI A CUI, SECONDO VARIE PERSONE, DOVREBBE ESSERE DATA LA PRIORITA' ASSOLUTA. MI PUO' DIRE QUAL E' CHE LEI GIUDICA IL PIU' IMPORTANTE? (Una sola risposta per colonna) E QUALE SCEGLIEREBBE PER SECONDO?

	OBIETTIVI PIU' IMPORTANTI	
	1° posto (18)	2° posto (19)
. Mantenimento dell'ordine nel paese	1	1
. Aumentare la partecipazione dei cittadini nelle decisioni di governo	2	2
. Combattere l'aumento dei prezzi	3	3
. Garantire la libertà di parola	4	4
. Non so	9	9

DOM. 9 (Mostrare cartellino dom. 9)
 AIUTANDOSI CON QUESTO CARTELLINO MI DICA FINO A CHE PUNTO SI PREOCCUPA PER SE STESSO E PER LA SUA FAMIGLIA IN MERITO A QUANTO SEGUE: (Leggere una voce alla volta)

	Molto	Abbastanza	Poco	Per niente	Non so	
. Una grave malattia _____	1	2	3	4	9	(20)
. Un incidente d'auto _____	1	2	3	4	9	(21)
. La disoccupazione _____	1	2	3	4	9	(22)
. La guerra _____	1	2	3	4	9	(23)
. Incidenti nelle centrali nucleari _____	1	2	3	4	9	(24)

DOM. 10 MANCA

DOM. 11 RISPETTO ALLA MEDIA DELLE PERSONE, LEI DIREBBE DI ESSERE IN GENERE PIU' O MENO DISPOSTO A RISPETTARE LA MEMORIA DEI SUOI ANTENATI ?

. Più della media	1	(25)
. Meno della media	2	
. Nella media	3	
. Altro (specificare) _____	8	
. Non so	9	

DOM. 12 NELL'IMPOSSIBILITA' DI AVERE FIGLI, RITIENE SIA GIUSTO FAR RICORSO ALL'ADOZIONE, ANCHE IN ASSENZA DI LEGAMI DI SANGUE, AL FINE DI GARANTIRE LA CONTINUITA' DELLA LINEA DI DISCENDENZA FAMILIARE, O AL CONTRARIO RITIENE SIA MEGLIO INTERROMPERE LA DISCENDENZA?

. Giusto ricorrere all'adozione	1	(26)
. Meglio interrompere la discendenza	2	
. Dipende dalle circostanze	3	
. Altro (specificare) _____	8	
. Non so	9	

DOM. 13 SECONDO LEI QUAL'E' IL NUMERO IDEALE DI FIGLI IN UNA FAMIGLIA? (Non leggere)

. Uno	1	(27)
. Due	2	
. Tre	3	
. Quattro	4	
. Cinque	5	
. Più di cinque	6	
. Nessuno	7	
. Dipende, non c'è numero ideale	8	
. Non so	9	

DOM. 14 DURANTE LE ULTIME QUATTRO SETTIMANE HA SOFFERTO DI..... ? (Leggere uno alla volta)

	<u>Si</u>	<u>No</u>	<u>Non so</u>	
. Mal di testa/emicrania	1	2	9	(28)
. Mal di schiena	1	2	9	(29)
. Nervosismi	1	2	9	(30)
. Stato depressivo	1	2	9	(31)
. Insonnia	1	2	9	(32)

DOM. 15 IN RAPPORTO ALLA SUA ETA', QUANTO E' SODDISFATTO/A DEL SUO STATO DI SALUTE? LEI DIREBBE DI ESSERE (leggere)

. Molto soddisfatto/a	1			(33)
. Abbastanza soddisfatto/a	2			
. Abbastanza insoddisfatto/a	3			
. Molto insoddisfatto/a	4			
. Non so	9	(non leggere)		

DOM. 16 (Mostrare cartellino dom. 16)

TUTTO CONSIDERATO COME DEFINIREBBE IL SUO ATTUALE TENORE DI VITA? RISPONDA CON L'AIUTO DELLA PRESENTE SCALA DOVE 1 SIGNIFICA IL LIVELLO PIU' ALTO E 5 QUELLO PIU' BASSO.

. Alto	1			(34)
. Medio-alto	2			
. Medio	3			
. Medio basso	4			
. Basso	5			
. Non so	9			

DOM. 17 SE DOVESSE SCEGLIERE, COSA PREFERIREBBE TRA (leggere, una sola risposta)

. Avere più denaro	1			(35)
. Avere più tempo libero a disposizione	2			
. Non so (non leggere)	9			

DOM. 18 SE AVESSE DENARO SUFFICIENTE PER VIVERE IL RESTO DELLA VITA QUANTO PIU' COMODAMENTE LE PIACE, CONTINUEREBBE A LAVORARE O SMETTEREBBE?

. Continuerei a lavorare	1			(36)
. Smetterei di lavorare	2			
. Altro (specificare) _____	8			
. Non so	9			

DOM. 19 (Mostrare cartellino dom. 19)

QUALE TRA LE DUE AFFERMAZIONI PRESENTI SUL CARTELLINO SI AVVICINA MAGGIORMENTE ALLA SUA OPINIONE?

. Indipendentemente da quanto denaro uno abbia, la vita senza lavoro è senza senso	1			(37)
. Finchè ci sono i soldi, la vita ha un senso anche senza un lavoro	2			
. Non so	9			

DOM. 20 (Mostrare cartellino dom. 20)
 SU QUESTO CARTELLINO SONO ELENCALE ALCUNE COSE CHE LA GENTE PRENDE IN
 CONSIDERAZIONE IN RELAZIONE AL PROPRIO LAVORO. LEI PERSONALMENTE QUALE PORREBBE
 AL PRIMO POSTO? (Una sola risposta)

- | | | |
|--|---|------|
| . Un buono stipendio per non avere preoccupazioni monetarie | 1 | (38) |
| . Un lavoro sicuro senza rischio di cessazione di attività o di disoccupazione | 2 | |
| . Lavorare con persone che le piacciono | 3 | |
| . Fare un lavoro importante che le dia un senso di appagamento | 4 | |
| . Altro (specificare) _____ | 8 | |
| . Non so | 9 | |

DOM. 21 NELL'ORGANIZZAZIONE DELLA SUA SETTIMANA, ACCADE TALVOLTA CHE IL LAVORO INTRALCI LA SUA VITA PRIVATA O FAMILIARE?

- | | | |
|--------------|---|------|
| . Si | 1 | (39) |
| . No | 2 | |
| . Non lavora | 3 | |
| . Non so | 9 | |

DOM. 22 (Mostrare cartellino dom. 22)
 CI SONO DIVERSI ATTEGGIAMENTI NEI CONFRONTI DELLA VITA. QUALE DELLE SEGUENTI
 AFFERMAZIONI SI AVVICINA MAGGIORMENTE AL SUO MODO DI VIVERE? (Solo una risposta)

- | | | |
|--|---|------|
| . Lavorare sodo e diventare ricco | 1 | (40) |
| . Studiare seriamente e farsi un nome | 2 | |
| . Non pensare nè ai soldi nè al successo, ma vivere secondo i propri gusti | 3 | |
| . Vivere alla giornata allegramente e senza pensieri | 4 | |
| . Resistere a tutte le insidie del mondo e condurre una vita pura e giusta | 5 | |
| . Mai pensare a sè stesso, consacrarsi interamente al bene della società | 6 | |
| . Altro (specificare) _____ | 8 | |
| . Non so | 9 | |

DOM. 23 COSA NE PENSA DELLA QUALITA' DELLA VITA NELLA ZONA IN CUI RISIEDE? (Leggere) LEI SI DIREBBE.....

- | | | |
|------------------------------|---|------|
| . Molto soddisfatto/a | 1 | (41) |
| . Abbastanza soddisfatto/a | 2 | |
| . Abbastanza insoddisfatto/a | 3 | |
| . Molto insoddisfatto/a | 4 | |
| . Non so (non leggere) | 9 | |

DOM. 24A (Mostrare cartellino dom. 24)
 AIUTANDOSI CON QUESTO CARTELLINO, MI PUO' DIRE FINO A CHE PUNTO RAPPRESENTANO UN
 PROBLEMA DI SICUREZZA NEL SUO QUARTIERE I SEGUENTI PUNTI: INIZIAMO CON I FURTI.
 QUANTO E' SERIO QUESTO PROBLEMA?

DOM. 24B (Lasciare il cartellino dom. 24)
 E LA SICUREZZA PERSONALE, COME AD ESEMPIO LE AGGRESSIONI? QUANTO E' SERIO QUESTO
 PROBLEMA NEL SUO QUARTIERE?

- | | Un problema serio | Un problema | Non è un problema serio | Non è affatto un problema | Non so | |
|--|-------------------|-------------|-------------------------|---------------------------|--------|------|
| 24A Furti _____ | 1 | 2 | 3 | 4 | 9 | (42) |
| 24B Sicurezza personale/ aggressioni _____ | 1 | 2 | 3 | 4 | 9 | (43) |

DOM. 25 (Mostrare cartellino dom. 25)

LEI CONOSCE LA FAVOLA DELLA CICALA E LA FORMICA? LA CICALA, DOPO AVER CANTATO TUTTA L'ESTATE, ALL'ARRIVO DELL'INVERNO NON AVEVA NIENTE DA MANGIARE, ALLORA VA A CHIEDERE AIUTO ALLA FORMICA CHE AVEVA LAVORATO TUTTA L'ESTATE. LA FORMICA AVREBBE POTUTO DARE UNA DELLE DUE RISPOSTE CHE LEGGE SUL PRESENTE CARTELLINO. QUALE DELLE DUE RISPOSTE SCEGLIEREBBE COME CONCLUSIONE DELLA STORIA?

- . La formica manda via la cicala dicendo che ha avuto ciò che si merita 1 (44)
- . La formica prima fa la morale alla cicala dicendo "sei in torto perchè sei stata pigra, dovresti lavorare di piu' " e poi spartisce con lei il cibo 2
- . Altro (specificare) _____ 8
- . Non so 9

DOM. 26A QUAL'E' PER LEI LA COSA PIU' IMPORTANTE NELLA VITA? ME NE DICA SOLAMENTE UNA.

- _____ (45-46)
- _____ (47-48)
- _____ (49-50)
- . Non so 99

DOM. 26B QUALI ALTRE COSE SONO MOLTO IMPORTANTI PER LEI? NE PUO' MENZIONARE QUANTE DESIDERA. Sollecitare: E ALTRO?

- _____ (51-52)
- _____ (53-54)
- _____ (55-56)
- . Non so 99

DOM. 27 (Mostrare cartellino dom. 27)

USANDO LA SCALA SUL CARTELLINO MI PUO' DIRE QUANTO E' IMPORTANTE SECONDO LEI OGNI SINGOLA VOCE? (Leggere una voce alla volta)

	Per niente importante					Molto importante so			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
. La sua famiglia o figli se ne ha _____	1	2	3	4	5	6	7	8	9 (57)
. La carriera ed il lavoro _____	1	2	3	4	5	6	7	8	9 (58)
. Il tempo libero e gli svaghi _____	1	2	3	4	5	6	7	8	9 (59)
. Amici e conoscenti _____	1	2	3	4	5	6	7	8	9 (60)
. Genitori, fratelli, sorelle ed altri parenti _____	1	2	3	4	5	6	7	8	9 (61)
. La religione e la chiesa _____	1	2	3	4	5	6	7	8	9 (62)
. La politica _____	1	2	3	4	5	6	7	8	9 (63)

DOM. 28 (Mostrare cartellino dom. 28)

TUTTO CONSIDERATO, QUANTO E' SODDISFATTO/A DELLA SUA VITA FAMILIARE - CIOE' IL TEMPO CHE TRASCORRE E LE COSE CHE FA CON LE PERSONE DELLA SUA FAMIGLIA? MI RISPONDA AIUTANDOSI CON QUESTO CARTELLINO.

- . Molto soddisfatto/a 1 (64)
- . Abbastanza soddisfatto/a 2
- . Nè soddisfatto nè insoddisfatto/a 3
- . Abbastanza insoddisfatto/a 4
- . Molto insoddisfatto/a 5
- . Non so 9

- DOM. 29 (Lasciare cartellino dom. 28)
ORA LE VORREI CHIEDERE QUALCOSA SULLA SUA VITA IN GENERALE. QUANTO E' SODDISFATTO/A DELLA SUA VITA IN QUESTO PERIODO? MI RISPONDA UTILIZZANDO LO STESSO CARTELLINO.
- | | | |
|-------------------------------------|---|------|
| . Molto soddisfatto/a | 1 | (65) |
| . Abbastanza soddisfatto/a | 2 | |
| . Nè soddisfatto nè insoddisfatto/a | 3 | |
| . Abbastanza insoddisfatto/a | 4 | |
| . Molto insoddisfatto/a | 5 | |
| . Non so | 9 | |
- DOM. 30 SE PENSA ALLE PERSONE DI SUCCESSO NELLA SOCIETA' ODIERNA, CHE COSA SECONDO LEI HA GIOCATO IL RUOLO PIU' IMPORTANTE PER LA LORO RIUSCITA? LA LORO ABILITA' E I LORO SFORZI OPPURE LA FORTUNA E IL CASO?
- | | | |
|-----------------------------|---|------|
| . L'abilità e gli sforzi | 1 | (66) |
| . La fortuna ed il caso | 2 | |
| . Altro (specificare) _____ | 8 | |
| . Non so | 9 | |
- DOM. 31 (Mostrare cartellino dom. 31)
QUALE TRA LE OPINIONI ELENCAE SUL PRESENTE CARTELLINO S'AVVICINA MAGGIORMENTE ALLA SUA OPINIONE IN MERITO ALLA SEGUENTE AFFERMAZIONE? "QUANDO LO STATO AIUTA LE FAMIGLIE IL CUI REDDITO E' INSUFFICIENTE...."
- | | | |
|--|---|------|
| . Dà loro la possibilità di vivere | 1 | (67) |
| . Toglie loro il senso di responsabilità | 2 | |
| . Altro (specificare) _____ | 8 | |
| . Non so | 9 | |
- DOM. 32 ALCUNI DICONO CHE CON IL PROGREDIRE DELLA SCIENZA E DELLA TECNOLOGIA, LA VITA DIVENTA SEMPRE PIU' COMODA, MA ALLO STESSO TEMPO LA RENDE PIU' INUMANA. LEI E' D'ACCORDO O MENO?
- | | | |
|--------------------------------|---|------|
| . Sono d'accordo | 1 | (68) |
| . Non sono d'accordo | 2 | |
| . Indeciso/dipende (spontaneo) | 3 | |
| . Altro (specificare) _____ | 8 | |
| . Non so | 9 | |
- DOM. 33 ALCUNI SONO DELL'AVVISO CHE SIN DALLA SCUOLA ELEMENTARE AI BAMBINI DEBBA ESSERE INSEGNATO CHE I SOLDI SONO UNA DELLE COSE PIU' IMPORTANTI DELLA VITA. LEI E' D'ACCORDO OPPURE NO?
- | | | |
|--------------------------------|---|------|
| . Sono d'accordo | 1 | (69) |
| . Non sono d'accordo | 2 | |
| . Indeciso/dipende (spontaneo) | 3 | |
| . Altro (specificare) _____ | 8 | |
| . Non so | 9 | |
- DOM. 34 SECONDO ALCUNE PERSONE SE NOI AVESSIMO DEGLI ECCÉLLENTI CAPI POLITICI DOVREMMO, PER IL BENE DEL NOSTRO PAESE, AVERE PIENA FIDUCIA NEL LORO OPERATO ANZICHE' CONTINUARE A DISCUTERE DI POLITICA TRA DI NOI. LEI E' D'ACCORDO OPPURE NO?
- | | | |
|--------------------------------|---|------|
| . Sono d'accordo | 1 | (70) |
| . Non sono d'accordo | 2 | |
| . Indeciso/dipende (spontaneo) | 3 | |
| . Altro (specificare) _____ | 8 | |
| . Non so | 9 | |

- DOM. 35 SE LEI E' CONVINTO CHE UNA DETERMINATA COSA SIA GIUSTA, PENSA CHE NON BISOGNEREBBE AVERE ESITAZIONI E FARLA ANCHE SE CIO' E' CONTRARIO ALLE NORMALI CONSUETUDINI, OPPURE PENSA CHE SIA MEGLIO CONFORMARSI ALLE CONSUETUDINI PER NON CORRERE IL RISCHIO DI SBAGLIARE?
- | | | |
|--|---|------|
| . Agire di conseguenza anche se contrariamente alle normali consuetudini | 1 | (71) |
| . Conformarsi alle consuetudini | 2 | |
| . Sono indeciso/dipende dal caso (spontaneo) | 3 | |
| . Altro (specificare) _____ | 8 | |
| . Non so | 9 | |
- DOM. 36 ALCUNI DICONO CHE, INDIPENDENTEMENTE DA QUANTO IL MONDO POSSA MECCANIZZARSI, NULLA POTRA' DIMINUIRE LA RICCHEZZA DELL'ANIMO UMANO. LEI E' D'ACCORDO O MENO CON QUESTA OPINIONE?
- | | | |
|-------------------------------------|---|------|
| . Sono d'accordo | 1 | (72) |
| . Non sono d'accordo | 2 | |
| . Sono indeciso/dipende (spontaneo) | 3 | |
| . Altro (specificare) _____ | 8 | |
| . Non so | 9 | |
- DOM. 37 LEI E' D'ACCORDO SULLA SEGUENTE FRASE" CASA MIA E' L'UNICO POSTO DOVE POSSO RILASSARMI E SENTIRMI BENE"?
- | | | |
|-----------------------------|---|------|
| . Si | 1 | (73) |
| . No | 2 | |
| . Altro (specificare) _____ | 8 | |
| . Non so | 9 | |
- DOM. 38 (Mostrare cartellino dom. 38)
QUALE TRA LE AFFERMAZIONI PRESENTI SUL CARTELLINO S'AVVICINA MAGGIORMENTE ALLA SUA OPINIONE SUL MATRIMONIO?
- | | | |
|---|---|------|
| . Il matrimonio è indissolubile | 1 | (74) |
| . Il matrimonio può essere sciolto solo in casi molto gravi | 2 | |
| . Il matrimonio può essere sciolto semplicemente con il reciproco accordo dei coniugi | 3 | |
| . Non so | 9 | |
- DOM. 39 (Mostrare cartellino dom. 39)
QUALE DELLE SEGUENTI AFFERMAZIONI RISPECCHIA MAGGIORMENTE LA SUA OPINIONE SUI LAVORI DOMESTICI E LA CURA DEI BAMBINI?
- | | | |
|--|---|------|
| . Sono mansioni delle donne | 1 | (75) |
| . Alcune mansioni sono piu' adatte alla donna | 2 | |
| . Tutte le mansioni dovrebbero essere indifferentemente divise tra l'uomo e la donna | 3 | |
| . Non so | 9 | |
- DOM. 40 SUPPONIAMO CHE UN BAMBINO DI CIRCA DIECI ANNI RITORNI DALLA SCUOLA E RACCONTI AI GENITORI CHE HA SENTITO DIRE CHE IL SUO MAESTRO HA FATTO QUALCOSA DI BRUTTO, ED I GENITORI SANNO CHE CIO' E' VERO. SECONDO LEI E' MEGLIO CHE I GENITORI DICANO LA VERITA' AL BAMBINO OPPURE CHE NON LA DICANO?
- | | | |
|-----------------------------|---|------|
| . Dicano la verità | 1 | (76) |
| . Non la dicano | 2 | |
| . Altro (specificare) _____ | 8 | |
| . Non so | 9 | |

End card 1

- DOM. 41 (Mostrare cartellino dom. 41)**
 IMMAGINIAMO LA SEGUENTE SITUAZIONE. IL SIG. A E' RIMASTO ORFANO IN TENERA ETA' ED E' STATO ALLEVATO DAL SIG. B, UN BUON VICINO, CHE GLI HA DATO UNA BUONA EDUCAZIONE E GLI HA DATO LA POSSIBILITA' DI SEGUIRE GLI STUDI UNIVERSITARI. ADESSO, IL SIG. A E' DIVENTATO IL PRESIDENTE DI UNA SOCIETA'. UN GIORNO RICEVE UN TELEGRAMMA CHE IL SIG. B CHE L'HA ALLEVATO E' GRAVEMENTE AMMALATO E GLI CHIEDE DI ANDARE IMMEDIATAMENTE DA LUI. QUESTO TELEGRAMMA GIUNGE MENTRE IL SIG. A STA PARTENDO PER ANDARE AD UNA IMPORTANTISSIMA RIUNIONE DURANTE LA QUALE SI DECIDERA' SE LA SOCIETA' ANDRA' FALLITA OPPURE SI SALVERA'. SECONDO LEI COSA DOVREBBE FARE IL SIG. A? (Se l'intervistato risponde "Rimandare la riunione" chiedere: E nel caso la riunione non possa essere rimandata?)
- | | | |
|--|---|-----|
| . Lasciare tutto ed andare subito dal Sig. B | 1 | (6) |
| . Per quanto possa essere preoccupato, dovrebbe andare alla riunione | 2 | |
| . Altro (specificare) _____ | 8 | |
| . Non so | 9 | |
- DOM. 42 (Mostrare cartellino dom. 42)**
 NELLA PRECEDENTE DOMANDA SI PRESUPPONEVA CHE IL SIG. B AVESSE ADOTTATO IL SIG. A. SUPPONIAMO INVECE CHE FOSSE IL VERO PADRE DEL SIG. A E CHE FOSSE GRAVEMENTE AMMALATO. IN QUESTO CASO LEI COSA AVREBBE RISPOSTO? (Se l'intervistato risponde "Rimandare la riunione" chiedere: E nel caso la riunione non possa essere rimandata?)
- | | | |
|--|---|-----|
| . Lasciare tutto e andare subito da suo padre | 1 | (7) |
| . Per quanto possa essere preoccupato per suo padre, dovrebbe andare alla riunione | 2 | |
| . Altro (specificare) _____ | 8 | |
| . Non so | 9 | |
- DOM. 43 (Mostrare cartellino dom. 43)**
 QUI DI SEGUITO CI SONO TRE OPINIONI SUI RAPPORTI TRA L'UOMO E LA NATURA. QUALE PENSA SI AVVICINI MAGGIORMENTE ALLA VERITA'?
- | | | |
|--|---|-----|
| . Per essere felice, l'uomo deve conformarsi alla natura | 1 | (8) |
| . Per essere felice, l'uomo deve servirsi della natura | 2 | |
| . Per essere felice, l'uomo deve dominare la natura | 3 | |
| . Altro (specificare) _____ | 8 | |
| . Non so | 9 | |
- DOM. 44 (Mostrare cartellino dom. 44)**
 TRA LE SEGUENTI AFFERMAZIONI SCELGA - QUELLA CON LA QUALE E' MAGGIORMENTE D'ACCORDO.
- | | | |
|---|---|-----|
| . Un paese potrà progredire soltanto se si rendono felici gli individui | 1 | (9) |
| . Soltanto se il paese progredisce gli individui potranno essere felici | 2 | |
| . Far progredire il paese e rendere felici gli individui è in sostanza la stessa cosa | 3 | |
| . Altro (specificare) _____ | 8 | |
| . Non so | 9 | |
- DOM. 45 (Mostrare cartellino dom. 45)**
 SE LE VENISSE CHIESTO DI SCEGLIERE LE DUE COSE PIU' IMPORTANTI TRA QUELLE INDICATE SUL CARTELLINO, QUALI SCEGLIEREBBE?
- | | | | |
|---|----|----|------|
| | Si | No | |
| . Affetto e rispetto per i genitori | 1 | 2 | (10) |
| . Sdebitarsi con coloro che l'hanno aiutata nel passato | 1 | 2 | (11) |
| . Rispettare i diritti dell'individuo | 1 | 2 | (12) |
| . Rispettare la libertà dell'individuo | 1 | 2 | (13) |
| . Altro (specificare) _____ | | | |
| | 1 | 2 | (14) |
| . Non so | 9 | - | (15) |

- DOM. 46 (Mostrare cartellino dom. 46)**
TRA I DUE SEGUENTI TIPI DI PERSONA QUALE PREFERISCE?
- . Il Sig. S. che è una persona affabile e sul cui aiuto si può contare in caso di bisogno ma che non è efficiente sul lavoro 1 (16)
 - . Il Sig. T. che è un lavoratore efficiente ma che non si interessa dei problemi e degli affari degli altri 2
 - . Non so 9
- DOM. 47 (Mostrare cartellino dom. 47)**
E TRA I DUE SEGUENTI TIPI DI PERSONA QUALE PREFERISCE?
- . Una persona per la quale, al momento di prendere una decisione, la cosa più importante è tener fede ai propri principi 1 (17)
 - . Una persona per la quale, al momento di prendere una decisione, la cosa più importante è mantenere l'armonia nei propri rapporti con gli altri 2
 - . Altro (specificare) _____ 8
 - . Non so 9
- DOM. 48 (Mostrare cartellino dom. 48)**
SUPPONIAMO CHE LEI SIA IL PRESIDENTE DI UNA SOCIETA'. LA SOCIETA' DECIDE DI ASSUMERE UNA PERSONA ED EFFETTUA UNA SELEZIONE PER L'ASSUNZIONE. TRA I CANDIDATI C'E' UN SUO PARENTE. LA PERSONA INCARICATA DELLA SELEZIONE VIENE DA LEI E LE DICE: "IL SUO PARENTE CHE HA PRESO PARTE ALLA SELEZIONE E' RISULTATO SECONDO IN GRADUATORIA E PER NOI SIA COLUI CHE HA OTTENUTO IL PRIMO POSTO CHE IL SUO PARENTE ANDREBBERO BENE. COSA DOBBIAMO FARE?" QUALE PERSONA ASSUMEREBBE IN UN CASO DEL GENERE?
- . La persona che è risultata prima in graduatoria 1 (18)
 - . Il suo parente 2
 - . Altro (specificare) _____ 8
 - . Non so 9
- DOM. 49 (Mostrare cartellino dom. 49)**
NELLA PRECEDENTE DOMANDA ABBIAMO PRESUPPOSTO CHE COLUI CHE HA OTTENUTO IL SECONDO POSTO IN GRADUATORIA SIA UN SUO PARENTE. SUPPONIAMO INVECE CHE COLUI CHE E' RISULTATO AL SECONDO POSTO SIA IL FIGLIO DI PERSONE VERSO LE QUALI LEI HA UN DEBITO DI RICONOSCENZA. QUALE PERSONA IN QUESTO CASO SCEGLIEREBBE?
- . La persona che è risultata prima in graduatoria 1 (19)
 - . Il figlio delle persone a cui deve riconoscenza 2
 - . Altro (specificare) _____ 8
 - . Non so 9
- DOM. 50 (Mostrare cartellino dom. 50)**
SUPPONIAMO CHE LEI LAVORI IN UNA DITTA DOVE CI SONO DUE TIPI DI CAPI-SERVIZIO. AIUTANDOSI CON QUESTO CARTELLINO, MI PUO' DIRE SOTTO QUALE CAPO SERVIZIO PREFERIREBBE LAVORARE?
- . Un uomo che si attiene sempre al regolamento e non le chiede mai dei lavori assurdi ma che d'altro canto non farebbe nulla per lei personalmente al di fuori del campo lavorativo 1 (20)
 - . Una persona che delle volte richiede del lavoro supplementare malgrado le norme lo vietino ma che si occupa di lei personalmente anche al di fuori del campo lavorativo 2
 - . Altro (specificare) _____ 8
 - . Non so 9

DOM. 51 LEI DIREBBE CHE NELLA MAGGIORANZA DEI CASI LA GENTE CERCA D' ESSERE D'AIUTO O CHE SI PREOCCUPA SOPRATTUTTO DI SE' STESSA E DEI PROPRI INTERESSI?

- | | | |
|-----------------------------|---|------|
| . Cerca di essere d'aiuto | 1 | (21) |
| . Si preoccupa di se stessa | 2 | |
| . Altro (specificare) _____ | 8 | |
| . Non so | 9 | |

DOM. 52 LEI PENSA CHE LA MAGGIOR PARTE DELLA GENTE CERCHEREBBE DI APPROFITTARSI DI LEI SE NE AVESSE L'OCCASIONE O CERCHEREBBE DI ESSERE CORRETTA?

- | | | |
|----------------------------------|---|------|
| . Cercherebbe di approfittarsi | 1 | (22) |
| . Cercherebbe di essere corretta | 2 | |
| . Altro (specificare) _____ | 8 | |
| . Non so | 9 | |

DOM. 53 IN LINEA GENERALE, LEI DIREBBE CHE CI SI PUO' FIDARE DELLA MAGGIORANZA DELLE PERSONE OPPURE CHE NON SI PUO' MAI ESSERE TROPPO SICURI?

- | | | |
|---------------------------------------|---|------|
| . Ci si può fidare | 1 | (23) |
| . Non si può mai essere troppo sicuri | 2 | |
| . Altro (specificare) _____ | 8 | |
| . Non so | 9 | |

(Mostrare cartellino dom. 54 con la scala d'accordo)

DOM. 54 LE LEGGERO' ALCUNE AFFERMAZIONI CHE ALTRE PERSONE HANNO ESPRESSO SULLA VITA DI OGGI. AIUTANDOSI CON QUESTO CARTELLINO MI PUO' DIRE QUANTO E' D'ACCORDO O MENO CON CIASCUNA AFFERMAZIONE? (Leggere un'affermazione alla volta)

- | | Molto
d'accordo | Abbastanza
d'accordo | Poco
d'accordo | Per niente
d'accordo | Non
so | |
|---|--------------------|-------------------------|-------------------|-------------------------|-----------|------|
| . La maggior parte delle persone fanno di tutto per essere d'aiuto agli altri _____ | 1 | 2 | 3 | 4 | 9 | (24) |
| . Ho l'impressione di far parte di una comunità molto unita _____ | 1 | 2 | 3 | 4 | 9 | (25) |
| . Oggigiorno bisogna vivere alla giornata senza preoccuparsi del domani _____ | 1 | 2 | 3 | 4 | 9 | (26) |
| . Il modo in cui si guadagna da vivere è più importante di quanto si guadagna _____ | 1 | 2 | 3 | 4 | 9 | (27) |
| . Oggigiorno le persone come me si sentono spesso sole e tagliate fuori dalla società _____ | 1 | 2 | 3 | 4 | 9 | (28) |

DOM. 55 IN CHE MISURA PENSA CHE LE SCOPERTE SCIENTIFICHE E LA LORO APPLICAZIONE POSSANO PORTARE AD UN MIGLIORAMENTO DELLA SUA VITA QUOTIDIANA?

- | | | |
|------------------------|---|------|
| . Molto | 1 | (29) |
| . Poco | 2 | |
| . Per niente | 3 | |
| . Non so (non leggere) | 9 | |

DOM. 56 NEGLI ANNI FUTURI, LA DIFFUSIONE DELL'INFORMATICA CONTINUERA' A MODIFICARE ALCUNI ASPETTI DELLE CONDIZIONI DI VITA. LEI CONSIDERA QUESTA EVOLUZIONE COME.....

- | | | |
|---|---|------|
| . Una cosa augurabile | 1 | (30) |
| . Una cosa poco augurabile ma inevitabile | 2 | |
| . Una cosa spiacevole e pericolosa | 3 | |
| . Non so (non leggere) | 9 | |

DOM. 57 (Mostrare cartellino dom. 57)
 COSA PENSA DELLE SEGUENTI AFFERMAZIONI? PER CIASCUNA MI DIA UNA DELLE RISPOSTE
 INDICATA SUL PRESENTE CARTELLINO. (Una risposta per riga)

	Molto d'accordo	Abbastanza d'accordo	Poco d'accordo	Per niente d'accordo	Non so	
. Ci sono delle malattie che vengono curate meglio con metodi che la medicina moderna non riconosce	1	2	3	4	9	(31)
. Un giorno la scienza permetterà di conoscere completamente il funzionamento della mente umana	1	2	3	4	9	(32)
. La maggior parte dei problemi sociali ed economici che affrontiamo oggi verranno risolti grazie al progresso della scienza e della tecnologia	1	2	3	4	9	(33)

DOM. 58 (Mostrare cartellino dom. 58)
 SECONDO LEI, QUANTO E' PROBABILE CHE LE SEGUENTI COSE DIVERRANNO O MENO UNA
 REALTA' NEI PROSSIMI 25 ANNI? PER CIASCUNA VOCE SCELGA UNA DELLE RISPOSTE ELENCAE
 SUL PRESENTE CARTELLINO.

(1 risposta per ogni voce)	Molto probabile	Possibile ma non troppo probabile	Per niente probabile	Non so
. Un metodo sicuro per smaltire i rifiuti delle centrali nucleari	1	2	3	9 (34)
. Una cura per le forme più comuni di cancro	1	2	3	9 (35)
. Una cura per la senilità	1	2	3	9 (36)
. La possibilità di vivere in una base spaziale	1	2	3	9 (37)

DOM. 59 SI SENTE MOLTO PARLARE DI RISPARMI ENERGETICI. LEI PENSA CHE SI TRATTA DI UN
 PROBLEMA.....

. Molto importante	1	(38)
. Importante	2	
. Poco importante	3	
. Per niente importante	4	
. Non so (non leggere)	9	

DOM. 60 LA TUTELA DELL'AMBIENTE COSTITUISCE PER LEI UN PROBLEMA.....

. Molto importante	1	(39)
. Importante	2	
. Poco importante	3	
. Per niente importante	4	
. Non so (non leggere)	9	

DOM. 61 QUAL E' LA PRIMA COSA CHE LE VIENE IN MENTE QUANDO PENSA ALLA CULTURA ITALIANA? MI
 DICA TUTTO CIO' CHE LE VIENE IN MENTE. Sollecitare: QUALCOS'ALTRO?

(40-41)

(42-43)

(44-45)

DOM. 61-1 (Mostrare cartellino dom. 61-1)

A) SECONDO LEI TRA LE QUALITÀ ELENCATE SUL PRESENTĒ CARTELLINO QUALI SONO LE PIÙ TRE PIÙ GRADEVOLI IN UN BAMBINO?

B) QUALE DI QUESTE TRE È LA PIÙ GRADEVOLE DI TUTTE?

	Tre più gradevoli	La più gradevole	
. Che un bambino abbia buone maniere _____	2 _____	1 _____	(46)
. Che un bambino si sforzi per riuscire _____	2 _____	1 _____	(47)
. Che un bambino sia onesto _____	2 _____	1 _____	(48)
. Che un bambino sia ordinato e pulito _____	2 _____	1 _____	(49)
. Che un bambino abbia buon senso e sia giudizioso _____	2 _____	1 _____	(50)
. Che un bambino abbia auto-controllo _____	2 _____	1 _____	(51)
. Che un bambino si comporti come tale e che una bambina faccia altrettanto _____	2 _____	1 _____	(52)
. Che vada d'accordo con gli altri bambini _____	2 _____	1 _____	(53)
. Che obbedisca ai suoi genitori _____	2 _____	1 _____	(54)
. Che sia responsabile _____	2 _____	1 _____	(55)
. Che sia premuroso nei confronti degli altri _____	2 _____	1 _____	(56)
. Che sia interessato al modo ed al perchè avvengono le cose _____	2 _____	1 _____	(57)
. Che sia un bravo studente _____	2 _____	1 _____	(58)
. Non so _____	2 _____	1 _____	(59)

DOM. 61-2 (Mostrare cartellino dom. 61-2)

MOLTE PERSONE SI CHIEDONO CHE SIGNIFICATO ABBAIA LA VITA UMANA. SULLA PRESENTE PAGINA CI SONO DELLE OPINIONI SUI SIGNIFICATI DELLA VITA. UTILIZZANDO LA SCALA PRESENTE SUL CARTELLINO VORREI CHE LEI MI DICESSE, PER OGNI OPINIONE, QUALE S'AVVICINA MAGGIORMENTE ALLA SUA.

A) La vita ha un significato solamente se le viene dato un significato

1. Pienamente d'accordo	1	(60)
2. Abbastanza d'accordo	2	
3. Non ho una ferma opinione in merito	3	
4. Abbastanza in disaccordo	4	
5. Pienamente in disaccordo	5	
6. Non ci ho mai pensato	6	
9. Non so	9	

B) Per me la vita non ha significato

1. Pienamente d'accordo	1	(61)
2. Abbastanza d'accordo	2	
3. Non ho una ferma opinione in merito	3	
4. Abbastanza in disaccordo	4	
5. Pienamente in disaccordo	5	
6. Non ci ho mai pensato	6	
9. Non so	9	

C) Penso che la vita delle persone abbia un chiaro significato e segua una certo schema

1. Pienamente d'accordo	1	(62)
2. Abbastanza d'accordo	2	
3. Non ho una ferma opinione in merito	3	
4. Abbastanza in disaccordo	4	
5. Pienamente in disaccordo	5	
6. Non ci ho mai pensato	6	
9. Non so	9	

DOM. 61-3 CONSIDERANDO CIO' CHE RICEVONO LE ALTRE PERSONE IN ITALIA, LEI PENSA DI RICEVERE: IL GIUSTO, PIU' DI QUANTO SIA GIUSTO, UN PO' MENO O MOLTO MENO DI QUANTO SIA GIUSTO?

. Il giusto	1	(63)
. Più di quanto sia giusto	2	
. Un po' meno di quanto sia giusto	3	
. Molto meno di quanto sia giusto	4	
. Non so	9	

End card 2

N. questionario [] [] [] [] [] (1-4)

N. scheda [3] (5)

DOM. 61-4 (Mostrare cartellino dom. 61-4)

E' SPIACEVOLE PER LEI TROVARSI CON DELLE PERSONE CHE HANNO IDEE, FEDI, CONVINZIONI, PRINCIPI E VALORI DIVERSI DAI SUOI? PER LEI E'.....

- | | | |
|-------------------------|---|-----|
| . Molto spiacevole | 1 | (6) |
| . Abbastanza spiacevole | 2 | |
| . Poco spiacevole | 3 | |
| . Per niente spiacevole | 4 | |
| . Non so | 9 | |

DOM. 61-5 (Mostrare cartellino dom. 61-5)

SUL PRESENTE CARTELLINO FIGURANO VARIE CATEGORIE DI PERSONE. MI INDICHI QUELLE CHE NON LE PIACEREBBE AVERE COME VICINI. (Piu' risposte possibili)

	Non piacerebbe avere come vicini	No
. Persone con una fedina penale sporca	1	2 (7)
. Persone di razza diversa	1	2 (8)
. Studenti	1	2 (9)
. Estremisti di sinistra	1	2 (10)
. Madri nubile	1	2 (11)
. Forti bevitori	1	2 (12)
. Estremisti di destra	1	2 (13)
. Persone con una famiglia numerosa	1	2 (14)
. Persone emotivamente instabili	1	2 (15)
. Membri di sette o culti religiosi minori	1	2 (16)
. Immigrati/lavoratori stranieri	1	2 (17)
. Nessuna di queste categorie	9	- (18)

DOM. 61-6 LE VORREI ESPORRE UN CASO E CHIEDERE LA SUA OPINIONE. CI SONO DUE SEGRETARIE DELLA STESSA ETA' E CHE ESPLETANO IN PRATICA LO STESSO LAVORO. UNA DELLE SEGRETARIE SCOPRE CHE LA SUA COLLEGA GUADAGNA 100.000 LIRE IN PIU' AL MESE E VA A LAMENTARSI DAL SUO CAPO. QUESTO LE RISPONDE CHE E' VERO IN QUANTO L'ALTRA SEGRETARIA E' PIU' VELOCE, PIU' EFFICIENTE E PIU' AFFIDABILE. SECONDO LEI E' GIUSTO CHE UNA SEGRETARIA VENGA PAGATA PIU' DELL'ALTRA?

- | | | |
|------------|---|------|
| . Giusto | 1 | (19) |
| . Ingiusto | 2 | |
| . Non so | 9 | |

DOM. 61-7 ECCO UNA LISTA DI CAMBIAMENTI NEL MODO DI VIVERE CHE POTREBBERO VERIFICARSI NEL PROSSIMO FUTURO. PER OGNUNO MI DICA SE SAREBBE UN BENE CHE AVVENISSE, UN MALE O SE LA COSA NON FA ALCUNA DIFFERENZA.

	Un bene	Un male	Nessuna differenza
. Dare meno importanza ai soldi ed ai beni materiali	1	2	3 (20)
. Che il lavoro abbia un ruolo meno importante nella nostra vita	1	2	3 (21)
. Occuparsi maggiormente dello sviluppo della tecnologia	1	2	3 (22)
. Interessarsi di piu' della compiutezza morale di un individuo	1	2	3 (23)
. Avere maggiore rispetto per l'autorità	1	2	3 (24)
. Dare piu' importanza alla vita familiare	1	2	3 (25)
. Un modo di vivere piu' semplice e piu' naturale	1	2	3 (26)

QUALCHE DOMANDA RIGUARDO LA RELIGIONE.

DOM. 62A LEI SI CONSIDERA APPARTENENTE AD UNA RELIGIONE?

- | | | |
|----------|---|------|
| . Si | 1 | (27) |
| . No | 2 | |
| . Non so | 9 | |

DOM. 62B SE "SI", QUALE?

- | | | |
|---|---|------|
| . Cattolica | 1 | (28) |
| . Protestante (include: Battista, Metodista, Luterana...) | 2 | |
| . Ebraica | 3 | |
| . Musulmana | 4 | |
| . Altro (specificare) | 8 | |
| . Non so | 9 | |

DOM. 63 INDIPENDENTEMENTE DAL TIPO DI RELIGIONE, LEI PENSA CHE SIA IMPORTANTE O MENO AVERE DEI SENTIMENTI RELIGIOSI?

. Importante	1	(29)
. Non importante	2	
. Altro (specificare) _____	8	
. Non so	9	

DOM. 64 ALCUNI DICONO CHE BENCHE' AL MONDO CI SIANO TANTE DIVERSE RELIGIONI, OGNUNA CON IL PROPRIO CREDO, LA GRAN PARTE DEI LORO INSEGNAMENTI SONO PIU' O MENO GLI STESSI. LEI E' D'ACCORDO O MENO SU QUESTA IDEA?

. Sono d'accordo	1	(30)
. Non sono d'accordo	2	
. Altro (specificare) _____	8	
. Non so	9	

DOM. 65 (Mostrare il cartellino dom. 65)
IN POLITICA DI SOLITO DI PARLA DI "DESTRA" E DI "SINISTRA". IN QUALE PUNTO DI QUESTA SCALA COLLOCHEREBBE LA SUA POSIZIONE? (Non suggerire - l'intervistato dovrà situarsi in una casella, se esita, insistere)

Sinistra									Destra
01	02	03	04	05	06	07	08	09	10 (31-32)
				91					(33-34)
				99					

DOM. 66 QUANTO S'INTERESSA DI POLITICA? (Leggere)

. Moltissimo	1	(35)
. Abbastanza	2	
. Non molto	3	
. Per niente	4	
. Non so	9	

DOM. 67 LE CITERO' ALCUNE PAROLE CHE CARATTERIZZANO DELLE IDEE. LEI DIREBBE DI AVERE UN'OPINIONE FAVOREVOLE O SFAVOREVOLE NEI CONFRONTI DI CIASCUNA DELLE SEGUENTI IDEE?

	Favorevole	Dipende	Sfavorevole	Non so	
. Democrazia	1	2	3	9	(36)
. Capitalismo	1	2	3	9	(37)
. Socialismo	1	2	3	9	(38)
. Liberalismo	1	2	3	9	(39)

DOM. 68 IN GENERALE, QUANTO E' SODDISFATTO DEL MODO IN CUI FUNZIONA LA DEMOCRAZIA IN ITALIA? LEI SI DIREBBE.... (Leggere)

. Molto soddisfatto	1	(40)
. Abbastanza soddisfatto	2	
. Non molto soddisfatto	3	
. Per niente soddisfatto	4	
. Non so (non leggere)	9	

DOM. 69 IN BASE ALLE SUA CONOSCENZA DEL SISTEMA GIUDIZIARIO, COME PENSA CHE FUNZIONI OGGI IN ITALIA? LEI DIREBBE..... (Leggere)

. Molto bene	1	(41)
. Abbastanza bene	2	
. Abbastanza male	3	
. Molto male	4	
. Non so	9	

DOM. 70	(Mostrare cartellino dom. 70) SUL PRESENTE CARTELLINO SONO RIPORTATE DUE OPINIONI SUI RAPPORTI TRA DIPENDENTI E DATORI DI LAVORO. QUALE DELLE DUE ESPRIME MEGLIO IL SUO PARERE?		
	. Poichè gli interessi del dipendente e del datore sono completamente all'opposto, è giusto e normale che siano sempre in conflitto tra loro	1	(42)
	. In fondo gli interessi del dipendente e del datore sono gli stessi in quanto se una società guadagna bene può pagare stipendi migliori e pertanto le due parti dovrebbero collaborare	2	
	. Non so	9	
DOM. 71	(Mostrare cartellino dom. 71) SU QUESTO CARTELLINO SONO RIPORTATE TRE OPINIONI SULLA SOCIETA' CONTEMPORANEA. POTREBBE SCEGLIERE QUELLA CHE MEGLIO DESCRIVE LA SUA? (Una sola risposta)		
	. Bisogna cambiare radicalmente l'organizzazione della società in cui viviamo con un'azione rivoluzionaria	1	(43)
	. Bisogna migliorare gradualmente la società in cui viviamo mediante le riforme	2	
	. Bisogna difendere coraggiosamente la società in cui viviamo da tutte le forze sovversive	3	
	. Non so	9	
DOM. 72A	SECONDO LEI LA SOCIETA' ITALIANA HA NECESSITA' DI CAMBIARE PROFONDAMENTE?		
	. Si	1	(44)
	. No	2	
	. Non so	9	
DOM. 72B	PER CAMBIARE LA SOCIETA' SECONDO LE SUE ASPETTATIVE, LEI E' FAVOREVOLE A DELLE RIFORME GRADUALI OPPURE AD UN CAMBIAMENTO RADICALE?		
	. Riforme graduali	1	(45)
	. Cambiamenti radicali	2	
	. Non so	9	
DOM. 73	A QUALE PARTITO POLITICO SI SENTE PIU' VICINO?		
	. Democrazia Cristiana (DC)	01	} (46-47)
	. Partito Democratico della Sinistra (PDS)	02	
	. Rifondazione Comunista	03	
	. Partito Socialista Italiano (PSI)	04	
	. Movimento Sociale Italiano Destra Nazionale (MSI-DN)	05	
	. Lega Lombarda	06	
	. Partito Repubblicano Italiano (PRI)	07	
	. Partito Socialdemocratico Italiano (PSDI)	08	
	. Federazione dei Verdi	09	
	. Lista Pannella	10	
	. Partito Liberale Italiano (PLI)	11	
	. Sudtiroler Volkspartei (SUP)	12	
	. La Rete - Movimento per la Democrazia	13	
	. Altri partiti	14	
	. Nessun partito politico	15	} andare a dom. 75
	. Rifiuta di rispondere	98	
	. Non so	99	
DOM. 74	LEI SI SENTE MOLTO VICINO A QUESTO PARTITO, ABBASTANZA VICINO O NON MOLTO VICINO?		
	. Molto vicino	1	(48)
	. Abbastanza vicino	2	
	. Non molto vicino	3	
	. Non so	9	

DOM. 75A (Mostrare cartellino dom. 75A)

SU QUESTO CARTELLINO E' RIPORTATO UNA SPECIE DI TERMOMETRO CHE VA DA 0 A 100 GRADI. VORREI CHE LEI LO UTILIZZASSE PER ESPRIMERE LA SUA SIMPATIA NEI CONFRONTI DEI VARI PARTITI POLITICI. AL CENTRO DELLA SCALA LA POSIZIONE 50 E' NEUTRA. PIU' SIMPATIA HA PER UN PARTITO, PIU' IL TERMOMETRO SALIRA', MENTRE PIU' E' OSTILE PIU' IL TERMOMETRO SCENDERA' VERSO LO 0. INIZIAMO PARLANDO DELLA D.C. (Leggere tutti i partiti, ruotare l'ordine di lettura)

	Temperatura	
. Democrazia Cristiana (DC)	_ _ _	(49-50-51)
. Partito Democratico della Sinistra (PDS)	_ _ _	(52-53-54)
. Rifondazione Comunista	_ _ _	(55-56-57)
. Partito Socialista Italiano (PSI)	_ _ _	(58-59-60)
. Movimento Sociale Italiano Destra Nazionale (MSI-DN)	_ _ _	(61-62-63)
. Lega lombarda	_ _ _	(64-65-66)
. Altri (specificare) _____	_ _ _	(67-68-69)
. Non so	9 9 9	(70-71-72)

End card 3

N. questionario [] [] [] [] (1-4)
N. scheda [] [] (5)

DEMOGRAFICI

- D. 01 A) LEI PERSONALMENTE E' ISCRITTO AD UN SINDACATO DEI LAVORATORI?
B) E QUALCUN'ALTRO DELLA SUA FAMIGLIA E' ISCRITTO AD UN SINDACATO DEI LAVORATORI?
- | | Si | No | Non so |
|--------------------------------------|----|----|--------|
| . L'intervistato | 1 | 2 | 9 (6) |
| . Un altro componente della famiglia | 1 | 2 | 9 (7) |
- D. 02 LEI E'?
- | | | | |
|-------------------|---|--|-----|
| . Celibe o nubile | 1 | | (8) |
| . Sposato/a | 2 | | |
| . Convivente | 3 | | |
| . Divorziato/a | 4 | | |
| . Separato/a | 5 | | |
| . Vedovo/a | 6 | | |
- D. 03 A QUANTI ANNI HA TERMINATO/INTERROTTO I SUOI STUDI A TEMPO PIENO? (SE E' ANCORA STUDENTE CODICE 00 - ANDARE A DOM. 5)
- Età [] [] (9-10)
- D. 04 DOPO AVER TERMINATO/INTERROTTO I SUOI STUDI A TEMPO PIENO LEI HA.....? (SE "MAI": CODICE 00)
- Leggere: Mesi
- | | |
|--|-----------------|
| . Eventualmente ripreso a studiare? (SE "SI") PER QUANTI MESI? | [] [] (11-12) |
| . Eventualmente frequentato un corso di formazione professionale o lavorato come apprendista? (SE "SI") PER QUANTI MESI? | [] [] (13-14) |
- D. 05 SESSO DELL'INTERVISTATO
- | | | |
|-----------|---|------|
| . Maschio | 1 | (15) |
| . Femmina | 2 | |
- D. 06 QUANTI ANNI HA?
- . Anni [] [] (16-17)
- D. 07 DI QUANTE PERSONE E' COMPOSTA LA SUA FAMIGLIA, LEI COMPRESO?
- | | | |
|----------------------|---|------|
| . 1 persona | 1 | (18) |
| . 2 persone | 2 | |
| . 3 persone | 3 | |
| . 4 persone | 4 | |
| . 5 persone | 5 | |
| . 6 persone | 6 | |
| . 7 persone | 7 | |
| . 8 persone | 8 | |
| . 9 persone ed oltre | 9 | |
- D. 08 QUANTI BAMBINI AL DI SOTTO DEI 15 ANNI VIVONO NELLA SUA FAMIGLIA?
- | | | |
|----------------------|----|---------|
| . 1 bambino | 01 | (19-20) |
| . 2 bambini | 02 | |
| . 3 bambini | 03 | |
| . 4 bambini | 04 | |
| . 5 bambini | 05 | |
| . 6 bambini | 06 | |
| . 7 bambini | 07 | |
| . 8 bambini | 08 | |
| . 9 bambini ed oltre | 09 | |
| . Nessuno | 10 | |

D. 09 LEI O QUALCUNO NELLA SUA FAMIGLIA POSSIEDE.....? (LEGGERE)

	<u>Si</u>	<u>No</u>	
.....un televisore a colori	1	0	(21-30)
.....un videoregistratore	1	0	
.....una videocamera	1	0	
.....una radiosveglia	1	0	
.....un personal/home computer	1	0	
.....una macchina fotografica	1	0	
.....un trapano elettrico	1	0	
.....una friggitrice elettrica	1	0	
.....due o più automobili	1	0	
.....una seconda casa o una casa al mare, in montagna, o in campagna	1	0	

Col. 31-40 blank

D. 10 A) QUAL E' LA SUA ATTUALE OCCUPAZIONE?
B) (SE ATTUALMENTE NON ESERCITA ALCUNA ATTIVITA' RETRIBUITA COD. 1-4 A DOM. 10A) HA ESERCITATO IN PASSATO QUALCHE ATTIVITA' RETRIBUITA? QUAL E' STATA LA SUA ULTIMA OCCUPAZIONE?

	Dom. 10A Occupazione attuale	Dom. 10B Ultima occupazione	
<u>Non attivo</u>			
. Responsabile degli acquisti correnti e della conduzione della casa o non esercita attualmente alcuna occupazione	01	----	(41-42)
. Studente	02	----	(43-44)
. Disoccupato, temporaneamente senza occupazione	03	----	
. Pensionato o inabile al lavoro	04	----	
<hr/>			
<u>Lavoratori indipendenti</u>			
. Agricoltore	05	01	
. Pescatore	06	02	
. Libero professionista (avvocato, medico, commercialista, architetto)	07	03	
. Proprietario di un negozio, commerciante, artigiano o altro tipo di lavoro indipendente	08	04	
. Industriale, proprietario (unico o socio) di un'azienda	09	05	
<u>Lavoratori dipendenti</u>			
. Professioni liberali dipendenti (medico, avvocato..)	10	06	
. Quadri superiori/altri dirigenti (direttori generali, amministratori delegati, altri direttori)	11	07	
. Quadri intermedi (funzionari, insegnanti....)	12	08	
. Impiegati di concetto (che lavorano per lo più davanti ad una scrivania)	13	09	
. Impiegati che non lavorano davanti ad una scrivania (venditori, autisti, rappresentanti)	14	10	
. Impiegati che non lavorano davanti ad una scrivania ma che offrono dei servizi (ospedali, ristoranti, polizia, pompieri)	15	11	
. Supervisore	16	12	
. Operai specializzati	17	13	
. Altri operai (non specializzati), personale di servizio	18	14	
. Non ho mai esercitato alcuna attività retribuita	----	15	

(A CHI ATTUALMENTE ESERCITA UN'ATTIVITA' LAVORATIVA/LAVORO AUTONOMO O NO : CODICI 05-18 A DOM. 10A.)

D. 11 NORMALMENTE, QUANTE ORE LAVORA ALLA SETTIMANA?

Ore lavorative settimanali (45-46-47)

D. 12 (A COLORO CHE SVOLGONO O HANNO SVOLTO UN'ATTIVITA' LAVORATIVA/LAVORO AUTONOMO: COD. DA 05 A 18 A D. 10A OPPURE DA 01 A 14 A D. 10B) QUANTE PERSONE LAVORANO/LAVORAVANO SOTTO LA SUA RESPONSABILITA'?

. Nessuna	1	(48)
. Da 1 a 4	2	
. Da 5 a 9	3	
. 10 ed oltre	4	
. Non so	9	

D. 13 (A COLORO CHE SVOLGONO O HANNO SVOLTO UN' ATTIVITA' LAVORATIVA/LAVORO DIPENDENTE: CODICI DA 10 A 18 A D. 10A OPPURE DA 06 A 14 A D. 10B) IN QUALE SETTORE DI ATTIVITA' LEI LAVORA O HA LAVORATO?

. Pubblico impiego	1	(49)
. Industria statale	2	
. Industria privata	3	
. Servizi privati	4	
. Non so (Non e' possibile la codifica da parte dell'intervistatore)	9	

D. 14 LEI E'.....

	Si	No	
Leggere:			
A) Il/la principale responsabile nella Sua famiglia degli acquisti correnti e della conduzione della casa	1	2	(50)
B) La persona che contribuisce in maggior misura al reddito familiare	1	2	(51)

(PORRE LE DOMANDE DALLA 15 ALLA 17 COMPRESA SE L'INTERVISTATO/A NON E' LA PERSONA CHE CONTRIBUISCE IN MAGGIOR MISURA AL REDDITO FAMILIARE - COD. 2 A DOM. 14B - ALTRIMENTI PASSARE A DOM. 18)

D. 15 A QUANTI ANNI LA PERSONA CON IL REDDITO PIU' ALTO, CIOE' IL CAPOFAMIGLIA, HA TERMINATO/INTERROTTO I SUOI STUDI A TEMPO PIENO? (SE STUDIA ANCORA CODIFICARE 00)

Anni (52-53)

D. 16 A) (SE "NO" A DOM. 14B). QUAL E' L'ATTUALE PROFESSIONE DELLA PERSONA CHE IN FAMIGLIA HA IL REDDITO PIU' ALTO?

B) (SE ATTUALMENTE NON ESERCITA ALCUNA ATTIVITA' RETRIBUITA - CODICI 01-04 A DOM. 16A) HA ESERCITATO IN PASSATO QUALCHE ATTIVITA' RETRIBUITA? QUAL E' STATA LA SUA ULTIMA OCCUPAZIONE?

	Dom. 16A Occupazione attuale	Dom. 16B Ultima occupazione
<u>Non attivo</u>		
. Responsabile degli acquisti correnti e della conduzione della casa o non esercita attualmente alcuna occupazione	01	---- (54-55)
. Studente	02	---- (56-57)
. Disoccupato, temporaneamente senza occupazione	03	----
. Pensionato o inabile al lavoro	04	----
<u>Lavoratori indipendenti</u>		
. Agricoltore	05	01
. Pescatore	06	02
. Libero professionista (avvocato, medico, commercialista, architetto)	07	03
. Proprietario di un negozio, commerciante, artigiano o altro tipo di lavoro indipendente	08	04
. Industriale, proprietario (unico o socio) di un'azienda	09	05
<u>Lavoratori dipendenti</u>		
. Professioni liberali dipendenti (medico, avvocato..)	10	06
. Quadri superiori/altri dirigenti (direttori generali, amministratori delegati, altri direttori)	11	07
. Quadri intermedi (funzionari, insegnanti....)	12	08
. Impiegati di concetto (che lavorano per lo più davanti ad una scrivania)	13	09
. Impiegati che non lavorano davanti ad una scrivania (venditori, autisti, rappresentanti)	14	10
. Impiegati che non lavorano davanti ad una scrivania ma che offrono dei servizi (ospedali, ristoranti, polizia, pompieri)	15	11
. Supervisore	16	12
. Operai specializzati	17	13
. Altri operai (non specializzati), personale di servizio	18	14
. Non ho mai esercitato alcuna attività retribuita	----	15

D. 17 (A COLORO CHE SVOLGONO O HANNO SVOLTO ATTIVITA' RETRIBUITE O UN LAVORO AUTONOMO: COD. DA 05 A 18 A D. 16A OPPURE DA 01 A 14 A D. 16B) QUANTE PERSONE LAVORANO/LAVORAVANO SOTTO LA SUA RESPONSABILITA'?

. Nessuna	1	(58)
. Da 1 a 4	2	
. Da 5 a 9	3	
. 10 ed oltre	4	
. Non so	9	

(A TUTTI)

D. 18 SE LE CHIEDESSERO DI UTILIZZARE UNA DI QUESTE CINQUE CATEGORIE PER DEFINIRE IL SUO CETO SOCIALE, A QUALE DI QUESTE LEI DIREBBE DI APPARTENERE? (MOSTRARE CARTELLINO D. 18 - UNA SOLA RISPOSTA)

. Classe media	1	(59)
. Classe medio-inferiore	2	
. Classe operaia	3	
. Classe superiore	4	
. Classe medio-superiore	5	
. Rifiuta di rispondere	6	
. Altra risposta (precisare)		
	8	
. Non so	9	

D. 19 LEI ABITA IN UNA VILLETTA O IN UN APPARTAMENTO? L'APPARTAMENTO/VILLETTA IN CUI VIVE E' DI PROPRIETA' SUA O DELLA SUA FAMIGLIA, OPPURE IN AFFITTO? (MOSTRARE CARTELLINO D. 19)

- | | | |
|--|---|------|
| . Una villetta di proprieta' o con mutuo | 1 | (60) |
| . Un appartamento di proprieta' o con mutuo | 2 | |
| . Una villetta affittata da un privato | 3 | |
| . Un appartamento affittato da un privato | 4 | |
| . Una villetta di proprieta' del comune in affitto | 5 | |
| . Un appartamento di proprieta' del comune in affitto | 6 | |
| . Altro (stanza in affitto, pensionato, case a riscatto, ecc.) | 7 | |
| . Non so | 9 | |

D. 20 LEI DEFINIREBBE LA LOCALITA' IN CUI ABITA (LEGGERE):

- | | | |
|--|---|------|
| . Un'area prevalentemente agricola (o piccolo comune, frazione, borgata, casa isolata) | 1 | (61) |
| . Una piccola o media citta' | 2 | |
| . Una grande citta' | 3 | |
| . Non so | 9 | |

D. 21 LEI SI CONSIDERA APPARTENENTE AD UNA RELIGIONE? (SE "SI") A QUALE?

- | | | | |
|-----------------------|----|-------------------|---------|
| . Cattolica | 01 | } PASSARE A D. 22 | (62-63) |
| . Protestante | 02 | | |
| . Ortodossa | 03 | | |
| . Ebraica | 04 | | |
| . Musulmana | 05 | } PASSARE A D. 23 | |
| . Buddista | 06 | | |
| . Induista | 07 | | |
| . Altro (specificare) | 08 | | |
| _____ | 09 | | |
| . Nessuna | 09 | | |
| . Non so | 99 | | |

(A QUELLI CHE HANNO RISPOSTO CON COD. DA 01 A 04 A D. 21)

D. 22 LEI ASSISTE ALLE FUNZIONI RELIGIOSE PIU' VOLTE ALLA SETTIMANA, UNA VOLTA ALLA SETTIMANA, POCHE VOLTE ALL'ANNO, UNA VOLTA ALL'ANNO O MAI? (UNA SOLA RISPOSTA)

- | | | |
|-----------------------------|---|------|
| . Piu' volte alla settimana | 1 | (64) |
| . Una volta a settimana | 2 | |
| . Poche volte all'anno | 3 | |
| . Una volta all'anno o meno | 4 | |
| . Mai | 5 | |
| . Non so | 9 | |

(A TUTTI)

D. 23 SIA CHE LEI SEGUA OPPURE NO PRATICHE RELIGIOSE, SI DEFINIREBBE.....?

- | | | |
|---|---|------|
| . Una persona religiosa | 1 | (65) |
| . Una persona non religiosa | 2 | |
| . Un agnostico (indifferente ai problemi religiosi) | 3 | |
| . Un ateo (che nega l'esistenza di Dio) | 4 | |
| . Non so | 9 | |

D. 24

AVREMMO BISOGNO DI ALCUNE INFORMAZIONI SUL REDDITO DELLA SUA FAMIGLIA PER POTER ANALIZZARE I RISULTATI DI QUESTO STUDIO IN FUNZIONE DELLE DIVERSE TIPOLOGIE FAMILIARI. SU QUESTO CARTELLINO SONO ELENCALE DELLE CLASSI DI REDDITO. (MOSTRARE IL CARTELLINO DOM. D. 24)

LEI DOVREBBE SOMMARE TUTTE LE ENTRATE E GLI STIPENDI MENSILI DI TUTTI I COMPONENTI DELLA FAMIGLIA, TUTTE LE PENSIONI ANCHE SOCIALI E LE EVENTUALI RENDITE DA ASSICURAZIONI O DA LOCAZIONE (AFFITTI).....

LE ASSICURO CHE LA SUA RISPOSTA, COME TUTTE QUELLE CHE CI HA DATO NEL CORSO DI QUESTA INTERVISTA, SARA' RITENUTA DEL TUTTO CONFIDENZIALE E QUALUNQUE RIFERIMENTO A LEI O ALLA SUA FAMIGLIA SARA' IMPOSSIBILE.

LA PREGO DI RISPONDERMI CON LA LETTERA DELL'ALFABETO RIPOLEATA A FIANCO DELLA CLASSE DI REDDITO LORDO CHE CORRISPONDE A QUELLO DELLA SUA FAMIGLIA, PRIMA DI QUALUNQUE DEDUZIONE, TASSE O ALTRO.

B. Fino a 750.000	01	(66-67)
T. Da 750.001 a 1.000.000	02	
P. Da 1.000.001 a 1.500.000	03	
F. Da 1.500.001 a 1.750.000	04	
E. Da 1.750.001 a 2.000.000	05	
H. Da 2.000.001 a 2.500.000	06	
L. Da 2.500.001 a 3.000.000	07	
N. Da 3.000.001 a 3.500.000	08	
R Da 3.500.001 a 4.000.000	09	
M. Da 4.000.001 a 4.500.000	10	
S. Da 4.500.001 a 5.000.000	11	
K. Oltre 5.000.000	12	
. Rifiuta	98	
. Non so	99	

End card 4

PROTOCOLLO D'INTERVISTA

N. questionario [] [] [] [] [] (1-4)
 N. scheda [] [] [] (5)

P. 01 DATA

Giorno [] [] [] Mese [] [] []
 (6-7) (8-9)

P. 02 ORA INIZIO INTERVISTA

[] [] [] [] [] []
 Ora Minuti
 (10-11-12-13)

P. 03 DURATA INTERVISTA IN MINUTI

Minuti [] [] [] []
 (14-15-16)

P. 04 NUMERO DI PERSONE PRESENTI DURANTE L'INTERVISTA

. Due (l'intervistatore e l'intervistato) (17) 1
 . Tre 2
 . Quattro 3
 . Cinque o più persone 4

P. 05 GRADO DI COLLABORAZIONE DELL'INTERVISTATO/A

. Eccellente 1 (18)
 . Buono 2
 . Medio 3
 . Mediocre 4

P. 06 AMPIEZZA CENTRO

. < 10.000 1 (19)
 . 10.001 - 100.000 2
 . 100.001 - 250.000 3
 . > 250.000 abitanti 4

P. 07 REGIONE (20-21)

. Valle d'Aosta e Piemonte 01
 . Liguria 02
 . Lombardia (escl. provincia di Milano) 03
 . Milano e provincia 04
 . Trentino 05
 . Veneto 06
 . Friuli Venezia Giulia 07
 . Emilia 08
 . Toscana 09
 . Marche 10
 . Umbria 11
 . Lazio 12
 . Molise e Abruzzi 13
 . Campania 14
 . Puglie 15
 . Basilicata 16
 . Calabria 17
 . Sicilia 18
 . Sardegna 19

P. 08 CODICE AVVIAMENTO POSTALE

[] [] [] [] [] [] (22-26)

P. 09 N. PUNTO DI CAMPIONAMENTO

[] [] [] [] (27-29)

P. 10 N. INTERVISTATORE

[] [] [] [] (30-32)

P. 11 PONDERAZIONE

[] [] [] [] [] [] [] [] [] [] (33-40)

.....
 NOME E COGNOME DELLA PERSONA INTERVISTATA _____

INDIRIZZO _____

COMUNE _____ PROVINCIA _____ TEL. _____

.....
 DICHIARO CHE LA PRESENTE INTERVISTA E' STATA ESEGUITA DA ME PERSONALMENTE SECONDO LE ISTRUZIONI CONTENUTE, NONCHE' IN BASE ALLE NORME CHE REGOLANO LA COLLABORAZIONE TRA GLI INTERVISTATORI E GLI ISTITUTI MEMBRI DELL'AISM ALLEGATE ALLA PROPOSTA DI INCARICO, DELLE QUALI DICHIARO DI AVERE PIENA CONOSCENZA. APPROVO IN PARTICOLARE, AI SENSI E PER GLI EFFETTI DEGLI ARTICOLI 1341 E 1342 C.C., LE CLAUSOLE 8, 9 E 11 IVI CONTENUTE.

Data intervista _____ Firma intervistatore _____

End card 5

Interview no.
 Card 4

DEMOGRAPHICS

- QU. 01 A) ARE YOU PERSONALLY INSCRIBED TO A LABOUR UNION?
 B) IS SOMEONE ELSE OF YOUR FAMILY INSCRIBED TO A LABOUR UNION?
- | | Yes | No | Don't know |
|--------------------------------|-----|----|------------|
| . The respondent | 1 | 2 | 9 |
| . Another member of the family | 1 | 2 | 9 |
- QU. 02 YOU ARE?
- | | |
|---------------------|---|
| . Single | 1 |
| . Married | 2 |
| . Living as married | 3 |
| . Divorced | 4 |
| . Separated | 5 |
| . Widowed | 6 |
- QU. 03 HOW OLD WERE YOU WHEN YOU FINISHED/INTERRUPTED FULL-TIME EDUCATION? (IF STILL A STUDENT CODE 00 - GO TO QU.5)
 Age
- QU. 04 AFTER HAVING FINISHED/INTERRUPTED YOUR FULL-TIME EDUCATION YOU HAVE (IF "NEVER": CODE 00)
- | Read: | (IF YES) FOR HOW MANY MONTHS? | Month |
|---|-------------------------------|---|
| . Eventually have taken up studying? | | <input type="text"/> <input type="text"/> |
| . Eventually followed a professional training course or worked as apprentice? | (IF YES) FOR HOW MANY MONTHS? | <input type="text"/> <input type="text"/> |
- QU. 05 SEX OF THE RESPONDENT
- | | |
|----------|---|
| . Male | 1 |
| . Female | 2 |
- QU. 06 HOW OLD ARE YOU?
 Years
- QU. 07 HOW MANY PEOPLE LIVE IN YOUR HOUSEHOLD, INCLUDING YOURSELF?
- | | |
|----------------------|---|
| . 1 person | 1 |
| . 2 persons | 2 |
| . 3 persons | 3 |
| . 4 persons | 4 |
| . 5 persons | 5 |
| . 6 persons | 6 |
| . 7 persons | 7 |
| . 8 persons | 8 |
| . 9 persons and more | 9 |
- QU. 08 HOW MANY CHILDREN BELOW 15 YEARS OF AGE LIVE IN YOUR HOUSEHOLD?
- | | |
|-----------------------|----|
| . 1 child | 01 |
| . 2 children | 02 |
| . 3 children | 03 |
| . 4 children | 04 |
| . 5 children | 05 |
| . 6 children | 06 |
| . 7 children | 07 |
| . 8 children | 08 |
| . 9 children and more | 09 |
| . None | 10 |

QU. 09 DO YOU OR ANYONE ELSE IN YOUR HOUSEHOLD OWN? (READ)

	Yes	No
... a colour TV set	1	0
... a video recorder	1	0
... a video camera	1	0
... a radio- clock	1	0
... a PC/home computer	1	0
... a still camera	1	0
... an electric drill	1	0
... an electric deep fat fryer	1	0
... 2 or more cars	1	0
... a second home or a holiday home/flat	1	0

QU. 10 A) WHAT IS YOUR CURRENT OCCUPATION?
 B) (IF PRESENTLY NOT HAVING PAID WORK CODE 1-4 Q.10A) IN THE PAST HAVE DID YOU HAVE A PAID WORK? WHICH WAS YOUR LAST OCCUPATION?

	QU. 10A Current occupation	QU. 10B Last occupation
<u>Non active</u>		
. Responsible for ordinary shopping and looking after the home, or without any current occupation, not working	01	----
. Student	02	----
. Unemployed or temporarily not working	03	----
. Retired or unable to work through illness	04	----
<u>Self employed</u>		
. Farmer	05	01
. Fisherman	06	02
. Professional (lawyer, medical practitioner, accountant, architect...)	07	03
. Owner of a shop, craftsmen, other self employed person	08	04
. Business proprietors, owner (full or partner) of a company	09	05
<u>Employed</u>		
. Employed professional (employed doctor, lawyer, accountant, architect)	10	06
. General management, director or top management (managing directors, director general, other director)	11	07
. Middle management, other management (department head, junior manager, teacher, technician)	12	08
. Employed position, working mainly at a desk	13	09
. Employed position, not at a desk but travelling (salesmen, driver,...)	14	10
. Employed position, not at a desk, but in a service job (hospital, restaurant, police, fireman,...)	15	11
. Supervisor	16	12
. Skilled manual worker	17	13
. Other unskilled manual worker, servant	18	14
. Never did any paid work	----	15

(TO THOSE WHO PRESENTLY HAVE A WORKING ACTIVITY/SELF-EMPLOYMENT OR NOT: CODES 05-18 AT Q.10A)

QU. 11 NORMALLY, HOW MANY HOURS DO YOU WORK PER WEEK?

Weekly working hours [][][][][]

QU. 12 (TO THOSE WHO DO OR DID PAID WORK OR SELF-EMPLOYED: COD. 05 TO 18 AT QU. 10A OR COD. 01 TO 14 AT QU. 10B) HOW MANY PEOPLE ARE WORKING/WERE WORKING UNDER YOUR SUPERVISION?

. None	1
. 1 to 4	2
. 5 to 9	3
. 10 and over	4
. DK	9

QU. 13 (TO THOSE WHO DO OR DID PAID WORK EMPLOYED: COD. 10 TO 18 AT QU. 10A OR COD. 06 TO 14 AT QU. 10B) IN WHICH SECTOR OF ACTIVITY DO/DID YOU WORK?

. Civil servant	1
. Public industry	2
. Private Industry	3
. Private services	4
. DK (Coding is not possible)	9

QU. 14 ARE YOU.....?

Read out:	Yes	No
A) In your household the person mainly responsible for ordinary shopping and looking after the home	1	2
B) In your household the person who contributes most to the household?	1	2

(ASK QU.15 TO 17 IF THE RESPONDENT IS NOT CONTRIBUTING MOST TO THE HOUSEHOLD INCOME: COD. 2 AT QU. 14B - OTHERS GO TO Q. 19)

QU. 15 HOW OLD WAS THE PERSON WHO CONTRIBUTES MOST TO THE HOUSEHOLD INCOME WHEN HE/SHE STOPPED FULL-TIME EDUCATION? (IF STILL STUDYING CODE 00)

Years

QU. 16 A) (IF NO AT QU.14B). WHAT IS THE CURRENT OCCUPATION OF THE PERSON WHO CONTRIBUTES MOST TO THE HOUSEHOLD INCOME?

B) (IF NOT DOING ANY PAID WORK CURRENTLY CODE 01-04 IN QU.16A) DID HE/SHE DO ANY PAID WORK IN THE PAST? WHAT WAS HIS/HER LAST OCCUPATION?

	QU. 16A Current occupation	QU. 16B Last occupation
<u>Non active</u>		
. Responsible for ordinary shopping and looking after the home, or without any current occupation, not working	01	----
. Student	02	----
. Unemployed or temporarily not working	03	----
. Retired or unable to work through illness	04	----
<u>Self employed</u>		
. Farmer	05	01
. Fisherman	06	02
. Professional (lawyer, medical practitioner, accountant, architect...)	07	03
. Owner of a shop, craftsmen, other self employed person	08	04
. Business proprietors, owner (full or partner) of a company	09	05
<u>Employed</u>		
. Employed professional (employed doctor, lawyer, accountant, architect)	10	06
. General management, director or top management (managing directors, director general, other director)	11	07
. Middle management, other management (department head, junior manager, teacher, technician)	12	08
. Employed position, working mainly at a desk	13	09
. Employed position, not at a desk but travelling (salesmen, driver,...)	14	10
. Employed position, not at a desk, but in a service job (hospital, restaurant, police, fireman,...)	15	11
. Supervisor	16	12
. Skilled manual worker	17	13
. Other unskilled manual worker, servant	18	14
. Never did any paid work	----	15

QU. 17 (TO THOSE WHO DO OR DID PAID WORK OR WERE SELF-EMPLOYED: CODES 05 TO 18 IN QU. 16A OR CODES 01 TO 14 IN QU. 16B) HOW MANY PEOPLE ARE WORKING/WERE WORKING UNDER HIS/HER SUPERVISIONS?

. None	1
. From 1 to 4	2
. From 5 to 9	3
. 10 and over	4
. DK	9

(ASK ALL)

QU. 18 IF YOU WERE ASKED TO CHOOSE ONE OF THESE FIVE NAMES FOR YOUR SOCIAL CLASS, WHICH WOULD YOU SAY YOU BELONG TO? (SHOW CARD QU. 18 - ONE ANSWER ONLY)

. Middle class	1
. Lower middle class	2
. Working class	3
. Upper class	4
. Upper middle class	5
. Refuses to be classified	6
. Other (specify)	8
. DK	9

QU. 19 DO YOU LIVE IN A HOUSE OR AN APARTMENT? AND DO YOU OR YOUR FAMILY OWN OR RENT YOUR HOME? (SHOW CARD QU. 19)

- . Own outright or have mortgage on a house 1
- . Own outright or have mortgage on an apartment 2
- . Rent a privately owned house 3
- . Rent a privately owned apartment 4
- . Rent a Council, Municipal or Corporation house 5
- . Rent a Council, Municipal or Corporation apartment 6
- . Other (rent a room, live as a lodger, squatter, etc.) 7
- . DK 9

QU. 20 WOULD YOU SAY YOU LIVE IN A..... (READ OUT):

- . Rural area or village 1
- . Small or middle size town 2
- . Large town 3
- . DK 9

QU. 21 DO YOU CONSIDER YOURSELF AS BELONGING TO A PARTICULAR RELIGION? (IF "YES") WHICH ONE?

- . Roman catholic 01
 - . Protestant 02
 - . Orthodox 03
 - . Jewish 04
- } GO TO QU. 22
- . Muslim 05
 - . Buddhist 06
 - . Hindu 07
- } GO TO QU. 23
- . Other (specify) _____ 08
 - . None 09
 - . DK 99

(TO THOSE WITH CODE 01 TO 04 ON QU. 21)

QU. 22 DO YOU ATTEND RELIGIOUS SERVICES SEVERAL TIMES A WEEK, ONCE A WEEK, A FEW TIMES A YEAR, ONCE A YEAR OR LESS OR NEVER? (ONE ANSWER ONLY)

- . Several times a week 1
- . Once a week 2
- . A few times a year 3
- . Once a year or less 4
- . Never 5
- . DK 9

(ASK ALL)

QU. 23 WHETHER YOU DO OR YOU DON'T FOLLOW RELIGIOUS PRACTICES, WOULD YOU SAY THAT YOU ARE...?

- . Religious 1
- . Not religious 2
- . An agnostic 3
- . An atheist (deny the existence of God) 4
- . DK 9

U. 24

WE ALSO NEED SOME INFORMATION ABOUT THE INCOME OF THIS HOUSEHOLD TO BE ABLE TO ANALYSE THE SURVEY RESULTS FOR DIFFERENT TYPES OF HOUSEHOLDS. HERE IS A LIST OF INCOME GROUPS. (SHOW CARD QU.24)

PLEASE COUNT THE TOTAL WAGES AND SALARIES PER MONTH OF ALL MEMBERS OF THIS HOUSEHOLD; ALL PENSIONS AND SOCIAL INSURANCE BENEFITS; CHILD ALLOWANCES AND ANY OTHER INCOME LIKE RENTS, ETC.... OF COURSE, YOU ANSWER AS ALL OTHER REPLIES IN THIS INTERVIEW WILL BE TREATED CONFIDENTIALLY AND REFFERING BACK TO YOU OR YOUR HOUSEHOLD WILL BE IMPOSSIBLE. PLEASE GIVE ME THE LETTER OF THE INCOME GROUP YOUR HOUSEHOLD WILL FALLS INTO BEFORE TAX AND OTHER DEDUCTIONS.

B. Up to a 750.000	01
T. From 750.001 to 1.000.000	02
P. From 1.000.001 to 1.500.000	03
F. From 1.500.001 to 1.750.000	04
E. From 1.750.001 to 2.000.000	05
H. From 2.000.001 to 2.500.000	06
L. From 2.500.001 to 3.000.000	07
N. From 3.000.001 to 3.500.000	08
R. From 3.500.001 to 4.000.000	09
M. From 4.000.001 to 4.500.000	10
S. From 4.500.001 to 5.000.000	11
K. Over 5.000.000	12
. Refusal	98
. DK	99

INTERVIEW PROTOCOLE

Interview no. _____ (1-4)
Card [5] (5)

P. 01 DATE OF INTERVIEW

Day _____ (6-7) Month _____ (8-9)

P. 02 TIME OF THE BEGINNING OF THE INTERVIEW

_____ (10-11-12-13)
Hour Minutes

P. 03 NUMBER OF MINUTES THE INTERVIEW LASTED

Average _____ (14-15-16)

P. 04 NUMBER OF PERSONS PRESENT DURING THE INTERVIEW

. Two (interviewer and respondent) (17) 1
. Three 2
. Four 3
. Five or more 4

P. 05 RESPONDENT COOPERATION

. Excellent 1 (18)
. Fair 2
. Average 3
. Bad 4

P. 06 SIZE OF LOCALITY

. < 10.000 1 (19)
. 10.001 - 100.000 2
. 100.001 - 250.000 3
. > 250.000 INHABITANTS 4

P. 07 REGION (20-21)

. Valle d'Aosta e Piemonte 01
. Liguria 02
. Lombardia (escl. provincia di Milano) 03
. Milano e provincia 04
. Trentino 05
. Veneto 06
. Friuli Venezia Giulia 07
. Emilia 08
. Toscana 09
. Marche 10
. Umbria 11
. Lazio 12
. Molise e Abruzzi 13
. Campania 14
. Puglia 15
. Basilicata 16
. Calabria 17
. Sicilia 18
. Sardegna 19

P. 08 POSTAL CODE

_____ (22-26)

P. 09 SAMPLE POINT NUMBER

_____ (27-29)

P. 10 INTERVIEWER NUMBER

_____ (30-32)

P. 11 WEIGHTING FACTOR

_____ (33-40)

CARTELLINO
DOM. 8

- . Mantenimento dell'ordine nel paese
- . Aumentare la partecipazione dei cittadini nelle decisioni di governo
- . Combattere l'aumento dei prezzi
- . Garantire la libertà di parola

**CARTELLINO
DOM. 9**

- . Molto

- . Abbastanza

- . Poco

- . Per niente

**CARTELLINO
DOM. 16**

Alto

Basso

1

2

3

4

5

CARTELLINO
DOM. 19

- . Indipendentemente da quanto denaro uno abbia, la vita senza lavoro è senza senso
- . Finchè ci sono i soldi, la vita ha un senso anche senza un lavoro

CARTELLINO
DOM. 20

- . Un buono stipendio per non avere preoccupazioni monetarie

- . Un lavoro sicuro senza rischio di cessazione di attività o di disoccupazione

- . Lavorare con persone che le piacciono

- . Fare un lavoro importante che le dia un senso di appagamento

CARTELLINO
DOM. 22

- . Lavorare sodo e diventare ricco
- . Studiare seriamente e farsi un nome
- . Non pensare nè ai soldi nè al successo, ma vivere secondo i propri gusti
- . Vivere alla giornata allegramente e senza pensieri
- . Resistere a tutte le insidie del mondo e condurre una vita pura e giusta
- . Mai pensare a sè stesso, consacrarsi interamente al bene della società

CARTELLINO
DOM. 24

- . Un problema serio

- . Un problema

- . Non é un problema serio

- . Non é affatto un problema

CARTELLINO
DOM. 25

- . La formica manda via la cicala dicendo che ha avuto ciò che si merita

- . La formica prima fa la morale alla cicala dicendo "sei in torto perchè sei stata pigra, dovresti lavorare di piu' " e poi spartisce con lei il cibo

**CARTELLINO
DOM. 27**

Per niente
importante

Molto
importante

1

2

3

4

5

6

7

CARTELLINO
DOM. 28 - 29

- . Molto soddisfatto/a

- . Abbastanza soddisfatto/a

- . Nè soddisfatto nè insoddisfatto/a

- . Abbastanza insoddisfatto/a

- . Molto insoddisfatto/a

CARTELLINO
DOM. 31

- . Dà loro la possibilità di vivere
- . Toglie loro il senso di responsabilità

CARTELLINO
DOM. 38

- . Il matrimonio è indissolubile
- . Il matrimonio può essere sciolto solo in casi molto gravi
- . Il matrimonio può essere sciolto semplicemente con il reciproco accordo dei coniugi

CARTELLINO
DOM. 39

- . Sono mansioni delle donne
- . Alcune mansioni sono piu' adatte alla donna
- . Tutte le mansioni dovrebbero essere indifferentemente divise tra l'uomo e la donna

CARTELLINO
DOM. 41

- . Lasciare tutto ed andare subito dal Sig. B
- . Per quanto possa essere preoccupato, dovrebbe andare alla riunione

CARTELLINO
DOM. 42

- . Lasciare tutto e andare subito da suo padre
- . Per quanto possa essere preoccupato per suo padre, dovrebbe andare alla riunione

CARTELLINO
DOM. 43

- . Per essere felice, l'uomo deve conformarsi alla natura

- . Per essere felice, l'uomo deve servirsi della natura

- . Per essere felice, l'uomo deve dominare la natura

CARTELLINO
DOM. 44

- . Un paese potrà progredire soltanto se si rendono felici gli individui
- . Soltanto se il paese progredisce gli individui potranno essere felici
- . Far progredire il paese e rendere felici gli individui è in sostanza la stessa cosa

CARTELLINO
DOM. 45

- . Affetto e rispetto per i genitori
- . Sdebitarsi con coloro che l'hanno aiutata nel passato
- . Rispettare i diritti dell'individuo
- . Rispettare la libertà dell'individuo

CARTELLINO
DOM. 46

- . Il Sig. S. che è una persona affabile e sul cui aiuto si può contare in caso di bisogno ma che non é efficiente sul lavoro
- . Il Sig. T. che è un lavoratore efficiente ma che non si interessa dei problemi e degli affari degli altri

CARTELLINO
DOM. 47

- . Una persona per la quale, al momento di prendere una decisione, la cosa più importante é tener fede ai propri principi

- . Una persona per la quale, al momento di prendere una decisione, la cosa più importante é mantenere l'armonia nei propri rapporti con gli altri

CARTELLINO
DOM. 48

- . La persona che è risultata prima in graduatoria
- . Il suo parente

**CARTELLINO
DOM. 49**

- . La persona che è risultata prima in graduatoria
- . Il figlio delle persone a cui deve riconoscenza

CARTELLINO
DOM. 50

- . Un uomo che si attiene sempre al regolamento e non le chiede mai dei lavori assurdi ma che d'altro canto non farebbe nulla per lei personalmente al di fuori del campo lavorativo

- . Una persona che delle volte richiede del lavoro supplementare malgrado le norme lo vietino ma che si occupa di lei personalmente anche al di fuori del campo lavorativo

CARTELLINO
DOM. 54 - 57

- . Molto d'accordo

- . Abbastanza d'accordo

- . Poco d'accordo

- . Per niente d'accordo

CARTELLINO
DOM. 58

- . Molto probabile
- . Possibile ma non troppo probabile
- . Per niente probabile

CARTELLINO
DOM. 61-1

- . Che un bambino abbia buone maniere
- . Che un bambino si sforzi per riuscire
- . Che un bambino sia onesto
- . Che un bambino sia ordinato e pulito
- . Che un bambino abbia buon senso e sia giudizioso
- . Che un bambino abbia auto-controllo
- . Che un bambino si comporti come tale e che una bambina faccia altrettanto
- . Che vada d'accordo con gli altri bambini
- . Che obbedisca ai suoi genitori
- . Che sia responsabile
- . Che sia premuroso nei confronti degli altri
- . Che sia interessato al modo ed al perchè avvengono le cose
- . Che sia un bravo studente

CARTELLINO
DOM. 61-2

1. Pienamente d'accordo
2. Abbastanza d'accordo
3. Non ho una ferma opinione in merito
4. Abbastanza in disaccordo
5. Pienamente in disaccordo

CARTELLINO
DOM. 61-4

- . Molto spiacevole

- . Abbastanza spiacevole

- . Poco spiacevole

- . Per niente spiacevole

CARTELLINO
DOM. 61-5

- . Persone con una fedina penale sporca
- . Persone di razza diversa
- . Studenti
- . Estremisti di sinistra
- . Madri nubili
- . Forti bevitori
- . Estremisti di destra
- . Persone con una famiglia numerosa
- . Persone emotivamente instabili
- . Membri di sette o culti religiosi minori
- . Immigrati/lavoratori stranieri

**CARTELLINO
DOM. 65**

Sinistra

Destra

01

02

03

04

05

06

07

08

09

10

CARTELLINO
DOM. 70

- . Poichè gli interessi del dipendente e del datore sono completamente all'opposto, è giusto e normale che siano sempre in conflitto tra loro
- . In fondo gli interessi del dipendente e del datore sono gli stessi in quanto se una società guadagna bene può pagare stipendi migliori e pertanto le due parti dovrebbero collaborare

CARTELLINO
DOM. 71

- . Bisogna cambiare radicalmente l'organizzazione della società in cui viviamo con un'azione rivoluzionaria
- . Bisogna migliorare gradualmente la società in cui viviamo mediante le riforme
- . Bisogna difendere coraggiosamente la società in cui viviamo da tutte le forze sovversive

**CARTELLINO
DOM. 75A**

Termometro

Ostile

Neutro

Molta
simpatia

0

50

100

CARTELLINO
D. 18

- . Classe media
- . Classe medio-inferiore
- . Classe operaia
- . Classe superiore
- . Classe medio-superiore

CARTELLINO

D. 19

- . Una villetta di proprieta' o con mutuo

- . Un appartamento di proprieta' o con mutuo

- . Una villetta affittata da un privato

- . Un appartamento affittato da un privato

- . Una villetta di proprieta' del comune in affitto

- . Un appartamento di proprieta' del comune in affitto

CARTELLINO

D. 24

- B. Fino a 750.000
- T. Da 750.001 a 1.000.000
- P. Da 1.000.001 a 1.500.000
- F. Da 1.500.001 a 1.750.000
- E. Da 1.750.001 a 2.000.000
- H. Da 2.000.001 a 2.500.000
- L. Da 2.500.001 a 3.000.000
- N. Da 3.000.001 a 3.500.000
- R. Da 3.500.001 a 4.000.000
- M. Da 4.000.001 a 4.500.000
- S. Da 4.500.001 a 5.000.000
- K. Oltre 5.000.000

Pragma 有限会社
Salaria 通り 298/A
00199 ROMA
Tel. 1678-65041

7) イタリア調査票最終版の和訳

RM 1345

質問表番号 (1-4)

カード 1 (5)

国コード 8 (6)

調査番号 1 3 4 5 (7-10)

問1: 10年前と比べ、イタリア人全体の生活水準は... (読む)

- ・非常によくなった 1 (11)
- ・ややよくなった 2
- ・あまり変わらない 3
- ・やや悪くなった 4
- ・非常に悪くなった 5
- ・わからない(読まない) 9

問2: 10年前と比べ、あなたの生活水準は... (読む)

- ・非常によくなった 1 (12)
- ・ややよくなった 2
- ・あまり変わらない 3
- ・やや悪くなった 4
- ・非常に悪くなった 5
- ・わからない(読まない) 9

問3: 今後の5年間で、あなたの生活水準はどのように変化していると思いますか? (読む)

- ・非常によくなると思う 1 (13)
- ・ややよくなると思う 2
- ・あまり変わらないと思う 3
- ・やや悪くなると思う 4
- ・非常に悪くなると思う 5
- ・わからない(読まない) 9

問4: 一般的に、人々は現在よりも幸福になると思いますか、不幸になると思いますか?

- ・より幸福に 1 (14)
- ・より不幸に 2
- ・現在とあまり変わらない 3
- ・その他(記入) 8
- ・わからない 9

問5: これから先、人々の心の平穏は増すと思いますか、減ると思いますか?

- ・増す 1 (15)
- ・減る 2
- ・変わらない 3
- ・その他(記入) 8
- ・わからない 9

問6：それでは、個人の自由は増えると思いますか、減ると思いますか？

- ・増える 1 (16)
- ・減る 2
- ・変わらない 3
- ・その他(記入) 8
- ・わからない 9

問7：将来、人々の健康状態は良くなると思いますか、悪くなると思いますか？

- ・良くなる 1 (17)
- ・悪くなる 2
- ・変わらない 3
- ・その他(記入) 8
- ・わからない 9

問8：(問8のカードを見せる)

今後10年から15年の間にわが国がどのような目標にむかって努力すべきかということについて、最近盛んに論議されています。このカードには、いろいろな人が最優先とすべきだと思う目標が書かれています。あなたは、どれが最も重要だと思いますか？(1列につき回答は1つ) 2番めに重要なものとしてどれを選びますか？

重要な目標

第1番 第2番
(18) (19)

- | | | |
|-------------------------|---|---|
| ・国家秩序を維持すること | 1 | 1 |
| ・政府の政策決定における市民の参加を増やすこと | 2 | 2 |
| ・物価の値上がりをおさえる | 3 | 3 |
| ・言論の自由を保証すること | 4 | 4 |
| ・わからない | 9 | 9 |

問9：(問9のカードを見せる)

このカードを参考にしながら、自分自身のことや家族のことで、次のような事柄についてどれくらい不安を感じるか言って下さい。

(1度に項目を1つずつ読む)

	非常に 感じる	かなり 感じる	少し 感じる	全く感 じない	わから ない	
・思い病気	1	2	3	4	9	(20)
・交通事故	1	2	3	4	9	(21)
・失業	1	2	3	4	9	(22)
・戦争	1	2	3	4	9	(23)
・原子力発電所の事故	1	2	3	4	9	(24)

問10：なし

問11：あなたは、普通よりも自分の先祖を尊ぶ方ですか、あまり尊ばない方ですか？

- ・普通よりも尊ぶ 1 (25)
- ・普通よりも尊ばない 2
- ・普通 3
- ・その他(記入) 8
- ・わからない 9

問12：子供ができない場合、家系を存続させるために、血のつながりが無い子供を養子にすることは正しいことだと思いますか、それとも家系は絶えてしまってもいいと思いますか？

- ・養子にとった方がいい 1 (26)
- ・家系が絶えてしまってもいい 2
- ・場合による 3
- ・その他(記入) 8
- ・わからない 9

問13：家庭における理想的な子供の数は何人だと思いますか？ (読まない)

- ・1人 1 (27)
- ・2人 2
- ・3人 3
- ・4人 4
- ・5人 5
- ・5人以上 6
- ・1人もなし 7
- ・場合による、理想的な数はない 8
- ・わからない 9

問14：ここ4週間の間に、次のようなものに悩まされましたか？ (1つずつ読む)

- | | はい | いいえ | わからない | |
|---------|----|-----|-------|------|
| ・頭痛、偏頭痛 | 1 | 2 | 9 | (28) |
| ・背中の痛み | 1 | 2 | 9 | (29) |
| ・いらいら | 1 | 2 | 9 | (30) |
| ・うつ状態 | 1 | 2 | 9 | (31) |
| ・不眠 | 1 | 2 | 9 | (32) |

問15：同年代の人と比較して、あなたはご自分の健康状態にどのくらい満足していますか？ (読む)

- ・非常に満足している 1 (33)
- ・まあまあ満足している 2
- ・あまり満足していない 3
- ・非常に不満である 4
- ・わからない 9 (読まない)

問16：(問16のカードを見せる)

生活全般を考慮して、現在のあなたの生活水準をどのように位置付けますか？ ここに書いてあるように、1を最も水準の高い層、5を最も低い層として答えて下さい。

- ・上 1 (34)
- ・中の上 2
- ・中 3
- ・中の下 4
- ・下 5
- ・わからない 9

問17：次のうちのどちらが最も好ましいと思いますか？ (読む、回答は1つ)

- ・より沢山のお金を手に入れる 1 (35)
- ・自由にできる時間が増える 2
- ・わからない(読まない) 9

問18：もし残りの一生を好きなように暮らせるだけのお金があったとしたら、あなたは仕事を続けますか、それとも働くのをやめますか？

- ・仕事を続ける 1 (36)
- ・働くのをやめる 2
- ・その他(記入) 8
- ・わからない 9

問19：(問19のカードを見せる)

カードに書かれている2つの見解のうち、どちらがあなたの意見に近いですか？

- ・いくらお金があったとしても、仕事のない人生は意義がない 1 (37)
- ・お金があれば、仕事がなくても、人生には 意義がある 2
- ・わからない 9

問20：(問20のカードを見せる)

このカードには人々が自分の仕事についてよく考えるようなことがいくつか書かれています。あなたは、この中でどれが最も大切だと思いますか？ (回答は1つ)

- ・金銭的なことを心配しないですむほどのよい給料 1 (38)
- ・倒産や失業の心配のない確実な仕事 2
- ・気の合う人と一緒に働くこと 3
- ・満足感の得られる重要な仕事 4
- ・その他(記入) 8
- ・わからない 9

問21：1週間の予定を立てるとき、しばしば仕事がああなたの個人的な生活や家庭生活の障害となりますか？

- ・はい 1 (39)
- ・いいえ 2
- ・仕事をしていない 3
- ・わからない 9

問22：(問22のカードを見せる)

生きていく上で、いろいろな暮らし方がありますが、次のような見解の中で、あなたの暮らし方に最も近いものはどれですか？ (回答は1つ)

- ・一生懸命働いて、お金持ちになる 1 (40)
- ・真面目に勉強して、有名になる 2
- ・お金のことも成功することも考えずに、自分の好きなように生きる 3
- ・その日その日を、楽しく心配事もせずに暮らす 4
- ・世の中のあらゆる誘惑に負けずに、清く正しい生活を送る 5
- ・自分自身のことは決して考えず、社会のために一身を捧げる 6
- ・その他(記入) 8
- ・わからない 9

問23：あなたの住んでいる地域の生活環境について、どのようにお考えですか？(読む)

- ・たいへん満足している 1 (41)
- ・まあまあ満足している 2
- ・あまり満足していない 3
- ・たいへん不満である 4
- ・わからない(読まない) 9

問24A：（問24のカードを見せる）

このカードを参考にしながら、あなたが住んでいる地域において、次のような事柄がどの程度治安上の問題となっているかお答え下さい。まず、泥棒に入られるということに関しては、どうですか？

問24B：（問24のカードを見せたまま）

それでは、ご自身の身の安全、例えば襲われるということに関しては、どうですか？

	深刻な問題である	問題である	深刻な問題でない	全然問題でない	わからない
24A 泥棒	1	2	3	4	9 (42)
24B 身の安全/ 襲われる	1	2	3	4	9 (43)

問25：（問25のカードを見せる）

アリとギリギリスの童話を知っていますか？夏の間じゅう歌を歌っていたギリギリスは、冬になって何も食べるものがなくなっていました。そこで、夏の間じゅう働いていたアリのところに、助けを求めにやってきました。この時のアリの答えとして、このカードに書かれているような2つの答えが考えられますが、どちらの答えを物語の結末として選びますか？

- ・アリは、それが当然のむくいだとギリギリスを追い返してしまう 1 (44)
- ・アリは、「怠けていたのはいけません。もっと働かなくてはね」とギリギリスを諫めてから、食べ物に分けてあげる。 2
- ・その他（記入） 8
- ・わからない 9

問26A：あなたにとって、人生で一番大切なことは何ですか？ 1つだけあげて下さい。

- （記入） (45-46)
- (47-48)
- (49-50)

・わからない 99

問26B：その他、あなたにとって、非常に大切なことは何ですか？ 好きなだけあげて下さい。（催促する）他には？

- （記入） (51-52)
- (53-54)
- (55-56)

・わからない 99

問27：（問27のカードを見せる）

カードに書かれている段階を参考に、それぞれの項目が、あなたにとってどれ程重要であるか答えて下さい。（1項目ずつ読む）

	全然重要でない								非常に重要	わからない
家族や子供	1	2	3	4	5	6	7	8		9(57)
職業や仕事	1	2	3	4	5	6	7	8		9(58)
自由時間や余暇	1	2	3	4	5	6	7	8		9(59)
友人や知人	1	2	3	4	5	6	7	8		9(60)
両親や兄弟、親戚	1	2	3	4	5	6	7	8		9(61)
宗教や教会	1	2	3	4	5	6	7	8		9(62)
政治	1	2	3	4	5	6	7	8		9(63)

問28：（問28のカードを見せる）

全般的に、あなたはどれくらい家庭生活、つまり家族と一緒に過ごす時間や、家族とともにやることに、満足していますか？ このカードを参考にして、答えて下さい。

- ・非常に満足している 1 (64)
- ・まあまあ満足している 2
- ・満足でも不満でもない 3
- ・あまり満足していない 4
- ・非常に不満である 5
- ・わからない 9

問29：（問28のカードを見せたまま）

あなたの生活一般についておききします。現在の生活にどれくらい満足していますか？ 同じカードを参考にして、答えて下さい。

- ・非常に満足している 1 (65)
- ・まあまあ満足している 2
- ・満足でも不満でもない 3
- ・あまり満足していない 4
- ・非常に不満である 5
- ・わからない 9

問30：現在の社会で成功している人々のことを考えたとき、その人の成功には、何が一番重要な役割を果たしていると思いますか？ 才能や努力でしょうか、それとも運や偶然ですか？

- ・才能や努力 1 (66)
- ・運や偶然 2
- ・その他（記入） 8
- ・わからない 9

問31：（問31のカードを見せる）

次の事柄に関して述べた、カードに書かれている意見のうち、どちらがよりあなたの意見に近いですか？ 「収入が不十分な家庭を国が援助することは…」

- ・その家族に生活する可能性を与えることである 1 (67)
- ・その家庭から責任感を奪ってしまう 2
- ・その他（記入） 8
- ・わからない 9

問32：科学や技術が発展するにつれ、生活はどんどん便利になるが、同時に人間性が失われてゆくと考える人がいますが、あなたはこの意見に賛成ですか、反対ですか？

- ・賛成である 1 (68)
- ・反対である 2
- ・決めかねる／場合による（自発的） 3
- ・その他（記入） 8
- ・わからない 9

問33：小学生の時から、子供に、お金が世の中で最も大切なもののうちのひとつであると教えるべきだと思える人がいます。あなたは賛成ですか、反対ですか？

- ・賛成である 1 (69)
- ・反対である 2
- ・決めかねる／場合による(自発的) 3
- ・その他(記入) 8
- ・わからない 9

問34：優れた政治の指導者がいたならば、わが国を良くするためには、国民の間で政治のことを議論するのはやめて、その人々のやることを絶対的に信じた方が良い、という意見の人々がいます。あなたは賛成ですか、反対ですか？

- ・賛成である 1 (70)
- ・反対である 2
- ・決めかねる／場合による(自発的) 3
- ・その他(記入) 8
- ・わからない 9

問35：自分が正しいと確信を持っていることが、世間一般の慣習と反していても、それを躊躇することなくやりとおすべきだと思いますか、それとも間違いを犯すという危険を避けるために、慣習に従った方がいいと思いますか？

- ・世間一般の慣習に反するとしても、やりとおす 1 (71)
- ・慣習に従う 2
- ・決めかねる／場合による(自発的) 3
- ・その他(記入) 8
- ・わからない 9

問36：世の中がどんなに機械化しても、人間の精神の豊かさを奪うことはない、と考える人がいます。あなたは、この意見に賛成ですか、反対ですか？

- ・賛成である 1 (72)
- ・反対である 2
- ・決めかねる／場合による(自発的) 3
- ・その他(記入) 8
- ・わからない 9

問37：あなたは、次の意見に賛成ですか？

「我が家は、くつろげ、心地よく過ごすことのできる唯一の場所である」

- ・はい、賛成です 1 (73)
- ・いいえ、反対です 2
- ・その他(記入) 8
- ・わからない 9

問38：(問38のカードを見せる)

カードに書かれている意見のうち、あなたの結婚感に最も近いものはどれですか？

- ・結婚は破棄してはいけない 1 (74)
- ・ひどい場合のみ離婚も許される 2
- ・両者の合意さえあれば、離婚してもよい 3
- ・わからない 9

問39：（問39のカードを見せる）

次の意見のうち、家事や育児に関するあなたの考え方を最もよく表しているのはどれですか？

- 全て女性の仕事である 1 (75)
- いくつかの仕事には、女性がより適している 2
- 全ての仕事が、女性と男性との間で区別なく分けられるべきである 3
- わからない 9

問40：10才くらいの子供が、先生が何か悪いことをしたと学校できてきて、それを両親に話したとします。両親は、それが本当のことだと知っているのですが、こんなとき、両親は真実を言うべきですか、それとも言わないほうがいいと思いますか？

- 真実を言ったほうがいい 1 (76)
- 言わないほうがいい 2
- その他（記入） 8
- わからない 9

End card 1

質問表番号 (1-4)

カード番号 2 (5)

問41：（問41のカードを見せる）

次のような状況を想像して下さい。Aさんは幼年時代に孤児となり、親切な隣人のBさんに育てられ、よい教育を受けさせてもらい、大学にも行かせてもらいました。現在Aさんは、ある会社の社長となっています。ある日育ての親であるBさんが重病だから、至急、彼のところに帰るようという電報が届きますが、ちょうどその時Aさんは、会社が倒産するか生き残るかの決定が下されるという重要な会議に向かうところでした。Aさんはどうすべきだと思いますか？（「会議を延期する」と回答者が答えたら、「会議が延期できない場合は？」と尋ねる）

- 全てをおいて、すぐBさんのところへ行く 1 (6)
- 心配で仕方なくても、会議に行くべきだ 2
- その他（記入） 8
- わからない 9

問42：（問42のカードを見せる）

前の質問では、BさんがAさんの育ての親であるという仮定でした。今度は、BさんはAさんの本当の父親で、重病であると仮定します。この場合、あなたはどうか答えますか？（「会議を延期する」と回答者が答えたら、「会議が延期できない場合は？」と尋ねる）

- 全てをおいて、すぐ父親のところへ行く 1 (7)
- 父親のことが心配で仕方なくても、会議に行くべきだ 2
- その他（記入） 8
- わからない 9

問43：（問43のカードを見せる）

人間と自然との関わりについて、次のような3つの意見があります。真実に最も近いと思うものはどれですか？

- 幸福であるためには、人間は自然に順応しなければならない 1 (8)
- 幸福であるためには、人間は自然を利用しなければならない 2
- 幸福であるためには、人間は自然を征服しなければならない 3
- その他（記入） 8
- わからない 9

問44：（問44のカードを見せる）

次の意見の中から、あなたが最も賛成であるものを選んで下さい。

- ・個人が幸福となつてこそ、国家は発展することができる 1 (9)
- ・国家が発展してこそ、個人は幸福になれる 2
- ・国家の発展と個人の幸福とは、本質的には同じことだ 3
- ・その他（記入） 8
- ・わからない 9

問45：（問45のカードを見せる）

カードに書かれている事柄のうち、最も大切なことを2つ選ぶとしたら、どれを選びますか？

- | | あり | なし |
|--|----|----|
|--|----|----|

問46：（問46のカードを見せる）

次の2つのタイプの人間のどちらが好ましいと思いますか？

- ・人付き合いがよく、必要があればいつでも助けてくれるが、仕事はあまりできないSさん 1 (16)
- ・仕事は有能だが、他人の悩みや事情には関心がないTさん 2
- ・わからない 9

問47：（問47のカードを見せる）

それでは、次の2つのタイプの人間では、どちらが好ましいと思いますか？

- ・物事を決定するとき、自身の信条に従うことに、最も重きをおく人 1 (17)
- ・物事を決定するとき、他人との関係の調和を保つことに、最も重きをおく人 2
- ・その他（記入） 8
- ・わからない 9

問48：（問48のカードを見せる）

あなたがある会社の社長だと仮定します。会社で社員を1人採用することになり、入社試験をすることになりました。候補者の中にはあなたの親戚が1人います。入社試験を担当していた人が、あなたのところへ来て言いました。「入社試験を受けた社長の親戚は、2番の成績でした。私どもとしては、1番だった人でも社長の親戚でもどちらでも良いと思いますが、どういたしましょうか？」このような場合には、どちらの人を雇いますか？

- ・成績で1番になった人 1 (18)
- ・あなたの親戚 2
- ・その他（記入） 8
- ・わからない 9

問49：（問49のカードを見せる）

前の質問では、成績で2番だった人があなたの親戚であると仮定しました。それでは、2番になった人があなたがかつて世話になり、借りのある人の息子だとします。この場合、どちらの人を選びますか？

- 成績で1番になった人 1 (19)
- 世話になった人の息子 2
- その他（記入） 8
- わからない 9

問50：（問50のカードを見せる）

あなたの働いている会社に2人の違ったタイプの部長がいるとします。このカードを参考にしながら、あなたはどちらの部長の下で働きたいか、答えて下さい。

- いつも規則に忠実で、決して無理な仕事を頼むことはないが、仕事以外のことでは個人的にあなたの面倒をみない 1 (20)
- 規則で禁じられているにもかかわらず、残業を命じることもあるが、仕事以外のことでも個人的にあなたの面倒をみる 2
- その他（記入） 8
- わからない 9

問51：たいていの人、何かの役に立とうとしていると思いますか、それとも自分自身のことや自分の利益だけを考えていると思いますか？

- 何かの役に立とうとしている 1 (21)
- 自分のことだけ考えている 2
- その他（記入） 8
- わからない 9

問52：大部分の人は、機会があればあなたのことを利用しようとしていると思いますか、それとも正しくふるまうと思いますか？

- 利用しようとする 1 (22)
- 正しくふるまう 2
- その他（記入） 8
- わからない 9

問53：一般的にいて、大部分の人は信用のおける人だと思いますか、それともあまり信用してはならないと思いますか？

- 信用できる 1 (23)
- あまり信用してはならない 2
- その他（記入） 8
- わからない 9

問54：（賛成の程度が書かれた問54のカードを見せる）

現在の生活に関する人々の意見をいくつか読みます。このカードを参考にしながら、それぞれの意見にどの程度賛成か、賛成でないか答えて下さい。（意見をひとつずつ読む）

- a たいていの人他人の役に立つためにはなんでもする
- b 結束力のある地域社会に属していると思う
- c 現在の社会では、明日のことを心配せずにその日を生きなければならない
- d 生活の糧を稼ぐ手段のほうが、どれほどの収入を得るかよりも大切である
- e 今日では、自分のような人間は、孤独で、社会から隔絶されていると感じている

	おおい に賛成	やや 賛成	あまり賛 成でない	反対	わから ない
a	1	2	3	4	9 (24)
b	1	2	3	4	9 (25)
c	1	2	3	4	9 (26)
d	1	2	3	4	9 (27)
e	1	2	3	4	9 (28)

問55：科学上の発見とその応用は、あなたの日常生活の改善にどれほど役立っていると思いますか？

- ・おおいに役立っている 1 (29)
- ・少し役立っている 2
- ・全く役立っていない 3
- ・わからない（読まない） 9

問56：将来的にみて、コンピューターの普及は生活状態のいくつかの側面をさらに変化させるだろうという見解を、あなたはどのように思いますか？

- ・望ましいことである 1 (30)
- ・あまり望ましいことではないが、避けられないことである 2
- ・好ましくないことであり、危険である 3
- ・わからない（読まない） 9

問57：（問57のカードを見せる）

次のような意見について、あなたはどのように思いますか？ それぞれ、このカードに書かれている答えを1つ選んで下さい。（1行につき答えは1つ）

- a 近代医学では認められていない方法で治療した方がいい病気もある
- b いくつかは科学によって人間の精神の機能が完全に解明される日がくるだろう
- c 現在、私たちが直面している社会的問題や経済的問題の大部分が、科学や技術の発展によって解決される

	おおい に賛成	やや 賛成	あまり賛 成でない	反対	わから ない
a	1	2	3	4	9 (31)
b	1	2	3	4	9 (32)
c	1	2	3	4	9 (33)

問58：（問58のカードを見せる）

あなたは、今後25年の間に、次のようなことが実現する可能性があると思いますか？ それぞれの事柄について、カードに書かれている答えを1つ選んで下さい。

（1つの事柄につき答えは1つ）

- a 原子力発電所の廃棄物を処分する安全な方法
- b もっとも一般的な癌の症状の治療
- c 老化の治療
- d 宇宙基地で生活することができる

	おそらく 実現する	可能性はあるが実現 するとはいいきれない	実現し ない	わから ない
a	1	2	3	9(34)
b	1	2	3	9(35)
c	1	2	3	9(36)
d	1	2	3	9(37)

問59：エネルギーの節約が最近よく話題になっています。あなたはこの問題についてどう思いますか？

- ・非常に重要である 1 (38)
- ・重要である 2
- ・あまり重要でない 3
- ・全く重要でない 4
- ・わからない（読まない） 9

問60：環境の保護は、あなたにとってどれほど重要な問題ですか？

- ・非常に重要である 1 (39)
- ・重要である 2
- ・あまり重要でない 3
- ・全く重要でない 4
- ・わからない（読まない） 9

問61：イタリア文化について考えるとき、何が最初に頭に浮かびますか？ 思いつくことを全部言って下さい。催促する。 その他には？

- （記入） (40-41)
- (42-43)
- (44-45)

問61-1：（問61-1のカードを見せる）

A）このカードに書かれているような性質のうち、子供にふさわしいと思うものを3つ挙げて下さい。

B）この3つの問題のうち、最もふさわしいのはどれですか？

	ふさわしい もの3つ	最もふ さわしい
・礼儀正しい子供	2	1 (46)
・やり遂げようと努力する	2	1 (47)
・正直な子供	2	1 (48)
・きれいずきで清潔な子供	2	1 (49)
・良識があり分別がある	2	1 (50)
・自制心のある子供	2	1 (51)
・男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく行動する	2	1 (52)
・他の子供と仲良くする	2	1 (53)
・両親のいうことをきく	2	1 (54)
・責任感のある子供	2	1 (55)
・他人に思いやりのある子供	2	1 (56)
・物事が起こる様子やその理由に関心を示す	2	1 (57)
・よい生徒である	2	1 (58)
・わからない	2	1 (59)

問61-2：（問61-2のカードを見せる）

多くの人々は、人間の人生にどんな意味があるのかと自問します。このページには人生の意味についての意見がいくつか書かれています。カードに書かれた賛成の程度を参考にしながら、それぞれの意見について、どれがあなたの考えに最も近いか答えて下さい。

A）意味が与えられて初めて、人生は意味を持つ

1. おおいに賛成	1 (60)
2. やや賛成	2
3. このことについて確たる意見を持っていない	3
4. あまり賛成でない	4
5. 反対である	5
6. 考えたことがない	6
9. わからない	9

B）わたしにとって人生は意味がない

1. おおいに賛成	1 (61)
2. やや賛成	2
3. このことについて確たる意見を持っていない	3
4. あまり賛成でない	4
5. 反対である	5
6. 考えたことがない	6
9. わからない	9

- C) 人の人生には明確な意味があり、ある図式にしたがっている
- | | |
|-------------------------|--------|
| 1. おおいに賛成 | 1 (62) |
| 2. やや賛成 | 2 |
| 3. このことについて確たる意見を持っていない | 3 |
| 4. あまり賛成でない | 4 |
| 5. 反対である | 5 |
| 6. 考えたことがない | 6 |
| 9. わからない | 9 |

問61-3: イタリア社会で人々が受けているものと比較して、あなたは本来受けるべきものを受けていますか、それより多くの物を受けていますか、それよりやや少ないですか、あるいははるかに少ないですか?

- | | |
|-------------------|--------|
| • 本来受けるだけの量を受けている | 1 (63) |
| • より多く受けている | 2 |
| • やや少ない | 3 |
| • はるかに少ない | 4 |
| • わからない | 9 |

End card 2

質問表番号 (1-4)
カード番号 3 (5)

問61-4: (問61-4のカードを見せる)

自分と考え方や宗教、信条、主義、価値観の異なった人と一緒にいるのが嫌いですか?

- | | |
|-------------|-------|
| • たいへん嫌い | 1 (6) |
| • かなり嫌い | 2 |
| •それほど嫌いではない | 3 |
| • 全然嫌いではない | 4 |
| • わからない | 9 |

問61-5: (問61-5のカードを見せる)

このカードには、さまざまなタイプの人のことが書かれています。あなたが隣人として好ましくないと思うものを挙げて下さい。(答えはいくつでも可)

隣人として いいえ
好ましくない

- | | | |
|-----------------|---|--------|
| • 犯罪歴のある人 | 1 | 2 (7) |
| • 人種の違う人 | 1 | 2 (8) |
| • 学生 | 1 | 2 (9) |
| • 左翼の過激派 | 1 | 2 (10) |
| • 未婚の母 | 1 | 2 (11) |
| • 大酒飲み | 1 | 2 (12) |
| • 右翼の過激派 | 1 | 2 (13) |
| • 家族の多い人 | 1 | 2 (14) |
| • 感情の不安定な人 | 1 | 2 (15) |
| • 少数派の宗教団体に属す人 | 1 | 2 (16) |
| • 移民/外国人労働者 | 1 | 2 (17) |
| • これらのタイプのどれもなし | 9 | -(18) |

問61-6：これからあるケースについてお話ししますので、あなたの意見をお聞かせください。ここに同じ歳の女性秘書が2人いて、ほぼ同じような仕事をしています。一方の秘書が、もう一方の秘書の給料が月に100,000リラ多いことに気づき、上司に文句を言いました。すると、上司はもう一方の秘書の方が仕事も速く、有能で、信頼できるから当然のことだと答えました。あなたは、一方の秘書がもう一方の秘書よりも多く給料をもらうことは公平なことだと思いますか？

- ・公平である 1 (19)
- ・不公平である 2
- ・わからない 9

問61-7：ここに近い将来起こると考えられる生活様式の変化がいくつか挙げてあります。それぞれについて、もしこのようなことが起こったら良いと思いますか、それとも悪いことだと思いますか、それとも何の変わりもないことだと思いますか。

- | | 良いこと | 悪いこと | 変わらない |
|-------------------------|------|------|-------|
| ・お金や物質的なことをあまり大切にしなくなる | 1 | 2 | 3(20) |
| ・生活のなかで、働くことがあまり大切でなくなる | 1 | 2 | 3(21) |
| ・技術の開発がより重視される | 1 | 2 | 3(22) |
| ・個人の道徳的完璧さにより関心が高まる | 1 | 2 | 3(23) |
| ・権威がより尊重される | 1 | 2 | 3(24) |
| ・家族生活がより重視される | 1 | 2 | 3(25) |
| ・生活様式がより簡素で自然なものとなる | 1 | 2 | 3(26) |

宗教に関する質問をいくつか

問62A：あなたは何か宗教を信仰していますか？

- ・はい 1 (27)
- ・いいえ 2
- ・わからない 9

問62B：はいと答えられた方、それはどんな宗教ですか？

- ・カトリック 1 (28)
- ・プロテスタント(バプティスト、メソジスト、ルター派なども含む) 2
- ・ユダヤ教 3
- ・イスラム教 4
- ・その他(記入) 8
- ・わからない 9

問63：宗教の別にかかわらずなく、宗教的な心を持つことは大切なことだと思いますか、大切でないと思いますか？

- ・大切である 1 (29)
- ・大切でない 2
- ・その他(記入) 8
- ・わからない 9

問64：世の中には様々な宗教があり、それぞれが独自の信仰を説いているが、その教えの大部分は結局同じようなものだ、と言う人がいます。あなたはこの考えに賛成ですか、反対ですか？

- ・賛成である 1 (30)
- ・反対である 2
- ・その他(記入) 8
- ・わからない 9

問65：(問65のカードを見せる)

政治では、「右翼」と「左翼」とがありますね。あなたの立場は、この表のどの部分に位置すると思いますか？(助言しないこと。回答者は仕切りの中で答えなければならない。迷っていたら、催促すること)

左翼					右翼					
01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	(31-32)
・回答を拒む								91	(33-34)	
・わからない								99		

問66：あなたは政治にどれくらい関心がありますか？(読む)

- ・非常に関心がある 1 (35)
- ・かなり関心がある 2
- ・あまり関心がない 3
- ・まったく関心がない 4
- ・わからない 9

問67：いくつか概念を特徴づける言葉を挙げてみます。あなたは次のような概念のそれぞれに賛成ですか、それとも反対ですか？

	賛成	場合による	反対	わからない
・民主主義	1	2	3	9 (36)
・資本主義	1	2	3	9 (37)
・社会主義	1	2	3	9 (38)
・自由主義	1	2	3	9 (39)

問68：全般的に、イタリアの民主主義の機能の仕方に、どのくらい満足していますか？(読む)

- ・非常に満足している 1 (40)
- ・かなり満足している 2
- ・あまり満足していない 3
- ・全然満足していない 4
- ・わからない(読まない) 9

問69：あなたの裁判制度に関する知識をもとにして考えたとき、現在のイタリアではどのように機能していると思いますか？(読む)

- ・非常によく機能している 1 (41)
- ・かなりよく機能している 2
- ・あまりよく機能していない 3
- ・全然よく機能していない 4
- ・わからない 9

問70：（問70のカードを見せる）

このカードには労働者と雇用者との関係について2つの意見が書かれています。2つのうちどちらがあなたの考えにより近いですか？

- ・労働者と雇用者の利害は完全に相反するものなのだから、両者の間にいつも衝突があって当然だし、それが正常である 1 (42)
- ・会社の儲けがあがれば、より多くの賃金が払えるというように、結局のところ労働者と雇用者の利害は一致するのだから、両者は協力しなければならない 2
- ・わからない 9

問71：（問71のカードを見せる）

このカードには現代社会についての考え方が3つ書かれています。あなたの意見に最も近いものを1つ選んで下さい。（回答は1つ）

- ・我々の社会の仕組みは、革命的行為によって根本的に変えなければならない 1 (43)
- ・我々の社会は、改革によって少しずつ改善していかなければならない 2
- ・我々の社会を、あらゆる破壊的勢力から、断固として守らなければならない 3
- ・わからない 9

問72A：イタリアの社会は根本的に改革する必要があると思いますか？

- ・思う 1 (44)
- ・思わない 2
- ・わからない 9

問72B：社会を改革する方法として、あなたは漸進的な改革を期待しますか、急進的な変化を期待しますか？

- ・漸進的な改革 1 (45)
- ・急進的な変化 2
- ・わからない 9

問73：どの政党をあなたは支持しますか？

- ・キリスト教民主党(DC) 01 (46-47)
- ・左翼民主党(PDS) 02
- ・改革共産党 03
- ・イタリア社会党(PSI) 04
- ・イタリア社会運動民族右派(MSI-DN) 05
- ・ロンバルディア同盟 06 問74へ
- ・イタリア共和党(PRI) 07
- ・イタリア社会民主党(PSDI) 08
- ・緑の連盟 09
- ・パンネッラのリスト 10
- ・イタリア自由党(PLI) 11
- ・南チロル人民党(SUP) 12
- ・レーテ-民主主義運動 13
- ・その他の政党 14
- ・支持政党なし 15
- ・回答拒否 98 問75へ
- ・わからない 99

問74：あなたの考えは、その政党に非常に近いと思いますか、かなり近いと思いますか、あまり近くないと思いますか？

- ・非常に近い 1 (48)
- ・かなり近い 2
- ・あまり近くない 3
- ・わからない 9

問75A：（問75Aのカードを見せる）

このカードには温度計のようなものが書かれており、目盛りが0度から100度まであります。これを利用して、あなたが様々な政党に対して抱いている親近感を表わして下さい。目盛りの真ん中、50のところは中間を意味します。政党に対して抱いている親近感が強いほど、温度計は上昇します。逆に、反感が強いほど温度計は0の目盛りへと下がります。まず、D. C. からはじめて下さい。

（全ての政党名を読む。読む順序を入れ替えること）

	温度	
・キリスト教民主党(DC)		(49-50-51)
・左翼民主党 (PDS)		(52-53-54)
・改革共産党		(55-56-57)
・イタリア社会党(PSI)		(58-59-60)
・イタリア社会運動民族右派(MSI-DN)		(61-62-63)
・ロンバルディア同盟		(64-65-66)
・その他(記入)		(67-68-69)
・わからない	9 9 9	(70-71-72)

End card 3

質問表番号 (1-4)

カード番号 4 (5)

人口統計

問01：A) あなたは個人的に労働組合に加入していますか？

B) あなたの家族の中に、労働組合に加入している人がいますか？

	はい	いいえ	わからない
・回答者本人	1	2	9 (6)
・他の家族のメンバー	1	2	9 (7)

問02：あなたは……？

- ・独身である 1 (8)
- ・結婚している 2
- ・同棲している 3
- ・離婚している 4
- ・別居中である 5
- ・配偶者に先立たれた 6

問03：何才の時、本業としての学問を終了／中断しましたか？（まだ学生の場合は、コード00。問5へ進む）

| | | 歳 (9-10)

問04：学問を終了／中断してから、あなたは次のようなことをしましたか？（「したことがない」の場合は、コード00）

読む：

- ・再び勉強をはじめた 月
「はい」の場合は何ヶ月間？ | | | (11-12)
- ・職業訓練コースに通ったり、見習いとして仕事をしたことがある
「はい」の場合は何ヶ月間？ | | | (13-14)

問05：回答者の性別

- ・男 1 (15)
- ・女 2

問06：何才ですか？

- ・年齢 | | | (16-17)

問07：あなたを含めて、家族は何人ですか？

- ・1人 1 (18)
- ・2人 2
- ・3人 3
- ・4人 4
- ・5人 5
- ・6人 6
- ・7人 7
- ・8人 8
- ・9人以上 9

問08：あなたの家族には、15歳以下の子供が何人いますか？

- ・1人 01 (19-20)
- ・2人 02
- ・3人 03
- ・4人 04
- ・5人 05
- ・6人 06
- ・7人 07
- ・8人 0
- ・9人以上 09
- ・ひとりもいない 10

問09：あなたか、あなたの家族の誰かが、次のものを所有していますか？（読む）

	はい	いいえ	
カラーテレビ	1	0	(21-30)
ビデオデッキ	1	0	
ビデオカメラ	1	0	
ラジオ目覚まし	1	0	
パーソナル／ホームコンピューター	1	0	
カメラ	1	0	
電気ドリル	1	0	
電気フライ機	1	0	
2台以上の車	1	0	
セカンドハウスか、海辺や山地や田舎の別荘	1	0	

Col. 31-40 blank

問10：A) あなたの現在の職業は何ですか？

B) (現在、収入のある仕事についていないと答えた人、つまり質問10Aでコード1~4にあたる人に対して) 今までに収入のある職業についていたことがありますか？
あなたの一番最近の職業は何でしたか？

	問10-A 現在の職業	問10-B 最も最近の職業
非活動的		
・ 日常の買物や家事の責任者、或いは現在全く仕事をしていない	01	…(41-42)
・ 学生	02	…(43-44)
・ 失業中、一時的に無職	03	…
・ 年金生活者、就労能力のない者	04	…
独立労働者		
・ 農業	05	01
・ 漁業	06	02
・ 自由業(弁護士、医師、会計士、建築技師)	07	03
・ 商店主、商人、職人、その他の独立労働者	08	04
・ 企業家、会社の所有者(単独、または共有)	09	05
従属労働者		
・ 専門職の被雇用者(医師、弁護士など)	10	06
・ 上級職/その他の管理職(総取締役、代表取締役、その他の管理職)	11	07
・ 中間職(役人、教師)	12	08
・ 知的労働者(デスクワークを主とする者)	13	09
・ デスクワークをしない被雇用者(店員、運転手、代理人)	14	10
・ デスクワークはしないがサービスに従事する被雇用者(病院、レストラン、警察、消防署)	15	11
・ 監督者	16	12
・ 専門工	17	13
・ その他の工員(専門工でない)、家政婦等	18	14
・ 収入のある職業についてたことがない	…	15

(独立した仕事か、そうでないかにかかわらず、現在仕事をしている人、すなわち問10Aでコード05~18の人に対して)

問11：通常、週に何時間働きますか？

1週間の労働時間 | | | | (45-46-47)

問12：(現在、職業/独立した仕事に従事しているか、過去に従事したことのある人、すなわち問10Aでコード05~18か、問10Bで01~14までの人に対して) あなたの所で何人の人が働いていますか、あるいは働いていましたか？

- ・ ひとりもない 1 (48)
- ・ 1人から4人 2
- ・ 5人から9人 3
- ・ 10人以上 4
- ・ わからない 9

問13：（現在、職業／従属労働に従事しているか、過去に従事したことがある人、すなわち問10Aでコード10～18か、問10Bで06～14の人に対して）どのような職業分野で仕事をしていますか、あるいはしましたか？

- ・公職 1 (49)
- ・国営企業 2
- ・私営企業 3
- ・私営サービス業 4
- ・わからない（インタビュアーが区別できない） 9

問14：あなたは……
（読む）

- | | | |
|-----------------------------------|----|-------|
| | はい | いいえ |
| A) 家庭において、日常の買物や家事に関して主要な責任を担っている | 1 | 2(50) |
| B) 家庭の収入に、一番多く貢献している | 1 | 2(51) |

（問15から問17までの質問は、回答者が家庭の収入に一番多く貢献していない場合のみ、つまり質問14Bでコード2の人にのみ行なう。そうでない場合は、問18に移る。）

問15：あなたの家族で一番収入の多い人、つまり家長は、何才で本業としての学問を終了／中断しましたか？（まだ勉強している場合は、コード00）
年齢 | | | (52-53)

- 問16：A)（問14Bでいいえと答えた場合）家庭で、もっとも収入の多い人の現在の職業は何ですか？
B)（現在収入のある職業についていない場合、すなわち問16Aでコード01～04の人に対して）その人は、過去に収入のある職業についていたことがありますか？最も最近の職業は何でしたか？

	問10-A	問10-B
	現在の職業	最も最近の職業
非活動的		
・日常の買物や家事の責任者、或いは現在全く仕事をしていない	01	…(54-55)
・学生	02	…(56-57)
・失業中、一時的に無職	03	…
・年金生活者、就労能力のない者	04	…
独立労働者		
・農業	05	01
・漁業	06	02
・自由業（弁護士、医師、会計士、建築技師）	07	03
・商店主、商人、職人、その他の独立労働者	08	04
・企業家、会社の所有者（単独、または共有）	09	05

従属労働者

・専門職の被雇用者（医師、弁護士など）	10	06
・上級職／その他の管理職（総取締役、代表取締役、その他の管理	11	07
・中間職（役人、教師）	12	08
・知的労働者（デスクワークを主とする者）	13	09
・デスクワークをしない被雇用者（店員、運転手、代理人）	14	10
・デスクワークはしないがサービスに従事する被雇用者（病院、 レストラン、警察、消防署）	15	11
・監督者	16	12
・専門工	17	13
・その他の工具（専門工でない）、家政婦など	18	14
・収入のある職業についてたことがない	...	15

問17：（現在収入のある職業か独立した仕事に従事しているか、あるいは従事していたと答えた人、すなわち問16Aでコード05～18の人、あるいは問16Bでコード01～14の人に対して）あなたの下で何人の人が働いていますか、あるいは働いていましたか？

・ひとりもない	1	(58)
・1人から4人	2	
・5人から9人	3	
・10人以上	4	
・わからない	9	

（全員に）

問18：ここに書かれている5つのカテゴリーのうちの1つを、あなたの社会的階級を表現するのに用いるとしたら、どの階級に属していると答えますか？（問18のカードを見せる。回答は1つだけ）

・中間階級	1	(59)
・中の下の階級	2	
・労働者階級	3	
・上流階級	4	
・中の上の階級	5	
・回答を拒否	6	
・その他の回答（記入）	8	
・わからない	9	

問19：あなたは一軒家に住んでいますか、それともアパート（マンション）に住んでいますか？ あなたの住む一軒家／アパートは、あなた又はあなたの家族の所有するものですか、それとも賃貸ですか？（問19のカードを見せる）

・所有、或いはローンの一軒家	1	(60)
・所有、或いはローンのアパート	2	
・個人から賃貸している一軒家	3	
・個人から賃貸しているアパート	4	
・市町村所有の賃貸一軒家	5	
・市町村所有の賃貸アパート	6	
・その他（部屋を借りている、寮、買取り賃貸の家など）	7	
・わからない	9	

- 問20：あなたは、現在住んでいる地域をどのように定義しますか？（読む）
- ・主に農村地帯である（又は、小さな町や村、村落、孤立した家） 1 (61)
 - ・小さな、あるいは中くらいの市 2
 - ・大都市 3
 - ・わからない 9

問21：あなたは、何かの宗教を信仰していますか？（「はい」の場合）どんな宗教ですか？

- ・カトリック 01 (62-63)
- ・プロテスタント 02
- ・ギリシア正教 03 問22へ
- ・ユダヤ教 04
- ・イスラム教 05
- ・仏教 06
- ・ヒンズー教 07
- ・その他（記入） 08 問23へ
- ・何も信仰していない 09
- ・わからない 99

（問21でコード01～04の回答をした人へ）

問22：あなたは宗教行事に週に数回以上通ってますか、週に1回ですか、年に何度か通っていますか、年に1度ですか、1度も行ったことがありませんか？（答えは1つ）

- ・週に何度か 1 (64)
- ・週に1度 2
- ・年に数度 3
- ・1年に1回か、それ以下 4
- ・1度も行ったことがない 5
- ・わからない 9

（全員に）

問23：宗教的な儀式に通っているか、いないかにかかわらず、あなたは自分をどのように定義づけますか？

- ・信仰に厚い人間 1 (65)
- ・信仰に厚くない人間 2
- ・不可知論者（宗教的な問題に関心がない） 3
- ・無神論者（神の存在を否定する） 4
- ・わからない 9

問24：あなたのご家庭の収入についてお聞きしたいと思います。これは、この調査の結果を、それぞれの家庭の類型毎に分析するのに役に立つものです。このカードには、収入を各段階に分けて列記してあります。（問24のカードを見せる）

あなたのご家族全員の1ヶ月の収入全てと、国民年金をも含めた各種年金と、保険や賃貸借（家賃）から得る収入があるとしたらそれらを、全て合計して下さい。

あなたのお答えは、今までこのインタビューを通してお答え下さった他のお答えと同様、すべて完全な秘密として取り扱いますので、これらの答えを、何らかの形であなたご自身やご家族と関連づけることは、一切不可能です。あなたのご家庭の、税金やその他の控除を一切行なう前の総収入に相当する収入の層を、横に書かれているアルファベットを利用して答えて下さい。

- | | | |
|----|------------------------|------------|
| B. | 750.000リラ以下 | 01 (66-67) |
| T. | 750.001から1.000.000まで | 02 |
| P. | 1.000.001から1.500.000まで | 03 |
| F. | 1.500.001から1.750.000まで | 04 |
| E. | 1.750.001から2.000.000まで | 05 |
| H. | 2.000.001から2.500.000まで | 06 |
| L. | 2.500.001から3.000.000まで | 07 |
| N. | 3.000.001から3.500.000まで | 08 |
| R. | 3.500.001から4.000.000まで | 09 |
| M. | 4.000.001から4.500.000まで | 10 |
| S. | 4.500.001から5.000.000まで | 11 |
| K. | 5.000.000リラ以上 | 12 |
| ・ | 回答拒否 | 98 |
| ・ | わからない | 99 |

End card 4

インタビュー記録

質問表番号 | | | | (1-4)

カード番号 | 5 | (5)

P. 01：日付

日にち | | | 月 | | |
(6-7) (8-9)

P. 02：インタビュー開始時刻

| | | | |
時間 分
(10-11-12-13)

P. 03：インタビュー所用時間（分で）

分 | | | |
(14-15-16)

P. 04：インタビューの間の同席者の人数

(17)

- ・ 2人（インタビュアーと回答者） 1
- ・ 3人 2
- ・ 4人 3
- ・ 5人あるいはそれ以上 4

P. 05 : 回答者の協力度

・最高	1	(18)
・良い	2	
・普通	3	
・あまり良くない	4	

P. 06 : 中心地の大きさ

・人口10,000人以下	1	(19)
・10,001から100,000人	2	
・100,001から250,000人	3	
・人口250,000人以上	4	

P. 07 : 州 (20-21)

・ヴァッレ・ダオスタ、ピエモンテ	01
・リグリア	02
・ロンバルディア(ミラノ県を除く)	03
・ミラノ市、およびミラノ県	04
・トレンティーノ	05
・ヴェネト	06
・フリウリ・ヴェネツィア・ジュリア	07
・エミリア	08
・トスカーナ	09
・マルケ	10
・ウンブリア	11
・ラツィオ	12
・モリーゼ、アブルッツィ	13
・カンパーニャ	14
・プリエ	15
・バジリカータ	16
・カラブリア	17
・シチリア	18
・サルデーニャ	19

P. 08 : 郵便番号
| | | | | (22-26)

P. 09 : サンプル抽出のポイント番号
| | | | (27-29)

P. 10 : インタビュアーの人数
| | | | (30-32)

P. 11 : 加重平均値
| | | | | | | | | (33-40)

回答者の姓名

住所

市

県

電話

このインタビューは、委託依頼に添付されているインタビューアーとAISMに加入する研究施設との協力を規定する規律にもとづいて、備え付けの注意書きにしたがって、私が自ら行なったもので、これに関しては全て熟知していることを明言する。特に、民法の1341条および1342条、それに含まれる細則8項、9項および11項の定めるところに従い、その効力の範疇にあることを認める。

インタビュー実施日

インタビューアーの署名

8.3 2ヶ国における調査の実施とデータ入力

(注. データ入力結果については、本報告書分冊3, 4, 5, 6 [回答データのコード・ブックと自由回答データ] を参照のこと。)

3.1 イタリア調査

3.1.1 面接遂行中に生じた問題

北イタリアでは天候によって調査が遅れたり困難になったりした。濃霧や大雪で面接調査員が自宅から出ることもできないなどということもあった。

面接調査員は皆、身分証明書と自己紹介の手紙(pragmaからの紹介状)を持っていたにもかかわらず、自分の世帯が面接に選ばれたことに驚いて面接に応じる前にpragmaのフリー・ダイヤルに確認の電話をしてきた人もいた。

面接調査員にきちんと調査の説明をしてあったので、特に面接においての問題はなかった。

面接の確認

一人の面接調査員に対して最低一件、全体の15%の面接をのちに電話で確認した。その結果ある一人の面接調査員の行った面接の全て、計8件を無効とした。(付録Dの面接調査員ごとに確認できた面接の数をリストした表を参照のこと。)

3.1.2 編集とデータ入力

pragma社の「フィールド調査部門」で確認された質問票は「編集・コーディング部門」に渡された。ある程度の数の質問票が集まり次第、この部門の責任者はコーディング係の人達に連絡をとり、仕事の日程の相談をした。

回答データの完備性の確認

まずこの調査の責任者とコーディング係の人たちが集まり、回答済みの質問票をよく検討した。この際、データマップを使って回答一つ一つに値を与え、また、いくつかの質問への回答の一致度をみる原理を考えた。この打ち合せの最後にこの質問票に関する疑問点などを話し合い、説明して明確にした。

その後質問票を分配し、コーディングを開始した。責任者はコーダーの仕手に間違いがないか、また指示した方向に進行しているかを一つ一つチェックした。

質問票がきちんと回答されていなかったり、解釈できない場合には、フィールド調査部門に送り返し、その矛盾を解くために回答者にもう一度電話で確認させた。

ある程度の質問票が集まり次第、「データ分析部門」に送った。

自由回答データの編集

(自由回答以外の)データの入力後、質問票は「編集コーディング部門」に戻され、磁気テープに自由回答部分をコピーした。さらに依頼者の指示の通り、

その他」の回答の部分のリストをつくった。

コーディング部門は監督者一人、その他3人で成り立っている。

質問のQ75Aでは政党の支持率の回答をしなかった人には999の値を与えた。

回答データの一貫性の確認

「計算機処理（EDP）」部門では、一般に個人の属性のデータを対比させて回答データをチェックする。下記のデータを対比させて確認した。

- 年齢と職業
- 年齢と教育レベル
- 婚姻状況
- その他の家族の状況に関するデータ

一致度は、似ていたり関連していたりする質問間の回答の整合性で調べる。例えば、この質問票には宗教に関する質問が2つあり、チェックの段階ではこの2つに対する各人の回答を比べた。データの入力済んだら集計をし、その結果を印刷して、各選択肢に同じ数の回答があることを確認した。

集計結果は、この調査の責任者に最終的に承認してもらった後、データテープを作成した。

標本の代表性の確認

下記に、この標本の個人的属性の統計とイタリアの国勢調査に基づく人口統計から引用した統計を比較した表をつけた。比較した変数は次のとおりである。

- 性別と年齢（人口の分布）
- 地域（地域的な分布）
- 家族状況（家族状況を正しく考慮するため）

年齢（歳）	国勢調査データ（ISTAT）（％）	標本分布（％）
15-30	30, 18	25, 87(18 to 30)
31-40	16, 92	17, 27
41-50	16, 55	17, 08
51-60	15, 61	16, 60
61以上	20, 74	23, 18
性別		
男	47, 72	47, 81
女	52, 28	52, 19
婚姻		
独身	22, 57	23, 38
既婚	66, 74	64, 21

死別	9.37	9.06
別居	0.96	2.10
離婚	0.36	1.24
地域		
Valle d'Aosta-Piemonte	8.55	9.06
Liguria	3.49	4.39
Lombardia	8.81	6.87
Milano	7.29	8.40
Trentino	1.53	1.43
Veneto	7.72	7.44
Friuli Venezia Giulia	2.31	2.39
Emilia Romagna	7.49	8.02
Toscana	6.74	6.68
Marche	2.60	2.48
Umbria	1.51	1.43
Lazio	8.84	9.16
Molise-Abruzzi	2.75	2.96
Campania	8.83	8.40
Puglie	6.27	6.11
Basilicata	1.02	0.95
Calabria	3.39	3.24
Sicilia	8.24	8.11
Sardegna	2.62	2.48

地域

Valle d' Aosta-Piemonte	8, 55	9, 06
Liguria	3, 49	4, 39
Lombardia	8, 81	6, 87
Milano	7, 29	8, 40
Trentino	1, 53	1, 43
Veneto	7, 72	7, 44
Friuli Venezia Giulia	2, 31	2, 39
Emilia Romagna	7, 49	8, 02
Toscana	6, 74	6, 68
Marche	2, 60	2, 48
Umbria	1, 51	1, 43
Lazio	8, 84	9, 16
Molise-Abruzzi	2, 75	2, 96
Campania	8, 83	8, 40
Puglie	6, 27	6, 11
Basilicata	1, 02	0, 95
Calabria	3, 39	3, 24
Sicilia	8, 24	8, 11
Sardegna	2, 62	2, 48

Free Preview is not available

<u>AGE</u>	<u>Census Data (ISTAT)</u> %	<u>Sample Distribution</u> %
15 - 30	30,18	25,87 (18 to 30)
31 - 40	16,92	17,27
41 - 50	16,55	17,08
51 - 60	15,61	16,60
Over 61	20,74	23,18
 <u>SEX</u>		
Male	47,72	47,81
Female	52,28	52,19
 <u>MARITAL STATUS</u>		
Single	22,57	23,38
Married	66,74	64,21
Widow	9,37	9,06
Separated	0,96	2,10
Divorced	0,36	1,24
 <u>REGIONS</u>		
Valle d'Aosta - Piemonte	8,55	9,06
Liguria	3,49	4,39
Lombardia	8,81	6,87
Milano	7,29	8,40
Trentino	1,53	1,43
Veneto	7,72	7,44
Friuli Venezia Giulia	2,31	2,39
Emilia Romagna	7,49	8,02
Toscana	6,74	6,68
Marche	2,60	2,48
Umbria	1,51	1,43
Lazio	8,84	9,16
Molise-Abruzzi	2,75	2,96
Campania	8,83	8,40
Puglie	6,27	6,11
Basilicata	1,02	0,95
Calabria	3,39	3,24
Sicilia	8,24	8,11
Sardegna	2,62	2,48

Tape key punching

The tape was written in EBCDIC-code with the following format:

<u>Card</u>	<u>Col.</u>	
1	1 - 4	Questionnaire no.
	5	Card no.
	6	Country code
	7-10	Survey no.
	11-76	Questions
	77-80	Blank
2	1 - 5	See Card 1
	6 - 63	Questions
	64-80	Blank
3	1 - 5	See Card 1
	6 - 72	Questions
	73-80	Blank
4	1 - 5	See Card 1
	6 - 30	Demographic questions
	31-40	Blank
	41-67	Demographic questions
	68-80	Blank
5	1 - 5	See Card 1
	6 - 40	Protocol questions
	41-80	Blank

Weights calculation

On the following three pages, you will find the charts showing:

- Percentage distribution of adult Italian population (18+) in each region and city size by class of age.
- Number of interviews completed in each cell.
- Weights.

			UNIVERSE				
UNIVERSE	18-24	25-34	35-44	45-54	55-64	OVER 64	TOTAL
N.W. SIZE 1 -M-	0,69	1,01	0,97	0,92	0,67	0,86	5,12
N.W. SIZE 1 -F-	0,68	0,96	0,91	0,91	0,77	1,26	5,49
N.W. SIZE 2 -M-	0,64	0,91	0,92	0,84	0,57	0,60	4,48
N.W. SIZE 2 -F-	0,62	0,92	0,93	0,87	0,66	0,98	4,98
N.W. SIZE 3 -M-	0,09	0,12	0,13	0,12	0,10	0,10	0,66
N.W. SIZE 3 -F-	0,09	0,13	0,14	0,14	0,12	0,17	0,79
N.W. SIZE 4 -M-	0,42	0,56	0,58	0,58	0,44	0,47	3,05
N.W. SIZE 4 -F-	0,39	0,57	0,63	0,65	0,53	0,79	3,56
N.E. SIZE 1 -M-	0,53	0,71	0,66	0,62	0,50	0,61	3,63
N.E. SIZE 1 -F-	0,51	0,67	0,62	0,61	0,56	0,87	3,84
N.E. SIZE 2 -M-	0,41	0,56	0,55	0,50	0,38	0,42	2,82
N.E. SIZE 2 -F-	0,40	0,56	0,55	0,51	0,44	0,63	3,09
N.E. SIZE 3 -M-	0,20	0,27	0,28	0,26	0,22	0,23	1,46
N.E. SIZE 3 -F-	0,19	0,28	0,30	0,29	0,26	0,36	1,68
N.E. SIZE 4 -M-	0,16	0,20	0,22	0,21	0,19	0,20	1,18
N.E. SIZE 4 -F-	0,14	0,20	0,23	0,23	0,23	0,34	1,37
C. SIZE 1 -M-	0,28	0,39	0,35	0,38	0,33	0,42	2,15
C. SIZE 1 -F-	0,27	0,37	0,34	0,38	0,36	0,54	2,26
C. SIZE 2 -M-	0,52	0,72	0,69	0,67	0,54	0,60	3,74
C. SIZE 2 -F-	0,51	0,73	0,71	0,69	0,60	0,83	4,07
C. SIZE 3 -M-	0,09	0,13	0,13	0,12	0,11	0,11	0,69
C. SIZE 3 -F-	0,09	0,13	0,14	0,13	0,12	0,17	0,78
C. SIZE 4 -M-	0,43	0,53	0,53	0,51	0,39	0,39	2,78
C. SIZE 4 -F-	0,41	0,56	0,59	0,57	0,47	0,60	3,2
S.I. SIZE 1 -M-	0,87	1,02	0,82	0,90	0,72	0,97	5,3
S.I. SIZE 1 -F-	0,85	0,98	0,82	0,95	0,82	1,19	5,61
S.I. SIZE 2 -M-	1,26	1,51	1,28	1,17	0,87	0,96	7,05
S.I. SIZE 2 -F-	1,26	1,57	1,30	1,24	0,98	1,24	7,59
S.I. SIZE 3 -M-	0,24	0,27	0,24	0,22	0,17	0,16	1,3
S.I. SIZE 3 -F-	0,23	0,29	0,26	0,24	0,19	0,22	1,43
S.I. SIZE 4 -M-	0,43	0,49	0,40	0,38	0,30	0,29	2,29
S.I. SIZE 4 -F-	0,42	0,50	0,43	0,42	0,35	0,43	2,55
TOTAL	14,32	18,82	17,65	17,23	13,96	18,01	99,99

	COMPLETED INTERVIEWS						
COMPLETED INTERVIEWS							
	18-24	25-34	35-44	45-54	55-64	OVER 64	TOTAL
N.W.. SIZE 1 -M-	7	10	9	12	6	11	55
N.W.. SIZE 1 -F-	9	10	11	6	10	12	58
N.W.. SIZE 2 -M-	8	11	9	8	6	6	48
N.W.. SIZE 2 -F-	6	10	11	8	7	11	53
N.W. SIZE 3 -M-	1	1	1	1	1	1	6
N.W.. SIZE 3 -F-	1	1	2	1	3	2	10
N.W. SIZE 4 -M-	4	7	5	7	3	7	33
N.W. SIZE 4 -F-	5	5	7	6	7	8	38
N.E. SIZE 1 -M-	6	6	10	6	6	8	42
N.E. SIZE 1 -F-	5	8	6	9	6	9	43
N. E. SIZE 2 -M-	5	5	3	5	5	4	27
N.E. SIZE 2 -F-	5	4	6	6	4	6	31
N.E. SIZE 3 -M-	2	3	3	3	3	2	16
N.E. SIZE 3 -F-	2	3	3	2	5	3	18
N.E. SIZE 4 -M-	3	1	2	2	2	2	12
N.E. SIZE 4 -F-	1	2	3	2	2	3	13
C. SIZE 1 -M-	4	6	2	4	5	4	25
C. SIZE 1 -F-	5	3	4	5	4	6	27
C. SIZE 2 -M-	6	7	7	8	6	4	38
C. SIZE 2 -F-	5	8	6	8	8	8	43
C. SIZE 3 -M-	1	2	1	1	1	1	7
C. SIZE 3 -F-	1	1	1	2	1	2	8
C. SIZE 4 -M-	4	5	5	5	5	3	27
C. SIZE 4 -F-	4	6	6	5	5	6	32
S.I.SIZE 1 -M-	10	12	6	11	7	10	56
S.I.SIZE 1 -F-	8	9	9	10	9	11	56
S.I.SIZE 2 -M-	11	15	11	12	10	10	69
S.I.SIZE 2 -F-	15	15	12	13	12	9	76
S.I.SIZE 3 -M-	2	4	2	4	2	3	17
S.I.SIZE 3 -F-	3	3	3	3	4	2	18
S.I.SIZE 4 -M-	4	5	4	4	4	2	23
S.I.SIZE 4 -F-	4	5	2	5	4	3	23
TOTAL	157	193	172	184	163	179	1048

			WEIGHTS				
WEIGHT Factors							
	18-24	25-34	35-44	45-54	55-64	OVER 64	
N.W. SIZE 1 -M-	0,986	1,010	1,078	0,767	1,117	0,782	
N.W. SIZE 1 -F-	0,756	0,960	0,827	1,517	0,770	1,050	
N.W. SIZE 2 -M-	0,800	0,827	1,022	1,050	0,950	1,000	
N.W. SIZE 2 -F-	1,033	0,920	0,845	1,088	0,943	0,891	
N.W. SIZE 3 -M-	0,900	1,200	1,300	1,200	1,000	1,000	
N.W. SIZE 3 -F-	0,900	1,300	0,700	1,400	0,400	0,850	
N.W. SIZE 4 -M-	1,050	0,800	1,160	0,829	1,467	0,671	
N.W. SIZE 4 -F-	0,780	1,140	0,900	1,083	0,757	0,988	
N.E. SIZE 1 -M-	0,883	1,183	0,660	1,033	0,833	0,763	
N.E. SIZE 1 -F-	1,020	0,838	1,033	0,678	0,933	0,967	
N.E. SIZE 2 -M-	0,820	1,120	1,833	1,000	0,760	1,050	
N.E. SIZE 2 -F-	0,800	1,400	0,917	0,850	1,100	1,050	
N.E. SIZE 3 -M-	1,000	0,900	0,933	0,867	0,733	1,150	
N.E. SIZE 3 -F-	0,950	0,933	1,000	1,450	0,520	1,200	
N.E. SIZE 4 -M-	0,533	2,000	1,100	1,050	0,950	1,000	
N.E. SIZE 4 -F-	1,400	1,000	0,767	1,150	1,150	1,133	
C. SIZE 1 -M-	0,700	0,650	1,750	0,950	0,660	1,050	
C. SIZE 1 -F-	0,540	1,233	0,850	0,760	0,900	0,900	
C. SIZE 2 -M-	0,867	1,029	0,986	0,838	0,900	1,500	
C. SIZE 2 -F-	1,020	0,913	1,183	0,863	0,750	1,038	
C. SIZE 3 -M-	0,900	0,650	1,300	1,200	1,100	1,100	
C. SIZE 3 -F-	0,900	1,300	1,400	0,650	1,200	0,850	
C. SIZE 4 -M-	1,075	1,060	1,060	1,020	0,780	1,300	
C. SIZE 4 -F-	1,025	0,933	0,983	1,140	0,940	1,000	
S.I. SIZE 1 -M-	0,870	0,850	1,367	0,818	1,029	0,970	
S.I. SIZE 1 -F-	1,063	1,089	0,911	0,950	0,911	1,082	
S.I. SIZE 2 -M-	1,145	1,007	1,164	0,975	0,870	0,960	
S.I. SIZE 2 -F-	0,840	1,047	1,083	0,954	0,817	1,378	
S.I. SIZE 3 -M-	1,200	0,675	1,200	0,550	0,850	0,533	
S.I. SIZE 3 -F-	0,767	0,967	0,867	0,800	0,475	1,100	
S.I. SIZE 4 -M-	1,075	0,980	1,000	0,950	0,750	1,450	
S.I. SIZE A 4 -F-	1,050	1,000	2,150	0,840	0,875	1,433	

List of sampling points

The list provides the following information:

1. Number of sample point
2. Postal code of the municipality
3. Name of the municipality
4. Non response reasons (empty, refusal, not eligible)
5. Number of assigned interviews
6. Number of completed interviews
7. Number of adults (aged 18+) in the sample point
8. Number of households in the sample point

SAMPLING POINT	ZIP CODE	MUNICIPALTY	FINAL RESULT			ASSIGNED INTERVIEWS	COMPLETED TO	ADULTS 18 +	H H
			Empty	Refusal	Not eligible				
001	11010	VALPELLINE	6	23	2	8	8	421	216
002	28060	RECETTO	10	7	1	9	9	765	395
003	10020	ANDEZENO	0	30	1	11	9	1174	521
004	12058	S.STEFANO BELBO	9	1	2	10	10	3255	1383
005	10048	ISOLABELLA	0	7	0	8	8	209	93
006	10072	CASELLE	40	20	0	10	10	9238	4341
007	15011	ACQUI TERME	57	12	13	10	10	17567	8782
008	10098	RIVOLI	0	1	3	8	8	35982	1659
009	15100	ALESSANDRIA	2	2	1	4	4	80434	39074
010	10137	TORINO	2	12	1	9	9	865962	423442
010	10135	TORINO	16	24	3	9	9	865962	423442
011	18013	DIANO MARINA	11	3	0	8	8	5568	2724
012	18010	DIANO S. PIETRO	37	2	4	4	4	766	392
013	17014	CAIRO MONTENOTTE	12	2	0	10	10	11540	5572
014	19100	LA SPEZIA	2	1	1	2	2	92598	47347
015	16158	GENOVA	28	14	3	8	8	613453	311723
015	16126	GENOVA	64	48	0	8	8	613453	311723
015	16123	GENOVA	14	24	0	5	5	613453	311723
016	27016	CERANOVA	7	13	1	10	10	324	141

SAMPLING POINT	ZIP CODE	MUNICIPALTY	FINAL RESULT			ASSIGNED INTERVIEWS	COMPLETED TO	ADULTS 18 +	H H
			Empty	Refusal	Not eligible				
O17	25030	MACLODIO	2	6	0	10	10	566	253
O18	25070	CAINO	5	16	7	10	9	1035	460
O19	21032	CARAVATE	11	9	0	10	5	1656	758
O20	22010	S.FERMO BATTAGLIA	20	0	0	9	9	2496	1135
O21	21010	CARDANO AL CAMPO	21	24	0	9	9	8360	3789
O22	21053	CASTELLANZA	13	9	15	9	9	11928	5468
O23	27029	VIGEVANO	12	7	0	6	6	50916	24961
O24	25124	BRESCIA	8	8	6	5	5	158025	74718
O25	20050	CAMPARADA	9	6	4	7	7	821	365
O26	20060	BUSSERO	2	2	1	9	7	3222	1466
O27	20026	NOVATE MILANESE	13	1	1	10	10	15191	7023
O28	20025	LEGNANO	0	0	2	10	9	37504	17562
O29	20090	BUCCINASCO	13	4	0	10	10	9346	4329
O30	20090	SEGRATE	6	1	0	10	10	21137	9760
O31	20052	MONZA	1	0	0	3	3	91856	42292
O32	20142	MILANO	23	4	1	10	10	1267584	625455
O32	20135	MILANO	28	13	10	11	11	1267584	625455
O32	20144	MILANO	17	16	21	11	11	1267584	625455
O33	32030	FONZASO	57	23	13	10	10	2741	1213

SAMPLING POINT	ZIP CODE	MUNICIPALTY	FINAL RESULT			ASSIGNED INTERVIEWS	COMPLETED TO	ADULTS 18 +	H H
			Empty	Refusal	Not eligible				
O34	45010	VILLADOSE	6	4	0	9	9	3742	1556
O35	37060	CASTEL D'AZZANO	4	3	3	8	8	5329	2406
O36	36040	MONTEGALDELLA	2	1	2	8	8	927	328
O37	35020	POLVERARA	3	2	0	10	10	1632	575
O38	37047	S. BONIFACIO	4	4	3	9	9	10848	4606
O39	30026	PORTOGRUARO	39	9	9	9	9	17911	7427
O40	35011	CAMPODARSEGO				10		7161	2785
O41	35142	PADOVA	11	6	1	6	6	180192	80829
O42	37131	VERONA	14	1	3	5	5	204567	96795
O43	30174	VENEZIA	19	12	2	5	5	267865	118216
O44	33010	PAGNACCO	14	4	0	10	10	2849	1269
O45	33170	PORDENONE	6	2	1	6	6	39301	18378
O46	33100	UDINE	8	2	0	4	4	80858	38335
O47	34133	TRIESTE	11	4	2	5	5	208541	118895
O48	38071	BLEGGIO INFERIORE	3	1	5	9	9	693	311
O49	38100	TRENTO	1	3	1	4	4	74629	34087
O50	39100	BOLZANO	0	0	0	2	2	80143	38407
O51	43012	FONTANELLATO	36	14	0	11	11	4857	2061
O52	47040	SALUDECIO	17	7	10	11	11	1931	774

SAMPLING POINT	ZIP CODE	MUNICIPALTY	FINAL RESULT			ASSIGNED INTERVIEWS	COMPLETED	ADULTS 18 +	H H
			Empty	Refusal	Not eligible				
O53	47036	RICCIONE	35	14	1	10	11	23183	10159
O54	42013	CASALGRANDE	21	11	2	12	12	9858	4188
O55	44034	COPPARO	11	5	2	7	7	16310	7241
O56	47100	FORLI'	11	5	0	11	11	86235	40677
O57	44100	FERRARA	35	16	9	11	11	120498	53596
O58	40137	BOLOGNA	76	18	3	10	10	378104	180624
O59	53026	PIENZA	10	10	2	7	7	2015	886
O60	56030	CALCINAIA	60	7	6	8	8	5451	2333
O61	50020	LASTRA A SIGNA	6	1	0	8	8	13034	5231
O62	56017	S. GIULIANO TERME	38	12	2	9	8	20567	8982
O63	51100	PISTOIA	95	6	1	9	9	72752	32205
O64	50068	REGGELLO	1	0	0	8	8	9190	3623
O65	54036	CARRARA	5	1	0	5	5	52376	25700
O66	56127	PISA	12	4	14	8	8	82450	38044
O67	50133	FIRENZE	35	12	3	9	9	361577	169113
O68	03030	FONTECHIARI	1	21	1	8	8	965	464
O69	03031	AQUINO	9	4	1	7	7	3426	1706
O70	00068	RIGNANO FLAMINIO	17	5	0	8	8	3138	1591
O71	04023	FORMIA	51	11	0	8	8	26680	9146

SAMPLING POINT	ZIP CODE	MUNICIPALTY	FINAL RESULT			ASSIGNED INTERVIEWS	COMPLETED	ADULTS 18 +	H H
			Empty	Refusal	Not eligible				
072	01019	VETRALLA	0	2	0	7	7	7957	3876
073	03013	FERENTINO	13	4	2	8	8	12619	5688
074	00143	ROMA	38	2	0	10	10	2120229	939045
074	00181	ROMA	70	61	7	10	10	2120299	939045
074	00149	ROMA	41	37	5	10	9	2120299	939045
074	00138	ROMA	28	14	5	10	10	2120299	939045
074	00188	ROMA	19	12	0	11	11	2120299	939045
075	05029	SAN GEMINI	25	22	0	4	4	2893	1277
076	06034	FOLIGNO	12	3	0	6	6	40623	17160
077	05100	TERNI	1	2	0	5	5	86329	39211
078	60037	MONTE S. VITO	46	2	0	10	10	3096	1278
079	60019	SENIGALLIA	28	6	5	7	7	30916	12488
080	60033	CHIARAVALLE	12	10	0	7	7	10360	4736
081	60128	ANCONA	6	4	0	2	2	82008	37397
082	66051	CUPELLO	25	6	9	8	8	2901	1337
083	86010	ORATINO	0	4	1	7	7	898	408
084	64100	TERAMO	2	3	0	10	10	37118	15250
085	65124	PESCARA	15	10	0	6	6	95719	41286
086	75023	MONTALBANO J.	3	0	3	6	6	6155	2609

SAMPLING POINT	ZIP CODE	MUNICIPALTY	FINAL RESULT			ASSIGNED INTERVIEWS	COMPLETED	ADULTS 18 +	H H
			Empty	Refusal	Not eligible				
087	75015	PISTICCI	4	1	4	4	4	12156	5292
088	83024	MONTEFORTE I.	9	8	0	9	9	3319	1497
089	84070	S. MAURO LA BRUCA	13	2	0	8	6	722	318
090	83020	SPERONE	7	4	3	8	8	1446	629
091	83030	TAURASI	2	3	6	5	5	2272	982
092	80055	PORTICI	13	2	2	10	10	107190	22630
093	80020	FRATTAMINORE	11	16	1	10	10	7173	2957
094	80010	QUARTO	3	7	0	10	10	11137	5020
095	81025	MARCIANISE	3	24	0	9	6	20662	9121
096	84100	SALERNO	9	3	4	4	4	111955	46854
097	80127	NAPOLI	21	21	0	10	10	820927	350101
097	80128	NAPOLI	13	11	0	10	10	820927	350101
098	70020	CASSANO MURGE	7	4	1	6	6	5617	2502
099	73010	ARNESANO	3	0	0	6	6	2337	988
100	72019	S.VITO DEI NORMAN.	8	2	3	10	10	13247	5771
101	72021	FRANCAVILLA F.	6	3	3	10	10	21295	9428
102	70010	CAPURSO	5	29	1	10	10	6672	3021
103	72012	CAROVIGNO	1	2	5	9	9	8811	3967
104	71016	S. SEVERO				12	0	34609	15611

SAMPLING POINT	ZIP CODE	MUNICIPALTY	FINAL RESULT			ASSIGNED INTERVIEWS	COMPLETED	ADULTS 18 +	H H
			Empty	Refusal	Not eligible				
105	71100	FOGGIA	0	7	0	7	7	104623	45163
106	70123	BARI	35	2	2	6	6	253722	109264
107	89035	BOVA MARINA	80	5	7	9	9	2778	1257
108	89020	MELICUCCA'	17	8	2	9	9	1048	504
109	88074	CROTONE	12	11	11	10	10	36607	15791
110	89124	REGGIO CALABRIA	4	2	1	6	6	122134	52160
111	93010	ACQUAVIVA PLATANI	91	7	0	10	10	1223	620
112	98043	ROMETTA	7	0	0	10	10	3570	1656
113	94019	VALGUARNERA	12	9	0	10	10	7028	3418
114	95022	ACI CATENA	9	7	0	10	10	8312	3671
115	90036	MISILMERI	5	0	0	11	11	11420	5152
116	95045	MISTERBIANCO	0	1	0	9	9	19405	48755
117	96100	SIRACUSA	25	2	17	6	6	79676	34796
118	90135	PALERMO	47	11	0	8	8	478452	207186
119	95124	CATANIA	26	3	2	7	6	265618	116580
120	98123	MESSINA	4	5	0	7	7	186463	84240
121	09040	SELEGAS	3	3	1	7	7	1011	383
122	09033	DECIMOMANNU	0	10	1	6	6	3482	1456
123	07041	ALGHERO	16	6	5	7	7	25108	10706

SAMPLING POINT	ZIP CODE	MUNICIPALTY	FINAL RESULT			ASSIGNED INTERVIEWS	COMPLETED	ADULTS 18 +	H H
			Empty	Refusal	Not eligible				
124	09128	CAGLIARI	16	0	0	6	6	161423	68047

3.2 オランダ調査

3.2.1 調査の有効性の確認

本調査終了後、面接回答者中の約15%に、電話し、面接が本当に実施されたか否かの確認をとった。

3.2.2 データ入力

光学的データ読み取り装置によった。

自由回答質問の回答

本来のオランダ語回答1048名分とは別に、英語を母国語とする者がオランダ語回答を英訳した。

調査結果の概要

面接調査者数	305
標本地点数	305
訪問を試みた数	5666
最初の訪問で在宅者と接触できた数	3501
第二回目で在宅者と接触できた数	220
第三回目で在宅者と接触できた数	11
訪問して在宅者と接触できた総数	3732
訪問を拒否された数（在宅者がドアを開けなかった住居数）	2220
上記の内、オランダの国籍を持たない人数	116
三回の訪問にも拘らず面接すべき回答者が不在であった場合の数	307
最終的に面接できた数	1089
そのうち面接調査を拒否された数	6
実際に面接調査ができた総数	1083



UNIVERSE DATA

UNIVERSE-DATA THE NETHERLANDS				
Age of persons (based on C.B.S. statistics 1/1/1993)				
age	male	female	total	
0	100392	95589	195981	
1	101481	96979	198460	
2	101852	96838	198690	
3	97034	93301	190335	
4	96377	92244	188621	
5	97119	92320	189439	
6	95506	92276	187782	
7	93046	89287	182333	
8	91571	87212	178783	
9	89026	85363	174389	
10	90161	86032	176193	
11	92881	89483	182364	
12	95097	90595	185692	
13	92210	88240	180450	
14	92938	88611	181549	
15	91992	87795	179787	
16	94537	89353	183890	
17	95287	91364	186651	
18	100633	96709	197342	
19	105382	102357	207739	
20	115627	112794	228421	
21	123798	119456	243254	
22	130186	125588	255774	
23	135316	129564	264880	
24	129705	124772	254477	
25	130304	123895	254199	
26	131849	125016	256865	
27	135151	127483	262634	
28	138106	130582	268688	
29	136362	129236	265598	
30	133767	127722	261489	
31	132765	127518	260283	
32	130198	123994	254192	
33	129333	124181	253514	
34	125955	121193	247148	
35	123818	119424	243242	
36	122590	117684	240274	
37	119277	116195	235472	
38	118781	114391	233172	
39	117602	113484	231086	
40	118285	113631	231916	
41	114880	110239	225119	
42	115978	111200	227178	
43	118082	112940	231022	
44	122641	116595	239236	
45	129040	123540	252580	
46	133908	127176	261084	
47	96415	91924	188339	
48	100936	96356	197292	

49	96324	91231	187555
50	88770	84151	172921
51	84504	80518	165022
52	86092	82968	169060
53	82452	80422	162874
54	80806	78674	159480
55	75631	74502	150133
56	75013	74125	149138
57	72865	72870	145735
58	71630	72548	144178
59	69586	71298	140884
60	70448	73265	143713
61	68045	71844	139889
62	68438	72923	141361
63	64081	70051	134132
64	62536	70146	132682
65	59395	67365	126760
66	58296	67498	125794
67	56256	67106	123362
68	54876	67610	122486
69	54634	67957	122591
70	51316	65189	116505
71	49322	64826	114148
72	47966	64529	112495
73	38631	53184	91815
74	34943	50514	85457
75	34159	50660	84819
76	31719	49406	81125
77	29155	46840	75995
78	28329	47367	75696
79	25506	44582	70088
80	22818	41768	64586
81	18921	37106	56027
82	16991	34820	51811
83	14990	32889	47879
84	12871	29426	42297
85	10770	26084	36854
86	8820	22603	31423
87	7376	19614	26990
88	6142	16546	22688
89	4807	13544	18351
90	3755	11215	14970
91	2932	8937	11869
92	2109	6626	8735
93	1594	5095	6689
94	1087	3752	4839
95 and over	2384	7999	10383
total	7535268	7703914	15239182

Age of persons (based on C.B.S. statistics 1/1/1993)			
age	male	female	total
0-17	1708507	1632882	3341389
18-24	840647	811240	1651887
25-29	671772	636212	1307984
30-34	652018	624608	1276626
35-39	602068	581178	1183246
40-44	589866	564605	1154471
45-49	556623	530227	1086850
50-54	422624	406733	829357
55-59	364725	365343	730068
60-64	333548	358229	691777
65-69	283457	337536	620993
70-74	222178	298242	520420
75-79	148868	238855	387723
80-84	86591	176009	262600
85-89	37915	98391	136306
90-94	11477	35625	47102
95 +	2384	7999	10383
total	7535268	7703914	15239182
population 18+	5826761	6071032	11897793
	48,97%	51,03%	

Province	Nr. of persons (Based on CBS statistics 1/1/1993)		
Groningen	555397	3,64%	
Friesland	603998	3,96%	
Drenthe	448256	2,94%	
Overijssel	1039083	6,82%	
Flevoland	243441	1,60%	
Gelderland	1839883	12,07%	
Utrecht	1047035	6,87%	
Noord-Holland	2440165	16,01%	
Zuid-Holland	3295522	21,63%	
Zeeland	361195	2,37%	
Noord-Brabant	2243546	14,72%	
Limburg	1119942	7,35%	
total	15237463		
Size of locality:			
	Nr. of provinces	Nr. of persons	%
less than 1 000 inhabitant	1	941	0,01%
1 000 - 2 000 inhabitant	7	11043	0,07%
2 000 - 5 000 inhabitant	62	224454	1,47%
5 000 - 10 000 inhabitant	173	1302982	8,55%
10 000 - 20 000 inhabitant	218	3133001	20,56%
20 000 - 50 000 inhabitants	130	3898212	25,58%
50 000 - 100 000 inhabitants	35	2500563	16,41%
100 000 - 150 000 inhabitants	13	1643854	10,79%
150 000 - 250 000 inhabitants	4	761873	5,00%
250 000 - 400 000 inhabitants	0	0	
400 000 or more inhabitants	3	1760540	11,55%
no fixed address		1719	0,01%
total	646	15239182	
size of household			
Based on AGB mini-census (1992)			
	%		
1 person	30,6		
2 persons	32,5		
3 persons	14,4		
4 persons	15,9		
5 persons	4,9		
6 or more persons	1,8		
total nr. of households	6143000		
marital status persons aged 18 and over (1/1/1993)			
	%		
single (+living together)	26,37%		
married	60,38%		
widowed	7,46%		
divorced	5,79%		

Population by locality in which interviews are being held

NIPO nr	CBS Locality nr	inhabitants	houses
1200/9	014 Groningen	169387	77593
1401	018 Hoogezand-Sappemeer	34210	13855
1405	047 Veendam	28267	11209
1509	651 Eemswold	16184	6409
2301	080 Leeuwarden	86405	39557
2302	090 Smallingerland	50289	19842
2401	074 Heerenveen	38649	15542
2402	086 Opsterland	27021	10116
2405	091 Sneek	29221	12095
2412	058 Dongeradeel	24232	9283
2413	070 Franekeradeel	20677	7907
2502	065 Dantumadeel	19476	6759
2512	683 Wymbritseradiel	14634	5722
2610	653 Gaasterland-Sleat	9307	3749
3301	114 Emmen	93107	36479
3302	106 Assen	50880	20526
3402	118 Hoogeveen	46456	17396
3403	119 Meppel	24139	9719
3501	107 Beilen	14193	5182
3506	125 Roden	18484	6829
3610	134 Westerbork	7775	2912
3612	137 Zuidwolde	9708	3329
3616	116 Gieten	5873	2305
4201/8	153 Enschede	147199	58124
4301	164 Hengelo	76726	31578
4302	193 Zwolle	97131	38823
4303	150 Deventer	68004	28258
4304	141 Almelo	63383	25681
4404	166 Kampen	32643	12661
4409	177 Raalte	27545	9152
4413	189 Wierden	22548	7369
4414	178 Rijssen	24455	7652
4415	147 Borne	21651	7717
4508	175 Ommen	18147	6029
4602	179 Stad Delden	7413	2729
4608	165 Holten	8704	2984
4609	169 Markelo	7022	2234
5200/6	200 Apeldoorn	148745	56118
5211/8	202 Arnhem	132928	58753
5221/4	268 Nijmegen	146344	59346
5302	228 Ede	96044	33552
5402	222 Doetinchem	42673	16652
5403	281 Tiel	32643	12423
5406	275 Rheden	45323	18192
5407	294 Winterswijk	27972	10416
5408	301 Zutphen	31040	12940
5409	289 Wageningen	32854	11424
5411	285 Voorst	23769	7870
5412	243 Harderwijk	36282	12895
5414	302 Nunspeet	25514	8375
5417	296 Wijchen	34906	12581
5419	236 Geldermalsen	22374	7902
5501	197 Aalten	18344	6422

5522	206	Bemmel	16000	5526
5524	218	Didam	16308	5430
5531	266	Neede	10904	3926
5539	304	Neerijnen	10606	3723
5547	295	Wisch	19778	7248
5617	263	Maasdriel	8950	3000
5639	227	Echteld	6610	2248
6201/9	344	Utrecht	232705	95977
6211	307	Amersfoort	104390	41725
6302	355	Zeist	59211	23532
6303	356	Nieuwegein	58882	21954
6304	345	Veenendaal	50791	18677
6401	342	Soest	41639	16921
6404	310	De Bilt	32936	14530
6409	327	Leusden	27643	9872
6411	736	De Ronde Venen	32228	11529
6414	353	IJsselstein	21563	8264
6513	311	Breukelen	13844	4993
7100/9	363	Amsterdam	713407	343001
7201/9	392	Haarlem	149788	64862
7211/8	479	Zaanstad	131273	52849
7221	394	Haarlemmermeer	100659	37504
7304	400	Den Helder	61225	25258
7305	362	Amstelveen	71939	31825
7307	361	Alkmaar	91817	37399
7309	439	Purmerend	62504	25217
7403	396	Heemskerk	33937	13033
7407	406	Huizen	42031	15851
7409	383	Castricum	22382	8521
7411	398	Heerhugowaard	36118	12135
7416	399	Heiloo	20605	7867
7417	416	Langedijk	21630	7479
7525	463	Wieringermeer	11637	4349
7633	420	Medemblik	7149	2783
7639	454	Venhuizen	7275	2639
7655	466	Wognum	7325	2347
8100/9	518	's-Gravenhage	445287	199894
8110/9	599	Rotterdam	589707	276007
8201/5	505	Dordrecht	111791	47072
8211/5	546	Leiden	112976	46111
8221	637	Zoetermeer	100623	38971
8301	503	Delft	90066	39107
8305	622	Vlaardingenv	73893	33030
8311	502	Capelle aan den IJssel	58541	24757
8312	612	Spijkenisse	69655	26876
8404	597	Ridderkerk	45834	17978
8406	624	Voorburg	39785	18193
8409	642	Zwijndrecht	42429	16812
8413	556	Maassluis	33232	13036
8416	626	Voorschoten	22200	8730
8420	542	Krimpen aan den IJssel	27539	9870
8421	590	Papendrecht	28079	11071
8422	627	Waddinxveen	25409	9174
8425	530	Hellevoetsluis	35837	13516
8426	603	Rijswijk	47456	21877
8427	553	Lisse	21372	8031
8429	584	Oud-Beijerland	20886	7417
8503	545	Leerdam	19689	7142

8507	562	Monster	19393	6916
8508	497	Bodegraven	18811	6437
8510	579	Oegstgeest	18838	7327
8525	519	's-Gravenzande	18836	6562
8531	559	Middelharnis	15830	6094
8540	602	Rijnsburg	13597	4606
8542	608	Schoonhoven	11734	4394
8548	585	Binnenmaas	18688	6950
8551	689	Giessenlanden	14268	5035
8552	707	Zederik	13357	4502
8553	569	Nieuwkoop	10990	3805
8666	644	Ouderkerk	8244	2884
8670	694	Liesveld	9249	3158
9401	687	Middelburg	39828	16494
9402	718	Vlissingen	43913	19892
9403	715	Terneuzen	35176	14799
9404	664	Goes	32590	13546
9773	713	Sluis	2831	1697
10301	995	Lelystad	59285	23828
10302	034	Almere	84909	32657
11200/5	758	Breda	126709	53114
11211/5	772	Eindhoven	193966	82065
11221/4	855	Tilburg	160618	64218
11303	794	Helmond	70574	28688
11304	838	Roosendaal en Nispen	61354	24158
11305	828	Oss	52132	20572
11401	748	Bergen op Zoom	47259	18719
11403	826	Oosterhout	49036	18796
11406	865	Vught	24218	8894
11407	867	Waalwijk	29091	11192
11408	858	Valkenswaard	30495	11718
11409	762	Deurne	29939	10266
11410	781	Geldrop	26421	10592
11415	861	Veldhoven	39316	14531
11418	777	Etten-Leur	32926	12050
11419	860	Veghel	26508	9372
11421	784	Gilze en Rijen	23082	8047
11422	766	Dongen	21212	7656
11426	820	Nuenen c.a.	21099	7287
11537	767	Drunen	18462	6382
11545	874	Woudrichem	13628	4683
11547	830	Oudenbosch	12628	4518
11551	786	Grave	10625	3829
11556	791	Heesch	11798	4052
11557	751	Berkel-Enschot	10338	3547
11633	857	Udenhout	9100	2732
11661	792	Heeswijk-Dinther	8643	2616
11663	797	Heusden	5918	2161
11669	807	Lieshout	6099	2061
12201/5	935	Maastricht	118152	47629
12301	917	Heerlen	95001	41215
12304	928	Kerkrade	53364	21720
12402	906	Gelcen	33922	14312
12404	957	Roermond	42782	17714
12405	968	Sittard	46314	18172
12409	984	Venray	34486	12237
12501	902	Echt	18215	6796
12522	889	Beesel	12838	5198

12523	907 Gennep	16466	6294
12526	897 Born	14236	5198
12528	936 Margraten	13580	4838
12530	962 Schinnen	13949	5228
12533	986 Voerendaal	13145	4763
12669	881 Onderbanken	8222	3191

第 2 部

データ分析による国際比較

序

§ 1 C L A による分析の視点

§ 2 対象地域による C L A

§ 3 質問項目による C L A

3.1 ミクロ・マクロ的スケールによる相補的分析

3.2 ヨーロッパ3ヶ国における政治不信（制度不支持）

3.3 イタリアとオランダの宗教による意見差の比較

§ 4 時間による C L A

§ 5 国民性の国際比較のための
相補的尺度構成について

§ 6 回答者の「属性の意味」の国際比較

§ 7 国際比較調査のデザインの為の視点

§ 8 結び

序

本章では、国際比較調査データの統計分析の具体例を示そう。まず最初に、我々の長年の国際比較調査研究から生まれてきた統計分析の考え方の発展に触れる。そして、統計分析のいくつかの実例を示そう。

Cultural Link Analysis

本研究は、主として文部省科学研究費補助特別推進研究「意識の国際比較方法論」と試験研究A(1)「意識の国民性比較における連鎖的調査分析方法の実用化に関する研究」として進められてきた。この中で、第1段階として、文化の連鎖的比較研究(Cultural Link Analysis, CLAと略す)というパラダイム(方法論)が生まれた(第1部第1章を参照)。

国際比較研究においては、はじめから全く異なる国と国を比較しても意義は薄い。類似の側面と異なる側面を持つ国と国を比較して、それらの側面が如何に、どの程度、似ているか或いは異なるかを明らかにして、はじめて比較の意義がある。この視点より、我々の国際比較調査研究は、1971年の日本人とハワイの日系人との比較調査に始まり、さらにハワイの日系人、非日系人との比較、米本土のアメリカ人との比較と発展し、現在の我々の研究へとつながってきたのである。これまでに調査してきた国や地域には、ドイツ、フランス、イギリス、イタリア、オランダ、東南アジアの国々が含まれ、さらに調査計画は発展している。これらの国々や地域のいくつかの対は、言語、民族の血、地域文化、歴史的源等の点で共有点を持っている。その共有点を持つペア同志は、その共有点を基に、国民性において類似の側面を表わす場合も多いが、一方、地理的条件、歴史的発展の点等に起因する異なる側面をも表わすことがある。その為、比較の意義が見い出される対象となる。この比較の対象となる対を「比較の環」と考え、この環を徐々につなげて、拡大していき、やがて、広範囲の国々の比較を可能としていくアプローチがCLAなのである。

国際比較の尺度としての調査質問項目の作成

このCLAの発展の中で、本質的中心となるのは、とりわけ「国際比較のための質問票の作成手続き」である。ここで、「作成手続き」の部分に強調したい。表面上、比較調査は、資金と時間さえあれば、調査代理機関に調査実施依頼すれば、回答結果データを得て、単純集計表上で、各国間の比較をすればよいと思われる。実際、最近の各官庁、民間機関での国際問題への関心から、そのような調査も多く見られる。

しかし、我々が本当にターゲットとして狙っているのは、表面上の質問回答データ数値の比較 例えば、日本人は、生活満足感がアメリカ人より幾%低いと出ている などではないのである。

第1部で示したように、質問票の作成は、大きく分けて、「質問項目の選択」、「翻訳・再翻訳」、「予備調査による検討」の3つのステップでできている。実のところ本調査によるデータ回収以前に、国際比較調査によるかなり多くの重要な情報は、既に上の質問票作成の3つのステップの中で得られる、或いは、得る努力が必要なのである。予算と既製の調査票を調査会社に渡し、データ回収を待っているような調査では、実は、ほとんど重要な情報は得られていないのである。或いは、少なくとも、そのような調査では回答データの数値の適切な解釈に十分に信頼性を与えることには疑義があらう。

本調査以前の段階で如何に情報な情報が得られるかは、本分冊の第1部と、分冊「意識の国際比較方法論のマニュアル」に示されている。

数量化理論

CLA発展の中で、しばしば用いられた統計分析手法の一つが、「林の数量化3類」(Q3と略す)である。但し、これを単に通常の変量分析法の一つとして捉えるのは、少なくともCLAの中では正しくない。統計手法というよりは、むしろ、統計データ分析の実践的哲学を実行する為の表現法と呼んだ方が妥当かもしれない。例えば、この手法による分析例が第2部§3.1に示される。全質問データにQ3を適用すると、(Q3はカテゴリカルデータ用の主成分分析とも考えられるので)いくつかの主因子が抽出される。通常の主成分分析では、これらの主因子が、意義をもつか否かは、それらに対応する説明分散の絶対的大小と相対的大小によって判断する。つまり、分散の大小順に並べて、絶対的分散が十分大でかつ、次に続く因子の分散が著しく小となる直前までの因子を、意味のある因子として抽出する。

しかし、CLAにおけるQ3の運用の仕方は、これとは異なる。本来、質問項目は、国民性のできるだけあらゆる側面をカバーするようにと選択されている。いくつかの質問はグループとして、国民性のあるトピック(生活水準、政治意識、男女の役割、宗教心、人間関係etc.)などに関連する項目を構成している。それらの質問項目が必ずしも同じウエイトで、国民性の側面に関わっているという保証はない。しかし、これらの項目が、国民性の全体像をカバーするように選択された意図から考えると、Q3で、抽出された各因子の「絶対的」説明分散量は、大きくならないのが自然であろう。(但し、あるトピックに関する項目群の回答データに、Q3を適用した場合は分散は大きくなるだろう。)重要なのは、分散の相対的大小(因子の順位)である。この順位に対応する因子が、何を把えているのかをもとの質問項目へ戻って、分析するのが、次の手続きである。

但し、あまりに1個の質問とその回答データに固執するのは賢明ではない。個々の質問は、すべての国でほとんど同じ意味をなす質問もあるが、本来は、「日本的質問」、「ドイツ的質問」というように、ある国の調査で使われてきたユニークな質問を、我々の調査票にとり入れた場合もある。したがって、そのようなユニークな「質問」は、ある国と他とを識別するには役立つが、回答データ数値の単純な大小比較が意味を持つとは限らないので注意が必要である。

また、数量化の哲学は、回答者の思考プロセス、つまり「考え方の筋道」をクロス集計表分析によって吟味するところにも表われる。

国際比較において、国々の回答分析はまず単純集計表の全体の回答分布パターンを分析することから始まる。しかし、仮りに、ある国と他の国の(周辺)分析パターンが全く同じであったとしても、必ずしも、それらの国々での回答分布を「同じ」と見なしてよいか否かの判断は慎重でなければならない。例えば、国Aと国Bの両方の回答が、質問1と2で、どちらもYes50%, No50%であったとしよう。しかし、国Aでは質問1でYesと答えた者は、質問2ですべてNoと答え、一方、国Bでは質問1でYesと答えた者はすべて質問2にもYesと答えるということもありうる。この回答者個人のレベルをも配慮した回答パターンは、クロス集計表を慎重に分析しなければ発見できない。我々は、これをハワイ日系人調査において身をもって、その重要性を見出したのであった(林, 1993「行動科学序説」参照)。

いずれにせよ、国際比較調査データ分析における数量化理論とは、回答データの分析は

勿論、調査票構成の手続きや回答者の思考パターンも広く加味して事体を把えていくことを強調するものである。

相補的統計分析の考え方

さらに、この研究を進めてくる中で、我々は、分析方法においても、分析結果の解釈においても、現象の理解に対して柔軟な、いわば相補的な考え方やアプローチが重要で、また現実的であることに身をもって感じるようになってきた。これは、数量化理論の哲学を延長してきたなかで生まれてきた考え方ともいえるかもしれない。

具体的に、この考え方を示そう。今、ここで言葉で示すことのできる「相補性」とは例えば、

- i) 多次元尺度的表示 VS 一次元尺度構成
 - ii) 大域的比較 VS 局所的比較
 - iii) 属性別の回答パターン分析 VS 回答パターンから観た属性の規定
 - iv) 理論構築 VS 実証データの収集
- 等である。

基本的考え方は、分析に当たり、分析の切り口は明確にしなければならないが、分析を進める中で、その視点を柔軟に変えながら、対象の全体像の理解に努めるということである。上のi)～iv)について説明を加えよう。

i) 多次元尺度的表示 VS 一次元尺度の相補性 例えば、一方で、国際比較の統計的分析において調査対象国の持つ種々の側面の全体の関連、各国間の全体的位置づけのイメージを把えるには、数量化3類等の多次元尺度表示を利用することがある（林の分析、§3.1参照）。他方で、各国のデータを分析し、ある特定のトピック（例、仕事に対する態度、QOL等々）に関するデータを分析するには、関連する質問項目を厳選し、なるべく簡単な一次元尺度を構成して、得点（スコア）を比較分析することも可能である（Yoshino & Kohr §5参照）。

ii) 大域的比較 VS 局所的比較 上の尺度構成における多次元と一次元の相補的利用は、さらに、比較対象の空間的連関でいうと、大域的比較と局所的比較のための尺度構成における相補的利用に結びついている。一方で、少しずつ異なるが、大きな地域にまたがる国々を全体として比較しようとする、当然、粗い尺度で全体のパターンの中で各国を位置づけることになる。他方で、ある特定の地域や国に焦点を当て、さらに、いくつかの特定のトピックや、属性について調べるには、詳しい尺度が必要であり、多次元尺度法におけるような情報縮約よりも（注、勿論、Q3等の多次元尺度法も巧妙に利用できることもあるが）、生のデータからすぐに得られる単純なスコアが役立つこともある（"Data Analysis for Social Comparative Research", ch. 8, by Hayashi, Suzuki & Sasaki, North - Holland, 1992, 参照）。

iii) 属性別の回答パターン分析 VS 回答パターンから視た属性の規定 また、各属性カテゴリー（性別、年齢別、職業別、学歴別 etc.）に属する人々がどのように調査回答を示すかを、属性カテゴリー別の単純集計表で回答分布を比較することも多い。しかし、これに関連するデータは単に、どういう年齢、学歴や職業の人々がどういう意見を持っているかという表面的な情報だけを示しているのではない。学歴の高低、職業の種別といっても、実際のところ、その区別は各国毎の事情は複雑である。例えばILOで定められた各国共通の職業別コードがあるが、それですら、ある国で高度の専門職を表わす言葉（Skilled worker）は、他国では専門職であっても、それ程高度のものではなかったりすることもあ

り、そもそも本当に「共通コード」というものが構成でき得るのかという問題があり、見かけほど簡単ではない。

この様な事情を考えていくと、ある国のある属性カテゴリーの人々の回答パターンが、逆に、その属性を特性づけていると考えていくこともできる。これは、質問という「(測定)刺激」と、それに対する「回答(反応)」との間の相補的連関である。(林文, 第2部 §6 参照) この質問項目群と回答データとの相補的關係は、以前より「因子分析法」においても問題とされ、議論されている事柄にも通じているだろう ("The Green-McDonand proof of the non existence of factor analysis" by Guttman in "Louis Guttman on Theory of Methodology Selected Writings" by S. Levy [Ed. 1994] 参照)。

iV)理論とデータ 理論的展開と実証データの収集と分析が、相補って進められていくべきことは、議論の余地がなく、一般に受け入れられているであろう。しかし、現実に昨今の学術雑誌に発表されている論文の多くが、この思想を実現できているわけではない。巨大科学化している分野では、個々の研究者のレベルでは、理論家と実験・観察家との分業が進められていても不思議ではない。しかし、科学の具体的対象や現象に全く言及されていけない机上の空論、シュミレーション研究の発表も増大しているのが現状である。

林の数量化理論は、本来は、特定のモデルの利用ではなく、実証的統計分析法の哲学として生まれてきたものである。我々は、その延長上にあるこの研究の中で、再び理論と実証データとの相補的發展を進める研究態度を強調し実践例を示していきたい。

§ 1 C L Aによる分析の視点

---連鎖的調査計画・分析法 (Cultural Link Analysis, C L Aと略称する)
による分析の背景---

これまでに日本とアメリカの比較を通して質問の内容について、日本的質問、アメリカ的質問、共通の質問の組み合わせでの分析、アメリカ的質問と共通の質問による分析を通して、日本とアメリカの同異の姿をみてきた。後者の質問群での分析では殆ど日本的考えの筋道に差のないことを知った。¹⁾²⁾ 日本、フランスとの比較を通してどこにでも共通して通用する 'Quality of Life(Q O L)' の質問項目の分析では大局的にポジティブ、ネガティブ、中間とわかれる考えの筋道は似ているが---但し日本は中間の内容が最も大事な柱となり、フランスはポジティブ、ネガティブが最も大事な柱となっているという考えがある---、日本ではポジティブの内容が分化せず異質のものが同じクラスターをつくるが、フランスではそれぞれ別のクラスターとなっているという大きな違いが見出された。³⁾ ここで、いわゆる日本固有の質問ではなく、どこにでも同じ考え方の下で回答できて、どこにでも通用する一見万国共通と見られる質問群においても考えの筋道の違いがあることが解ってきた。固有のものは、差異があっても当然と思われるが、同じと思える質問群の中に考えの筋道に差のあることは重要な示唆を与える。ここに根の深い大きな誤解が生ずることになる。同じと思えてそうではなく、しかもこれを意識していない---容易に気が付いてこない---ところが、深刻であると考えられるのである。

これを踏まえて一般的と思えるQ O Lを含む質問群を用い、日本、フランス、ハワイの調査を分析してきたが、⁴⁾ 単純にスケールを作るような質問群では非常に類似した考えの筋道を示すものであるが、スケールをなさず次元の異なるものが入りこむと、考えの筋道は異ったものに変わってくるという点、中間の回答が日本の特徴をあらわすという点が解ってきた。

対象地域、質問内容におけるC L Aの有効性が次第に見えてきたので、C L Aの考え方を中心に据えた今回の国際比較研究を計画した。これから、得られたデータの分析に踏み込んで行くことにする。

ここでのC L Aの方法は、ダイナミックな立場に立つもので、ものの考え方、見方、感じ方 (Belief systems, the way of thinking, Emotional attitude) における、類似性と非類似性、共通・普遍性と差異・特殊性、似たところと異っているところ (Similarity と Dissimilarity, Commonality・Universality-Consistency- と Difference-Particularity-) を明らかにし、その同異の相の国別連鎖性のさまざまな姿を明らかにしようとするものである。

参考文献

- 1) Hayashi, C. (1980) Data Analysis in a Comparative Study, Data Analysis and Informatics, by E. Diday et al. (eds), 31-51, North-Holland.
- 2) 林 知己夫、鈴木達三 (1986) 社会調査と数量化、岩波書店
- 3) Hayashi, C., T. Suzuki and F. Hayashi (1984) Comparative Study of Lifestyle and Quality of Life : Japan and France, Behaviormetrika No. 15, 1-17.
- 4) Hayashi, C., F. Hayashi, T. Suzuki, L. Lebart and Y. Kuroda (1985) Comparative Study of Quality of Life and Multidimensional Data Analysis, Data Analysis and Informatics IV, by E. Diday et. al. (eds), 573-585, North-Holland.

§ 2 対象地域による C L A

まず地域によって連鎖の様相を明らかにしたい。

§ 2.1 日本人とアメリカ人の鎖としてのハワイの日系人

どういふ点でハワイの日系人が、日本（日本人）とアメリカ（アメリカ人）の鎖をなしているかを各種のデータから分析してみよう。

（ア）義理人情スケール値の分布の点から

まず、我々が常々用いている日本の質問である義理人情に関する質問（質問表Ⅱによる）を用い、表 2-1 の考え方に従って義理人情スケールをつくりこの分布を比較するのである。このスケール値の多い方が義理人情的ということである。まず、日本の分布をみるとこの 25 年間少しの揺れはあるものの殆ど差が見られず安定している（図 2-1）。山はスケール値 1、2 のところにあり、スケール値 2 以上が常に過半数を占めている。相当日本的意味の義理人情的であるといふことができる。

表 2-1
義理人情スケールの作成

質問	義理人情回答	スケール値
1	a	1
2×3	2a×3b	1
4×5	4a×5b	1
6	b	1
7	7a×7b	1

日本とアメリカとハワイの日系人と非日系人の分布をみると、図 2-2 にみられるように、日本人、日系人、非日系人、アメリカ人（後二者に大きな差はない）という移り行く姿がみられている。日系人が間にくるのが面白い。

つぎに、日系人の内訳をとってみる。日本らしさのスケール（日本の文化との親近性をみるためのスケールで日本的なものに接触しているかどうか、という実態的な回答から作られるもの）で、より日本的グループ（J A J と名付ける）、より日本的でないグループ（J A A と名付ける）にわけると、このほか、アメリカ本土以外の生れの非日系人（ハワイ生れの非日系人を含む）、アメリカ本土生れの非日系人にわけて分布をとってみると図 2-3 のように順次に移り行き、集団の特性に応じてアメリカ型から日本型へ移行する形がみられ、日系人が鎖のように間に介入していることがわかる。このようなもののスケール分布は表 2-7 に示しておく。

（イ）義理人情の考えの筋道

日本人においては、上記質問における義理人情的考えの筋道---心の構図と言ってもよからう---がこの 25 年間全く安定していることは、多くの論文で論じてきたが、その安定し

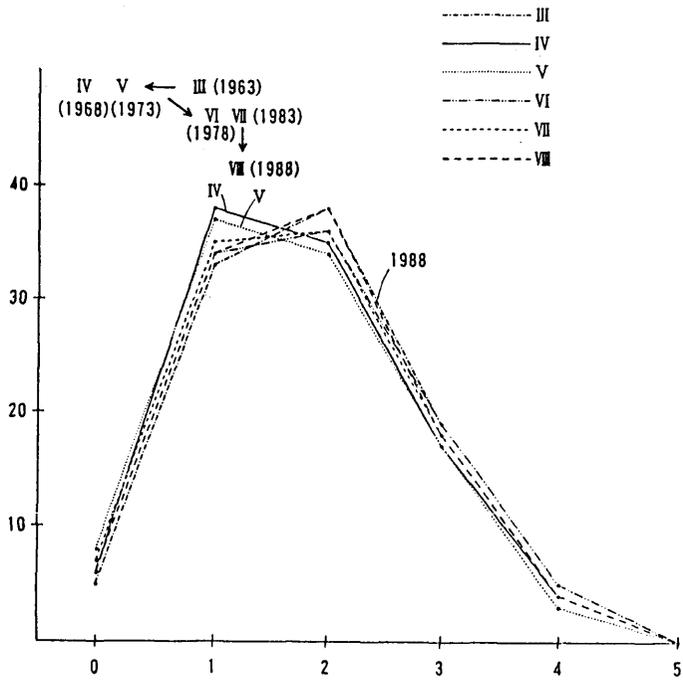


图 2 - 1
Distribution of Giri - ninjo Scale Value in Japan

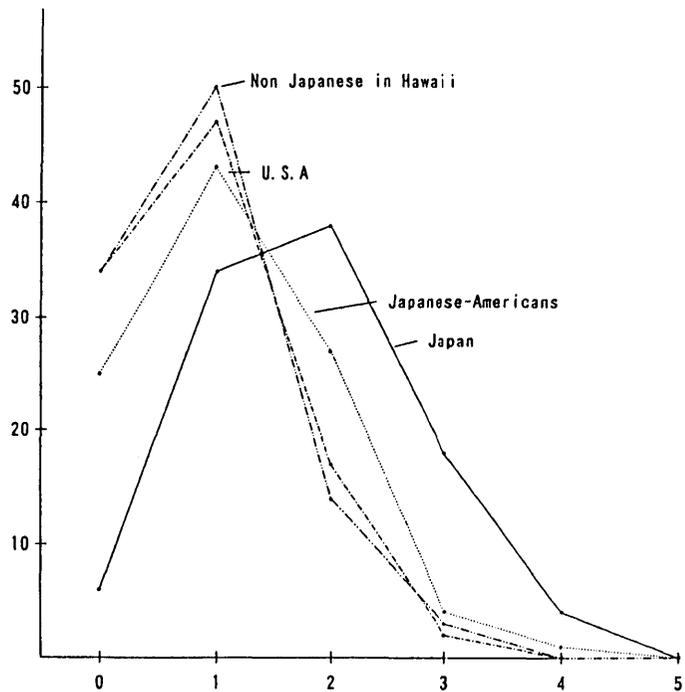


図 2-2
義理人情スケール分布 (日本, ハワイ, アメリカ)

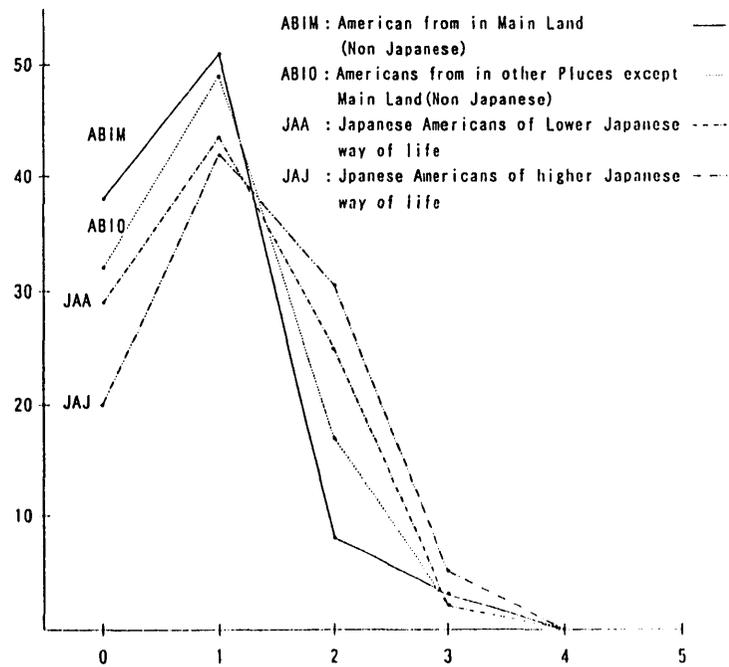


図 2-3
Giri-ninjo Scale in Segmentation of Hawaii Residents

た形のみを図2-4 にのせておく。

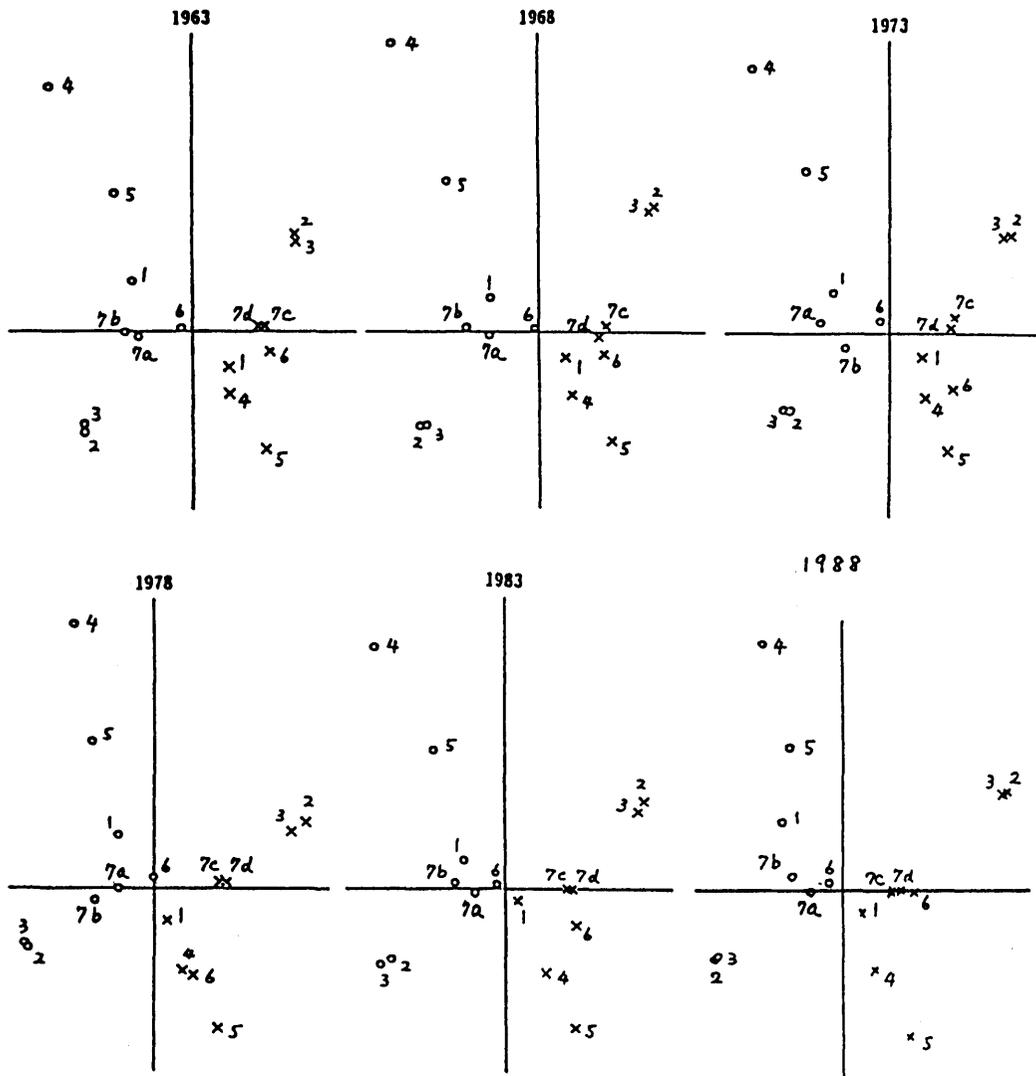
ハワイの日系人は、これまで、相対的位置はそれほど日本と変わらないが、90°回転した図形のみられることが知られており、1988年調査でも同様である(図2-5)。日本の年齢別でもこうした形が時に見られるので、日本とかなり近いということが言える。諸外国では、やや異った位置が出ている(図2-5)。そこで、図形相互の点の位置の距離の平均を出し、回転してその最少の距離になるところを見出し、それを二つの図形間の差異とすることを考える。集団としては表2-2にある13集団である。日本の国民性調査をすべて入れるとあまり多くなりすぎるので3回の調査のみにした。距離は遠い近い位の意味しかないファジィなものなので距離の分布をつくり、その形から3段階に区分した(表2-2)。これをもとに多次元尺度解析法の一つである、MDA-ORを用いて、相互の位置付けを行ったのが図2-6である。

表2-2
DATA MATRIX (DISSIMILARITY CLASS)

1	D	0													
2	F	3	0												
3	E	3	2	0											
4	A	2	3	1	0										
5	J	3	2	2	2	0									
6	K8	3	3	3	3	1	0								
7	H8	3	1	2	1	2	3	0							
8	K5	3	3	2	3	1	1	3	0						
9	K3	3	3	3	3	1	1	3	1	0					
10	A7	2	2	1	1	3	3	1	3	3	0				
11	H0	3	1	2	2	1	2	1	1	1	2	0			
12	H2	2	1	2	2	2	3	1	3	3	2	1	0		
13	H4	2	3	3	1	2	2	2	2	2	2	2	2	0	
		D	F	E	A	J	K8	H8	K5	K3	A7	H0	H2	H4	

1: ~0.55 近い
2: 0.55~0.70 中位
3: 0.70~ 遠い

注) D : ドイツ
F : フランス
E : イギリス
A : アメリカ
J : 日本 (A調査票による)
K8 : 国民性調査1988
H8 : ハワイ住民1988
K5 : 国民性調査1973
K3 : 国民性調査1963
A7 : アメリカ1978
H0 : ハワイ日系人1971
H2 : ハワイ日系人1978
H4 : ハワイ日系人1983



o means ninjo or giri-ninjo (traditional) response
 x means non-giri-ninjo response

☒ 2-4

Stability of configuration of giri-ninjo attitude in Japan

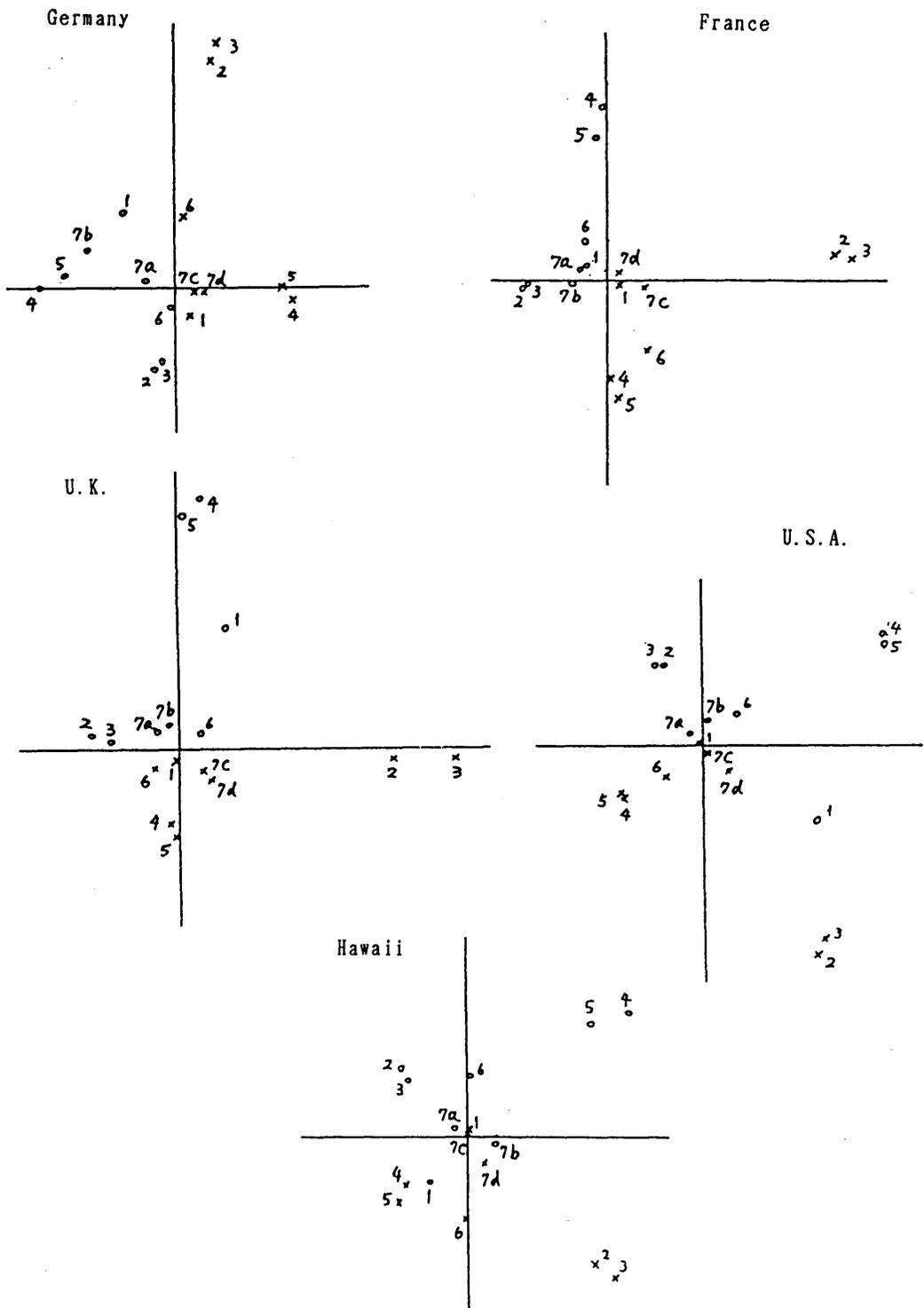


图 2-5
 Configuration of giri-ninjo attitude
 — 376 —

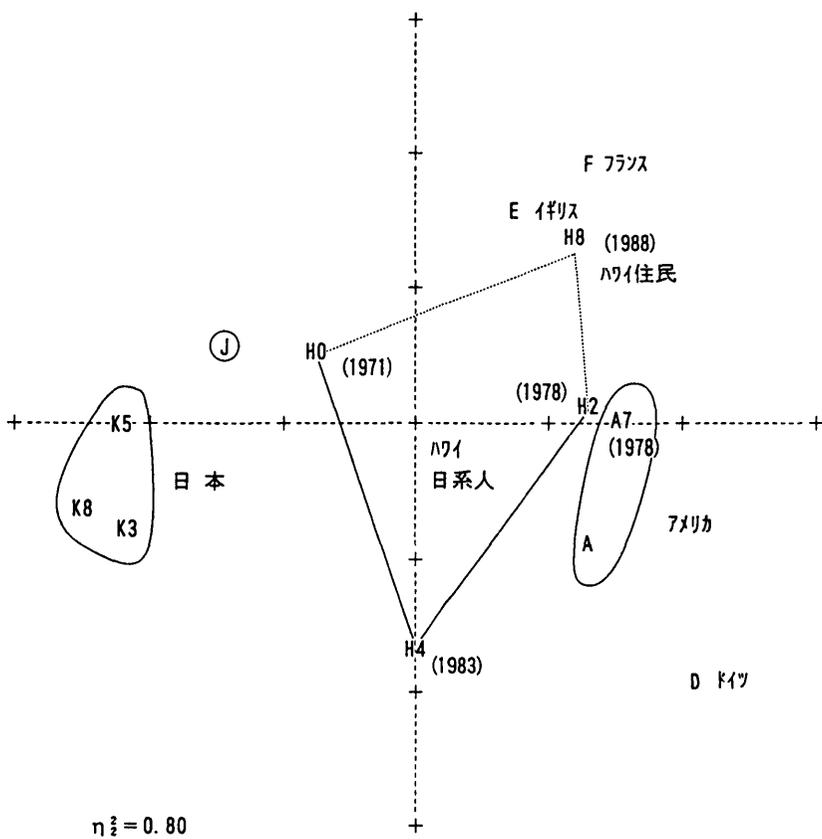


図 2 - 6 相互の位置付け

日本のK3（国民性調査1963）、K5（同1973）、K8（同1988）は近くにかたまり、国際比較のA調査票によるものも近くにある。アメリカの2つ、A（国際比較）とA7（1978）は近くにあり、イギリス（E）、フランス（F）も近い。ドイツ（D）は離れるという形が出ている。これらの中にハワイの日系人、ハワイ住民が位置する（1988でハワイ日系人を用いなかったのは、サンプルが少くなり図形が不安定であったためである）。この図形の4つの点の位置の範囲からみても日系人は日本人とアメリカ人との間に来ていると見ることができる。

（ウ）中間回答について

日本人に中間回答が多く且つ特徴的であるということは、これまでの調査で大よそ見当がつけられている。¹⁾²⁾³⁾ここでは、国際比較で用いられている質問項目のうち中間回答のある質問が11問あった（質問表Ⅳ）ので、この11問中何個中間回答をしているかをスケール値として分布をとってみた。日本人の調査（A、B調査票による）いずれも、よく一致し、中間回答の分布は中高の形をしていることがわかる。これは図2-7に示されている。アメリカをみるとはるかに少い方に寄っている。その中間にハワイ住民がくるが、日系人がやや日本寄り、非日系人がややアメリカ寄りにあるという興味ある形が出ているのである。この意味においても、ハワイ、日系人が日本とアメリカの鎖をなしているということが出てきており、ハワイ、日系人というのは、なにがしか日本的雰囲気を持っている。つまり、日米の橋渡しの形になっているということを知るのである。

次にさらに面白い関係が見られるのである。

（エ）イソップ物語りと人間関係の暖さ

イソップ物語りの中のキリギリスと蟻（蟻とセミというのものもある）の話についての回答である。このことについては、詳しく述べたものがあるのでそれに譲る⁴⁾とし、質問文は、質問表のⅧ問25の通りである。まずキリギリスと蟻の話を質問し、回答として「1. 夏の間怠けていたのだから、困るのが当然だと追い返してしまう」「2. 怠けていたのはいけなけれども、これからはちゃんと働くのですよ、といさめた上で、食べ物をわけてあげる」を示し、この話の結びとして、この中のどちらが自分の気持ちにじっくりしますかという形で回答をとるのである。回答は表2-3の通りである。

第2-3表

	ドイツ	フランス	イギリス	アメリカ	日本
1の型	13%	14%	13%	12%	15%
2の型	78	79	83	85	75

日本人は心がやさしいから2の型が多いと言う意見が文献に基く考察で論じられているがむしろ少めであることに注目したい。これはこれとして、この1、2の回答と心のやさしさとの関係のみよう。ここでは、人間関係における暖さ、柔かさ好みとも言うべきものとの関係をとりあげてみる、そのため、義理人情スケールの時用いた質問（質問表Ⅱ）から、人間関係における暖さ、柔さのスケールを作ってみた。このコード付けは表2-4の通

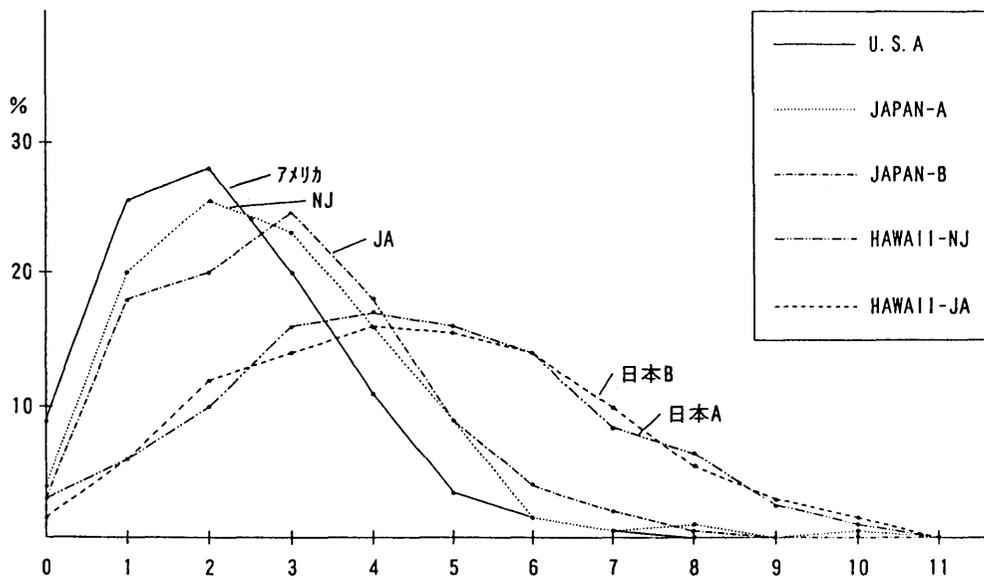


図2-7 中間回答の分布

りである。この0から8にまで及ぶスケールにおいて半分以上の5以上の値をとる比率（暖い、柔い態度を示すものの割合）を多い順にみると日本（38%）、フランス（35%）、ドイツ（33%）、イギリス（27%）、アメリカ（23%）となる。ハワイの非日系（19%）、ハワイの日系人（29%）をみると非日系はアメリカ側、ハワイの日系人は日本人とアメリカ人の中間にくるのも面白い。

表2-4

Affection (warm-heartedness, humaneness
and personal feeling)-oriented scale
in interpersonal relations (0-8)

Scale construction (Use of Giri-ninjo questions)

question no.	category	scale value
1	(a)	1
2	(a)	1
3	(a)	1
4	(b)	1
5	(b)	1
6	(b)	1
7	(a)	1
	(b)	1
total		0 - 8

表2-5

percentage of more than 5 values in 8 point

	S1	S2	Total*
German	36	34	33
French	40	36	35
English	28	28	27
American	24	23	23
non-JA in Hawaii	10	< 20**	19
JA in hawaii	18	< 31**	29
Japanese	32	< 40**	38

note) * including others besides S1 and S2.

** significant (confidence level 0.95)

$$\left(2 \sigma_{P1-P2} = 2 \sqrt{\frac{2P}{n}} \right)$$

これはこれとして、1の型の回答（S1と示す）2の型の回答（S2と示す）との関係をみると表2-5のようにハワイ、日本 以外では5以上のスケール値とS1、S2回答の間の差は全くない。しかし、ハワイになるとS2の回答の方に人間関係の暖さ、柔さ好みが多くなるのである。日本では勿論高いのである。この関連性は注目してよい。S2の方の回答を人間関係の暖さ、柔さと関係付けること、そのことが日本的考え方なのではないか、ということである。ハワイは、日本的な発想であり、関連性の上で、ハワイは日本と欧米との間に来ているのである。この関係を図示したのが図2-8である。

横軸に、スケール値5以上の全体での比率、縦軸に‘S2におけるスケール値5以上の比率’から‘S1におけるスケール値5以上の比率’を減じたものを目盛ってある。ハワイと日本は縦軸で上方にあり、日本人、日系人の順に横軸で少くなりアメリカに寄って行く。日本、ドイツ、フランスは全体での比率は近いが縦軸の意味で差が出ている。こういう意味において、日系人は日本人とアメリカ人の鎖になっているということがわかる。

(オ) 人間関係 (interpersonal relations) における日系人

人間関係の affection scale について述べてきたが、さらにこれを拡大して同種のものをおつめてみよう。この一部をなしているQ50 めんどろをみる課長、Q20 就職の条件のうち「3. 気のあった人達と働くこと」、Q47で「2. 物事を決定するとき他人との調和をはかることに重点をおく人」をより好むか、Q27d「友人、知人を非常に大事にする（6あるいは7（最大）程度）」をとりあげてみた。この比率を示すと次のようになる。

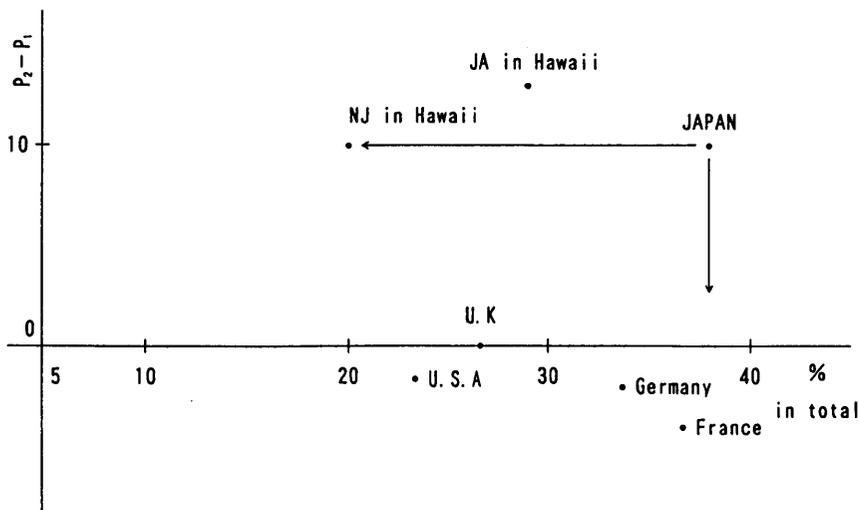


図2-8 義理人情的暖かさのスケール5以上の人の率

	日本	ハワイ 日系	ハワイ 非日系	アメリカ	ドイツ	フランス	イギリス
affection Scale 5以上の比率	38	29	19	23	33	35	27
Q 50 めんどうを みる課長	80	59	57	51	69	64	57
Q 47 まるくおさめる 人を好む	68	72	67	47	62	66	52
Q 20 気のある人	29	22	13	11	20	7	15
Q 27 友人・知人 非常に大事 (コード6、7)	67	65	58	63	63	49	57

見やすくするため順位をつけてみると

	日本	ハワイ 日系	ハワイ 非日系	アメリカ	ドイツ	フランス	イギリス
affection Scale 5以上の比率	1	2	7	6	4	3	5
Q 50 めんどうを みる課長	1	4	5	7	2	3	5
Q 47 まるくおさめる 人を好む	2	1	3	7	5	3	6
Q 20 気のある人	1	2	5	6	3	7	4
Q 27 友人・知人 非常に大事	1	2	5	3	3	7	5
ランクの和	6	11	25	29	17	23	25

* 1%の差は同順とした。

ランクの和の近い順をみると、日本、日系人（ハワイ）、ドイツ人、フランス人、イギリス人＝非日系人（ハワイ）、アメリカ人となり、人間関係では日本の暖さ好み、アメリカのドライな好みが両極で日系人（ハワイ）は日本寄りで中間にあり、非日系（ハワイ）もイギリスと共に中間にきている。ドイツは暖かい方である。フランスは前三者は暖い方の好みであるが後の二つで異った反応をしており考えの筋道は明らかに異なる。この点アメリカも少し異なるようであるが、全体的にドライである。

いずれにせよ、人間関係で日系人は日本寄りの鎖を示しアメリカとの間にある。めんどうをみる課長のみは、アメリカ寄りであるのは注目してよい。

このように、「日本的なもの」を含む意見の場合には、多くの場合において、ハワイの

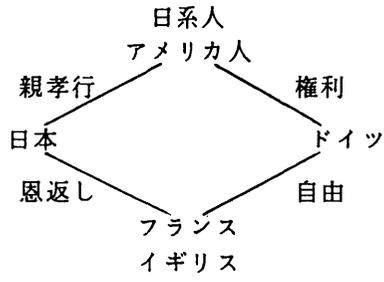


図 2-9-1
国の関連図

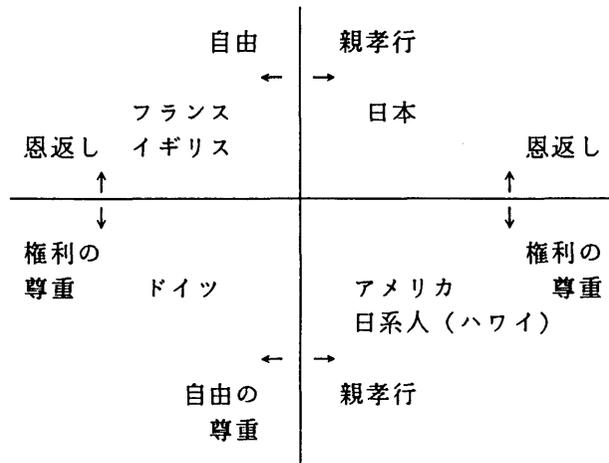


図 2-9-2

日系人は日本人とアメリカ人の鎖をなしていることが解るが、そうでない一般的な意見において日本とアメリカとが意見の異なる場合、その単純集計表をみても、日系人は必ずしもその間に来るのではなく、むしろ多くのもので、日系人はアメリカ人に非常に近く、日本に遠い考えを持っていることが示されており、日本人と異った、また、ドイツ、フランス、イギリスとも異ったものになっているのである。

参 考 文 献

- 1) 前 § 1 の参考文献 2)
- 2) 林 知己夫 (1984) 調査の科学、講談社
- 3) 林 知己夫 (1988) 日本人の心をはかる、朝日新聞社
- 4) 林 知己夫・米沢 弘 (1982) 日本人の深層意識、日本放送出版協会

§ 2.2 各国グループの相互の位置付け---鎖はどこにあるか その1 単純集計を用いて

こんどは、単純な構造の質問を用いて各国の位置付け、近さ・遠さに基く相互の位置関係を考えてみよう。

(ア) 日本的質問について

まず、大切な道徳(質問表Ⅱの問7)を用いてみよう。全体の比率は別として4つの道徳、親孝行、恩返し(調査票Aによる)、権利、自由それぞれの項目において比率の多いもの、上から3番目までをとりあげ、各国の特色をみることにする。ここで、ただ4項目の比率の多いものをとりあげると、特色の出る場合もあるが同じになってしまう場合もあるので、特色を浮き立たせる意味で、このようなとり方をしたのである。結果を表2-6に示すが、明確な関係が出てきた。日本からドイツへの両極を結ぶ関連がかわる。これを図2-9-1に示す。別の図示をしてみると図2-9-2のようになり、軸によってきれいに分離する形が出ている。日系人はこの質問においては全くアメリカと同じパターンを示していることは注目される。

表2-6

	J	J A	A	U K	F R	G E
Filial piety	V	V	V			
Repaying obligation	V			V	V	
Respect for individual right		V	V			V
Respect for individual freedom				V	V	V

V : the largest three in each item

このように、日本とドイツが両極にあり甚だ差のあるように見えるが、これを拡大解釈してはいけない。めんどうをみる課長（質問表Ⅱの間6）のめんどうをみる課長の好みは

日 本	80%
ド イ ツ	69%
フ ラ ンス	64%
イ ギ リ ス	57%
ハ ワ イ 日 系 人	59%
ハ ワ イ 非 日 系 人	57%
ア メ リ カ	51%

というようにドイツと日本は近く、日系人はアメリカ人と日本人の間にくる。これは、おかしなことではなく、前述した義理人情の回答構造に日本とドイツが甚だ異ったものがある（図2-6）ことから理解されるのである。こうした構造の差があるにも拘らず「日本人的な見方」でドイツの回答の関連性を見ることは正しくない、ということの意味しているのであり、各質問毎の単独集計からの「固有の発想」---それが固有であることに気がつかず、普遍的な論理と思いついて---による解釈が、いかに危険であるかを如実に示している。

つぎに、義理人情における心の構図であるが、これについては§2.1にその図（図2-6）をかかげてあり、それぞれの位置付けが容易にわかる。同様に日本が安定した形で位置し、つぎに日系人がある拡がり---年次的にみて---を示し、これに近くアメリカ（1978、1988）が位置している。日系人グループに近くフランス・イギリスが位置するが、アメリカとは反対側にきて異り、ドイツがアメリカ側にあつて離れて位置するという形であり、この点でみると図2-9の位置関係（日系人を除き）とかなり似ていることは面白いことである。

義理人情分布をみると図2-10のようになり、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツというように日本側に寄ってきている様相がわかる。これは表2-7に示すが、これをまとめてみやすくすると、表2-8のようになる。ハワイの日系人がやや形が異なるがハワイ非日系、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランスの順に日本寄りになる。アメリカ→ヨーロッパ→日本という形であろうか。

つぎに、中間回答の分布をみよう。図2-11にその傾向を示すが、アメリカーフランスーイギリスードイツー日本という順に中間回答が大きい方に傾いて行くことがわかり、日本との距離はずい分ある。ここでも、アメリカが人間関係の暖さの一つの尺度、義理人情スケールの時と同じく、日本の特色であるあいまいさの点で、アメリカ人がその対極のはっきり答えるという態度において、日本と対になる他の端に位置することがわかる。日系人は前述のようにヨーロッパなみということができよう。

以上は、日系人との問題でとりあげた質問について分析してきたが、これは問題への導入としてであつて、次に一般的な問題をとりあげてみよう。

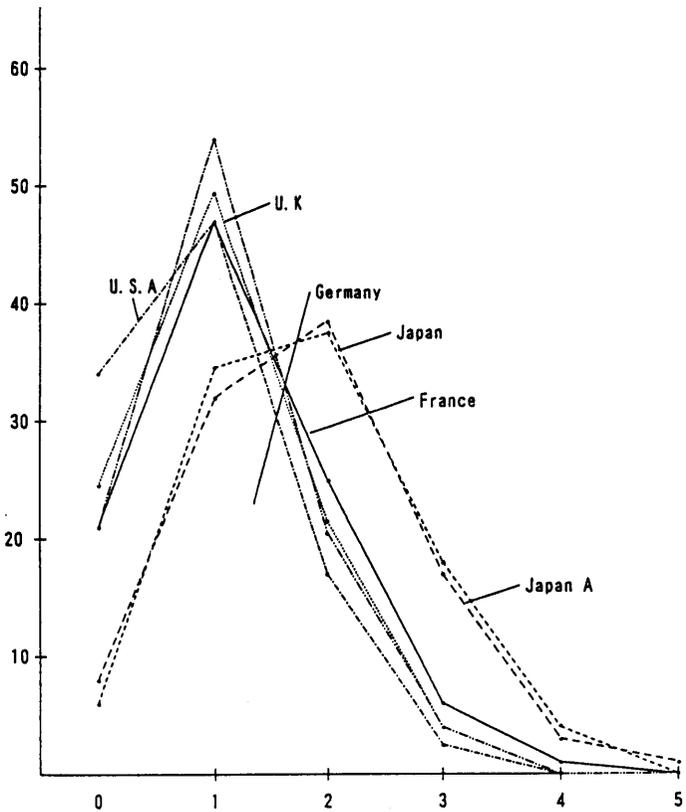


図 2-1 0
義理人情スケールの分布

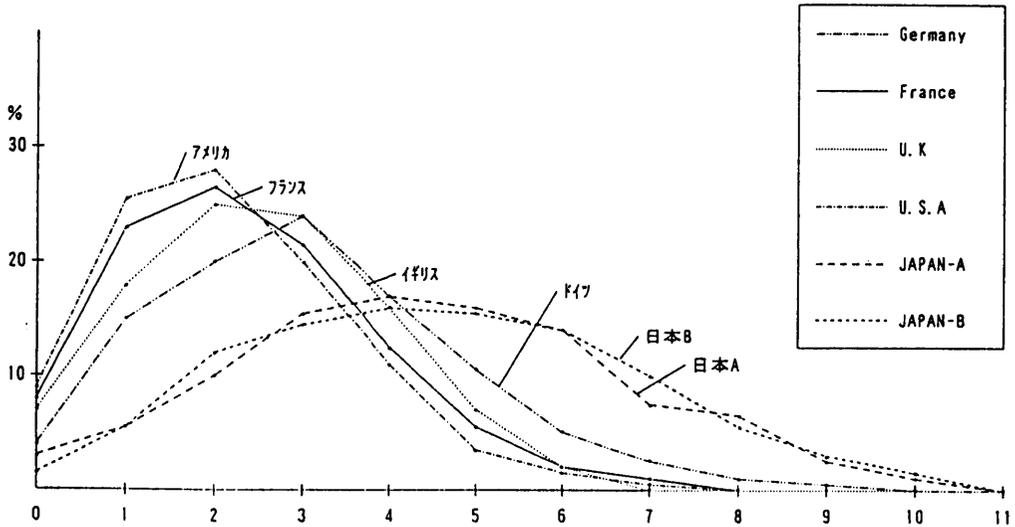


図 2-1 1
中間回答スケールの分布

表 2-7

Distribution of giri-ninjo scale value
(in percent)

Scale Value	J'63	J'68	J'73	J'78	J'83	J'88
0	7.1	6.1	8.4	5.8	4.6	6.1
1	34.6	37.8	37.0	33.5	33.1	34.5
2	35.7	34.8	33.7	36.4	37.9	37.6
3	18.2	17.1	17.4	19.0	18.8	17.9
4	4.0	3.8	3.2	4.9	5.0	3.6
5	0.4	0.4	0.3	0.4	0.6	0.3

Scale	Germany	France	U.K.	USA	HWNJ	HWJA
0	20.9	21.1	24.4	33.7	33.9	25.0
1	54.1	46.7	49.6	47.2	49.8	43.3
2	20.6	25.3	21.4	16.8	13.8	27.2
3	4.2	5.9	4.3	2.2	2.5	3.9
4	0.2	1.0	0.2	0.1	0.0	0.6
5	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0

Scale	JA71	JA78	JA83
0	30.2	30.1	30.5
1	44.9	51.9	50.5
2	20.3	14.6	16.1
3	3.9	3.8	2.6
4	0.7	0.0	0.3
5	0.0	0.0	0.0

表 2-8

義理人情スケール分布

	ハワイ非日系	アメリカ	ハワイ日系	イギリス	ドイツ	フランス	日本
0 の比率	34%	34%	25%	24%	21%	21%	6%
2 以上の比率	16%	19%	32%	26%	25%	32%	59%

(イ) 経済と将来への期待

質問は、Q1 から7 まであり

- Q1 過去10年間で国の生活水準はよくなったか
- Q2 過去10年間であなたの生活水準はよくなったか
- Q3 これからさき、5年間にあなたの生活水準はよくなるか
- Q4 これからさき、人は幸福になるか
- Q5 これからさき、心のやすらかさはふえるか
- Q7 これからさき、人間の健康の面はよくなるか

(Q6 は人間の自由がふえるか、へるかの質問であったが、次元が異なる回答が入り込んでいることがわかりここでは割愛した)

という質問でポジティブ、ネガティブ、中間の回答にわけてまとめてみた。ある面での世の中の明るさに関する質問である。見易くするために、各質問で第1位、第2位に属するものの回答個数をしらべたのが表2-9の通りで、(日系人・アメリカ)、(日本・ドイツ)、(イギリス・フランス)というクラスターが見られこの間で差が出ている。大きく言えば3クラスターになり、明るい(日系人・アメリカ)と暗い(フランス・イギリス)と中間の(日本、ドイツ)ということになる。実際の経済面の実感と「ものの感じ方」の混合したものがあらわれていると見てよい。

表2-9 世の中の明るさ

- Q1. Standard of living in country 10 years ago
- Q2. Your standard of living 10 years ago
- Q3. Living conditions in future
- Q4. Happiness in future
- Q5. Peace of mind
- Q6. Peoples health

	Positive	Medium	Negative
J A	6	0	0
A	4	1	2
J	1	5	0
G E	1	6	2
U K	0	0	2
F R	0	0	6

Number of the largest two answers
in each item

(ウ) 生活領域の重要性

Q27 の問題である。

質問 [カードをみせる] 次にあげる生活領域のそれぞれについて、あなたが重要だと思ふ程度に従って1～7の評価をつけてください。 重要度

- a. まず、「家族や子供」についてはどうですか。…………… 1 2 3 4 5 6 7
 b. では、「職業や仕事」についてはどうですか。…………… 1 2 3 4 5 6 7
 c. では、「自由になる時間とくつろぎ」について
 はどうですか。…………… 1 2 3 4 5 6 7
 d. では、「友人、知人」については…………… 1 2 3 4 5 6 7
 e. では、「両親、兄弟、姉妹、親戚」については…………… 1 2 3 4 5 6 7
 f. では、「宗教」については…………… 1 2 3 4 5 6 7
 g. では、「政治」については…………… 1 2 3 4 5 6 7

というのであるが、この重要さに応じて順位をつけてみると表2-10のようになる。これをみると重要さの順位の高いのは各領域とも日本とアメリカにかたまり、あとはばらつく（イギリスの家や子供、フランスの職業仕事、ドイツの自由時間）と言う形で、こうした単純集計による生活領域の重視に関する全体像は、日本とアメリカとは驚く程近いことがわかる。集団としての類似度が高いということである。ここでAPMの方法によって、国と項目の同時分類を考えてみよう。この方法については、第3部 [1] §1の末尾にある文献1)を参照されたい。

表2-10
重要さに応じた国の順位

	ドイツ	フランス	イギリス	アメリカ	日本	順位相関係数
	D	F	UK	A	J	
家族や子ども	5	4	2	1	3	1.00
職業や仕事	5	2	4	3	1	0.50
自由な時間	1	3	5	3	2	0.95
友人知人	3	5	4	2	1	1.00
両親など	5	4	3	1	2	1.00
宗教	3	5	4	1	2	0.90
政治	3	4	4	2	1	0.95

ここで順位1、2を○、3を△と書きなおすと

	D	F	UK	A	J
家族や子ども			○	○	△
職業や仕事		○		△	○
自由な時間	○	△		△	○
友人知人	△			○	○
両親など			△	○	○
宗教				◎(突出)	
政治	△			○	○

さてこの結果は、図2-12に示す通りである。

日本とアメリカが近くヨーロッパと分れる。ドイツがフランス、イギリスと離れている。2次元目に着目すると日本とドイツが近い。矢印(矢印のある方が若い順位)のついた直線で項目を示すが、友人、宗教、政治は全く同傾向。両親・職業・健康が同じで、これに近く家族がある。自由時間は独立である。これらの順位相関は表2-10の右側に書いてあるが、職業・健康を除いて高く、よく関係をあらわしている。全体の平均の順位相関は0.92と高く出ている。それぞれの間の異り、また近い様相がはっきりよみとれる。

単純集計をもとにした分析で、これ以上踏み込むことは、誤りを犯すことが多いので、これ以上論じない。これによって大局をつかんだ上で、国別の意見分布を見れば見通しがよくなるので、付録の集計表をみていただきたい。

§ 2.3 各国グループ相互の位置付け---鎖はどこにあるか。

その2 考えの筋道の同一性と各国グループの位置

§ 2.2においては、単純な集計をつらねて各国の関連性をみてきた。ここでは、考えの筋道をもとに分析を深めるのであるが、「考えの筋道の同一であるもの」を中心に分析を進めたい。多くの質問を集めても、考えの筋道の同一性を見出すことが困難である。しかし、いわゆるスケール(勿論ガットマンスケールの意味である)を作ると予想され、同質と見做すことが可能な質問を集めて分析を進めると、各国とも全く同じ考えの筋道が見出されたのである。複雑にみえるものの中に単純性を見出すことができた。これは、高度産業社会・情報化社会における一般的態度に関する質問に多く見られるがその他でも見かけられる。さて、しかし、この限られた考えの筋道の同一性から総括的に同じと見ることは正しくはない。その部面の考えの筋道の同一性、その内における国の関連性は解るが、人々はこれのみで生活しているわけではない。他の部面で考えの筋道の同一性はあってもその領域内における国の関連性は前のものと必ずしも同一ではないし、それら二つの部面の関連性は各国で同じとは限らない。こうした点に注意してみないと、複雑な中に単純性を見出したとしても、誤解を増幅するばかりである。ある点に着目すれば単純に見えるが、全体像は、それらの関連性を解きほぐしてこなくては見えてこないことを知るべきである。

こうしたことを心得た上で、考えの筋道の同一性という単純なものと、その中での国々の位置付けを探り、複雑なことを知るための一環として行くことにしよう。

(ア) 経済と帰属階層意識

前の§ 2.2の(イ) 経済と将来への期待のときのQ1、Q2、Q3のほかにもQ16の帰属階層意識の上、中、下を加えた分析を示してみよう。回答の概略は表2-11の通りである。

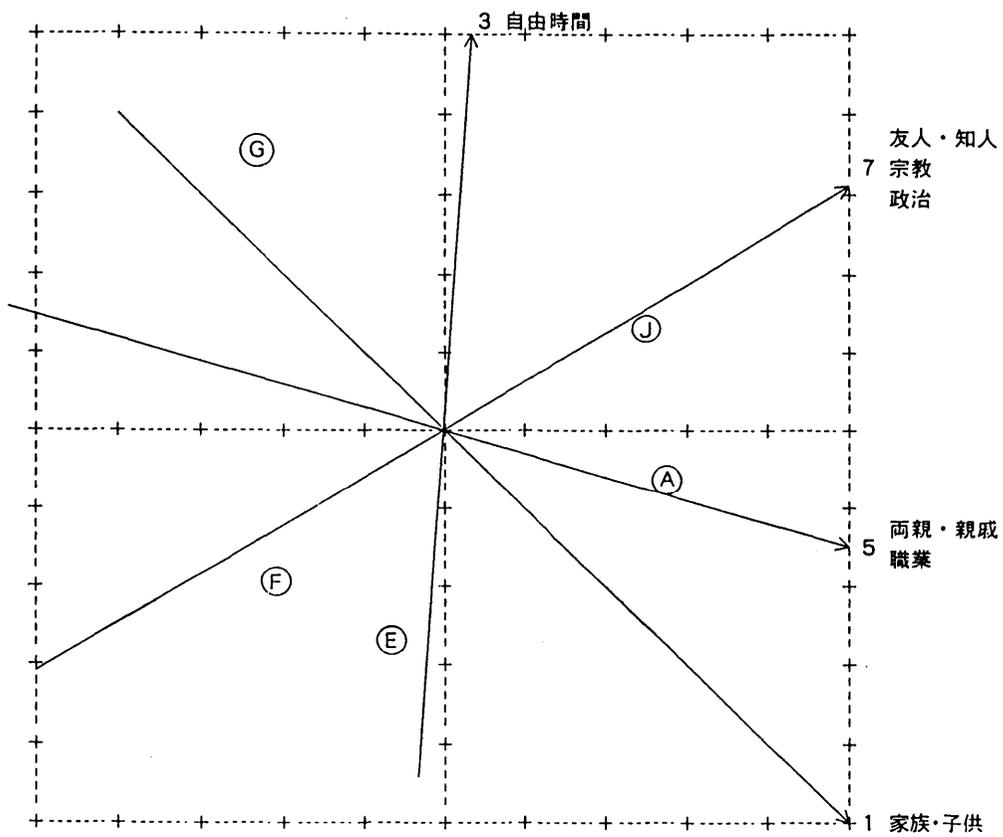
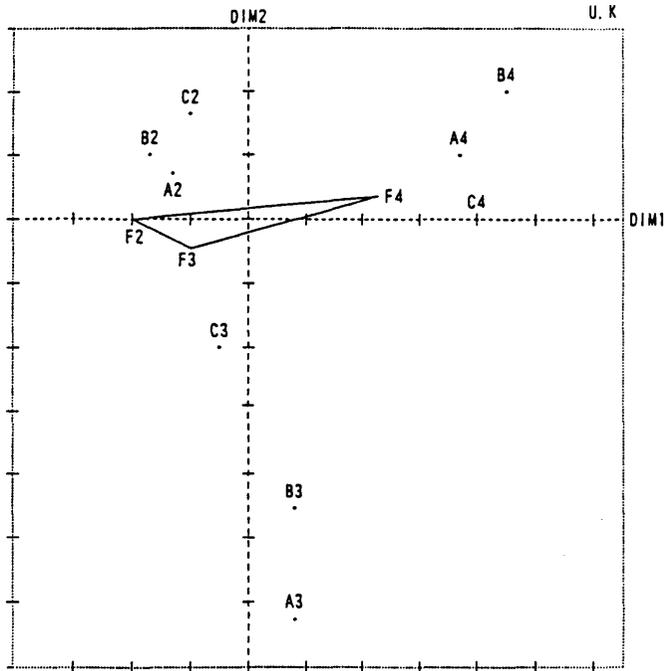


図 2-1 2
 ‘生活領域の重要度’ の A P M の結果

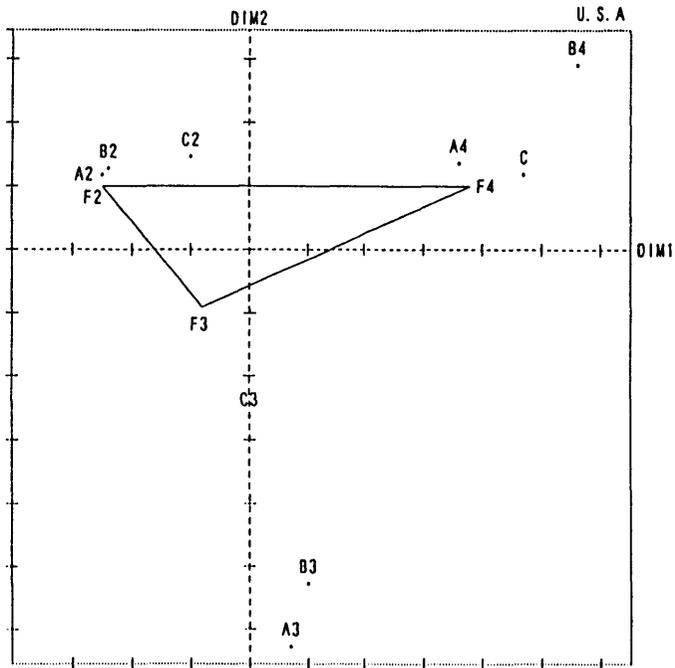
表 2-1 1
 経済の質問と帰属階層意識への回答

記号	質問	回答カテゴリ	ドイツ	フランス	イギリス	アメリカ	日本
A	Q 1 Standard living in xxxxxx 10 years ago	A 2 1. Much better	19.2	2.6	21.4	17.0	25.1
		A 2 2. Slightly better	42.0	18.5	40.0	32.0	49.8
		A 3 3. About the same	26.0	17.1	13.0	18.0	16.7
		A 4 4. Slightly worse	9.6	37.4	15.0	21.8	4.5
		A 4 5. Much worse	1.4	23.0	8.0	9.3	0.8
		9. D. K.	1.8	1.5	2.7	1.9	3.1
B	Q 2 Your standard living 10 years ago	B 2 1. Much better	16.5	6.7	24.0	25.9	7.2
		B 2 2. Slightly better	38.9	19.4	30.4	27.0	43.7
		B 3 3. About the same	33.3	25.9	25.2	26.2	37.9
		B 4 4. Slightly worse	8.0	29.7	11.8	14.3	7.9
		B 4 5. Much worse	2.0	16.5	6.7	6.0	1.3
		9. D. K.	1.2	1.8	1.9	0.6	1.9
C	Q 3 Living conditions next 5 years	C 2 1. Much better	3.8	6.7	11.8	17.1	2.6
		C 2 2. Slightly better	27.4	25.1	28.2	29.9	22.4
		C 3 3. About the same	47.6	28.5	38.6	35.0	52.2
		C 4 4. Slightly worse	15.6	27.4	12.8	8.6	14.8
		C 4 5. Much worse	1.0	6.4	3.1	3.7	1.5
		9. D. K.	4.6	5.8	5.5	5.7	6.5
F	Q 16 Living class	F 2 1. Upper	0.9	1.8	0.4	1.5	1.1
		F 2 2. Upper middle	15.9	10.8	7.2	16.7	10.9
		F 3 3. Middle	53.7	61.2	53.6	54.5	53.6
		F 4 4. Lower middle	21.5	18.9	28.1	21.6	26.9
		F 4 5. Lower middle	3.4	6.3	8.1	5.2	5.4
		9. D. K.	4.6	1.1	2.6	0.5	2.1

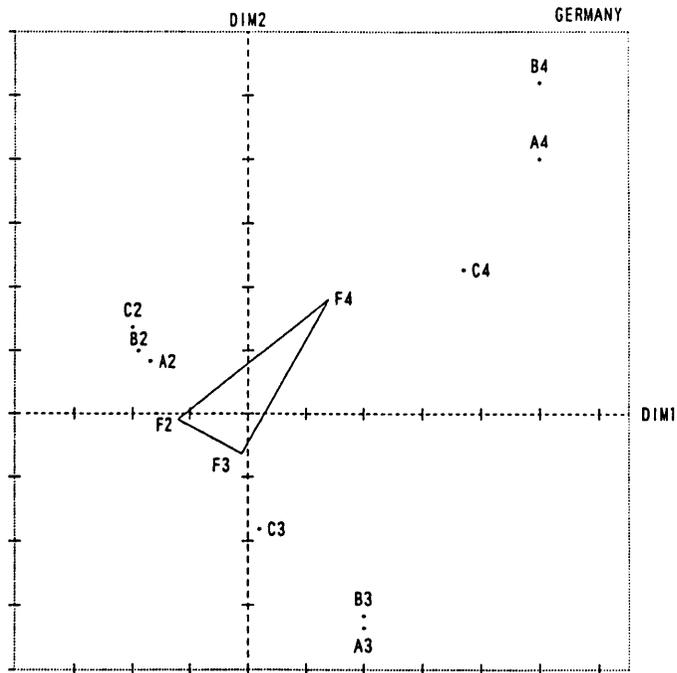
ここでボタン分類をしてみるとポジティブ、ネガティブ、中間の3つにきれいに分かれた姿とポジティブに帰属階層の高い方、ネガティブに低い方が並ぶというきわめて理解し易い形がどの国でも出ている。こまかく検討すれば、帰属階層（F）の位置が少しずれていること、ポジティブのカテゴリの小さくかたまるもの、広がるものネガティブ回答の小さくかたまるもの、広がるものが見出されるが大局的な構造にそう大きな違いはない。当然と言えば当然であるが、一つの知見である。日本とドイツはポジティブが小さく固りネガティブが広がることがわかり、フランスは逆にポジティブがひろがり、ネガティブが固り階層意識とポジティブ、ネガティブの関係が密接である（この点アメリカもこれと同じ関係が密接である）。これらは図 2-1 3-1, 2, 3, 4, 5 を見れば説明の必要がない。これをまとめてみると



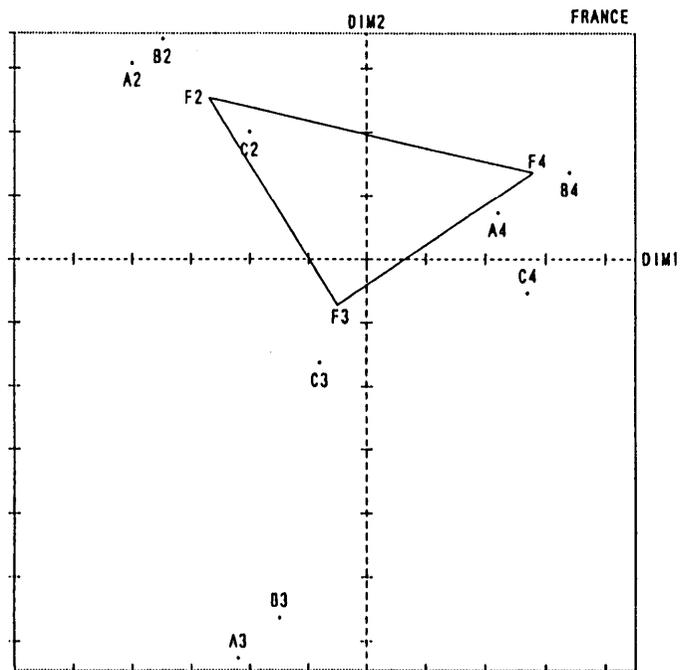
☒ 2 - 1 3 - 3
U. K.



☒ 2 - 1 3 - 4
U. S. A.



☒ 2 - 1 3 - 1
GERMANY



☒ 2 - 1 3 - 2
FRANCE

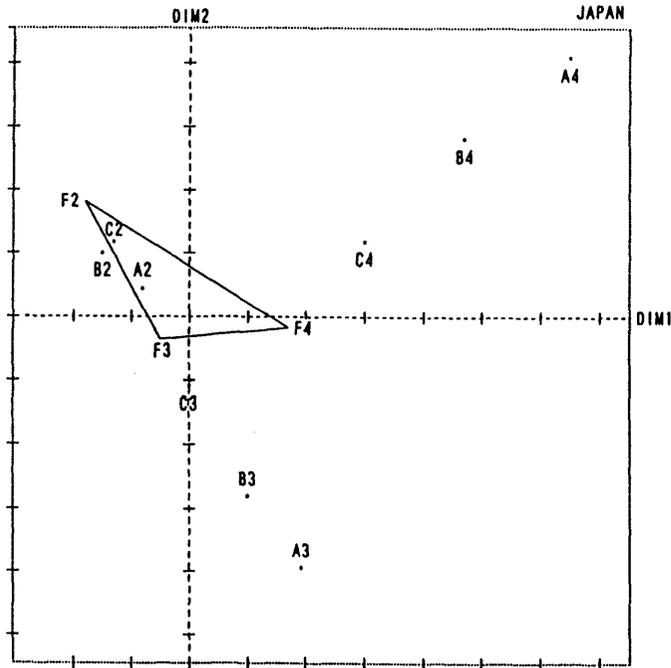


図 2-13-5
JAPAN

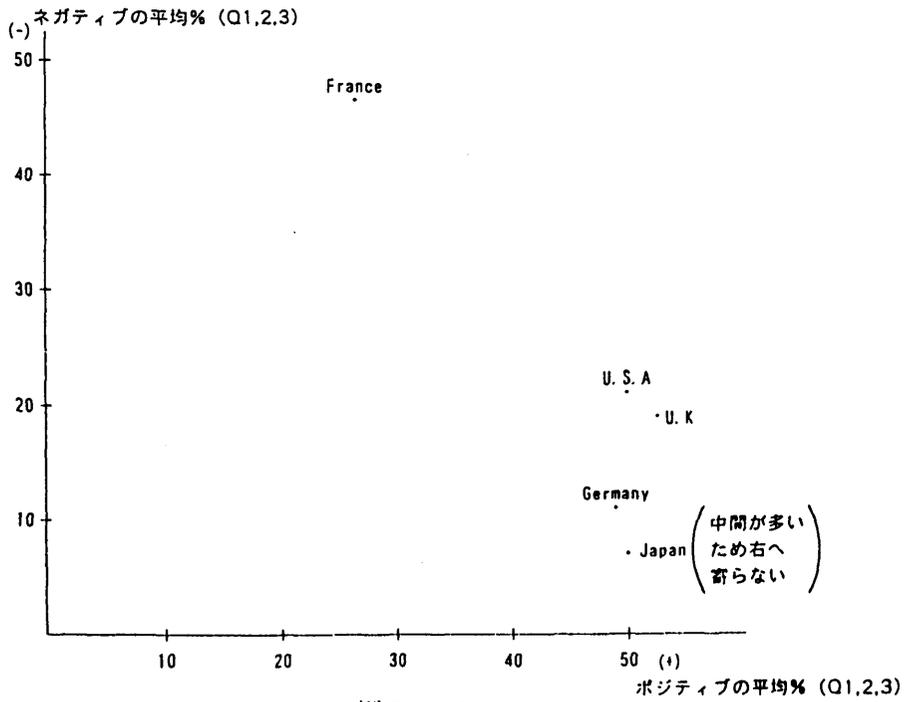


図 2-14
Q1、2、3のポジティブ・ネガティブ回答による国の位置付け

	ポジティブ群 の固り	ネガティブ群 の固り	帰属階級意識 との密接さ
日 本	小	大	中
ド イ ツ	小	大	中
イギリス	小	中	中
アメリカ	小	中	密
フランス	大	小	密

という形がみられ、国々の連鎖が（日本、ドイツ）、イギリス、アメリカ、フランスという形で順次異っていく姿が上の関係から読みとれる。Q 1、2、3のポジティブの平均%とネガティブの平均%を目盛ると図2-14のようになり、上述の関係とよく似たつながりが見られる。

(イ) 不安感

質問は、調査票の問9（調査表Ⅷにもある）であり、用いたコードは次の通りである。

質問[カード] ときどき、自分自身のことや家族のことで不安になることがあります。あなたは、次のような危険について不安を感じるがありますか。

		非常に 感じる	かなり 感じる	少しは 感じる	全く 感じない
J	a. まず、「重い病気」の不安はどの程度でしょうか。……………	1	2	3	4
K	b. では、「交通事故」についてはどうでしょうか。……………	1	2	3	4
L	c. では、「失業」についてはどうでしょうか。……………	1	2	3	4
M	d. では、「戦争」についてはどうでしょうか。……………	1	2	3	4
N	e. では、「原子力施設の事故」についてはどうでしょうか。……………	1	2	3	4

これについて国別パタン分類を行うとどの国も全く同じ構造、つまり不安を感じる、中間、感じないという三極構造をし、いずれの国でも差異はないということがわかる。そこですべての国をボンドして、各国の位置付けを行ってみた。まず、質問については図2-15のようにきれいなスケールをなし、「非常に感じる」「かなり感じる」「少しは感じる」「全く感じない」の順にならぶが、「かなり感じる」と「少しは感じる」、は近く固まり、それほど差はない。さて各国の位置は図2-16のようになり、日本は不安なしより中間的方向に寄っている。イギリスは非常に感じるものもあれば全く感じないものもあるという形が出ている。ドイツ・フランスが両極で、フランスはきわめて不安を感じる傾向を示し、ドイツは日本と共に感じない方の極にある。（ア）でのべた経済と帰属階級意識の分析の結果と全く呼応する関係が示されている。

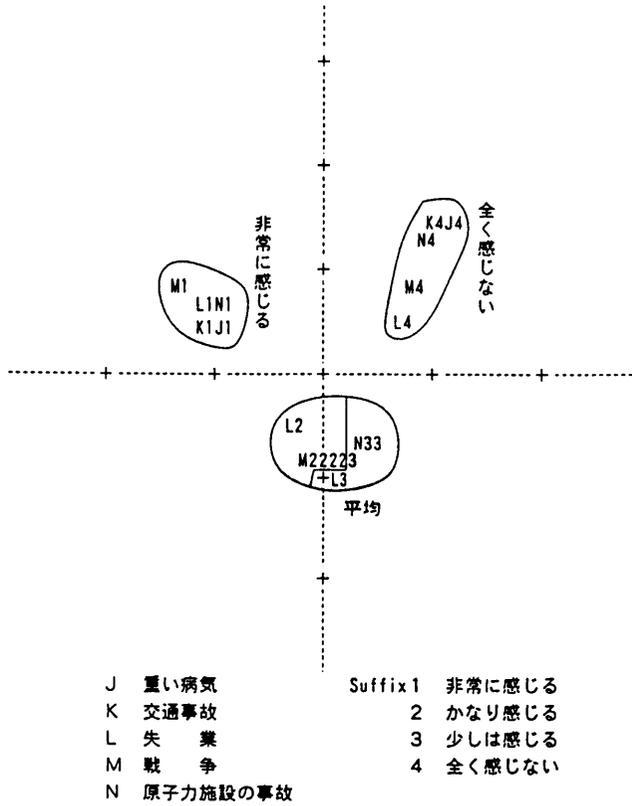


図 2 - 1 5
不安の構造

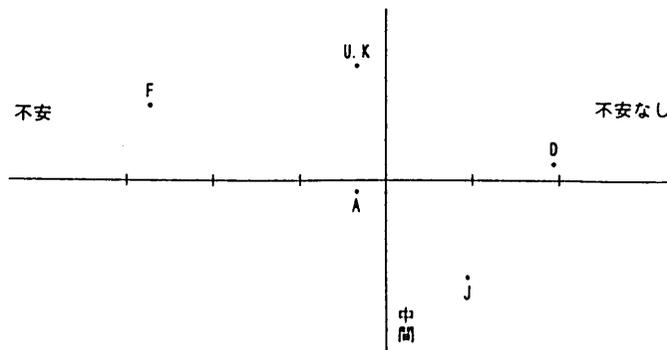


図 2 - 1 6
不安感による国の位置

(ウ) 先祖・家族・宗教の関連性

一見異なるような質問群であるがこれは、

Q 11 先祖を尊ぶか	A : (1) A 1, (2) A 2, (3) A 3
Q 12 養子をとるか	B : (1) B 1, (2) B 2, (3) B 3
Q 13 子供の数	C : (0, 1) C 1, (2) C 2, (3) C 3, (4以上) C 4
Q 27e 親戚等 大切か	E : (1, 2, 3) E 1, (4, 5) E 2, (6, 7) E 3
Q 27f 宗教(教会)は大切	F : (1, 2, 3) F 1, (4, 5) F 2, (6, 7) F 3
Q 35 しきたりに従うか	D : (1) D 1, (2) D 2, (3) D 3
Q 54e 人生観 孤独か	I : (1) I 1, (2) I 2, (3) I 3, (4) I 4
Q 63 宗教的な心 大切か	J : (1) J 1, (2) J 2

注) コードは回答のコード、括弧はそのカテゴリーを統合したことを示し、それを右のコードで表していることを示している。

から成っている。質問の全文およびコードの意味は質問票を参照されたい(以下の節も同様である)。

なお、類似のものとしてQ 27aの「家族や子供」の大切さも同種であるが、回答が著しく大切の方に偏り、Q 27eとも関係が深いので割愛した。

ここで考えの筋道を見るため、パタン分類の数量化を行ったところ、どこの国においても同じ形、こうしたものを重んじる方、中間、重んじない方のスケールを作る形が出ていた。この意味で考えの筋道はどこの国でも同じであると見做せる。そこですべての国のデータをボンドしてパタン分類の数量化を行って見たところ図2-17を得た。Iの項目(Q 54e)孤独を感じるかは縦軸にならび無関係の様相を示しているが、重んじる方、中間、重んじない方にスケールをなしていると見てよい。

そこで国別に平均値を目盛ってみたのが図2-18である。アメリカは重んじる方、日本は中間、ドイツ、フランス、イギリスが重んじない方、という構図である。アメリカ、日本が、X軸(第1軸)のスケール値で近く、ヨーロッパが重んじない方で近く位置する。

(ア)と甚しく異なる結果である。

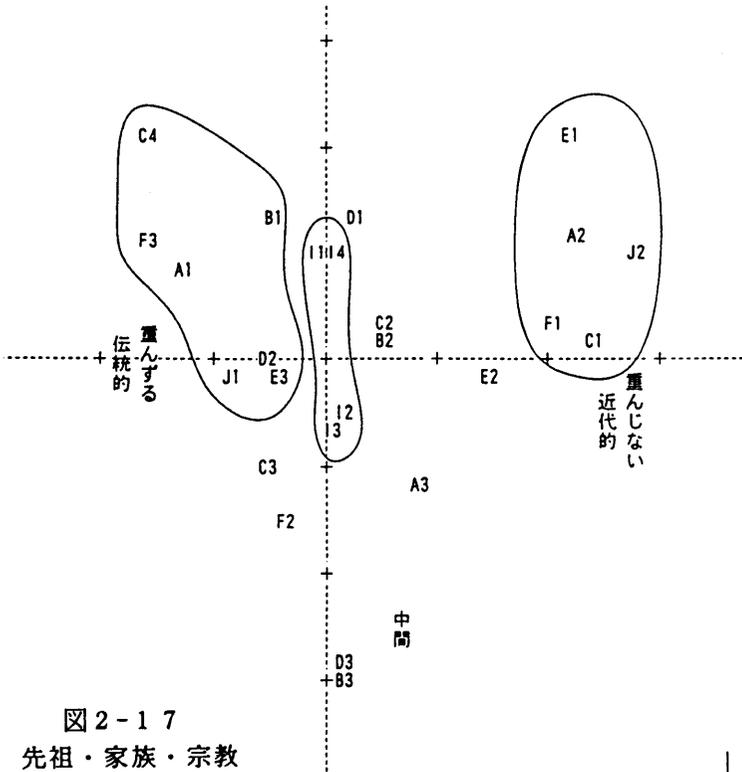


図 2-17
先祖・家族・宗教

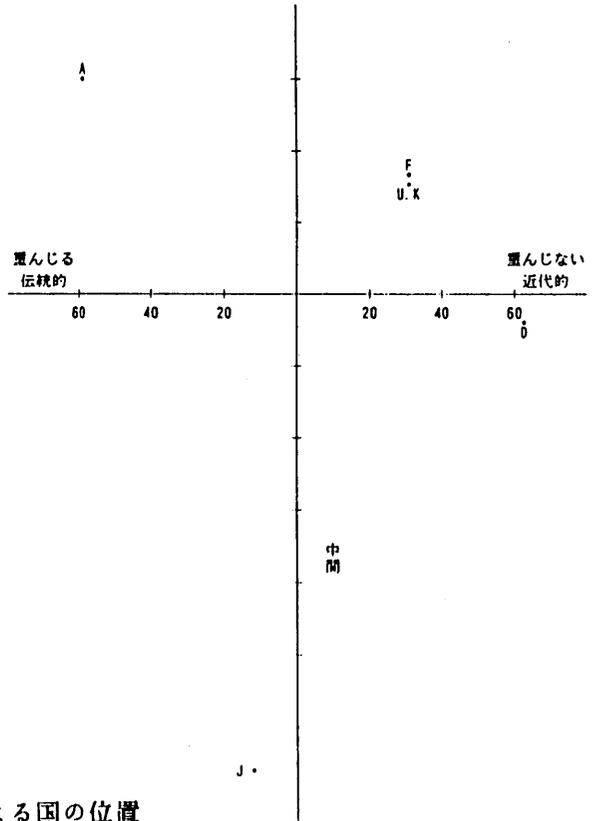


図 2-18
先祖・家族・宗教による国の位置

(エ) 科学文明観

科学文明に対してポジティブかネガティブかを見ようとするものであり質問は次の通りである。

- | | | |
|-------|--------------------|--------------------|
| Q 55 | 科学は役に立っているか | D : D1, D2, D3 |
| Q 56 | コンピュータ社会は望ましいか | E : E1, E2, E3 |
| Q 57a | 近代医学で治療できないものがあるか | F : F1, F2, F3, F4 |
| b | 人の心は科学でわかるか | G : G1, G2, G3, G4 |
| c | 社会・経済の問題は科学で解決できるか | H : H1, H2, H3, H4 |
| Q 58a | 原子力廃棄物の安全管理可能か | I : I1, I2, I3 |
| b | ガン治療方法の解明可能か | J : J1, J2, J3 |
| c | ボケの治療方法の解明可能か | K : K1, K2, K3 |
| d | 宇宙ステーションの生活可能か | L : L1, L2, L3 |

各国別に、考えの筋道をしらべるため、ボタン分類の数量化を用いたところ、ポジティブ、中間、ネガティブのスケールをつくる構造がどこの国でも明瞭に出てきて、こうしたものでは考えの筋道に差のないことがわかった。そこで全データをボンドしてボタン分類の数量化によって考えの筋道を描きだしたのが図2-19であり、これに見られる通りポジティブ、中間、ネガティブの構造が描き出された。但しこれをみているとFの項目(近代医学でなおらぬ病気があるかどうか)は縦軸に一例にならび、ここでの質問群—つまり科学文明観—とは別の次元のものであることが解った。

さて、こうした数値の下で各国の布置をみたのが図2-20である。アメリカ、フランスがポジティブ、ドイツがネガティブ、イギリスがややネガティブで多少中間がある。日本は中間という形が出てきて、それぞれの国のこの面での特色が描かれた。

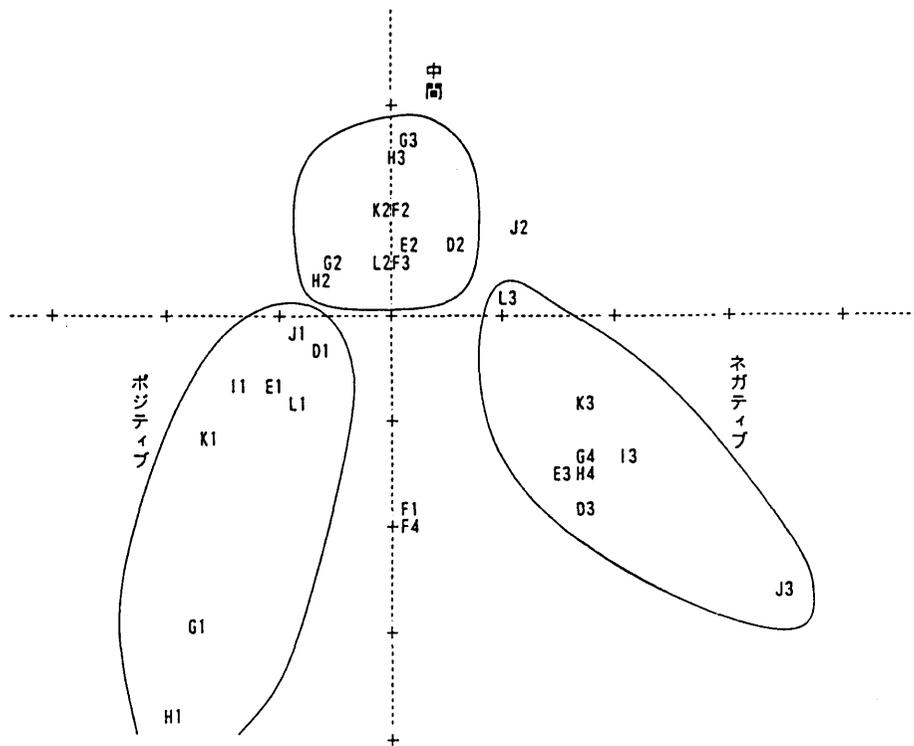


図 2-19
科学文明観

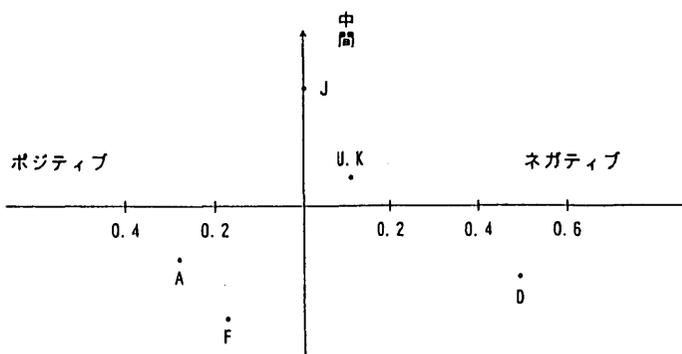


図 2-20
科学文明観による国の布置

(オ) 健康観と生活満足

健康に関する質問をあつめてみた。質問文は次に示す通りである。

- Q 7 人間の健康の面に関する将来の見通し A : (1) A 1, (2) A 2, (3) A 3
- Q 9 a 重い病気への不安 B : (1) B 1, (2) B 2, (3) B 3, (4) B 4
- Q 10 a 医療を節約するか C : (1) C 1, (2) C 2
- Q 15 健康状態の満足感 D : (1) D 1, (2) D 2, (3, 4) D 3
- Q 23 環境満足 E : (1) E 1, (2) E 2, (3, 4) E 3
- Q 57 a 近代医学とは別の治療法がよい病気があるか F : (1) F 1, (2) F 2, (3) F 3, (4) F 4
- Q 58 b ガンの治療法の解明 G : (1) G 1, (2) G 2, (3) G 3
- Q 28 家庭生活満足感 J : (1) J 1, (2) J 2, (3) J 3, (4, 5) J 4
- Q 29 生活満足感 K : (1) K 1, (2) K 2, (3) K 3, (4, 5) K 4
- Q 14 a 頭痛、偏頭痛 かかったことあり L 1
b 背中 of のいたみ かかったことあり L 2
c いろいろ かかったことあり L 3
d うつ状態 かかったことあり L 4
e 不眠症 かかったことあり L 5

この質問について各国別に、ボタン分類の数量化を行ったところ、全く同じ考えの筋道があらわれ、ポジティブ、中間、ネガティブの構造が見られた。この限りにおいてどこの国も、同じ考えの筋道があることが解った。そこで、すべてのデータをボンドしてボタン分類の数量化を行ったところ図2-21を得た。ポジティブ、ネガティブ、中間のスケールをつくる構造が見られた。しかしF、Gの項目、近代医学とは別の方法で治療した方がよいものがあるか、ガン治療の解明の2項目は、こうしたものとは独立（無関係）であることが出てきているのは面白い。家庭生活満足感および、生活の満足感もポジティブ、ネガティブ、中間のクラスターに入り込んでいるのも注目してよい。健康観といわば一体となっている。こうして、考えの筋道が同一であることが解ったので国別の配置をメモしてみたのが図2-22である。フランスがネガティブ側、日本、アメリカ、イギリスがポジティブ側、ドイツが中間という明確な形がでていいる。ここでは（日本、アメリカ、イギリス）が一つのクラスター、ドイツ、フランスがそれぞれ別のクラスターとなっている形が出ており、これまでのものとやや異った国別関係が見出される。

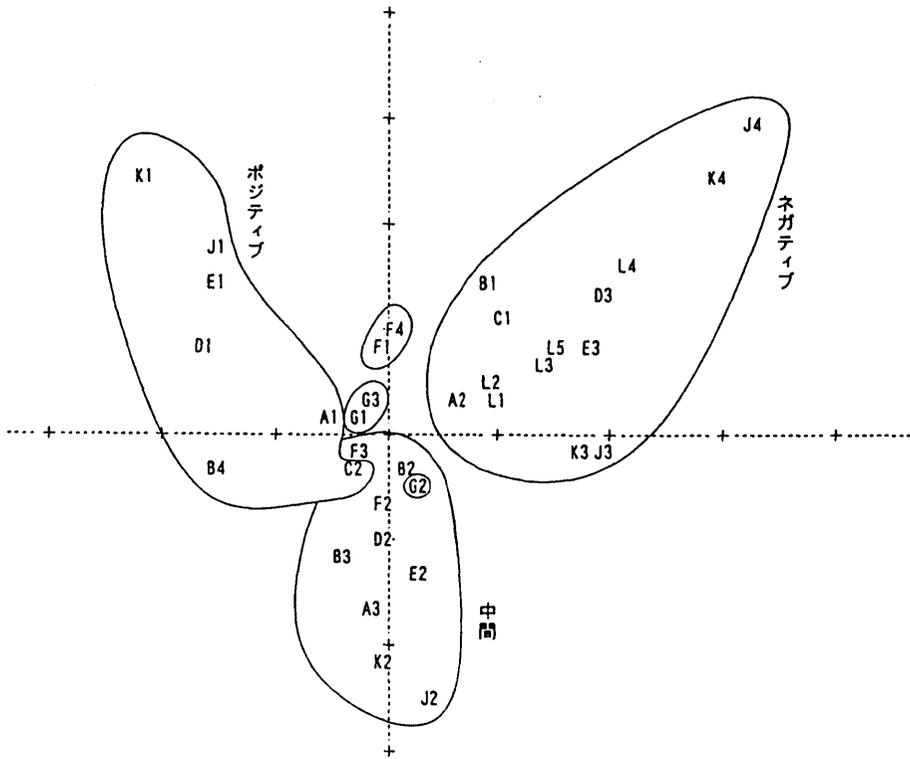


図 2-2 1
健康観と生活満足

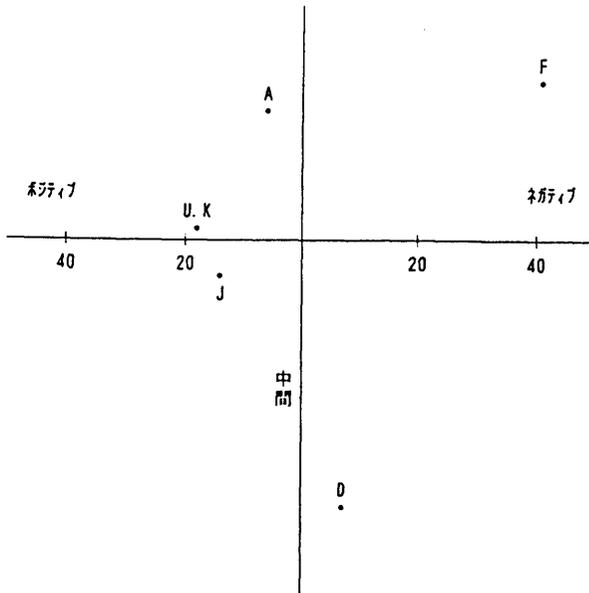


図 2-2 2
健康観・生活満足感による国の布置

(カ) 金に対する態度

金銭観、金と仕事というような質問をあつめてみた。

Q17 収入か余暇か	A : A1, A2
Q18 一生働くか	B : B1, B2
Q19 金と人生	C : C1, C2
Q20 就職の条件	D : D1, D2, D3, D4
Q22 暮らし方	E : E1 (金持ちになる)
Q33 金は大切と教えるか	F : F1, F2
Q 8 国の目標 (ゴール)	I : I1, I2, I3, I4
Q54d 収入か手段か	H : H1, H2, H3, H4

これらを用い、国別に考えの筋道を出してみたところ、金志向、そうでない方というように分離する傾向がどの国でも見られた。これも、普遍的な考え方と言えよう。そこで金に対するデータをボンドして考えの筋道をはっきりさせるため、パターン分類の数量化を用いて、描き出したのが図2-23である。金志向、そうでない方がきれいに分離しスケールを作っている。そこで国別の配置をみたのが図2-24である。一次元(横軸)でみるとドイツ、フランスが金志向、アメリカ・イギリスが非金志向、日本が中間という形が出ている。但し日本のみ縦軸で下方にあり他のグループと異なる。(金があっても一生働く、金があっても仕事があれば人生はつまらない、金は大切なものの一つだと教える、あるいはそれは時と場合による、物価の上昇をくいとめる政策、金持ちになる)という意見が多く出ており、こうしたところが日本の金銭観の特色を形成しているということが出来る。なお、ドイツ、フランスが上方に出ているが、これは(金がたまったら働くのをやめる、金があれば仕事はなくても人生はつまらないと思わない)という意見寄りである事を示している。

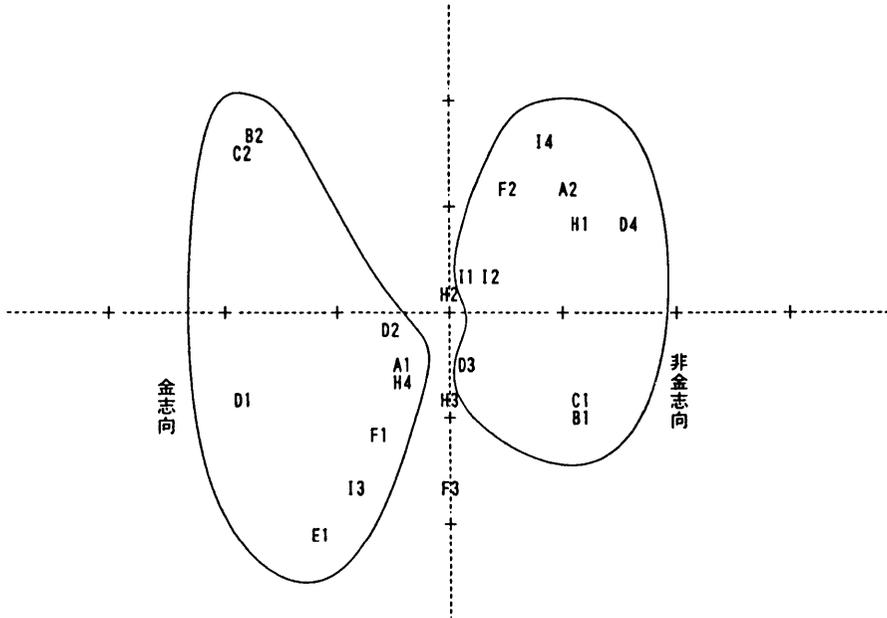


図 2-2 3
金に対する態度

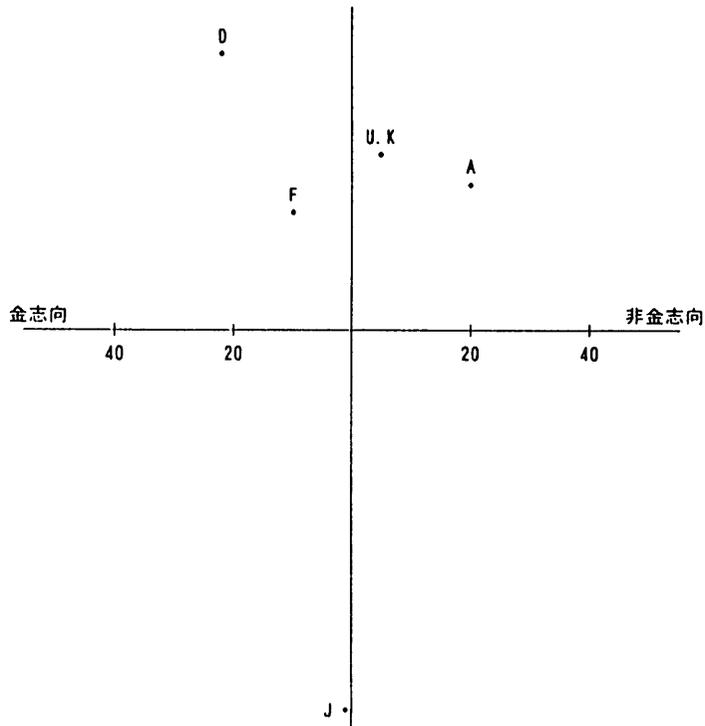


図 2-2 4
金に対する態度による国の位置

(キ) 経済に対する態度、これからの見通し

§ 2.2 の(イ) 経済と将来への期待、に見合うものの考えの筋道を探る問題である。質問は次の通りである。

- | | | |
|-----|-------------------------|-------------------|
| Q 1 | 国の生活水準の10年間の向上 | A : A 1, A 2, A 3 |
| Q 2 | 自分の生活水準の10年間の向上 | B : B 1, B 2, B 3 |
| Q 3 | これから5年間の自分の生活水準
の見通し | C : C 1, C 2, C 3 |
| Q 4 | 将来の幸福ふえるか | D : D 1, D 2, D 3 |
| Q 5 | 将来の心のやすらかさふえるか | E : E 1, E 2, E 3 |

各国別にボタン分類の数量化により考えの筋道をみると、ポジティブ、中間、ネガティブの3つにわかれスケールをすることが明確に出ている。経済のポジティブ感と将来の見通しの明るさ、それらのネガティブ、中間という形である。Q 1、2、3とQ 4、Q 5とは一見関係がなさそうであるが、そうではなく、ともに経済ポジティブ(ネガティブ)のクラスターに明るい(暗い)見通しが属しているのである。全データをボンドしてボタン分類の数量化を用い、考えの筋道を出してみると図2-25のようにはっきりした3極構造が見出された。そこで、国別の位置付けをみると図2-26のようになる。アメリカはポジティブ、明るい方に近くあり、イギリスはややネガティブ寄り、フランスはネガティブ、暗い方にある。日本とドイツは中間でややポジティブ・明るい方に寄っているという形が出ている。

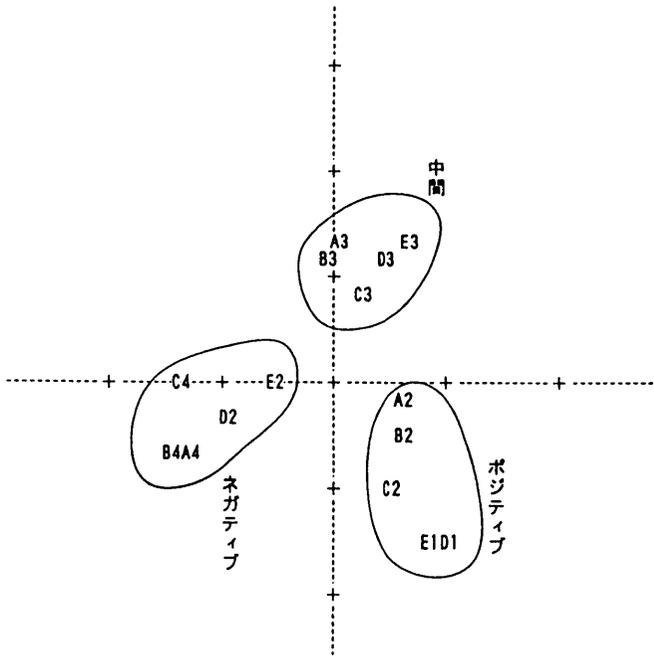


図 2 - 2 5
経済と将来の見通し

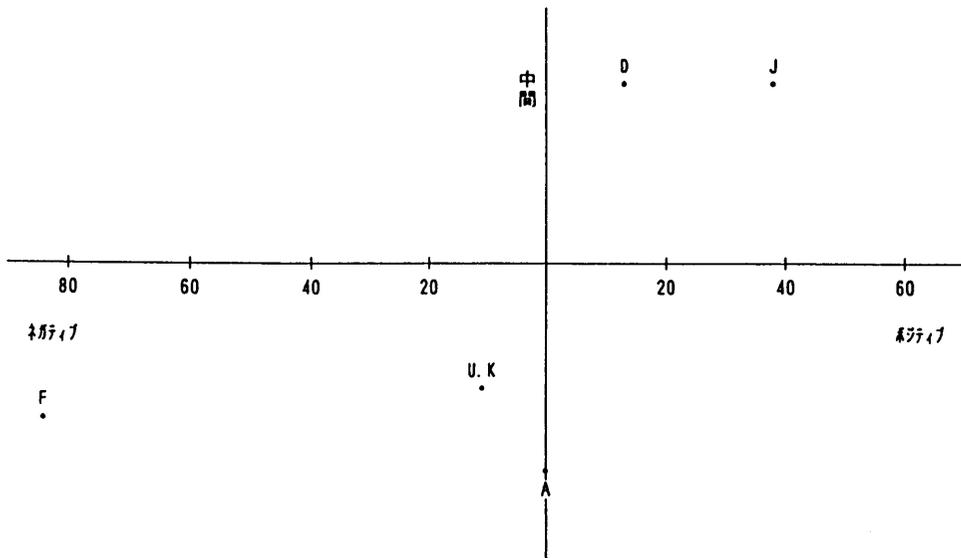


図 2 - 2 6
国別位置

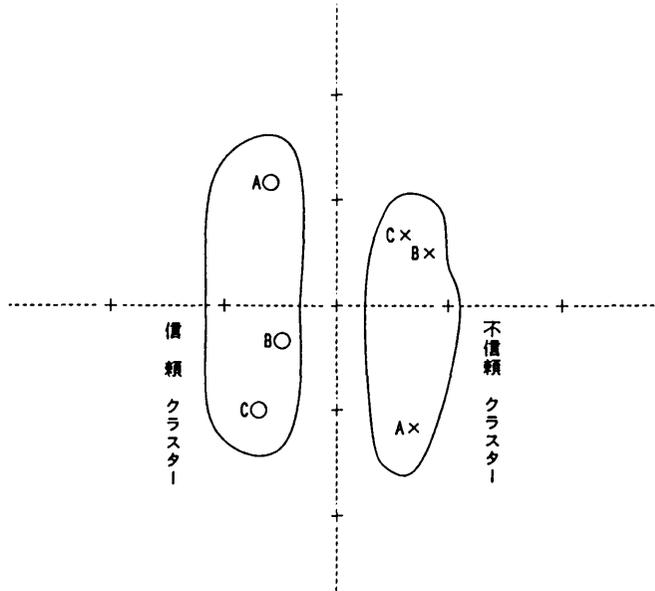


図 2-27
信頼感について

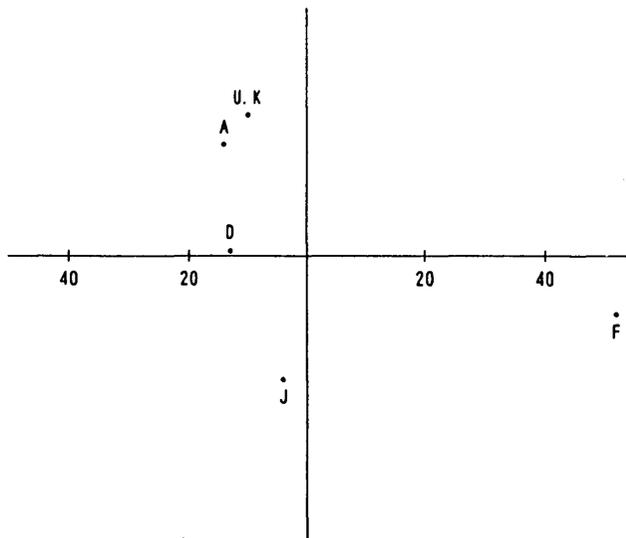


図 2-28
国別付置

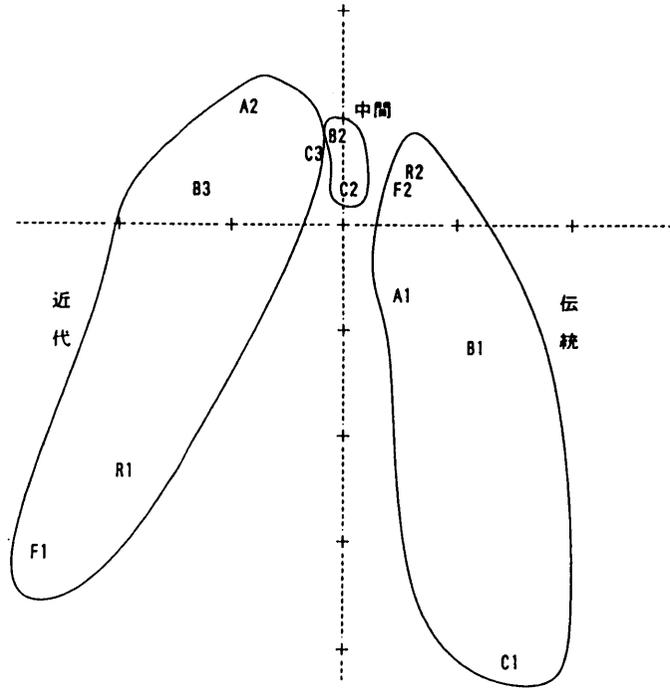


図 2 - 2 9
家庭に対する態度

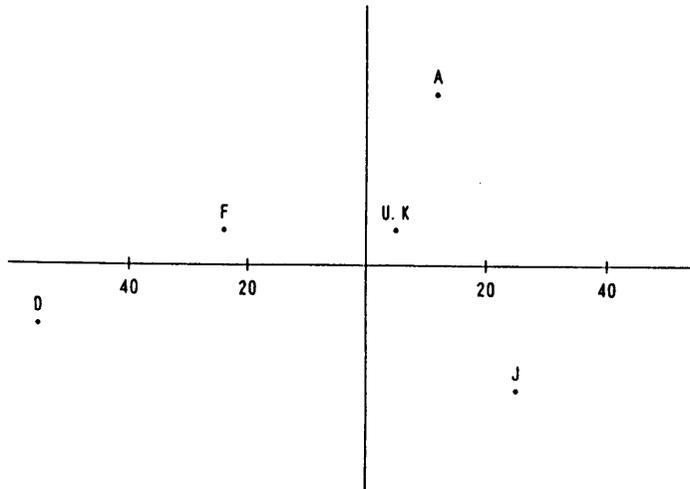


図 2 - 3 0
国の布置

(コ) 政治的主義主張

ここでは、民主主義、資本主義、社会主義の三つについて---自由主義・リベラリズムは、分析の結果、アメリカのみ特異の反応を示す言葉であり他国と異質の内容を持つものであることが判明したのでこれを除外した---ボタン分類を試みたところ、図2-31のように明らかな構造がみられた。社会主義好み、民主主義・資本主義寄り、時と場合による中間好みという明瞭な構造が出てきており国別の位置も図2-32のようにはっきりした結果が得られた。図2-31の記号は次の通りである。

O : 民主主義	O1 よい	O2 時と場合による	O3 わるい
P : 資本主義	P1 よい	P2 時と場合による	P3 わるい
Q : 社会主義	Q1 よい	Q2 時と場合による	Q3 わるい

アメリカの(民主主義、資本主義)好み、フランスの(社会主義)好み日本の中間好みでやや(民主主義、資本主義)寄り。ドイツはやや(民主主義、資本主義)寄り、イギリスは(社会主義)寄りという形が出て、日本、アメリカ、フランスの三極構造が出てその中でドイツのアメリカ寄り、イギリスのフランス寄りが出ている。

これまで行ってきた考えの筋道による分析は単純集計による分析§2.2の(イ)の分析と同じような結論を与えているが、さらにきめの細かい裏付けを与えている。一つは、国別に見た考えの筋道の同一性という重要な考察、さらに、その空間での位置付けという点である。このような考えの筋道の同一性がなければ§2.2(イ)でのべたような明確な関係が折出されなかったのではないかと思われる。

以上、いくつかの面で同一の考えの筋道を示すいわばスケールをなす質問群を見出してきた。同一の考えの筋道という共通の思想で測りうる部面を探り出してきたのである。複雑に見えることが、こうした考えの筋道の同一性を示すものに仕分けされたことが解ったのである。この限りにおいて、つまりそれぞれの仕分けされた中では、つまり局限された場においては誤解がおこり得ないわけである。そして、その中で各国の位置付けが出来たわけである。これらの仕分けされたものの間の相互関係が果たして各国で同一であるかどうか、これについては次の§3において考察することにする。

ここでは、その前段階として、そのスケールをなしている空間のポジティブ、ネガティブ(伝統-近代など)の位置をもとに、スケールを並列したとき、どのような関連性があるかを大局的に示しておこうと思う。これには、APMという方法、国の分類と各質問群とを同時に分類する方法でこれは、第3部[1]§1の末尾にあげた文献、林・鈴木「社会調査と数量化」岩波書店(1986)の234~243ページ以下に詳述してあるのでここでは繰返さない。

まずとりあげる質問群は、主義主張は一応別にして、不安、先祖、科学文明、健康、金、経済・将来の明るさ、信頼感、家族に関するもので、これまでの分析により何等かの意味でスケールをなし、ポジティブ-ネガティブ、伝統-近代等という段階のつくものである。

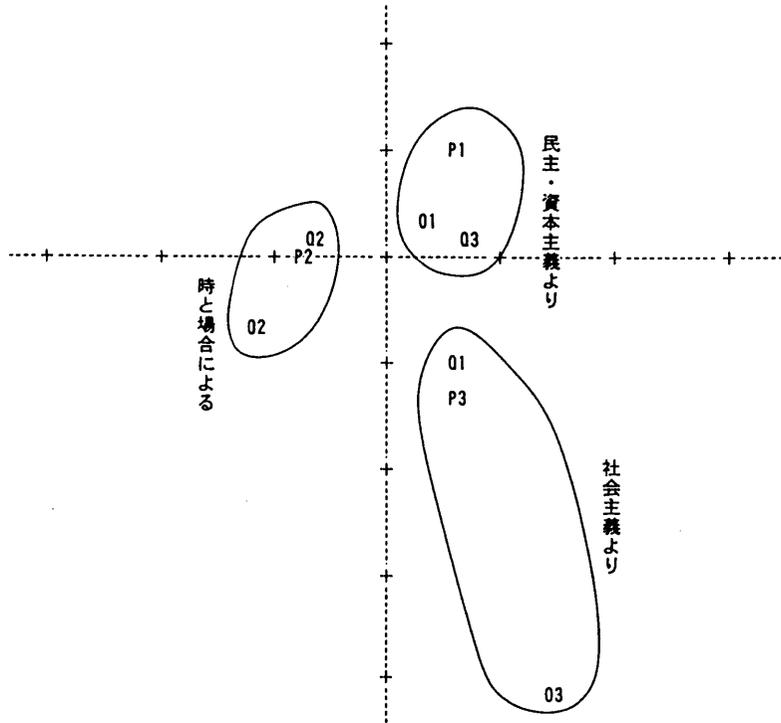


図 2-3 1
主義はよいか

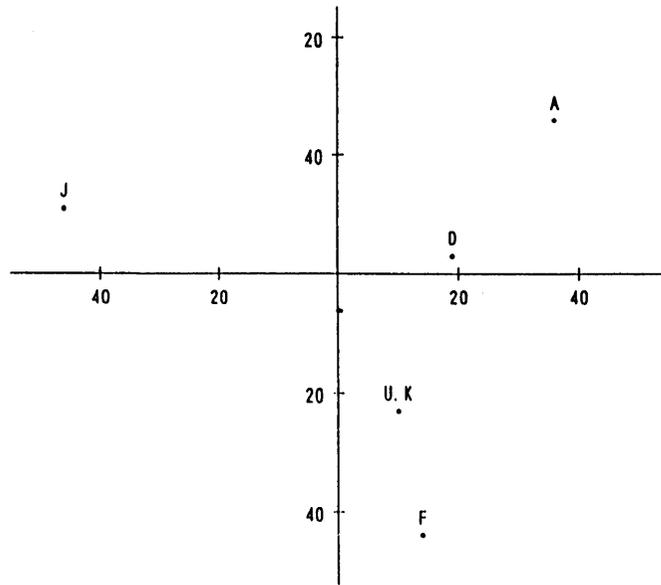


図 2-3 2
国の布置

大局をつかむため国の比較をしてそのランクオーダーを用いた。ポジティブ（明るい）の方に若い順位、非金志向、伝統的方向に若い順位を与えることにした。この国別の結果は表2-12に示す通りである。

表2-12
各質問群別の国の順位

	ドイツ	フランス	イギリス	アメリカ	日本	順位の 上の方の意味	順位相関係数
不安	1	5	3	4	2	不安なし	1.00
先祖	5	3	3	1	2	重んじる方	0.95
科学文明観	5	2	4	1	3	ポジティブな方	1.00
健康	4	5	1	3	2	ポジティブな方	0.60
金	5	4	2	1	3	非金志向の方	0.90
経済・将来	2	5	4	3	1	ポジティブ・明るい方	0.90
信頼感	1	5	3	1	4	信じる方	0.85
家庭	5	4	3	2	1	伝統的の方	0.90

A P Mの方法を用いた分析結果は図2-33に示しておく。国の位置をみると、アメリカ（A）、日本（J）、イギリス（E）、が近く、ドイツ（G）、フランス（F）がはなれるという3極構造が出てきた。各領域をあらわすものとして矢印のついた直線（矢印のついた方の意味は表2-12の右側に書いた方向である）によってあらわされる。領域のクラスターは、

- 金に対する態度、先祖、家族
- 科学文明観
- 健康観
- 信頼感・経済
- 不安感

というもので、これはあくまでも各領域別のポジティブ－ネガティブ、非金志向－金志向、伝統－近代等の順位の国全体の位置付けに準拠したものである。個人レベルでの相互関係を考慮した上のものでないことに注意されたい。順位相関は健康観の0.60を除きいずれも高く、全体の平均は0.90でこの図柄は表2-12の情報をよく盛り込んでいるといえることができる。

こうした部面に限定すると日本とアメリカは近く（このことはイギリスも同様）、前にのべた§2.2（ウ）生活領域の重要性と共に注目してよい。しかし、§2.2で述べた、日本的なものを考えに入れた対人関係などの事項に関しては日本とアメリカは対極にあるという関係は興味のある問題で、十分心に留めておくべき事項である。このA P Mの分析も、単純集計で述べた時と同じく、スケールをなす領域に分類した質問群での国単位のスケール値に基づく大局的事象把握によるもので、この意味で単純集計の場合（関連性を考慮していないという意味）と見做せるものなので、単純集計のとき述べた注意がそのままあてはまる。一つ次元の上った意味での単純集計に基づく分析と言ってよい。

という関係は興味のある問題で、十分に心に留めておくべき事項である。このAPMの分析も、単純集計で述べた時と同じく、スケールをなす領域に分類した質問群での国単位のスケール値に基く大局的事象把握によるもので、この意味で単純集計の場合（関連性を考慮していないという意味）と見做せるものなので、単純集計のとき述べた注意がそのままあてはまる。一つ次元の上った意味での単純集計に基く分析と言ってよい。

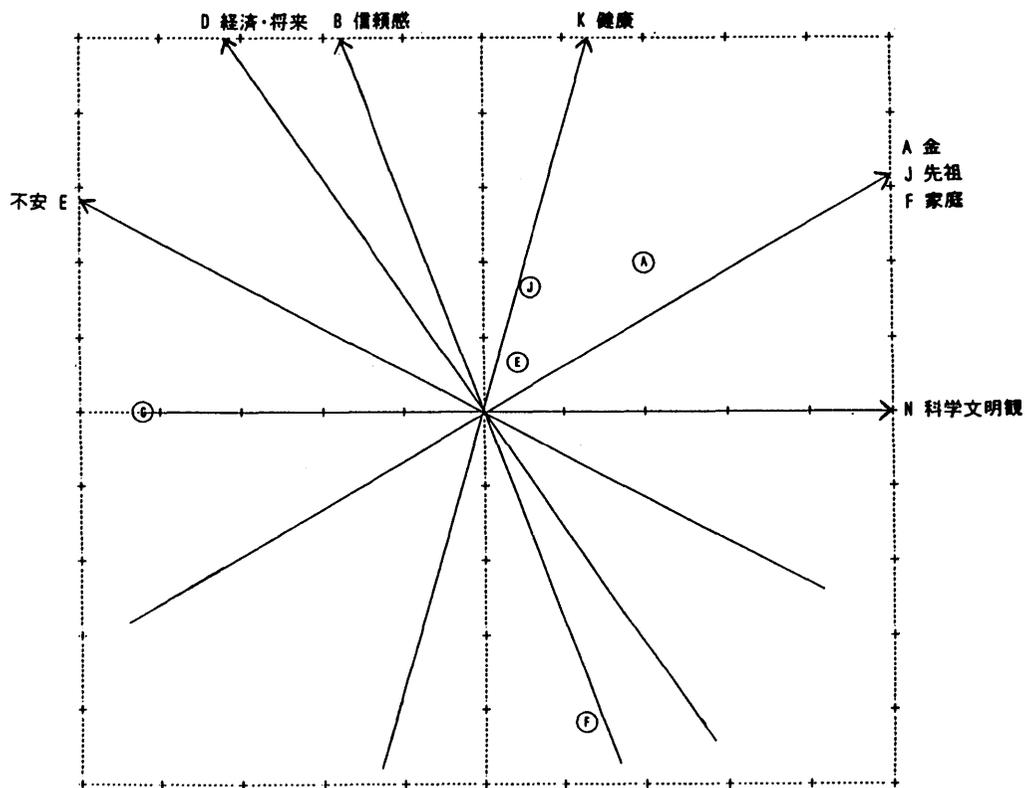


図 2-3 3
総合の APM

8 3 質問項目によるCL A

3.1 ミクロ・マクロ的スケールによる相補的分析

林 知己夫

林 文

本節では、七ヶ国の比較データを各テーマ毎に分析し、「日本人の特性」を浮かび上げさせ、さらに国際比較の観点から、日本人と外国人との類似点や異なる点を一方でマクロ的に、他方でミクロ的に解析する。

目次

序

1. 国際比較からみた日本人の特性

- 1.1 人間関係
- 1.2 中間的意見・中間回答について
- 1.3 極端な表現が少ないこと
- 1.4 自信と自虐意識
- 1.5 リーダーシップについて
- 1.6 意識の未分化
- 1.7 科学文明観
- 1.8 自然観
- 1.9 宗教

2. 意識の国際比較の観点からみた日本人と外国人の同異の姿

- 2.1 同スケールの存在と国の位置付け—マクロ分析
- 2.2 個人の回答ボタンを基にする国の位置付け—ミクロ分析 その1
- 2.3 個人の回答ボタンを基にする国の位置付け—ミクロ分析 その2
- 2.4 回答の意味の解釈
- 2.5 意識の分化と未分化の諸相

後注 日系人調査の意味

参考文献

- 附録 1 義理人情に関する質問群
- 2 科学文明観に関する質問群

序 国際比較の意義とその方法

国民性研究のまとまった発端は、Wilhelm Max Wundt (1832-1920) であると言われている (Wundt(1912)) が、計量的研究ではこの言葉は故意に避けられており、価値観、価値意識、社会意識等々の言葉で表現されている。近い所では、Alex Inkeles があえて国民性という言葉を用いているのは例外である (Inkeles・Levinson(1969), Inkeles(1991))。私どもも、ニックネームとしての国民性という言葉を用いている。それより前は「国民精神動向」という言葉も使ったことがあるが、誤解されるおそれがあるというので、国民性という表現に変えた。国民性という言葉を用い、操作的には、ものの考え方、見方、感じ方 (意識して belief systems, the way of thinking and emotional attitudes or sentiments ということにしている) と定義付けている (林(1993))。国際比較は、日本人と外国人の異なるところと似たところを比較しつつ、日本人の特性と位置づけを知ると共に、国際理解のための科学的情報を提供呈示するにある。これは、日本における継続調査により変わったところと変わらないところを明らかにする研究と併せ、国民性の時間的・空間的研究と行うことができる。国際比較のための方法論については、これまで多く発表してきたのでここに繰り返さないが (林(1988, 1990, 1991, 1992a, 1992b, 1993a), Hayashi(1992c, 1992d), Hayashi・Suzuki・Sasaki(1992), Hayashi・Suzuki・Hayashi(1984), 林・鈴木(1986), 林・米沢(1982), 統計数理研究所意識の国際比較委員会(1991))、そのうち方法的にみて根幹となる考え方は、連鎖的国際比較調査分析法 (Cultural Link Analysis, C L A と略称) であるという点を強調しておく。この方法を用いることにより、異なったところ、似た所が鮮明になるのである。

いずれにせよ、国際比較は、常に「いかにして比較が可能であるか」の考え方を中心に据えて方法論を講究しつつ発展させなければならないものである (林(1986, 1992b), 統計数理研究所国民性調査委員会(1992))。

さて我々の国際比較調査は、表1に年代に沿ってまとめてあるような所で行なわれている。これをC L Aの形で書いてみると第2表のようになる。

表1 国際比較調査

表2 国際比較の連鎖 (C L A)

まず、国際比較に用いた質問の意見分布において、マクロ分析の立場から、総合して日本の特色が出ているものかどうかを検討することにした (林(1993))。

ここで、比較に用いた殆どすべての質問を用いて計算することになるが、ただ、文化発展の状況に強く影響される環境とコンピュータに関する質問と自由回答の質問を除外した。各質問において分析に用いる回答カテゴリーは、原則として1つをその質問の特徴をあらわすものとしてとりあげた。その他・D K・中間的回答 —これはあとで別にとりあげる— は除外した。各質問がいくつかの小質問に

わかれていて選択肢が同じもの 一段階のついているもの— については、それらを合計して平均値を出し、1つの質問に対する回答として取り扱った。また、回答肢がそれぞれ独立と見做せるものは、すべての回答肢をとりあげた。さらに、後述する義理人情スケール、人情スケール、中間回答スケールに関するものもこの分析に含めることにした（ブラジル日系人意識調査委員会(1993)）。

この国別の回答分布を用いて、カテゴリーに関するパタン分類の数量化（数量化Ⅲ類）あるいは相関表の数量化（林(1993b)）—これは国と回答カテゴリーの間の相関関係を最大にする数量化と等価になる—を行なってみた。国の布置（ $1 \times 2 \times 2 \times 2$ ）をみると図1のようになり、予想した通りの日本(J)・アメリカ(A)・フランス(F)とイタリア(I)を頂点とする三極構造の図柄があらわれてきた。但し、アメリカ・フランス間の距離はそれらの国々の日本との距離よりも小さくなっている。ここで、日本、ハワイ日系人(JA)、ブラジル日系人(JB)の関係が日本、アメリカ、フランスの関係の縮図になっていることは興味深い。もう少し詳しくみよう。

アメリカに近くイギリス(E)があり、アメリカ・イギリスとイタリア・フランスの間にドイツ(G)が位置する。イギリス、ドイツ、オランダ(H)が小さい三角形を作っている。図1の付置で矢印がついているのは第3軸目（ 3×3 ）を現す（左上方向の矢印は 3×3 がプラス、右下方向の矢印は 3×3 がマイナスであることを示す）が、日本、フランス、ドイツ、オランダ、のヨーロッパ大陸の国は同じ方向（イタリアは小さいが逆方向にあるのが例外）であり、反対側にあるのがアメリカ、イギリス、JA、JBである。

一応の形が単純集計の総合として表現されたことは興味深い。単純集計のもつ深遠な意義が理解される。

図1 7ヶ国とJA、JBの付置（相関表の数量化）

1. 国際比較からみた日本人の特性

1.1 人間関係

日本における大きな特色といわれている人間関係に関するもののうち、義理人情に係るものを取り上げるが、この質問群は付録1に示すとおりである。1つの質問の1つの回答だけを見ると、人間的あるいは義理人情的と思われるものとそうでないものにわかれる。義理人情的といい切るには、後述するように、いくつかの質問における回答を組み合わせる必要が起こってくる。なお、ここで取り上げた質問群は、典型的に義理人情に関する質問ばかりでなく、それに深く関係すると考えられるものも含めてある。ここで一言つけ加えると、義理と人情とを対比させるのではなく、両者を考えあわせる考え方をみようとするのであり、義理人情的と義理人情的でないという立場で考えているということである。

付録に示した質問群に対してパタン分類の数量化を用いてみると図2のようになり、30年間まったく安定した構造を示している。第1軸 (1X) で、人情的、義理人情的回答とそうでない回答が左右にきれいにわかれ、こうした考え方の存在の安定性が認められたといてよい。第2軸 (2X) をみると、第2・第3問(#5.1・#5.1b)と第4・第5問(#5.1c-1・#5.1c-2)が上下にわかれるという関係であって、これは問における会社の場面設定の差異である。 2X がこの両者の回答をわけているということは、両場面に対して第2次的に異なる考え方が働くことを意味している。人情的・義理人情的あるいは人情的・義理人情的でない考え方の中での差異ということができる。

このように安定した構造、つまり人情的・義理人情的とそうでないものを対比させて考える考え方の根深さ、根強さ、が示されているということができる。

図2 義理人情の考え方の構造の安定性

また、全体的傾向だけではなく年齢別に見ると、20歳台に 90° 以内の回転をしている図柄もまま見られるが年が経つと通常 of 形になり、大局的にいえば各年齢層で抜本的な差異がないのは注目すべきであり、上に述べた根深さ、根強さを裏書きするものがあるといえよう(林(1993))。

これと同様の問題について、ハワイ日系人(1971年、1978年、1983年)、ハワイ住民(1988年)、アメリカ人(1978年と1988年)、イギリス、ドイツ、フランス(いずれも1987年)のデータについて行なってみると、かなり異なった構造が得られる。点の相対的位置がどう異なるかをみるために、相互に図柄の対応する点の距離の総和(回転してみても最も距離の総和が小さくなる場所の距離)を求め、図柄の非親近性マトリックスを作った。しかし、この測度のファジー性から、非親近性を3段階に分類したマトリックスに作りなおした(表3)。これを基にMDA-OR(多次元尺度解析法、MDSの一方法でランクのついた群分けに基づくもの)(林・鮑戸(1984))を用いると、図3のようになり、日本におけるデータの安定性と他国との関係が明瞭になり、日系人が日本とアメリカとの間にきているという姿が出ていて興味深い。

表3 義理人情構造の図柄の非親近性マトリックス

図3 義理人情の構造の近さに基づく諸国の位置付け

なお、ブラジル日系人のデータを分析してみると、ハワイのデータ同様、 90° 回転した形であり、点の相対位置は、第4問、第5問を別にすれば、大体日本の場合に近い形が得られている。日系人同士は、他の国よりやはり日本に近い形が出ているのは注目に値しよう(ブラジル日系人意識調査委員会(1993))。

このようにみても、こうした心の構図は、安定性の点からも外国との関係からも、日本の一つの特徴とみることができる。

さらに、義理人情スケールによる意見分布という点から検討してみよう。前述の付録1の質問から表4のようにして義理人情スケールを構成した。この内容を見ると厳しい義理人情的な評価であるとみることができる。つまり第2問と第3問、第4問と第5問では、態度を変えろという義理人情のステレオタイプ、第7問(#5.1d)では、ともに旧来の道徳を選択するというもののみを取り上げているのである。

表4 義理人情スケールの構成法

義理人情スケール値は大きいほど義理人情的であることを示し、最小は0、最大は5である。日本の分布は図4に示すように、スケール値1と2とに山があり、0はごく少数という形である。日本人といっても、いつも義理人情的な回答をするわけではなく、あるときは義理人情的、あるときは他の条件を考えあわせて義理人情的でない回答をするということを示している。実際の行動でもさまざまな行動をするであろうが、義理人情的な考えの筋道があり、どちらかといえば義理人情的な好みを示す回答をするのである(スケール値2以上が60%あまりある)。スケール値3以上というのは、スケールの作り方からみて、かなり義理人情的とみることができる。この時間的安定性をみたのが図4である。多少時期的に動きはあるものの、きわめて安定した形をしており、日本人の特色を表わしているように思う。つまり、スケール値0はごく少数、スケール値1か2に山があり、2以上はほぼ60%、3以上は20~25%という形である。細かくみると、1963年から10年間はやや義理人情的でない方に動くかに見えたが、1978年からもとの分布の形にもどり、1993年には、1968年、1973年の形以上にまた非義理人情的に傾いている(この理由については後述する)。

図4 義理人情のスケール分布

なお、日本人の年齢別スケール分布を示すと表5のようになり、若い方に義理人情的でないものが多い。しかし、若い方でもスケール2以上が、5歳刻みの若い方から順に47%、52%、44%、56%(あとは50%を超える)と半数近いこと、0が10%前後であることから、以下に示す外国人との比較をみるとやはり極めて日本的といえることができる。

表5 義理人情のスケール分布 [第Ⅷ次(1988年)、年齢別(%)]

外国にこういう考えの筋道がないかぎり、スケール値を比較する意味は薄いだが、参考のため、スケール値0のところと、スケール値3以上のところの比率のみを比較してみるとくらいは可能であろう。0は全くそういう回答をしないこと、3以上は、日本流にみても強い義理人情志向ということになる。表6にそれを示しておこう。

説明を要しないが、スケール値0のところは、ハワイの日系人はアメリカ人と日本人の間でアメリカ寄り、ハワイの非日系人はアメリカ人と同じで、最も日本流にいて義理人情的でなく、ヨーロッパになるとやや義理人情的という形が出ている。ブラジル日系人は、ハワイ日系人より日本に近くなっている。ここには示さないが詳しい分布全体で比較しても同様な傾向である。このようにみると、こうした意見分布もかなり安定しており、外国に比べて特色をもつことができる。

表6 各国の義理人情スケール値の比較

ここで、義理人情スケールに用いたコードを用いて、つまり第2問と第3問、第4問と第5問はクロスした形の回答をとりあげて、パタン分類の数量化を行なってみたところ、これも1963年から1993年まで、大極的に見れば本質的なところではほとんど同じ構造をもつことが解った(図5、1978年のみ $1^1 X \times^3 X$ がプロットしてある。その他は $1^1 X \times^2 X$)。

図5 義理人情的態度の構造の不変性

話をもとへもどして国際比較、とくに日系人の様相を探ろう。

意識構造上からみて、また分布の点からみて、日系人が日本人との間にある点、ブラジル日系人がより日本に近い点は、日本の特殊性を考える上での興味ある事実である(ブラジル日系人意識調査委員会(1993))。なお、ハワイの住民について、これを、

ABIM: 本土生れの非日系

ABIO: アメリカ本土以外の生れの非日系

JA-A: 日系人でアメリカ的なライフスタイルをより多くもつもの

JA-J: 日系人でより日本人的なライフスタイルをもつもの

とグループ分けしてそれぞれの義理人情スケールの分布をとってみると、ABIM, ABIO, JA-A, JA-B の順にきれいに分布が右側にずれてくる。つまり、義理人情的になってくる姿が現れている(図6その1)。スケール値0のところの順序とも符合していることがわかる。このように次第に日本寄りに動いていくということ、上述したような日系人が日本人とアメリカ人との間に入ってくることを考えあわせてみると、やはり、我々が義理人情的と言っている人間関係の問題において、今日の日本人もその特色をもっているといつてよいと考えられる。しかも、これが日系人を介して順次異なったものになっていくことも面白いところである。

もう少し分析を進めてみよう。ブラジル日系人を加えて分布を図6その2に示す。ブラジル日系人がハワイ日系人よりも日本に近い形をしていることがわかる。なお、世代別にみるとブラジルの1世は日本全体よりも義理人情的である。また、高年齢層の多い1世よりも、日本の高年齢層の方がややより義理人情的である。

ブラジルの(2+3)世をみるとハワイの日系人に近くなることが示される(0の比率が20%, 3以上が9%)が、これとても外国人にくらべて日本寄りともみることができる。

図6 その1 ハワイ住民グループ別義理人情スケール分布
 その2 ブラジル日系人等の義理人情スケール分布

繰り返すようであるが、こうみえてくと義理人情的というのは、当然のことながらやはり日本的ということが出来る。

つぎに、同じ質問を用い、人間関係における人情スケール(私情を重んずるスケール, affection scale, 心の暖かさのスケール)というものを作ってみた。その作り方は表7その1に示す通りである。尺度値は0から8までとなり、値が大きいほど人情的あるいは私情を重んじる傾向である。大局的に見易くするため、スケール値5以上の比率を出してみよう。これは表7その2のようになる。アメリカ人、イギリス人が低く、日本人が高い。この間にブラジル日系人、ハワイの日系人が入っている。ドイツ人、フランス人はかなり高く出ているのも面白い。

表7その1 人情スケール構成法
 その2 人情スケール5以上の比率

人間関係のさらに突込んだ分析をする前にイソップ物語との関係を見よう(ブラジル日系人意識調査委員会(1993)、Hayashi(1992d)、林・鈴木(1986))。イソップ物語の中の「アリとキリギリス」の話についての回答である(#7.82)。この話は、「アリとセミ」あるいは「キリギリスとアリ」「セミとアリ」として親しまれているが、このことについては、詳しく述べたものがあるのでそれに譲る(林・米沢(1982))。この質問文は、まずアリとキリギリスの話を示し、回答として「1. 夏の間怠けていたのだから、困るのが当然だと追い返してしまう」「2. 怠けていたのはいけないけれども、これからはちゃんと働くのですよ、といさめた上で、食べ物わけてあげる」を示し、この話の結びとして、「この中のどちらが自分の気持ちにじっくりしますか」という形で回答をとるのである。回答は以下の通りである。

	ドイツ	フランス	イギリス	アメリカ	日系アメリカ人	日系ブラジル人	日本
1の型の回答	13%	14%	13%	12%	9%	20%	15%
2の型の回答	78%	79%	83%	85%	91%	78%	75%

日本人は心がやさしいから2の型が多いという意見が文献に基づく考察で論じられているが、むしろ少なめであることに注目したい。これはこれとして、この1、2の回答と心のやさしさとの関係を見よう。ここでは、人間関係における暖かさ、柔らかさ、人情好みとも言うべきものとの関係をとりにあげてみる。そのため、前述のように人間関係における暖かさ、私情を重んじる人情スケールを作っ

たのである。

ここで、1の型の回答（S1と示す）と2の型の回答（S2と示す）との関係を見ると表8その1のようにブラジル日系人は別として、ハワイ、日本以外では5以上のスケール値とS1、S2の回答間の差は全くない。しかし、ハワイになるとS2の回答の方に人間関係の暖かさ、柔らかさ好みが多くなるのである。日本では勿論これ以上に多いのである。この関連性は注目してよい。S2の方の回答を人間関係の暖かさ、柔らかさと関係付けること、そのことが日本的考え方なのではないか、ということである。

表8その1 イソップ物語りの回答別の人情スケール5以上の比率(%)
その2 ブラジル日系人におけるイソップ物語の回答と人情スケール

ブラジル日系人は、全体では前述のように、5以上のスケール値を示すものが34%と高く、ハワイ日系人より日本人に近い（ドイツ、フランス並み）。ところが、S1とS2の関係で、日本人、ハワイ日系人と全く異なる関係が見られているのである。問題は、どうしてブラジル日系人のみが、S1と回答した方がスケール値が高いかということで、これを考えなくてはならない。

この比率の出るところをもう少し詳しく見てみよう。S1、S2と答えるものの人情スケールの分布の状況を見よう（表8その2）。スケール値4と5の間で分布がきれいに入れ替わっているのがわかり、分析の結果がシステマティックである。日本・ハワイにおいては私情を重んじる心の暖かさとイソップの結末とがダイレクトに結び付くが、これとは異なる考えの筋道がブラジル日系人に見られているわけである。

イソップ物語りの「食べ物を与えない」というのは怠惰に対する戒めの教訓として共感を表明するということであり、厳格な建前に同感する気持ちである。こういう建前をとる人の心が、私的信義（私情を重んずる暖かい心）にかたむく、ということではないかと思われる。怠惰には、明確にけじめをつけることと私情を信ずる・人情の暖かさの好みと呼応する形と見れば理解できる。いわゆる「古い」方の考えの筋道を含むものが現出しているように考えられる。一方、食べ物を与える方の回答は、心の暖かさとあまり関係がない欧米タイプの考え方と思われるのである。ここでは、ブラジル日系人に、今日の日本で見られないような昔流とも見える考えの筋道が見られるということ、日本やハワイに見られるようなダイレクトな関連ではなく、屈折した結び付きが出ているということができよう（ブラジル日系人意識調査委員会(1993)）。

なお、人間関係にはこのほかいくつかの質問を用いているのでそれとの関係を見よう。

- A. 義理人情の質問の第6問(#5.6)、“めんどろをみる課長”を好む
- B. “すじを通すこと”と“まるくおさめること”のどちらの人柄が好きか(#2.2b)で“まるくおさめることに重点をおく人”を好む

- C. 就職の条件(#7.24)で、“俸給の高いこと”、“倒産のおそれのないこと”、“気の合った仲間と働けること”、“やりとげたという感じのもてる仕事”、から“気の合う仲間と働けること”を選ぶ
- D. 生活領域のそれぞれについて重要度を尋ねる質問で“友人・知人について”(#5.81d)の重要だと思う程度の高いこと（7点評価スケールで6と7の合計の比率）

をとりあげ、人情スケールとあわせて各国の支持比率の比較をみたのが表9その1である。見やすくするために人間関係重視の順位をつけたのが表9その2である。

表9 その1 人間関係重視の傾向(%)
その1 人間関係重視の傾向(ランク)

ランクの和の少ない順（つまり高いランクのもの、即ち人間関係の暖かいと見える傾向—日本人の立場から—）をみると、日本、ブラジル日系人、ハワイ日系人、ドイツ人、フランス人、ハワイ非日系人、イギリス人、アメリカ人となる。人間関係では日本の暖かさ好み、アメリカのドライな好みが両極で日系人（ブラジル、ハワイ）は日本寄りで中間にあり、非日系（ハワイ）もイギリスと共に中間にきている。ドイツは暖かい方である。フランスは前3者は暖かい好みであるが後の2つで異なった反応をしており、考えの筋道は明らかに異なる。この点アメリカも少し異なるようであるが、全体的にドライである。

いずれにせよ、人間関係で日系人は日本寄りの鎖を示し、他国との間にある。ハワイの日系人は、“めんどろをみる課長”のみは、アメリカ寄りであるのは注目してよい。ブラジル日系人は、“気の合う仲間と働きたい”というの低い、ハワイの日系人とブラジルの日系人は総合して似ており、ともに日本寄りでブラジルの方が一層日本寄りである。

<アケ>

ながながと人間関係について論じてきたが、日系人、外国人のデータをあわせ考えると、人間関係のさまざまな面の重視が日本人の特色であると見ることができよう。そしてこれがいつもプラスに作用するわけではなく、あるときはプラス、ある面ではマイナスに作用するわけであるが、これが容易に抜け切れないところが日本人らしさであることが理解できよう。抜け切ろうとすることは、日本人らしさのよさも失ってしまうことも忘れてはなるまい。

1.2 中間的意見・中間回答について

日本人に中間的意見が多いということは気がついており、東京都区部（ランダ

ムサンプル)においてこれを中心とする調査は試みていた。その中で、言葉によるもの(“一概にいけない”、“時と場合による”、“どちらともいけない”等)だけでなく、5個のオハジキを用い、賛成・反対の気持ちをオハジキの多さで表わすという恒常和法を用いた研究も行ない、不十分ながら在京米英人(ジャパンタイムズの購読者名簿からランダムに抽出)との比較を行なった。

まず中間回答が言葉である質問(表10)についてみよう。面接調査であるが、回答者に回答肢は示さずに、調査員がプリコードした調査票に回答を記入する方法をとっている。結果は図7に示す。全般的に日本人に中間的な意見・回答が多いことがわかる。

表10 中間回答のある質問

図7 中間回答のある質問の回答分布

次にオハジキによる回答を使った質問である。決まった数のオハジキを各回答肢に配分することによって同意の程度をあらわすという回答方法である。ここで用いた質問文を示す。(1)~(4)の4問それぞれについて、アとイの回答選択肢を回答者に見せ、5個のオハジキを配分してもらうという方式である。

質問 政治のあり方として、次のそれぞれのどちらがより大切だと思いますか？
 大切と思われる割合によって、この5つのオハジキを分けてみてください。
 大切な方により多く、大切でない方により少なく分けることになります。
 [回答肢のリスト提示、オハジキ5個使用]

	オハジキ配分
(1)ア 国民にあまりこまかいことは知らせないが、問題にいちはやく対応する政治	()個
イ 対応が遅れることがあっても、国民に一から十までこまかくわしく知らせる政治	()個
(2)ア 国民の大多数が納得するまでは、ものごとに手をつけない政治	()個
イ 少数の反対意見は出ても、強い指導力をもって、実行していく政治	()個
(3)ア 現在の国民の負担がふえることがあっても、将来の財政を見通して、先手・先手を打っていく政治	()個
イ 将来、国の財政状態が悪化する可能性があっても、現在の国民の負担をふやさない政治	()個
(4)ア 手間やお金がかかっても、声なき声を尊重し、困っている人に思いやりのある政治	()個
イ こまかい点の配慮に多少欠けることがあっても、効率がよく、お金のかからない政治	()個

結果は図8に示す通りである。'2-3または3-2'は、5個のオハジキを一方の意見に3個、他方の意見に2個を配分する、またはその逆に3個と2個に配分するというを示す。これがいわば中間的な回答で、正に4分6分感覚による（平衡感覚という人もいる）回答である。日本人にこれが多いことが読みとれる。

図8 オハジキ配分の分布

そこで、国際比較調査（1987、1988年、日本、ハワイ、アメリカ本土、イギリス、ドイツ、フランス）の質問の中に、中間回答のある質問が11問あったので、これらを用い中間回答の様子をみてみよう。各個人が中間回答を何個したかをスケール値として分布を描いてみたところ、図9のようになった。日本ではA調査とB調査の2種類の調査があった（質問項目は同一であるが質問文にいまわしが少し異なるものを含んでいる）が、図に見られるようにまったく同じ分布を示し安定していることがわかる。中位のところに山があり、分散が大きい。アメリカ、イギリス、ドイツ、フランスについての分布も図9に併せて記載してあるが、分布が左寄りで、中間回答をするものがより少なくなっている。アメリカが最も中間回答が少なく、フランス、イギリス、ドイツの順に分布は右に寄る（中間回答が多めになる）が、日本とは大きく開いており、最初に示した調査結果を裏書きするデータが出ていることがわかる。

ここでまた、ハワイの日系人を用い、日本人と外国人との関係の橋渡しにしてみよう。図10にみられるように、ここでも日系人が日本人寄りに動いている分布を示していることがみられる。

さらにブラジル日系人についてしらべてみると、図11のようになった（この時は前記11問中1問は調査されず、調査した10問で中間回答スケールを作成した結果）（ブラジル日系人意識調査委員会(1993)）。

ここでもブラジル日系人に中間的回答が多いことがわかる。詳しくみると、ブラジル日系人は0の比率も多いが、4以上の比率も多いという、いわば、二極的構造を持っていることが知られる（詳しくはブラジル日系人意識調査委員会(1993)参照）。見易くするために0の比率（中間回答の少ない方）、4以上の比率（中間回答の多い方）を目盛ったのが図12である。日系人がフランス人、アメリカ人よりもより日本的であることが知られる。

図9 中間回答スケールの分布（日本と4カ国）

図10 中間回答スケールの分布（日本、ハワイ日系・非日系、アメリカ）

図11 中間回答スケールの分布（日本、ブラジル日系、アメリカ）

図12 中間回答スケールの分布による国の配置

表 1 1 日本人の中間的回答スケール分布 (%)

こうした点からみて、中間回答をより多くするという傾向が日本人の特色であるとみてよいと考えられるが、日本における中間回答スケール分布を年齢別にみてみよう(表 1 1)。高年齢の方がスケール値が低い傾向で(高年齢層が低目とはいっても、日本以外とはかけ離れている)、若い方に中間的な回答が、高年齢層よりも多目になっていることも注目してよい。

しかし、この調査は一時点のものである。そこで、国民性調査の質問文のうち中間回答のあるものを抜き出し、時系列をとってみた。図 1 3 のように凹凸はあるが、全般的、大局的にみると、中間回答は減少傾向にはないとみられる。むしろ増加傾向にあるとあってよい。このように見てくると、中間回答好みの傾向は安定して存在したのではないかと考えてよかろう。

図 1 3 中間回答の変遷

ここまでくれば、この好みも日本的な特性ということが出来る。なお、ここには、相対主義的な見方の増大と見做せるものもあり、この点も無視できないものがある。1993年も前回1988年から減少するものは1つもなく、従来の方向が引続き現れていると見ることが出来る。

なお、この中間的回答好みは、日本人の特色の中の一つというよりも、日本人の態度構造の中核をなす(両極の明確な意見をもつものは少数である)のではないかと考えられるが、この観点からの分析は未だ不十分である。しかし他の調査だが、原子力発電に対する態度において明確な形が現れている(林(1994))。

<アケ>

以上、人間関係、中間回答を分析してみて、日系人は、日本人とかなり似た傾向を示していることを知った。日系人調査は言うまでもなく、英語、ポルトガル語であり、日本語を話すことは例外である。それを越えて日系人に見られるこうした傾向は日本の特色の保持と見做すことができ、日本の大きな特色と見ることができよう。このようなものを J-attitude と名付けているが、少なくとも上述の 2 つは、J-attitude の特色を示していると言うことができるだろう。

1.3 極端な表現が少ないこと

これは中間的回答の多いことと呼応するのであるが、極端な表現を好まない傾向がある(林(1988))。“非常に賛成”が少ない、“まあ賛成”が多いという形である。日本人の学生に英語と日本語で調査をすると、日本語の場合は“非常に賛成”とあまり言わないが、英語の場合はそう回答するという結果がある。何が本

当かを調べる方法はないが、日本語の場合に表現が控え目であることは確かである。たとえば、“幸福を感じるか”、で“非常に感じる”、“まあ感じる”をあわせると各国とも大差はないが、“非常に”という所で差が出るわけで、こうした傾向のあることは心に留めておく必要がある。また、この問題は中間的回答の分析と同じ傾向がある。たとえば、“賛成”、“どちらかといえば賛成”、“どちらかといえば反対”、“反対”のような段階のついた回答の質問を数問集めて数量化Ⅲ類を用いると、各質問の中2つの回答は中央に入りまじり、区別しがたい中間的回答と見做せる、という場合をよく経験している。段階のついた回答で国際比較がなされることがよくあるが、こうした点に気をつけるべきである。

1.4 自信と自虐意識

日本人が戦後経済の発展と共に自信を持ち始めてきたことはデータにはっきり示される。“日本人は一口で言って西洋人に比べて優れていると思うか”という質問(#9.6)である。結果は図14に示す通りである。1993年では、“すぐれている”41%、“一口でいえない”20%、“同じだ”27% 一タテマエ的回答の大きな増大一、“劣っている”6% となり、“すぐれている”の減少分だけ“同じだ”が増大しているが大局的には“すぐれている”が一番多い。

これをみて、ナショナリズムの復活という意見の人がいるが、これは妥当ではない。自信の増大であり、他の調査によれば愛国心は低く、“外国から攻められたとき国を護るために自ら戦う”という回答も非常に高いわけではない。従来のナショナリズムと受けとるべきものではない。

図14 日本人・西洋人の優劣

さて、このように自信は増大しても日本人はものの悪い面に気が走るということが見られる。このことをみた東京都23区のランダムサンプルによる実験調査がある(基底意識研究会(1976))。質問と回答分布を表12に示すが、頭ありというのは各質問でアンダーラインの部分を追加したものである。この頭を付けずに質問した場合に比べてネガティブな回答が少ないのである。良い面悪い面の両方あることを意識させられるとポジティブな回答が増えるが、ただ質問をすると悪い面がより注目されるように思われる。西平重喜氏は次のように興味ある記述をされている(西平(1992))。

‘次のうちから該当するもの(当てはまるもの)をいくつでも選んで下さい’という形の質問の場合アメリカ人は“やたらに”といたくなるように、たくさんの項目を選ぶが、日本人は2つか3つしか答えない。たとえば「青年調査」で、11の選択肢のうち自分の国の誇りであると思うものをいくつでも選べという質問で、アメリカ人の青年は平均して5.5選択肢も選んでい

るが、日本では平均2.4選択肢しか選ばない。その結果、すべての選択肢で、アメリカ人は日本人より高いパーセンテージを示している。

「青年調査」では“いくつかでも選べ”という質問が12問、「欧州調査」では6問あったが、それらの全質問を通じて、各国の人々が平均いくつの選択肢を選んだかを見ると、日本人の選択は少なく、アメリカ人はたくさんを選択肢を選ぶことがわかる。とくに日本人は直接に自分にかかわること、晴れがましいこと、ウヌボレと取られそうなことに対して遠慮する。しかし第3者としての批判や、嫌悪の情を表現する場合には外国人よりかなり多くの選択肢をあげるようである。’

表12 頭つき質問による回答の変化

なお、これに関連して、1973年から1993年まで5年毎に調査されたNHKの国民意識の調査(橋本・高橋(1994))があるが、それによると、誇り意識はかなり高いものの、“現在でも日本は外国に見習うべきことが多い”と考えているものは、70%から76%まで単調増加の様相を示しており、「習うこと好き」の態度がよみとれ、唯我独尊的ナショナリズムの様相はみられないと言ってよかろう。

1.5 リーダーシップについて

これは、日本と中国との比較調査から得られたものである(林(1991, 1993a, 1994))。質問は表13の通りであるが、分析には、質問1のリーダーの資質として重要な3つを選ぶ項目、質問2と3の後ろに記号を付けた回答、質問4の伝統的文化(道徳)に関する質問では記号をつけた項目を用いた(これらの質問は、ハワイのEast-West CenterのG.Chu教授による)。それぞれの国別にパタン分類の数量化を試みたが、しかるべき結果は得られたもののそれほど面白いものではなかった。そこで日本・中国のデータ数をそろえて、ボンドサンプル(林・鈴木(1986))によって数量化を行なってみると、きわめて明快な結果を得た。各質問回答カテゴリーの付置を図15に示すが、第1軸(1X)において日本と中国の特徴がきれいに分かれることを知った。つまり、第1軸の値のサンプルスコアの分布(図16)をみると、日本と中国がきれいにわかれ、マイナスが日本、プラスが中国である。0点を日本人と中国人を判別する分割点とすると、日中の判別成功率は88%と極めて高く、おどろくべき判断成功率である。とりあげた質問の予測力が極めて高いことを知るのである。

表13 日中比較調査のリーダーシップ、伝統文化に関する質問

図15 日中ボンドサンプルのよる分析(数量化Ⅲ類)

図16 第1次元目のサンプルスコアの分布（数量化Ⅲ類）

これほどまでに、リーダーシップが日中で異なっていることを示しているのは驚くべきことであった。マイナス寄りが日本的リーダーシップであり、プラス寄りが中国的リーダーシップである。敢えてその特色を書いてみると次のようになる。

日本的リーダーシップの条件	中国的リーダーシップの条件
部下に尊敬・好かれる	部下に利益をもたらす
仲間に誠意を以て接する	技術的に優れている
人間関係がよい、顔が広い	若くて有能
経験のある人、年輩で尊敬される人	決断力断固としている
年功を積んでいる	真剣に仕事をする
判断力が優れている	
部下を公平にあつかう	
伝統文化との関連	
子孫繁栄(paternalism)	
分別	
中庸	
和を以て貴しとする	
寛容と礼節	
*親の慈悲深さと子の孝行	
*仁義道德	

上記の伝統的徳徳に関しては中国では誇りに感じるものは少なく、なくしてしまいたいと思うか、あるいは関係がないとするものが多い。日本では*印のものを除いてリーダーシップに関係が強いことは興味深い。

共産党教育のしみこんだ中国との比較の単なる一例であるが、日本では人間関係と関係深いリーダーシップは一つの特徴を示すものと考えてよからう（三隅二不二によるPM理論のM-メンテナンス-（三隅（ ））に呼応すると思われる）。

なお、リーダーシップに関係深いものとして、国民性調査（1973と1978）に次のような質問もあるのでふれておく。これは日航の1985年の大事故以前のものであり、且つハワイ調査で比較しようとしたが、質問にならぬとして採用されなかったもので、外国では調査が行なえないようなものである。

質問(#7.16) 飛行機の事故があったとします。あなたはつぎのどちらの社長の態度がよいと思いますか。〔回答肢のリストを提示して回答をとる〕

1. 社長はまず犠牲者の家をあやまってまわる
2. 社長は原因の調査などに努力する。

結果は表14のようになる。“あやまってまわる”がより多い結果となってい

る。日本のリーダーの性格を考える上で一つの示唆を与えている。

リーダーに対する同様の傾向を示すデータと考察が、中間的回答の好みと併せて文献（林(1994)）に詳述されている。

表 1 4 飛行機事故の質問への回答比率（％）

1.6 意識の未分化（QOL調査に関連して）

日仏の比較、CREDOC（L.Lebart）との共同研究によって見出されたものである。QOLに関する各領域の質問をすべて用いて、日本とフランスのデータ分析を行なった。詳しくは（林(1986)）に発表されているので、それに譲るとして要点のみをあげておこう。

1次元目において、日本では中間的回答とそれ以外、2次元目にポジティブとネガティブがわかれるという中間的回答の特色ある姿がここでも現れている。フランスでは1次元目でポジティブとネガティブがわかれ、2次元目に中間回答が分離するという解り易い形がみられた。いずれにしても、ここまではニュアンスの差はあるものの、内容的に大きな差はないものと見られる。

ポジティブの内容をさらにみるために3次元目をみるとフランスではQOLの各領域別にポジティブが分化している。つまりポジティブクラスターが領域別に分離していて、いわば独立している。ある領域でポジティブでも他の領域ではポジティブとは限らないことを示している。ところが日本においては、特別なものはあるが一般的に、ポジティブの領域がフランス程分化しておらず、かなりよくかたまっていて、いわば未分化の状態が強く見られると言ってよい。1つの領域でQOLがよいと他の領域でもよいという大局的傾向である。これは、伝統対近代の項で述べると同様の傾向で、各領域での伝統・近代の回答が未分化で、どの領域にも通ずる伝統対近代という考えの筋道が形成されたのと似た形である。このような考え方が日本人にあるのではないかと予想させるものがある。他の国では無関係なものが、何かの見方・感じ方から1つの方向に方向付けられ、それが「1つの考えの筋道」となって現れるという傾向である。勿論逆の場合も想像されるが、そのようなデータの的には経験したことはない。これに関連した分析は後述することにする。

1.7 科学文明観

とりあげる質問は付録2に、回答は表15に示す。日本の場合、一般的な科学の問題に対しては、かなりポジティブな回答を示していることが解る。しかし、科学で人の心の問題、社会経済の問題が解決できるかとなると極めて悲観的になることがはっきりしている。宇宙生活の実現性の回答も少ない。つまり、人間の

心が関係していることになる、科学が踏みこめないという意見が強いのである。しかし、繰返すが、一般的な事に関しては科学の力を評価しているのである。これも、外国とくらべたときの日本人の一つの特色である。ドイツもかなり科学文明に対してネガティブであるが、心の問題、社会の問題に対しては日本程ではないことに注目したい。

表15 科学文明に対するポジティブな回答(%)

1.8 自然観

自然、森林に対する態度を比較した日独仏調査がある(林・鮑戸(1984) 23-38頁, 四手井・林(1984))。詳しくはそれら文献によるが、日本人の特色というもののみあげておこう。

とりあげた質問は表16による。これをもとに日本(東京)とドイツの各都市で分析を試みた。

表16 自然観・森林観の質問(日独仏比較)

東京においては“森林に対する神秘的な感情あり”(質問A, B, C, D)と“森林に対する態度”(質問E, F)における回答とは独立の形をしているが、ドイツ各都市においては、神秘感と森林に対する“人間の手を加えねばならない”“人手の加わった自然が好き”の回答が一体となっているというおもしろい形が得られた。さらに述べると、東京においては、神秘感と森林に対する態度が独立しており、且つ、神秘感をもつものが“人手の加わらない自然が好き”“人間の手を加えるべきでない”のと同じ側にあり、神秘感をもたないものが“人手を加えるべき”“人手の加わらない自然が好き”と同じ側にある。このことに、自然保護・保全(コンサーベーション)のむづかしさが示されているといえる。

ドイツのフライブルグ、ノイエンプルグ(地方都市)、東京、宮崎の図柄をあげておこう(図17)。各都市の図柄の同異の相をMDA-OR(林(1993b), 林・鈴木(1986), Hayashi・Suzuki・Sasaki(1992))によって描いてみると、図17のように、説明を要しないほどはっきりした様相が示された。日本、特に東京の特異性があらわされている。

図17 自然観の心の構図

その1	フライブルグ	その2	ノイエンプルグ
その3	東京	その4	宮崎

図18 各都市の布置

ここに示したデータは古いものになったが、1993年の「日本人の自然観に対する調査」(全国ランダムサンプル)によると、日本人全体としても全く同じ様な心の構図を持つことが知られた(林・林・菅原・他(1994))。

1.9 宗教

国際比較において、宗教が特異的傾向を示すのはどこの国でも同じであるので簡単に触れるが、日本では、“宗教を信じる”ものは多くはないが、“宗教的な心は大切”というものが多くというのが特徴である。“宗教を信じるか”(#3.1)、あるいは“信じなくても宗教的な心は大切”(#3.2)というものを合わせると80%あまりで、この35年間変化はない。いわゆる大多数意見(全体で2/3以上、性・年齢・学歴のどの層でも2/3以上の支持のある意見)となっている。また、コーホート分析によれば、“宗教を信じること”は時期や生年コーホートによることはなく年齢(加齢)によって大きく左右される、つまり年をとると宗教を信じるようになることを示している。外国との比較可能なデータは少ないが、オランダの例があり、これによると時期と生年コーホートが強く作用し、年齢はほとんど影響がないのである(林・鈴木(1986), Hayashi・Suzuki・Sasaki(1992))。

これは、日本の一つの特徴ではないかと思われる。こうしたことの背景として、素朴な宗教感情が以下に示すように極めて高いということがあるのではないかと思われる。次に示す質問が、1993年10月の全国ランダムサンプルで調査されている(林・林・菅原・他(1994))。数字はパーセントである。括弧内はそれぞれ順に、1975年東京23区、1976年米沢地区、1977年東京23区、1993年関東都市圏のもので、地域は異なるが時を経て傾向的に増加しているように見える。

質問1 あなたは、日の出や日没、また静かな山のなかで、あらたまった気持ちになったりすることがありますか。

- | | | |
|---|-------|----|
| 1 | ある | 78 |
| 2 | ない | 17 |
| 3 | わからない | 5 |

質問2 あなたは山川草木、山や川や草や木など、このようなものに霊がやどっているような気持ちになったことがありますか。

- | | | |
|---|-------|-----------------|
| 1 | ある | 37(31 24 24 33) |
| 2 | ない | 54 |
| 3 | わからない | 10 |

質問3 人間の自然開発の犠牲になったり、食糧になったり、実験に使われたりした動物に対して、感謝を捧げたい気持ちになったことがありますか。

- | | | |
|---|-------|----|
| 1 | ある | 59 |
| 2 | ない | 30 |
| 3 | わからない | 11 |

質問4 あなたは、神社の拝殿の前に立ったり、お寺で仏像を見たり、キリスト教の教会に入ったとき、心が落着いたり、あらたまった気持ちになったりしたことが ありますか？

- | | | |
|---|-------|-----------------|
| 1 | はい | 82(70 75 69 81) |
| 2 | いいえ | 14 |
| 3 | わからない | 4 |

2. 意識の国際比較の観点からみた日本人と外国人の同異の姿

C L A の考え方にしたがって、各国のものの考え方・見方・感じ方の同じところと異なるところを明らかにすることは、頭初にのべた研究主旨からみて重要である。この全貌をここに示すことは困難であるが、ここでは基本的に重要な点について書いてみることにする（詳しくは、統計数理研究所意識の国際比較委員会(1991) 参照)。これまで主として、日本の特徴について述べてきたが、外国と同一のところもあるのでこの点もあわせて論じてみよう。

2.1 同一スケールの存在と国の位置付け—マクロ分析

調査に用いた全質問のうち、日本人の特徴を示す人間関係に関するもの及び分析の結果、別に取扱った方が望ましいことがわかったいくつかの質問を除外し、残りの全質問をとりあげた。これを次の(ア)から(コ)の10の領域に分けてみると—各領域は数問以上の質問からなる—それらが(コ)の政治的主義主張を除いて各国において1次元的ガットマンスケールをなすことが、パタン分類の数量化によって明らかになった。これは極めて重要なことである。問題を領域にわけてみるとポジティブ—ネガティブ、伝統—近代、楽観—悲観などと名付けられる1次元的尺度となる、ということはボーダーレスな考え方であるということが出てきた。これは大きな知見であった（統計数理研究所意識の国際比較委員会(1991)）。

- (ア) 経済と帰属階層意識
- (イ) 不安感
- (ウ) 先祖、家族、宗教
- (エ) 科学文明観
- (オ) 健康観と生活満足
- (カ) 金に対する態度
- (キ) 経済に対する態度、これからの見通し
- (ク) 信頼感
- (ケ) 家庭に対する近代・伝統
- (コ) 政治的主義主張

すなわち複雑に見えることが、こうした考えの筋道の同一性を示すものに仕分けされたことが解ったのである。この限りにおいて、つまりそれぞれの仕分けされた中では、つまり局限された場においては国の間で誤解がおこり得ないわけである。そして、その中で各国の位置付けができるわけである。

ここで、政治的主義主張では、自由主義（リベラリズム）はアメリカで特殊な反応を示すのでここでは除外し、また（ア）と（キ）とは全く同じ傾向を示すことが解ったので（ア）をとりやめ、残りの8つのスケールについて分析を進めることにした。

各国において1次元的ガットマンスケールをなすので、各領域別にポンドサンプルに対してパタン分類の数量化を行ない、1次元目の個人得点の国別の平均値によって国の順位を決定した。ポジティブ（明るい）の方に若い順位、非金志向、伝統的方向に若い順位を与えることにした。この国別の結果は表17に示す通りである。

表17 各質問群別の国の順位

A P Mの方法（林(1993b), 林・鈴木(1986), Hayashi・Suzuki・Sasaki(1992)）を用いた分析結果は図19に示しておく。国の位置をみると、アメリカ（A）、日本（J）、イギリス（E）、が近く、ドイツ（G）、フランス（F）がはなれるという3極構造が出てきた。各領域をあらわすものとして、矢印のついた直線（矢印のついた方の意味は表17の右側に書いた順序の上の方の意味である）によってあらわされる。領域のクラスターは、

金に対する態度、先祖、家族
科学文明観
健康観
信頼感、経済
不安感

となるが、これはあくまでも各領域別のポジティブ－ネガティブ、非金志向－金志向、伝統－近代などの国別平均の順位の位置付けに準拠したものである。個人レベルでの領域間の相互関係を考慮した上のものでないことに注意されたい。順位相関は健康観の0.60を除いていずれも高く、8領域の平均は0.90で、この図19の図柄は表17の情報をよく盛り込んでいるといえることができる。

図19 8領域と国の総合表示（A P M）

こうした部面に限定すると日本とアメリカは近く（このことはイギリスも同様）にある。しかし、前に述べたように、日本的なものを考えに入れた対人関係などの事項に関しては日本とアメリカは対極にある、という関係は興味のある問題で、十分に留めておくべき事項である。このA P Mの分析も単純集計で述べた時と

同じく、スケールをなす領域に分類した質問群での国単位のスケール値に基づく大局的事象把握によるものであり、関連性を考慮していないという意味で単純集計の場合と見做せるものなので、単純集計のとき述べた注意がそのままあてはまる。ひとつ次元の上がった意味での単純集計に基づく分析と言ってよい。

2.2 個人の回答パターンを基にする国の位置付け—マイクロ分析 その1

次の分析は、個人のスケールを構成している各領域への反応をもとにしたとき、つまり、各個人の領域別パターンを情報にしたとき、国別にどのような様相が見られるかの分析である。つまり個人の内部におけるスケール間の関連性をもとにする分析である。このため表18に示すAからNの各領域それぞれで5ヶ国すべてのデータを用いてパターン分類の数量化を行ない、得られた個人得点の分布を眺めた。個人得点はその人の示す各領域でのスケールを示すわけである。特に、1次元目でのスケールをなす7つ（金志向、信頼感、不安感、家庭観、先祖観、健康感、科学文明観）については、スケール（個人得点1次元目）の分布が、一応、25%、50%、25%となるように3区分に分類した。2次元目まで考えた方がよりすっきりするあとの2つ、経済観と主義については、1次元目と2次元目の数値を用い、プラス・マイナスの組み合わせで、それぞれ、よい(明るい)－中間－わるい(暗い)、民主主義・資本主義好み－社会主義好み－中間、の3分類とした。

今後の分析を理解するため、表18に、これから用いる記号と共に、それぞれの領域のスケールの名称と内容、スケールの3区分のコードとその意味を示しておく。また前述の領域との対応をカタカナで示してある。

表18 9つの領域のスケールとカテゴリー

ここで一つの方向を示すため、ある立場から○印をつけておいた。このことが、結果を見易くするために妥当であったことは、これからの分析で明らかになることである。これらの9項目を用いて国別にパターン分類の数量化を用い、それらの間に存在する考えの筋道を明らかにすることにした。

理解し易くするために日本の分析から始めよう。図20である。

図20 日本におけるカテゴリーの位置

いまある立場から○印をつけたが、日本ではこれらが第1軸（ 1X 、1次元目）の右方、その対極（図中では□印）が左方、中間（図中では△印）が中央に一団となって固まるということが明らかになった（ここでの固有値は第1根 0.20、第2根 0.15で第1根がドミナントである）。このある立場とは、いわば「そうなる」ことを予想した日本的発想であったのであるが、○印をつけたのを仮にポジティブというニックネーム（内容的には十分正しくはないが）、対極をネガティブ、

コード2であらわされているものを中間と名付けておく。簡単な構造である。ポジティブ側は不安なし（E3）と先祖・家を重んずる方の反応（J1）と家庭観の伝統的な方の反応（F3）とが上下（ 2X 、2次元目）で分離し、残りが一団となるというてよさそうである。不安と先祖・家庭は別として、未分化という形である。これと中間が一団となり小さく固まったクラスターをなしているのも、日本人好みの様相である。ネガティブ側は（D3 経済将来暗い、E1 不安あり）、（J3 先祖・家を重んじない、F1 家庭・結婚観近代的）とが両端、その間に（A1 金志向、K3 健康よくない）、（B3 信頼感なし、C3 社会主義好み、N3 科学文明観ネガティブ）があるというクラスター構成である。

これ以上論じる前にドイツの結果をみよう（図21）。ドイツの場合も、第1軸（ 1X ）で○印と対極の□印がわかれることは日本と全く同じである（固有値は第1根 0.20、第2根 0.15で差があり、この点も日本と同様である）。しかし中間コードがばらつき、ポジティブ側、ネガティブ側に入りこんでおり、日本のように第1軸で中間の答が中央に固まって他と分離するという事はない。中間の反応は、たがいに他の領域ではポジティブ、ネガティブいずれかに寄るということがわかる。経済スケール（D）の中間はポジティブ側に、主義スケール（C）の中間はネガティブ側にとというのがはっきりしており、さらに健康（K）、科学（N）、先祖（J）、家庭（F）の中間はポジティブ寄り、金志向（A）の中間、信頼感（B）の中間、不安（E）の中間はネガティブ寄りという特色ある形が見える。このことは単純集計データを読むときの参考になると言ってよかろう。ネガティブ側で、（金志向、先祖・家重んじない、家庭の近代的な方の反応（A1、J3、F1））とその他が2つのクラスターを作っており、ポジティブ側はその対極としてのクラスターである。○印、対極がわかれるのは同じであるが、中間の布置、ポジティブ、ネガティブのクラスターに違いが見出せる。

図21 ドイツにおけるカテゴリーの付置

各国別にみて行くと、同じようで異なり、異なるようで同じというキメ細かい同異の相がよみとれる。これについては詳しく論じている文献（統計数理研究所意識の国際比較委員会（1992））を参照されたい。小さな差異に見えたところも、実は大きな社会の違いを蔵していることもあるので、得られた知見を土台にして、さらに慎重にものを考えていく必要があると考えられる。得られたものは、現象を探るための知恵となるべきものである。

これらをまとめてみると、考え方の筋道の大きな枠組としては、全く異なっているという姿はみられないが、似たところと異なったところがそれぞれ混ざりあって出てきていることがわかる。これらの考察を以下(1)から(4)に要約しておこう。

(1) 大局的な図柄の構成

第1軸（ 1X ）で○印（ポジティブ）と□印（ネガティブ）が分離するのは、日

本、ドイツであり、イギリス、アメリカでは先祖と家庭を除いてこの形がみられ、こうした点では考えの筋道は異なっていない。しかし、イギリスとアメリカでは第2軸で先祖と家庭の伝統-近代が分離するという形が出て、第1軸と独立になっている点は重要な差異点である。フランスにおいてはこういうことはなく、日本・ドイツと同じ傾向であるが、○印とそれ以外が第2軸（ $2^{\circ}X$ ）できれいに分離するという事になり、考えの重点のおき所の差異が出ている。このことは第1軸の解釈に差が出ていることを示すものであり、家庭と先祖の近代的考えが他の項目のポジティブとより強く結びつくという点で、日本、ドイツとも異なった傾向となっている。このことに注目すると（日本・ドイツ）、（イギリス・アメリカ）、（フランス）というクラスターの形になっている。日本・ドイツの図を約45°回転するとイギリス・アメリカの関係が出る、90°回転するとフランスが出るという明確な大局的位置付けがここで明らかになった。これは、似ていながら考えの筋道の異なる一つの差異のタイプを示しているとまとめられる。

(2) ポジティブ・ネガティブ・クラスターの構成

ポジティブ（○印）、ネガティブ（○印の対極、□印）それぞれのクラスター構成において、国によって似ているようで異なっているところがある。これを明確に把握しておかないと誤解を生じてしまう。

まず、家庭に関する伝統的考えと先祖や家を重んずる傾向、家庭に関する近代的反応と先祖や家を重んじないという反応、のそれぞれの結びつきはどの国でも全く同じである。これらのクラスター各々と他のスケールのポジティブあるいはネガティブとの結びつきは、上述のように国によって必ずしも同一ではない。

以上のもの以外の領域におけるポジティブ側、ネガティブ側のクラスター構成は、表19、表20に示すように、必ずしも同じではなく、似ているところと異なっているところが国々において相互にずれていることがわかる。

これらのクラスター構成の微妙な差を無視してものを考えるとき、社会構造の重大なギャップを見落してしまうと考えられる。たとえばドイツでは他の国と異なり、家庭・先祖の伝統の方に非金志向が加わり、近代の方に金志向が加わるというのは、一つのドイツ固有の社会の反映ではないか。また、アメリカの、不安を強く感じる方の反応が社会主義好みと結びつくというのは、他の国では見られない大きな特色である。不安感を強く感じる方が、日本とドイツでは経済がわるくなるという方の反応と結びつくが、フランス・イギリスでは他と独立である。また、社会主義好みはアメリカ以外は一般のネガティブと結びついている。このようなことが見られるのである。

こうした形をこれらの表から問題に応じて探り出してくることは興味あることである。

表19 ポジティブのクラスター構成

表20 ネガティブのクラスター構成

(3) クラスターの特異な結び付き

前述のようにアメリカでのみ見られたことであるが特記すべきことと思われるので別項としておく。家庭・先祖の伝統的意見のクラスターが、不安あり・社会主義好みのクラスターに近いことである。これはアメリカ社会の一つの特徴を示していると考えてよいと思われるが—第1軸で近いし、第2軸でも近い、第3軸でも近い—これも今後、検討に値することと考えてよい。

(4) 各スケールの間について

各スケールの間（添字2であらわされている、ポジティブ（○印）との対極のネガティブ（□印）の間に区分されたもの（△印）が、すべて、その言葉通りに中間なのか、あるいは、ポジティブ、ネガティブいずれかの意味をもつものか、という点に着目した分析である。結果をまとめてみたのが表22である。日本のみ、中間スケールはポジティブ、ネガティブの間に小さくしっかりと固まり、固有の意味を持っていることを示している。これまでも、中間回答は日本の特徴と述べてきたが、この分析においても中間の考え方という点においてもはっきりした形を示している。ドイツ、フランスは、中間スケールがばらついて固有の中間は少なく、ポジティブ、ネガティブのいずれかへ仕分けされることがわかる。アメリカは日本に次いで、中間が固有の意味を持ち、イギリスはそれに次いでいる。他の領域との関係で、中間の回答の持つ意味がそれぞれ異なっていることが出ているのであって、表21にはデータを読むときの大事な知見が示されているのではないかと考えられる。

例えば、ドイツとフランスは中間の反応がいずれかへ振り分けられることが多いが、ドイツとフランスでは中間の反応の振り分けが逆になっているところが見出される。D2、K2がポジティブ側、A2がネガティブ側であることは同じであるが、F2、J2、N2がドイツではポジティブ、フランスではネガティブ側、B2、C2、F2はドイツではネガティブ側、フランスではポジティブ側にあるという反対の傾向である。

また、これについて次のような考察もできる。アメリカは、ポジティブの回答をする好みがある（あるいは、そういう色メガネでものをみる）、日本は中間の回答をする好みがある（いつでもバランスをかけてものをみるという色メガネもっている）、フランスはネガティブの回答する好みがある（あるいは、そういう色メガネでものをみる）、のではないかという考え方である。実態は同一でも色メガネのかけ方で回答が変わるという見方である。その点でスケールの中間が他の領域、反応との関係でどちら寄りにあるかということは大きな情報を持っている。この点を以下に検討してみよう。

例えばフランスについてみると、科学文明(N)に対してはポジティブが多いのでN2と言えばネガティブと思えるし、不安E3が多いからE2と言えばポジティブと見られる。いわばバランスである。健康(K)、経済(D)、主義(C)、信頼感(B)についても同様である。しかし、金志向、家庭への近代的反応、先祖を重んじないという反応は多いが、中間回答のA2、F2、J2がネガティブに入っているのはバランスの意味ではなく、この領域では実際にネガティブと見られるので

ある。アメリカでは主義 C3 が少なく C1 が多いから C2 はネガティブに属するというのはバランス的であり、一方、経済、家庭では、D1、F3 が多いからこの中間（D2、F2）がポジティブに属するということから、実際にこの2つの領域ではポジティブと見做せるのであろう。このように、本来、各領域でいずれの反応（つまりポジティブ・ネガティブの反応）がドミナントであるかによって結論が変わってくるのであるが、中間がポジティブ・ネガティブのどちらに属する、あるいは近いかを調べることによって、その意味を探ることができるのである。バランスという言葉で上に定義したことが極めて多い場合は、偏った色メガネで見ているということができる。

こうみえてくると、フランスもアメリカも、必ずしも上に言及したネガティブ・ポジティブの色メガネで全てのものを見ているとは限らないと言った方がよい。領域によって色メガネを変えているという見方もあるが、こうなると領域ごとに見方が違うのだと考えた方がよい。色メガネという表現はすべての面で、偏った見方をしているということの意味するからである。日本の場合に中間が多く、それがすべて固まるとは、そうした色メガネの傾向がある—そのようなもの見方が顕著である—ことを現すと云ってよいように思う。

このようにみえてくると、中間のスケールをどのように見るかは、表21を眺めて、それぞれの領域で決めるほかはない。

表21 中間スケールのクラスター構成

さて、こうした考えの筋道の違いを一応不問に付して、5カ国をボンドしたサンプルにおいて、パタン分類の数量化を行なってみたらどうなるか。国そのものも個人の回答の一つとしてデータの中に入れたとき、国と回答（意識・態度）との結び付きが、回答相互の結び付きを超えて優勢に出てくるものであろうか。

結果は図22に示すが、国の特色が明確に出てきた。

図22 各国の布置と回答カテゴリーの布置（その1）

国の分類が優勢で、それぞれの国のまわりにその国の特色ある回答（国との結び付きのとりわけ強いもの）が出ているという形になった。総合的分析による各国の布置（図22）は第1軸（ 1X ）で（日本、アメリカ）（イギリス）（ドイツ、フランス）という形が出、第2軸（ 2X ）で日本、アメリカが分離し、第2軸で日本寄りにドイツ、アメリカ寄りにフランスが分離し、イギリスは中央にとどまるという形である。いわば正方形の各点に日本、アメリカ、ドイツ、フランスが位置し、中心にイギリスがくるという形で、似た所と異なった所の関係が、こうした質問群によるスケールの間の関連性のなかで浮かび上がってきたのである。各国のまわりに集まるところは、

日 本（信頼感あり、主義中間、経済中間、不安なし）

アメリカ（先祖を重んじる、科学文明観ポジティブ、非金志向、家庭中間）
ドイツ（家庭近代的、先祖重んじない、科学文明観ネガティブ）
フランス（不信感、社会主義好み、経済将来暗い、不安大、健康よくない）
イギリス（金志向、中間の考え方）

というのが出ており、一応国の相対的特色となっている。大まかに言えば、フランス、ドイツはネガティブが、アメリカ・日本はポジティブが特色であり、イギリスはそれらの間にあるというのが特色となっている。

2.3 個人の回答パターンを基にする国の位置付け—マイクロ分析 その2

2.2 で大綱をつかんだ上でさらに次のものを加え、より一層総合的なものにした。自然観・宗教・イソップ物語の“アリとキリギリス”、環境・エネルギーに関する態度である。これらがどう絡み合ってくるかがここでの関心事である。

追加したものは、スケールではなく、普通の質問の回答である。まず、これらの質問のニックネーム、コード、カテゴリーの特色を表2.2にあげておく。

表2.2 追加質問

国別の分析を進めると考えの筋道の似ているところと異なっているところが別出されたと見ることができた。この綾模様は、文化の異なる諸社会の深い面を探り出しているように思えるのである。（詳しくは文献（統計数理研究所意識の国際比較委員会(1991)参照）。

さて、こんどはこのくらいの違いを認めた上で各国をボンドし、パターン分類の数量化によって、これらの質問群の関連性の上に立った心の構図に基づく国の差異が、どのように出てくるかを見てみたい。きめの粗い分析であるが、その結果は図2.3に示すように、実に面白い三極構造が得られた。つまりアメリカ、ヨーロッパ、日本という形である。このうちイギリスはアメリカの方により近い点も面白い。それぞれの近くにある回答をみると、その包括的にみた相対的特色を大掴みに現すことができる。これを表2.3に示そう。一言で各国の特性をいうならば、日本の中間回答好み、アメリカは先祖を重んじ宗教を信じ、宗教的な心は大切、プロテスタントとの関係はより密接、ヨーロッパは一般に暗いイメージで家庭観の近代的な方により関係深く、より社会主義好み、カトリックとの関係がより密接、という形が描き出されたことになる。

図2.3 各国の布置と回答カテゴリーの布置（その2）

表2.3 国別の特色

なお、第3軸においてフランスとドイツ・イギリスが2分され、このドイツの特色は*印をつけたものにある。

結果が出てみれば、首肯できる形であるが、いかにも粗いものである。ほとんどすべての質問を入れてその関連の上に立って、国の特色を細かい点を抜きして纏むと、このようになったということである。詳しい事を知った上での要約としては面白いものである。しかし、ニックネームができレットが貼られても、これだけでは大雑把過ぎ、立ち入ってみれば内容的には何の意味もない。これまで述べてきたような、あるいは文献（統計数理研究所意識の国際比較委員会(1991)）で示したようなより突っ込んだ分析が大事であって、時に大局的に纏み、時に細かく分け入ってその同異の綾を読むことが、人間理解・社会理解・文化理解に大切な方法論であろう。どこで近く、どこで異なるかは相互理解上重要なことであるが、これについては目下のところ上記の文献以上のことは出ていない。

2.4 回答の意味の解釈—イソップ物語と関連する社会的態度をめぐって—

もう一つ別の角度から話を進めよう。前にとりあげたイソップの物語“アリとキリギリス”(#7.82)の構造的分析である(Hayashi(1992d), 統計数理研究所意識の国際比較委員会(1991))。“アリとキリギリス”の話の結末として、“食べものを与えていさめる”、“嘲笑して追い返す”、の2つのうちどちらが気持ちにじっくりするかをめぐる分析で、この結末を、怠けることへの訓戒の面を強調するか、やさしさから食物を与えるか、あるいは慈善(施し)の意味で食べものを与えるか、等の議論が様々な形でできる話題である。テキストの分析だけからも、いろいろ議論できるが、一般の人々の考えとしてどのようなものであるかを総合的に明らかにしようとしたものである。とりあげた質問を表2.4にあげておく。

表2.4 イソップ物語(アリとキリギリス)と関連する社会的態度の質問

まず、すべてを含めて国別にパタン分類の数量化を行なってみたものを模式化したのが図2.4である。S1(追いかえす)、S2(食物を与えていさめる)、を中心に円が描いてある。S1、S2クラスターの位置に着目しよう。日本とアメリカは第1、第3象限にそれらがある。フランスとイギリスは第1軸(1X)に、ドイツは第2軸(2X)にそれが出ている。この点のニュアンスの差がまず注目される。

図2.4 “アリとキリギリス”と関連する社会的態度の付置

これにからめて、信頼感—不信感、宗教重視—非重視が関連してくる。これをT—UT、R—URと書くと、第1軸で(T、R)—(UT、UR)の傾向にあるのは日本、ドイツであり、イギリス、アメリカと続き、フランスは第1軸でT—UT、第2軸でR—URとなりこの両者が独立の形になる。

S1 と S2 との関係をみよう。

	S2	S1
ドイツ	T	U T
フランス	T (寄り)	U T
イギリス	T (寄り)	U T
アメリカ	T (寄り), R	U T
日本	T, R	U T

となり、全体的に S2 の近くに T があり、S1 クラスターに U T が入る。R が他より S2 に近いのは日本とアメリカということになる。

ここまでみると、大局的に同じであるが、それぞれの間でニュアンスの差が少しあることがわかる。

次に S1 クラスターに共通に入るものをみたのが表 25 である。大局的にまとめてみると金志向、人間不信頼、孤独、ポジティブでない社会的態度というのが入るのはどこの国でも同じであるということになる。各国でみて、全てに共通ではなくいくつかの国のみに入っている特色あるものを表 27 に集約して示してある。ある国のみに入っているものは、その国の特色であると言ってよい。カテゴリーの記号とそれらの内容を要約してあり、これを詳しく読めばよいわけである。

表 25 S1の周りのクラスター (各国共通のもの)

表 26 S1の周りのクラスター (国の特徴)

さて S2 の方の特色であるが、共通なものは表 27 に示してある。この共通の特色をまとめてみると、

- 失業の不安を感じない
- 満足
- やりとげた感じのもてる仕事
- 一般的な人間関係の重視
- ポジティブな社会的態度とライフスタイル
- 孤独でない関連の中にある生活を好む
- 温情主義的
- 非金志向

というのが大局的な傾向である。S1 の場合と同様に、ある国のみ S2 クラスターにその項目が属しているというのは一つの特色である。これは表 28 に示してある。

こうした S1、S2 に関する関連する回答を集約したものが表 29 であって、これによって共通するところと特殊であるところが理解できるはずである。

表 27 S1の周りのクラスター (各国共通のもの)

表 2 8 S1の周りのクラスター（国の特徴）

表 2 9 S1、S2の共通の性格と国別の特色

以上をまとめてみよう。全体的に構造を見れば同じ様な様相を示しながら、国によりニュアンスの異なるものが出ている。さらに、S1、S2の内容をみると、これも大局的に同じ様相をみせながら、国によって相異なる特殊のものがそれぞれにむすびついている。このように同じところと異なったところがみいだされ、ここでも、共通のところを鎖として特殊の項目が相互に結びついているという心の構図がC L A（連鎖的比較分析法）によって描き出されたわけである。

共通の一面のみをとらえ同じだとして特殊の面を切りすてて議論を進めれば、思わぬ違いに出会い、また特殊の一面をとらえてこれを強調し拡大するならば、大きな誤解に遭遇することになる。共通のものを鎖として特殊なものを絡ませて同異の姿をみることが重要であることをこの分析は如実に示している。

以上は、統計数理研究所意識の国際比較委員会(1991)における分析に基づいているが、しかしそれ以後別角度から非常に興味あることが解ってきた。これも似た所と異なる所を知る一つの手掛りである。これを次に述べる。

2.4 意識の分化と未分化の諸相

さきにQ O Lについてこの問題を論じたが、ここでは国際比較の観点から考察してみよう。これは、健康と社会意識の関係である。質問は「国民性を探る」には一見異様と見える質問の組み合わせで、C L A法の核心に触れるものがある。

質問(#2.80) ここ1ヶ月の間に次にあげるものに悩みましたか。(かかりましたか。)〔a～eの項目リストを提示して回答をとる〕

- | | | | | |
|-----------|---|----------|---|----|
| a. 頭痛、偏頭痛 | 1 | かかったことあり | 0 | なし |
| b. 背中の痛み | 1 | かかったことあり | 0 | なし |
| c. いらいら | 1 | かかったことあり | 0 | なし |
| d. うつ状態 | 1 | かかったことあり | 0 | なし |
| e. 不眠症 | 1 | かかったことあり | 0 | なし |

回答は表30に示すように、日本は“かかったこと”が少ないのである。総じてフランスの回答が多いのである。この質問はフランスの共同研究者がとり入れることを主張したもので、この分析でその理由が解ったのであるが、問題はこれと他の質問との関連性である。その前に男女の差をみよう。いずれの国でも女の方が“かかったこと”が多いのはまず注目される(表31)。その差(男の“かかったことあり”の比率から女の“かかったことあり”の比率を引いたもので、

マイナスは女の比率が男より多い事を示す)の合計をみると、日本は差が少ないのである。つまり日本は総計でそうしたものに“かかったこと”も少ないし、男女差も少なく、女の“かかったこと”が世界にくらべて大いに少ないことを示している。これは面白い。“かかったこと”が女が多いのはどこの国でも同じであるが男女の差は日本が最も少ないのである。この意味は、さまざまなものを含んでおり、含蓄のあるデータである。

表30 国別回答率(%)

表31 症状に“かかったこと”の男女差(男の比率-女の比率)

さて、これに不安感を加えて分析する。質問は次に示すものである。

質問(#2.30) ときどき、自分自身のことや家族のことで不安になることがあると思います。あなたは、次のような危険について不安を感じることがありますか。〔4段階の回答(1:非常に感じる、2:かなり感じる、3:少しは感じる、4:全く感じない)のリストを提示して、a.~e. それぞれに回答をとる〕

- a. まず、「重い病気」の不安はどの程度でしょうか。
- b. では、「交通事故」についてはどうでしょうか。
- c. では、「失業」についてはどうでしょうか。
- d. では、「戦争」についてはどうでしょうか。
- e. では、「原子力施設の事故」についてはどうでしょうか。

この症状と不安感の両質問を合わせ、国別に数量化Ⅲ類を行なうと、カテゴリーの付置($1X \times 2X$)は図24に概略を示すごとく、きれいな差異が出てきた。

図25 不安感と健康状態の意識構造

2次元付置をみると、ヨーロッパの諸国は、症状の有無と不安の有無の間にいわば独立的な関係がみられ、日本とアメリカはともに両者が1次元構造を示すことが出ている。第1軸($1X$)のみでみると各国とも同じ傾向(症状あり・不安あり 対 症状なし・不安なし)であるが、さらに細部構造をみると、1次元構造と独立的構造という差が出ているのである。つまりこの多次元的構造でみると、両者未分化の日本とアメリカに対する両者分化のヨーロッパ諸国という構図が見出される。この点アメリカと日本は似ているのである。

こんどは、社会状況(Social Conditions、S.C. と略記)と未来に対する予想の質問をとりあげてみる。

社会状況の質問

質問 1 日本人全体の生活水準は、この10年間でどう変わったと思いますか。
〔回答肢のリストを提示し回答をとる〕

- | | |
|------------|-------------|
| 1 非常によくなった | 4 ややわるくなった |
| 2 ややよくなった | 5 非常にわるくなった |
| 3 変わらない | |

質問 2 あなたの生活水準は、この10年間でどう変わりましたか。〔回答肢リスト提示〕

- | | |
|------------|-------------|
| 1 非常によくなった | 4 ややわるくなった |
| 2 ややよくなった | 5 非常にわるくなった |
| 3 変わらない | |

質問 3 これから先の5年間に、あなたの生活状態はよくなると思いますか、それとも悪くなると思いますか。〔回答肢リスト提示〕

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 非常によくなるだろう | 4 ややわるくなるだろう |
| 2 ややよくなるだろう | 5 非常にわるくなるだろう |
| 3 変わらないだろう | |

質問 4 これから先、ひとびとは幸福になるとと思いますか、不幸になるとと思いますか。

- | | | |
|-------|-------|---------|
| 1 幸福に | 2 不幸に | 3 変わらない |
|-------|-------|---------|

将来に対する予想の質問

質問 5 これから先、心のやすらかさは、ますとと思いますか、へるとと思いますか。

- | | | |
|------|------|---------|
| 1 ます | 2 へる | 3 変わらない |
|------|------|---------|

質問 6 では、人間の自由は、ふえると思いますか、へるとと思いますか。

- | | | |
|-------|------|---------|
| 1 ふえる | 2 へる | 3 変わらない |
|-------|------|---------|

質問 7 これから先、人間の健康の面はよくなってゆくと思いますか、わるくなると思いますか。

- | | | |
|--------|---------|---------|
| 1 よくなる | 2 わるくなる | 3 変わらない |
|--------|---------|---------|

この7問と健康状態をあわせ、国別にボタン分類の数量化を行なうと、カテゴリーの付置 ($1 \times 2 \times 2 \times 2$) は概略、図 2 6 のようになる。

図 2 6 社会状況、その将来の予想、健康状態の意識構造

2次元構造をみると、健康状態と社会意識とが独立な形を示すのが、フランスとイギリスである。1次元的には“症状あり”は“社会状況は悪い”・“将来を悪く見る”と結びつくが、さらに立ち入って分析すると、独立な様相がみえてくるのがこの2カ国であり、1次元構造をなすものとして、今度は、日本・アメリカにドイツが加わっているのである。これは、症状の有無つまり健康状態と社会意識が未分化、一体をなしているということで、“症状あり”が“社会状況を悪く見る”こと、“将来を悪くみる”ことと一体であり、“症状なし”はよい方の

意見に結び付いているのである。心のもち方のありさまが国により異なっているが、その中で、日本とアメリカは一体として意識するものが共通している、つまり容易に特に意識することなく理解しあえる心の構図であることがわかる（しかし、ここでとりあげた問題のことであり、別の局面からみると前述のように日米は両極にあるのである）。

このようにみえてくると、意識の結びつきに同異の姿のあることがわかり、同じ心の構図（考えの筋道）があるところでは特に意識することなく理解し合えるが、これが異なると相互理解は特に意識して慎重に事を進めねば得られるものでないことが解る。国際比較研究を通してこのような様相が描き出されたのである。

後注 日系人調査の意味

日系人の問題を日系人の問題として行なうことは、我々としては困難な問題である。この問題を追求するには、日系人の研究者と問題意識を論じ合う必要がある。しかし、日系人の問題意識が我々の日本人研究にとって「目から鱗のおちる」ような視点を与えることがある。この一例をあげてみると、日本人移民がとった行動である。直ちに、人々の組織化ができるのだそうである。つまり「長」がきまり、幹事がきまり、事務局が自ずとできて、役割分担がきまり、組織が動くのである。新しい技術の導入・普及、新しい法律の理解と適用などの知識の普及も、これを通して行なわれた。第2次大戦中は、「真のアメリカ人になりきるこそが、真の日本人のあり方である」という考え方が教育されたという。こうした組織があるがために日系人は発展して行ったとのことである。こうした組織は、中国人、韓国人はもとより他の民族にはない、ただユダヤ人にもこうした傾向があるということである。これが日本人のものの考え方、感じ方のどこに胚胎するかを調べることに興味があることを聞かされた。これは素晴らしいアイデアで、日本人ではどうしても気の付かなかった問題である（Fugita, S. S. & O'Brien, D. J., *Japanese American Ethnicity*, University of Washington Press, 1991）。こういうわけで目下アメリカのフランク・ミヤモト教授、ステファン・フジタ教授、テッデン・カシマ教授と共同研究を進めている。

我々としては、前に述べたように日系人に残っているもの、つまり日系アメリカ人の場合、アメリカ人と異なり日本人に近いものを探り出し、それをJ-attitude と名付け、日本人の国民性の特色をみるという立場をとってきた。このJ-attitude には「人間関係を重くみること」、「中間的の多いこと」が見出され、これについて、日本人の時系列的にみた安定性があることから、明らかに日本人の特色とすることができる。

以上のような2点から、我々が日系人の調査を行なう意味が重いのである。

図1 7カ国とJA、JBの布置

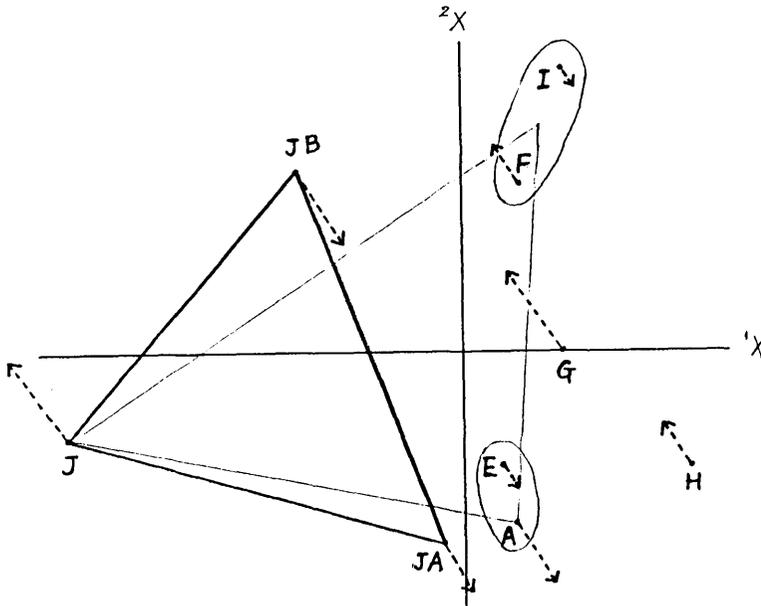


図2 義理人情の考え方の構造の安定性

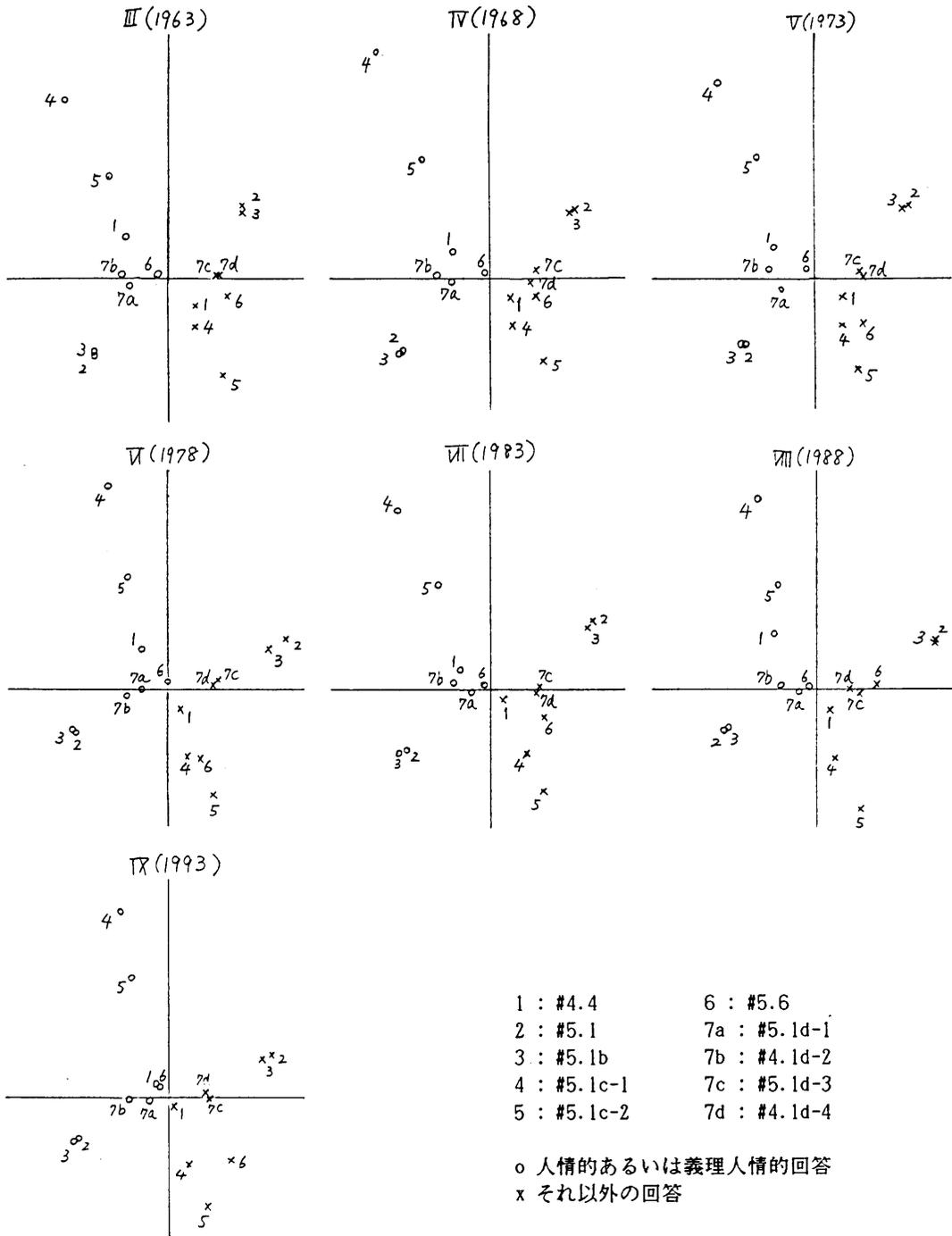


図3 義理人情の構造の近さに基づく諸国の位置付け

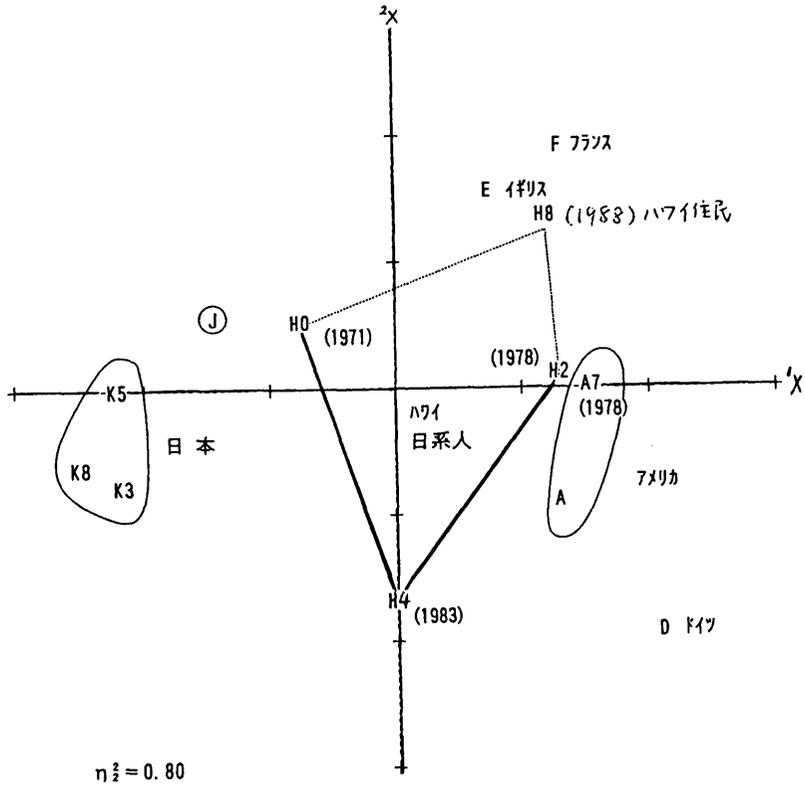
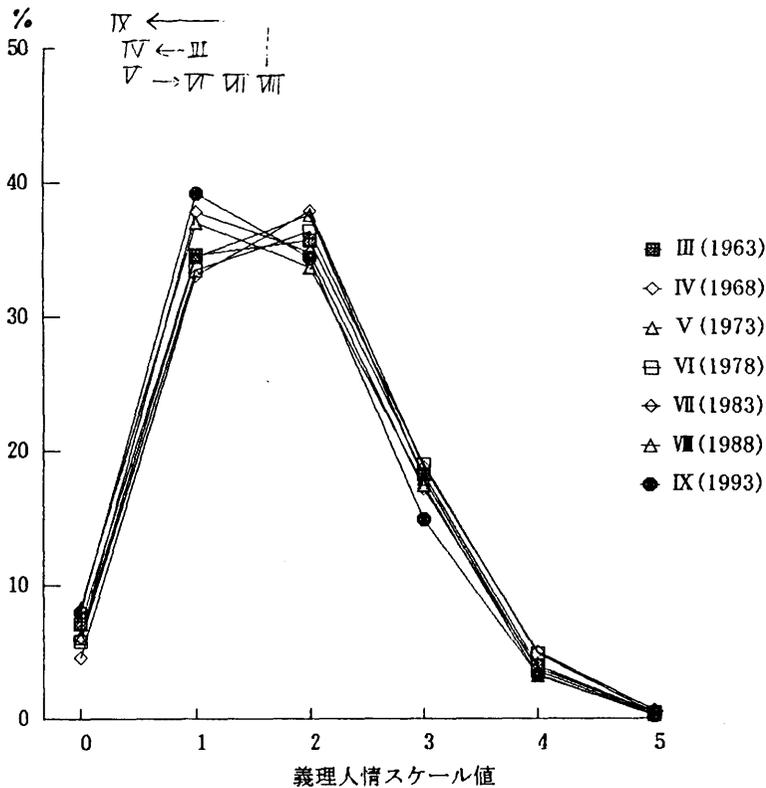


図4 義理人情スケールの分布



注) VII (1983)とVIII (1988)はほとんど同じ分布である。
 1993年はこの分布においてもやゝ義理人情的でない方に傾くやに見えている。
 この点を少し検討してみる必要がある。1993年調査は1988年調査と比べて調査
 条件が多少異ったために、その他・DKの比率(%)の変化が全般的にみると
 傾向的にやゝ多目になっている。

	その他・DK		義理人情的回答	
	1988	1993	1988	1993
#4.1	15	17	23	24
#5.1×#5.1b	10	10	10	9
#5.1c-1×#5.1c-2	9	12	26	21
#5.6	4	5	87	82
#5.1d	1	4	34	31

一方、非義理人情的回答は、上述の質問の順に #4.1では 62→59 (逆に減少)、
 #5.1×#5.1b では“親のとき故郷へ帰る”がへり、“会議出席”が多くなる傾
 向(4~5%)があるが、“恩人のとき会議”は1%の差しかない。#5.1c-1×
 #5.1c-2でも1%の差で変化はない、#5.6も10%→12%で一方に大きく傾
 向がズレていることはない、#5.1dも1%の差しかない。義理人情的回答と、
 その他・DKの関係で義理人情スケールが減少気味になっているということが
 できよう。

図6 その1) ハワイ住民のグループ別義理人情スケール分布

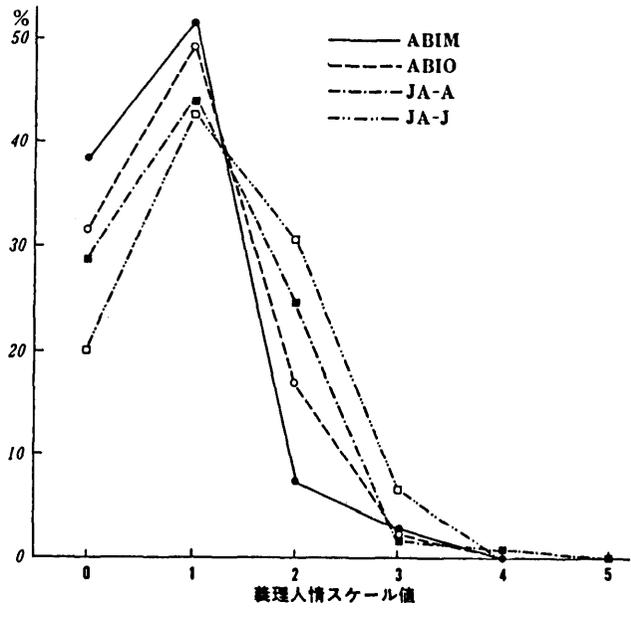
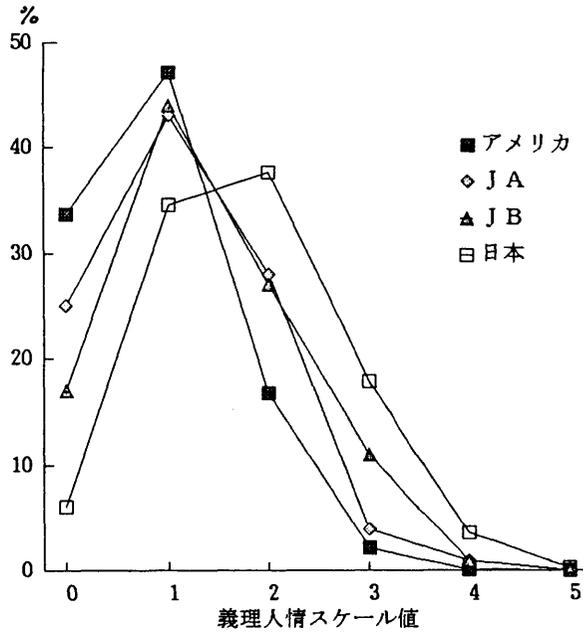


図6 その2 日系人とアメリカ、日本の義理人情スケール分布



注) A : アメリカ人(1988)
 J : 日本人(1988)
 J A : ハワイ日系人(1988)
 J B : ブラジル日系人(1991)

図7 中間回答のある質問の回答分布（日本人と在京米英人）

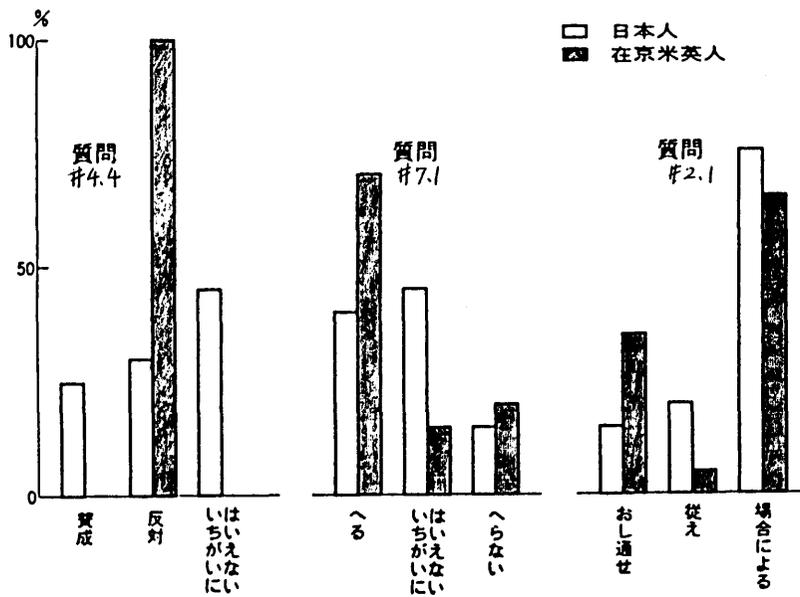


図8 オハジキ配分の分布

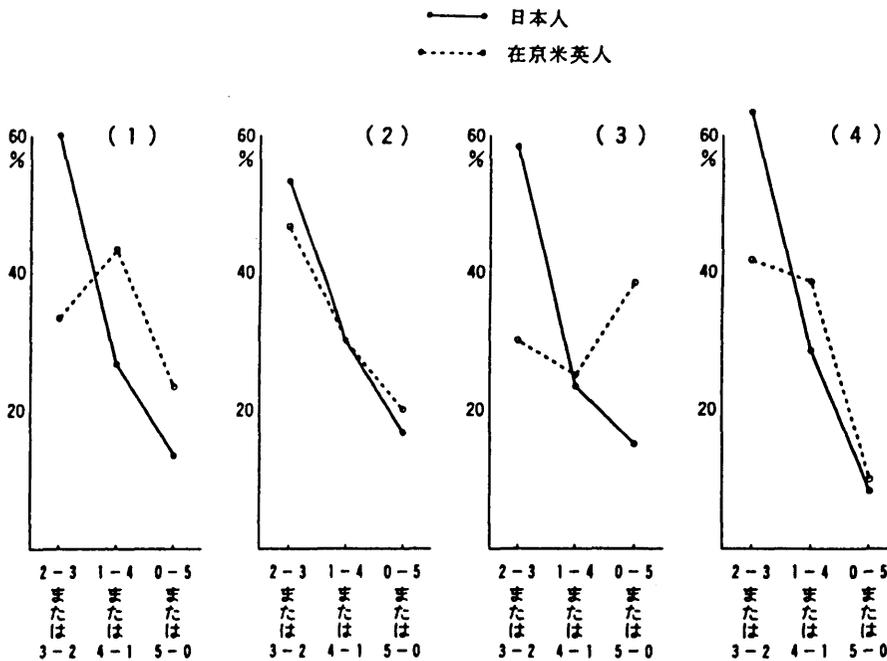


図9 5カ国における中間回答スケールの分布

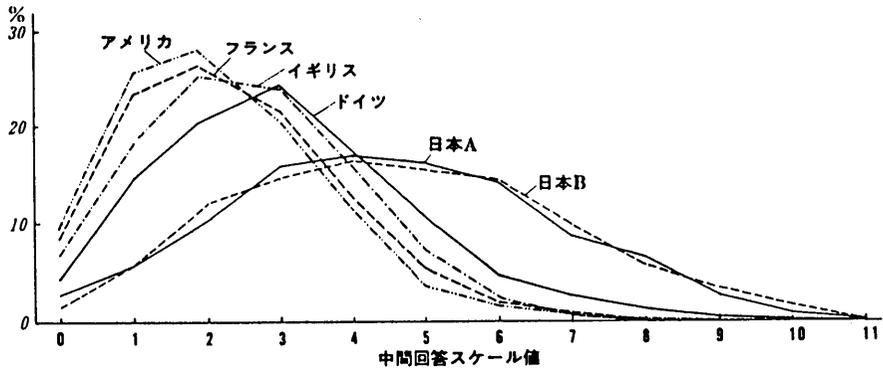


図10 日本、ハワイ、アメリカにおける中間回答スケール分布

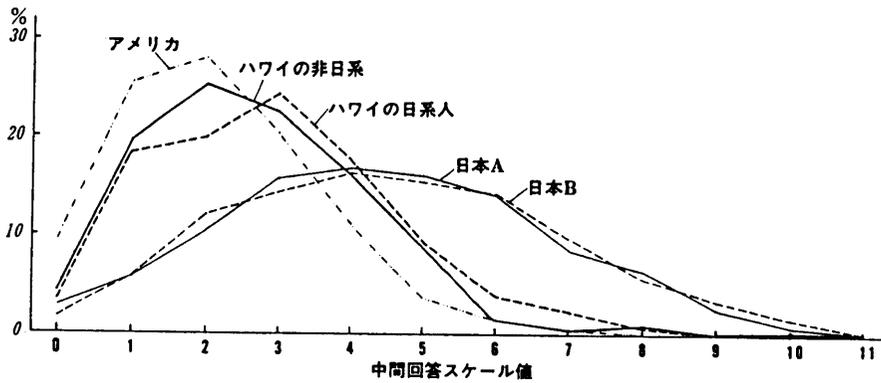


図 1 1 日系人の中間回答スケール分布

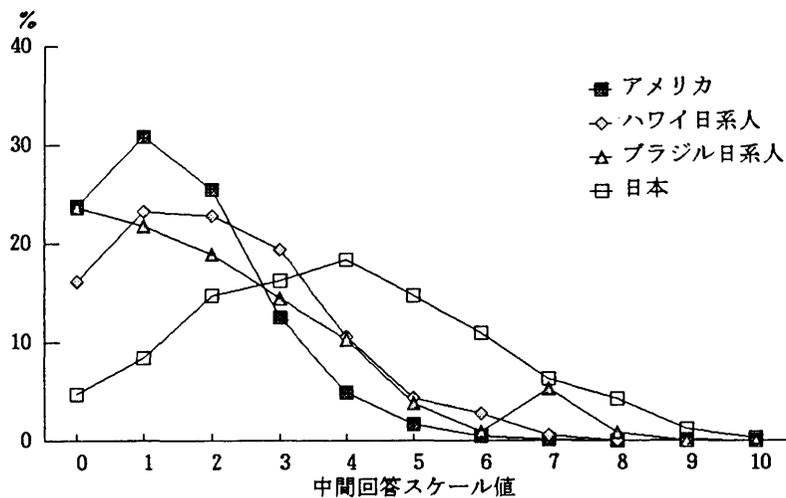


図 1 2 中間回答スケールの分布による国の配置

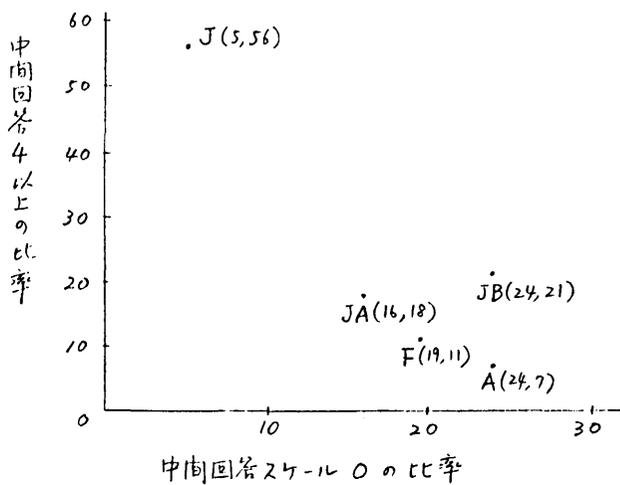
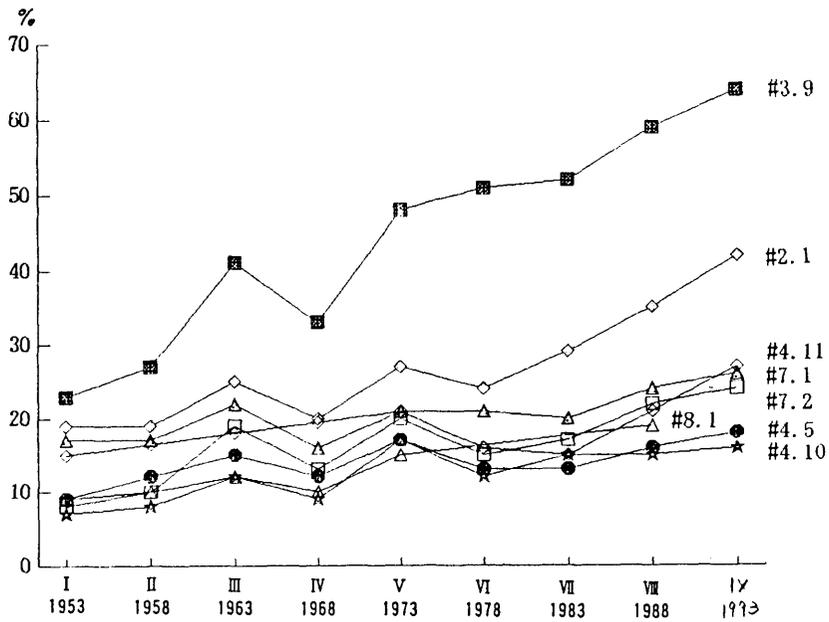


図13 中間回答の変遷



注) #8.1 は第V次までは中間回答があったが、以後はない。
 第VIII次のデータは第V次までの質問文を用いた国際比較調査のデータである。

図14 日本人・西洋人の優劣

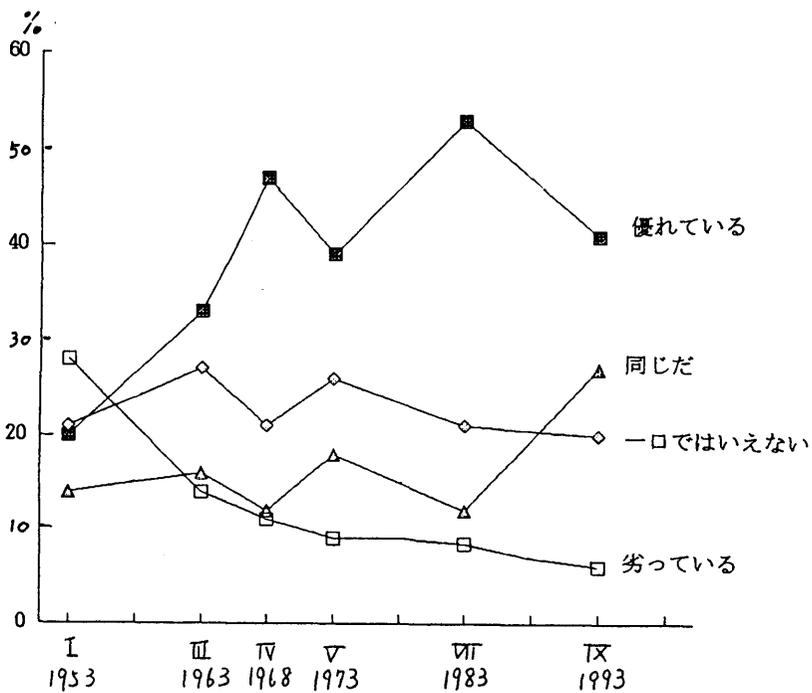


図15 リーダーシップに関する意識構造
 (日中ボンドサンプルの数量化Ⅲ類による分析)

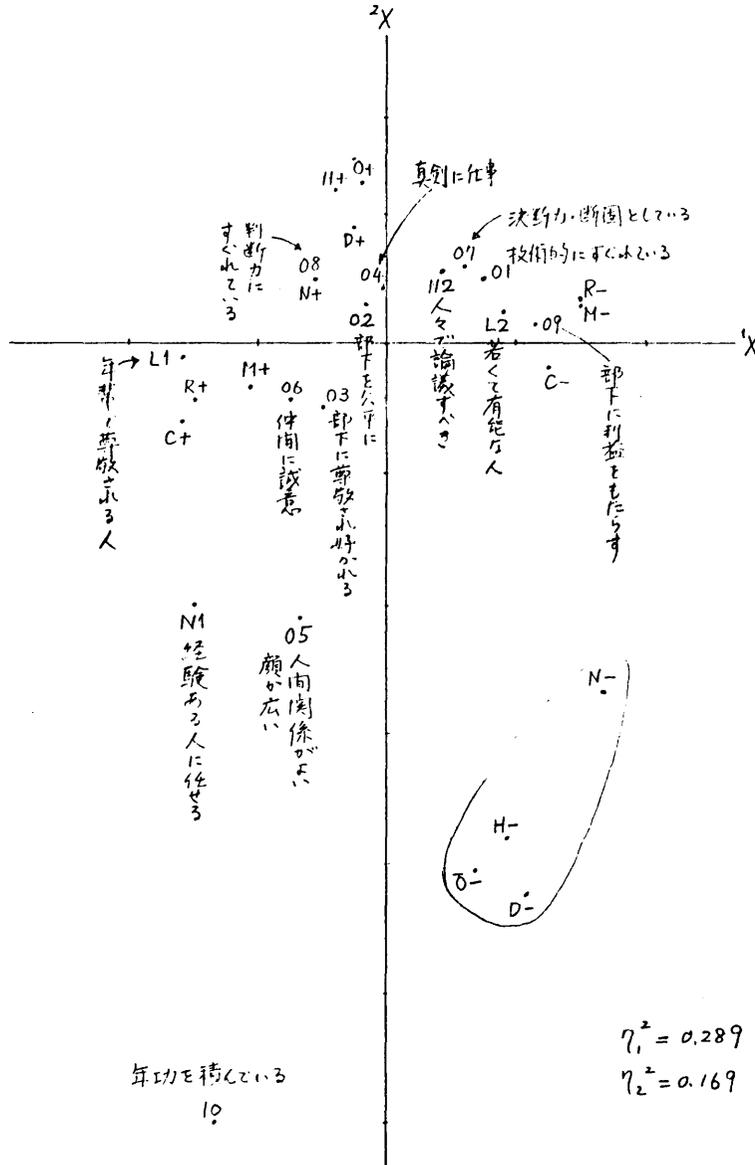


図16 第1次元目のサンプルスコアの分布
 (日中ボンドサンプルの数量化Ⅲ類による分析)

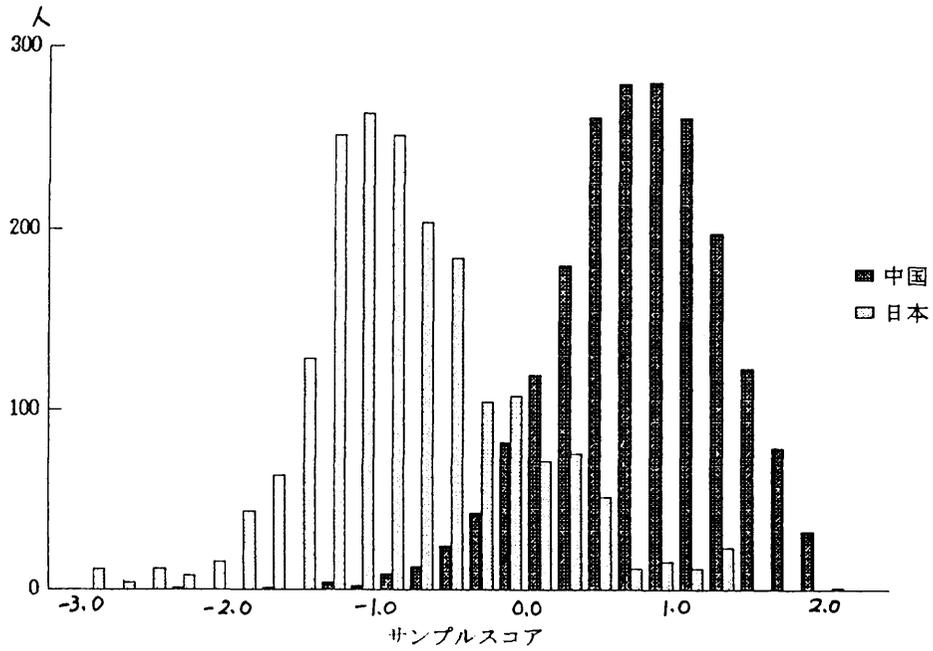
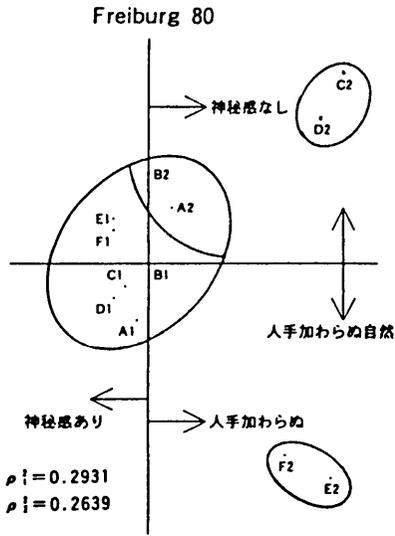
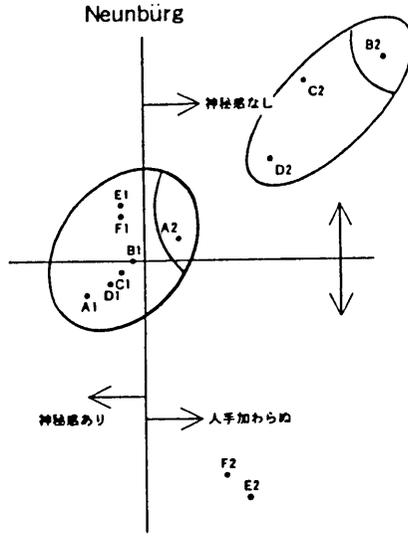


図 1 7 自然観の心の構図

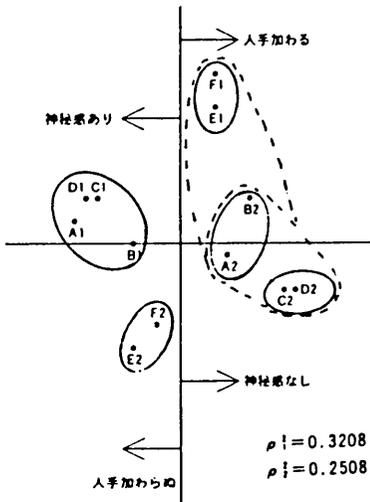
その 1 フライブルグ



その 2 ノイエンブルグ



その 3 東京



その 4 宮崎

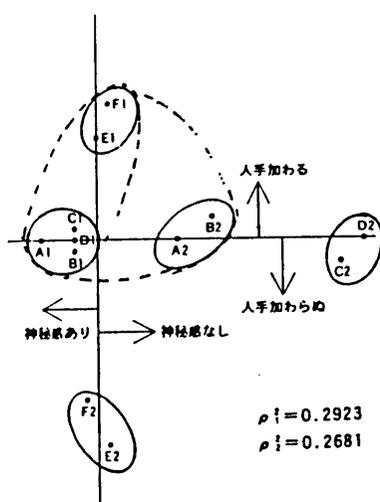


図 1 8 各都市の布置

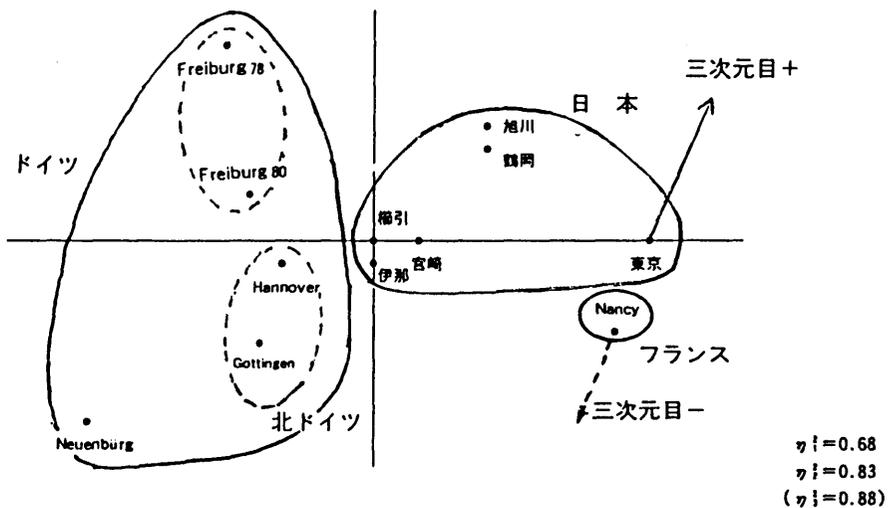


図19 領域別国の順序に基づく総合表示(API)

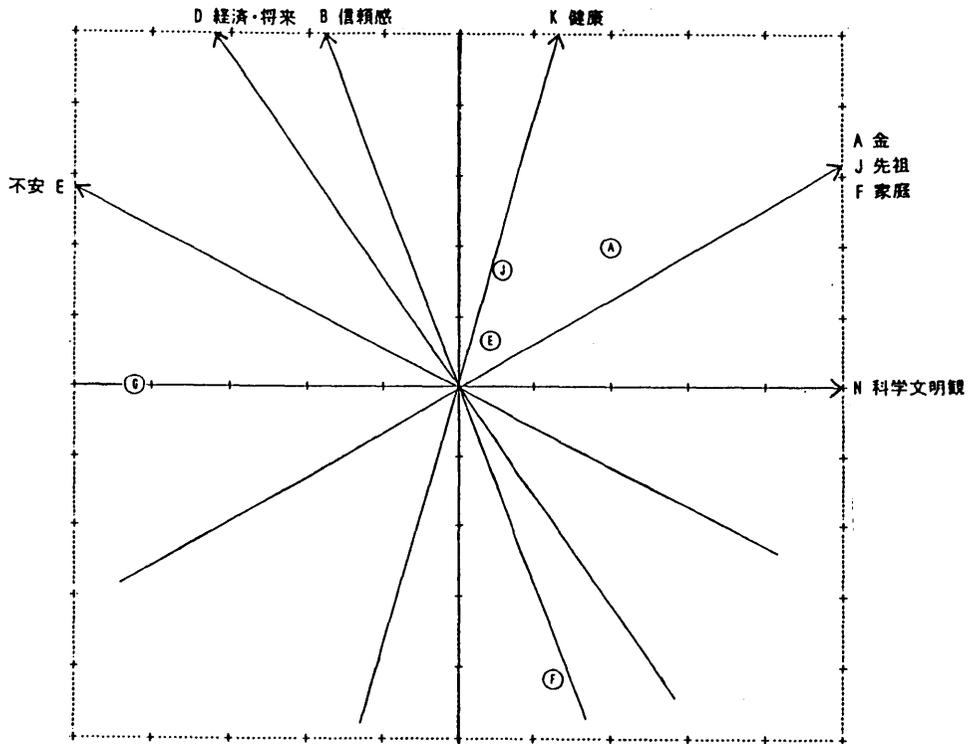


図 20 日本の場合

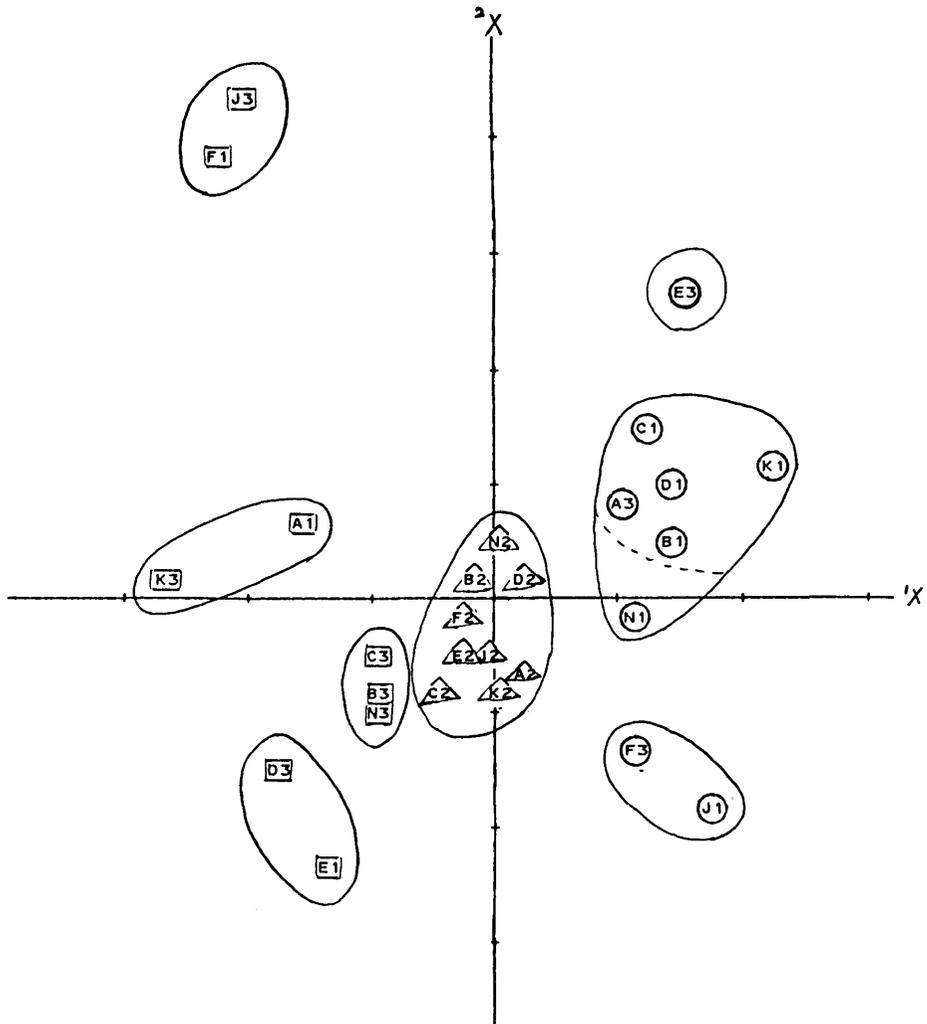


図 2 1 ドイツの場合

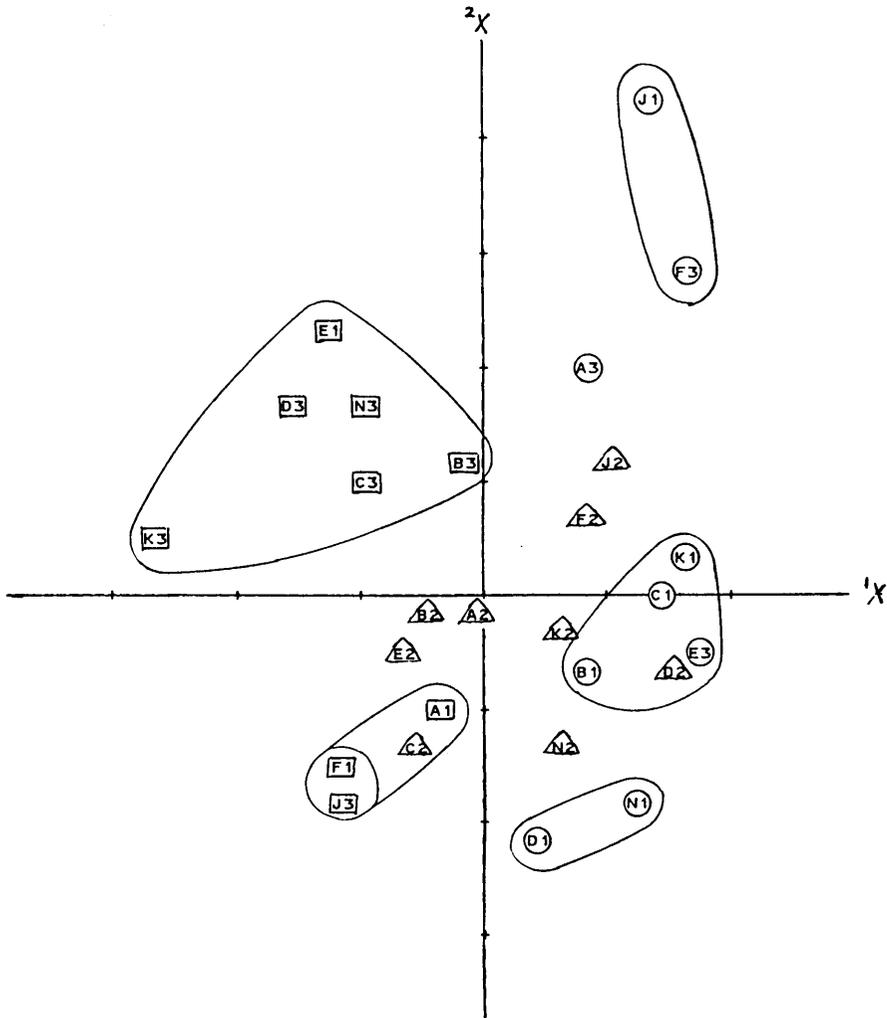


図 2 2 ボンドサンプルによる回答カテゴリーと各国の布置 (その 1)

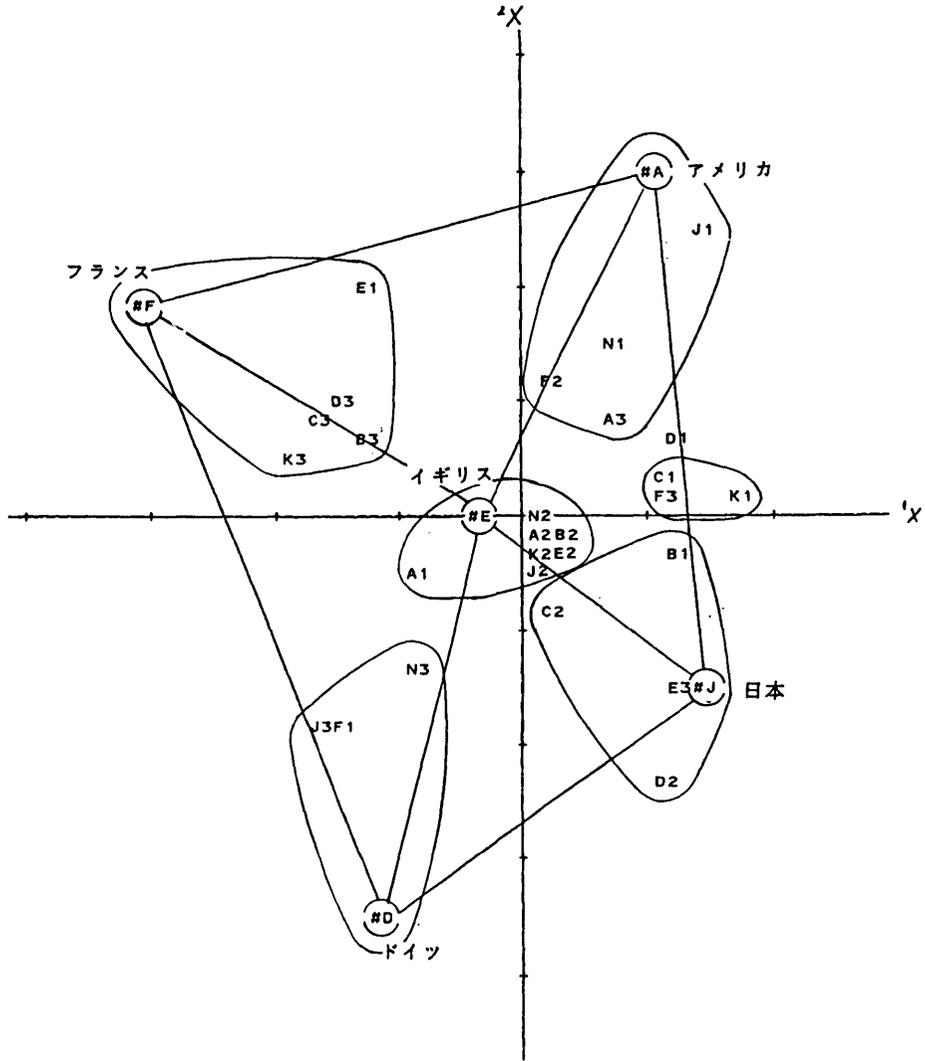


図 2 3 ボンドサンプルによる回答カテゴリーと各国の布置 (その 2)

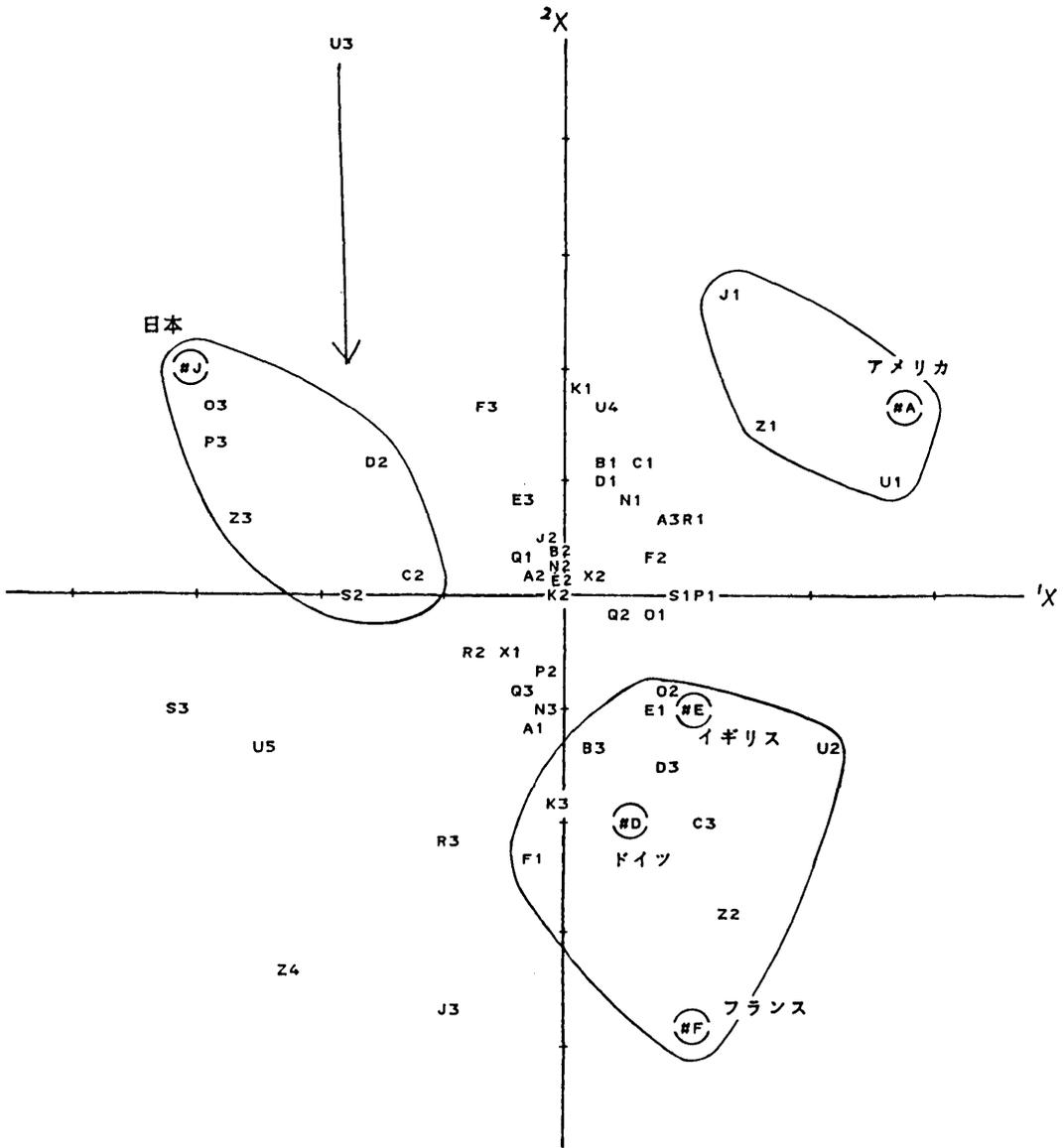


図24 “アリとキリギリス”と関連する社会的態度の布置

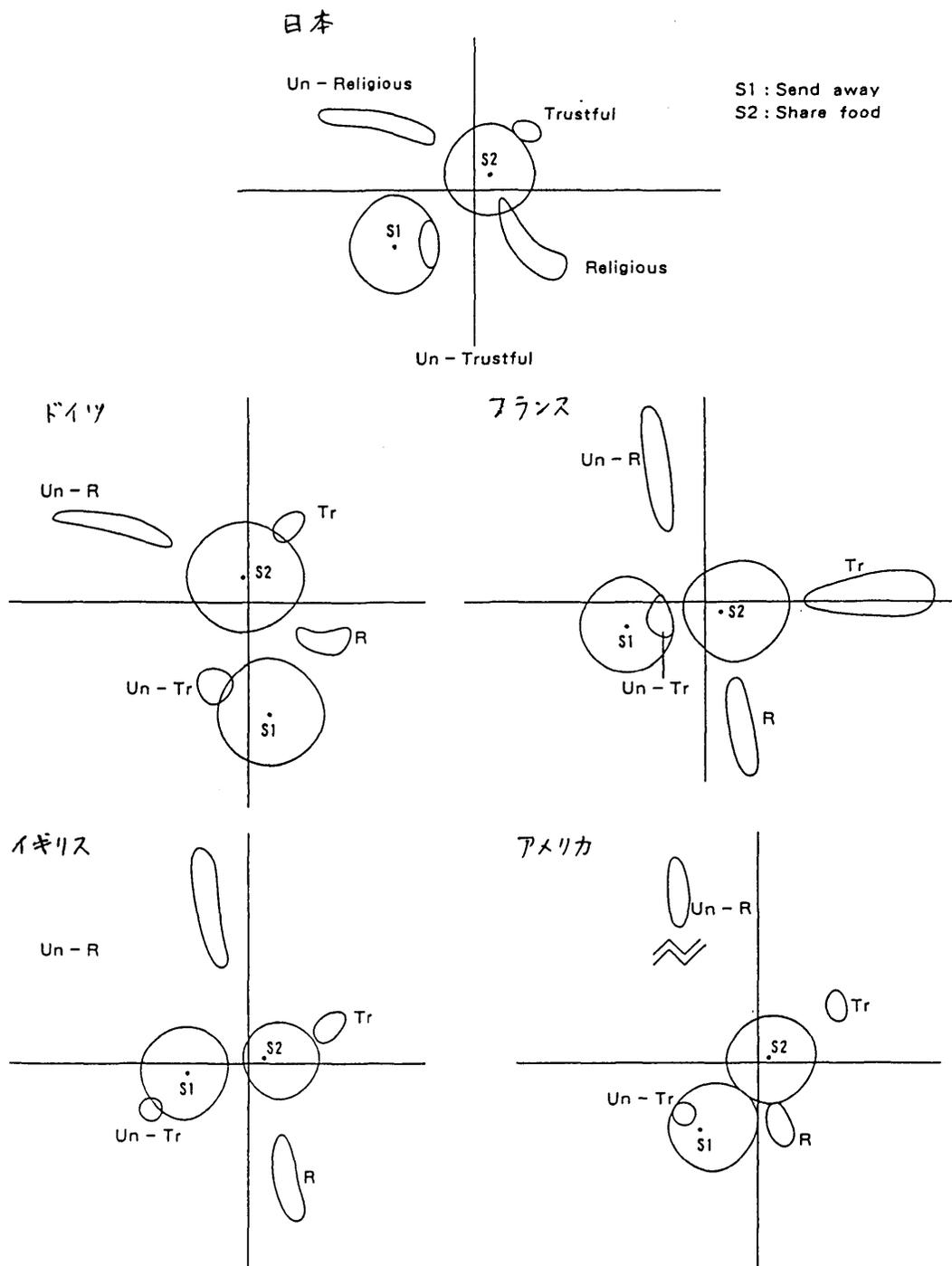


図25 不安感と健康状態の意識構造

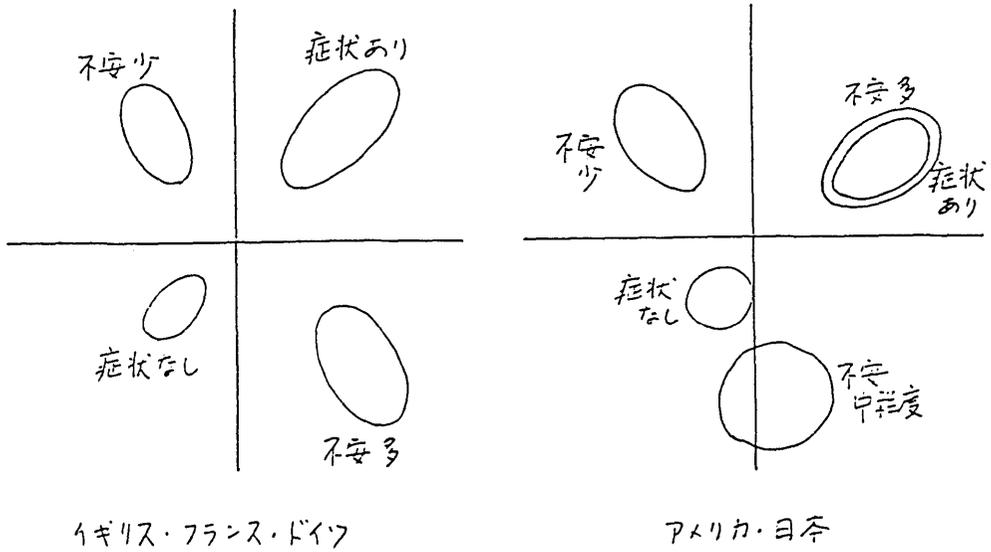


図 2 6 社会状況、その将来の予想、健康状態の意識構造

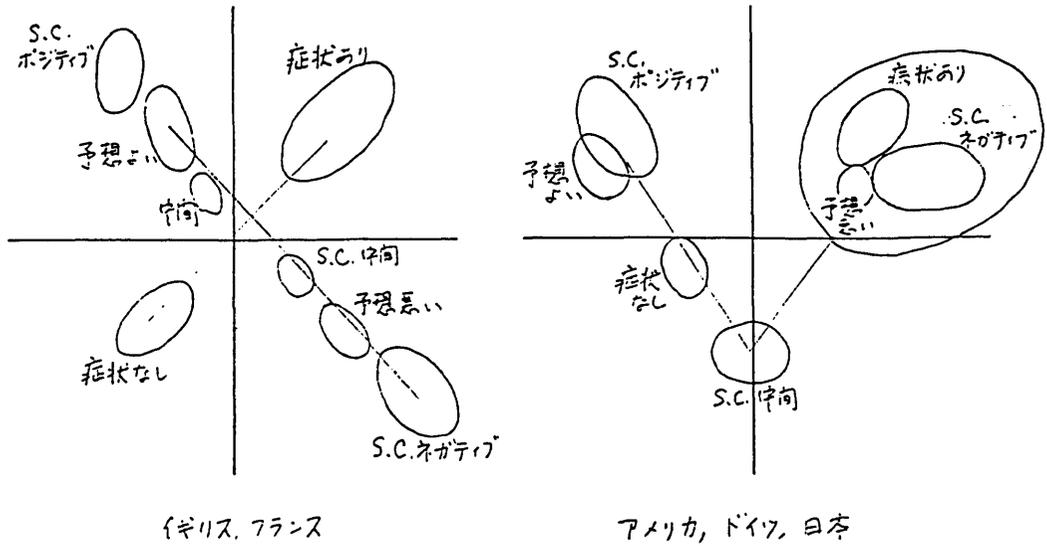


表1 国際比較調査

実施年	調査対象 (日系人関係)	(サンプルサイズ)	調査対象 (各国全国規模調査)	(サンプルサイズ)
1971	ハワイ在住の日系人	(434)		
1978	ホノルル住民 (日系人を含む)	(751)	アメリカ本土の アメリカ人	(1571)
1983	同上	(807)		
1987			イギリスの英国人 (旧)西ドイツのドイツ人 フランスのフランス人	(1043) (1000) (1013)
1988	同上	(499)	アメリカ本土の アメリカ人 日本(A調査) 日本(B調査)	(1563) (2265) (1017)
1992	ブラジルの日系人	(492)	イタリアのイタリア人	(1048)
1993			オランダのオランダ人	(1083)

表2 国際比較の連鎖（CLA）

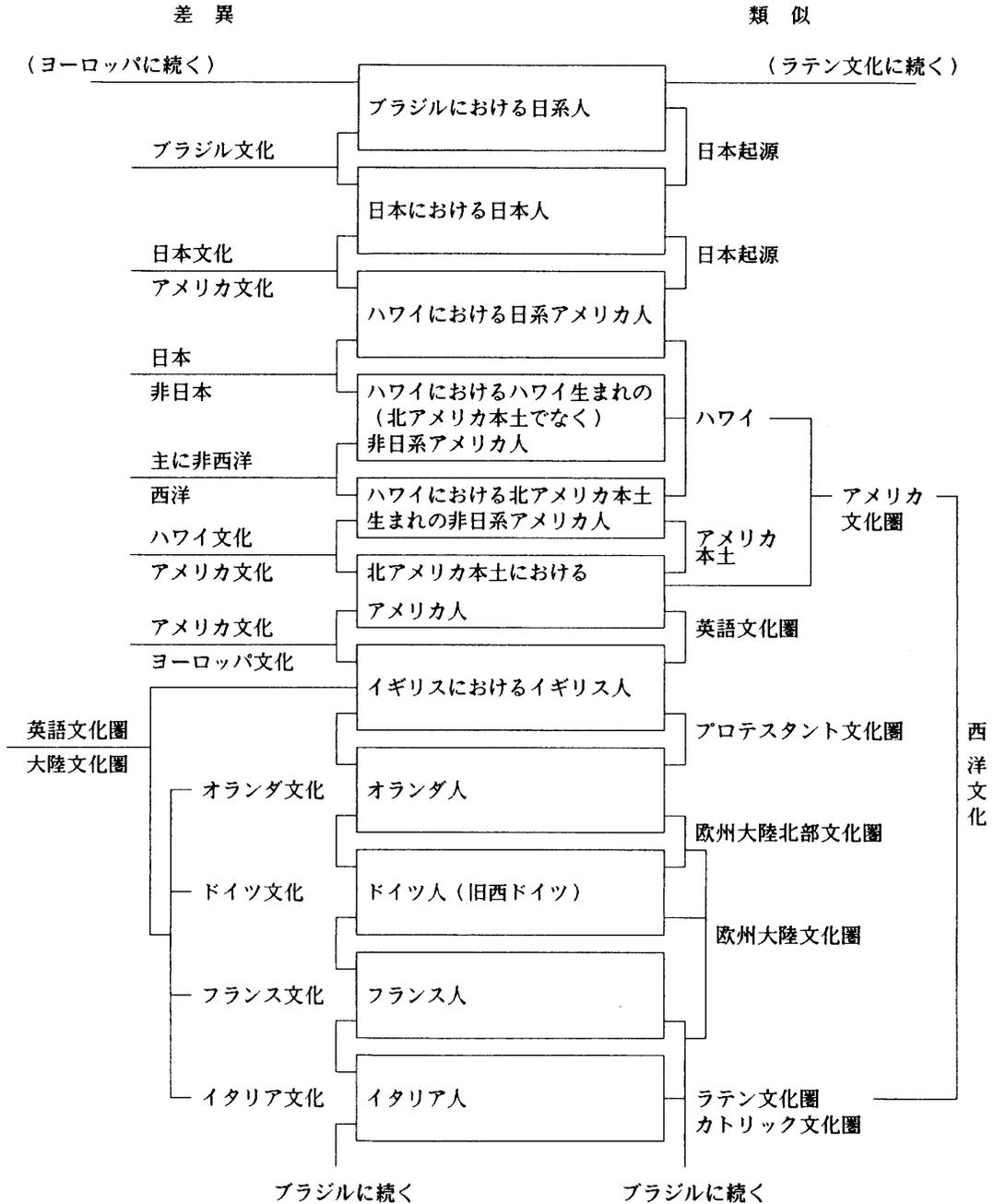


表5 義理人情スケールの分布〔第Ⅶ次(1988年)、年齢別(%)〕

年 齢	スケール値						サンプル数
	0	1	2	3	4	5	
20～24	8	45	33	11	3	0	173
25～29	10	39	40	9	3	0	150
30～34	11	45	30	13	1	0	180
35～39	4	40	36	18	2	0	245
40～44	8	35	37	17	2	1	188
45～49	3	35	41	18	2	1	177
50～54	4	29	41	22	5	0	153
55～59	5	26	43	23	4	0	167
60～64	3	29	39	25	4	0	153
65～69	4	26	42	22	6	1	110
70歳以上	6	24	36	23	11	0	162

表6 各国の義理人情スケール分布の比較

スケール値	国民性調査 *							ハワイ		アラビヤ	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス
	Ⅲ 1963	Ⅳ 1968	Ⅴ 1973	Ⅵ 1978	Ⅶ 1983	Ⅷ 1988	Ⅸ 1993	日系 1988	非日系 1988	日系 1991	本土 1988	1987	1987	1988
0	7	6	8	6	5	6	8	25	34	17	34	24	21	21
3以上	23	22	21	24	24	22	18	5	3	12	2	5	4	7

表7その1 人情スケール構成法

質		問	義理人情回答	各質問の スケール値
付録1の 問番号	#番号	問の内容		
第1問	#4.4	先生が悪いことをした	1 そんなことはないという	1
第2問	#5.1	恩人がキトクするとき	1 故郷へ帰る	1
第3問	#5.1b	親がキトクするとき	1 故郷へ帰る	1
第4問	#5.1c-1	入社試験（親戚）	2 親戚	1
第5問	#5.1c-2	入社試験（恩人の子）	2 恩人の子	1
第6問	#5.6	使われない課長	2 めんどくみる課長	1
第7問	#5.1d	大切な道徳	1 親孝行 2 恩返し	1 1

表7その2 人情スケール5以上の比率

ドイツ人	33%
フランス人	35
イギリス人	27
アメリカ人	23
ハワイの非日系人	19
ハワイの日系人	29
ブラジルの日系人	34
日本人	38

表8その1 イソップ物語りの回答別の人情スケール5以上の比率(%)

	ドイツ人	フランス人	イギリス人	アメリカ人	ハワイ 非日系人	ハワイ 日系人	ブラジル 日系人	日本人
1の型の回答(S1)	36	40	28	24	10	18	60	32
2の型の回答(S2)	34	36	28	23	20*	31*	27*	40*

注) * は有意の差(信頼度 0.95)

表8その2 ブラジル日系人におけるイソップ物語りの回答と人情スケール

スケール値	0	1	2	3	4	5	6	7	8
S 1	2	1	7	14	17	30	22	8	0
S 2	1	3	8	25	36	16	7	4	0

表9その1 人間関係重視の傾向(%)

	日本	ブラジル系	ハワイ系	ハワイ非日系	アメリカ	ドイツ	フランス	イギリス
Affection Scale 5以上の比率	38	34	29	19	23	33	35	27
A めんどくを見る課長	80	68	59	57	51	69	64	57
B まるくおさめる人を好む	68	67	72	67	47	62	66	52
C 気の合う人	29	12	22	13	11	20	7	15
D 友人・知人非常に大事	67	78	65	58	63	63	49	57

表9その2 人間関係重視の傾向(ランク)

	日本	ブラジル系	ハワイ系	ハワイ非日系	アメリカ	ドイツ	フランス	イギリス
Affection Scale 5以上の比率	1	2	5	8	7	2	2	6
A めんどくを見る課長	1	2	5	6	8	2	4	6
B まるくおさめる人を好む	2	2	1	2	8	6	2	7
C 気の合う人	1	5	2	5	5	3	8	4
D 友人・知人非常に大事	2	1	3	6	4	4	8	6
ランクの和	7	12	16	27	32	17	24	29

注) 1%の差は同順とした

表10 中間的回答のある質問

- 質問1 (#4.4) 小学校に行っているくらいの子どもを育てるのに、次のような意見があります。「小さいときから、お金は人にとって、一番大切なものだと教えるのがよい」というのです。あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか？
1. 賛成
 2. 反対
 3. いちがいにはいえない
- 質問2 (#7.1) こういう意見があります。「世の中は、だんだん科学や技術が発達して、便利になってくるが、それにつれて人間らしさがなくなっていく」というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか？
1. 賛成（人間らしさはへる）
 2. いちがいにはいえない
 3. 反対（人間らしさは不変、ふえる）
- 質問3 (#2.1) あなたは、自分が正しいと思えば世の中のしきたりに反しても、それをおし通すべきだと思いますか。それとも、世間のしきたりに従った方がまちがいないと思いますか？
1. 押し通せ
 2. 従え
 3. 場合による

表11 日本人の中間的回答スケール分布(%)

年齢	中間的回答スケール											計	サンプル数	
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			11
20代	1	3	8	15	16	16	17	13	8	3	0	0	100	360
30代	2	3	9	16	17	18	17	8	6	3	1	0	100	438
40代	2	3	10	15	18	19	13	7	7	4	2	0	100	492
50代	3	8	10	17	18	12	14	8	6	2	1	1	100	453
60以上	5	10	13	16	16	15	12	7	5	1	0	0	100	522

表12 頭付き質問による回答の変化

	1980年 頭なし	1982年 頭付き	1983年 頭付き (下線部あり)
質問1 (#2.12) 他の人の手助けをしようとしている人もいますが、自分のことだけに気をくばっている人もいます。あなたのまわりを見たとき、たいていの人は、他人の役にたとうとしていると思いますか。それとも自分のことだけに気をくばっていると思いますか？			
1. 他人の役にたとうとしている	17%	25%	24%
2. 自分のことだけに気をくばっている	79	69	66
3. その他	1	3	8
4. DK	3	3	3
質問2 (#2.12b) スキがあれば利用しようとしている人もいますが、そうでない人もいます。あなたのまわりをみたとき、たいていの人は、スキがあれば、あなたを利用しようとしていると思いますか。それとも、そんなことはないと思いますか？			
1. 利用しようとしていると思う	46	29	25
2. そんなことはないと思う	52	67	71
3. その他	0	2	2
4. DK	2	2	2
質問3 (#2.12c) 信頼できる人もいますが、用心した方がよい人もいます。あなたのまわりを見たとき、たいていの人は信頼できると思いますか。それとも用心するにこしたことはないと思いますか？			
1. 信頼できると思う	29	43	49
2. 用心するにこしたことはないと思う	70	52	46
3. その他	0	4	3
4. DK	2	1	2

表13 日中比較調査のリーダーシップに関する質問、伝統文化の質問
(括弧付きの記号を記したものが分析に用いた項目、カテゴリ)

質問1	あなたの職場では良きリーダーはどんな資質を持っているべきでしょうか。最も重要なもの3つと、最も重要でないもの3つを、次の中から選んで下さい。 〔項目のリストを提示して回答をとる〕				
			最も重要な3つ○	最も重要でないもの3つ	
	1. 技術的に優れていること	(01)			
	2. 部下を公平に扱うこと	(02)			
	3. 部下に尊敬され、好かれていること	(03)			
	4. 真剣に仕事に取り組むこと	(04)			
	5. 人間関係がよい、顔が広いこと	(05)			
	6. 仕事仲間に誠心誠意、接すること	(06)			
	7. 決断力がある、断固としていること	(07)			
	8. 判断力が優れていること	(08)			
	9. 部下に利益をもたらすこと	(09)			
	10. 年功を積んでいること	(10)			
	11. よい階級の出身であること	(11)			
質問2	公の問題は影響力も経験もある人に任せるべきだと思いますか。それともそのような問題は、決定される前に人々で論議すべきだと思いますか。				
	1. 影響力も経験もある人に任せるべきだ	(N1)			
	2. 人々で論議すべきだ	(N2)			
	3. わからない				
質問3	リーダーとして次のどちらの人がいいですか。〔回答肢のリストを提示〕				
	1. 年輩で尊敬される人	(L1)			
	2. 若くて有能な人	(L2)			
	3. どちらでもない				
質問4	次にわが国の伝統文化をいくつかあげてみました。それぞれについて、「誇りに感じる」「なくしてしまいたい」「どちらともいえない」のいずれかでお答え下さい。 〔項目のリストを提示〕				
			誇りに 感じる	なくして しまいたい	どちらとも いえない
	a. 長い歴史的伝統	1	2	3	
	b. 勤勉と質素	1	2	3	
	c. 中庸の道	1 (C+)	2 (C-)	3	
	d. 親の慈悲深さと子の孝行	1 (D+)	2 (D-)	3	
	e. 国家への忠誠	1	2	3	
	f. 男女の差別	1	2	3	
	g. 女性は嫁ぐ前は父に、嫁いだら夫に、夫が死んだら子に従う三従と、四つの美德を持つ	1	2	3	
	h. 寛容と礼節	1 (H+)	2 (H-)	3	
	i. 先祖の名を汚さない	1	2	3	
	j. 農業を尊び商業をいやしむ	1	2	3	
	k. 女性の貞節	1	2	3	
	l. 権威への服従	1	2	3	
	m. 子孫繁栄	1 (M+)	2 (M-)	3	
	n. 和をもって貴しとなす	1 (N+)	2 (N-)	3	
	o. 仁義道徳	1 (O+)	2 (O-)	3	
	p. 年長者への敬意と従順	1	2	3	
	q. 伝統を尊重	1	2	3	
	r. 分別	1 (R+)	2 (R-)	3	

表 1 4 飛行機事故の質問への回答比率 (%)

	1 まずあやまっ てまわる	2 まず原因調査 に努力する	3 その他 DK
1973	50	40	10
1978	51	41	8
1978年属性別			
男	55	37	8
女	47	43	10
20~24	54	43	3
25~29	56	41	3
30~34	50	41	9
35~39	47	46	7
40~44	52	40	8
45~49	46	45	9
50~54	55	41	4
55~59	64	25	11
60~	43	39	18
小卒	45	35	20
中卒	50	42	8
高卒	52	41	7
大卒	53	41	6

表15 科学文明に対するポジティブな回答(%)

		日本	ドイツ	フランス	イギリス	アメリカ
#7.36	科学上の発見利用は日常生活の改善に役立っている	48	37	33	50	<u>61</u>
#7.33	コンピュータの発達は望ましい	31	15	32	16	<u>34</u>
#7.83	近代医学にたよらない方がよいものがある	全くその通り	72	<u>77</u>	62	76
#7.84	科学で人の心がわかる	+	14	34	<u>65</u>	50
#7.85	科学で社会経済問題が解決できる	そう思う	15	44	<u>49</u>	43
#7.86	核廃棄物の処理	多分実現する	33	17	28	<u>34</u>
#7.86b	ガンの治療	〃	65	37	<u>68</u>	64
#7.86c	老人性痴呆の治療	〃	<u>29</u>	17	23	12
#7.86d	宇宙生活	〃	19	36	23	<u>33</u>

注) 下線はその項目で最大の%

表16 自然観・森林観の質問

	1	2
A 山川草木に霧が宿っているような気がしたことがあるか	ある	ない
B 森の中を散歩するのは好きか	好き	好きでない
C 大きい古い木を見たとき神々しい気持ちを抱いたこと	抱く	抱かない
D 深い森に入ったとき何か神秘的な気持ちを持ったこと	持つ	持たない
E 「森林を美しく維持するためには人間の手を加えなければならぬ」と「森林を美しく維持するためには人手を加えるべきでない」とどちらが正しいと思うか	人間の手を加えなければならぬ	人間の手を加えるべきでない
F 「農場や牧場や森林が入り交じっている人手の加わった自然」と「全く人手の加わらない森林や荒地のありのままの自然」とどちらが好きか	人手の加わった自然	ありのままの自然

表17 各質問群別の国の順位

	ドイツ	フランス	イギリス	アメリカ	日本	順位の上の方の意味	順位相関係数
(イ) 不安	1	5	3	4	2	不安なし	1.00
(ウ) 先祖等	5	3	3	1	2	重んじる方	0.95
(エ) 科学文明観	5	2	4	1	3	ポジティブな方	1.00
(オ) 健康	4	5	1	3	2	ポジティブな方	0.60
(カ) 金	5	4	2	1	3	非金志向の方	0.90
(キ) 経済・将来	2	5	4	3	1	ポジティブ・明るい方	0.90
(ク) 信頼感	1	5	3	1	4	信じる方	0.85
(ケ) 家庭	5	4	3	2	1	伝統的の方	0.90

表18 9つの領域のスケールとカテゴリー

スケールの名と内容	スケールの3区分のコードと意味			
A (金志向スケール) カ. 金志向か否か	A1 金志向	A2 中間	○A3 非金志向	
B (信頼感スケール) ク. 信頼感	○B1 あり	B2 中間	B3 なし	
C (主義スケール) コ. 主義	○C1 民主主義	C2 中間	C3 社会主義好み	
	資本主義好み			
D (経済観スケール) キ. 経済・将来の明るさ	○D1 ポジティブ よい(明るい)	D2 中間	D3 初々ティブ よくない(暗い)	
E (不安感スケール) イ. 不安感	E1 不安あり	E2 中間	○E3 不安なし	
F (家庭感スケール) ケ. 家庭・結婚	F1 近代的	F2 中間	○F3 伝統的	
J (先祖スケール) ウ. 先祖・家	○J1 重んじる 伝統を重視	J2 中間	J3 重んじない 伝統重視しない	
K (健康観スケール) オ. 健康・健康観	○K1 ポジティブ よい	K2 中間	K3 初々ティブ よくない	
N (科学文明観スケール) エ. 科学文明観	○N1 ポジティブ	N2 中間	N3 初々ティブ	

表19 ポジティブのクラスター構成

第 1 軸	日本	E3	A3		F3		
			B1		J1		
			C1				
			D1				
			K1				
		N1					
第 1 軸	ドイツ		B1	D1	F3		
			C1	N1	J1		
			E3		A3		
			K1				
第 2 軸	フランス	E3	K1	D1	F3		
			B1	N1	J1		
				A3			
			C1				
	イギリス		K1	B1	A3	第 2 軸	
			N1		C1		F3
			D1		E3		J1
	アメリカ		K1	D1	A3	第 2 軸	
				N1	B1		F3
					C1		J1
					E3		

表 20 ネガティブのクラスター構成

日本	D3	B3	A1	F1
	E1	C3	K3	J3
		N3		
ドイツ		B3		F1
		C3		J3
		D3		A1
		E1		
		K3		
		N3		
フランス	E1	A1		F1
		B3		J3
		C3		
		D3		
		K3		
		N3		
イギリス	E1	A1	B3	F1
		C3	K3	J3
		D3	N3	
アメリカ	E1	A1		F1
	C3	B3		J3
		D3		
		K3		
		N3		

表 2 1 中間スケールのクラスター構成

	ポジティブ寄り	中間の意味	ネガティブ寄り
日本		A2 B2 D2 C2 J2 E2 K2 F2 N2	
ドイツ	D2 K2 F2 N2 J2	A2	B2 C2 E2
フランス	B2 D2 E2 K2	← C2 A2 F2 → J2	N2
イギリス	D2	E2 F2 J2 N2	A2 B2 C2 K2
アメリカ	D2 F2	A2 K2 B2 N2 E2 J2	C2

表 2 2 追加質問

O. (#7.1) 人間らしさ	01 へる	02 へらない	03 中間
P. (#7.2) 心の豊かさ	P1 へらない	P2 へる	P3 中間
Q. (#2.5) 自然と人間	Q1 従う	Q2 利用	Q3 征服
R. (#7.34)省エネルギー大切か	R1 非常に大切	R2 中間	R3 大切でない
S. (#7.35)環境保護大切か	S1 非常に大切	S2 中間	S3 大切でない
X. (#7.82)イソップ物語 アリとキリギリス	X1 おいかえず	X2 たべるものを与えていさめる	
Z. (#3.1a)×(#3.2) 宗教 × 宗教的な心	Z1 宗教信じる 宗教的な心大切	Z2 信じる 心大切でない	
	Z3 信じない 心大切	Z4 信じない 心大切でない	
U. (#3.1b)宗教	U1 プロテスタント U4 その他の宗教	U2 カトリック U5 なし	U3 仏教

表 2 3 国別の特色

日本	主義 中間 経済 中間 人間らしさ いちがいにいけない 心の豊かさ いちがいにいけない 宗教は信じないが宗教的な心は大切	(同じ側に仏教)
アメリカ	先祖重んじる プロテスタント 宗教を信じ、宗教的な心大切	
ヨーロッパ	カソリック * 宗教信じるが宗教的な心大切でない 社会主義好み 経済暗い 不安大きい * 先祖重んじない、家族大切でない 健康ネガティブ * 家庭観近代的 不信頼観	

表24 イソップ物語（アリとキリギリス）と関連する社会的態度の質問

記号	回答コードと質問内容	記号	回答コードと質問内容
#7.18e	(A1, A2, A3) 幸福になるか	#7.82	(S1, S2) アリとキリギリス
#7.18b	(A1, A2, A3) 心のやすらかさはますか	*#7.81	(U1, U2) 収入か余暇か
#2.30e	(C2, C3) 不安感—失業	#2.8	(V1, V2) 一生働くか
*生活領域の重要性		#7.24	(W2, W3, W4) 就職の第1条件
*#5.81d	(D2, D6) 一友人、知人	#3.1	(X1, X2) 宗教を信じるか
*#5.81e	(E2, D6) 一両親、兄弟、姉妹、親戚	#3.2	(Y1, Y2) 「宗教心」大切か
*#5.81f	(F2, D6) 一宗教	*#4.81	(Z1, Z2) 生活保護の考え方
#5.1c1	(G1, G2) 入社試験（親戚）	#2.12	(L1, L2) 他人のためか自分のためか
#5.1c2	(H1, H2) 入社試験（恩人の子）	#2.12b	(M1, M2) スキがあれば利用されるか
#2.4	(I1-I5) 暮らし方	#2.12	(N1, N2) 人は信用できるか
#2.2b	(Kx, Ko) スジかまるくか	*現代生活の個人態度	
#5.6h	(Lo, Lx) 他人との仲か仕事か	*#2.83	(Ao, Ax) 一他人を助ける
#2.3c	(O2, O3, O4) 家庭に満足か	*#2.83b	(Bo, Bx) 一共同体
*#2.82	(P2, P3, P4) 生活に満足か	*#2.83c	(Co, Cx) 一その日その日
#7.19	(Q1, Q2) 才能か運か	*#2.83d	(Do, Dx) 一収入より手段
#4.5	(R1, R2, R3) 「金は大切」と教えるか	*#2.83e	(Eo, Ex) 一孤独感
		#5.6	(Fx, Fo) めんどくみる課長

注) *印は国民性調査にない質問

表 2 5 S1の周りのクラスター（各国共通のもの）

Common	W1	nearly	D2 (U.S.A. non)
	W2	common	Q2 (Germany non)
	L2		Eo (U.K. non)
	M1		I 1 or I 2 (U.S.A. non)
	N2		Ax (Japan non)

表 2 6 S1の周りのクラスター（国の特徴）

	Japan	U.S.A.	U.K.	Germany	France	
A2	○	○	-	-	○	
C2	○	○	○	-	-	
R1	-	○	○	○	-	
Lx	○	-	○	○	-	
Dx	-	○	-	○	-	
Co	-	○	-	-	○	注)
Fx	○	-	-	○	-	○印は 左の記号の回答
Z2	-	-	-	○	○	がS1クラスターに入っ
Total	4	5	3	5	3	ていることを示す
Only	B2	Japan				
	U1	Germany	Bx	U.K.		
	E2	U.K.	G1	France		
	O4	France	H1	France		
	P4	France				

表 2 7 S2の周りのクラスター（各国共通のもの）

Common	W4	Nearly	A3	(U.K. Non)
	D6	common	Do	(Japan Non)
	E6		Fo	(U.S.A. o and x)
	O2		Cx	(Germany Co)
	P2		C3	(France C2)
	Q1		R2	(Japan non)
	L1 M2 N1			
	Lo			
	I3 or 4			
	Ao			
	Bo			

表 2 8 S2の周りのクラスター（国の特徴）

	Japan	U.S.A.	U.K.	Germany	France	
B	-	3	-	2	1,2	
U	1,2	1,2	-	2	1	Scatered
V	1	1,2	1,2	2	1,2	
K	o	o,x	o,x	o,x	o	注)
G	1,2	-	1	2	2	数字は、左の記号の項目
H	1,2	-	1	2	2	で S2クラスターに入る
Z	1,2	1,2	1	1	1	回答カテゴリーを示す
Only	W3	(Japan)				
	F2	(Germany)				
	Y1	(Japan)				

表 2 9 S1、S2の共通の性格と国別の特色

	S1	S2
共通のもの	money-oriented, untrust, lonely, not positive social attitude	not anxious, satisfied, accomplishment of work, attaching importance to general human relations, positive social attitude and life style, not lonely(relational life), paternalistic leader, 'not-money'-oriented
各国に固有のもの	Japanese somewhat pessimistic toward peace of mind, rational attitude B2, Fx	Japanese characteristics, continue to work, good harmony in interpersonal relations religious mind important <u>R1,2</u> , V1, Ko, W3, Y1, <u>U1,2</u> , <u>G1,2</u> , <u>H1,2</u> , <u>Z1,2</u> non-existence of Do
固有のもの	American particular no-characteristic Dx, Co non-existence of D2 and I1,2	particularly no-characteristics <u>F1,2</u> , B3, <u>G1,2</u> , <u>H1,2</u> , <u>U1,2</u> , <u>V1,2</u> , <u>Kx,o</u> , <u>Z1,2</u>
固有のもの	English these categories show isolate or deviate personality E2, Bx non-existence of Eo	particularly no-characteristics, stereotyped answer in interpersonal questions, money help in social security 'is to be enable to live', G1, H1, Z1, <u>V1,2</u> , <u>Kx,o</u> non-existence of A3, U1
固有のもの	German more-money oriented, severe in some point U1, Dx, Fx, Z2 non-existence of Q2	easy going life style, relatively warm-hearted in interpersonal relations in some points, money help in social security 'is to be enable to live' Co, U2, F2, B2, V2, G2, H2, Z1, <u>Kx,o</u>
固有のもの	French Unsatisfied, Unhelpful relatively cold-hearted in inter- personal relations in some points, severe in some points Co, O4, P4, Ax, G1, H1, Z2	money help in social security 'is to be enable to live' money oriented life style and relatively warm hearted in interpersonal relations in some points C2, U1, Ko, G2, H2, Z1, <u>V1,2</u> , <u>B1,2</u>

注) アンダーラインはその項目がS1, S2と独立である(両選択肢が一方に偏在する)ことを表す

表30 国別回答率(%)

項目	回答	ドイツ	フランス	イギリス	アメリカ	日本
頭痛、偏頭痛	1 あり	40.6	35.8	36.1	34.6	21.9
	2 なし	58.3	63.9	63.5	64.8	76.9
	3 その他・DK	1.1	0.3	0.4	0.6	1.1
背中の痛み	1 あり	32.9	46.3	35.8	37.8	19.1
	2 なし	65.8	53.6	64.0	61.7	79.8
	3 その他・DK	1.3	0.1	0.6	0.5	1.1
いらいら	1 あり	25.1	55.6	19.7	30.3	25.7
	2 なし	72.1	44.0	79.7	69.0	73.2
	3 その他・DK	2.2	0.2	0.7	0.8	1.1
うつ状態	1 あり	7.7	19.6	20.9	20.7	5.5
	2 なし	90.6	80.2	78.4	78.2	90.3
	3 その他・DK	1.7	0.3	0.7	1.0	1.1
不眠症	1 あり	25.9	31.9	18.5	16.9	12.0
	2 なし	72.5	67.9	80.4	82.4	86.8
	3 その他・DK	1.6	0.2	1.1	0.7	1.1

表31 症状にかかった率の男女差(男の比率-女の比率)

	頭痛	背中の痛み	いらいら	うつ状態	不眠症	合計	差の少ない順位
日本	-14	1	-3	-3	-3	-22	1
アメリカ	-14	-14	-18	-8	-6	-60	4
イギリス	-13	-12	-10	-3	-10	-48	2
フランス	-11	-12	-15	-10	-9	-57	4
ドイツ	-15	-13	-10	-3	-8	-49	2

3.2 ヨーロッパ3カ国における政治不信（制度不支持）

三宅 一郎

目的

政治不信は汚職、党内抗争などの政治事件によってこう進する。ヨーロッパ諸国におけるこうした政治事件とその効果を個別的に取り上げ解説を加えるという報告も有益であろうが、本報告では、政治不信こう進の根底にある民衆の政治的、社会的、個人的態度を一般的に分析し、比較する。

データ

この報告は意識調査データにもとづく実証的分析である。使用するデータは、1987年に文部省科学研究費補助金により西ドイツ、フランス、イギリス三か国で実施した「意識の国際比較」調査データである。有効ケース数は各約1000。（統計数理研究所、1992を参照）

政治変数内の制度支持次元

「意識の国際比較」調査には、多くはないが一連の政治的変数が含まれている。政党支持は「支持方向」「支持強度」「政党制支持」の三次元からなると言われるが（田中、1993）、政治変数群も「党派性（保守革新）の方向」「党派性の強度（政治関心）」「政治制度（システム）支持」の三次元を含むだろう。

国別に政治変数を因子分析し、上述の三次元を析出したのが、表1である。イギリス(UK)は第三因子、西ドイツ(FRG)とフランスは第二因子が制度支持にあたる。上から第七変数の「〇〇の社会は根本的な変革が必要」から以下「〇〇の民主政治の運営の仕方に満足」「裁判制度はよく機能している」までの三変数に高い負荷が与えられている。このほか「民主主義の評価」「資本主義の評価」にもかなり高い負荷が見られる（イギリスを除く）。現制度維持の次元である。

政治不信の指標と説明変数

制度支持の次元の中核と見られる「民主政治の運営に満足」と「司法制度の機能評価」の二変数から指標を作り、これを政治不信の指標とする。制度支持と政治不信（信頼）はそれぞれ政治シニズムの次元をなし（三宅、1986）、その意味で相互に独立である。制度支持を政治信頼にあてるのは、概念が極度に混乱しているこの領域で、一層概念の混乱をもたらすと批判されよう。だが、諸次元をそれぞれ代表するデータを持たないので、本報告ではいたしかたない。

この「政治不信」の指標を説明する変数として先ず挙げられるのは、制度支持次元上に比較的高い負荷を持つ政治変数である。政党についての感情温度計尺度にも、多少の負荷が見られる。第1次元である党派性をコントロールする意味も

あって、党派性の尺度も取り上げる。政治的、イデオロギー的対立を代表する政治変数のほか、政治変数の基底にある社会亀裂を示す変数、「主観的社会階層帰属」「社会的価値観」これと関連する「宗教観」のような社会変数を取り上げる必要がある（筆者は以前、政府信頼を亀裂構造との関連で説明しようとしたことがある：Miyake, 1982）。さらには、政治についての悲観的（楽観的）な見方は、社会の技術進歩と人間性についての悲観的（楽観的）見解に支えられているかもしれない。これらの変数をも付け加える。

説明変数は次の通りである。尺度の作り方については、補遺を参照。

党派性（因子スコア尺度）、社会変革の必要性、民主主義評価、資本主義評価
主観的社会階層帰属（因子スコア尺度）、社会的価値志向尺度、宗教観、
技術進歩観尺度、人間信頼尺度。

政治不信を被説明変数とする重回帰分析

政治不信を被説明変数とし、上記の9変数を説明変数とする重回帰分析の結果が表3である（参考のため相関行列を表2に掲載）。説明率（R自乗）は25%-32%で意識調査データとしてはまずまずの値である。

「社会変革の重要性」はどの国でも最も説明力の高い変数である（日本は例外）。「主観的社会階層」「技術進歩観」がこれに続く。その他の変数の効果は国により多少の違いがある。

（イギリス）「民主主義評価」「資本主義評価」などイデオロギー的な変数の働きが低い。ここでは「党派性」の効果はかなり見られるが、「党派性」と民主主義評価、資本主義評価の相関が相対的に高いからであろう。

（フランス）イギリスと対局をなすのがフランスで、イギリスで効果がなかった民主主義評価、資本主義評価、宗教観の重要性が高く、「党派性」は説明力を持たない。「党派性」は右-左を代表する尺度で、政権党が社会党であるフランスでは政治不信尺度との関連がないからである（表4参照）。

（ドイツ）ドイツでは「社会価値志向」の効果が比較的高く、「人間信頼」が低い。ドイツは日本と同様、社会的価値志向による政治的亀裂の激しい社会で、政治変数とともに、社会レベルの変数の働きが目立つ理由であろう。

まとめ

政党制、政権党の性格、政治亀裂の違いにより、国別に説明変数に違いが現れるが、現政治体制にたいする態度、主観的社会階層、社会価値志向、宗教など社会亀裂を代表する変数のほかに、技術進歩について楽観的か悲観的か、人間信頼観も関連があることが明きらかとなった。

なお、日本とアメリカの分析結果をもつけ加えておこう。日本では社会変革の必要性のウエイトが低く、党派性のそれが高い。アメリカでは党派性と資本主義評価が政治信頼と関連がない。

引用文献

Almond G. & S. Verba 1963 Civic Culture. Princeton University Press.

Miyake, Ichiro 1982 'Trust in Government and Political Cleavages'

Doushisha Hougaku NO.171-2.

三宅一郎 1986 「政党支持と政治シニシズム」 綿貫譲治ほか、日本人の選挙行動、東京大学出版会

田中愛治 1993

統計数理研究所 1992 意識の国際比較方法論の研究：5か国調査共通ファイルコードブック 統計数理研究所研究レポート72

尺度構成：

党派制尺度（因子スコア）

政治イデオロギー（左-右）(Q65)

社会主義についてどう思うか(Q67-3)

左右を代表する主要政党の感情温度計尺度(Q75)

主観的社会階層（因子スコア）

日本人全体の生活水準はこの十年間でよくなったか(Q1)

あなたの生活水準はこの十年間でよくなったか(Q2)

日本社会全体を5層に分けるとお宅はどれにはいるか(Q16)

お宅の付近の生活環境に満足しているか(Q23)

人間信頼（因子スコア）

たいていの人は他人の役にたとうとしているか、自分のことだけに気を配っているか(Q51)

他人はスキがあればあなたを利用しようとしていると思うかどうか(Q52)

たいていの人は信頼できるか、用心するにこしたことはないか(Q53)

たいていの人は他人を助けるために多少の努力をすることができる(Q54-1)

結びつきのつよい地域社会に自分が属していると思う(Q54-2)

社会価値志向

物質主義-脱物質主義（Inglehartの4点尺度に近い）(Q8)

離婚はすべきでない-合意があればいつでもよい(Q38)

家事や子供の世話は女性の仕事-両性で公平に分担すべき(Q39)

技術進歩観

情報化による日常生活の変化は好ましいかどうか(Q56)

戦争の危険に不安を感じるか(Q9-4)

経済・社会問題のほとんどは科学技術の進歩により解決される(Q57-3)

表 1

Rotated Factor Matrix:

U K	FACTOR 1	FACTOR 2	FACTOR 3	
イデオロギー	.73453	-.18645	-.23046	
民主主義はよいか	-.10007	.43284	.25303	
資本主義はよいか	-.40229	.27781	.33876	
社会主義はよいか	.74395	.18379	.10398	
保守党	.75862	-.12409	-.36856	
労働党	-.80691	-.02796	.14391	
社会変革の必要性	.23926	.05648	-.66767	
民主主義の運営	-.21797	.03761	.72592	Pct of Var
司法制度の運営	.02491	-.00020	.75532	
政治関心度	.00808	.86083	-.00072	27.9
政治の個人的重要性	-.05300	-.81360	.07932	17.0
政党支持度	-.04141	.58182	-.03957	10.6

F G R	FACTOR 1	FACTOR 2	FACTOR 3	
イデオロギー	.77804	-.25584	.01787	
民主主義はよいか	.06035	.43371	-.00521	
資本主義はよいか	-.27642	.43582	.03538	
社会主義はよいか	.54037	-.17118	.18300	
CDU, CSU	.70102	-.36096	-.06569	
SPD	-.73963	-.26450	.03582	
DIE GRUNEN	-.66529	.27656	-.11322	
社会変革の必要性	.19586	-.52588	.09353	
民主主義の運営	-.27699	.72932	-.06506	Pct of Var
司法制度の運営	-.19341	.71309	.05077	
政治関心度	.06393	-.04239	.85422	26.9
政治の個人的重要性	.04521	.18482	-.81397	12.7
政党支持度	.14856	.31565	.47287	10.6

F R A N C E	FACTOR 1	FACTOR 2	FACTOR 3	
イデオロギー	.81236	-.00257	.09661	
民主主義はよいか	.10013	.47440	.16887	
資本主義はよいか	-.42969	.39150	.14756	
社会主義はよいか	.72086	.17663	.15788	
COMUNISTE	-.60366	.14390	-.08374	
SOCIALISTE	-.74190	-.19336	-.20371	
U. D. F	.78925	-.26845	-.09016	
R. P. R	.75564	-.28296	-.05243	
社会変革の必要性	.11066	-.69079	.15968	
民主主義の運営	-.08108	.75577	.06417	Pct of Var
司法制度の運営	-.09935	.66446	.03824	
政治関心度	.03789	.12808	.84575	26.9
政治の個人的重要性	-.00482	-.07909	-.79587	16.8
政党支持度	.13711	-.04578	.64298	10.6

Correlation: 2

UK

	政治信賴	黨派性	社會變革	民主主義	資本主義	生活程度	社會價值	技術進步	人間信賴	宗教重要
政治信賴度	1.000	-.316	-.367	.122	.208	.309	.167	.100	.259	-.103
黨派性	-.316	1.000	.339	-.161	-.373	-.350	-.225	.049	-.012	.062
社會變革	-.367	.339	1.000	-.194	-.277	-.306	-.113	.061	-.174	-.045
民主主義	.122	-.161	-.194	1.000	.204	.106	-.037	-.038	.126	-.013
資本主義	.208	-.373	-.277	.204	1.000	.168	.054	-.038	.068	.017
生活程度	.309	-.350	-.306	.106	.168	1.000	.089	.042	.205	-.043
社會價值	.167	-.225	-.113	-.037	.054	.089	1.000	-.084	.084	-.186
技術進步	.100	.049	.061	-.038	-.038	.042	-.084	1.000	.056	-.088
人間信賴度	.259	-.012	-.174	.126	.068	.205	.084	.056	1.000	-.165
宗教重要性	-.103	.062	-.045	-.013	.017	-.043	-.186	-.088	-.165	1.000

FRG

	政治信賴	黨派性	社會變革	民主主義	資本主義	生活程度	社會價值	技術進步	人間信賴	宗教重要
政治信賴度	1.000	-.364	-.315	.149	.303	.281	.256	.312	.097	-.207
黨派性	-.364	1.000	.257	-.123	-.289	-.212	-.397	-.242	-.004	.309
社會變革	-.315	.257	1.000	-.179	-.132	-.045	-.116	-.138	.077	.091
民主主義	.149	-.123	-.179	1.000	.131	-.004	-.075	.067	.057	.019
資本主義	.303	-.289	-.132	.131	1.000	.155	.104	.259	.084	-.117
生活程度	.281	-.212	-.045	-.004	.155	1.000	.116	.233	.060	-.109
社會價值	.256	-.397	-.116	-.075	.104	.116	1.000	.106	.055	-.393
技術進步	.312	-.242	-.138	.067	.259	.233	.106	1.000	.139	-.094
人間信賴度	.097	-.004	.077	.057	.084	.060	.055	.139	1.000	-.069
宗教重要性	-.207	.309	.091	.019	-.117	-.109	-.393	-.094	-.069	1.000

FRANCE

	政治信賴	黨派性	社會變革	民主主義	資本主義	生活程度	社會價值	技術進步	人間信賴	宗教重要
政治信賴度	1.000	-.168	-.404	.282	.273	.283	.091	.204	.228	-.154
黨派性	-.168	1.000	.174	.037	-.322	-.138	-.236	-.057	.069	.218
社會變革	-.404	.174	1.000	-.166	-.230	-.251	-.007	-.156	-.123	-.002
民主主義	.282	.037	-.166	1.000	.132	.076	-.064	.039	.018	.073
資本主義	.273	-.322	-.230	.132	1.000	.147	.033	.144	.013	-.046
生活程度	.283	-.138	-.251	.076	.147	1.000	.020	.178	.151	-.056
社會價值	.091	-.236	-.007	-.064	.033	.020	1.000	-.007	-.003	-.240
技術進步	.204	-.057	-.156	.039	.144	.178	-.007	1.000	.155	.055
人間信賴度	.228	.069	-.123	.018	.013	.151	-.003	.155	1.000	-.080
宗教重要性	-.154	.218	-.002	.073	-.046	-.056	-.240	.055	-.080	1.000

表 3

MULTIPLE REGRESSION

U K							
	B	SE B	Beta	T	Sig T	Multiple R	
宗教重要性	-.02182	.01651	-.04683	-1.322	.1867	.50667	
民主主義	.02413	.05985	.01432	.403	.6870	R Square	.25671
技術進步	.06180	.01898	.11243	3.256	.0012	Adjusted R Square	.24629
生活程度	.11905	.03577	.12615	3.329	.0009	Standard Error	.81888
社会價值	.04274	.01920	.07994	2.226	.0264	F =	24.63640
資本主義	.06450	.04642	.05230	1.390	.1651	N of Cases =	652
人間信賴度	.15470	.03383	.16484	4.573	.0000		
社会变革	-.31805	.05323	-.22928	-5.974	.0000		
党派性	-.14251	.03737	-.15506	-3.813	.0002		
(Constant)	.68258	.20425		3.342	.0009		
FRG							
	B	SE B	Beta	T	Sig T	Multiple R	
宗教重要性	-.02822	.01832	-.05279	-1.540	.1239	.55135	
民主主義	.20790	.08944	.07455	2.324	.0204	R Square	.30399
人間信賴度	.06213	.03490	.05627	1.780	.0755	Adjusted R Square	.29540
生活程度	.16998	.03318	.16582	5.123	.0000	Standard Error	.84218
社会变革	-.39171	.06142	-.20847	-6.377	.0000	F =	35.37757
資本主義	.19531	.04569	.14228	4.275	.0000	N of Cases =	739
技術進步	.07557	.01718	.14696	4.399	.0000		
社会價值	.05959	.01891	.11267	3.152	.0017		
党派性	-.11958	.03470	-.12798	-3.446	.0006		
(Constant)	.50994	.23713		2.150	.0318		
FRANCE							
	B	SE B	Beta	T	Sig T	Multiple R	
宗教重要性	-.06300	.01545	-.12929	-4.077	.0001	.57004	
社会变革	-.39771	.04842	-.26616	-8.214	.0000	R Square	.32495
人間信賴度	.14627	.03088	.14723	4.737	.0000	Adjusted R Square	.31685
民主主義	.39827	.05597	.21936	7.116	.0000	Standard Error	.82843
技術進步	.05329	.01749	.09510	3.047	.0024	F =	40.11428
社会價值	.03105	.01680	.05835	1.849	.0649	N of Cases =	760
資本主義	.17971	.04540	.12963	3.958	.0001		
生活程度	.12867	.03179	.12863	4.048	.0001		
党派性	-.03254	.03278	-.03350	-.993	.3212		
(Constant)	.18821	.18718		1.006	.3150		

表 4

Summaries of
By levels ofSYSTEM AFFECT ZSCORE
#8.7 POLITICAL PARTY

		Mean	Std Dev	Cases
U K				
		.0072270	.9959821	972
1	CONSERVATIVE	-.3140095	.8183256	393
2	LABOUR	.2663139	1.0759729	314
3	LIBERAL	.0072270	.8806371	81
4	NATIONALIST	.3500214	1.0720796	8
5	ECOLOGY	.2512088	1.3691880	5
6	SDP	.0079777	.7989688	26
7	ALLIANCE	-.3021419	.8374172	10
8	OTHER	.8440846	1.0977926	8
9	NO PARTY	.3010041	1.0898491	127
			F	Sig.
			10.9615	.0000
F G R				
		.0473195	1.0078566	985
8	NONE	.1337800	.9811185	578
1	CDU, CSU	-.5100491	.8008268	152
2	SPD	.0301041	.9793184	162
3	F. D. P.	-.5184888	.7268009	26
4	NPD	-2.2289375	.0000000	1
5	DKP	1.9402811	.6551295	2
6	DIE GRUNEN	.9396686	1.0095573	50
7	OTHER	2.0946966	.5349110	3
			F	Sig.
			17.3824	.0000
F R A N C E				
		-.0112368	.9940236	947
1	COMUNISTE	.6553985	.8892736	54
2	SOCIALISTE	-.0849001	.9393080	300
3	ECOLOGISTE	.3508976	1.0657135	91
4	U. D. F	-.5394385	.8605502	89
5	R. P. R	-.3421782	.8588004	130
6	FRONT NATIONAL	.4697899	1.0501136	29
7	OTHER	-.0993789	.8590246	11
8	NO PARTY	.1130372	.9980268	243
			F	Sig.
			13.7976	.0000

3.3 イタリアとオランダの宗教による意見差の比較

佐々木正道

イタリアとオランダのそれぞれの質問項目に対する宗教による意見差の比較は、2ヶ国で調査した回答者の一番と二番に頻度の多い教派の間、または無宗教の頻度の多い場合は、一番に頻度の多い教派と無宗教の間、さらに各教派の頻度が少ない場合は一、二番に頻度の教派を合わせたものと無宗教の間で行われた。その結果イタリアの場合は、カソリックと無宗教の比較、そしてオランダの場合は、カソリックとプロテスタントを合わせ、新旧教派とし、無宗教との比較を行った。さらにオランダにおいては、プロテスタントとカソリックを合わせ50%近くあったので、それらを分けて比較を行った。以下、質問項目順に述べる。

問1 自国民全体の生活水準は、この10年間でどう変わったと思いますか。

イタリアにおいてはカソリックと無宗教との間に有意差がみられなかった。オランダにおいても新旧教派と無宗教との間に有意差がみられなかった。なおオランダにおいては、新旧教派をさらにプロテスタントとカソリックに分け比較してみたが、特に有意差はみられなかった。

問2 あなたの生活水準はこの10年間でどう変わりましたか。

イタリアとオランダにおいてそれぞれカソリックと無宗教そして新旧教派と無宗教の間に有意差がみられなかった。なおオランダにおいては、新旧教派をさらにプロテスタントとカソリックに分け比較してみたが、特に有意差はみられなかった。

問3 これから先の5年間に、あなたの生活状態はよくなると思いますか、それとも悪くなると思いますか。

イタリアとオランダにおいて、それぞれカソリックと無宗教、そして新旧教派と無宗教の間に有意差がみられなかった。なおオランダにおいては、新旧教派をさらにプロテスタントとカソリックに分け比較してみたが、特に有意差はみられなかった。

問4 これから先、ひとびとは幸福になれると思いますか、それとも不幸になるとと思いますか。

イタリアとオランダにおいて、それぞれカソリックと無宗教、そして新旧教派と無宗教の間に有意差が、みられなかった。なおオランダにおいては、新旧教派をさらにプロテスタントとカソリックに分け比較してみたが、特に有意差はみられなかった。

問5 これから先、心の安らかさは、まずと思いますか、それともへると思いますか。

イタリアとオランダにおいて、それぞれカソリックと無宗教、そして新旧教派と無宗教の間に有意差がみられなかった。なおオランダにおいては、新旧教派をさらにプロテスタントとカソリックに分け比較してみたが、特に有意差はみられなかった。

問6 では、人間の自由はふえると思いますか、それともへると思いますか。イタリアとオランダにおいて、それぞれカソリックと無宗教、そして新旧教派と無宗教の間に有意差がみられなかった。なおオランダにおいては、新旧教派をさらにプロテスタントとカソリックに分け比較してみたが、特に有意差はみられなかった。

問7 これから先、人間の健康の面はよくなってゆくと思いますか、それともわるくなってゆくと思いますか。

イタリアとオランダにおいて、それぞれカソリックと無宗教、そして新旧教派と無宗教の間に有意差がみられなかった。なおオランダにおいては、新旧教派をさらにプロテスタントとカソリックに分け比較してみたが、特に有意差はみられなかった。

問8 自国の向こう10年から15年間の重視する国家目標として

イタリアでは、“重要な政策を決める時、人々にもっと発言させること”と“言論の自由を守ること”がカソリックより無宗教に多く、逆に“物価の上昇をくいとめること”が無宗教よりカソリックに多く有意差がみられた。オランダでは“国家の秩序を維持すること”が無宗教より新旧教派に多く有意差がみられた。逆に“言論の自由を守ること”が新旧教派より無宗教に多く有意差がみられ、イタリアと類似の結果となった。なおオランダにおいては、新旧教派をさらにプロテスタントとカソリックに分け比較してみたが、特に有意差はみられなかった。

問9 ときどき自分自身のことや家族のことで不安になることがあると思いますか。

「重い病気の不安」、「交通事故」、「失業」と「戦争」についてはイタリアとオランダにおいて、それぞれカソリックと無宗教、そして新旧教派と無宗教の間に有意差はみられなかったが「原子力施設の事故」についてはイタリアにおいて“少しは感じる”がカソリックより無宗教に多く、有意差がみられた。なおオランダにおいては、新旧教派をさらにプロテスタントとカソリックに分け比較してみたが、特に有意差はみられなかった。

問11 あなたはどちらかといえば、普通より先祖を尊ぶ方ですか、それとも

普通より尊ばない方ですか。

イタリアにおいては、“普通より尊ばない方”がカソリックより無宗教に多く、有意差がみられた。オランダでは“普通より尊ぶ方”が無宗教より新旧教派に多く、有意差がみられた。なおオランダにおいては、新旧教派をさらにプロテスタントとカソリックに分け比較してみたが、特に有意差はみられなかった。

問 1 2 子供がないときは、血のつながりがない他人の子供を養子にとって家をつがせた方がよいと思いますか、それとも、つがせる必要はないと思いますか。

イタリアとオランダにおいて、それぞれカソリックと無宗教、そして新旧教派と無宗教の間に有意差がみられなかった。なおオランダにおいては、新旧教派をさらにプロテスタントとカソリックに分け比較してみたが、特に有意差はみられなかった。

問 1 3 現在、一般的な家庭にとって望ましい子供の数は何人だと思いますか。イタリアにおいては、0人がカソリックより無宗教に多く、逆に3人が無宗教よりカソリックに多く、それぞれ有意差がみられた。オランダにおいては4人が無宗教より新旧教派に多く、有意差がみられた。しかし新旧両教派の間には有意差がみられなかった。

問 1 4 ここ1カ月の病気に関する悩みとしてあげた、a) 頭痛、偏頭痛 b) 背中痛み c) いらいら d) うつ状態 e) 不眠症 については、イタリアとオランダにおいて、それぞれカソリックと無宗教、そして新旧教派と無宗教の間に有意差はみられなかった。なおオランダにおいては、新旧教派をさらにプロテスタントとカソリックに分け比較してみたが、特に有意差はみられなかった。

問 1 5 あなたの同じ年の人と比べて、あなたの健康状態はいかがですか。イタリアとオランダにおいて、それぞれカソリックと無宗教、そして新旧教派と無宗教の間に有意差はみられなかった。なおオランダにおいては、新旧教派をさらにプロテスタントとカソリックに分け比較してみたが、特に有意差はみられなかった。

問 1 6 回答者の社会的階層意識についてイタリアとオランダにおいて、それぞれカソリックと無宗教、そして新旧教派と無宗教の間に有意差はみられなかった。なおオランダにおいては、新旧教派をさらにプロテスタントとカソリックに分け比較してみたが、特に有意差はみられなかった。

問 1 7 収入と余暇のいずれが好ましいか。イタリアにおいては、カソリックと無宗教の間に有意差がみられなかった。オランダにおいては、新旧教派と無宗教の間に有意差がみられなかったものの、プロ

テスタントとカソリックの間には有意差がみられ、“収入が増えること”がプロテスタントよりカソリックの方に多く、有意差がみられた。

問18 一生働くかについて

イタリアとオランダにおいて、それぞれカソリックと無宗教、そして新旧教派と無宗教の間に有意差はみられなかった。なおオランダにおいては、新旧教派をさらにプロテスタントとカソリックに分け比較してみたが、特に有意差はみられなかった。

問19 お金か仕事かについて

イタリアとオランダにおいて、それぞれカソリックと無宗教、そして新旧教派と無宗教の間に有意差はみられなかった。なおオランダにおいては、新旧教派をさらにプロテスタントとカソリックに分け比較してみたが、特に有意差はみられなかった。

問20 就職の第1の条件として

イタリアにおいて“倒産や失業の恐れがない仕事”が無宗教よりカソリックに多く、有意差がみられた。逆に“やりとげたいという感じがもてる仕事”がカソリックより無宗教に多く、有意差がみられた。オランダにおいては、新旧教派と無宗教の間、そして新旧教派をプロテスタントとカソリックに分けた場合でもその間において有意差がみられなかった。

問21 仕事と個人生活や家庭生活とのコンフリクトについて

イタリアにおいて“ある”が、カソリックの方が無宗教より多く、有意差がみられた。オランダにおいては新旧教派と無宗教の間、そして新旧教派をプロテスタントとカソリックに分けた場合でもその間で有意差はみられなかった。

問22 暮らし方について

イタリアにおいて、“自分の一身のことを考えずに社会のためにすべてを捧げてくらすこと”が無宗教よりカソリックに多く、有意差がみられた。同様にオランダにおいてもこの項目が無宗教より新旧教派に多く、しかも新旧教派の中でもカソリックよりプロテスタントに多く、それぞれ有意差がみられた。

問23 生活環境の満足度について

イタリアにおいては“満足していない”がカソリックより無宗教に多く、オランダにおいては“満足している”が無宗教より新旧教派に多く、それぞれ有意差がみられた。なおオランダの新旧教派をプロテスタントとカソリックに分けた場合にはその間で有意差はみられなかった。

問 2 4 近所の治安について

イタリアとオランダにおいて、それぞれカソリックと無宗教、そして新旧教派と無宗教の間に有意差はみられなかった。なおオランダの新旧教派をプロテスタントとカソリックに分けた場合にはその間で有意差はみられなかった。

問 2 5 アリとキリギリスの話について

イタリアとオランダにおいて、それぞれカソリックと無宗教、そして新旧教派と無宗教の間に有意差はみられなかった。なおオランダの新旧教派をプロテスタントとカソリックに分けた場合にはその間で有意差はみられなかった。

問 2 7 生活領域の重要性について

イタリアにおいて、「家族や子供」に関し、“やや重要”がカソリックより無宗教に多く、“重要”が逆に無宗教よりカソリックに多く、有意差がみられた。オランダにおいては新旧教派と無宗教の間に有意差がみられなかった。「職業や仕事」、「自由になる時間とくつろぎ」、「友人、知人」については2カ国とも、それぞれカソリックと無宗教、そして新旧教派と無宗教の間に有意差がみられなかった。

次に「両親、兄弟、姉妹、親戚」については、イタリアにおいて、“どちらともいえない”がカソリックより無宗教に多く、有意差がみられた。オランダにおいてもイタリアと同様“どちらともいえない”が新旧教派より無宗教に多く、有意差がみられた。なおオランダの新旧教派をプロテスタントとカソリックに分けた場合にはその間で、有意差がみられなかった。

次に「宗教」については、当然予想されることであるがイタリアにおいて“重要でない”と“あまり重要でない”がカソリックより無宗教に多く、逆に“やや重要”と“重要”が無宗教よりカソリックに多く、有意差がみられた。オランダについてもイタリアと同様のことが新旧教派と無宗教の間にみられたが、“どちらともいえない”が無宗教より新旧教派に多く、有意差がみられたことは意外であった。なおオランダにおいて新旧教派をプロテスタントとカソリックに分けた場合“重要”がカソリックよりプロテスタントに2倍弱多く、有意差がみられた。最後に「政治」については、イタリアとオランダにおいて、それぞれカソリックと無宗教、そして新旧教派と無宗教の間に、さらにオランダの新旧教派の中でもプロテスタントとカソリックの間に有意差がみられなかった。

問 2 8 家族への満足度について

イタリアにおいては、“満足”が無宗教よりカソリックに多く“どちらともいえない”と“不満”が逆にカソリックより無宗教に多く、それぞれ有意差がみられた。オランダにおいては新旧教派と無宗教、そして新旧教派の中でもプロテスタントとカソリックの間において有意差がみられなかった。

問 2 9 の今の生活への満足度についてと問 3 0 の人の成功には個人の才能や努

力か、それとも運やチャンスかについて、さらに問31の生活保護の考え方については、イタリアとオランダにおいて、それぞれカソリックと無宗教、そして新旧教派と無宗教の間に、有意差はみられなかった。さらにオランダにおいて新旧教派をプロテスタントとカソリックに分けた場合その間に有意差はみられなかった。

問32 科学や技術の発展によって、人間らしさがなくなっていくという考え方について

イタリアにおいては、カソリックと無宗教の間に有意差がみられなかった。オランダにおいては、“賛成”が無宗教より新旧教派に多く、“反対”は逆に新旧教派より無宗教に多く、それぞれ有意差がみられた。なおオランダにおいて新旧教派をプロテスタントとカソリックに分けた場合には、その間に有意差がみられなかった。

問33 子供に「金は大切」と教えることについて

イタリアとオランダにおいて、それぞれカソリックと無宗教、そして新旧教派と無宗教の間に有意差はみられなかった。さらにオランダにおいて新旧教派をプロテスタントとカソリックに分けた場合その間に有意差はみられなかった。

問34 政治をすぐれた政治家にまかせる方がよいかについて

イタリアにおいて、“賛成”が無宗教よりカソリックに多く、逆に“反対”はカソリックより無宗教に多く、それぞれ有意差がみられた。オランダにおいては、“反対”が新旧教派より無宗教に多く、逆に“いちがいにはいけない”が無宗教より新旧教派に多く、それぞれ有意差がみられた。なおオランダにおいては、新旧教派をプロテスタントとカソリックに分けた場合にはその間に有意差はみられなかった。

問35 自分の考えをおし通すべきか、それとも世間の慣習に従うべきかについて

イタリアにおいて、“おし通せ”がカソリックより無宗教に多く、有意差がみられた。オランダにおいては新旧教派と無宗教の間、さらにプロテスタントとカソリックの間に有意差がみられなかった。

問36 世の中が機械化しても、心の豊かさ（人間らしさ）はへらないかについて

イタリアとオランダにおいてそれぞれ、カソリックと無宗教そして新旧教派と無宗教の間に有意差がみられなかった。さらにオランダにおいては、プロテスタントとカソリックの間に有意差がみられなかった。

問37 家庭はくつろぐただ1つの場所かについて

イタリアにおいて、“そう思う”が無宗教よりカソリックに多く、逆に“そうは思わない”がカソリックより無宗教に多く、それぞれ有意差がみられた。オランダにおいてはイタリアと同様、“そう思う”が無宗教より新旧教派に多く、逆に“そうは思わない”が新旧教派より無宗教に多く有意差がみられた。なお、オランダにおいてプロテスタントとカソリックの間においては、有意差はみられなかった。

問 3 8 離婚はすべきかについて

イタリアにおいては、“離婚はすべきでない”が無宗教よりカソリックに多いものの“ひどい場合には、離婚してもよい”も無宗教よりカソリックに多く、有意差がみられた。逆に、“二人の合意さえあれば、いつ離婚してもよい”がカソリックより無宗教に多く、有意差がみられた。オランダにおいても“離婚はすべきではない”が無宗教より新旧教派に多く逆に“二人の合意さえあれば、いつ離婚してもよい”が新旧教派より無宗教に多く、それぞれ有意差がみられた。なおオランダにおいてプロテスタントとカソリックの間においては、有意差はみられなかった。

問 3 9 家事や子供の世話について

イタリアにおいては、カソリックと無宗教の間に有意差はみられなかった。オランダにおいては、“すべては女性の仕事である”と“いくつかは女性の仕事である”が無宗教より新旧教派に多く“すべての仕事は男性、女性の区別なくやるべきだ”が逆に新旧教派より無宗教に多く、それぞれ有意差がみられた。なお、オランダにおいてはプロテスタントとカソリックの間には有意差がみられなかった。

問 4 0 先生が何か悪いことをしたのを親が知った場合、子供に対してどういうかについて

イタリアとオランダにおいて、それぞれカソリックと無宗教、そして新旧教派と無宗教の間に有意差がみられなかった。なおオランダにおいては、プロテスタントとカソリックの間に、有意差がみられなかった。

問 4 1 恩人が危篤の場合に、すぐ故郷に帰るか、それとも大事な会議に出席するかについて

イタリアにおいては“故郷のことが気になっていても、大事な会議に出席する”がカソリックより無宗教に多く、有意差がみられた。オランダにおいては、それぞれ新旧教派と無宗教の間、そしてプロテスタントとカソリックの間に有意差がみられなかった。

問 4 2 それでは親が危篤の場合に、すぐ故郷へ帰るか、それとも大事な会議に出席するかについて

イタリアにおいて、カソリックと無宗教の間に有意差がみられなかった。オランダ

ダにおいては、“なにをおいても、すぐ故郷に帰る”が無宗教より新旧教派に多く、有意差がみられた。なおオランダにおいては、プロテスタントとカソリックの間には、有意差がみられなかった。

問43の自然と人間との関係についてと、問44の国と個人の幸福についてはイタリアとオランダにおいてそれぞれカソリックと無宗教、そして新旧教派と無宗教の間に有意差がみられなかった。なおオランダにおいては、プロテスタントとカソリックの間に有意差がみられなかった。

問45-aの親孝行をすることは大切についてと問45-bの恩返しをすることは大切について

イタリアとオランダにおいて“大切”がそれぞれ無宗教よりカソリックに、そして無宗教より新旧教派に多く、有意差がみられた。なおオランダにおいて、プロテスタントとカソリックの間に有意差はみられなかった。

問45-c個人の権利を尊重することは大切について

イタリアにおいて“大切”がカソリックより無宗教に多く、有意差がみられた。オランダにおいては、新旧教派と無宗教の間とプロテスタントとカソリックの間のいずれにおいても有意差はみられなかった。

問45-d自由を尊重することは大切について

イタリアにおいてはカソリックと無宗教の間に有意差はみられなかった。オランダにおいては“大切”が新旧教派より無宗教に多く、有意差がみられた。なおオランダにおいて、プロテスタントとカソリックの間に有意差はみられなかった。

問46 他人との仲か仕事かについて

イタリアとオランダにおいて、それぞれカソリックと無宗教の間と新旧教派と無宗教の間に有意差がみられなかった。なおオランダにおいては、プロテスタントとカソリックの間に有意差はみられなかった。

問47 物事を決定する時一定の原則に従うことに重点をおく人と、他人の調和をはかることに重点をおく人とはどちらが好きかについて

イタリアにおいては、カソリックと無宗教との間に有意差はみられなかった。オランダにおいては、新旧教派と無宗教との間に有意差がみられなかったが、新旧教派の中では“まるくおさめることに重点をおく”がプロテスタントよりカソリックに多く、有意差がみられた。

問48の新入社員を1人採用する時に、入社試験で一番できた人と親戚とではどちらを採用するかについて、問49の新入社員を1人採用する時に、入社試験で一番できた人と昔世話になった人の子供とではどちらを採用するかについて、

問50の使われるとしたら、規則を重視する課長と、めんどろをよく見る課長とではどちらがよいかについて、問51のたいていの人は他人の役にたとうとしているか、それとも自分のことだけを考えているかについて、問52の他人は機会があれば利用しようとしているかについて、最後に問53のたいていの人は信頼できるかについての4問についてイタリアとオランダにおいては、それぞれカソリックと無宗教そして新旧教派と無宗教の間に有意差がみられなかった。なおオランダにおいてはこの4問についてプロテスタントとカソリックの間に有意差がみられなかった。

問54 現代生活の個人の態度に関する意見について

“たいていの人は、他人を助けるために多少の努力をすることができる”についてイタリアにおいて“反対”がカソリックより無宗教に多く、有意差がみられた。オランダにおいてはそれぞれ新旧教派と無宗教の間、そしてプロテスタントとカソリックの間に有意差がみられなかった。

次に“結びつきの強い地域社会に自分は属していると思う”について、イタリアにおいて“反対”がカソリックより無宗教に多く、有意差がみられた。オランダにおいては“賛成”が無宗教より新旧教派に多く、有意差がみられた。

次に“今日人は明日のことを心配しないでその日その日を生きざるを得ない”についてと“収入を得るための手段の方が、得られる収入よりも大切である”とさらに“現代は、自分も含めて、人々は孤独で他人から切り離されていると感じることが多い”については、イタリアとオランダにおいて、それぞれカソリックと無宗教の間、そして新旧教派と無宗教の間に有意差がみられなかった。なおオランダにおいてもプロテスタントとカソリックの間に有意差がみられなかった。

問55の科学上の発見とその利用は、日常生活に役立つかについて、と問56のコンピューター社会は望ましいかについて

イタリアとオランダにおいては、それぞれカソリックと無宗教の間そして新旧教派と無宗教の間に有意差がみられなかった。なおオランダにおいてもプロテスタントとカソリックの間に有意差がみられなかった。

問57 科学技術の発展について

a “病気の中には近代医学とは別の方法で治療したほうがよいものもある” b “科学技術が発展すればいつかは人間の心の中までも解明できる”の2項目についてはイタリアとオランダにおいて、それぞれカソリックと無宗教そして新旧教派と無宗教の間に有意差がみられなかった。なおオランダにおいても、プロテスタントとカソリックの間に有意差がみられなかった。 c “今日我々が直面している経済的、社会的問題のほとんどは科学技術の進歩により解決される”の項目に関し、イタリアにおいて“反対”がカソリックより無宗教に多く、有意差がみられた。オランダにおいては新旧教派と無宗教の間、そしてプロテスタントとカソリックの間のそれぞれに有意差がみられなかった。

問 5 8 今後 25 年の間に実現することについて

a “原子力廃棄物の安全な処理方法” b “ガンの治療方法の解明” c “老人性痴呆症の治療方法の解明”そして d “宇宙ステーションの生活”について、イタリアとオランダにおいては、それぞれカソリックと無宗教そして新旧教派と無宗教の間には有意差がみられなかった。なおオランダにおいてはプロテスタントとカソリックの間に有意差がみられなかった。

問 5 9 省エネルギーは重要かについてと問 6 0 環境の保護の重要性についてイタリアとオランダにおいて、それぞれカソリックと無宗教そして新旧教派と無宗教の間に有意差がみられなかった。なおオランダにおいては、プロテスタントとカソリックの間に有意差がみられなかった。

問 6 3 「宗教心は大切か」について

当然のことであるがイタリアにおいて“大切”が無宗教よりカソリックに 2 倍弱と多く、逆に“大切でない”がカソリックより無宗教に 7.5 倍も多く、それぞれ有意差がみられた。オランダにおいて、“大切”が無宗教より新旧教派に 3 倍強と多く、逆に“大切でない”がカソリックより無宗教に 3 倍弱も多く、それぞれ有意差がみられた。なおオランダにおいては、“大切”がカソリックよりプロテスタントに多く、逆に“大切でない”がプロテスタントよりカソリックに多く、有意差がみられた。

問 6 4 宗教にはいろいろあるがけっきょくは同じものについて

イタリアとオランダにおいて、それぞれカソリックと無宗教の間と、新旧教派と無宗教の間に有意差がみられなかった。なおオランダにおいては、“賛成”がプロテスタントよりカソリックに多く、逆に“反対”がカソリックよりプロテスタントに多く、それぞれ有意差がみられた。

問 6 5 革新か保守かについて

イタリアにおいては“革新”がカソリックより無宗教に多く、逆に“革新と保守の間”が無宗教よりカソリックに多く、それぞれ有意差がみられた。オランダにおいては、イタリアと同様に“革新”が新旧教派より無宗教に多いものの逆に“保守”が無宗教より新旧教派に多く、それぞれ有意差がみられた。なおオランダにおいては、プロテスタントとカソリックの間に有意差はみられなかった。

問 6 6 政治への関心について

イタリアにおいては、“非常に関心がある”と“まあまあ関心がある”がカソリックより無宗教に 2 倍と多く、逆に“全く関心がない”が無宗教よりカソリックに 2 倍と多く、それぞれ有意差がみられた。オランダにおいては、新旧教派と無宗教の間、そしてプロテスタントとカソリックの間において有意差がみられな

った。

問67-aの「民主主義」をよいと思うかについてと問67-bの「資本主義」をよいと思うかについては、イタリアとオランダにおいて、それぞれカソリックと無宗教の間と、新旧教派と無宗教の間に有意差がみられなかった。なおオランダにおいては、プロテスタントとカソリックの間に有意差はみられなかった。

問67-c「社会主義」をよいと思うかについて
イタリアにおいて、カソリックと無宗教の間に有意差がみられなかった。
オランダにおいては、“よい”が新旧教派より無宗教に多く、逆に“よくない”が無宗教より新旧教派に多く、有意差がみられた。なおオランダにおいては、プロテスタントとカソリックの間に有意差はみられなかった。

問67-d「自由主義」をよいと思うかについて
イタリアとオランダにおいて、それぞれカソリックと無宗教の間と、新旧教派と無宗教の間に有意差がみられなかった。なおオランダにおいては、プロテスタントとカソリックの間に有意差はみられなかった。

問68の自由の民主主義に満足かについてと問69の裁判制度はよく機能していると思うかについて、さらに問70の労働者と経営者の関係については、イタリアとオランダにおいて、それぞれカソリックと無宗教の間と、新旧教派と無宗教の間に有意差がみられなかった。なおオランダにおいてはプロテスタントとカソリックの間に有意差はみられなかった。

問71 我々が住んでいる社会は変えるべきかについて
イタリアにおいて、“われわれの社会の仕組みは、革命によって根本的に変えなければならない”がカソリックより無宗教に2倍強と多く、逆に“我々の現在の社会は、あらゆる破壊的勢力に対して断固防衛されなければならない”が無宗教よりカソリックに3.5倍と多く、それぞれ有意差がみられた。オランダにおいて“我々の社会は改革によって徐々に変えていかなければならない”が新旧教派より無宗教に多く、逆に“我々の現在の社会は、あらゆる破壊的勢力に対して断固防衛されなければならない”が無宗教より新旧教派に多く、それぞれ有意差がみられた。なお、オランダにおいては、プロテスタントとカソリックの間に有意差はみられなかった。

問72-a労働者と経営者の関係について
イタリアとオランダにおいて、それぞれカソリックと無宗教の間と、新旧教派と無宗教の間に有意差がみられなかった。なおオランダにおいては、プロテスタントとカソリックの間に有意差はみられなかった。

問7 2 - b 社会の根本的な改革は漸進的なのがいいのか急激なのがいいのかについて

イタリアにおいて“急激な改革がよい”がカソリックより無宗教に多く、有意差がみられた。オランダにおいて、新旧教派と無宗教の間とプロテスタントとカソリックの間にそれぞれ有意差はみられなかった。

問7 4 自分の考えは支持政党に近いかについて

イタリアとオランダにおいて、それぞれカソリックと無宗教の間と、新旧教派と無宗教の間に有意差はみられなかった。

次にイタリアにおけるカソリックと無宗教の差と属性との関係と、オランダにおける新旧教派と無宗教の差と属性、さらにオランダにおけるプロテスタントとカソリックの差と属性の関係をみてみることにする。

性別について

イタリアにおいては男性がカソリックより無宗教に多く、逆に女性が無宗教よりカソリックに多く、有意差がみられた。オランダにおいても男性が新旧教派より無宗教に多く、逆に女性が無宗教より新旧教派に多く、有意差がみられた。なおオランダにおいては、プロテスタントとカソリックの間に性別による有意差はみられなかった。

年齢について

イタリアにおいて、40-44才が無宗教よりカソリックに多く有意差がみられた。オランダにおいて、20-24才が新旧教派に比べ無宗教に2倍と多く、逆に40-44才がイタリアと同じく無宗教より新旧教派に多く、それぞれ有意差がみられた。なおオランダにおいてはプロテスタントとカソリックの間に年齢による有意差はみられなかった。

学歴について

イタリアにおいて“小卒”が無宗教に比べカソリックに2.6倍も多く、逆に“中高卒”がカソリックに比べ無宗教に2倍も多くそれぞれ有意差がみられた。オランダにおいて、“中卒”が無宗教に比べ新旧教派に多く、有意差がみられた。なおオランダにおいて、プロテスタントとカソリックの間に有意差はみられなかった。

世帯収入について

イタリアにおいて“1”つまり150万リラ以下の収入が無宗教に比べカソリックに3倍も多く、有意差がみられた。なおオランダにおいては、それぞれ新旧教派と無宗教の間とプロテスタントとカソリックの間に有意差はみられなかった。

政治の立場について

イタリアにおいて“1”（リベラル）がカソリックに比べ無宗教に3.5倍も多く、逆に“2”（ややリベラル）が無宗教に比べカソリックに多くそれぞれ有意差がみられた。

オランダにおいて“1”（リベラル）が新旧教派に比べ無宗教に2.5倍も多く逆に“3”（やや保守）が無宗教に比べ新旧教派に2.5倍も多く、それぞれ有意差がみられた。なおオランダにおいてはプロテスタントとカソリックの間に有意差はみられなかった。

都市と農村について

イタリアにおいて、カソリックと無宗教の間に有意差はみられなかった。オランダにおいて、“2”つまり農村が無宗教より新旧教派に多く、逆に“4”つまり都会が新旧教派より無宗教に多く、それぞれ有意差がみられた。なおオランダにおいて、プロテスタントとカソリックの間に有意差がみられなかった。

全体をまとめると以下のことがいえる。

イタリアのカソリックは無宗教と比べ、男性より女性に多く宗教は重要でかつ宗教心は大切に、親孝行、親に対する愛情と尊敬があり家族に満足し、家庭をくつろぐただ一つの場所と考え、子供の数が多い方（3人）が望ましく、離婚はひどい場合以外すべきでないと考え、個人の権利を尊重せず、政治の立場は保守的で政治に全く関心がなく、政治を政治家にまかせる方がよいと考え、さらに我々の社会をあらゆる破壊から断固守するという傾向がみられた。そして無宗教はカソリックに比べ逆の傾向がみられた。

次にオランダの新旧教は無宗教に比べ男性より女性に多く、若年層より中年層に多く、宗教心は大切に親孝行と親に対する愛情と尊敬があり、離婚はすべきでないと考え、個人の自由を尊重せず、政治の立場は保守的であり、社会主義はよくないと考え、科学や技術の発展によって人間らしさはなくなるとする傾向がみられた。そして、無宗教は新旧教派に比べ逆の傾向がみられた。さらにオランダではプロテスタントはカソリックに比べ、宗教心は大切に、宗教はいろいろあるがけっきょくは同じものという意見には反対する傾向がみられた。そして、カソリックはプロテスタントに比べ逆の傾向がみられた。

最後にイタリアとオランダの両国に共通する点は無宗教者は有宗教者に比べ男性より女性に多く、宗教は大切に親孝行、親に対する愛情と尊敬があり政治の立場は保守的である傾向がみられ、無宗教者は有宗教者に比べ、逆の傾向がみられた。

§ 4 時間におけるCLA

---Chronological Link Analysis の立場から---

林 知己夫

これまで、グループの性質について、また質問の性質について、CLAの立場からのべてきた。ここでは、一つの国における時間的な意味におけるCLAを述べてみよう。これは、時系列による継続調査のほかはない。日本人の国民性調査（1953-1988、5年毎8回）を用いてそれをのべてみたい。この調査結果の細目は、「第5日本人の国民性」、統計理研究所国民性調査委員会編、出光書店（1991）、ほか、「第4日本人の国民性」（1980）までの諸文献に発表されている。

まず、全体的な意見変化というものが考えられる。これには、大きな変化（一方向の変化）を示すもの、小さな変化、変化のないものが見出される。この移り行く姿、あるいは変らぬ姿が鎖の形ということが出来る。変化の中にこれに盛りきれぬU字型、∩字型の変化、その他、特異な変化をするものも見出され、時代の変化に応じた姿が順次あらわれるところに、一時点のデータがそれぞれ鎖になって続いているのがわかる。一つだけ飛び離れて変化しているというものはなく、ある時点に始まり、順次その変化が波及し、またある時から変化しそれが続くという形が見出される。ある時点の調査が続けて抜けていると意味が判然としないものも出てくる。その点で少なくとも5年間隔の調査ということが鎖の意味として重大であることが解ってきた。

さらにそうした変化がどのようにしておこるかを分析することも意味がある。年齢と時期による変化、年齢によるが時期では変らぬ変化、時期にのみよって変るが年齢によっては変らないもの、年齢にも時期にもよらぬ変化、生れ年によってのみ変化するもの、などが現象的にはっきりつかみうるのである。これは、年齢コーホート分析によって一層はっきりする。つまり、意見は生年（世代）、時期、年齢（加齢による影響、年をとることによる変化）というものをデータから推定する分析法によって明らかにすることができるのである。これについては、林・鈴木、「社会調査と数量化」、岩波書店（1986）に詳しいのでそれに譲るとしよう。

ここでは、いくつかの話題について、時系列変化、時期のCLAについて話を進めてみよう。

§ 4.1 大多数意見

この定義は前に述べた通りであるが、安定して大多数意見となっている質問は質問表Iの通りである。回答は第2表のようになるが大多数意見を示すものは、時間的にも安定し、諸外国にくらべても多めの結果を示し^{*)}、集団的にみた日本人の特色とみてよいものである。表4-1に日本の結果、表4-2に外国における結果を示そう。

* 宗教に関しては、信仰をもつものは少ないが宗教的な心を持つものが多いという形で特徴的である。#5.1C(問1)についてはアメリカ、イギリス、ハワイは日本に近い。

表4-1 大多数意見と安定性（％）

	問1（#5.1c1） 採用試験 一番の人を 採用	問2（#5.6） 使われたい課長 めんどろを みる課長	問3（#9.3） 日本の庭と 外国の庭 日本の庭	問4×問5（#3.1・#3.2） 宗教を信じる＋ 信じないが 宗教的な心は大切
1988	70	88	-	74
1983	71	89	-	82
1978	72	87	-	83
1973	73	81	90	79
1968	78	84	91	83
1963	75	82	84	84
1958	-	78	78	82
1953	-	85	79	-

表4-2 外国との比較（％）

	問1（#5.1c1） 採用試験 一番の人を 採用	問2（#5.6） 使われたい課長 めんどろを みる課長	問3（#9.3） 日本の庭と 外国の庭 日本の庭	問4×問5（#3.1・#3.2） 宗教を信じる＋ 信じないが 宗教的な心は大切
日系（ハワイ）	(68, 62, 64)*	(58, 63, 58)*	(71, 66, 66)*	(90, 91, 82)*
非日系（ハワイ）	(-, 62, 73)*	(-, 57, 54)*	(-, 73, 77)*	(-, 88, 83)*
アメリカ	66(72)**	51(50)**	85(93)**	87(85)**
イギリス	73	57	64	59
ドイツ	45	69	75	58
フランス	59	64	64	63
日本	70	88	31	72

注) * 括弧内は（1971年, 1978年, 1983年調査）の比率、-は調査なし

** 括弧内は 1978調査

その他は 1988, 1989年国際比較調査

これで集団の特色をみたが、このような特色ある意見のみを示す日本人個人を考えてみよう。いわば典型的日本人ということになろう。この比率を表4-3に示すが、ほぼ半数程度になって、大多数意見の様相を示していないのである。集団における見方と個人単位にみる見方とでは異った面が見えてくるのである。

なお、各回答のランダムマッチングの比率も表4-3に示したが、実際の調査の結果とよく類似しており、大多数意見の間に強い関連性を認めることは困難であると考えてよい。つまり、それらの大多数意見を貫流する---あるいは底に流れている---ものを想定する根拠はうすいと思われる。それぞれ単独に大多数意見というべきで、それらを結びつけて構造（思想）を考えることは妥当ではないと考えるのがよい。

表4-3 大多数意見のみを示す日本人の比率

1. 問1、問2、問4×問5による

1988年	47%	(46%)
1983	52	(51)
1978	53	(52)
1973	47	(45)

2. 上記のものに問3（日本の庭・外国の庭）の質問を加えたもの

1973年	46%	(44%)
1968	52	(49)
1963	44	(41)

注) 括弧内の%はランダム・マッチングとして各質問の回答比率の積をとったものである。

§ 4.2 意見構造の安定性、特異性

各質問別の回答により意見分布を知ることが出来るが、質問群を通しての意見の構造を明らかにすることの重要性は多くの機会に論じてきたので繰返さないが、これを「考えの筋道」と名づけ、意見分布を超えた深い意味を我々は与えている。質問群を貫流して見出される「考えの筋道」すなわち「思想」ととらえるために、パタン分類の数量化（数量化Ⅲ類、フランス流に言えば、コレスポネンス・アナリシス）を用い、そのデータ構造をさぐり出すことになる。データ構造による日本人の集団構造---心の構図---の顕在化といふことができる。

日本人における大きな特色と言われている人間関係に関するもののうち義理人情に関するものをとりあげるが、この質問群は質問表Ⅱに示す通りである。一つの質問の一つの回答だけみると人情的、あるいは義理人情的と思われるものとそうでないものにわかれる。義理人情的と言い切るには、後述するように回答をくみあわせてみる必要がおこってくる。なお、ここでとりあげた質問群は、典型的な義理人情に関する質問ばかりでなく、それに

深く関係すると考えられるものも含めてある。ここで一言付加えると、義理と人情とを対比させるのではなく、両者を考えあわせる考え方を見ようとするのであり、義理人情的と義理人情的でないという立場で考えているということである。

質問表Ⅱの質問群に対してパタン分類の数量化を用いてみるのである。この論議は第3部〔I〕の§2.1と重複するが、時間的な関連の分析というここでの視点で、もう一度論議したい。読む便宜のため、数量化の結果を図4-1に再掲したが、25年間全く安定した構造を示している。第1軸（X軸）で、人間的・義理人情的回答とそうでない回答が左右にきれいにわかれ、こうした考え方の存在の安定性が認められたと言ってよい。第2軸（Y軸）をみると、これは問2、問3および問4、問5の関係で、ともに会社の場面設定の差異であり、この両者の回答をわけることになっている。両場面は、それぞれ二次的には異なる考え方が働くことを意味しており、人情的・義理人情的（人情的・義理人情的でない）考え方の中での差異ということが出来る。

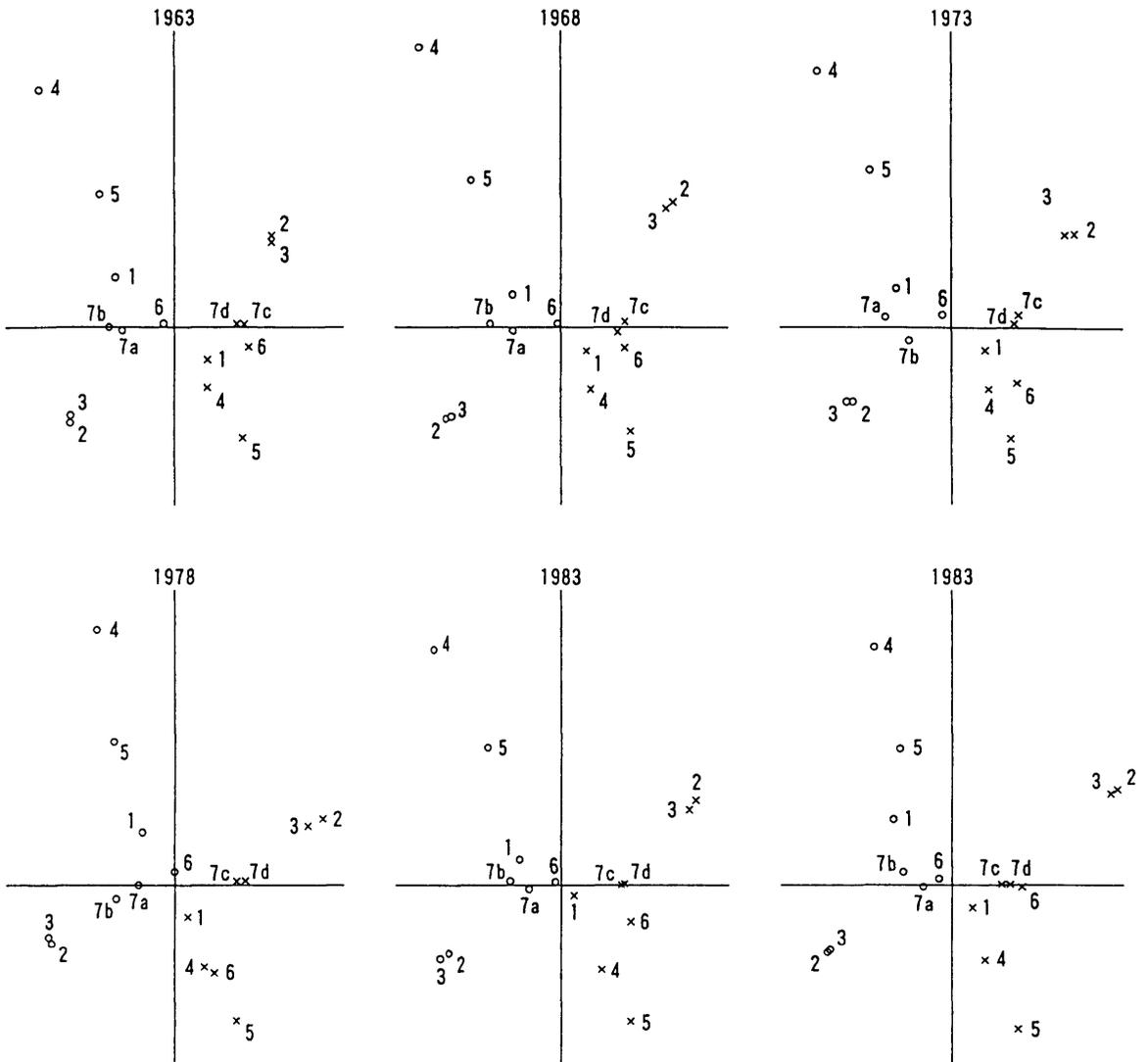
このように安定した構造、つまり人情的・義理人情的とそうでないものを対比させて考える考え方の根深さ、根強さ、が示されているということが出来る。

これは全体的傾向だけではなく、年齢別にみる時、20歳台の年齢層や他の年齢層で、間々90°以内の回転している図柄も見られるが、年が経つと（加齢により）通常の形になる。大局的に言えば各年齢層で抜本的な差異がないのは注目すべきであり、上に述べた根深さ、根強さを裏書きするものがあると言えよう。第8回国民性調査（1988）について分析した結果を図4-2にかかげておくと、同じような形がみられる。このなかで、20歳代の前半・後半ともに90°回転した図柄がみられ（1983年も同様）ことが注目されるが、30歳以上では全体と同じ構図である。前述した義理人情スケール値の分布では第7回調査までとくらべて特に違いはないので、従来と同じく一時的とも思われるが、一応注意はしておきたい。

時系列的安定性をみたので、こんどは、空間的な広がり、つまり国際比較の立場も含めてみてみよう。

これをハワイ住民（1988年調査）*、アメリカ人（1978年調査と1988年調査）、イギリス、ドイツ、フランス（いずれも1987年調査）のデータについてみるとかなり異った構図が得られる。点の相対的位置がどう異なるかみるために、相互に図柄を回転してみて最も距離が小さくなるところをとり、この距離の総和を求め図柄の非親近性マトリックスをつくった。しかし、この測度のフェジー性から、3段階に分類したマトリックスを作った表4-4（再掲）、これを基にMDA-OR（多次元尺度解析法MDSの一方方法で、ランクのついた群分けにもとづくもの）を用いると図4-3（再掲）のようになり日本、アメリカにおけるデータの安定性と他図との関係が明瞭となり、日系人が第3部〔I〕§2.1で詳しく述べたように日本とアメリカとの間にきているという姿が出ている。ここでの論点で重要なのは、こうした心の構図のある意味の安定した動きが示されていること、これと比較される諸地域との混ざり合わない関係ということである。

*）日系人の票本数が少なく、日系人、非日系人それぞれの分析結果が不安定なため、両者を合わせたものを用いた。



○ 義理人情的質問における人情的あるいは義理人情的回答
 × それ以外の回答

図 4 - 1
 義理人情構造の安定性

その1 20代

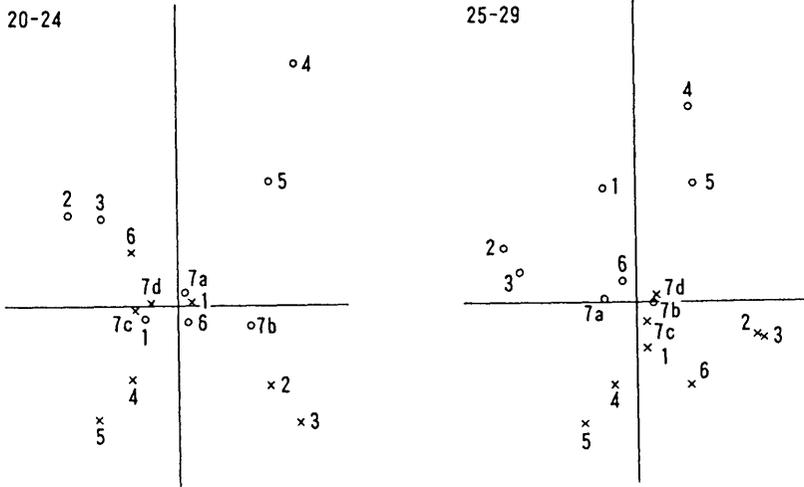


図 4 - 2 - 1
義理人情の構造 その1 20歳代

その2 年齢別

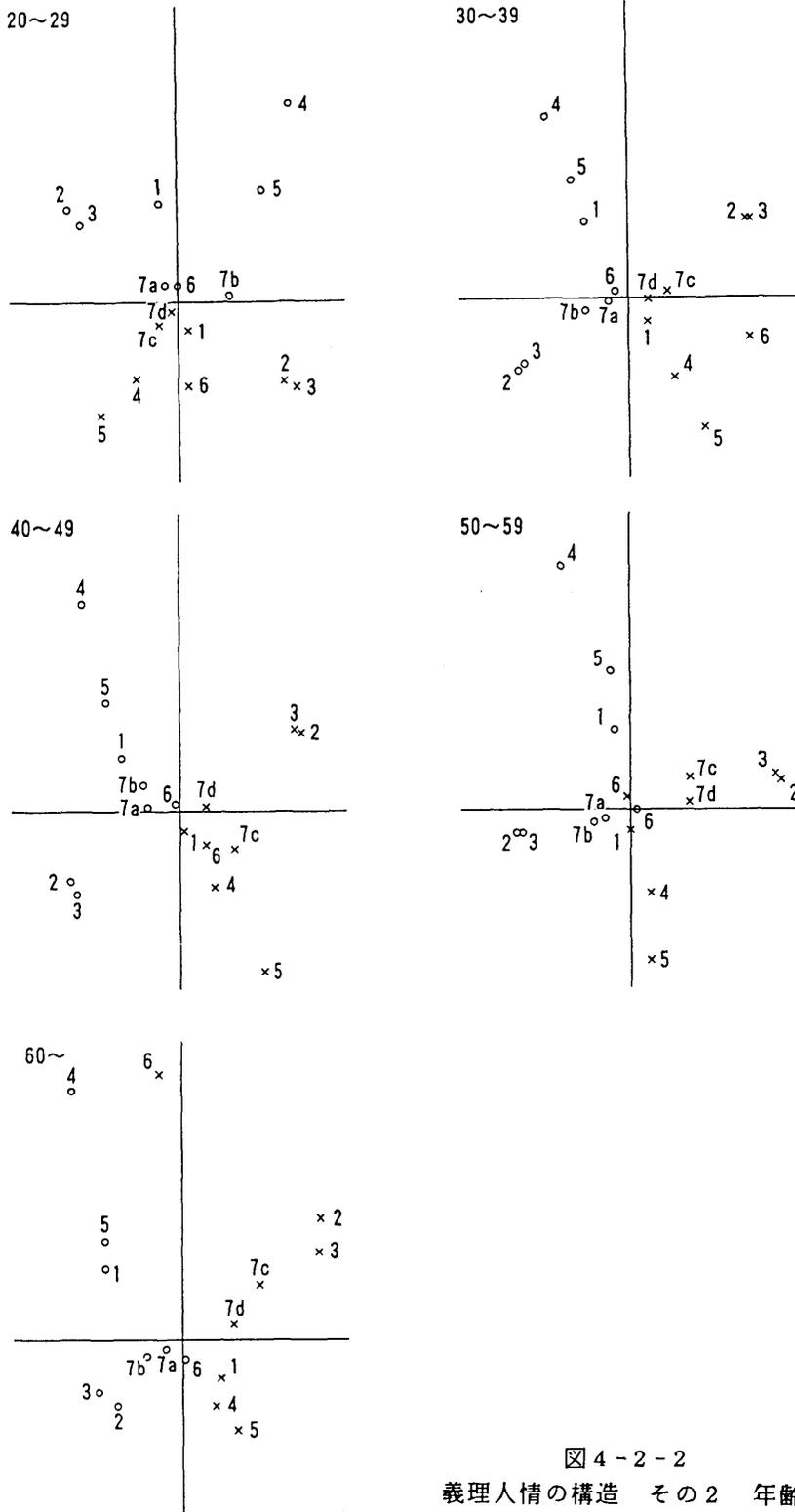


図4-2-2
義理人情の構造 その2 年齢別

表 4 - 4
図柄の非親近性マトリックス

D	0												
F	3	0											
E	3	2	0										
A	2	3	1	0									
K8	3	3	3	3	0								
H8	3	1	2	1	3	0							
K5	3	3	2	3	1	3	0						
K3	3	3	3	3	1	3	1	0					
A7	2	2	1	1	3	1	3	3	0				
H0	3	1	2	2	2	1	1	1	2	0			
H2	2	1	2	2	3	1	3	3	2	1	0		
H4	2	3	3	1	2	2	2	2	2	2	2	0	
	D	F	E	A	K8	H8	K5	K3	A7	H0	H2	H4	

1 : 近い
2 : 中位
3 : 遠い

D : ドイツ
F : フランス
E : イギリス
A : アメリカ
J : 日本 (A 調査票による)
K8 : 国民性調査1988
H8 : ハワイ住民1988
K5 : 国民性調査1973
K3 : 国民性調査1963
A7 : アメリカ1978
H0 : ハワイ日系人1971
H2 : ハワイ日系人1978
H4 : ハワイ日系人1983

§ 4.3 意見構造の安定性、変化と特異性

ここでとりあげる質問群は、伝統対近代に関するものである。いろいろの領域における伝統的・近代的とみられる回答を含む質問群で、前に述べた人間関係に関するものは除いてある。質問は質問表Ⅲの通りである。

パタン分類の数量化を行ってみると、図4-4のようになる。図中の●印がいわゆる伝統的回答、○印が近代的回答、△印が中間的回答である。図をよくみると、1953年から1973年の20年間は、伝統的回答が強固に固まり、右下に近代的回答が集まり、右上に中間回答が付置されるという構造が読み取れる。ここにとりあげた質問をみたとき、回答の構造からみると、伝統的回答と近代的回答を常に対比させる考えの筋道のあることがわか

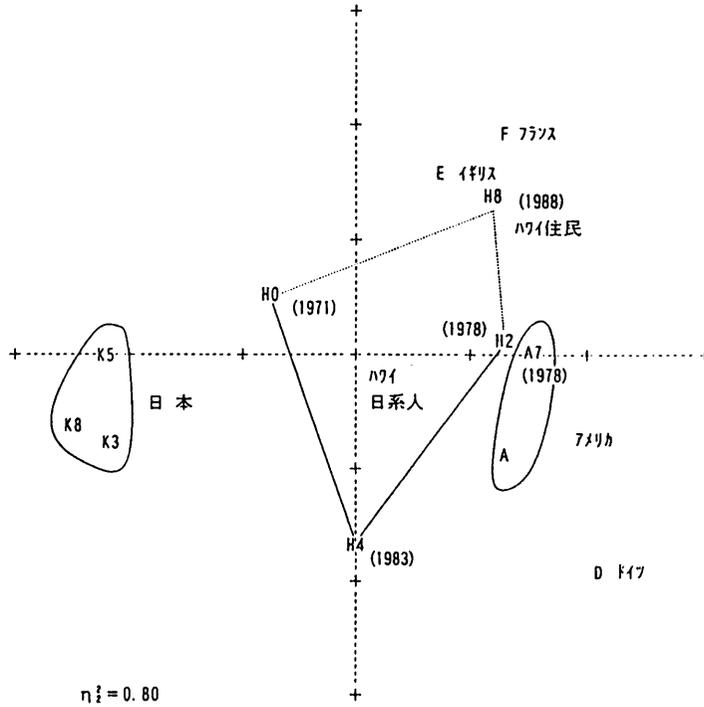


図 4 - 3
 諸国の位置づけ

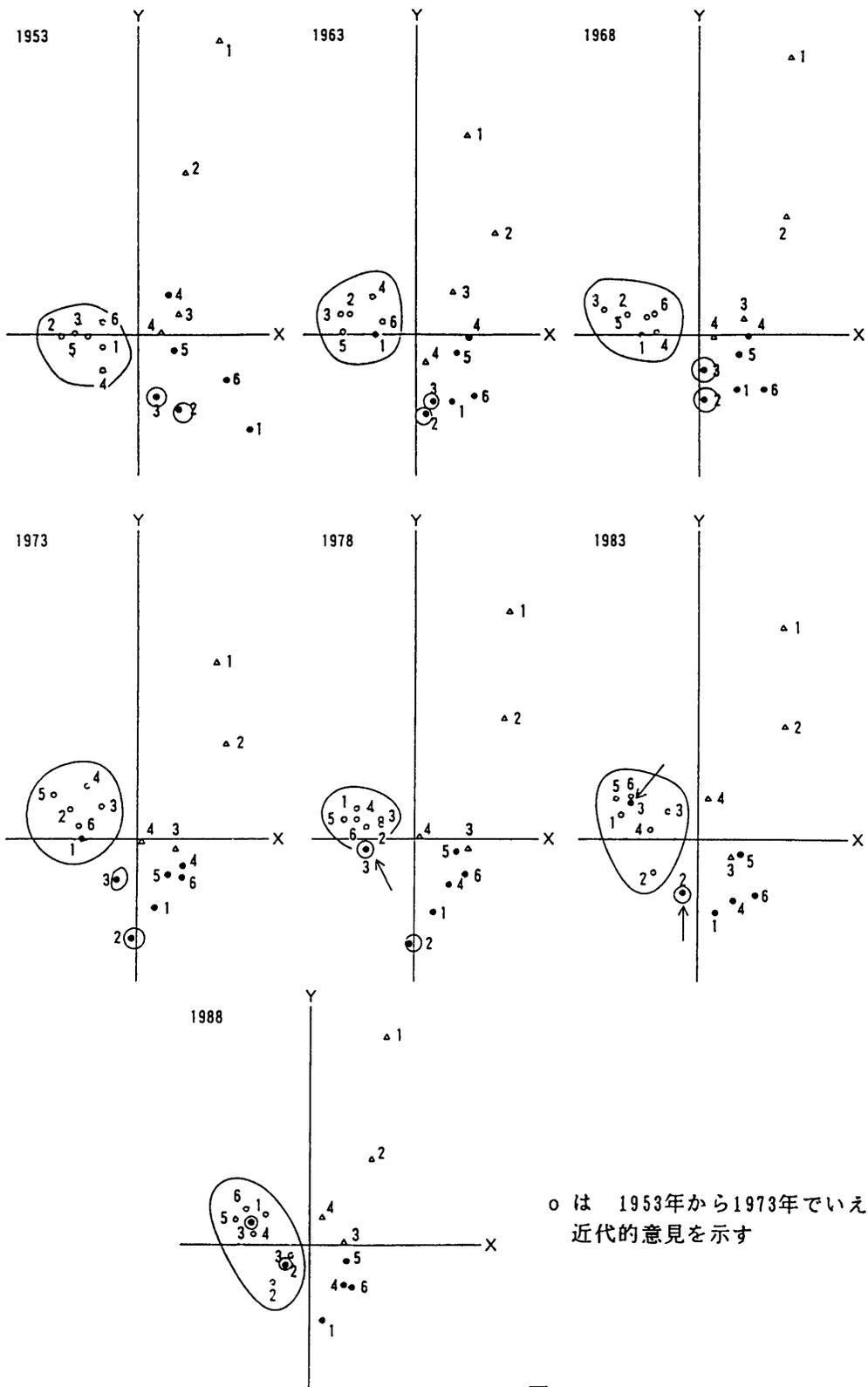


図 4 - 4

伝統対近代の考えの筋道

る。根強い考え方の筋道が見出されるのである。しかし、1978年になると近代的な回答とみなされるものが、伝統的回答群に入りこんできて、考え方の様相に異なるものが現れ始めたのを読みとることができる。全体におけるこの変化は、大きな兆しを現わしていることがこれから述べる分析でよく解ってくる。

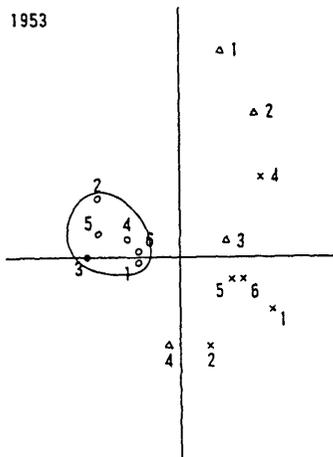
さて、1983年になると一層この傾向が顕著になり、伝統的意見の固まりの範囲が広がり、1988年においても一層この傾向が明確になってきた。1973年の兆候は見のがしてはならないのである。1953年以来データ構造として見出されたいろいろの事象に対して、それらをひっくり返して、伝統と近代を対比させる考え方が、崩壊し始めたのは日本人の心の大きな変化である。1973年以前では、伝統的意見の定義は、高年齢層ほど支持することが多い意見、若い年齢層ほど支持することの少ない意見というように言っていた。一方近代的意見は、若い年齢層ほど支持する比率が多く、高年齢層ほど支持することが少ない意見というように定義することが出来た。そして、意見の時系列をみると、変化しないが、変化するとすれば伝統的意見が減り、近代的意見が増加するという「近代化」の単純な傾向がみられた。それが1973年で少しくずれ出し、1978年で大きく崩れ、そのような定義が成立しなくなった。若い年齢層に伝統的な意見が多く支持されるものが出てきたのである。これをみて、若者の保守化、伝統回帰という説明がなされることもあった。しかし、これは見当外れの意見であることが以下の分析で明らかになる。

1978年の段階で、伝統対近代という対比の考えの筋道が崩れ出したので、年齢別に回答パタンの分析を行ってみた。この結果をみると、どの年齢層でも、1973年までは全体と全く同じような、伝統対近代という考えの筋道が強固に現われていた。比率の上における近代化志向の傾向も上述の通りであった。つまり、伝統と近代とを諸事象において対比させて考えた上で---古い、新しいという発想の上に立って---近代化の方向を辿る、という構図である。これが1978年の20歳代の前半、つまり20～24歳において崩れ始めたのである。図4-5にこの形を示そう。伝統的回答の固りがゆるくなり、近代的回答がその中に入りこんできたのである。この傾向は、1983、1988年と継続して見られる、あれほど強固であった考えの筋道が崩れ出したのである。これと時を同じくして伝統的回答が全体でも若い層でも増えてきたのである。若い層は、単なる回帰ではなく、伝統対近代という考えの筋道が崩れ出し上での伝統的回答が増えたということであって、伝統回帰という旧来の考え方そのものが通用しなくなっていると言うことができる。さらに、20～24歳の層が25～29歳の層より伝統的回答の比率が高くなる質問が数多く見られるようになってきた。

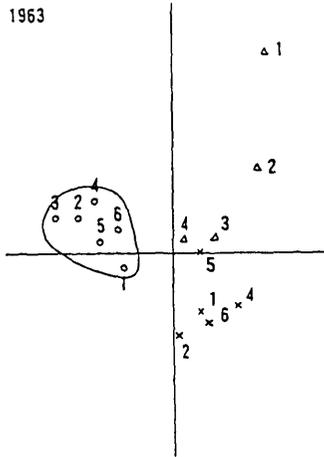
1988年の年齢別パターン分類の結果を示すが(図4-6)面白い形が出ている。34歳までをみるといわゆる伝統と近代との回答が入りまざり、伝統的回答が大きくばらつくことになる。30～34歳の層は1978年では、20～24歳であり、はじめて、伝統対近代の考えの筋道の崩壊の兆しを見せ始めた層である。35歳以上になると伝統対近代の考えの筋道がやはり存在するとみられる。伝統的意見群がかなり狭い範囲に固まっている。しかし、問3の近代的回答(自然を征服)が伝統的回答の中に入りこんでいるのが一つの特徴となっている。45～54歳になると問3の伝統的・近代的回答が同時に伝統的回答群の中に入りこみ、他の質問回答と無関係な様相を示している。55歳以上になると、全く従来と同じく伝統的回答群が狭い範囲に固まり、従来 of 考えの筋道、伝統的近代を対比して考え

20~24

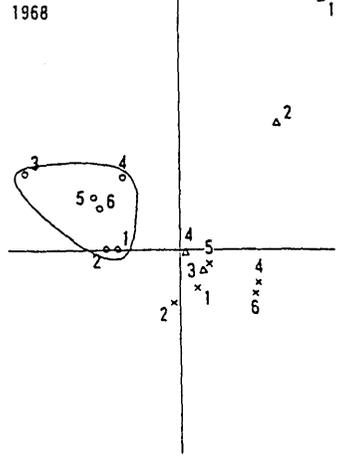
1953



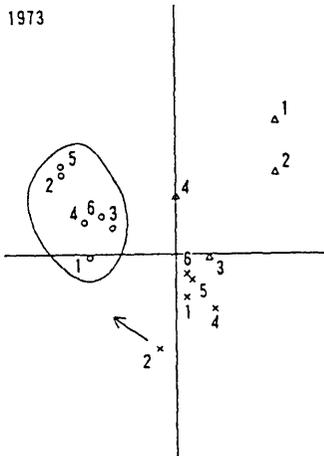
1963



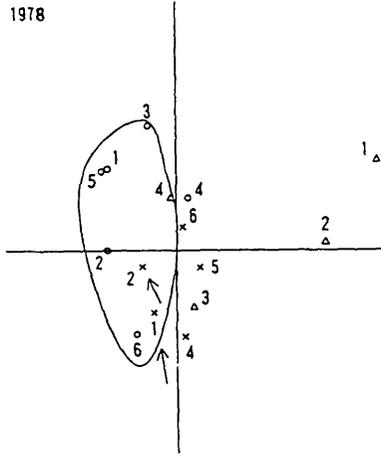
1968



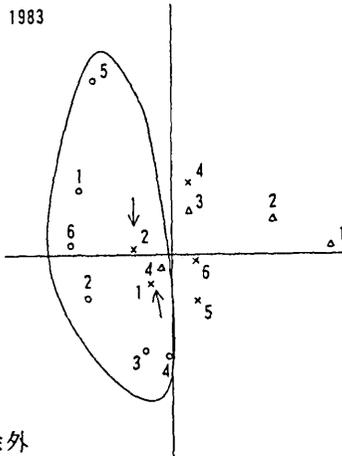
1973



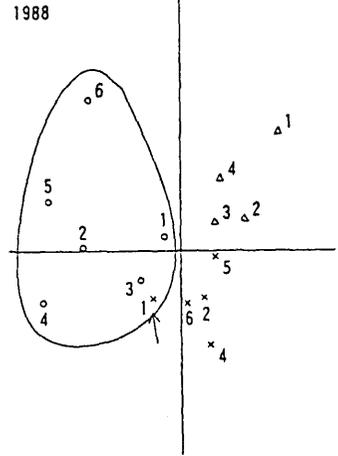
1978



1983



1988

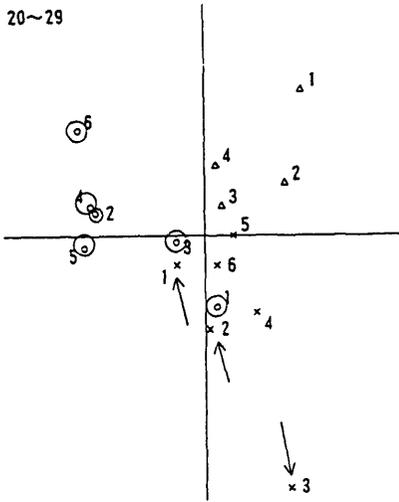


3x は標本数過少のため除外

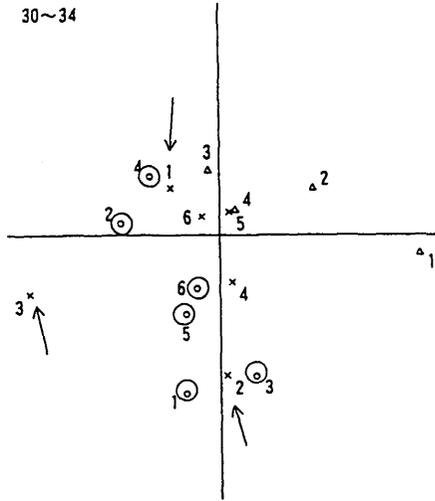
図 4-5

若年層の考えの筋道の変化

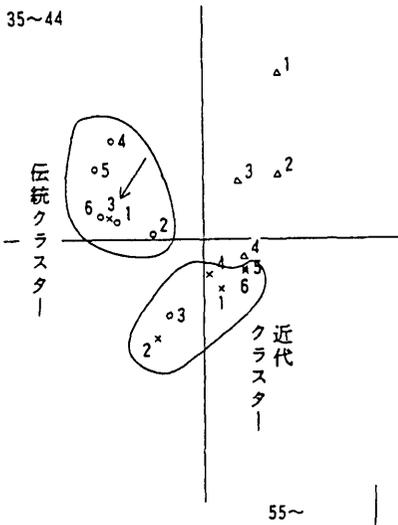
20~29



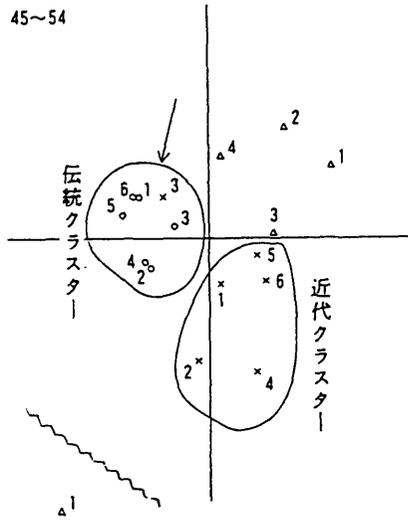
30~34



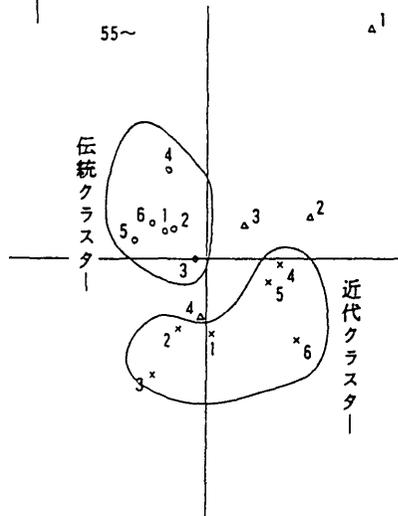
35~44



45~54



55~



○ 近代的回答

x いわゆる伝統的的回答

図4-6

年齢別考えの筋道 (1988年)

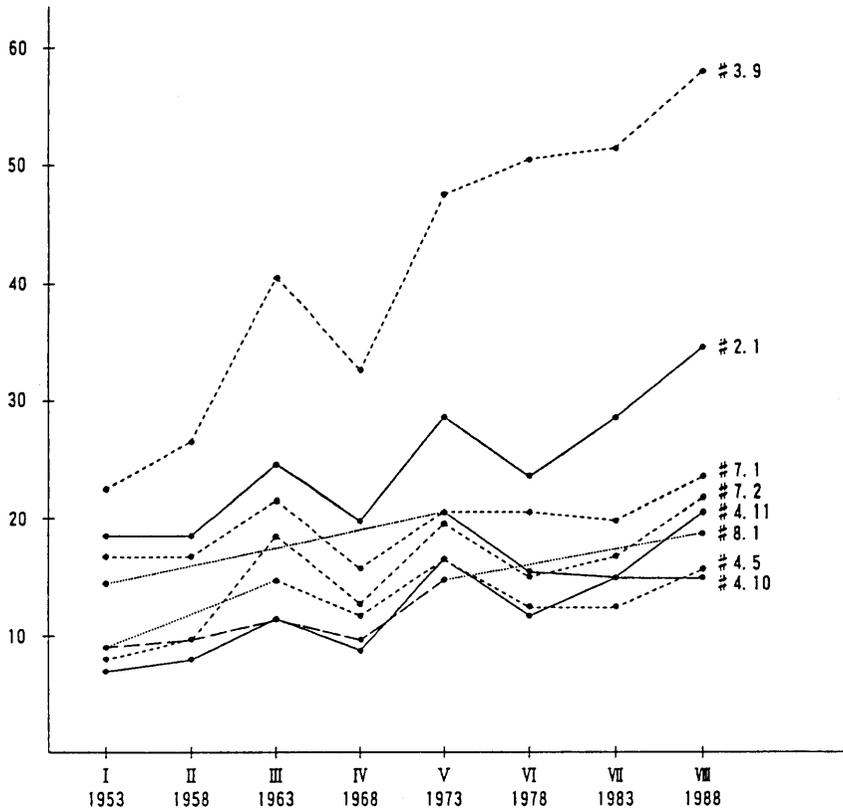
る考え方がしっかり根を下していることがわかる。ここに、考えの筋道の上での年代のギャップがあらわれているのである。

高年齢層が若い年齢層をみる時の問題がここにあり、すれ違いの様相を呈する可能性、ピント外れの解釈の可能性を示唆しているといえることができる。

以上、日本における強固な考えの筋道とその前提の様相を示してきたが、このような強固であった伝統対近代の考えの筋道は外国ではどうであろうか。国際比較のデータによれば、ハワイの日系人も含めて、こうした形は全く現れていないのである（1978年、1988年のアメリカ、ハワイの日系・非日系、1987年のイギリス、ドイツ、フランス）。これは図4-8に示してある。なお、アメリカでは1978年、ハワイでは1971年、1978年、1983年のデータもあるがこれと同様の傾向であった。各質問それぞれにおいて、考え方の上で伝統と近代というわけ方ができたとしても、それらを統轄した形で伝統対近代というものの見方をしていないということである。日本における1つの特殊な見方であったといえることができるが、これが崩壊しつつあることに注目する必要がある。

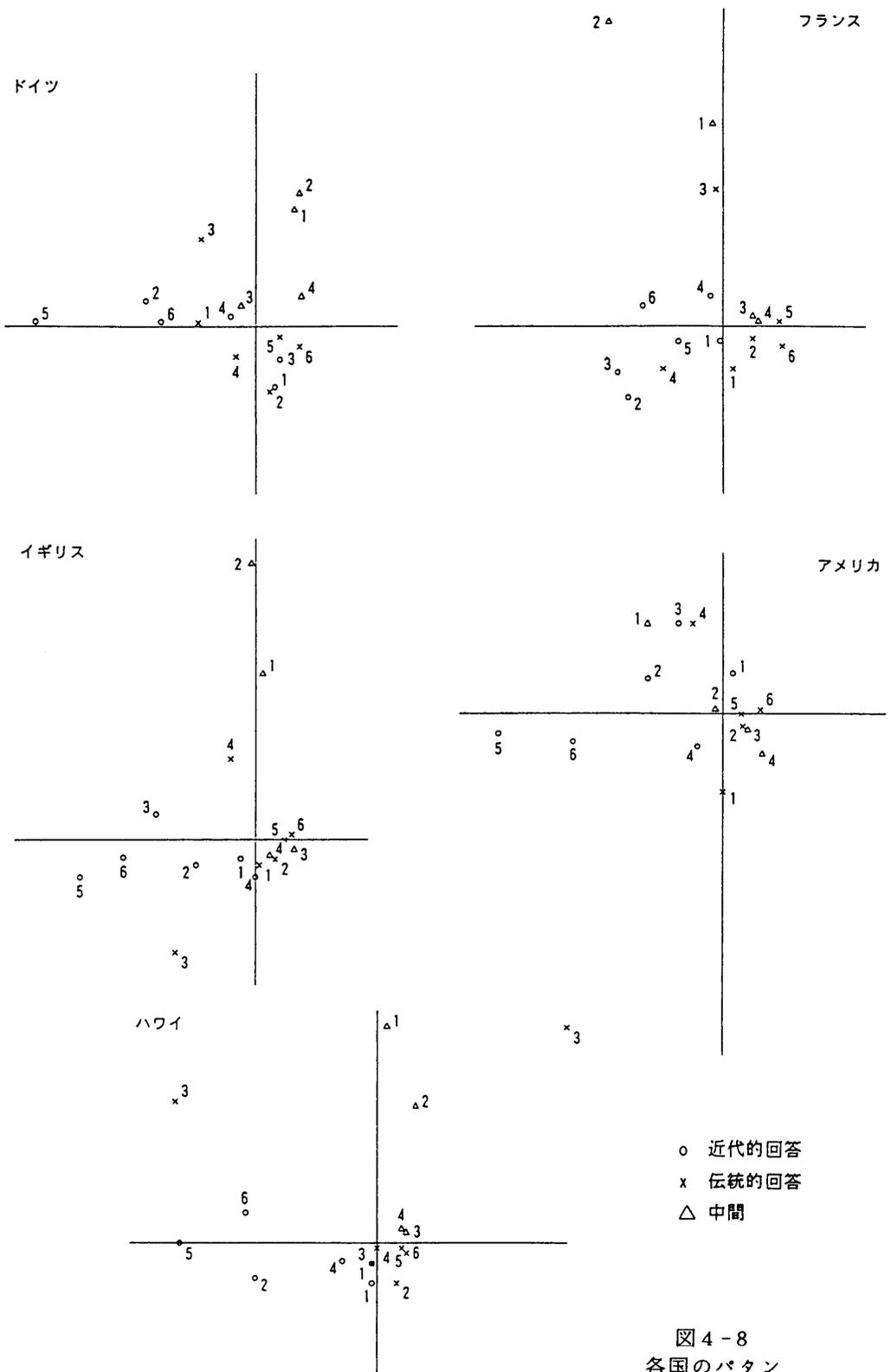
§ 4.4 中間回答の増大

中間回答が日本的なものであることは§ 2.1、§ 2.2 ですでに述べたが、中間回答のある質問群をとりあげ、その中での中間回答が時系列的にどうなっているかをみたのが図4-7である。質問の内容については煩雑になるので述べないが---このいくつかは質問表IVに示してあるものに含まれている---、減少傾向にはなく、むしろ増加する傾向にあるものが多いことは注目される。それらが順次増加するという姿は、日本の特色の一層の顕在化とみることができる。



注 # 8.1はVまでは中間回答があったが以後はない。図のデータはVまでの質問文を用いた国際比較調査のデータである。図中の#...は国民性調査を見るときに質問の固有番号である。ここでは無視していただいてよい。

図4-7
中間回答の変遷



§ 5 国民性の国際比較研究のための相補的尺度構成について

吉野 諒三
許 綺徳

本章の序において述べた様に、我々は長年にわたる国民性の国際比較調査研究のなかで、データ収集や統計分析等、種々の側面で、多様な分析法やアプローチを「相補的」にとり入れて理解を深めることが重要であるという認識に至った。

本節では、特に、七ヶ国の社会調査データの全体的パターンを把握するための多次元的統計分析法（GHTモデルにもとづくVA[ベクトル角]表示）と、ある特定の側面やトピックに焦点を当て分析するための一次元的尺度構成法を例示する。

ここで、再び強調するのは、どの方法が普遍的に最も適しているかというようなナイーブな判断ではなく、各種の方法、視点を展開し、相補的に統合していくことによって、現実が浮かび上がってくるということである。

詳細は、英文の本文を読んでもらいたいが、この和文要旨では、特に、QOL（生活の質）に関する項目の主成分分析（多次元尺度法の一つ）による分析結果に基づき、各国あるいは各人のいわば生活の質の意識を得点化する一次元尺度構成について、簡単に記しておく。

和文要旨

「生活の質」に関する意識の7ヶ国比較

1. 7ヶ国の「生活の質」の測定

調査票から、7つの国全ての調査票で使われた個人の目から見た「生活の質」に関する18の質問を選択した。これらの質問は回答者が自分自身や他者（国を含む）の生活状態を主観的に評価したもの、これらの生活状況の予測、個人的なことに關しての心配（大病）やマクロな出来事に関する心配（核の事故）、そして自分のおかれている社会環境の評価（地域の安全）などを質問したものである。ここで評価されている生活状態には物質的なもの（生活レベルや生活状況）と精神的なもの（幸福感やこころの安らぎ）が含まれている。

たった一つの指標を使って「生活の質」のような複雑なものを表わすことは不可能なので、必然的に如何にしてそれを表現し、測定するのかという問題にぶつかる。複雑なものを簡素に表現する方法として尺度化というアプローチがあり（Guttman, 1944）、社会学や社会心理学の分野において広い意味での社会現象や政治現象を研究する際に頻繁に使われている。この尺度化の第一段階は尺度構成のなかに考慮する項目を選択することである。つまり、関連性の強い項目のグループを探すことである。さらに、こうして選ばれた項目を使って国々の比較をする場合は、それらが一つの国で意味を持つ群を成すものが、他の国々でもそうであるかどうかを検討する必要がある。言い替えれば、国々の生活の質の内容的なレ

ベルの上に、その意識の構造をも考慮に入れる必要がある。次に主成分分析を通してこれらの目的を達するまでの過程を詳しく記述する。

1.1 「生活の質」の7ヵ国比較

まず、国ごとに18の質問を主成分分析をすることからはじめる。第一因子と第二因子によって説明される分散の割合と、各々の質問の第一因子負荷量に基づいて、これらの項目が関連したグループを構成しているかを判断することができる。下の表1にその分析の結果を示す。

(表1)

この表から読み取れるように、どの国においても第一因子によって分散の15%以上が説明されてはいるが、どの国でもその割合が第二因子によって説明された割合の2倍以下であるため、この結果から18の項目が一つの共通因子のみに依存するということとはできない。しかし、因子負荷量の絶対値が高い項目が充分にあり、これらの項目を使って次元の尺度を構成することが可能である。そこでこれらの項目を合わせて尺度を作り、それぞれの国で尺度得点を計算して生活の質のレベルを表わすことにした。実際には因子負荷量の規準値を決めて(0.2または0.3など)、主成分の負荷量が基準数値以上の項目だけを取り出し、それらの項目各々について国全体の平均値をもとめ、さらにそれらを平均したもの(つまり、それらの項目の国毎の平均値を足し合わせ、項目の数で割ったもの)を各国の「生活の質」の得点とする。この尺度に入れる項目の選びかた、つまりスケールの作り方には少なくとも2つのアプローチがある。一つは全ての国で同じ項目を使う「共通スケール」(全ての国で負荷量の高い項目を合わせたもの)もう一つは、国ごとに必ずしも同じ項目を使うのではなく、それぞれの国において因子負荷量の高いものを選んでそれを合わせた「国特有のスケール」である。

ここでは、まず7ヵ国全てにおいて因子負荷量0.2の規準を満たす12の項目からなる共通スケール(QOLC2)を作成してみた。まず、このスケール上での各国の回答者一人一人の得点を求め、その国の回答者全ての得点を平均して国の「生活の質」の得点とした。

(表2)

7ヵ国のうち一番得点の高いのが日本とオランダ、次いで西ドイツとアメリカ合衆国である。フランスとイタリアの得点が一番低く、イギリスは中間である。この結果から日本とオランダ、そして少なからず西ドイツとアメリカ合衆国の回答者達は、調査時点(1987-88年)においては、近い過去の物質的な状態を肯定的に評価し、現在の物質的ならびに精神的な生活状態に満足し、また自分自身と社会全体の将来に関して楽観的であり、それらに対しての将来の心配があまりないと言うことができる。フランスとイタリアの回答者達に関してはこの逆のことが言える。

こうして構成された共通スケールのクロンバック・アルファ係数はどの国でも最低0.62、最高はイギリスの0.70であり、そこに含まれている12の項目によ

て、ある一つの「現象」を表現しているということの意味する。しかし、ある意味でこの「共通スケール」は全ての国で同じ項目を使って作ったスケールであるがために、それによって表現された「生活の質」を各国ごとに見ていくと、その測定の精度が低くなってしまっていることも考えられる。そこで、この問題に焦点を当てるために先に行なった各国の主成分分析に基づいて、各国特有のスケール因子負荷量0.2以上のものを合わせたもの、0.3以上のものから成るもの、0.4以上のものから成るものの3種類構成した。表3にこれらの3つの基準にもとづいたスケールそれぞれに含まれている項目と得点を国ごとに示した。

(表3)

この表から明らかなように、ほとんどの国において「国特有のスケール」のアルファ係数の方が「共通スケール」のものよりも高い。これは「国特有のスケール」が一つ一つの国独特の因子負荷量のパターンに基づいて作成されているからである。日本、アメリカ、イギリスでは全ての項目が0.2以上の因子負荷量を示したので、18項目からなるスケールができた。これらの国では「国特有のスケール」とは言っても中に含まれる項目は3ヵ国とも同じである。他の国でも0.2の基準を満たさない項目は数少なく、各国でスケールに含まれる項目は、フランスで17項目、オランダで16項目、イタリアで15項目、西ドイツで14項目である。

一つの興味深い点は、「共通スケール」と「国特有のスケール」のアルファ係数の値はかなり違っていても、これらに基づいた「生活の質」の得点はほとんど同じであることである。さらに重要な点は、7ヵ国を「共通スケール」の得点に基づいた順位と、「国特有のスケール」の得点からつけた順序は少しの違いがあるだけで、ほとんど同じであるということである。これらの結果から、12項目からなる「共通スケール」を7ヵ国それぞれにおいての「生活の質」の測定に有効に使うことができ、また、便宜的には「共通スケール」「国特有のスケール」を、互換的に利用することも考えられよう。

1.2 生活の質に関する意識の構造の比較

7ヵ国の間では先に述べたような「生活の質」を測るスケールの得点に違いがあるだけでなく、その構造にも相違がある。例えば、第一因子によって説明された分散の割合、また各項目の因子負荷量、つまりそれぞれの項目の相対的な寄与度などに違いが見いだせる。その意識構造の比較の方法の一つとして、「共通スケール」に含まれる12の項目の因子負荷量を各国毎に値の高い順からならべ、上の順位にくる項目と下のほうの順位に来る項目が各国でどう違うのかを比較する方法がある。ある国同士で上位と下位に入る項目群がある程度同じだとすれば、その国々の「生活の質」のスケールの得点に大きく寄与している項目と小さく寄与をしている項目が似ているということであるので、それらの国々の「生活の質」を比較をする際に内容的に近い側面を比較していると言うことができる。

(表4)

こうして挙げられた上位に入る項目と下位に入る項目は、7ヵ国でかなりの違

いが見られる。最も多くの項目が重複しているのはアメリカとイギリス、そしてイギリスとオランダの対である。フランスとイギリス、西ドイツとイタリア、イギリスとイタリア、アメリカとオランダ、日本とイタリアの対にもある程度の数の項目の重複が見られる。Cultural Link Analysisに基づいた概念を使うと、この結果は経済発展面で似ている7ヵ国の中では、これらの対の国々で連関（社会的、社会環境的、文化的、言語的、人種・民族的な連関）が強いとすることができる。総括的に言えば、イギリスにほとんどの国と重複する項目が多く、その反対に西ドイツと日本には他の国と重なる項目が少ないとすることができる。

2. 結論

本節では主成分分析が「生活の質」を測定し、「生活の質」の内容を国際比較するための尺度を作成し、系統的に意識の構造を比較するために有効な一つの方法であることを示した。ここでは触れなかったが、主成分分析には研究対象である一つの事象の多次元性を探索し、今後の分析のために関連のないと思われる項目を見つけたり、逆にどの側面が不十分でそれに関する項目（質問）を追加する必要があるのかなどを検討できると言う面もある。本研究によって得られた7ヵ国の調査データは、ここで示したように主成分分析を通して様々な意識の構造の国際比較研究に役立つことができる。たとえば「生活の質」などの一つの社会的、文化的な意識の内容の国々の相違を検討することができること、その意識の構造を比較することができること、理論的なアイデアを検討することができること等が挙げられる。また、ここでは述べなかったが、種々の社会意識の中でその要素となる項目がどのように強い関連を示すのか、またそれらがどの方向を示すのか（ポジティブ、ネガティブ）を検討することもできよう。

表1 生活の質に関する18の質問の主成分分析の因子負荷量(国別)

	フランス	西ドイツ	イギリス	アメリカ	日本	イタリア	オランダ
・分散の説明割合							
第一因子	17.9%	18.2%	19.6%	18.0%	17.7%	16.3%	15.9%
第二因子	12.0%	12.3%	11.3%	13.9%	12.1%	14.0%	9.9%
・各項目の因子負荷量							
社会的階層	.3402	.3492	.4994	.4867	.3495	.3237	.5722
不安感—重い病気	.4455	.4152	.4718	.4507	.4808	.4730	.4713
不安感—交通事故	.3945	.3025	.2906	.4296	.4800	.4687	.4014
不安感—失業	.4569	.4462	.5548	.5314	.5887	.4988	.5616
不安感—戦争	.4809	.6054	.4980	.4501	.4875	.5670	.4870
不安感—原子力 施設の事故	.4652	.5673	.5197	.4503	.5199	.5042	.5125
生活環境満足か	.1607	.0994	.4679	.4597	.3678	.1469	.3258
健康状態満足か	.2944	.1752	.4102	.3681	.3757	.3433	.3376
生活に満足か	.2134	.3957	.4359	.3447	.4055	.2858	.4212
近所の治安—強盗	.4135	.0268	.2873	.3071	.3965	.0530	.2550
近所の治安 —身の危険	.3802	-.0138	.2746	.3381	.4055	.0280	.2331
人間の健康面は よくなるか	.4449	.5910	.4368	.3534	.3317	.3744	.2468
心の安らかさは 増すか	.3368	.5822	.3027	.3932	.4125	.4841	.0853
人間の自由は ふえるか	.4708	.4772	.2985	.3283	.2304	.3972	.0050
幸福になるか	.5339	.6230	.4535	.3945	.4445	.5016	.2534
あなたの生活水準 10年の変化	.4933	.3980	.5645	.5074	.4020	.4453	.6022
国の生活水準 10年の変化	.5471	.4037	.6026	.5581	.3315	.4217	.4228
今後の生活水準	.5033	.4187	.3873	.3401	.4191	.4199	.3785
・因子負荷量0.2 以上の項目の数							
	17	14	18	18	18	15	16

表2 「生活の質」共通スケール(QOLC2)1)各国の得点およびアルファ係数(国別)

	平均得点 (標準偏差)	QOLC2に含まれる 項目数	クロンバッチ アルファ係数
フランス	2.53(.55)	12	.6640
西ドイツ	3.01(.51)	12	.6912
イギリス	2.98(.60)	12	.7122
アメリカ	3.01(.56)	12	.6643
日本	3.08(.48)	12	.6501
イタリア	2.57(.49)	12	.6221
オランダ	3.08(.50)	12	.6364

1) QOLC2は7カ国全てにおいて因子負荷量が0.2以上の項目からなるスケールである。

表3 国特有のスケール(QOLS2, QOLS3, QOLS4)の平均値とアルファ係数

	フランス	西ドイツ	イギリス	アメリカ	日本	イタリア	オランダ
QOLS2)							
平均値	2.49	2.93	2.95	3.03	3.10	2.62	3.11
(標準偏差)	(.50)	(.53)	(.51)	(.50)	(.43)	(.50)	(.42)
項目の数	17	14	18	18	18	15	16
アルファ係数	.7024	.7280	.7297	.7151	.7069	.6833	.6639
QOLS3)							
平均値	2.38	2.93	2.97	3.03	3.08	2.53	3.27
(標準偏差)	(.55)	(.53)	(.56)	(.50)	(.43)	(.52)	(.45)
項目の数	15	14	14	18	17	14	12
アルファ係数	.7001	.7280	.7242	.7151	.7036	.6801	.6837
QOLS4)							
平均値	2.45	2.76	3.01	2.85	3.09	2.30	3.30
(標準偏差)	(.62)	(.64)	(.58)	(.55)	(.49)	(.55)	(.52)
項目の数	11	10	12	10	11	10	9
アルファ係数	.6722	.7098	.7118	.7131	.6463	.6470	.6575

1) 各国それぞれにおいての因子負荷量が0.200以上の項目からなるスケール

2) 各国それぞれにおいての因子負荷量が0.300以上の項目からなるスケール

3) 各国それぞれにおいての因子負荷量が0.400以上の項目からなるスケール

表4 共通スケールQOL C2の12項目の因子負荷量の値の低い項目から高いもののリスト

	フランス	西ドイツ	イギリス	アメリカ	日本	イタリア	オランダ
因子負荷量が	#2.82	#2.30d	#2.30d	#7.31	#7.30b	#2.82	#7.18
最も小さい項目	#1.8	#1.8	#7.31	#2.82	#7.18	#1.8	#7.18e
	#2.30d	#2.82	#2.82	#7.18	#1.8	#7.18	#7.31
	#7.18	#7.30a	#7.18	#7.18c	#7.30a	#7.31	#2.30d
	#2.30	#7.30b	#7.18e	#2.30d	#2.82	#7.30b	#2.82
	#2.30e	#2.30	#2.30	#2.30f	#7.31	#7.30a	#7.30b
	#2.30g	#7.31	#2.30f	#2.30g	#7.18e	#2.30d	#2.30
	#2.30f	#2.30e	#1.8	#2.30	#2.30d	#2.30	#2.30f
	#7.30a	#2.30g	#2.30g	#1.8	#2.30	#2.30e	#2.30g
	#7.31	#7.18	#2.30e	#7.30a	#2.30f	#7.18e	#2.30e
因子負荷量が	#7.18e	#2.30f	#7.30a	#7.30a	#2.30e	#2.30g	#1.8
最も大きい項目	#7.30b	#7.18e	#7.30b	#7.30b	#2.30e	#2.30f	#7.30a

Complementary Scaling for
Cross-National Analyses of National Character

Ryozo Yoshino

Diana Khor

The Institute of Statistical Mathematics

Running head: Complementary Scaling

Abstract

This paper discusses different methods of measuring and comparing national character cross-nationally, considered respectively in terms of a multifaceted phenomenon and a specific aspect such as the quality of life. Using data collected in seven nations, we first applied the GHT model with VA representations to both a global and a specific pool of quality of life items, making use of the concept of "superculture" as a basis of comparison among countries. We then undertook principal components analysis for another global pool of items and the quality of life items, comparing the structure of different attitudes and the substantive level of quality of life among countries. The substantive results of the different methods of analyses concurred in some respects and differed in others. Importantly, the paper underscored the complementarity of different methods as equally fruitful ways to understanding national character in a cross-national context.

Complementary Scaling for Cross-National Analyses of National Character

1. Introduction

There is a rather established literature on the cross-national analyses of national character, either considered wholistically as a general cultural orientation, or in terms of specific themes such as the quality of life, modernity, materialism/post-materialism (Inkeles & Smith, 1974; Inglehart, 1994, 1977; Hayashi, Suzuki & Sasaki, 1992). The research team engaged in the longitudinal cross-national studies of national character, with which the first author is affiliated (Mizuno et al., 1992; Hayashi, Suzuki & Sasaki, 1992), developed a new methodology called cultural link analysis (CLA), refining sets of social survey questionnaire for the comparative analyses. CLA begins with the idea that in cross-national comparisons between nations, it is less appropriate to compare two very different nations from the beginning, and more important to elucidate the similar and different features in a pair of nations that share some common characteristics such as language, race, or cultural backgrounds. Such a pair of nations constitutes a meaningful comparative link. Combining links between nations successively, one can eventually make more global linkages to meaningfully compare several nations, some of which may be originally too different to make for meaningful comparisons.

In the course of developing CLA, and using several types of statistical methods such as Hayashi's Quantification Methods (Hayashi, 1954), Yoshino's GHT model and VA representations (Yoshino, 1989, 1992a), cross-table analyses (Hayashi, 1993; Hayashi, Suzuki & Sasaki, 1992), we realized that we need to use these statistical methods in complementary ways for the deeper understanding of national character in the cross-national context. In this paper, using data collected in seven countries, we will present Yoshino's GHT model and VA representations (Section 3) and introduce a method of scaling that is based on principal components analysis and widely used in sociological and social-psychological research to analyze various aspects of national character (Sections 4 and 5). In the conclusion, we will compare the findings obtained by different methods of analyses, discuss the merits of each method, and comment on the complementarity of various approaches.

2. Seven-National Study

The cross-national survey research which provides the data for the present analyses was undertaken by the Institute of Statistical Mathematics (ISM) and covers seven nations, namely, France, West Germany, U.S.A., Great Britain, Japan, Italy and the Netherlands. The data for Italy and the Netherlands were respectively collected in 1992 and 1993, while the data for the rest of the countries were collected between 1987 and 1988. These surveys were

informed by "cultural link analysis" (CLA) which selects countries on the basis of their "spatial" linkage in terms of "social, environmental, cultural, linguistic and ethnic characteristics" (Hayashi, Suzuki, & Sasaki, 1992, p. 9), and which constructs the questionnaires on the basis of "measurement links", including questions that are common across nations and those unique to each nation (Hayashi, Suzuki & Sasaki, 1992, pp. 10-11).

The questions included in the survey covered many aspects of social, political and economic phenomena, such as economic conditions, religious attitudes and orientations, human relationships, political inclinations and so on. The selection of these items reflected the research team's effort to refine the questions and to sufficiently cover all aspects of national character.

From all these items, we selected for the present analyses pools of global items (99 items or so for the analysis discussed in Section 3.1 and 54 items for the analysis discussed in Section 4) and a pool of items tapping quality of life (18 items for the analysis described in Sections 3.2 and 5).¹ The global pools of items were selected to reflect the multi-faceted nature of national character and includes many diverse aspects of cultural attitudes. The pool of items related to quality of life taps a respondent's subjective evaluation and anticipation of one-self's and others' well-being, worries about immediate personal matters and macro-level conditions; and assessment of one's objective circumstances. Appendix A gives the full listing of all questions included in the present analyses.

3. The GHT model with VA Representations

In Sec 3.1, a psychometric model (the GHT model) and its multidimensional representation (VA representation) are explained. And the model is applied to the data of seven nations comparative survey. The result show the global pattern which describe the mutual relationships between the seven nations. In Sec. 3.2, the model is applied to more specific items: quality of life.

3.1

Yoshino (1989, 1992) developed a sort of psychometric model, called the generalized high threshold (GHT) model, and its multidimensional representation for the cross-national study of national character. Mathematically, this is a generalization of a psychometric model proposed by Batchelder and Romney (1988), the high threshold (HT) model. The HT model is isomorphic to the latent class model (Lazarsfeld & Henry, 1968), but with the roles of informant and item reversed. The HT model is usually used for the analysis of the knowledge possessed by members of a culturally coherent group, whereas the GHT model (Yoshino, 1989, 1992a, 1992b) is used for the analysis of people's attitudes and characters. (See Appendix B for the details of the GHT model and the parameter estimation theory.)

In order to apply the GHT model to the data of the cross-national study, two assumptions are introduced as follows.

Assumption 1. The existence of "superculture": There is a sort of hypothetical culture underlying those countries (or nations) under consideration.

Originally each country has its own culture. Some countries share some cultural features particular to, for example, the highly industrialized, developed world. In this sense, it is possible to assume that the existence of a sort of "superculture" characterizing the countries under comparison.

Under this assumption, the parameter is introduced as a measure of degree of conformity of a certain country to the superculture. The next is a technical assumption to fit the GHT model to the present situation.

Assumption 2: Each country (nation) is regarded as an informant. For each question, an answer category which the largest percent of respondents of each country (nation) chose (i. e., mode) is regarded as the representative response of the country as a single respondent.

The original data shows the precise percentage of responses in each category of each question. One may think it a significant amount of information loss disregarding precise response distributions, but the GHT model elucidates a global structure of the data. (This is because the model considers the probabilistic choice process and the information contained in the data of matching rates of the responses sufficiently well.)

= Fig. 1 about here =

Fig 1a is VA representation of the result of application of the GHT model to the data of all items of seven nation's comparative survey. This shows a global relationships between those seven nations. Each nation is represented by a vector. The unit vector $(1, 0)$ is the superculture: the average image of these nations. The x-coordinate of each vector shows the degree of conformity to the superculture, and the cosine angle between two vectors shows their mutual matching rate of responses: if two vectors overlap, their responses coincide with completely, whereas if two vectors are orthogonal, their responses are totally different.

The global relationships between these seven nations are summarized in words as follows.

1. Great Britain is closest to the superculture. This may be interpreted that several cultures have developed from the European superculture (the early stage of capitalistic industrialization) which originated in Great Britain, although Great Britain may be no longer such a superpower country.
2. Roughly this global pattern corresponds to the geographical locations.

3. USA and Great Britain represented as the most similar pair in all aspects shown in the VA representation. This is probably because they share the common language and race, therefore many culture feature.
4. France and Italy are represented as a similar pair, isolated from other countries.
5. Japan and FRG are similar in an aspect (X-Y place) whereas dissimilar in another aspect (X-Z place). (See Yoshino 1992a for a more detailed explanation of the results).

As far as the data of these seven nations, Hayashi's quantification method III (QM III) reproduces the global pattern which is consistent with the VA representation obtained above.

3.2 The Application of the GHT Model to a Specific Theme

In contrast to the application of the GHT model to the data of all items, we show here that the GHT model can be applied to the data of more specific items, rather than all items, used in the questionnaire. For example, if the items related to quality of life (QOL) are analyzed,² the result is shown in Fig 2.

= Figures 2 about here =

The result is summarized in words as follows. Here "superculture" may be interpreted as the common feature to represent QOL of these seven nations. Roughly, the figure characterizes more clearly the mutual relationships among the seven nations than in Figure 1.

1. Again, Great Britain is the most conformal to the superculture.
2. Three pairs are consistently seen in Fig 2 a, b, and c: Japan and FRG, Italy and France, USA and the Netherlands. These pairings are clear.

i) Italy and France are Latin countries, so their perception of their own life may be similar.

ii) Japan and FRG were at the top of the world in terms of economic conditions around 1987.

iii) USA and the Netherlands are protestant countries.

For more substantial and deeper understanding of the results, we need more discrete analyses integrating various empirical knowledge and observations. We would refrain from prematurely developing any such explanations here.

4. PCA of Items Tapping Cultural Orientations

Using a different method of analysis, viz. principal components analysis, we will analyze the cultural orientation and quality of life of individuals in seven nations in this and the following section, beginning with an analysis of 54 items which supposedly tap cultural orientations or the national character of different cultures.

In the intellectual context of national character studies in general and cross-national attitudinal analysis and research in particular, the 54 items included in the seven-nation data set could be seen to tap the various aspects of traditionalism (versus modernity) (cf. Inkeles & Smith, 1974), materialism versus post- or non-materialism (cf. Inglehart, 1977, 1994), sense of alienation from society, political inclinations, the quality of life and related attitudes. The items are all coded such that a higher score reflects a more modern, more non-materialist/post-materialist orientation, a more participatory and collective orientation in politics, a better quality of life, and a weaker sense of alienation from society (see also Hayashi, Suzuki & Sasaki, 1992, Chapter 8).

= Table 1 about here =

Assuming that these 54 items are relevant to the understanding of national character or cultural orientations of various peoples,³ we undertake principal components analyses of all 54 items separately for each country and compare the results across countries.⁴ There are many aspects to such a comparison, including:

1. the extent to which these 54 items form a coherent "syndrome" in the seven countries;⁵
2. the structure of the attitudes, with respect to (a) how the items cluster within each country; and (b) the contribution of items representing various theoretical dimensions to the pool of items that cluster more closely in each country.

4.1 Do the 54 items Form a Coherent Syndrome that We Might Call the "Cultural Orientations" or the "National Character" of a People?

The results of the principal components analyses are given in Table 2. Judging by the percentage of variance explained by the first and second factors, it is quite obvious that the 54 items do not load unambiguously onto one dominant factor in any country. The percentage of variance explained by the first factor is low, varying between 5.9% in Britain to 7.6% in the Netherlands, and seldom exceeds the variance explained by the second factor by more than 2 percent.⁶

= Table 2 about here =

Generally, the higher the percentage of variance explained by the first factor, considered both absolutely and relative to the variance explained by the second factor, the more the items constitute a coherent "syndrome" representing a particular social phenomenon. The results of the present analysis, in contrast, suggest that the items are far from forming a coherent cluster or syndrome in any of the seven nations, that there is no one obvious or clear-cut dimension that underlies these 54 items. In other words, there are probably disparate

dimensions underlying these 54 items, or national character for that matter, which do not necessarily correlate with one another and need to be analyzed separately.

There are of course some differences among countries beyond the overall dominant pattern. For example, the percentage of variance explained by the first factor is highest in the Netherlands, which is almost 2% higher than that of Britain where there is the lowest percentage of variance explained. However, such differences among countries are small. More obvious, perhaps, are the differences in the number of items with relatively high loadings on the first factor. The number of items with loadings exceeding .2000 is higher in France, West Germany, Italy and the Netherlands (27 and 26) and lower in Britain, USA and Japan (17, 21 and 20). The pattern is repeated for the number of items with loadings exceeding .3000. In other words, more of the 54 items cluster closely together in France, West Germany, Italy and the Netherlands than in Britain, USA or Japan. This comparison suggests that, *relatively speaking*, the items form a more coherent cluster in the former group of countries than in the latter.

4.2 Structure of Attitudes

To compare the structure of attitudes across countries, we can study first, the overlaps of items between pairs of countries; and second, the pattern of the distribution of items across various theoretical dimensions in different countries.

Table 4 shows the counts of items with at least $|\cdot 2000|$ factor loadings in pairs of countries. Figures with a suffix "R" refer to the number of items that load in different direction in the pair of countries being compared.

= Table 3 about here =

France shares the largest number of overlaps with Italy than it does with other countries. In other words, there are more common items between France and Italy in the number of items that load at at least .2000 and in the same direction than between France and other countries. Similarly, Germany and U.S.A. also share the largest number of overlaps with Italy than they do with other countries. The Netherlands shares the largest number of overlaps with W. Germany while Japan shares the largest number of overlaps with the Netherlands. Britain shares the largest number of overlaps with France.

Considering the countries altogether as a pool, then, the largest number of overlaps between countries is found between Italy and France (22 items in the same direction), and secondarily between Italy and West Germany (15 items), between Italy and U.S.A., between W. Germany and France, and between W. Germany and the Netherlands (14 items in the same

direction in all these pairs of countries). Considered as such, Italy, France and West Germany seem to share more items with other countries. This is to a lesser extent also true of the Netherlands, while U.S.A., Britain and Japan seem in comparison to have noticeably fewer overlaps with other countries.

A more vigorous comparison of the structure of attitudes consists in comparing across countries the overlaps among items which load highest (top 6) and lowest (bottom 6) within the pool of items with factor loadings equal to or exceeding .2000. Such a comparison is also particularly informative in the absence of common scales to gauge whether we are, to some limited extent, comparing a similar pool of items across countries.

= Table 4 about here =

In general, there are more overlaps between countries in items with stronger loadings (top 6) than in items with weaker loadings (bottom 6). Comparing between pairs of countries, France-Italy, France-Netherlands, Italy-Netherlands and Britain-USA share the largest number of overlaps. To a lesser extent, France-W. Germany, France-Japan, W. Germany-USA, W. Germany-Italy, and W. Germany-the Netherlands also share a reasonable number of overlaps in items with top and bottom loadings. In general, one might conclude that France, Italy and the Netherlands, and to a somewhat lesser extent, W. Germany, share the largest number of overlaps among them with respect to the items with the highest and lowest factor loadings. Britain and USA, while close to each other, are more distant from the other countries. This is similarly true of Japan.

A different comparison - one that pays attention to the theoretical underpinnings of the items - can be undertaken if one looks at the items within each theoretical dimension, namely, *traditionalism, materialism, alienation, political inclinations and quality of life*. We can compare if the items load in the same manner (direction), and if the items that load relatively highly are similar or different across countries or pairs of countries. The theoretical dimensions we identified, while tentative, were rooted in extant literature. Further, the difference between Japan and other countries in the direction of the loadings of the items across theoretical dimensions, which we noted earlier in this subsection, might suggest that the theoretical dimensions we identified are substantively meaningful.

As noted above, the items are coded as such that higher score reflects a more modern, more non-materialist/post-materialist orientation, better quality of life, a more participatory and collective orientation in politics, and lower alienation from society. Among the seven countries, only in France do all the items with loadings exceeding .2000 load in the same manner. In other words, a modern, non-materialist, politically more participatory and collective orientation, better subjective quality of life, and lower alienation from (or higher

integration into) society all go together. In all other countries, there are isolated items scattered among various dimensions, which load in the opposite manner. The number of items that load negatively at .2000 or higher is 7 out of 20 in Japan, 5 out of 27 in W. Germany, 4 out of 26 in the Netherlands, 3 out of 21 in U.S.A., 2 out of 17 in Britain and 1 out of 27 in Italy. In other words, only a small minority of the items load negatively in all the countries with the exception of Japan where almost half of the items load negatively. One might therefore claim that the pattern of negative loadings suggests that in all countries, with the exception of Japan, the cultural orientations are constituted by positive correlations among modernity, non-materialism, activist and progressive political orientations, better quality of life, and lower alienation from society. In Japan, the negatively loaded items are scattered across the dimensions of non-materialism (2 out of 4), politics (1 out of 1), alienation (2 out of 3) and quality of life (2 out of 2). Therefore, one might say that, in Japan, the cultural orientations, on the aggregate, are constituted such that a more modern orientation is associated ambiguously with materialism/non-materialism, and positively with lower political activism, higher alienation from society, and lower quality of life. Or, considered obversely, a more traditional orientation is associated with greater political activism, lower alienation from society, higher quality of life, and a mixed materialist-non-materialist orientation. Considering only this aspect of comparison, we can observe that the cultural orientation in Japan is constituted very different from that of the other countries - a difference that we might perhaps see more clearly if the items included in the analyses are more even distributed among various theoretical dimensions.

There are also differences in the relative contribution of the items within each theoretical dimension. The following table shows the frequencies of items with loadings greater than .2000 and .3000, organized by theoretical dimensions. The distribution of items by theoretical dimension is given in the second column. A close examination of the table yields interesting patterns.

= Table 5 about here =

Considering the contribution of items with loadings exceeding .2000, and noticing only the most obvious under- or over-representation of items, Table 6 shows that Japan emerges as the only country with a fairly even contribution of items which mirrors the distribution of various items by dimensions in the pool of 54 items. Considering the over-represented and under-represented items separately, Italy, USA, Britain and France share the same pattern of an under-representation of materialism items; while West Germany and the Netherlands share an under-representation of quality of life items. Conversely, there is an over-representation of traditionalism items in all countries, to varying extent, with the exception of Britain where there is an over-representation of alienation items. In general, the broad picture suggests that first, Britain departs from the general pattern observed in other countries; second, Japan also departs from the general pattern in showing an almost balanced distribution of items from various

theoretical dimensions with factor loadings exceeding .2000; third, West Germany and the Netherlands are similar to each other in the over-representation of traditionalism items and under-representation of quality of life items; and last, in a less clear-cut manner, France, Italy and USA could also be considered similar to each other in showing an over-representation of traditionalism items and an under-representation of materialism items.

5. Constructing a Summary Measure of Quality of Life through Scaling

The quality of life, while considered a specific theme in the present analysis, is in its own right obviously a multi-dimensional and complicated phenomenon. To represent the "quality of life" in one country or cross-nationally and explore how it relates to varying social conditions and individual attributes necessitate the construction of summary measures. We will next discuss one way to arrive at parsimonious summary measures of the quality of life by way of scaling (Guttman, 1944).⁷ We undertake principal components analyses of items indicative of the quality of life, and compare the structure and the substantive level of quality of life in France, West Germany, Great Britain, U.S.A., Japan, Italy and the Netherlands. Our analysis suggests that a similar set of items can be used to gauge the quality of life cross-nationally, the level of which varies noticeably among these seven countries.

5.1 Comparing the Quality of Life in the Seven Countries:

We begin with a series of country-by-country principal components analyses of the 18 items identified as pertinent to a consideration of quality of life which were used earlier in the analyses discussed in Section 3.1. These items are coded for this analysis such that higher scores indicate higher quality of life (see Table 6).

= Table 6 about here =

Important information about the extent to which the items form a coherent cluster is obtained from the percentage of variance explained by the first and second factors and the size of each item's loading on the first factor. The results of this analysis are shown in Table 7.

== Table 7 here ==

The first factor explains more than 15% of the variance in all seven countries analyzed. However, there is no instance where the first factor explains twice as much variance as the second factor does, suggesting that the first factor is not quite as distinct as one might hope for. Or, in other words, the items do not unambiguously load on one single factor. A partial exception is that of Great Britain where the first factor explains 19.6% of the variance, which is almost twice as much as the 11.3% of the variance explained by the second factor.

While the items do not load dramatically onto one factor, there is also a sufficient number of items with factor loadings of such substantial magnitude that it is possible to combine them linearly into one scale. Based on the results of the country-by-country principal components analyses, we construct scales and compute scale scores to represent the quality of life in each country. Technically, we set a criterion factor loading (such as .20 or .30) and select the items with loadings on the first factor equal to or exceeding that criterion, combine the items in a scale by taking their average, and compute the mean score for each country. There are at least two approaches to constructing the scales. One can construct "common scales": scales that are "common" to all countries and include all the items that load on the same level in all countries. Alternatively, one can construct scales that are specific to each country and include only the items that load on the same level in a specific country, regardless of how they load in the other countries.

We construct one common scale that includes all 12 (out of 18) items with loadings of .2000 or above on the first factor.⁸ The six items that do not meet the .2000 criterion include: quality of life in area where you live (v2.3f), satisfaction with health (v2.3g), and safety in neighborhood and personal safety (v5.80a and b), and anticipation of changes in peace of mind and freedom in the future (v7.18b and v7.18c). Combining (taking the mean) of these twelve items, we construct a scale (QOLC2) and can compare substantively the mean level of the quality of life in these seven countries.

= Table 8 here =

Japan and the Netherlands have the highest mean among the seven countries, followed closely by West Germany and USA. France and Italy show the lowest mean, while Great Britain falls somewhere in between. The findings suggest that respondents in Japan show the highest (subjectively perceived) quality of life while respondents in France the lowest.⁹ In other words, among the seven nations, respondents in Japan and the Netherlands, and to a somewhat lesser extent respondents in West Germany and U.S.A., assess positively their material being in the recent past, are satisfied with their present material and non-material well-being, are optimistic about the general well-being in the future for themselves and for their society, and do not worry much about personal or macro-level problems. The reverse pattern is true of respondents in France and Italy.

One might argue that to select items common to all countries might have lowered the accuracy of the clustering in each country, though the Cronbach-Alpha statistics indicate that the reliability of the common scale in the respective countries is at least at a respectable .62,

with that in Great Britain exceeding .70. Nonetheless, to address this concern, we construct country-specific scales based on the loadings of the items on the first factor in each country. We construct three versions of these country-specific scales, corresponding to the criterion cut-off points (i.e. loadings on the first factor) of .2000, .3000 and .4000. The number of items and the mean of each version of the scale are given, by country, in Table 9.¹⁰

= Table 9 =

As might be expected, the reliability of the country-specific scales is generally higher, compared to that of the common scales, since the former scales are constructed based on the specific pattern of factor loadings in each country. All items load at at least .2000 in Great Britain, U.S.A. and Japan, resulting in an 18-item scale for all these three countries. Only a few items do not meet the .2000 criterion in other countries, resulting in a 17-item scale in France, a 16-item scale in the Netherlands, a 15-item scale in Italy and a 14-item scale in West Germany.

One interesting observation is that, despite the differences in the reliability of the scales, the mean scores of each country based on these country-specific scales are very similar to those computed from the common scales (compare Tables 8 and 9). Importantly, the relative rankings among countries obtained by the common scales and various versions of the country-specific scales are also very similar, with only minor differences. Let us take as an illustration QOLS2 - the country-specific scales constructed from items with .2000 or higher loadings on the first factor in each country. The Netherlands emerges as the country with the highest mean score (highest subjective quality of life), followed closely by Japan and U.S.A.. Again, France has the lowest mean score followed closely by Italy. West Germany and Great Britain fall somewhere in between. This pattern of relative rankings is virtually identical to that obtained from comparing the mean scores on the common scale (QOLC2) across the seven countries, and is repeated for the country-specific scales constructed from items qualifying at .3000 and .4000 loadings (i.e. QOLS3 and QOLS4) despite the fact that quite a large number of items are excluded in constructing these two versions of the scales. The similarity across various scales, especially between the common scales and the country-specific scales, in the substantive patterns of relative standings among countries in the quality of life means that the 12-item common scale can be used to gauge the quality of life in different countries effectively and that the common scale and the country-specific scales are practically interchangeable.¹¹

5.2 The Structure of Attitudes Related to Quality of Life across Countries

We have discussed the principal component analyses so far in terms of substantive differences and similarities across countries. In addition to the rankings of countries in the

quality of life with respect to their mean scores on various scales constructed, there are also differences and similarities in the structure of the attitudes among countries. For example, the variance explained by the first factor varies between a low of 15.9% in the Netherlands to a high of 19.6% in Great Britain. There are also variations in the loadings of the various items on the first factor. All the items load at least at .2000 in Britain, U.S.A. and Japan. France comes close with 17 items loading at the same level, followed by the Netherlands with 16 and Italy with 15. Only 14 items in West Germany load at .2000 or higher on the first factor. The difference between West Germany and other countries lessens if we use .3000 as the criterion loading. Only in the United States do all the 18 items load at .3000 level or higher; Japan follows closely with 17 items meeting the criterion. More items are excluded from other countries with the more stringent criterion of .3000, particularly in the Netherlands where the number of items qualifying drop to 12 only. Such variations across countries suggest that not all the 18 items constitute a coherent dimension in all countries; and that more items cluster coherently in some countries, such as the United States, than in others, such as the Netherlands. Comparing among countries systematically on this basis alone and using the criterion of .3000, we can see that Japan and U.S.A. are similar to each other in that all or almost all items in both countries meet the .3000 criterion, indicating that the 18 items do cluster coherently as a dimension tapping quality of life. France, Germany, Great Britain and Italy form another "group" where the items cluster relatively coherently, but less so than Japan and U.S.A. and more so than the Netherlands where the items seem to cohere least.

We minimize the differences in the substantive content of items across countries in constructing the common scales by selecting items that qualify in all countries. There might still be differences among countries with respect to the relative contribution of each item to the scale. For example, all items can qualify at a high loading of .4000 or so in one country while they vary between .2000 and .7000 in another. One way to compare such "attitudinal structures" is to rank order the loadings of the 12 items that are included in the common scale (QOLC2) and assess if the items with the top and bottom loadings agree across countries. A reasonable level of agreement among countries means that the comparison between countries is consistent in substantive content, that the items contributing strongly and those contributing weakly to the final score representing each country are sufficiently similar to each other. Table 10 shows the loadings of each of the 12 items on the first factor in all seven countries.

= Table 10 =

There seems to be a remarkable similarity among countries with respect to the loadings of various items, as reflected in the last few rows of the table showing the counts of items by the size of factor loadings. To compare more systematically, we rank order the factor loadings

and identify the items with the largest and the smallest loadings among the seven countries. (See Tables 11 & 12 below).

= Tables 11 & 12 =

There are variations in the extent of overlaps among items across countries. The largest number of overlaps are found between Great Britain and U.S.A. and between Great Britain and the Netherlands. Other "pairs" of countries with quite a large number of overlaps include, France-Great Britain, West Germany-Italy, Great Britain-Italy, U.S.A.-the Netherlands, and Japan-Italy. Using the concepts developed by cultural link analysis, we can interpret the results of this comparison as indicating stronger spatial links (viz. linkages in terms of social, environmental, cultural, linguistic and ethnic characteristics) between these respective pairs of countries among a small group of countries otherwise similar in the level of socio-economic development. In general, Great Britain shows a reasonably large number of overlaps with the most countries while West Germany and Japan seem to overlap with other countries much less so. However, we hesitate to over-emphasize the specific links between pairs of countries since the overall overlaps among countries in the items with the largest and the smallest loadings are rather impressive, in light of the fact that there is only a small number of items in the analyses and that the range of variation in the actual factor loadings is actually quite modest.¹² In other words, in using the 12-item common scale to compare the mean score on the quality of life across countries, we are indeed comparing a set of attitudes that are cross-nationally similar in content. This in turn means that one can use the 12-item common scale with confidence in measuring and analyzing the quality of life among these seven nations.

5.3 Comments on Principal Components Analyses

Using principal components analyses, we compared the structures of attitudes relevant to a consideration of general cultural orientations and quality of life in seven nations. Across different comparisons of general cultural orientations, we can see that France, West Germany, Italy, and the Netherlands on the one hand, and USA, Britain and Japan on the other hand, form two respective clusters which share more similarities among themselves. However, it needs also be noted that Britain and Japan also separately depart from the other 6 nations conspicuously, in the extent to which the items do not form a coherent cluster (in the case of Britain) and in the direction of the loadings of the items (in the case of Japan).

The clustering of countries is somewhat less distinct than that observed with respect to the quality of life. Considering solely the clustering of countries without much regard for the differences in the dimensions being compared, one might gather that Italy and the Netherlands are more similar to each other, while Britain, USA and Japan are more similar to one another.

France and Germany are also similar to each other while at the same time, France is rather similar to Italy and Netherlands and Germany to Japan.

There are of course substantive differences in the conclusions one can draw from the quality of life analyses and general cultural orientations analyses, despite some apparent similarities in the clustering of countries. For example, Britain has more items in common with other countries in the quality of life analyses while the reverse pattern is true in the cultural orientations analyses. These differences should not be surprising since the differences and similarities among countries are contingent on the aspects of cultural orientations analyzed. It is probably true that the differences and similarities among countries will stabilize with the accumulation of more analyses addressing various aspects of cultural orientations, and then we might begin to theorize what it is that underlies the differences and similarities among countries.

Scaling allowed us to parsimoniously summarize what is otherwise a relatively complicated multi-dimensional phenomenon such as the quality of life. This method also enabled us to take note of both the uniqueness of specific countries and commonalities across countries without biasing towards one or the other. Indeed, we believe that both country-specific scales and common scales are useful, depending on one's theoretical perspectives and interests. What the method described here does is help us assess the uniqueness and the similarities and decide if, for practical purposes, one can simplify the research procedure and use a common pool of items across countries to measure a social phenomenon. One will see the usefulness of the method we employed here even better with a larger pool of items, where selecting the "best" items that are comparable across countries and constructing parsimonious scales become more important. With a larger pool of items, one could test the idea if a set of attitudes could be taken as an undifferentiated whole (e.g. "quality of life") or whether one should introduce multi-dimensionality more systematically into the analyses (e.g. differentiating between material and non-material quality of life).

6. Concluding Remarks

In this paper, we described some scaling methods under the paradigm we called "complementary scaling". We have discussed, for example, the complementarity of multi-dimensional scaling and uni-dimensional scaling, global scaling and local scaling, as well as scaling on a specific topic and scaling on a broader, more wholistic phenomenon. Each of the methods described here gave us a different but complementary perspective on the multi-faceted conglomerate of cultural attitudes referred to in extant literature as the "national character". The conclusions we drew from each analysis might differ. For example, GHT model introduced the idea of "superculture" and its application to a set of 18 quality of life items yielded the conclusion that Great Britain conforms most to the superculture while pairs of other countries were found to be similar to each other, such as Italy and France, Japan and the former West

Germany, and USA and the Netherlands. We likewise concluded from the principal components analyses that more substantive similarities are found between Italy and France on the one hand, and among Japan, the Netherlands, West Germany and USA on the other hand. Respondents in the former pair of countries perceive themselves as having a relatively low quality of life, in contrast to the respondents in the latter group of countries. The similarities and differences among countries were not precisely replicated in the analysis of the structure of the responses.

The differences in conclusions drawn in terms of the structural and substantive differences and similarities among countries in the same analyses or in different analyses should not be seen as a problem. Rather, it is more fruitful to look upon these disparate results, and hence the various methods of analyses, as providing different insights and perspectives into clearly complicated phenomena. As we noted in the introduction, we need to use these various methods in complementary ways for the deeper understanding of national character. Principal components analyses provided a way to substantively analyze the quality of life as well as to understand how various attitudes correlate with each other. For example, it was interesting to note that Japan differs from all other nations in the configuration of its attitudes, where a more traditional orientation is associated with greater political activism, lower alienation from society and higher quality of life. GHT modelling with VA representations offered another way of understanding differences and similarities among nations by making use of the concept of a "superculture" - an average image of nations being analyzed - to gauge and compare the aggregate (dominant) responses among nations. The initial results discussed here could be pursued to facilitate a better formulation of research problems and a better understanding of the similarities and differences among countries. Such complementarity as we discussed here can of course be extended from a specific concern with scaling, or even a particular method of analysis, to a broader notion of the complementarity of perspectives in the cross-national analysis of national character. A critical use of different methods and exchange among researchers with different perspectives could help piece together the mosaic which is the collective character of different nations and cultures.

Acknowledgements

Preparation of this article was supported by Grant-in-Aid for Developmental Scientific Research of the Ministry of Education, Science and Culture.

Diana Khor would like to thank Dr. Alex Inkeles for imparting his expert knowledge and extensive research experience to her with much patience and thoroughness.

Requests for reprints should be sent to Ryozo Yoshino, who is now at the Institute of Statistical Mathematics, at 4-6-7 Minami-Azabu, Minato-ku, Tokyo 120, Japan.

Footnotes

¹ It is rather apparent that we can better compare the methods if the same pool of items were used, in the two global analyses, for example. However, it is hoped that by using different sets of items in analyses that are differentially connected to each other, we could also better illustrate the usefulness of each method. The pools of items were also chosen in recognition of other ongoing analyses that are based on the same pools of items and which used different methods.

² Items include: v1.8 (Q16), v2.30 (Q9), v2.30d (Q9), v2.30e (Q9), v2.30f (Q9), v2.30g (Q9), v2.3f (Q23), v2.3g (Q15), v2.82 (Q29), v5.80a (Q24.a), v5.80b (Q24.b), v7.18 (Q7), v7.18b (Q5), v7.18c (Q6), v7.18e (Q4), v7.30a (Q2), v7.30b (Q1), v7.31 (Q3).

³ And note that this is a big assumption. The outcome of the analysis and the observed similarities and differences among countries are ultimately contingent on the pool of items one begins with. We are bypassing rather significant theoretical-cum-methodological issues here to undertake a principal components analysis of the 54 items primarily for the purpose of a technical comparison among various methods of analyzing structures of attitudes in different cultures.

⁴ Note that there is a problem of difference in *weight* since the items are not equally weighted by virtue of the way the questions are structured. There are questions with 3 possible responses, some with 4 responses, and some with 5 responses. We recoded those with 3 possible responses from "1, 2, 3" to "1, 3, 5" in an attempt to address this problem of differences in weight. Of course, we can also standardize the items but that would render interpretation of scale means more difficult and less intuitive.

⁵ Contingent on the results of the principal components analysis, one can also attempt a substantive comparison of where different cultures stand with respect to traditionalism-modernity, materialism-post-/non-materialism, the sense of alienation from society, political inclinations and the quality of life. As will be seen in section 5.1, the present analysis shows rather convincingly that the 54 items do not form a coherent syndrome, and hence it is not appropriate to construct scales and compare cultural orientations substantively across nations.

⁶ We used the statistical software "SPSS" for the analyses reported here. The percentage of variance explained and factor loadings were obtained from the initial statistics yielded by a principal components factor analysis procedure.

⁷ Scaling is used widely in sociological and social-psychological research on a range of social-political phenomena. Scales have been constructed to represent complex multi-dimensional political phenomena, such as democracy and autocracy (see, for example, Coppedge & Reinicke, 1991; Gastil, 1991; Gurr, Jagers & Moore, 1989; Gurr, Jagers & Moore, 1991) as well as the psycho-social orientations of individuals, such as individual modernity (Inkeles & Smith, 1974).

⁸ If one tightens the criterion to .3000 or above, only 8 or fewer items would qualify. In our opinion, since more than half of the items in a small pool of 18 items are excluded, the scale thus constructed may not capture the quality of life sufficiently well.

⁹ The items that do not meet the .2000 criterion are those pertaining primarily to the "report" of current physical quality of life. The items that qualify and which subsequently constitute the scales refer primarily to the subjective assessment and projection of one's and others' well-being.

¹⁰ One might argue that since these scales are composed of different items in each country, one cannot really compare them. However, if one operates with the theoretical assumption that all the items, while different, reflect quality of life, and that different *specific* items are relevant in different countries, then one can still legitimately compare the country-specific scales across countries.

¹¹ For a more elaborate discussion of a comparison between country-specific and common scales, see Inkeles & Leiderman, 1994.

¹² In addition, one should also note that these "spatial links" are not necessarily consistent across comparisons. For example, U.S.A. and Japan were shown to be similar to each other, and hence apart from other countries, in how closely clustered the eighteen items are in general.

Appendix A

List of Questions in the Analysis

The following questions are taken directly from the 1988 U.S.A. survey.

v1.8: Self-assessment of standard of living

Q. 16: Using the classifications on this card, how would you classify your current standard of living? Just call off the letter, please.

- 1: Upper
- 2: Upper Middle
- 3: Middle
- 4: Lower Middle
- 5: Lower
- 9: Don't Know

v2.1: custom vs. conscience

Q35: If you think something is right, do you think you should go ahead and do it even if it is contrary to usual custom, or do you think you are less apt to make a mistake if you follow custom?

- 1: go ahead even if contrary
- 2: follow custom
- 3: undecided/it depends
- 8: other (please specify)
- 9: don't know

v2.12: are people helpful most of the time

Q51: Would you say that most of the time, people try to be helpful, or that they are mostly just looking out for themselves?

- 1: try to be helpful
- 2: look out for themselves
- 8: other (please specify)
- 9: don't know

v2.12b: are most people fair

Q52: Do you think that most people would try to take advantage of you if they got the chance, or would they try to be fair?

- 1: take advantage
- 2: try to be fair
- 8: other (please specify)
- 9: don't know

v2.12c: are most people trustworthy

Q53: Generally speaking, would you say that most people can be trusted or that you can't be too careful in dealing with people?

- 1: can be trusted
- 2: can't be too careful
- 8: other (please specify)
- 9: don't know

v2.2b: consensus vs. own principle

Q47: Which of the two people described on this card would you like best? Just read off the letter.

1: A person who stresses his/her own principles rather than achieving a consensus among other group members.

2: A person who stresses the importance of achieving a consensus among other group members rather than maintaining his/her own principles.

8: other (please specify)

9: don't know

v2.30:worry: serious illness

v2.30d:worry: car accident

v2.30e:worry: unemployment

v2.30f:worry: war

v2.30g:worry: nuclear power accident

Q. 9: To what extent do you worry, either for yourself or for your family, about each of the following? Would you say very much, somewhat, slightly, or not at all?

Serious illness, car accident, unemployment, war, nuclear power accident.

1: very much

2: somewhat

3: slightly

4: not at all

9: don't know

v2.3f: Quality of life in area where you live

Q. 23: How do you feel about the quality of life in the area where you live?

1: very satisfied

2: fairly satisfied

3: fairly dissatisfied

4: very dissatisfied

9: don't know

v2.3g: Satisfaction with health

Q.15: For your age, how satisfied are you with your health? Would you say...

1: very satisfied

2: fairly satisfied

3: fairly dissatisfied

4: very dissatisfied

9: don't know

v2.4: attitudes towards life

Q22: There are all sorts of attitudes towards life. Which one of the following statements would you say comes closest to your way of life? Just call off the letter, please.

1: work hard and get rich

2: study earnestly and make a name for yourself

3: don't think about money or fame, just live a life that suits your own taste

4: live each day as it comes, cheerfully and without worrying

5: resist all evils in the world and live a pure and just life

6: never think of yourself, give everything in service of society

8: other (please specify)

9: don't know

v2.5: man and nature

Q43: Here are three opinions about man and nature. Which one of these do you think is closest to the truth? Just give me the letter.

- 1: in order to be happy, man must follow nature
- 2: in order to be happy, man must make use of nature
- 3: in order to be happy, man must conquer nature
- 8: other (please specify)
- 9: don't know

v2.8: if had enough money, still work

Q18: If you were to get enough money to live as comfortably as you would like for the rest of your life, would you continue to work or would you stop working?

- 1: continue to work
- 2: stop working
- 8: other (please specify)
- 9: don't know

v2.82: Satisfaction with life

Q. 29: Now I want to ask about your life as a whole. How satisfied are you with your life as a whole these days? Which letter on this card comes closest to your feeling ?

- 1: completely satisfied
- 2: somewhat satisfied
- 3: neither completely satisfied nor completely dissatisfied (neutral)
- 4: somewhat dissatisfied
- 5: completely dissatisfied
- 8: other (please specify)
- 9: don't know

v3.1: religious faith

Q62.a: I would like to ask you a few questions about religion. Do you have any personal religious faith?

- 1: yes
- 2: no
- 3: don't know

v3.2: religious attitude

Q63: Without any reference to any of the established religions, do you think a religious attitude is important, or not important?

- 1: important
- 2: not important
- 8: other (please specify)
- 9: don't know

v3.3: all religions same

Q64: Some people say that although there are many different religions in the world, each with their own beliefs, their teachings really all amount to the same thing. Would you agree with this or disagree?

- 1: agree
- 2: disagree
- 8: other (please specify)
- 9: don't know

v4.10: adopt a child

Q12: If you had no children, would you think it desirable to adopt a child in order to continue the family line, even if there is no blood relationship? Or do you not think this is important?

- 1: would adopt
- 2: would not adopt
- 3: depends
- 8: other (please specify)
- 9: don't know

v4.11: respect for ancestors

Q11: Would you say you are, on the whole, more inclined than the average [American] to respect your ancestors or less?

- 1: more than the average [American]
- 2: less than the average [American]
- 3: average
- 8: other (please specify)
- 9: don't know

v4.30: home is relaxing place

Q37: Do you agree with the following statement: "Home is the only place where I can relax and feel good?"

- 1: yes
- 2: no
- 8: other (please specify)
- 9: don't know

v4.31: housework and child care

Q39: Which of the statements on this card comes closest to your own opinion about housework and child care? Just call off the letter, please.

- 1: they are women's work
- 2: some of the work is more suited to women
- 3: all of the work should be divided between men and women without differentiation
- 9: don't know

v4.32: marriage is permanent

Q38: Which of the statements on this card comes closest to your opinion about marriage? Just call off the letter, please.

- 1: marriage is permanent
- 2: marriage may be broken only under serious circumstances
- 3: marriage can be broken by simple agreement of the two partners
- 9: don't know

v4.4: rumor about teacher

Q40: Suppose that a child comes home and says that he has heard a rumor that his teacher had done something to get himself into trouble, and suppose that the parent knows this to be true. Do you think it is better for the parent to tell the child the truth, or to deny it?

- 1: tell the truth
- 2: deny it
- 8: other (please specify)
- 9: don't know

v4.5: teaching children that money is important

Q33: In bringing up children of elementary school age, some people think that they should be taught as early as possible that money is one of the most important things in life. Do you agree with this or not?

- 1: agree
- 2: disagree
- 3: undecided/it depends
- 8: other (please specify)
- 9: don't know

v5.1: benefactor death-bed

Q41: Imagine this situation. Mr. A was orphaned at an early age and was brought up by Mr. B, a kind neighbor. Mr. B gave him a good education, sent him to a university, and now Mr. A has become the president of a company. One day he gets a telegram saying that Mr. B who brought him up, is seriously ill and asking if he would come at once. This telegram arrives as he is leaving to attend an important meeting which will decide whether his firm is to go bankrupt or to survive. Which of the following do you think he should do? Just call off the letter, please.

- 1: leave everything and go back home
- 2: however worried he might be about Mr. B, he should go to the meeting
- 8: other (please specify)
- 9: don't know

v5.1b: real father death-bed

Q42: The last question supposed that Mr. B had taken him in as an orphan in his youth and brought him up. Suppose that it was his real father who was seriously ill. Which would have been your answer then?

- 1: leave everything and go back home
- 2: however worried he might be about his father, he should go to the meeting
- 8: other (please specify)
- 9: don't know

v5.1c1: employment examination: relative

Q48: Suppose that you are the president of a company. The company decides to employ one person, and then carries out an employment examination. The supervisor in charge reports to you saying, "Your relative who took the examination got the second highest grade. But I believe that either your relative or the candidate who got the highest grade would be satisfactory. What shall we do?" In such a case, which person would you employ?

- 1: one with the highest grade
- 2: your relative
- 8: other (please specify)
- 9: don't know

v5.1c2: employment examination: son of benefactor

Q49: In the last question we supposed that the one getting the second highest grade was your relative. Suppose that the one who got the second highest grade was the son of parents to whom you felt indebted. Which person would you employ?

- 1: one with the highest grade
- 2: son of your benefactor
- 8: other (please specify)
- 9: don't know

v5.1d1-v5.1d4: important thing

Q45: If you were asked to choose the two most important items listed on this card, which two would you choose? Just call off the letter.

- A. respect for parents
- B. repaying people who have helped you in the past
- C. respect for the rights of the individual
- D. respect for the freedom of the individual

- 1: designated
- 0: not designated

v5.6: type of boss preferred

Q50: Suppose you are working in a firm. Which of the following department chiefs would you prefer to work under? Just call off the letter.

- 1: A man who always sticks to the work rules and never demands any unreasonable work, but who, on the other hand, never does anything for you personally in matters not connected with work.
- 2: A man who sometimes demands extra work in spite of rules against it, but who, on the other hand, looks after you personally in matters not connected with work.
- 8: other (please specify)
- 9: don't know

v5.6h: desirable person: efficient vs. friendly

Q46: Whom do you consider more desirable as a person?

- 1: Mr. S. who is friendly and can be counted on to help others but is not an efficient worker.
- 2: Mr. T. who is an efficient worker but is indifferent to the worries and affairs of others.
- 8: other (please specify)
- 9: don't know

v5.80a: Safety in neighborhood: burglary

Q.24a: How much of a problem is safety in this neighborhood as far as the following are concerned? First of all burglary, how serious a problem is this?

- 1: A serious problem
- 2: A problem
- 3: not a serious problem
- 4: not a problem at all
- 9: don't know

v5.80b: Personal safety

Q.24b: And how about personal safety, that is things like mugging? How serious a problem is this in your neighborhood?

- 1: A serious problem
- 2: A problem
- 3: not a serious problem
- 4: not a problem at all
- 9: don't know

- v5.81a: importance: immediate family and children
- v5.81b: importance: career and work
- v5.81c: importance: free time and relaxation
- v5.81d: importance: friends
- v5.81e: importance: parents and other relatives
- v5.81f: importance: religion and church
- v5.81g: importance: politics

Q27: Using this scale, where "7" is "very important", and "1" is "not important at all", can you tell me how important each of the following are to you?

- A. your immediate family and children, if you have any
- B. career and work
- C. free time and relaxation
- D. friends and acquaintances
- E. parents, brothers, sisters, and other relatives
- F. parents, brothers, sisters, and other relatives
- G. religion and church
- H. politics

v7.1: science and loss of human feeling

Q32: Some people say that with the development of science and technology, life becomes more convenient, but at the same time, a lot of human feeling is lost. Do you agree with this opinion or do you disagree?

- 1: agree
- 2: disagree
- 3: undecided/it depends
- 8: other (please specify)
- 9: don't know

v7.18: People's health:

Q.7: Do you think that people's health will improve in the future, or do you think it will get worse?

- 1: improve
- 2: get worse
- 3: not change
- 8: Other (please specify)
- 9: don't know

v7.18b: Peace of mind

Q.5: How about people's peace of mind? Do you think it will increase or decrease?

- 1: increase
- 2: decrease
- 3: not change
- 8: other (please specify)
- 9: don't know

v7.18c: Freedom

Q.6: What about people's freedom? Do you think it will increase or decrease?

- 1: increase
- 2: decrease
- 3: not change
- 8: other (please specify)
- 9: don't know

v7.18e: Happiness in future

Q.4: Do you think people, in general, will be more happy or less happy than they are now?

- 1: more happy
- 2: less happy
- 3: no change
- 8: other (please specify)
- 9: don't know

v7.2: mechanization and human feeling

Q36: Some people say that no matter how mechanized the world gets, nothing can reduce the richness of human feelings. Do you agree with this opinion, or do you disagree?

- 1: agree
- 2: disagree
- 3: undecided/it depends
- 8: other (please specify)
- 9: don't know

v7.24: most important aspect of work

Q20: Here are some of the things people usually take into account in relation to their work. Which one would you personally place first? Just call off the letter, please.

- 1: a good salary so that you do not have any worries about money
- 2: a safe job with no risk of closing down or unemployment
- 3: working with people you like
- 4: doing an important job which gives you a feeling of accomplishment
- 8: other (please specify)
- 9: don't know

v7.25: life without work

Q19: Please read the two statements on this card. Which of these comes closest to your own opinion? Just call off the letter, please.

- 1: no matter how much money you have, life without work is unfulfilling
- 2: as long as you have money, life is fulfilling even if you don't have a job
- 9: don't know

v7.30a: Your standard of living 10 years ago

Q.2: Compared with 10 years ago, do you think your standard of living is

- 1: much better
- 2: slightly better
- 3: about the same
- 4: slightly worse, or
- 5: much worse
- 9: don't know

v7.30b: Standard of living in country 10 years ago

Q.1: Compared with ten years ago do you think the standard of living of Americans as a whole is....

- 1: much better
- 2: slightly better
- 3: about the same
- 4: slightly worse, or
- 5: much worse
- 9: don't know

v7.31: Living conditions in future

Q3: Over the next five years do you think your living conditions will get ...

- 1: much better
- 2: slightly better
- 3: about the same
- 4: slightly worse, or
- 5: much worse
- 9: don't know

v7.4: improve the country or make people happy

Q44: Please choose from among the following statements the one with which you agree most. Just the letter, please.

- 1: If individuals are made happy, then and only then will the country as a whole improve.
- 2: If the country as a whole improves, then and only then can individuals be made happy
- 3: Improving the country and making individuals happy are the same thing.
- 8: other (please specify)
- 9: don't know

v7.82: idle grasshopper and diligent ant

Q25: There is a story of a lazy grasshopper and a hard-working ant in one of Aesop's fables. When winter came, the grasshopper who spent the summer singing came for help to the ant who worked all through the summer. The ant could have given either of the two replies you see on this card. Which of the two do you think suits you best as the conclusion of the story? Just call off the letter, please.

- 1: The ant sends the grasshopper away because it is only natural that the grasshopper should suffer now
- 2: The ant first admonishes the grasshopper, saying, "you are to blame for having been lazy. You should work harder from now on," and then shares his food.
- 8: other (please specify)
- 9: don't know

v8.1b: leave it up to political leaders

Q34: Some people say that if we get outstanding political leaders, the best way to improve the country is for the people to leave everything to them, rather than for the people to discuss things among themselves. Do you agree with this, or disagree?

- 1: agree
- 2: disagree
- 3: undecided/ it depends
- 8: other (please specify)
- 9: don't know

v8.2e: democracy
v8.2f: capitalism
v8.2g: liberalism
v8.2h: socialism

Q67: Would you say you have a favorable or unfavorable opinion towards each of the following ideas?

- A. democracy
- B. capitalism
- C. liberalism
- D. socialism

- 1: favorable opinion
- 2: it depends
- 3: unfavorable opinion
- 9: don't know

v8.80: country's goal

Q8: There is a lot of talk these days about what the country's goals should be for the next ten or fifteen years. On this card are listed some of the goals that different people believe should be given top priority. Which one of them do you yourself consider most important in the long run? Just call off the letter, please.

- 1: maintaining order in the nation
- 2: giving the people more say in important government decisions
- 3: fighting rising prices
- 4: protecting freedom of speech
- 8: other (please specify)
- 9: don't know

Appendix B

Formalization of the GHT Model

This section presents a summary of the GHT model. See Yoshino (1989, 1992a, 1992b) for the more detailed explanation.

The following notation is used. M N be respectively the number of questions of the questionnaire under consideration and the number of informants (or respondents).

S_k : the number of the choices in the k -th question item.

$X=(X_{ik})_{N \times M}$: a $N \times M$ matrix, where the (i,k) -th element

X_{ik} represents a response category (or choice) of the i -th informant to the k -th item,

$Z=(Z_k)_{1 \times M}$: a $1 \times M$ vector, where the k -th element Z_k provides the representative answer of the k -th item to the common culture.

M_{ij} : the matching rate of responses between informants i and j ($0 < M_{ij} < 1.0$).

The formal definition of the GHT model is as follows.

Definition 1. The generalized high threshold model is characterized by the following three axioms.

Axiom 1: Common truth. There is a fixed set of representative answers applicable to the culture: each question ; item k has the answer z_k which represents the common culture.

Axiom 2: Local independence. The informant-item response random variables satisfy conditional independence given by

$$\Pr[(X_{ik})_{N \times M}=(x_{ik}) \mid (Z_k)_{1 \times M}=(z_k)_{1 \times M}] = \prod_i \prod_k \Pr(X_{ik}=x_{ik} \mid Z_k=z_k),$$

where $(z_k)_{1 \times M}$ is the set of representative answers.

Axiom 3: Homogeneity of items: Let $(z_k)_{1 \times M}$ be the set of representative answers.

The following equation is satisfied.

$$\begin{aligned} & \Pr[(X_{ik}=s) \mid Z_k=z_k] \\ &= D_i + (1 - D_i)g_{ik} \text{ if } z_k = s, \\ &= (1 - D_i)g_{ik}, \text{ otherwise,} \end{aligned}$$

where $0 \leq D_i, g_{ik} \leq 1.0$ ($i = 1, 2, \dots, N$). D_i and g_{ik} are interpreted as, respectively, the informant i 's degree of conformity to the common culture (or competence in test theory)

and response bias. If $g_{ik} = 1/S_k$ for all $i (= 1, 2, \dots, N)$ and $k (= 1, 2, \dots, M)$, then this model is said to be unbiased.

Axiom 1 is assumed to consider a common culture, a sort of standard against which those informants are compared for the elucidation of their mutual relationships. Axiom 2 may be regarded as a working hypothesis for pattern analysis (cf. Langeheine & Rost, 1988, p.2).

Axiom 3 means that the informant i intentionally chooses a representative answer with probability D_i and otherwise chooses an answer "s" with probability g_{ik} . If it is unbiased, the choice probability of non-representative answers is uniform over the choice categories.

Under Axioms 1-3, one can derive the following equation.

$$E[(M_{ij} - A)/(1 - A)] = D_i D_j, \text{ where}$$

$$A = (\sum_i 1/S_i)/M,$$

$$M_{ij}^* = (M_{ij} - A)/(1 - A).$$

By this equation, one can obtain:

$$D_i^2 = E(M_{ij}^*)E(M_{ik}^*)/E(M_{jk}^*) \dots (1)$$

By replacing $\{M_{ij}^*\}$ with corresponding observed data, one can get an estimator of D_i for all i , denoted \hat{D}_i .

Eq. 1 holds for $(N-1)(N-2)/2$ distinctive pairs of j and k , so one obtains the same number of estimators for each D_i . The author uses the geometric means as the initial estimators of $\{D_i\}$ and the method of least-squares to obtain the final estimators. As for the estimation of representative answers, one may adopt the following rule. For $k = 1, 2, \dots, M$, "z_k" is estimated to be "s" ($= 1, 2, \dots, S_k$) to maximize.

$$\Pr(Z_k = s: (X_{ik})) = \Pr[(X_{ik}): Z_k=s] \Pr(Z_k=s) / \{\sum \Pr[(X_{ik}): Z_k=s] \Pr(Z_k=s)\} \dots \text{Eq.2.}$$

Thus, theoretically, those unknown parameters $\{D_i\}$ and $\{Z_k\}$ are estimable only from the response data $\{X_{ij}\}$, by using Eq.1 and Eq.2.

Vectorial Angular Representation

The formal theory is as follows. Let us begin with a two dimensional representation. Recall, in the GHT model, the response matching rate is represented as, for $i, j = 1, 2, 3, \dots, N$ ($i = j$):

$$E(M_{ij}) = (1 - A)D_iD_j + A.$$

The superculture, a sort of hypothetical culture characterizing all those informants (or countries) under consideration, is represented as informant 0 for convenience and fix it as a unit vector (1.0, 0.0). Each informant i is represented by a vector (X_i, Y_i) . The matching rates $\{M_{ij}\}$ can be obtained as observable data and the conformity parameters $\{D_i\}$ can be estimated on those data. In the construction of a VA representation, the estimated parameters are considered fixed numbers and represented as the first coordinates $\{X_i\}$ of those informants, i.e.,

$$X_i = D_i \text{ for } i = 1, 2, \dots, N. \quad \dots \text{ Eq. 3.}$$

Then, it is assumed that the cosine of the angle between two vectors of informants i and j corresponds to the matching rates as in the following equations:

$$\begin{aligned} E(M_{ij}) &= (X_i, Y_i) \cdot (X_j, Y_j) / \{(X_i^2 + Y_i^2)^{1/2} (X_j^2 + Y_j^2)^{1/2}\} \\ &= (X_i X_j + Y_i Y_j) / \{(X_i^2 + Y_i^2)^{1/2} (X_j^2 + Y_j^2)^{1/2}\} \quad \dots \text{ Eq. 4} \end{aligned}$$

where $X_i = D_i$ and $X_j = D_j$.

There are $N(N-1)/2$ constraining equations of matching rates $\{M_{ij}\}$ and N unknown parameters $\{Y_i\}$ for the VA representation of N informants. Therefore, theoretically, the unknown parameters can be estimated in the method of least-squares. Namely, $\{Y_i\}$ are estimated so as to minimize the residual RS defined by

$$RS = \sum_{i,j} [E(M_{ij}) - (X_i X_j + Y_i Y_j) / \{(X_i^2 + Y_i^2)^{1/2} (X_j^2 + Y_j^2)^{1/2}\}]^2 \quad \dots \text{ Eq. 5,}$$

where the coordinates $\{X_j\}$ are given by Eq. 3.

One can use the observed matching rate as the estimator of $E(M_{ij})$.

It is possible to extend this representation to a space in a higher dimension.

Actually, there may be several alternative ways to perform this calculation. Here, the numerical values for $\{X_i\}$ and $\{Y_i\}$ estimated in the two dimensional space are used to obtain the third coordinates $\{Z_i\}$ so as to minimize RS, and these $\{X_i\}$, $\{Y_i\}$ and $\{Z_i\}$ are used to estimate the fourth coordinates $\{W_i\}$, and so on.

As for the residual RS, if one considers $\{M_{ij}\}$ reliable up to the first order below the decimal point in Eq. 5, then an acceptable residual is at most $(10^{-1})^2 N(N-1)/2$. It should be

noted that some orthogonal rotations of the configuration (except the superculture) along the coordinates axes X, Y, or Z with appropriate adjustments of the lengths of vectors (i.e., $X_i = D_i$) are admissible transformations of the configuration under construction. Therefore, in order to obtain a unique representation, the configuration is rotated so that the center of the angles between vectors is located on the X axis (along which the vector of superculture is represented) such that the following equations are satisfied:

$$\sum A_{1i} D_i / \sum D_i = 0.0 \text{ and}$$

$$\sum B_{1i} D_i / \sum D_i = 0.0,$$

where $A_{1i} = \arctan(Y_i/X_i)$ and $B_{1i} = \arctan(Z_i/X_i)$. Then, the length of each vector is adjusted (contraction or expansion) so that the first coordinates become D_i .

References

- Batchelder, W. H., & Romney, K. (1988). Test theory without an answer key. Psychometrika, 53, 1, 71-92.
- Batchelder, W. H., & Romney, K. (1989). New results in test theory without an answer key. In Advances in Mathematical Psychology. Vol. II. Heidelberg, New York: Springer-Verlag.
- Benzecri, J. P. (1980). L'Analyse des donnees, l'analyse de correspondance (rev. ed.). Paris: Dunod.
- Coppedge, M. and W.H. Reinicke. (1991). Measuring Polyarchy. In A. Inkeles (Ed.), On Measuring Democracy: Is Consequences and Concomitants (pp. 47-68). New Brunswick: Transaction Publishers.
- Eurobarometer (1990, November). Standard eurobarometer survey, No. 34.
- Gastil, R. D. (1991). The Comparative Survey of Freedom: Experiences and Suggestions. In A. Inkeles (Ed.), On Measuring Democracy: Is Consequences and Concomitants (pp. 21-46). New Brunswick: Transaction Publishers.
- Gurr, T.R., K. Jagers, and W. Moore. (1991). The Transformation of the Western State: The Growth of Democracy, Autocracy, and State power since 1800. In A. Inkeles (Ed.), On Measuring Democracy: Is Consequences and Concomitants (pp. 69-104). New Brunswick: Transaction Publishers.
- Gurr, T.R., K. Jagers, and W. Moore. (1989). Polity II Codebook. Boulder, CO: Center for Comparative Politics, Department of Political Science, University of Colorado.
- Guttman, L. (1944). "A Basis for Scaling Qualitative Data", American Sociological Review, 9, 139-150.
- Hayashi, C. (1954). Multidimensional quantification- with the applications to analysis of social phenomena. Annals of the Institute of Statistical Mathematics, 5, 231-245.
- Hayashi, C. (1979). Some statistical methods in market survey. Proceedings of the 42nd Session of International Statistical Institute, Vol. 3, 51-64.
- Hayashi, C. (1987). Statistical study on Japanese national character. Journal of Japan Statistical Society, Special issue, 71-95.
- Hayashi, C., T. Suzuki, and M. Sasaki. (1992). Data Analysis for Comparative Social Research: International Perspectives. Amsterdam: North-Holland.
- Hayashi, C., Nishihira, S., Suzuki, T., Mizuno, K., Sakamoto, Y., Murakami, M., Nakamura, T., Hayashi, F., & Yoshino, R. (in press). National Character of Japanese, Vol. V (in Japanese). Tokyo: Idemitsu-shoin.
- Inglehart, R. (1977). The Silent Revolution: Changing Values and Political Styles Among Western Publics. Princeton, NJ: Princeton University Press.
- Inglehart, R.. (1994) Culture Shift in Advanced Industrial Society. Princeton, NJ: Princeton University Press.
- Inkeles, A. and D.H. Smith. (1974). Becoming Modern: Individual Change in Six Developing Countries. London: Heinemann.

- Inkeles, A. (1994) Creating a Measure of Adolescent "Maturity" in Chile and the United States: A Search for Common Content and Scale Structure. (unpublished manuscript)
- Jameson, K. A. (1990). Consensus on semiotic models of alphabetic systems. Journal of Quantitative Anthropology, 2, 289-303.
- Jaroslovsky, R. (1988, August). What's on your mind, America? Psychology Today, pp. 54-59.
- Kuroda, Y., Hayashi, C., & Suzuki, T. (1986). The role of language in cross-national surveys: American and Japanese respondents. Applied stochastic method and data analysis, 2, 43-59.
- Langeheine, R., & Rost, J. (Eds.) (1988). Latent trait and latent class models. New York: Plenum Press.
- Lazarsfeld, P. F., & Henry, N. W. (1968). Latent structure analysis. New York: Macmillan.
- Romney, A. K., Batchelder, W. H., & Weller, S. C. (1987). Recent applications of cultural consensus theory. American Behavioral Scientist, 31, 163-179.
- Romney, A. K., Weller, S. C., & Batchelder, W. H. (1986). Culture as consensus: a theory of culture and information accuracy. American Anthropologist, 88, 313-338.
- Suzuki, T. (1989). Cultural link analysis: its applications to social attitudes - a study among five nations. Bulletin of the International Statistical Institutes, Proceedings of the 47th Session, Paris, 343-379.
- Yoshino, R. (1989). An extension of the "test theory without an answer key" by Batchelder & Romney and its application to an analysis of data of national consciousness (in Japanese). Proceedings of the Institute of Statistical Mathematics, 37, 2, 171-188.
- Yoshino, R. (1991). Degree of conformity for the cross-national comparative study of national characters. Reported at the 4th bilateral science seminar of Japan and Germany, Kln, May 5-10. Draft available on request.
- Yoshino, R. (1992a). Superculture as a frame of referenece for cross-national comparisons of national characters. Behaviormetrika, 19, 1, 23-41.
- Yoshino, R. (1992b). The unbiased BIGHT model and its application to the analysis of responses to a free-answer question in social survey. Behaviormetrika, 20, 2, 171-186.

Table 1: List of 54 Items Tapping "Cultural Orientations" in Seven Nations:

Item	(Re-)Coding
Traditionalism - Modernity Items:	
v2.1 (<i>custom vs. conscience</i>)	1: follow custom 2: undecided/it depends 3: go ahead (if something is right) even if contrary to custom
v2.2b (<i>consensus versus own principle</i>)	1. person who stresses importance of achieving a consensus among other group members 2. person who stresses his/her own principles rather than consensus
v3.1 (<i>religious faith</i>)	1: yes; 2: no
v3.2 (<i>religious attitude important?</i>)	1: important (to have a religious attitude); 2: not important
v3.3 (<i>all religions the same?</i>)	1: disagree (that all religions are the same); 2: agree
v4.10 (<i>adopt a child</i>)	1: would adopt; 2: depends; 3: would not adopt
v4.11 (<i>respect for ancestors</i>)	1: more than average; 2: average; 3: less than average
v4.32 (<i>marriage is permanent</i>)	1: marriage is permanent 2: marriage may be broken only under serious circumstances 3: marriage can be broken by simple agreement of the two partners
v4.31 (<i>housework and childcare</i>)	1: (Housework and child care) are women's work 2: some of the work is more suited to women 3: all should be divided between men and women without differentiation
v4.4 (<i>child vs. teacher</i>)	1: deny it (that teacher has done something to get himself into trouble) 2: tell the truth
v5.1d1 (<i>important things: filial piety</i>)	1. designated; 2: not designated
v5.1d2 (<i>important things: repaying obligations</i>)	1. designated; 2: not designated
v5.1d3 (<i>important things: individual rights</i>)	1: not designated; 2. designated
v5.1d4 (<i>respect for individual freedom</i>)	1: not designated; 2. designated
v5.1 (<i>benefactor on death bed: meeting or see benefactor</i>)	1. leave everything and go back home; 2. should go to the meeting
v5.1c1 (<i>employment examination: hire relative?</i>)	1. relative; 2. highest grade
v5.1c2 (<i>employment examination: hire son of benefactor?</i>)	1. son of benefactor; 2. highest grade
v5.1b (<i>real father on death bed</i>)	1. leave everything and go back home; 2. should go to the meeting
v5.6 (<i>type of boss preferred: stick to rules ...</i>)	1. paternalistic; 2. non-paternalistic
v5.81a (<i>importance of immediate family and children</i>)	1. very important; 2 - 6; 7. not important at all
v5.81e (<i>importance of parents and relatives</i>)	1. very important; 2 - 6; 7. not important at all
v5.81f (<i>importance of religion and church</i>)	1. very important; 6 - 2; 7. not important at all
Materialism-Non-Materialism Items:	
v2.4 (<i>attitudes towards life</i>)	1. get rich; make a name? 2. suit own taste; no worrying; pure and just life; serve society
v2.5 (<i>"man" and nature</i>)	1: conquer nature; 2: make use of nature; 3: follow nature
v2.8 (<i>if had enough money, still work?</i>)	1. stop working; 2. continue working
v4.5 (<i>teaching children money is important?</i>)	1. agree (teaching children that money is one of the most important things in life); 2: undecided/depends; 3. disagree
v5.6h (<i>desirable person: efficient versus friendly</i>)	1. efficient; 2. friendly
v5.81b (<i>importance of career and work</i>)	1. very important; 2 - 6; 7. not important at all
v5.81c (<i>importance of freetime and relaxation</i>)	1. very important; 2 - 6; 7. not important at all
v5.81d (<i>importance of friends and acquaintances</i>)	1. very important; 2 - 6; 7. not important at all
v7.25 (<i>life without work..fulfilling or not?</i>)	1. as long as you have money, life is fulfilling even if you don't have a job 2. no matter how much money you have, life without work is unfulfilling
v7.24 (<i>most important aspect of job</i>)	1. good salary; safe job 2. likable coworkers; accomplishment

(cont'd) Table 1: List of 54 Items Tapping "Cultural Orientations" in Seven Nations:

Item	(Re-)Coding
v8.80 (<i>country's goal</i>)	1: maintaining order in the nation; fight rising prices 2: giving people more say in important decisions; protecting freedom of speech
v7.4 (<i>improve country or make people happy?</i>)	1: improve country; 2: same thing; 3: make individuals happy
v7.82 (<i>idle grasshopper and diligent ant</i>)	1: sends grasshopper away because it is only natural that the grasshopper should suffer now 2: shares food
<i>Alienation from Society:</i>	
v2.12 (<i>are pple helpful most of the time?</i>)	1: people mostly just looking our for themselves 2: people try to be helpful most of the time
v2.12b (<i>are most people fair?</i>)	1: most people would try to take advantage of you if they got the chance; 2: most people try to be fair
v2.12c (<i>are most pple trustworthy?</i>)	1: can't be too careful in dealing with people; 2: most people can be trusted
v4.30 (<i>home is the only relaxing place</i>)	1: yes: home is the only relaxing place; 2: no
v7.1 (<i>science and loss of human feeling?</i>)	1: disagree; 2: undecided/it depends; 3: agree: loss of human feeling
v7.2 (<i>mechanization and human feelings</i>)	1: agree: mechanization won't reduce richness of human feelings 2: undecided/it depends 3: disagree: mechanization will reduce the richness of human feelings
<i>Political Inclinations:</i>	
v5.81g (<i>importance of politics</i>)	1: not important at all; 2 - 6; 7. very important
v8.1b (<i>leave it up to political leaders to improve country</i>)	1: agree: leave it up to political leaders 2: undecided/it depends 3: disagree: people should discuss among themselves
v8.2e (<i>democracy</i>)	1: unfavorable opinion; 2: it depends; 3: favorable opinion
v8.2f (<i>capitalism</i>)	1: favorable opinion; 2: it depends; 3: unfavorable opinion
v8.2g (<i>liberalism</i>)	1: unfavorable opinion; 2: it depends; 3: favorable opinion
v8.2h (<i>socialism</i>)	1: unfavorable opinion; 2: it depends; 3: favorable opinion
<i>Quality of Life:</i>	
v2.30 (<i>extent of worry: serious illness</i>)	1: very much; 2: somewhat; 3: slightly; 4: not at all
v2.30d (<i>extent of worry: car accident</i>)	1: very much; 2: somewhat; 3: slightly; 4: not at all
v2.30e (<i>extent of worry: unemployment</i>)	1: very much; 2: somewhat; 3: slightly; 4: not at all
v2.30f (<i>extent of worry: war</i>)	1: very much; 2: somewhat; 3: slightly; 4: not at all
v2.30g (<i>extent of worry: nuclear power accident</i>)	1: very much; 2: somewhat; 3: slightly; 4: not at all
v2.3g (<i>satisfaction with health</i>)	1: very dissatisfied; 2: fairly dissatisfied 3: fairly satisfied; 4. very satisfied
v2.82 (<i>satisfaction with your life as a whole</i>)	1: completely dissatisfied; 2: somewhat dissatisfied 3: neither satisfied nor dissatisfied 4: somewhat satisfied; 5. completely satisfied

Table 2: Loadings of Items on the First Factor in the Principal Components Analysis of 54 Items:

		France	West Germany	Britain	USA	Japan	Italy	The Netherlands
	% variance explained by the first factor	6.7%	7.2%	5.9%	6.5%	6.5%	6.8%	7.6%
	% variance explained by the second factor	5.1%	6.8%	5.7%	5.7%	5.2%	5.3%	6.1%
Tradition- alism	v2.1 (<i>custom vs. conscience</i>)	.2913	.3408	-.0066	.0951	.1052	.2837	.1570
	v2.2b (<i>consensus versus own principle</i>)	.2316	.0874	.0739	-.0459	.0171	.2067	.0789
	v3.1 (<i>religious faith</i>)	.3956	.4010	-.2408	.3140	.4217	.5666	.5603
	v3.2 (<i>religious attitude important?</i>)	.3643	.4241	-.1256	.3821	.4045	.3824	.5064
	v3.3 (<i>all religions the same</i>)	-.0909	.2248	-.0940	.0674	-.1577	.1038	.0907
	v4.10 (<i>adopt a child</i>)	.1178	-.1309	.0744	.2724	.3511	.1047	.3156
	v4.11 (<i>respect for ancestors</i>)	.3173	.4915	.1699	.2826	.4406	.3231	.3043
	v4.32 (<i>marriage is permanent</i>)	.5022	.4128	-.0342	.1470	.2947	.4538	.5377
	v4.31 (<i>housework and childcare</i>)	.1401	.2855	-.1350	-.1418	.0453	.2897	.4189
	v4.4 (<i>child vs. teacher</i>)	.0712	.1608	.1659	-.0035	.0280	.2257	-.0197
	v5.1d1 (<i>important things: filial piety</i>)	.5284	.5296	.1312	.4363	.2096	.4778	.4642
	v5.1d2 (<i>important things: repaying obligations</i>)	.3108	.1627	.1044	.0198	.1220	.3296	.1124
	v5.1d3 (<i>important things: individual rights</i>)	.4244	.2538	.1102	.1311	.1324	.3651	.3171
	v5.1d4 (<i>respect for individual freedom</i>)	.4033	.4126	.0938	.2857	.1830	.3298	.1763
	v5.1 (<i>benefactor on death bed: meeting or see benefactor</i>)	.2197	-.2468	.2917	.1857	.2046	.0708	.2243
	v5.1c1 (<i>employment examination: hire relative?</i>)	-.0424	-.0810	.0546	-.1870	-.0105	-.0018	-.2058
	v5.1c2 (<i>employment examination: hire son of benefactor?</i>)	.0402	-.0562	.0036	-.2003	-.0463	-.0418	-.0573
	v5.1b (<i>real father on death bed</i>)	.2489	-.2332	.2880	.2229	.1018	.0617	.2628
	v5.6 (<i>type of boss preferred: stick to rules ..</i>)	-.0396	-.1945	-.1339	-.0497	.0457	-.1045	-.2144
	v5.81a (<i>importance of immediate family and children</i>)	.1357	.1986	.0174	.3934	.4522	.2683	.2635
v5.81e (<i>importance of parents and relatives</i>)	.1516	.2897	.2006	.5121	.5747	.2869	.3105	
v5.81f (<i>importance of religion and church</i>)	.4350	.5906	.0017	.5698	.6632	.6397	.7452	
Total Number of Items=22	# Items with loadings > .2000	13	14 (2-)	4 (1-)	11 (1-)	10	15	15 (2-)
	# Items with loadings > .3000	9	8	0	6	7	9	10
	# Items with loadings > .4000	5	6	0	3	6	4	6
	# Items with loadings > .5000	2	2	0	2	2	2	4
Materialism	v2.4 (<i>attitudes towards life</i>)	.0579	.1854	.0794	-.0982	.0184	-.1084	.3686
	v2.5 (<i>"man" and nature</i>)	-.1357	.3977	-.1474	.0032	-.0750	.0658	.0422
	v2.8 (<i>if had enough money, still work?</i>)	.0291	-.2225	.0945	-.0436	-.1156	.0073	-.1612
	v4.5 (<i>teaching children money is important?</i>)	.3979	.0673	.1265	-.0343	.1172	.2959	.0376
	v5.6h (<i>desirable person: efficient versus friendly</i>)	-.1463	.1854	.1341	-.1377	-.1199	.0001	.0754
	v5.81b (<i>importance of career and work</i>)	.1814	.1777	.0460	.2293	.4953	.1548	.3420
	v5.81c (<i>importance of freetime and relaxation</i>)	.1827	-.0945	-.0503	-.2522	-.3907	.0135	-.1834
	v5.81d (<i>importance of friends and acquaintances</i>)	-.1766	.1502	.0856	.2945	.5447	-.0624	.1497
	v7.25 (<i>life without work..fulfilling or not?</i>)	-.0411	-.2281	.0366	-.0632	-.1804	.0258	-.3626
	v7.24 (<i>most important aspect of job</i>)	.3916	.2234	.3398	.1001	-.1112	.3076	.1581
	v7.4 (<i>improve country or make people happy?</i>)	.0342	.2859	.1739	.0810	.0966	.1807	.0650
	v7.82 (<i>idle grasshopper and diligent ant</i>)	.1843	.1863	-.0374	.0032	-.2134	.0916	.3895
	v8.80 (<i>country's goal</i>)	.3699	.3162	-.1772	.0059	.0979	.3161	.2712
	Total Number of Items=13	# Items with loadings > .2000	3	6 (2-)	1	3 (1-)	4 (2-)	3
# Items with loadings > .3000		3	2	1	0	3	2	4 (1-)
# Items with loadings > .4000		0	0	0	0	2	0	0
# Items with loadings > .5000		0	0	0	0	1	0	0

(Cont'd: Table 2: Loadings of items on the first factor:)

		France	West Germany	Britain	USA	Japan	Italy	The Netherlands
Political	v5.81g (<i>importance of politics</i>)	.1253	-.2205	.0088	-.2683	-.4889	.0683	-.4475
	v8.1b (<i>leave it up to political leaders to improve country</i>)	.2942	-.0839	.0894	-.0416	.0520	.4051	.3299
	v8.2e (<i>democracy</i>)	.2944	.1731	.4461	.1414	-.1152	.0578	.1544
	v8.2f (<i>capitalism</i>)	-.1669	.1686	-.3469	-.2901	.1153	-.2264	.0657
	v8.2g (<i>liberalism</i>)	-.1232	.1314	.2391	.0326	.0104	.0746	.4367
	v8.2h (<i>socialism</i>)	.2282	.3348	-.0944	.0007	.0460	.1234	.2402
Total Number of Items=6	# items with loadings > .2000	3	2 (1-)	3 (1-)	2 (2-)	1 (1-)	2 (1-)	4 (1-)
	# items with loadings > .3000	0	1	2	0	1 (1-)	1	3 (1-)
	# items with loadings > .4000	0	0	1	0	1 (1-)	1	2 (1-)
	# items with loadings > .5000	0	0	0	0	0	0	0
Alienation	v2.12 (<i>are pple helpful most of the time?</i>)	.0108	.3298	.2305	.0261	-.2483	-.1480	.0333
	v2.12b (<i>are most people fair?</i>)	.1504	.3616	.3518	.1343	-.0845	-.0072	-.0427
	v2.12c (<i>are most pple trustworthy?</i>)	.2379	.3659	.2878	.1089	-.2245	.1614	.1881
	v4.30 (<i>home is the only relaxing place</i>)	.4070	.4864	.3173	.1117	.2731	.5542	.2519
	v7.1 (<i>science and loss of human feeling?</i>)	.2563	.0243	.0174	.1903	-.1136	.2734	.0811
	v7.2 (<i>mechanization and human feelings</i>)	.0101	.0773	.0024	-.0057	.0122	-.0441	.2088
Total Number of Items=6	# items with loadings > .2000	3	4	4	0	3 (2-)	2	2
	# items with loadings > .3000	1	4	2	0	0	1	0
	# items with loadings > .4000	1	1	0	0	0	1	0
	# items with loadings > .5000	0	0	0	0	0	1	0
Quality of life	v2.30 (<i>extent of worry: serious illness</i>)	.3507	.4239	.6152	.5465	-.0217	.3607	.0321
	v2.30d (<i>extent of worry: car accident</i>)	.2922	.1465	.4664	.5685	-.0837	.2398	-.0746
	v2.30e (<i>extent of worry: unemployment</i>)	.2770	.0718	.5744	.4789	-.1730	.2634	-.0727
	v2.30f (<i>extent of worry: war</i>)	.2644	.0776	.5988	.5027	.0550	.2819	-.046-
	v2.30g (<i>extent of worry: nuclear power accident</i>)	.3074	-.0285	.6212	.4972	.0196	.2451	-.0414
	v2.3g (<i>satisfaction with health</i>)	-.0847	-.0793	-.1820	-.0146	-.2095	-.0517	.1276
	v2.82 (<i>satisfaction with your life as a whole</i>)	.1696	.0005	-.1335	.1081	-.3898	.1380	.1750
Total Number of Items=7	# items with loadings > .2000	5	1	5	5	2	5	0
	# items with loadings > .3000	2	1	5	5	1	1	0
	# items with loadings > .4000	0	1	5	5	0	0	0
	# items with loadings > .5000	0	0	4	3	0	0	0
	Total # items with loadings > .2000	27	27 (5-)	17 (2-)	21 (3-)	20 (7-)	27 (1-)	26 (4-)
	Total # items with loadings > .3000	15	16	10 (1-)	11	12 (3-)	14	17 (2-)
	Total # items with loadings > .4000	6	8	6	8	9 (1-)	6	8 (1-)
	Total # items with loadings > .5000	2	2	4	5	3	3	4

Table 3: Counts of Overlaps in Items with at least .2000 Factor Loadings in Pairs of Countries in the Principal Components Analysis of 54 items:

	France	W. Germany	Britain	USA	Japan	Italy	The Netherlands
France (27)*							
W. Germany (27)	14 + 2R						
Britain (17)	11 + 1R	6 + 2R					
USA (21)	12	8 + 1R	8 + 1R				
Japan (20)	8 + 1R	9 + 3R	3 + 3R	3 + 3R			
Italy (27)	22	15	9 + 1R	14	9		
The Netherlands (26)	13	14 + 2R	5 + 1R	11	13 + 1R	13	

* Number of items in a country with loadings on the first factor equal to or exceeding |.2000|.

Table 4: List of Items with Highest and Lowest Loadings on the First Factor, among Items with Factor Loadings \geq .2000 in the Principal Components Analysis of 54 items:*

	France	West Germany	Britain	USA	Japan	Italy	The Netherlands
TOP 6	v5.1d4	v2.30	v8.2e	v2.30g	v5.81a	v8.1b	v5.1d1
	v4.30	v3.2	v2.30d	v2.30f	v5.81g	v4.32	v3.2
	v5.1d3	v4.30	v2.30e	v5.81e	v5.81b	v5.1d1	v4.32
	v5.81f	v4.11	v2.30f	v2.30	v5.81d	v4.30	v3.1
	v4.32	v5.1d1	v2.30	v2.30d	v5.81e	v3.1	v5.81f
	v5.1d1	v5.81f	v2.30g	v5.81f	v5.81f	v5.81f	v8.1b
BOTTOM 6	v5.1	v5.81g	v5.81e	v5.1c2	v5.1	v2.2b	v5.1c1
	v8.2h	v2.8	v2.12	v5.1b	v2.3g	v4.4	v7.2
	v2.2b	v7.24	v8.2g	v5.81b	v5.1d1	v8.2f	v5.6
	v2.12c	v3.3	v3.1	v5.81c	v7.82	v2.30d	v5.1
	v5.1b	v7.25	v2.12c	v5.81g	v2.12c	v2.30g	v8.2h
	v7.1	v5.1b	v5.1b	v4.10	v2.12	v2.30e	v4.30

*: Italicized figures represent negative loadings

Table 5: Distribution of Items with Loadings Equal to or Exceeding .2000 and .3000 across Various Theoretical Dimensions in the Principal Components Analysis of 54 items:

		France	West Germany	Britain	USA	Japan	Italy	The Netherlands
. 2	Traditionalism (22/54=41%)	13/27=48%	14/27=52%	4/17=24%	11/21=52%	10/20=50%	15/27=56%	15/26=58%
	Materialism (13/54=24%)	3/27=11%	6/27=22%	1/17=6%	3/21=14%	4/20=20%	3/27=11%	5/26=19%
	Politics (6/54=11%)	3/27=11%	2/27=7%	3/17=18%	2/21=10%	1/20=5%	1/27=4%	3/26=12%
	Alienation (6/54=11%)	3/27=11%	4/27=15%	4/17=24%	0/21=0%	3/20=15%	2/27=7%	2/26=8%
	Quality of Life (7/54=13%)	5/27=19%	1/27=4%	5/17=29%	5/21=24%	2/20=10%	5/27=19%	0/26=0%
. 3	Traditionalism (22/54=41%)	9/15=60%	8/16=50%	0/10=0%	6/11=55%	7/12=58%	9/14=64%	10/17=59%
	Materialism (13/54=24%)	3/15=20%	2/16=13%	1/10=10%	0/11=0%	3/12=25%	2/14=14%	4/17=24%
	Politics (6/54=11%)	0/15=0%	1/16=6%	2/10=20%	0/11=0%	1/12=8%	1/14=7%	3/17=18%
	Alienation (6/54=11%)	1/15=7%	4/16=25%	2/10=20%	0/11=0%	0/12=0%	1/14=7%	0/17=0%
	Quality of Life (7/54=13%)	2/15=13%	1/16=6%	5/10=50%	5/11=46%	1/12=8%	1/14=7%	0/17=0%

Table 6: Items Tapping the Quality of Life in the Seven-Nation Study:

Variable	(Re)Coding*
v1.8: self-assessment of standard of living	5:upper; 4:upper middle; 3:middle; 2:lower middle; 1:lower
v2.30:worry: serious illness	1:very much; 2:somewhat; 3:slightly; 4:not at all.
v2.30d: worry: car accident	1:very much; 2:somewhat; 3:slightly; 4:not at all.
v2.30e: worry: unemployment	1:very much; 2:somewhat; 3:slightly; 4:not at all.
v2.30f: worry: war	1:very much; 2:somewhat; 3:slightly; 4:not at all.
v2.30g: worry: nuclear power accident	1:very much; 2:somewhat; 3:slightly; 4:not at all.
v2.3f: quality of life in area where you live	4:very satisfied; 3:fairly satisfied; 2:fairly dissatisfied; 1:very dissatisfied.
v2.3g: satisfaction with health	4:very satisfied; 3:fairly satisfied; 2:fairly dissatisfied; 1:very dissatisfied.
v2.82: satisfaction with life	5:completely satisfied; 4:somewhat satisfied; 3: neither satisfied nor dissatisfied; 2: somewhat dissatisfied; 1: completely dissatisfied.
v5.80a: safety in neighborhood: burglary	1:a serious problem; 2:a problem; 3:not a serious problem; 4: no problem at all.
v5.80b: personal safety	1:a serious problem; 2:a problem; 3:not a serious problem; 4: no problem at all.
v7.18: people's health	3: improve; 2:no change; 1:get worse
v7.18b: peace of mind	3: increase; 2: no change; 1: decrease
v7.18c: freedom	3: increase; 2: no change; 1: decrease
v7.18e: happiness in future	3: happier; 2: about the same; 1: less happy
v7.30a: your standard of living 10 years ago	5: much better; 4: slightly better; 3: about the same; 2: slightly worse; 1: much worse
v7.30b: standard of living in country 10 years ago	5: much better; 4: slightly better; 3: about the same; 2: slightly worse; 1: much worse
v7.31: living conditions in future	5: much better; 4: slightly better; 3: about the same; 2: slightly worse; 1: much worse

Table 7: Results of Principal Component Analyses of 18 Quality of Life Items, Loading of Each Item on the First Factor by country:

	France	West Germany	Great Britain	USA	Japan	Italy	The Netherlands
% variance explained by first factor	17.9%	18.2%	19.6%	18.0%	17.7%	16.3%	15.9%
% variance explained by second factor	12.0%	12.3%	11.3%	13.9%	12.1%	14.0%	9.9%
v1.8: self-assessment of standard of living	.3402	.3492	.4994	.4867	.3495	.3237	.5722
v2.30: worry: serious illness	.4455	.4152	.4718	.4507	.4808	.4730	.4713
v2.30d: worry: car accident	.3945	.3025	.2906	.4296	.4800	.4687	.4014
v2.30e: worry: unemployment	.4569	.4462	.5548	.5314	.5887	.4988	.5616
v2.30f: worry: war	.4809	.6054	.4980	.4501	.4875	.5670	.4870
v2.30g: worry: nuclear power accident	.4652	.5673	.5197	.4503	.5199	.5042	.5125
v2.3f: quality of life in area where you live	.1607	.0994	.4679	.4597	.3678	.1469	.3258
v2.3g: satisfaction with health	.2944	.1752	.4102	.3681	.3757	.3433	.3376
v2.82: satisfaction with life	.2134	.3957	.4359	.3447	.4055	.2858	.4212
v5.80a: safety in neighborhood: burglary	.4135	.0268	.2873	.3071	.3965	.0530	.2550
v5.80b: personal safety	.3802	-.0138	.2746	.3381	.4055	.0280	.2331
v7.18: people's health	.4449	.5910	.4368	.3534	.3317	.3744	.2468
v7.18b: peace of mind	.3368	.5822	.3027	.3932	.4125	.4841	.0853
v7.18c: freedom	.4708	.4772	.2985	.3583	.2304	.3972	.0550
v7.18e: happiness in future	.5339	.6230	.4535	.3945	.4445	.5016	.2534
v7.30a: your standard of living 10 years ago	.4933	.3980	.5645	.5074	.4020	.4453	.6022
v7.30b: standard of living in country 10 years ago	.5471	.4037	.6026	.5581	.3315	.4217	.4228
v7.31: living conditions in future	.5033	.4187	.3873	.3401	.4191	.4199	.3785
# items with loading > .2000	17	14	18	18	18	15	16

Table 8: Mean Score and Reliability of Common Quality of Life Scale (QOLC2), by Country:

QOLC2: 12-item scale, including all items with factor loading on the first factor exceeding .2000 in all 7 countries		
	Mean (Standard Deviation)	Reliability (Cronbach-Alpha):
France	2.53 (.55)	.6640
West Germany	3.01 (.51)	.6912
Great Britain	2.98 (.60)	.7122
U.S.A.	3.01 (.56)	.6643
Japan	3.08 (.48)	.6501
Italy	2.57 (.49)	.6221
The Netherlands	3.08 (.50)	.6364

Table 9: Country-Specific Scales (QOLS2, QOLS3, QOLS4) Constructed Based on Results of Principal Components Analysis of 18 Quality of Life Items, Mean Score by Country:

	QOLS2: country-specific scale including all items with factor loading exceeding .2000 in a specific country			QOLS3: country-specific scale including all items with factor loading exceeding .3000 in a specific country.			QOLS4: country-specific scale including all items with factor loading exceeding .4000 in a specific country.		
	Mean (s.d.)	# of Items	Reliability	Mean (s.d.)	# of Items	Reliability	Mean (s.d.)	# of Items	Reliability
France	2.49 (.50)	17	.7024	2.38 (.55)	15	.7001	2.45 (.62)	11	.6722
West Germany	2.93 (.53)	14	.7280	2.93 (.53)	14	.7280	2.76 (.64)	10	.7098
Great Britain	2.95 (.51)	18	.7297	2.97 (.56)	14	.7242	3.01 (.58)	12	.7118
U.S.A.	3.03 (.50)	18	.7151	3.03 (.50)	18	.7151	2.85 (.55)	10	.7131
Japan	3.10 (.43)	18	.7069	3.08 (.43)	17	.7036	3.09 (.49)	11	.6463
Italy	2.62 (.50)	15	.6833	2.53 (.52)	14	.6801	2.30 (.55)	10	.6470
The Netherlands	3.11 (.42)	16	.6639	3.27 (.45)	12	.6837	3.30 (.52)	9	.6575

Table 10: Loading on the First Factor of 12 Items included in the Common Scale (QOLC2), obtained from Principal Components Analysis of 18 items:

	France	West Germany	Great Britain	USA	Japan	Italy	The Netherlands
% variance explained by first factor	17.9%	18.2%	19.6%	18.0%	17.7%	16.3%	15.9%
% variance explained by second factor	12.0%	12.3%	11.3%	13.9%	12.1%	14.0%	9.9%
v1.8: self-assessment of standard of living	.3402	.3492	.4994	.4867	.3495	.3237	.5722
v2.30: worry: serious illness	.4455	.4152	.4718	.4507	.4808	.4730	.4713
v2.30d: worry: car accident	.3945	.3025	.2906	.4296	.4800	.4687	.4014
v2.30e: worry: unemployment	.4569	.4462	.5548	.5314	.5887	.4988	.5616
v2.30f: worry: war	.4809	.6054	.4980	.4501	.4875	.5670	.4870
v2.30g: worry: nuclear power accident	.4652	.5673	.5197	.4503	.5199	.5042	.5125
v2.82: satisfaction with life	.2134	.3957	.4359	.3447	.4055	.2858	.4212
v7.18: people's health	.4449	.5910	.4368	.3534	.3317	.3744	.2468
v7.18e: happiness in future	.5339	.6230	.4535	.3945	.4445	.5016	.2534
v7.30a: your standard of living 10 years ago	.4933	.3980	.5645	.5074	.4020	.4453	.6022
v7.30b: standard of living in country 10 years ago	.5471	.4037	.6026	.5581	.3315	.4217	.4228
v7.31: living conditions in future	.5033	.4187	.3873	.3401	.4191	.4199	.3785
# items with loading > .2000	12	12	12	12	12	12	12
# items with loading > .3000	11	12	11	12	12	11	10
# items with loading > .4000	8	7	10	8	8	8	9
# items with loading > .5000	2	4	4	3	2	3	4

Table 11: List of Items with at least a .2000 Absolute Factor Loading, arranged in Ascending Order of Loading on the First Factor from the Principal Components Analysis of 18 Items:

	France	West Germany	Great Britain	USA	Japan	Italy	The Netherlands
Items with the smallest loadings on the first factor	v2.82	v2.30d	v2.30d	v7.31	v7.30b	v2.82	v7.18
	v1.8	v1.8	v7.31	v2.82	v7.18	v1.8	v7.18e
	v2.30d	v2.82	v2.82	v7.18	v1.8	v7.18	v7.31
	v7.18	v7.30a	v7.18	v7.18e	v7.30a	v7.31	v2.30d
	v2.30	v7.30b	v7.18e	v2.30d	v2.82	v7.30b	v2.82
	v2.30e	v2.30	v2.30	v2.30f	v7.31	v7.30a	v7.30b
	v2.30g	v7.31	v2.30f	v2.30g	v7.18e	v2.30d	v2.30
	v2.30f	v2.30e	v1.8	v2.30	v2.30d	v2.30	v2.30f
	v7.30a	v2.30g	v2.30g	v1.8	v2.30	v2.30e	v2.30g
	v7.31	v7.18	v2.30e	v7.30a	v2.30f	v7.18e	v2.30e
Items with the largest loadings on the first factor	v7.18e	v2.30f	v7.30a	v2.30e	v2.30g	v2.30g	v1.8
	v7.30b	v7.18e	v7.30b	v7.30b	v2.30e	v2.30f	v7.30a

Table 12: Overlaps among Countries in the 4 items with the Smallest (italicized) and 4 items with the Largest Factor Loading, among Items with at least a .2000 Absolute Factor Loading obtained from the Principal Components Analysis of 18 Items:

	West Germany	Great Britain	USA	Japan	Italy	The Netherlands
France	<i>v1.8</i> <i>v2.30d</i> <i>v2.82</i> v7.18e	<i>v2.30d</i> <i>v2.82</i> <i>v7.18</i> v7.30a v7.30b	<i>v2.82</i> <i>v7.18</i> v7.30a v7.30b	<i>v1.8</i> <i>v7.18</i> 0	<i>v1.8</i> <i>v2.82</i> <i>v7.18</i> v7.18e	<i>v2.30d</i> <i>v7.18</i> v7.30a
West Germany		<i>v2.30d</i> <i>v2.82</i> v2.30g	<i>v2.82</i> 0	<i>v1.8</i> <i>v7.30a</i> v2.30f v2.30g	<i>v1.8</i> <i>v2.82</i> v2.30f v2.30g v7.18e	<i>v2.30d</i> v2.30g
Great Britain			<i>v2.82</i> <i>v7.18</i> <i>v7.31</i> v2.30e v7.30a v7.30b	<i>v7.18</i> v2.30e v2.30g	<i>v2.82</i> <i>v7.18</i> <i>v7.31</i> v2.30e v2.30g	<i>v2.30d</i> <i>v7.18</i> <i>v7.31</i> v2.30e v2.30g v7.30a
USA				<i>v7.18</i> v2.30e	<i>v2.82</i> <i>v7.18</i> <i>v7.31</i> v2.30e	<i>v7.18</i> <i>v7.31</i> v1.8 v2.30e v7.30a
Japan					<i>v1.8</i> <i>v7.18</i> v2.30e v2.30f v2.30g	<i>v7.18</i> v2.30e v2.30g
Italy						<i>v7.18</i> <i>v7.31</i> v2.30e v2.30g

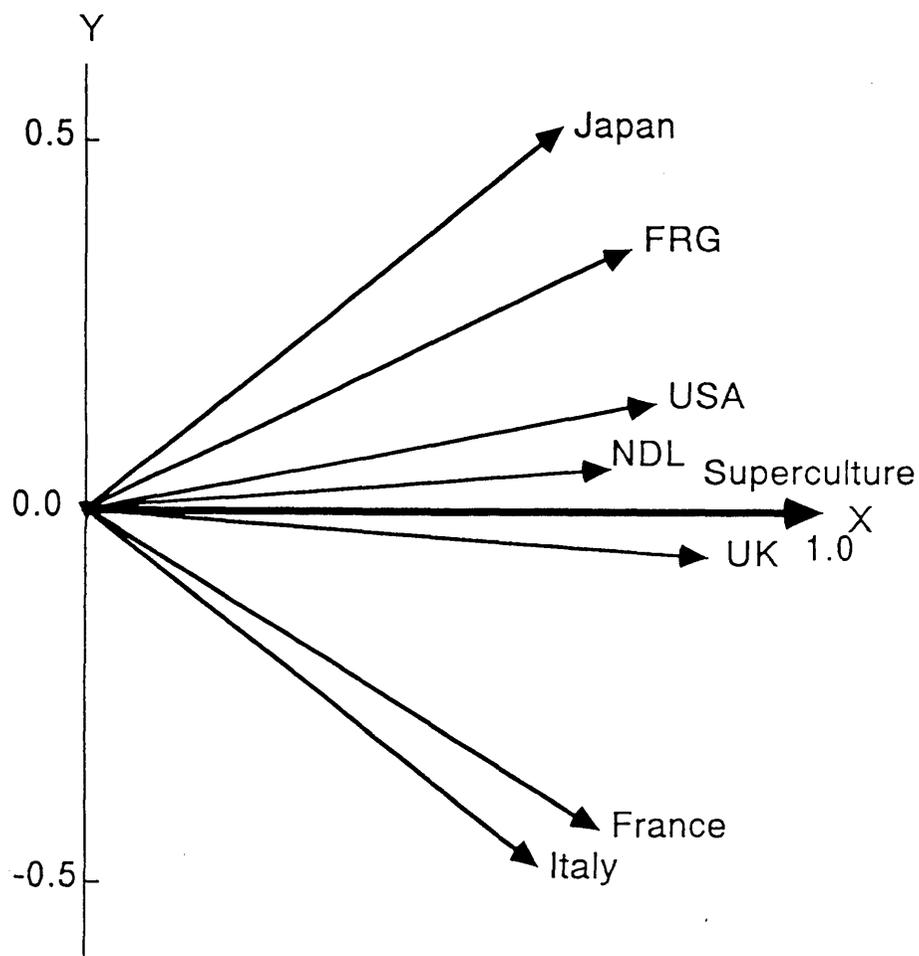


Fig1a

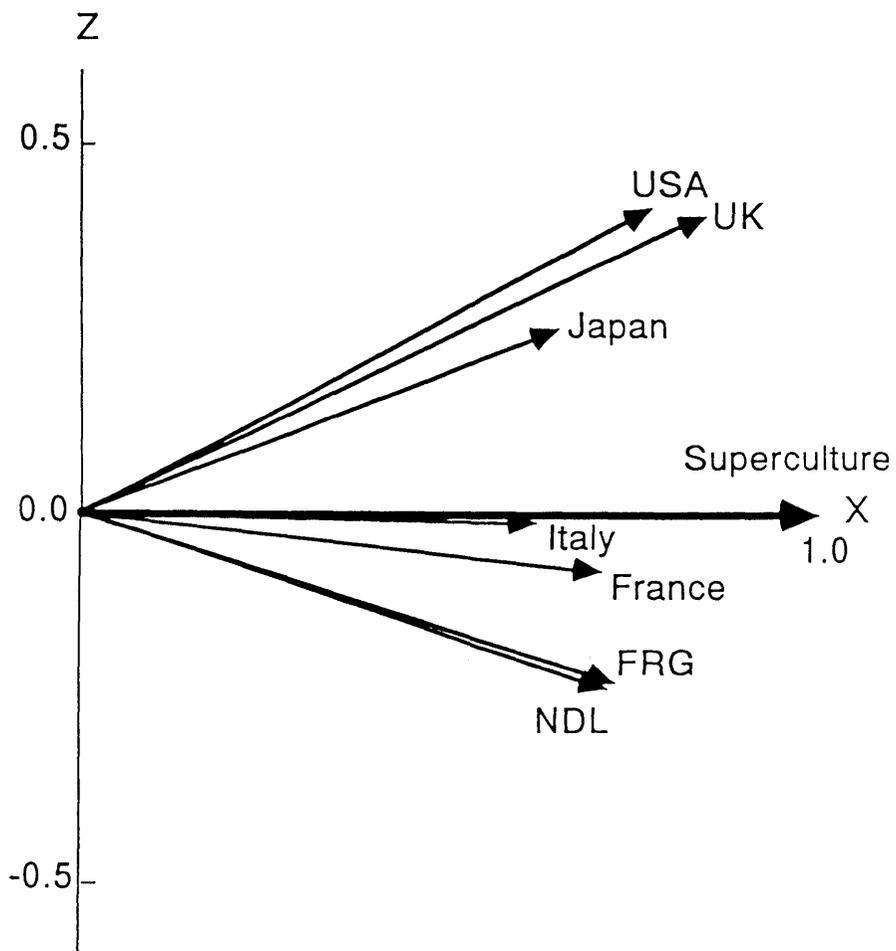


Fig1b

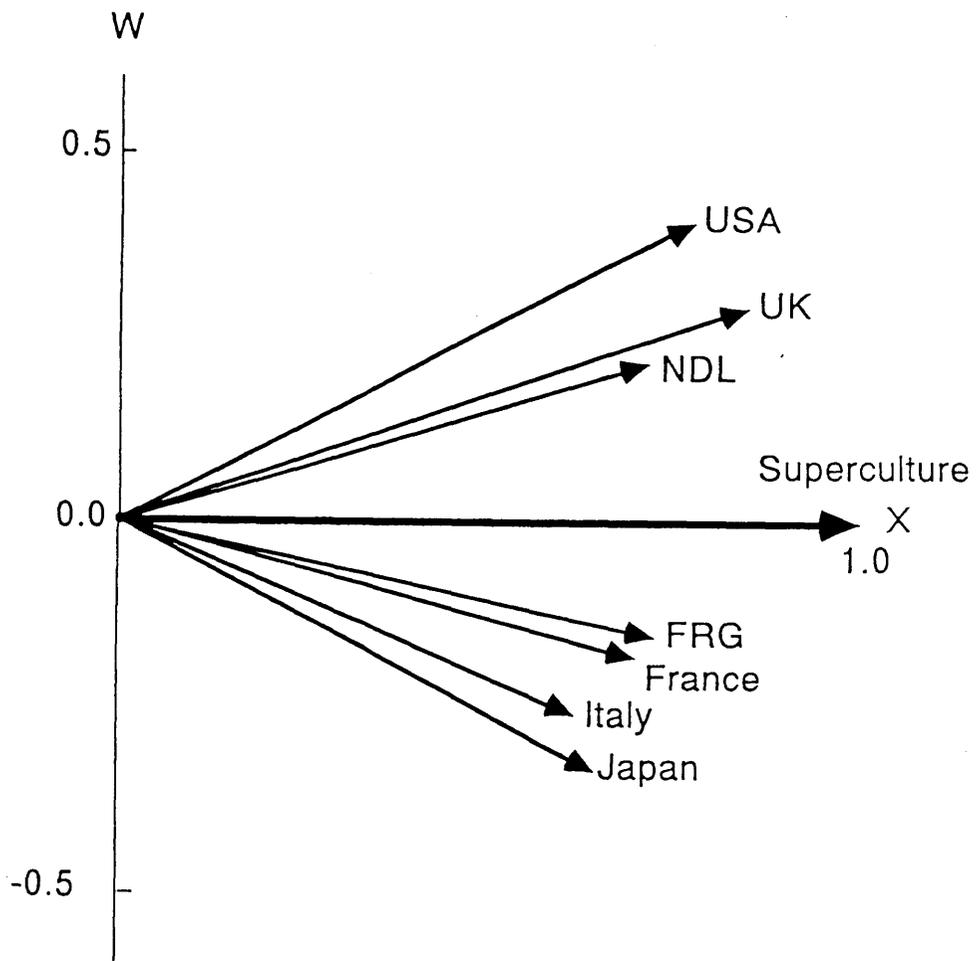


Fig1c

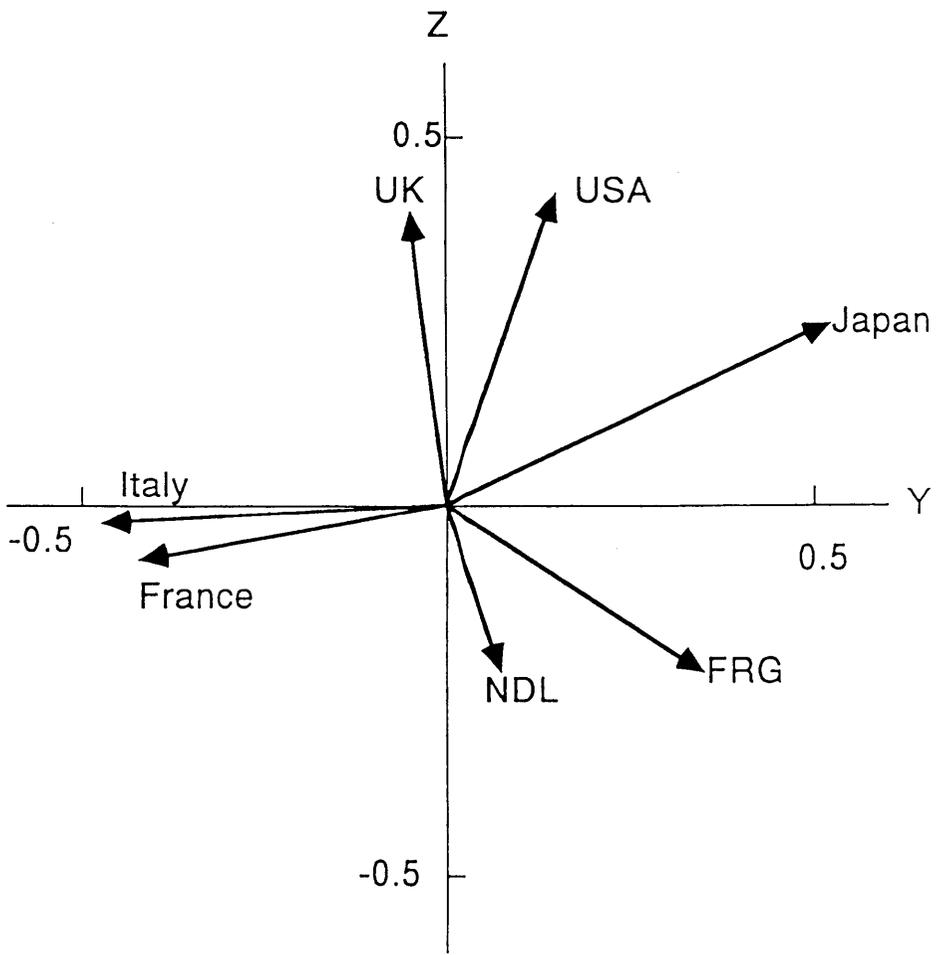


Fig1d

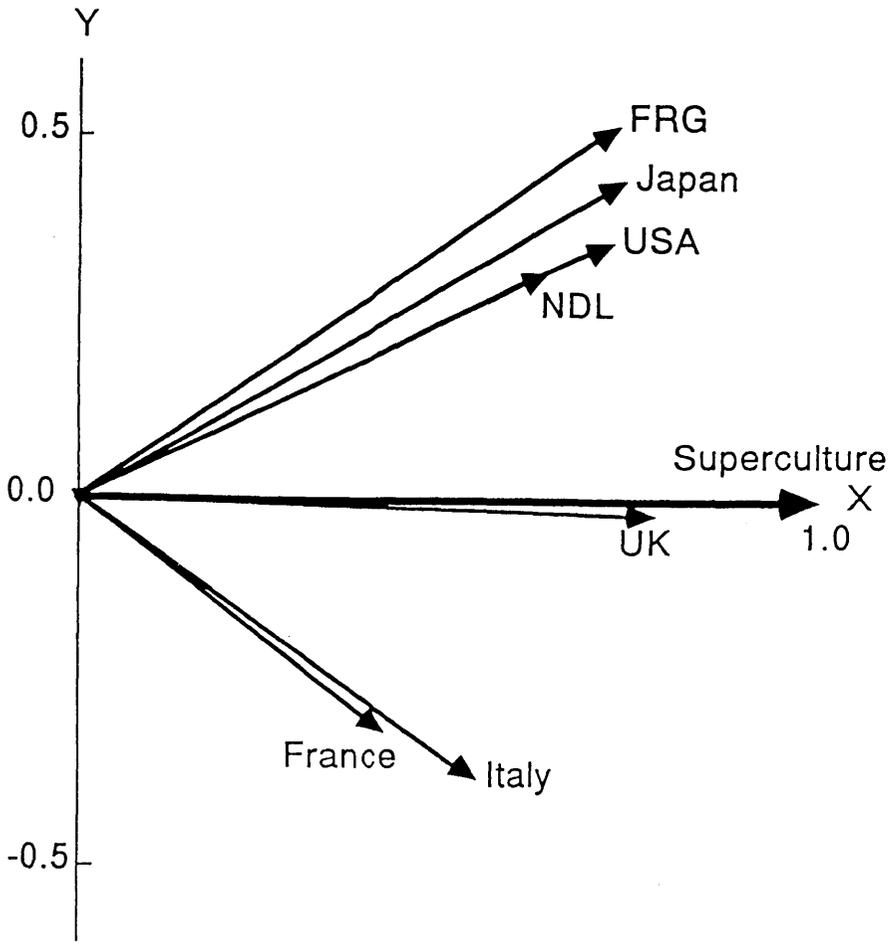


Fig2a

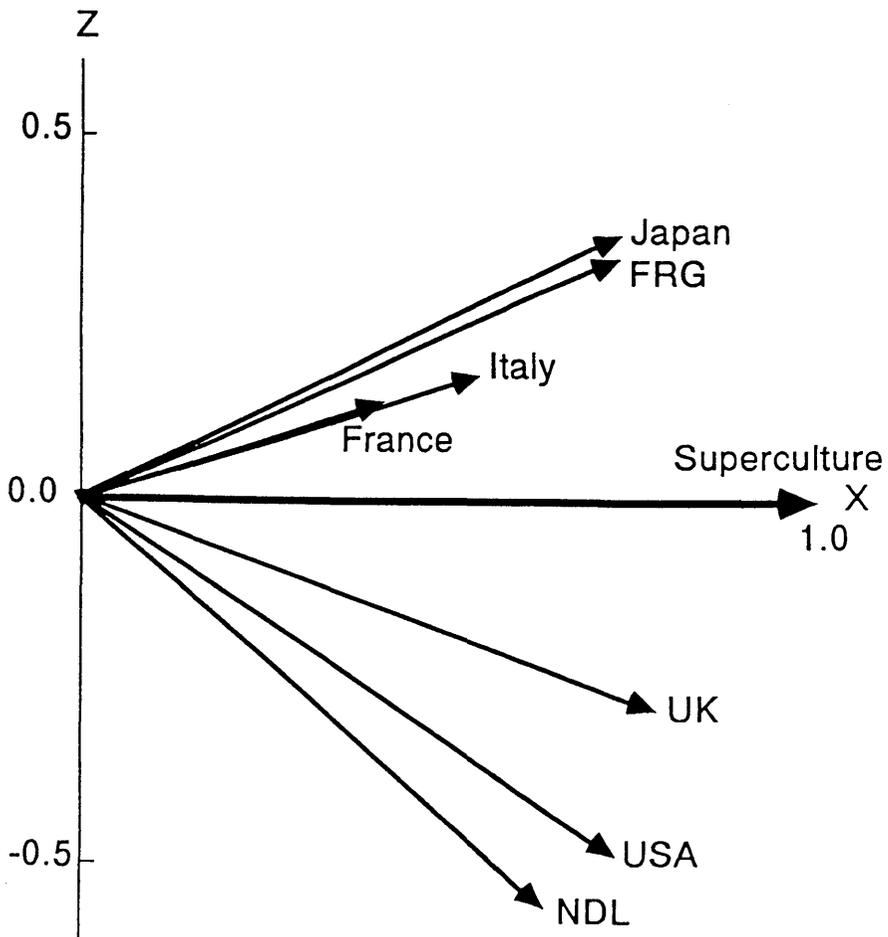


Fig2b

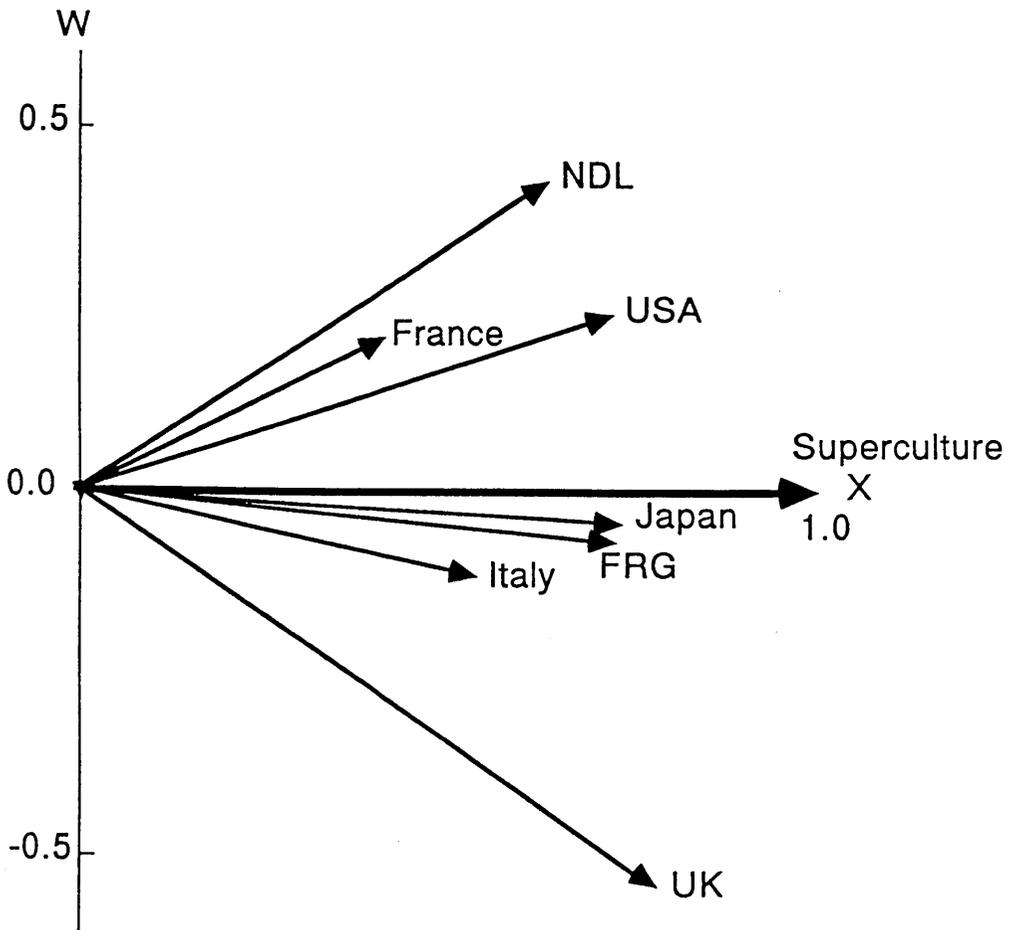


Fig2c

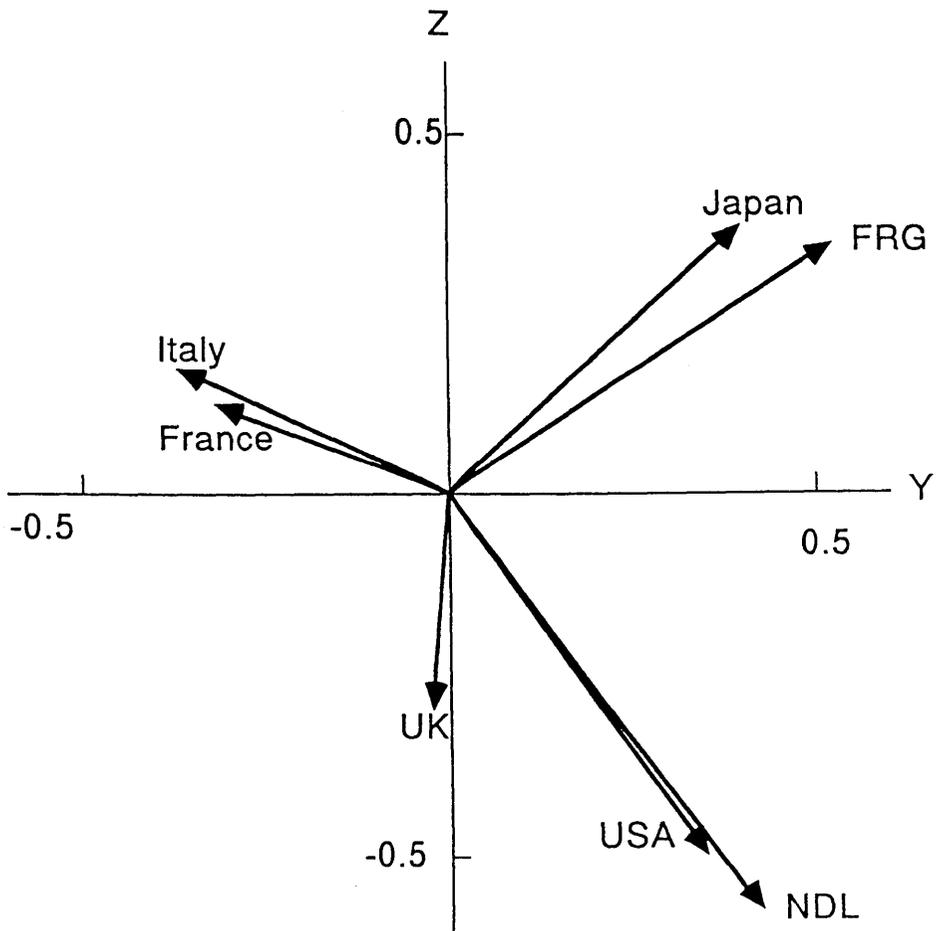


Fig2d

8.6 回答者の「属性の意味」の国際比較

鈴木達三
林 文

1. 目的

社会調査の結果の分析には、属性別のクロス集計が最も基本的な当然のこととなっている。性別、年齢別、学歴別や、職業別、居住地域の人口規模別（都会と田舎）等が使われる。ところが、国外との比較をする場合には、属性自体の意味が異なる場合が出てくる。そこで、どのような点が同じなのか、あるいは異なるのか、属性の持つ意味を探ってみる必要がある。通常、ある質問に対して、ある国では年齢による差があり別の国では差がない、といったように、質問に対する回答の様子を知る手段として属性を用いる。しかし、属性別に見るとということ、例えば性別では、暗黙のうちに了解された社会的背景の中での男女差を念頭において見るということであって、他の社会では異なった背景があるかもしれない。それがその社会における性別の意味となろう。調査を分析する人間であっても、その属する社会に規定された無意識の意味づけを持ってしまうのは避けられないことである。属性の意味をどう捉えるか。2つの国の間で性別が同じ意味を持つということは、性別によって社会の様々な事に対する意見や態度の違いが同じように出てくるということであり、社会の様々な背景というものを調査各質問項目で捉えるならば、その性別の回答差が同じはずである。性別が違う意味を持つということは社会的背景での性別による差が異なっているということであり、調査質問項目における男女の回答差が2国間で異なるということである。逆に言うと、2国間でいろいろな項目に対して男女の回答差が同じように現れるとき、性別はその2国間で同じ意味があると考ええる。すなわち、各属性の2つの相対する層の違いが、各質問の回答の差にどう影響を及ぼしているかを各々の国で見えていき、全ての質問に対する影響の現れ方が似ていれば、その属性がそれらの国々で同じ意味だと考えてよく、また、属性における層の差が質問回答に異なった影響を持つとき、その属性は異なった意味を持っていると考えたのである。また、ある国のある属性が、他の国の別の属性と同じ様な影響の及ぼし方を示すならば、それらの国のそれぞれのその属性は似た意味を持っているといえよう。

これを実際のデータで分析するには、比較の対象となる数カ国で、同一質問項目、属性項目で、信頼できる調査がなされていなくてはならない。日本、アメリカ、ドイツ、フランス、イギリスの5カ国に対して行なった国際比較調査（特別推進研究「意識の国際比較方法の研究」 研究代表者 林 知己夫 1986-1990）のようなきちんとしたデータがあって、はじめてこのことが可能である。

2. 方法および結果

各質問カテゴリーへの回答をそれぞれの国で属性別に集計した分布表をもとにする。5カ国の属性の集計結果を示すのは大部になるので、日本のクロス集計の分布表を最後にかかけておく。さて、問題とする属性は次に示す8属性である。各属性の各層による回答率の差を見るのに、ここでは、各属性の相対する2層で、回答カテゴリーへの回答率に差があるかどうかを考えることにする。相対する2層の比較だけでは十分ではないが、ひとつの見方として考えてみたい。クロス集計表でいうと左に*印のついたものを比較しているのである。次にこの属性の内容の詳細をあげておく。

(1) 属性としてとりあげたもの

属性として、「性」、「年齢」、「学歴」、「社会的階層意識」、「世帯収入」、「保革意識（政治意識における保守対革新）」、「宗教」、「居住地域の人口規模」の8つをとりあげた。各属性の相対する2つの層は第一表の通りである。

これで、上記の5カ国の比較をすることとする。調査した質問項目は5カ国ほぼ共通のものである。相互の翻訳にも十分な検討がなされている。しかし、属性については、それぞれの国で委託した調査機関の通常の形式をそのまま利用したところも多い。この5カ国調査では、共通している属性が上記の8つである。このほか、「職業別」もあるが、各国の分類を共通させるのは見かけとは異なり非常に難しい（例えばILOコード）。国内の調査でよく使われる「支持政党」も、当然、異なる国の間では比較できない。上に示した8属性が、どの様な質問からとられたのか、どの様に5カ国共通に使える属性カテゴリーとしたかを、簡単に示しておく。

第1表

属 性	記号	比較した層	
1. 性別	●	男	女
2. 年齢別	○	30歳未満	60歳以上
3. 学歴別	□	高	低
4. 社会的階層意識	■	上(1+2)	下(4+5)
5. 世帯収入	△	(高	対 低)
ドイツでは		3500 以上	2000 未満
フランスでは		12500 以上	6000 未満
イギリスでは		25000 以上	5500 未満
アメリカでは		40000 以上	15000 未満
日本では		800万 以上	400万 未満
6. 保革意識	▲	左(1+2+3)	右(7+8+9)
7. 宗教	☆		
ドイツでは		プロテスタント	カトリック
フランスでは		宗教なし	カトリック
イギリスでは		宗教なし	プロテスタント
アメリカでは		カトリック	プロテスタント
日本では		宗教なし	仏教
8. 人口規模別	★	(都会	対 田舎)
ドイツでは		50万 以上	2万 未満
フランスでは		10万 以上	2万 未満(RURAL)
イギリスでは		METROPOLITAN COUNTY	RURAL
アメリカでは		100万 以上	2500 未満
日本では		6大都市	郡部

(●、○等の記号は、分析結果の図示に用いたものである)

「性別」、「年齢別」についてはほとんど問題はない。

「学歴」は各国で制度が異なる。ヨーロッパ、アメリカでは就学年数を尋ねており、こ

れに基づいて3段階に分類してある。日本は学校種別から分類してある。

「貴族階層別」は、属性としてでなく、質問項目の一つである。社会的帰属階層意識と言った方がよい。5段階にわけるとしたらどこに属すると思うか、というもので、これここでは、3段階にまとめて用いている。

「世帯収入」は、それぞれの国の事情によって用意された収入額のカテゴリーを用いている。アメリカのみ尋ね方が複雑で計20カテゴリーへの分類を3段階に再分類するというやり方である。

「保革意識」は、これも質問項目の中に入っている。保革（左右）10段階のどこに属するかを問うものである。

「宗教」も、質問項目として尋ねている。

「人口規模別」は、それぞれの国での調査地点情報を用いている。イギリスのみ、「人口規模」としての記載がなく、他の地点情報から3段階を作成した。

(2) 相対する2層間の回答選択率の差による分析

ある質問回答カテゴリーに対して、それぞれの国において、第1表に示した属性それぞれ、相対する2層間の回答率の差（左側の層の回答率 P_1 - 右側の層の回答率 P_2 ）を標準化したものを、属性の回答に対する影響の尺度とした。従って、属性の内容は第1表の右側の層に対する左側の層の性質によって代表される。比較の方向は、日本を標準にしてなるべく同じ向きになるように設定したが、宗教は比較の2つの層が各国異なる。標準化は

$$(P_1 - P_2)/\sigma,$$

$$\text{ただし } \sigma^2 = P(1 - P)(1/n_1 + 1/n_2),$$

P は P_1 と P_2 の平均,

n_1, n_2 はそれぞれ左側の層、右側の層のサンプル数

による。属性の性質をこのような差だけで考えるのは十分ではないかもしれないが、分析の第一歩として簡明な尺度による検討を試みたものである。例としてクロス集計表と標準化した値の一部を第2表、第3表に示す。

質問は調査に用いられたほとんど全て、およそ100問で、回答肢もほとんど全てをとりあげた。ただし、段階回答の場合はカテゴリをまとめ、総計244回答肢を比較の素材とした。質問や回答肢の取り上げ方によっても、属性の影響の仕方が異なることが考えられるが、これらの質問は日常生活の意識に関する様々な側面の質問を含んでおり、全体的な傾向を把握するには適当であると考えた。

この244の各質問回答肢に対して、5カ国×8属性それぞれの影響の尺度が与えられることになるが、こうした各国属性の各質問回答に対する影響の仕方を総合的に見るために、主成分分析を行なった。通常の形で言えば、244ケースに対する40（5×8）変数のデータの主成分分析である。つまり5カ国×8属性への主成分得点が得られる。その結果を第1主成分×第2主成分の図に示す（第1図）。

この結果を見ると、大まかには国×属性がそう入り交じらず、**国の差よりも属性の差の大きい**ことがわかる。特に、「階層別」といえば、どの国でも様々な意見との関連の仕方が似ている。すなわち階層別は国別を越えて共通の意味があるといえる。「世帯収入」も同様に、各国での意味は似ており、しかもこれは、「階層意識」とも近い。「性別」は第3主成分でとくに特徴付けられるが、国にかかわらず似ていることが示される。「年齢別」、「学歴別」、「保革意識」も、それぞれ5カ国が一応のかたまりをなす。しかし、「学歴」はドイツの学歴（高）が年齢（30歳未満）とよく似ているのに対し、フランス、ア

アメリカ、イギリスの学歴（高）は「世帯収入」（高）と似ている。「人口規模別」はフランス、アメリカ、日本の都会が高学歴や男と近い意味を持っているが、イギリスでは「階層」（上）と逆のものと似ているといえる。「宗教」については、フランス、イギリス、日本は宗教を信じる・信じないの比較であったが、ドイツ、アメリカはプロテスタント、カトリック両派の差を取り上げた。意味が違うのは当然である。しかし、ドイツにおけるプロテスタント層とカトリック層との比較をすると、フランス、イギリス、日本における宗教を信じない層と宗教ありとの比較と意味が似ていることが現れている。このことは各質問から見た属性別集計の観察からも、見いだされていることである。

（3）相対する2層間でどちらに多く選択されたかの分類を用いた分析

もうひとつの分析として、各質問回答が、属性の相対する2つの層のどちらに多く選択されているかを使って、パターン分類の数量化を行なった。それぞれの質問への回答が、各属性の相対する2つの層のどちらに多く選択されているかは、 $P1 - P2$ （ $P1$ は第1表の左の層での回答率、 $P2$ は右の層での回答率）で表されるが、これを標準偏差の2倍以上離れているかどうか、すなわち、単純ランダムサンプリングだとして、危険率5%の有意差があるか、によってカテゴリー化した。我々のデータ収集は単純ランダムサンプリングではないが、一応の目安として差の程度を表す尺度として利用する。

$$(P1 - P2)/\sigma,$$

$$\text{ただし } \sigma^2 = P(1 - P)(1/n1 + 1/n2)$$

が、2より大きいとき、第1表の左の層に多い（有意差がある）といえるが、これをカテゴリー「1」とし、-2より小さいとき、右の層に多い（有意差がある）といえるが、これを「3」とする。有意差が無ければ中間のカテゴリー「2」とした。すなわち、分析（2）で用いた尺度をカテゴリー化したものである。第4表は、この総合表であるが、みやすさのために「2」を「.」で表してある。左の表側に諸質問回答があり、表頭は各国の各属性である。

このパターンから質問回答と国×属性の関係を総合的にみるには、パターンの似たもの集めをするパターン分類の数量化（数量化Ⅲ類）を用いた。各質問各質問回答が通常の individual であり、国×属性が item であり、それぞれの item の category の数が3である。

この1次元目×2次元目をプロットすると、国×属性の各層のクラスターは、主成分分析の結果とほとんど同じような結果であった（第2図）。

3. 考察

以上の分析結果は、属性別自体の相互関係によるところも大きいと考えられるが、それについてはここでは考えていない。しかし、異なる文化を持つ集団の属性による比較をするとき、属性それ自体の意味を全体の中でつかんでおく必要がある。上の結果は、各属性の相対する2層間の差だけの比較ではあるが、どんな属性が国を通して共通の意味を持つのか、あるいは、別の国の別の属性と似た意味を持つのか、を一応示していると言えよう。すなわち、「階層意識」や「収入」といった経済的側面が、どの国でも同様の規準を示すものとして有効であること、通常使う「性別」や「年齢別」もほぼ有効であり、「学歴」や「人口規模」などは各国における意味を十分考慮しなければならないことを示している。

第2表 8属性とのクロス集計表の例(日本)

(Q1 #7,308)	102	103	104	その他	5	6	7	8	9	TOTAL	
TOTAL	74.9	16.7	5.3	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2265	100.0
(SEX)											
*MALE	76.2	15.7	5.4	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1046	100.0
*FEMA	73.8	17.6	5.1	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1219	100.0
(AGE)											
*-29	76.1	15.0	2.8-	6.1+	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	360	100.0
30-	74.9	17.4	5.5	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	438	100.0
40-	73.8	18.5	6.5	1.2-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	492	100.0
50-	72.2	19.4	5.5	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	453	100.0
*60-	77.6	13.4-	5.4	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	522	100.0
(EDUCATION)											
*LOW	70.8-	18.9	6.7	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	698	100.0
MID	74.3	17.3	5.1	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1098	100.0
*HIGH	82.5+	12.2-	3.4	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	469	100.0
	-	+	+								
(CLASS)											
*UPP	82.6+	11.1-	3.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	270	100.0
MID	76.7	15.9	4.3	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1262	100.0
*LOW	69.0-	20.2+	7.8+	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	733	100.0
	+	-	-								
(FAMILY INCOM)											
*1 L	70.3-	19.7	7.2+	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	600	100.0
2 M	76.2	16.4	4.4	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	861	100.0
*3 H	82.9+	12.3-	4.1	0.6-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	316	100.0
DK	73.2	16.6	5.1	5.1+	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	488	100.0
	-	+	+								
(POLIT L-R)											
*LEFT	64.2-	23.6+	10.8+	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	148	100.0
MID	75.8	16.6	5.3	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1328	100.0
*RIGHT	81.6+	13.2	4.0	1.2-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	402	100.0
DK	69.3-	18.3	4.1	8.3+	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	387	100.0
	-	+	+								
(RELIGION)											
PROT	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0
CATH	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0
*BUDD	74.6	16.6	6.5	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	645	100.0
OTH	72.0	17.6	6.6	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	182	100.0
*NONE	75.5	16.7	4.5	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1438	100.0
(URBAN-RURAL)											
*1 R	71.0-	20.1+	5.5	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	568	100.0
2	75.6	16.4	4.7	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	464	100.0
3	76.7	15.2	5.2	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	442	100.0
4	78.8	12.6-	6.2	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	373	100.0
*5 U	74.2	17.9	4.8	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	418	100.0

注) 表頭の102, 103, 104は左端の1が質問番号、右端の2はカテゴリー番号を示す。第3表、第4表の左端もこれと同じである。ただしカテゴリーは回答肢をまとめたもので、第4表の右端にまとめた回答肢が示してある。

第3表 相対する2層間の回答選択率の差（日本）

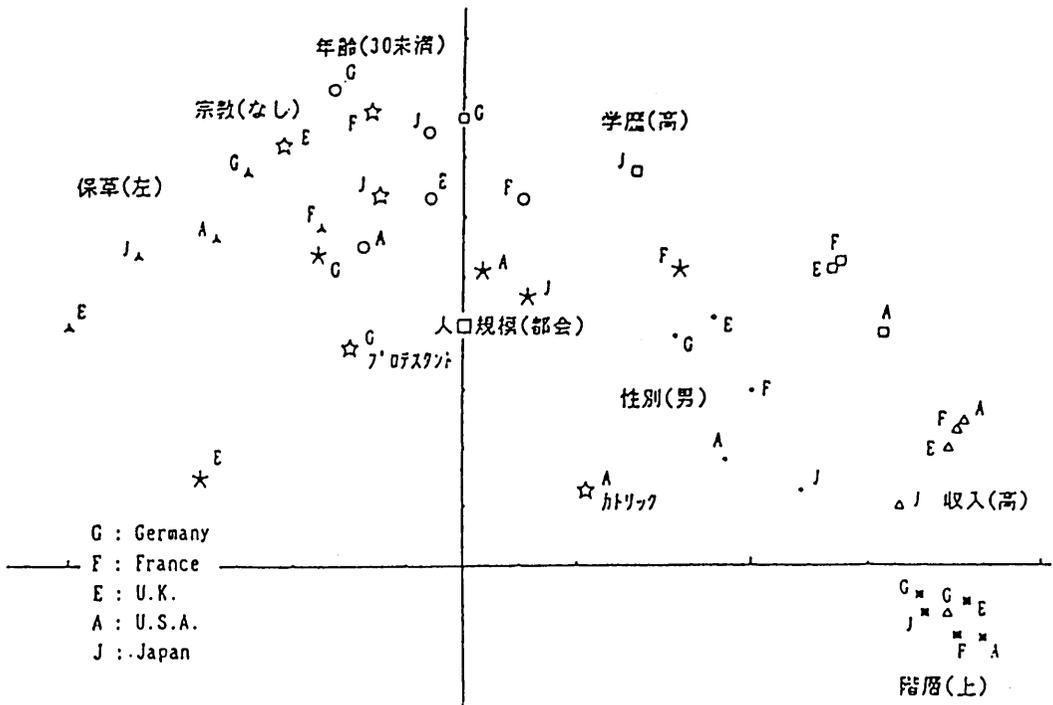
質問 カテゴリー	性別	年齢別	学歴別	社会的		世帯		宗教	人口規模別
				階層意識	収入	保革意識			
102	1.3	-.5	4.6	4.3	4.2	-4.3	.4	1.1	
103	-1.2	.7	-3.1	-3.3	-2.8	3	.1	-.8	
104	.4	-1.9	-2.5	-2.7	-1.8	3	-1.9	-.5	
202	.3	.6	2.9	7.7	5.8	-3.6	-1.8	.3	
203	-.7	.7	-.6	-5.2	-3.3	1.4	2.4	-.2	
204	1.4	-3.4	-4	-4.9	-3.6	3.3	-1.8	0	
302	1.3	7.4	4.3	4.5	1	-.9	3	1.2	
303	-1	-3.2	-1	-.8	.6	-2.7	-3.2	-1.1	
304	.8	-4	-2.3	-4.3	-1.2	4.4	-.1	.1	
401	1.6	.2	-.9	3.2	1.3	-3.5	-1.2	-1.7	
402	-2.7	1.2	1.4	-2	.7	4.2	.1	-.2	
403	1.4	1.1	1.6	-.2	.8	-1.3	.5	2.3	
501	.6	-.5	-2.1	2.3	1.4	-2.5	-1.4	-.9	
502	-.2	3.2	4.8	-2.1	1.6	2.6	1	3	
503	.1	-1.2	-1.2	.4	-1.3	-1	-.1	-.4	
601	-.8	-3	-1.5	2.5	2.1	-5.1	.2	-1.9	
602	1.5	6.6	4.4	-2	-.7	4.3	2	2	
603	1.2	-1.1	.6	-.1	.5	.7	-1.9	.6	
701	4.8	-1.2	-1.8	1.2	-.3	-3.3	-.6	-2.5	
702	-3.9	1.9	3.1	-2.6	.7	1.8	-.1	2.2	
703	-.9	1.1	-.4	1.4	-.8	1.7	0	.2	
801	4.6	-1.1	1.1	.2	2	-3.4	-2.4	-1	
802	4.3	5.3	5.1	1.2	1.1	2.1	.1	1.4	
803	-7	-3.7	-6.2	-1.8	-2.8	-1.1	-.1	-.1	
804	3.1	1.4	4.2	1.5	2.2	4.2	1	2.1	
912	-1.1	-4.4	-4.8	-3.2	.2	.2	-2.7	-1.2	
913	1.3	4.5	5	3.3	.2	-.3	2.6	1.1	
922	-2.1	2	-1.6	-2.1	3.6	1.3	-.7	-.3	
923	2	-1.2	2.2	2.2	-3.3	-1.3	1.2	.6	
932	1.5	1.1	-2.6	-4.3	-.5	2.8	1.1	-.4	
933	-.7	2.1	4.2	4.1	1	-2.3	.5	.5	
942	-2	0	-.1	-1.8	0	5.7	-2.5	.9	
943	2.7	1.4	1.4	1.5	.4	-6.3	2.4	-.1	
952	-2.8	1.2	3.9	-1.3	.6	4.3	-1.4	1.2	

属 性

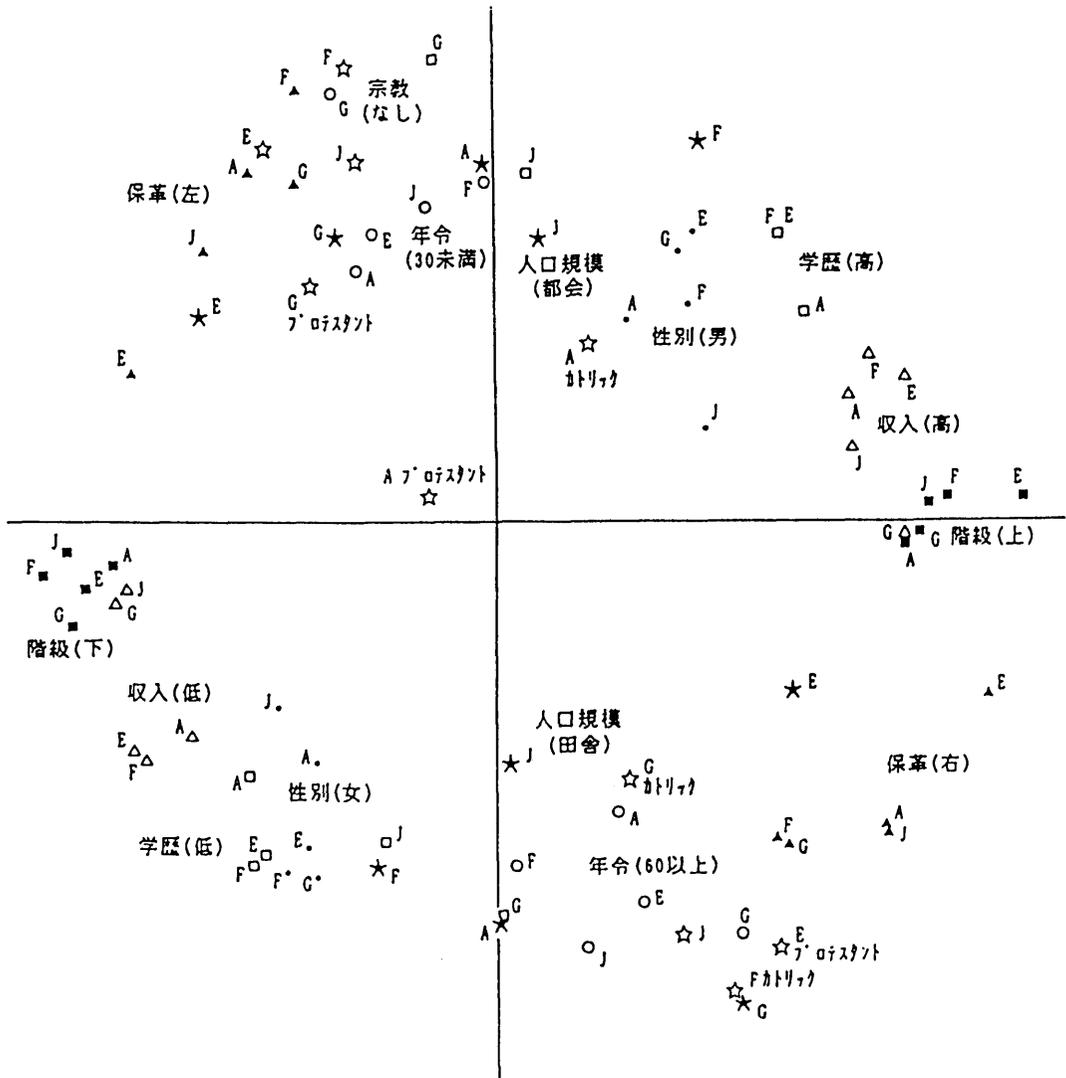
比較した層（日本）

1. 性別	男	-	女
2. 年齢別	30歳未満	-	60歳以上
3. 学歴別	高	-	低
4. 社会的階層意識	上 (1+2)	-	下 (4+5)
5. 世帯収入	高	-	低
6. 保革意識	左 (1+2+3)	-	右 (7+8+9)
7. 宗教	宗教なし	-	仏教
8. 人口規模別	都会	-	田舎

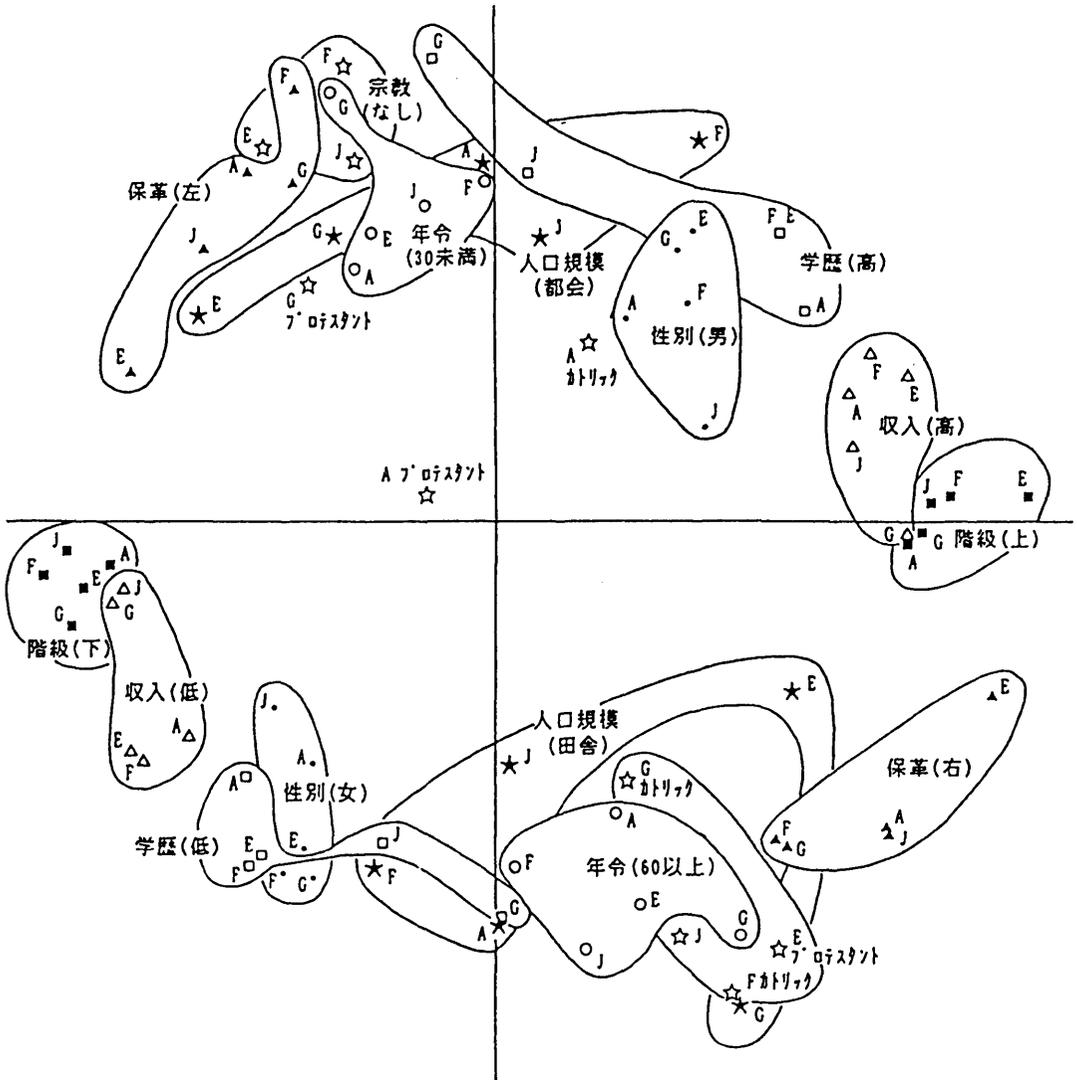
第1図 主成分分析による5カ国8属性の布置（第1主成分×第2主成分）



第2図(その1) パターン分類の数量化による5カ国8属性の布置(1次元目×2次元目)



第2図(その2)



第4表 相対する2層間の回答肢選択率の差

(58頁～67頁)

表の見方

(1) 表中の「1」「・」「3」は

- 1 : 各属性で、第1表の左に示した層と右に示した層の回答の差 プラス
- 2 : 各属性で、第1表の左に示した層と右に示した層の回答の差 なし
- 3 : 各属性で、第1表の左に示した層と右に示した層の回答の差 マイナス

(2) 表題の「G」「F」……は

- G : ドイツ
- F : フランス
- E : イギリス
- A : アメリカ
- J : 日本

(3) 左端欄の「6711」等は

- 左の2桁「67」は質問番号
- 次の「1」はサブ質問番号
- 右の「1」はカテゴリー番号

ただし、このカテゴリーはもとの回答肢をまとめたものもあり、右端に、まとめた回答肢が示してある。

質問 NO.	C A T	性		年齢		学歴		階層		収入		保革		宗教		都会-田舎																									
		G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J
		1:Male	3:Female	1:18-29	3:60-	1:Low	3:High	1:High	3:Low	1:Low	3:High	1:Left	3:Right	C* P N	C P N	P P B C N	1:Rural	3:Urban																							
1	2	1	.	1	.	3	3	3	3	.	1	1	1	1	.	3	3	3	3	3	.	3	.	3	3	3	3	.	1	.	1	.	102	1+2			
1	3	3	1	.	.	.	3	1	.	.	.	1	3	.	.	.	103					
1	4	1	1	1	.	1	3	3	3	.	1	3	1	1	.	1	1	1	.	1	1	1	.	3	.	3	.	104	4+5				
2	2	1	1	1	1	.	3	3	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1	3	3	3	3	3	.	3	202	1+2						
2	3	3	.	3	3	.	1	.	1	.	.	.	3	.	.	1	1	1	1	1	3	203						
2	4	3	3	3	3	.	1	1	1	1	3	3	3	3	3	1	1	1	1	1	.	.	1	1	1	204	4+5					
3	2	1	1	1	1	1	3	3	3	3	.	.	1	1	.	3	3	3	3	.	3	.	3	.	3	.	302	1+2					
3	3	.	.	3	3	.	3	3	3	3	.	1	3	.	.	.	3	3	.	.	1	1	.	.	.	1	.	.	303						
3	4	.	1	.	.	3	3	3	3	.	1	1	1	1	3	3	3	3	1	.	1	1	.	.	1	1	304	4+5						
4	1	.	.	1	.	.	1	1	1	.	3	.	.	.	1	1	.	1	1	.	3	.	3	.	3	3	3	401							
4	2	3	.	.	3	.	3	3	3	.	1	1	.	.	3	3	.	.	1	1	1	1	.	1	1	1	.	1	1	1	.	.	1	1	.	402					
4	3	3	3	3	3	.	.	3	.	403					
5	1	.	1	1	1	.	1	1	1	1	3	.	.	3	.	501					
5	2	.	.	3	3	.	3	.	3	1	.	.	.	3	.	3	3	3	1	.	.	.	1	1	1	1	.	.	1	.	.	.	3	.	502						
5	3	.	.	1	1	3	503						
6	1	.	.	3	.	.	1	.	3	.	3	.	.	3	.	3	3	3	3	.	3	.	3	3	3	3	.	.	3	601							
6	2	.	.	1	.	.	1	.	1	3	1	.	3	.	3	.	3	.	1	.	.	1	1	1	1	1	.	3	1	3	.	1	.	1	.	602					
6	3	3	3	.	.	.	1	3	.	3	.	.	3	.	.	3	.	1	.	.	.	3	.	603						
7	1	1	3	3	3	.	1	1	1	1	.	3	3	.	3	.	3	3	3	1	.	1	.	.	3	.	1	.	701				
7	2	.	3	.	3	.	.	1	.	.	1	1	1	3	.	.	3	3	.	1	1	1	1	.	1	1	1	.	1	.	.	3	.	1	.	3	.	702			
7	3	3	.	.	1	3	703					
8	1	.	3	.	1	.	3	3	3	.	1	1	.	3	.	.	1	.	.	3	3	.	3	3	3	3	.	1	1	.	1	.	1	.	801						
8	2	.	1	.	1	.	1	1	1	1	1	1	1	1	3	3	.	3	.	.	3	.	.	1	1	1	1	.	3	3	.	.	3	3	.	802					
8	3	.	.	.	3	.	.	3	3	3	1	1	1	1	1	3	.	1	1	.	1	1	803						
8	4	.	.	1	.	1	.	1	1	1	.	3	3	.	3	.	.	3	.	3	.	1	1	1	1	1	.	3	.	.	3	.	3	.	804						

*) 宗教 P:プロテスタント; C:カトリック; B:仏教; N:なし

質問 NO.	C A T	性		年齢		学歴		階層		収入		保革		宗教		都会-田舎																									
		G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J
		1:Male	3:Female	1:18-29	3:60-	1:Low	3:High	1:High	3:Low	1:Low	3:High	1:Left	3:Right	C* P N	C P N	C P B	N C N	1:Rural	3:Urban																						
9-1	2	3	3	3	3	3	1	1	1	1	1	3	3	1	1	1	3	1	912	1+2																					
9-1	3	1	1	1	1	1	3	3	3	3	3	1	1	3	3	1	3	1	913	3+4																					
9-2	2	3	3	3	3	1	1	1	1	1	3	3	3	3	1	3	1	922	1+2																						
9-2	3	1	1	1	1	3	3	3	3	3	1	1	1	1	3	1	1	923	3+4																						
9-3	2	3	3	3	3	1	1	1	1	1	3	3	3	1	1	1	3	932	1+2																						
9-3	3	1	1	1	1	3	3	3	3	3	1	1	1	1	3	3	1	933	3+4																						
9-4	2	3	3	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	942	1+2																						
9-4	3	1	1	1	1	3	3	3	3	3	1	1	1	1	3	3	3	943	3+4																						
9-5	2	3	3	3	3	1	1	1	1	1	3	3	3	1	1	1	1	952	1+2																						
9-5	3	1	1	1	1	3	3	3	3	3	1	1	1	1	3	3	3	953	3+4																						
10-1	1	3	3	3	3	1	1	1	1	1	3	3	3	3	1	1	1	1011																							
10-1	2	1	1	1	1	3	3	3	3	3	1	1	1	1	3	3	3	1012																							
10-2	1	1	1	1	1	3	3	3	3	3	1	1	1	1	3	3	1	1021																							
10-2	2	3	3	3	3	1	1	1	1	1	3	3	3	3	3	3	3	1022																							
10-3	1	3	3	3	3	1	1	1	1	1	3	3	3	3	1	1	1	1031																							
10-3	2	1	1	1	1	3	3	3	3	3	1	1	1	1	3	3	3	1032																							
10-4	1	3	3	3	3	1	1	1	1	1	3	3	3	3	1	1	3	1041																							
10-4	2	1	1	1	1	3	3	3	3	3	1	1	1	1	3	3	1	1042																							
10-5	1	3	3	3	3	1	1	1	1	1	3	3	3	3	1	1	3	1051																							
10-5	2	1	1	1	1	3	3	3	3	3	1	1	1	1	3	3	3	1052																							
10-6	1	3	3	3	3	1	1	1	1	1	3	3	3	3	1	1	3	1061																							
10-6	2	1	1	1	1	3	3	3	3	3	1	1	1	1	3	3	3	1062																							
10-7	1	3	3	3	3	1	1	1	1	1	3	3	3	3	1	1	1	1071																							
10-7	2	1	1	1	1	3	3	3	3	3	1	1	1	1	3	3	3	1072																							

*) 宗教 P:プロテスタント; C:カトリック; B:仏教; N:なし

質問 NO.	C A T	性		年齢		学歴		階層		収入		保革		宗教		都会-田舎																										
		G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G		F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J
		1:Male	3:Female	1:18-29	3:60-	1:Low	3:High	1:High	3:Low	1:Low	3:High	1:Left	3:Right	C* P N	C N C N	1:Rural	3:Urban																									
10-8	1	1 1 1 1	3 3 3 3 3	1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	. 3 3 3 . .	1081																																
10-8	2	3 3 3 3	1 1 1 1 1	3 3 3 3 3	3 3 3 3 3	. 1 . . .	1	1082																																
10-9	1	. . 3 3 3	. . 1 1 .	. 1 1 . .	. 3 3 3 .	. 1 . 1 .	. . 1 . 1 1 . . .	1091																																
10-9	2 1 3 3 . .	1 1 1 1 .	3 3 3 3 .	3 . . 3 3	1	1092																																
1010	1	1 1 1 1 .	. . 1 1 .	3 3 3 3 3	1 1 1 1 .	1	3 3	1001																																
1010	2	1 1 1 . .	. 3 3 3 .	1 1 1 1 1	3 3 3 3	1	1002																																
11	1	3 3 3 . 3	. . 1 . 1	1 . . 1 .	. . 1 . .	3 3 . . 3	. 1 1 . 1	. . . 1 .	1101																																
11	2	. . 1 . .	1 1 1 1 1	3 3 3 . 3	. 1 1	1 . . . 1	. 3 3 . 3	3 . 3 3 3	1102																																
11	3	3 . 1 . 1	1 . 3 . 3	. 3 3 1 3	1 . 1 3 .	1103																																
12	1	3 . . . 1	1 1 . 1 3	. . 1 . 1	1 1 3 1 1	. . 1 . .	1 3 1 1	1201																																
12	2	1 . . . 3	3 . . 3 1 3	. . . 3 .	1 . . . 3 3 . 1 3 3	1202																																
12	3	1 3 3	3	1	1203																																
13	1 3	1 1 1 .	. 3	1301 0+1																																
13	2 1 1	. 1 . 3 3	. 3 . . .	3 1 1 3 3	1302																																
13	3	. 3 1 . 3	. 3 . . 3 1 3 1 . . 1 1	1303																																
13	4 3 3	. 3 . 1 1 1 3 1 3	1304 4+..+																																
14-1	1	3 3 3 3 3	. 1 1 1 .	. . 1 3 3 1 3	1411																																
14-2	1	3 3 3 3 .	3 . 3 . 3	1 1 1 1 .	. 3 3 3 3	1 1 1 1 1 1	1421																																
14-3	1	3 3 3 3 .	. 1 . 1 1	. . . 1 3	. . . 3 3	. . 1 1 1	3	1431																																
14-4	1	. 3 . 3 3	. 3 . 1 1 .	3 3 3 3 .	1 1 1 1 .	1 . . 1	3 . . . 3	1441																																
14-5	1	3 3 3 3 3	3 3 3 . 3	1 1 . 1 .	3	1 1 1 1 1 1 . .	1451																																
15	2	1 . . 1 .	1 1 3 3 3 .	. 1 1 1 1	3 3 3 3 .	. . 3	1502 1+2																																
15	3	3 . . 3 .	3 3 1 . 1 .	3 3 3 3 3	1 1 1 1 1	. . 1	1503 3+4																																

*) 宗教 P:プロテスタント; C:カトリック; B:仏教; N:なし

質問 NO.	C A T	性		年齢		学歴		階層		収入		保革		宗教		都会-田舎																									
		G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J
		1:Male	3:Female	1:18-29	3:60-	1:Low	3:High	1:High	3:Low	1:Low	3:High	1:Left	3:Right	C* P N	C N C N	1:Rural	3:Urban																								
17	1	1	1	1	1	1	3	3	3	3	3	1	1	1	1	1	3	1	1701										
17	2	1	1	1	1	1	3	3	3	3	3	1	3	3	.	.	3	.	.	3	3	1702											
18	1	.	.	.	1	1	1	.	3	3	3	.	1	.	.	3	.	.	1	3	.	.	.	1	.	.	1	1801													
18	2	.	.	.	3	3	.	3	3	.	1	1	.	.	.	1	3	3	1802													
19	1	.	.	1	1	3	3	.	.	3	3	.	1	.	.	3	.	3	3	3	.	.	1	1	.	1	1901														
19	2	.	.	.	1	1	.	.	1	1	3	.	.	.	1	.	1	.	1	.	.	.	3	.	3	3	.	3	1902												
20	1	.	1	1	.	.	.	1	.	1	1	.	.	.	3	3	.	.	3	3	3	.	.	3	3	.	3	3	2001												
20	2	.	3	.	1	1	.	3	.	.	1	1	1	1	3	.	3	3	3	.	1	1	1	.	.	1	1	2002													
20	3	.	3	.	3	3	.	1	1	.	3	.	1	1	1	1	2003												
20	4	.	.	.	1	.	.	1	3	3	3	3	3	3	1	.	1	1	1	3	3	3	3	3	.	3	.	3	1	3	2004										
21	1	1	.	1	1	1	1	1	3	3	3	3	3	.	1	.	3	3	3	3	3	3	3	1	.	1	.	3	.	.	.	2101									
21	2	.	1	.	1	3	.	1	1	.	3	1	1	.	.	.	1	1	.	1	.	.	1	.	1	.	3	.	.	.	2102										
22	1	.	.	1	1	1	.	1	1	1	1	.	.	1	.	.	3	3	.	3	.	.	3	.	.	3	.	1	2201												
22	2	.	.	.	1	.	.	1	1	.	1	.	3	.	1	3	3	.	.	2202												
22	3	1	.	.	1	.	3	.	3	3	.	3	.	3	3	1	3	3	.	1	3	2203											
22	4	.	.	3	3	3	1	1	3	3	3	.	1	1	1	1	.	.	3	2204												
22	5	.	.	3	1	3	.	3	3	3	3	.	1	.	1	1	1	1	1	.	1	1	.	1	2205												
22	6	.	.	1	1	.	3	.	3	.	1	1	1	3	1	.	1	.	.	2206												
23	2	3	3	3	3	3	1	.	1	1	1	3	3	3	3	3	3	3	3	.	1	1	1	1	1	1	2302	1+2									
23	3	1	1	1	1	1	3	.	3	3	3	3	1	1	1	1	1	1	1	.	3	3	.	3	3	3	2303	3+4									
24-1	2	3	.	.	.	3	1	.	3	3	.	3	3	3	2412	1+2										
24-1	3	3	.	.	.	1	3	.	1	1	.	1	1	1	2413	3+4										
24-2	2	.	3	.	.	3	.	.	1	3	.	.	3	3	3	3	3	2422	1+2										
24-2	3	.	1	.	.	1	3	.	.	3	3	1	.	.	1	.	.	.	1	3	.	.	.	1	.	1	1	1	2423	3+4											
25	1	1	1	1	1	1	3	.	.	.	1	1	.	1	3	1	.	3	2501												
25	2	3	3	.	3	3	.	1	3	2502												

*) 宗教 P:プロテスタント; C:カトリック; B:仏教; N:なし

質 問 NO.	C A T	性	年齢	学歴	階層	収入	保革	宗教	都会-田舎		
		G F E A J	G F E A J	G F E A J	G F E A J	G F E A J	G F E A J	G F E A J	G F E A J		
		1:Male	1:18-29	1:Low	1:High	1:Low	1:Left	C* C P P B	1:Rural		
		3:Female	3:60-	3:High	3:Low	3:High	3:Right	P N N C N	3:Urban		
27-1	7	3 3 3 3 3	3	1 . 1 1 .	3 3 . 3 .	3 . . 3 .	. . 1 . 1	1 . . 1 1	2717	7
27-2	7	1 . 1 1 1	1 . 1 1 1	. . 3 3 3	1 3 . 3	3 3 3 . .	. 1 3 . 1	2727	6+7
27-3	7	. 1 1 . 1	1 1	3 3	1 . . 1	1 1 3	2737	7
27-4	7	. . . 3 3 1	1 . 3 3 1	3 1 1	. . . 1 .	1	3	2747	7
27-5	7	3 . 3 3 .	. . 1 1 .	. 1 . 1 1	. 1 . . .	3	1 1 . . 1	2757	7
27-6	1	1 1 1 1 .	1 1 1 1 1	3 3 3 3 3	. 3 3 .	1 1 1 1 1	3 3 3 3 3	. 3 . 3 .	2761	1+2
27-6	7	3 3 3 3 .	3 3 3 3 3	1 1 . 1 1	. . . 1 .	1 1 . 1 .	3 3 . 3 .	1 1 1 . 1	1 1 . 1 .	2767	6+7
27-7	1	3 . . . 3	3 . . . 1	1 1 1 1 .	3 3 . 3 .	1 1 . 1 3 . . 3	1 1 . . .	2771	1+2
27-7	7	1 . 1 . 1	. . 3 . 3	3 1	2777	6+7
28	2	. . 3 . .	3 . . 3 3	1	1 1 . 1 1	3 3 . 3 3	3 . . 3 .	. . 1 . 1	1 . 1 . .	2802	1+2
28	3	. . 1 1	3	3 3 . 3 3	1 1 1 . 1	1 3 . .	3 . 3 . .	2803	
28	4 3 3 3 3	. 1 . 1 1	. . . 1 3	2804	4+5
29	2 3	3 . 3 3 3	1 1 1 1 1	3 3 3 3 3	3 . 3 3 3	. 1 1 . 1	1	2902	1+2
29	3	1 . . 1 1	3 3 . 3 3	1 . 1 1 1	1 3	3	2903	
29	4 1 1	3 3 3 3 3	1 . 1 1 1	1 . 1 1 1	. . 3 . 3	2904	4+5
30	1	3 1 . . 3	. 3 . 3 .	1 1 1 1 1	3 3 . 3 .	3 . 3 3 3 1	1 . . . 1	3001	
30	2 3 . 1 1	. 1 . 1 .	3 . 3 3 3	1 1 1 1 .	1 . 1 1 1	. . . 3 3 3	3002	
31	1	1 1 1 1 1	. . 3 . 3 1 .	1 1 1 1	3	3101	
31	2 1	3 3 3 3 .	. . 1 1	. . . 3 3	3 3 3 3	1 3 . . .	3102	
32	1	. . . 3 .	. 3 3 1 3 1 1 1 .	3201	
32	2	. . . 1 .	. 1 1 1 .	. 3 3 3 .	. 1 1 3 1 .	. 3 3 . .	. 3 3 3 .	3202	
32	3 3 . . 1	. 1 . 1 3 3 1 1 3 .	3203	
33	1	. . . 1 1	3 3 . . 3	1 1 1 1 1 1 . 1 1 1	1 1 . 3 .	3301	
33	2	. . . 3 .	1 1 . . 1	3 3 3 3 3 3 . 3 3	1 . 3 . 1	. 3 . . 3	3 3 . 1 .	3302	
33	3 3 . . 1 3 3	. . 1 3	. 1 . . .	3303	

*) 宗教 P:プロテスタント; C:カトリック; B:仏教; N:なし

質 問 NO.	C A T	性		年齢		学歴		階層		収入		保革		宗教		都会-田舎																									
		G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J
		1:Male	3:Female	1:18-29	3:60-	1:Low	3:High	1:High	3:Low	1:Low	3:High	1:Left	3:Right	C* P N	C N C N	1:Rural	3:Urban																								
34	1	.	.	.	1	.	3	3	3	3	1	1	1	1	.	.	.	3	3	3	1	.	.	.	3	.	3	401													
34	2	.	1	.	1	1	1	1	1	3	3	3	3	.	.	.	3	3	3	3	1	1	1	1	.	3	1	3	3	402											
34	3	3	1	.	.	1	3	.	.	3	1	3	403											
35	1	.	.	1	1	1	.	.	3	3	3	3	.	1	.	1	.	.	3	.	.	3	.	.	3	501											
35	2	.	.	.	3	3	.	.	3	1	1	1	1	.	.	.	1	.	.	1	.	.	1	.	.	1	.	.	3	502											
35	3	.	.	3	.	.	.	1	1	1	3	3	.	.	.	3	.	.	1	.	3	3	503											
36	1	3	3	3	601										
36	2	3	1	.	.	1	1	.	.	3	602										
36	3	3	.	.	1	1	1	.	.	3	603											
37	1	.	.	3	.	3	3	3	3	3	1	1	1	1	.	3	3	3	.	1	1	1	1	.	1	1	1	.	3	701											
37	2	.	.	1	.	1	1	1	1	1	3	3	3	.	1	1	1	1	.	3	3	1	3	3	3	3	.	3	3	702											
38	1	.	.	.	1	3	3	3	3	3	1	1	1	1	.	3	3	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	.	3	801										
38	2	3	3	.	3	3	3	1	1	1	3	3	3	.	1	.	3	3	3	1	.	3	.	.	.	3	.	.	3	802											
38	3	1	.	.	.	1	1	1	1	1	3	3	.	.	3	3	3	3	3	3	3	3	3	.	.	3	.	.	3	803											
39	1	3	.	3	3	3	1	.	1	1	.	1	3	3	.	3	1	.	.	1	1	1	3	1	.	3	901										
39	2	3	.	.	3	1	.	.	3	.	1	1	1	3	3	3	3	.	1	.	.	.	1	.	.	3	902										
39	3	1	.	.	1	.	3	.	.	.	3	3	3	3	.	3	3	.	.	.	3	3	3	3	.	3	903										
40	1	.	.	.	1	.	1	.	1	3	1	3	.	4	001										
40	2	.	.	.	3	.	3	1	.	.	3	.	.	.	1	.	.	3	1	.	.	4	002										
41	1	.	.	3	.	.	.	1	.	.	1	1	.	.	3	1	.	.	.	1	.	.	4	101											
41	2	1	.	1	1	.	.	3	1	.	.	.	3	.	3	3	.	.	.	3	3	.	.	3	.	3	.	.	4	102											
42	1	.	.	3	1	.	1	.	.	1	1	.	3	1	.	.	.	1	.	.	4	201											
42	2	1	.	1	1	3	3	.	.	1	4	202											

*) 宗教 P:プロテスタント; C:カトリック; B:仏教; N:なし

質 問 NO.	C A T	性		年齢		学歴		階層		収入		保革		宗教		都会-田舎																									
		G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J
		1:Male	3:Female	1:18-29	3:60-	1:Low	3:High	1:High	3:Low	1:Low	3:High	1:Left	3:Right	C* P N	C P N	C P P B	1:Rural	3:Urban																							
54-1	2	. . .	3 3 .	3 . .	3	3	3	3	3 3	1 1	1 . .	5412	1+2																						
54-1	3	. . .	1 1	1 1	1	3 3 3	1	3 3	5413	3+4																						
54-2	2	1 . .	3 . .	3 3 3 .	1 . .	1	1	3	1 1 .	1 . .	1 1 1 1	5422	1+2																						
54-2	3	1 1 1 1 1	3 . .	3 . .	3	3	1	3 3 .	3 . .	3 3 3 3	5423	3+4																						
54-3	2	. . .	3	1 . .	3 . .	1 1 1 1	. . .	3 3 .	1 1 .	1 1 .	1	3 3	5432	1+2																						
54-3	3	. . .	1	3 . .	1 . .	3 3 3 3	1 . .	1 1 .	3 3 .	3 3 .	3	1 1	3 . .	5433	3+4																						
54-4	2	1 . .	3 3	1 3 . .	3	3	1	3 . .	5442	1+2																						
54-4	3	. . .	1	1 1	1	3	3 3	1 . .	5443	3+4																						
54-5	2	. . .	3 3 3 .	3 3 .	3	1 . .	1 3 .	3 3 3 3 .	1 1 1 1	1	5452	1+2																						
54-5	3	. . .	1 1 1	1	3 . .	3 . .	1 1 1 1 .	3 3 3 3	5453	3+4																						
55	1	1 1 1 .	1	3 3 3 3	1 1 1 1 1	3 3 3 3 3	3 3 3 3 3	3 . .	3 . .	3 . .	1	3	5501																							
55	2	3	1 1 .	1 1 1 1	3 3 3 3 .	1 . .	1 1 .	1	3	1	5502																							
55	3	3	1 1 1 1	3 . .	3 3 3 3	1 1 1 1 1	. . .	1	3	1	5503																							
56	1	. . .	1 1 1 1	. . .	1 1 1 1	3 3 3 3 3	1 . .	1 1 1 1	3 3 3 3 3 3	. . .	1 3	3 . .	3 . .	5601																							
56	2	1	3	3 1	5602																							
56	3	3	3 3 3 3	1 1 1 1 1	3 3 .	3 3 3 3	1 1 1 1 .	1	1 . .	5603																							
57-1	2	. . .	3	1 1	3	3	3	1	1	5712	1+2																						
57-1	3	. . .	1	3 3 3	3	1	3	3	5713	3+4																						
57-2	2	1 3	1 1 . . 1	. . .	1	3	3	3	5722	1+2																						
57-2	3	3 1 1	1	1	3 3 3 3 3	3	3 . 1 . .	1	5723	3+4																						
57-3	2	1 1	. . .	3 . . 3	1 1 1 1 1	1 1	3 1 1 1 1 1	3 . . 3	1 1	5732	1+2																						
57-3	3	1 1 . . 1	. . .	3 3 3 3 3	3	3 3 3 3 3	1	3 3	. . .	5733	3+4																						

*）宗教 P:プロテスタント; C:カトリック; B:仏教; N:なし

質 問 NO.	C A T	性		年齢		学歴		階層		収入		保革		宗教		都会-田舎																		
		G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E
			1:Male		1:18-29		1:Low		1:High		1:Low		1:Left		C* C P P B		1:Rural																	
			3:Female		3:60-		3:High		3:Low		3:High		3:Right		P N N C N		3:Urban																	
58-1	1		. . 1 . 1		. . 3 1 3 .		1 1 . 1 1		. . . 3 3		3 . 3 1 1	5811																
58-1	2		. . 3 3 .		. . 1 . 1		. . 3 . 3	 3 3 1 . .	5812																
58-1	3		. . . 1 1	 1		3 . . 3 3		. . 1 . .		1 . 1 . 1		5813																
58-2	1	 1		. 1		1 3 1 3 1 3 3 3		3 1 . .		. 3 . . 1	5821																
58-2	2	 3		. 3 3 1 . .		1 3 3	5822																
58-2	3	 1 1	 3 1 .		. . 1	5823																
58-3	1	 1			1 . . . 3	 3 3 .	5831																
58-3	2		1 1 . 1	 3 3 3	5832																
58-3	3		. 1 1		3 3 . 1 3 1 3 1 .	5833																
58-4	1		1 1 1 1 1		1 1 . 1 1		3 3 . 3 3		1 1 . 1 .		. 3 . 3 3 . . 3		. 3	5841																
58-4	2		. . . 3 .		. . 1 . 1		. 3 . . 3		5842																
58-4	3		3 3 3 3		1 1 . 1 .		3		1 1 . 1 1		5843																
59	1		. . 1 . 1			3 . . 3 3	 1 .		. 3 . . 3			1 . 1	5901																
59	2		. . 3 . 3	 1		1 . . 1 3		3 . 3	5902																
59	3	 1	 1		. . 1 1 . .	5903 3+4																
60	1		3 1 1 . 1	 3 3 3 3			3 3 3 . 3	 1 . .		. 3	6001																
60	2		1 3 3 . 3			1 1 1 1 1 3 1	6002																
63	1		3 3 3 3 .		3 3 3 3 3		1 1 . . 1		. . 1		3 3 3 3 3		. 1 1 1 1		1 . . 1 1	6301																
63	2		1 1 1 1 1		1 1 1 1 1		3 . . . 3		. . 3		1 1 1 1 .		. 3 3 3 3	 3 3	6302																
64	1	 1	 3	 1	 3 3	 1 3 1	 3 .	6401																
64	2	 3		. 1 . . 1		. 3 1 3 .		. . 1 1 1 .	6402																
66	2		1 1 1 . 1		. . 3 3 3		3 3 3 3 3		1 1 . 1 .		3 3 3 3 3		. 1 . . 1		3 . . . 1		3 3	6602 1+2																
66	3		3 3 3 . 3		. . 1 1 1		1 1 1 1 1		3 3 . 3 .		1 1 1 1 1		. 3 . . 3		1 . . . 3		1 1	6603 3+4																

*) 宗教 P:プロテスタント; C:カトリック; B:仏教; N:なし

質 問 NO.	C A T	性		年齢		学歴		階層		収入		保革		宗教		都会-田舎																		
		G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E	A	J	G	F	E
				1:Male	1:18-29	1:Low	1:High	1:Low	1:Left	C* C P P B	1:Rural																							
				3:Female	3:60-	3:High	3:Low	3:High	3:Right	P N N C N	3:Urban																							
67-1	1	.	1	1	.	1	1	1	.	3	3	3	3	.	1	1	1	.	3	3	3	6711												
67-1	2	.	3	3	.	3	3	3	.	1	1	1	.	1	1	1	.	3	3	3	6712													
67-1	3	1	1	.	3	1	1	1	1	.	3	1	1	.	3	1	1	6713												
67-2	1	.	1	1	1	3	.	.	.	3	3	3	3	1	1	1	1	1	3	3	3	6721												
67-2	2	.	.	.	3	.	1	.	1	.	3	3	.	.	.	6722												
67-2	3	3	.	3	1	1	1	1	3	1	1	1	1	3	1	3	1	6723												
67-3	1	.	1	1	.	1	3	3	1	1	1	1	1	1	.	.	.	6731												
67-3	2	.	.	.	1	1	1	.	1	1	3	3	1	1	1	1	.	3	3	3	6732													
67-3	3	.	.	.	1	3	.	3	1	.	3	3	3	3	3	3	1	1	.	.	.	6733												
67-4	1	.	.	.	1	.	1	1	3	3	3	1	3	3	1	.	.	3	.	.	.	6741												
67-4	2	3	3	.	.	3	3	6742												
67-4	3	.	1	.	.	.	3	.	1	3	.	3	.	1	3	1	3	1	3	.	3	6743												
68	2	.	1	.	1	3	3	3	1	3	3	3	1	1	1	1	1	3	1	1	1	6802 1+2												
68	3	1	1	1	3	1	1	1	3	3	3	3	3	1	3	3	3	6803 3+4												
69	2	.	.	.	1	3	3	.	3	3	.	1	1	1	1	3	3	1	1	1	1	6902 1+2												
69	3	.	.	.	1	1	1	1	3	3	1	1	3	3	3	1	3	1	3	.	.	6903 3+4												
70	1	.	.	.	1	1	.	1	1	3	.	.	1	1	1	1	1	3	3	3	.	7001												
70	2	3	.	3	.	1	3	3	3	3	3	3	3	1	1	.	.	7002												
71	1	.	1	.	.	1	.	1	.	3	.	.	1	.	1	1	.	3	.	.	.	7101												
71	2	.	.	.	1	1	1	1	3	3	3	3	3	3	1	1	1	1	.	.	3	7102												
71	3	.	3	.	1	3	3	3	1	1	1	1	.	1	.	3	3	3	3	3	.	7103												
72-1	1	.	3	3	.	1	.	1	3	1	1	1	3	.	3	3	3	3	.	1	1	7211												
72-1	2	.	1	1	1	3	.	.	1	1	1	1	.	3	3	3	3	3	3	3	3	7212												
72-2	1	.	3	3	.	1	3	3	1	3	1	1	1	3	.	3	7221												
74	1	.	1	.	1	3	3	3	3	.	.	1	1	.	.	3	.	1	1	.	.	7401												
74	2	1	.	.	1	3	3	3	.	3	1	.	1	.	3	3	3	.	1	.	1	7402												
74	3	1	3	3	3	7403												

*) 宗教 P:プロテスタント; C:カトリック; B:仏教; N:なし

各属性の層の内容

性別、年齢別、社会的階層意識、保革意識、宗教 については、5カ国共通の属性項目として、あるいは質問の中のひとつとして調査されている。学歴、家族収入、市郡別はそれぞれの国でカテゴリのとり方が異なるので、つぎの頁から示すように共通の区分を定義した。

社会的階層意識、政治的保革意識、宗教は、たとえば日本の調査の場合、次のような質問である。

社会的階層意識

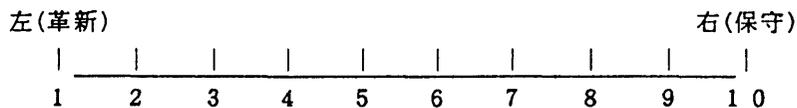
問16 [カード] かりに現在の日本社会全体を、ここに書いてあるように5つの層に分けるとすれば、お宅はこのどれにはいると思いますか。

- 1 上 2 中の上 3 中の中 4 中の下 5 下

政治的保革意識

問65 [カード] 政治の立場を明らかにするに当たって、世間ではよく「左(革新)」とか「右(保守)」とかいいますが、あなたはいかがですか。

この目盛りを使ってあなたの政治に対する考え方をお知らせ下さい。



宗教

問62 宗教についておききたいのですが、たとえば、あなたは、何か信仰とか信心とかを持っていますか。

- 1 もっている、信じている
2 もっていない、信じていない、関心がない

および

問62 b (問62で「1 もっている、信じている」と回答した人に)
それは何という宗教ですか。

- 1 仏教系(記入)
2 神道系(記入)
3 キリスト教(記入)
4 その他の宗教(記入)

[学 歴]

ドイツ	⌈	学校を終えた年齢を尋ねている	
フランス		これを Euro-Barometer の分け方により	
イギリス	⌋	3段階に分類する	
		1 Low	～ 15歳
		2 Middle	16歳 ～ 19歳
		3 High	20歳 ～
アメリカ		1 None or grade 1-4	⌈
		2 Grades 4, 6, or 7	
		3 Grade 8	1 Low
		4 High school incomplete, grades 9-11	⌋
		5 High school graduate, grade 12	⌈
		6 Technical, trade or business	2 Middle
		7 College, University, incomplete	⌋
		8 College, University, graduate	3 High

日本 あなたが最後に卒業された学校はどちらですか？
(中退・在学中は卒業とみなす)

- | | |
|-------------|----------|
| 1 小卒 | |
| 2 旧高小・新中卒 | 1 Low |
| 3 旧中・新高卒 | 2 Middle |
| 4 旧高専・大・新大卒 | 3 High |
| 5 不明 | |

* アメリカの区分は本来であれば、6 と 7 をまとめて High とし、日本の大卒（中退、在学は卒業とみなす）と揃えたい所であるが、High の人数があまりに多いため、他の国と分布をそろえ、上記の区分とする。

[家族収入]

ドイツ	家計に入る月収 (税、社会保険控除後)	アメリカ	家族収入 (家族全員、税引き前)
	1 DM 500 未満		1 \$ 5000 未満
	2 DM 500 ~		2 \$ 5000 ~
	3 DM 1000 ~		3 \$ 10000 ~
	4 DM 1500 ~		4 \$ 15000 ~
	5 DM 2000 ~		5 \$ 20000 ~
	6 DM 2500 ~		6 \$ 25000 ~
	7 DM 3000 ~		7 \$ 30000 ~
	8 DM 3500 ~		8 \$ 35000 ~
	9 DM 4000 ~		9 \$ 40000 ~
	10 DM 5000 以上		10 \$ 50000 ~
			11 \$ 70000 ~
			12 \$ 100000 ~
フランス	家族収入 (月収) (手当、年金、現金収入全部)		
	1 FF 4000 未満		
	2 FF 4000 ~		
	3 FF 6000 ~		
	4 FF 8500 ~		
	5 FF 10000 ~		
	6 FF 12500 ~		
	7 FF 15000 ~		
	8 FF 20000 ~		
イギリス	家族収入 (家族全員、税引き前)	日本	家族全部の収入 (ボーナス、税込み)
	1 £2500 未満		1 200万円未満
	2 £2500 ~		2 200万 ~
	3 £4000 ~		3 400万 ~
	4 £5500 ~		4 600万 ~
	5 £7000 ~		5 800万 ~
	6 £8500 ~		6 1000万 ~
	7 £10000 ~		7 1500万円以上
	8 £12500 ~		
	9 £15000 ~		
	10 £17500 ~		
	11 £20000 ~		
	12 £22500 ~		
	13 £25000 ~		
	14 £27500 以上		

[市 郡]

これは、サンプリング地点の情報から、区分した。

- ドイツ
- 1 2,000 以下
 - 2 2,000 - 5,000
 - 3 5,000 - 20,000
 - 4 20,000 - 50,000
 - 5 50,000 - 100,000
 - 6 100,000 - 500,000
 - 7 500,000 -
- フランス
- 1 Rural - 2,000
 - 2 2,000 - 20,000
 - 3 20,000 - 100,000
 - 4 100,000 -
 - 5 Agglomeration of Paris
- イギリス
- 1 Rural
 - 2 Urban
 - 3 Metropolitan
- アメリカ
- 1
 - 2 Open country
 - 3 2,500 以下
 - 4 2,500 - 5,000
 - 5 5,000 - 10,000
 - 6 10,000 - 25,000
 - 7 25,000 - 50,000
 - 8 50,000 - 100,000
 - 9 100,000 - 250,000
 - 10 250,000 - 500,000
 - 11 500,000 - 1,000,000
 - 12 1,000,000 -
- 日 本
- 1 町村
 - 2 100,000 以下の市
 - 3 100,000 - 300,000の市
 - 4 300,000 以上の市
 - 5 1 1 大都市（東京都区部、札幌市、横浜市、川崎市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市）

§ 7 国際比較調査のデザインの為の視点

佐々木正道

この節では、国民性の国際比較調査研究の一つの視点として、意識の国際比較研究にとって要となる、1)比較可能性 2)調査計画 3)尺度法 4)質問文と回答の翻訳 5)回答上の問題点 6)サンプリングとデータ収集の各々について検討を加え、今後の研究の指針を示した。

RESEARCH DESIGN OF CROSS-NATIONAL ATTITUDINAL SURVEY*

Masamichi Sasaki**

*This research was supported, in part, by Grant-in-Aid for Developmental Scientific Research of the Japanese Ministry of Education, Science and Culture (GSR 04509001).

** Department of Social Sciences, Hyogo Kyoiku University

ABSTRACT

Though solidly founded by famous sociologists earlier in the twentieth century, comparative sociology lost its foothold and languished in recent decades. However, interest in cross-national studies has been rekindling. Unfortunately, cross-national attitudinal surveys are extraordinarily complex and expensive. The many problems of such research are discussed in terms of design, development and execution but not data analysis.¹ An optimization approach is suggested to achieve a realistic and practical level of comparability.

1. INTRODUCTION

Though solidly founded by famous sociologists earlier in the twentieth century, comparative sociology somewhere lost its foothold and has languished for the past two or three decades. Why? International comparison, a noble endeavor, is exceptionally complex and poses a host of obstacles to the would-be researcher. These special problems must be identified, understood and addressed by comparative researchers (see Kohn, 1987).

What is the purpose of comparative sociology? of cross-national study? To explore and identify uniqueness and similarity or commonality. To identify and test generalizations. All in cross-national and cross-cultural perspectives and contexts. Do given nations cluster? Are there subsets of nations reflecting common or contrasting qualities? Bendix (1963:532) stated that

Comparative sociological studies represent an attempt to develop concepts and generalizations at a level between what is true of all societies and what is true of one society at one point in time and space.

In this instance, we are particularly interested in focusing on the cross-national exploration and assessment of social attitudes. Our aim is to illuminate the process of designing research for cross-national comparisons of social attitudes. To further confound the issue, by focusing on attitudinal assessment, we inevitably require the survey methodology, an approach which brings much additionally complicating baggage.

Be that as it may, we will henceforth desist from painting negative pictures and proceed to our purpose at hand-- illuminating by caveat and other means how to design cross-national attitudinal surveys.

Raivola (1985:366) provides us with a suitable beginning caveat as follows:

International comparison makes the research worker very effectively aware of the danger that one's assumptions, system of values, and prejudices could lead to a *cultural bias* in the gathering and interpretation of data. [emphasis added]

The author goes on to describe one of the benefits of the comparative endeavor:

By the same token, it can be difficult without comparison to learn to see and appreciate the special characteristics of one's own culture, simply because one is accustomed to react automatically to them. (1985:366)

Clearly, there are myriad benefits to cross-national comparative elucidation. Indeed, in the contemporary "world system" context,² the objective of enhancing international understanding toward enhanced cooperation is a laudable one, further underscoring the importance of the very pursuit of international comparison.

Returning to the methodological issue, the cross-national researcher seeking to expand knowledge and understanding of social attitudes throughout the world is faced with the prospect of conducting comparative social surveys.

Surveys are not a methodological panacea. They have limitations, some of which are inherent and some of which are by-products of their present stage of development. One inherent limitation is their high cost for, while they are addressed to only a small proportion of the universe being studied, the expense of questioning even this number is usually fairly large. Another limitation arises from the inaccessibility of certain respondents, either because they occupy eminent or unapproachable roles. . . , or because they are uneducated, poor, geographically isolated, or for some other reason difficult to communicate with. Some potential respondents simply refuse to be interviewed. (McClosky 1967:131)

McClosky points to perhaps the most restricting drawback of international comparative surveys: their exceptionally high cost. In a world with

limited financial resources, especially for the social sciences, this is stark reality and means that such research must be conducted under limited scope or not at all, simply because the monies are not available. One alternative--cooperative, multi-national endeavors--will be explored later.

So, though surveys are "not a methodological panacea," they are nearly essential to the researcher desiring to pursue studies of contemporary social attitudes between and among nations. Given their essential character, what can we say about how they work cross-nationally? Are attitudinal surveys comparable? What makes them comparable? or incomparable? We turn to this issue in the following section.

2. COMPARABILITY OF ATTITUDINAL SURVEYS

Central, of course, to the issue of cross-national comparison is whether nations, cultures, social systems can indeed be compared in the context of rigorous methodology. This question can be broken down into several components. We will explore each of these components with an illustrative example.

A jetliner crashes, killing all 100 people on board. What should the president of the airline do? (a) Nothing (other than cooperate as needed with the appropriate investigative authorities); (b) Write letters of condolence to the families of the crash victims; (c) personally visit each of the victims' families and offer his condolences on his own and his company's behalf.

As one reads through this attitudinal question, from a Western perspective, the question, and responses (a) and (b) seem reasonable and sensible. Yet, upon reading response (c), the Western reader will invariably do a "double take," for the idea of an airline president

making personal visits to the families of 100 crash victims is completely beyond the scope of that cultural reality. Inversely, a Japanese reader, for instance, is likely to read the question as reasonable and sensible if he reads responses (c) and (b), with the double take occurring upon reading response (a), a patently unfathomable circumstance to him, much as (c) is patently unfathomable to the Western reader.

The point of this exemplary exercise is to shock the reader into a clear recognition of the difficulties one can encounter in attempting to compare cross-culturally. Our example is extreme but is nonetheless real and valid. This is to say that there are many instances where comparative work will encounter mild difficulties in achieving comparability. In our example, the differences are not mild; they are wild. In this instance, response (c) cannot be made more comparatively equivalent by changing a shade of meaning to suit a cultural difference. No linguistic translation efforts can ever render response (c) comparatively equivalent for Western and, e.g., Japanese readers (or respondents).

Raivola discusses how Warwick and Osherson (1973) deal with the question of comparability in the following remarks:

First, do the concepts under comparison correspond? (a) Are they similarly situated on the general-specific continuum? . . . (b) Do the definitions given to concepts correspond? Or is it the case that although the definitions are identical, their meanings are construed differently in different contexts? . . . (c) How easy are the concepts to identify? Though a concept may be theoretically perfectly clear, its operational and linguistic formulation may present great difficulty. . .

Second, how is the correspondence of measurements to be assessed? How are valid indicators for concepts to be found, especially when there are often different indicators for the same concept depending on the particular bond with culture? Even the interpretation of supposedly objective demographic statistics proves problematic. Should age, for example, be regarded purely as a chronological or also as a socially normative factor? A 2-year age difference between two preschoolers means something quite different from a 2-year age difference between two adult students. . .

Third, can the problem of how concepts are linguistically expressed be resolved? Different cultures verbalize different aspects of the same concepts. There is considerable semantic fuzziness among representatives of the same culture, let alone between cultures. (1985: 368-9)

Returning to our example, now to be considered in the context of Raivola's remarks, we see in the jetliner crash question that while the definitions given to concepts do correspond and are similarly situated, they are subject to radically different construals depending upon which culture is responding. Indeed, in our example, the concepts are certainly easy to identify, just difficult to relate to. Here we have no operational difficulties per se and we certainly have no linguistic difficulties. By additional example, while our present example exhibits no linguistic difficulties, we can certainly find examples where we do encounter linguistic problems which are tantamount to insurmountable. The Japanese concept of *giri* (and the corresponding dichotomy *giri-ninjo*) poses great linguistic problems as there is no linguistic, operational or conceptual corollary in Western cultures.

Can valid indicators be found to assess responses to the jetliner question? As response (c) is nonsensical to Westerners and response (a) is nonsensical to the Japanese, one must question whether in this instance it is possible to find valid indicators for the notions and attitudes being measured and assessed.

So, can the problem of the linguistic expression of concepts be resolved? In some instances, yes; in others, no. In the case of *giri*, for example, Western respondents can be educated, albeit circuitously, about the concept and may therefore develop at least some grasp of it. In the airliner example, it is doubtful that the problem, though not a linguistic one, has any sort of viable solution.

We must, of course, be continually cautious about comparability.

For example, we might compare data on voting in two different countries and find similar voting patterns and frequencies among the two populations. Scratching the surface, though, might reveal that the political system in one of the countries is a multi-party representative democracy while the political system in the second country is a single-party, single-candidate non-democracy. Now we see much different meaning to equivalent voting frequencies in the two populations.

The above illustrates just a few of the pitfalls inherent in the comparative process. Nowak (1977) offers a typology for cross-national comparison based on differing types of relations.

(1) The objects or phenomena are perceived or evaluated in a similar way in different cultures. One could speak here about "*cultural equivalence*." (Nowak, 1977:42)

This first type is certainly straightforward. Here there is simple correspondence and therefore no linguistic or conceptual difficulties.

(2) The objects (persons, institutions, communities) belong to the higher level aggregates or systems classified previously as being similar with respect to their specific properties. We may talk here about "*contextual equivalence*." (Nowak, 1977: 42)

To illustrate, consider two countries' corporate structures and systems which have been identified as similar. Are the corporate managers also similar in their functions and styles? Obviously, it does not necessarily follow that similar structure and function at one level (the corporations) obviates equivalency at another level (the corporate managers). This, then, suggests two more forms of equivalence:

(3) The compared objects play the same role in the functioning of the systems compared. . . This is the situation for . . . the term "*functional equivalence*." (Nowak, 1977:42)

(4) The objects (persons, institutions, groups) occupy the same (absolute or relative) position within certain structural systems which have been defined previously as similar with respect to some of their properties. Here we might speak about "*structural*

equivalence." (Nowak, 1977:42)

Returning to our voting example above, we find an ostensibly equivalent set of voting frequencies; however, upon further scrutiny we see that we have encountered a situation reflecting differing social and cultural contexts. Thus, our voting example demonstrates the absence of functional equivalence despite its overt appearance. Verba comments:

The problem is a general one for all comparative research: what set of concepts and measurable variables can we develop such that they can be applied with equivalent meaning in a number of systems? No matter how much one is committed to a macro-sociological approach, it is clear that one cannot compare total systems. Rather, one abstracts certain aspects of the system for comparison. But how do we find equivalent aspects? It makes little sense to compare the legislatures in two nations if the two bodies are selected differently and perform quite different functions. The only similarity may be that both are labeled with that term. (Verba, 1993:69)

To return to Nowak's typology, let us examine the next form of equivalence.

(5). . . phenomena are equivalent if they are empirically correlated in a similar way to a criterion variable, either phenomenologically identical in all systems compared or found on the basis of previous research as being relationally equivalent in any of the senses of this term [C]orrelation equivalence . . . would apply . . . both to the manifest of statistical associations of observable data and to some more complex uses of statistical analysis, as for example, factor analysis. (Nowak, 1977:42-43)

Here Nowak describes a form of equivalence derived from the absolute value of the correlation coefficient, which should act as a measure of validity and reliability (hence equivalence). It should be pointed out, however, that many scholars caution that the mere existence of a correlation does not inevitably establish a causal relationship. It must also be kept in mind that correlations on a set of responses to a single question have strictly limited implications which certainly do not extend to the construction of generalizations.

Verba (1971) suggests that one is better off comparing processes or patterns of relationships among variables.

The greater substantive interest of such comparisons coincides with the greater methodological validity of such comparisons. Comparisons are made not of the response to any single question across societies, nor of the response rates to any set of questions, but of the pattern of relations among variables. This increases the credibility of comparisons by allowing comparisons that are contextually grounded and by allowing one to test the extent to which alternative explanations of differences based on methodological weaknesses in the research design are plausible. . . . Where the scholar has no control over the data-gathering process, he can still exercise some "data quality control" over the results. (Verba, 1971:327)

The final item in Nowak's typology is "genetic equivalence":

(6) [P]henomena are *genetically equivalent*, if they are defined as coming from the similar source. This is the case if some of their causes may be found in the phenomena which were previously defined as belonging to the same conceptual category. (Nowak, 1977: 43)

Unquestionably, volumes can be written on the issue of comparability. Nowak's typology offers but one of a variety of conceptual means of scrutinizing the issues of comparability in cross-national (attitudinal) research.

3. RESEARCH DESIGN

Certainly the initial research design stage is of utmost importance to successful cross-national research. And the initial task in this initial stage is to determine how the research project will be administered. While this decision may not be an issue in some instances, if the opportunity to adopt alternative modes is an option, then an appropriate decision must be made. Specifically, cross-national research can be managed and administered (directed) centrally by one researcher or one organization, who makes all decisions and likely provides the

preponderance of the funding. Alternatively, a collective of researchers from the various countries involved may form and make decisions democratically. This alternative has costs and benefits. Competing ideas about theoretical approach and methodologies may yield friction despite the benefit of diverse experience. A third alternative structure is a loosely defined cooperative endeavor with no leader and no time constraints, meaning that researchers may come and go at will and effectively work toward individual goals.

Of course, these choices of approach to research design are often dependent upon what is being studied and how. For example, the decisions may be entirely different if the research is original or if the research is secondary data reanalysis. The decisions also depend upon how research is to be conducted. Will its conduct be subcontracted? If so, will it be subcontracted to a commercial or academic entity?

4. MEASUREMENT

"Do you believe in God?" More than 90 percent of American respondents will say "yes" to this inquiry, yet only about 35 percent of Japanese respondents will answer affirmatively. Does this mean that 65 percent of the Japanese population is atheistic? areligious? No. Further probing reveals that many Japanese who answer "no" nonetheless act in ways which Westerners would otherwise consider religious. This is but one of myriad instances in which differing social structural and cultural *contexts* significantly impact the results of cross-national attitudinal surveys.

Verba tells us that "the solution to the problem lies in trying to maintain the contextual grounding of the measures when making comparisons" (1993:78). Verba goes on to suggest how to accomplish

this:

(1) the selection and measurement of variables that are embedded in their contexts; (2) the inclusion of structural (and perhaps cultural) characteristics into the survey design and (3) the inclusion of structural (and perhaps cultural) characteristics in the survey analysis. (1993 :78)

Verba provides examples of several demographic variables, deceptively simple ones, which must be viewed with caution as they are not necessarily so easily comparable. Verba first points to education. Typically, an attitudinal survey, cross-national or otherwise, will ask for the respondent's educational level. Let's say the respondent says he or she completed "high school"; i. e., twelve years of schooling. In the United States alone, this response could mean the individual graduated from a vocational-technical high school, from a specialized arts high school, from a deplorably substandard custodial high school, from an Honors program in a high school in an intellectually elite community, and so on. This is a markedly wide range of contexts, and we haven't even begun to discuss cross-national comparisons! European high schools, for instance, are more open about their differentiation--for college and non-college tracking, with a host of sub-options, particularly in the non-college tracking group.

Verba points out that:

This is not a measurement problem in the usual sense. We assume that we can accurately measure the amount of education that an individual has received. The problem is: what does it mean? (1993:75)

Verba (1993) is quick to point out that one encounters nearly identical circumstances with other important demographic variables, such as occupation, income or wealth, and urban-rural residency status. Verba notes that the "distributional pattern" of the variable is another essential quantity in the whole equation. For instance,

Even if we match education in terms of length and quality, etc., we need to know the distribution of educational attainments to understand the meaning of a particular educational level. (1993:77)

That is, if we have individuals in two different countries with matched educational attainments, we still need to look at what percentage of the population in each country has this same educational attainment level. Obviously, if the individual in country A is one of the 43 percent of the population at this educational level and the individual in country B is one of just 3 percent of the population, then these two educational attainments would clearly not be equivalent. These same observations can be applied to occupations, income and wealth levels, and other demographic (and non-demographic) variables.

Verba suggests a direction for working through these comparability dilemmas:

. . . one must begin with fairly general dimensions (and, better, fairly general hypotheses or theories) before one searches for equivalent measures. Before one compares voting rates, one ought to consider the underlying dimensions for which voting is relevant. This in turn means considering the underlying theory of politics (or some aspect of politics) for which the study of voting is relevant. (1971:315)

Returning to our original voting example above, consider the difference between equivalent voting frequencies in a multi-party democratic system and a single-party, single-candidate non-democratic system. Following Verba's reasoning, then, we must examine what it means to vote in each of these two nations.

Taking a step back for a moment, let us explore this issue a bit more generically. We are seeking, ultimately, in our quest for cross-national comparability, *functional equivalence*. What is functional equivalence? It is a state of being equivalent enough to serve our purpose (cross-national comparability), to function suitably and adequately

for the intended purpose³. Verba states that "What is important is that the measures be equivalent in those respects that are relevant to the problem at hand" (1971: 315).

How do we determine whether our measures are equivalent? As above, we must determine the underlying theory (or other aspects) of the item or issue being measured. How do we do this? Verba suggests breaking the item or issue down into its "sub-dimensions." We immediately insert into this process an identification of both objective and subjective meanings as we proceed to validate for functional equivalence across nations or cultures.

Let us explore an example. Here we will return to the issue of educational attainment. Individual A has had twelve years of schooling in an advanced Western nation. Individual B has had twelve years of schooling in an underdeveloped nation. Let us look at a few of the sub-dimensions. A is effectively in the norm of the population's educational attainment while B is in the 95th percentile. Little or no *prestige* accompanies A's achievement, while great prestige accompanies B's achievement. A is at the norm for earning power while B has great (comparative) earning potential. A has an adequate education and scores 500s on SAT tests. B has been educated in an underdeveloped nation and scores 300s on SAT tests. We could continue, but the purpose of the discussion has probably by now been served. And we have talked about objective and subjective sub-dimensions.

One way to get at the more subjective aspects of a given issue is to ask the respondent, as part of the survey, how he or she feels about the item or issue at hand (e.g., educational attainment).

The simultaneous measurement of both the objective occupational position held by individuals and such subjective aspects as the prestige rating assigned that position by the respondent is an example of the dual perspective possible with this kind of research

(Verba, 1993: 83).

Now, to return to our discussion of voting, let us take another look at our above referenced comparison. What does it mean to vote in country A and country B, where we have observed similar voting frequencies? In country A, the voter has an opportunity to influence (to some varying degree) the political climate and activity in the nation. This voter exercises a freedom of choice which impacts political outcomes. This voter may ascribe any of several subjective motives to his/her actions and behavior. In country B, on the other hand, voting is simply symbolic. A vote neither influences nor impacts political outcomes. Why does this voter vote? Subjectively, he or she may say that it is a symbolic gesture, that it follows the crowd, that it is expected, etc. In the survey context, of course, we have not only the opportunity to explore voting frequencies, but also subjective motives for voting. Methodologically, standard scoring can be a useful technique to explore such issues. Also, we can not only explain response pattern(s) by personal attributes such as age, sex, educational background, etc. but also explain the personal attributes by response pattern(s) (see, for example, Research Committee of ISM, 1991).

Before moving on to a technical discussion of language translation, let us take a moment to discuss the semantics of measurement. We may think we have identified semantically equivalent terms from our cross-cultural comparisons, but in fact we must be very cautious in this regard. We are dealing with different cultures which may attach very different meanings to our ostensibly equivalent terminology. Our earlier example of belief in God and other religious issues is a case in point. Western and Eastern civilizations in fact attach widely differing meanings to religious terms. Verba comments:

This makes the use of open questions without rigidly fixed response categories somewhat more attractive than they might be in single-culture research. The openness of the responses provides the researcher with a body of material out of which one can more easily locate lack of equivalence than one can in the response to a fixed choice question. The open responses more easily reveal linguistic differences than fixed responses, and by reading responses one can gain (or lose) confidence that the question was about the same subject. (1971:321)

Of course, one must also weigh the practical disadvantage (cost) of the open response in terms of its non-computer codability and therefore its much greater time consumed in analysis. In some instances, the benefits revealed will outweigh these sharply higher costs, but practicality dictates a suitable balance to assure that the analytic resources will be available and at reasonable cost.

5. TRANSLATION

Surveys are based on words, whether they are administered in written form or orally. Cross-national comparison means that these "words" must be translated into each of the languages appropriate to the survey's conduct.⁴ Unquestionably, the successful translation of the survey's questionnaire is the most complex of all the comparative researcher's tasks. And it is the task most ultimately fraught with difficulties, some of which may end up being insurmountable or nearly so (cf. our discussion of *giri* above).

While languages with similar derivations suffer fewer overall difficulties, the task of creating equivalent questionnaires among disparate languages is a most complex one. And, beyond mere semantic and linguistic issues, we are usually faced with circumstances in which translation is possible, but the end result is nonsensical given the cultural context (consider the jetliner crash example discussed above).

A literal translation of a survey questionnaire (assuming that one is able to find foreign synonyms for all the words involved in the first place, which is frequently not the case), is often a revealing endeavor. For instance, literally translating the jetliner crash question will reveal the extremely ambiguous result. The task is useful in the sense that it enables the researcher to discover such cross-cultural problems, and thus identify the need to seek alternative means to arrive at equivalence.

So, we must look beyond mere translatability to "conceptual equivalence" (Przeworski and Teune 1970). In some cultures, wife beating is an indigenous behavior, while in others it is a criminal behavior. So, while we no doubt can find a means to describe wife beating in most any language, we must look at what the behavior actually means to the people of the culture in question. Clearly, without contextual grounding, questions which rely solely on literal translation of both the questions and the responses are likely to be faulty. Context must be carefully considered and inserted into the design and translation scheme to assure that the researcher is comparing what he or she intends to compare.

In terms of mechanics, this calls for close consultation and cooperation with individuals knowledgeable of the cultures in question. And a multi-lingual individual is *not* adequate. One must have intimate knowledge of the culture in question--its customs, mores and so on. If this is not the case, one runs the risk of utter misinterpretation (consider the wife-beating example above: the attitudinal question is adequately translated but the responses are bizarre because the researcher has failed to determine that wife beating in culture X is an accepted indigenous behavior). In other instances, semantic differentiation may be all that

is required (lorry for truck, lift for elevator, and so on). Elder cautions that "There are no simple solutions to the problem of stimulus equivalence, but there can be no solutions at all until there is a sufficient recognition of the problem" (1976:223).

It is beyond our present scope to go into great detail about translation; however, let us highlight some aspects of the issue. Group or team efforts yield the best results, with several translators available who are familiar with not only the language but also the culture. Several translators should then each independently prepare translations of the questionnaire. Then the translations should be back-translated by astute translators who have no knowledge of the original questionnaire. The group can then use these back-translations to assess the quality of each and all the original translations. These back-translations also enable the group to target problem questions and areas--where the back-translation yielded evidence of faulty translations.

Marsh (1967) discusses Barioux's elaboration upon the back-translation technique. Under this technique, an extensive set of notes is developed along with the questionnaire. "These notes explain in detail" each question and word used, and include synonyms and alternative phrases wherever possible" (Barioux, 1948:716). These notes are then used by the translators in their task.

The multi-faceted task of questionnaire translation is a complex one. The above has described some of the efforts involved in arriving at a contextually grounded translation which serves to create functionally equivalent questionnaires as useful and effective comparative research tools.

6. RESPONSES

Verba describes a special problem related to responses to cross-national surveys.

For answers to be equivalent, the frame of reference of the various respondents must be the same. 'Bad' survey questions are those that allow for more than one frame of reference (one respondent answers a question about 'interest in politics' with reference to a current election, another with reference to politics in general; one respondent thinks of politics as referring only to domestic politics, another includes international politics). In cross-national survey work, the differences in culture and social structure mean that for many types of questions the frame of reference of the respondent will be unknown and may systematically vary from society to society. Under these circumstances, it may be difficult if not impossible for the interviewer to be sure that the frame of reference is the same for different respondents (Verba, 1993: 84).

This problem is not dissimilar to many of those we have examined above, except that it is now couched in terms of responses rather than questions. Are the response categories accompanying the questions going to allow the kind of latitude suggested by Verba above? If so, the data are likely to be useless. Thus, the same thought and consideration which goes into question design and formulation must extend to response formulation.

In the cultural context, Verba notes that "In some of the developing" societies . . . direct questions are considered improper or even threatening" (Verba, 1993:110). Once again, we see the need for the survey designers, and translators, to know well not only the languages but also the cultures in question. A successfully translated questionnaire which is considered offensive by the responding culture is obviously useless.

Other manifestations of cultural phenomena include such behaviors as acquiescence, "wherein respondents, out of politeness, desire to end the interview as swiftly as possible, or out of deference to the presumed

expectations of the interviewer 'agree' to the first choice offered by the interviewer, whatever that choice might be" (Elder, 1976:223) (see, also Inkeles, 1971). There are means to overcome these and similar phenomena, such as shifting the positive-negative polarity of questions in more or less random sequence. Another is to provide, in the responses, a "psychically (e. g., tell the respondent that 'one person prefers . . . another person prefers . . . which do you prefer?') so that regardless of the answer, the respondent is 'agreeing' with somebody" (Elder, 1973:130).

7. SAMPLING AND DATA COLLECTION

As with all other aspects of cross-national attitudinal comparisons by survey, sampling poses its own set of added complexities over that found in single-nation studies. Strictly speaking, we are asked by the scientific method to assure careful compliance with a fixed sampling method applied identically in each nation being surveyed. This in itself may not be realistic as not every country has the capability, for instance, to provide randomized samples of its populace--particularly stratified random samples. Thus the researcher is once again faced with a complex task; i.e., to provide optimal samples from each of the countries under study--samples which are similar enough and representative enough of the populations to avoid later criticism of the validity and reliability of the entire study. Given the fact that we know we are already speaking about a very expensive research endeavor, it is obviously imperative that such pitfalls be avoided.

The same caveats carry over into the data collection process as well. In order to preserve the study's overall validity and reliability, the data collection (i.e., survey administration) procedures must also

be rigorously controlled. Essentially, this means they should be identical in all the nations being studied. Realistically, we know that this is not possible. To back off from this stance means compromise, but how can one compromise and still maintain comparability?

At least four issues are important for cross-national data collection: response equivalence; timing of data collection in different cultures; status and other psychological issues, especially in developing countries; response equivalence and cross-sectional versus longitudinal data collection (Sekaran, 1983:63).

To speak of timing means that little time should be allowed to elapse between collection periods in the countries being surveyed. Ultimately, simultaneous administration is optimal and preferable; however, practicality usually precludes this luxury in cross-national studies. The next best thing is getting as close to simultaneous as possible.

Sekaran's reference to status and psychological issues is effectively too complex for our present scope. Suffice it to say that there is a whole locus of issues surrounding this problem. In some countries, for example, respondents are highly suspicious of foreigners asking questions. Often this arises from the suspicion that the foreigner intends to malign the individual's country. These and many other psychological issues affect the data collection process and each must be given careful consideration and dealt with optimally. Frequently these difficulties are most pronounced in societies with rigid status hierarchies.

It would be nice to simply say that all data collection procedures should be carefully standardized (and adhered to) to assure response equivalence. Again, however, a host of circumstances often operate to prevent standardized collection/administration procedures. Identical methodologies are the ideal--assuring equivalence--but social, cultural and psychological characteristics may render this an unrealistic goal. Again, optimizing the circumstances is the best course of action.

Finally, longitudinal studies, using repeated cross-sections are the ideal for cross-national comparative studies. This approach tends to smooth out variations which might disturb one-time studies. Again, however, the issue of high cost is an important one. The researcher will not have unlimited funds. Optimization is once again called for. If a study can be funded longitudinally, the results will carry much greater weight and long-term validity, reliability and value. If such a study is not possible, then the researcher should seek to optimize all other options to assure the best possible outcome for a single administration.

8. CONCLUSION

The comparative sociologist, in the task of conducting cross-national attitudinal surveys, is faced with an entire collection of problems, many of which we have described above. The task is undeniably complex in all its phases. How, then, should one proceed to effectively overcome all these problems and complexities and design, develop and execute cross-national attitudinal comparisons?

Perhaps the best approach to the task is to adopt an attitude of optimization. As the researcher works through the design, development and execution, he or she should strive to optimize; i.e., taking an approach which seeks to find the best possible solution to each of the many complexities and problems of the task (see, for example, Research Committee of ISM, 1991).

This optimization process suggests an approach which states that one will identify and implement realistically good enough and workable solutions to each of the obstacles encountered. Optimization of the task will include recognizing and taking steps to avoid cultural bias;

always asking if issues and items are comparable, or at least comparable enough; assuring that linguistic and semantic issues are dealt with in the best possible way; assuring that *context* (contextual grounding) is considered key to all developmental considerations; striving for functional equivalence in all areas of the design and development process; maintaining a constant surveillance over linguistic and semantic matters throughout the development; and maintaining acute awareness of frames of reference.

Optimization does not mean or imply perfection for with optimization comes clear recognition of the reality of the circumstances. Optimization dictates that the researcher will do his or her very best to assure that the comparative survey is designed, developed and implemented in the best possible manner, recognizing that there are significant constraints at every juncture of the process. Given those constraints, the optimized research endeavor will be the very best it can be under the circumstances.

NOTES

¹ For data analysis based on research design discussed in this paper, see, for example (Sasaki and Suzuki, 1991; Kuroda and Suzuki, 1991; Yoshino, 1992; Sasaki, 1993; Suzuki, 1993; Hayashi, 1993; Hayashi, 1994; Yoshino, 1994).

² The term "world-system context" is intended here to be interpreted loosely to encompass a variety of contemporary approaches to global social and cultural convergence.

³ Of course, we do run the risk of creating an unresolvable, recursively circuitous argument here. In the strictest sense, functional equivalence means comparable; however, in the reality of cross-cultural research, practicality dictates that we be reasonable and sensible. If not, we would not attempt to compare cultures at all.

⁴ Some "translation" may even be necessary within the same language. In English, consider the terms "elevator" ("lift"), "truck" ("lorry"), and so on, as they differ between the American and British contexts.

ACKNOWLEDGEMENT

I wish to thank Professor Alex Inkeles at Stanford University and anonymous referees for their valuable comments on an earlier draft of this paper.

REFERENCES

- Bendix, R. (1963). Concepts and Generalizations in Comparative Sociological Studies. *American Sociological Review*. 28, 532-539.
- Barioux, M. (1948). The Techniques Used in France. *Public Opinion Quarterly*. 12, 715-717.
- Elder, J. W. (1973). Problems of Cross-Cultural Methodology: Instrumentation and Interviewing in India. In M. Armer, A.D. Grimshaw, eds. *Comparative Social Research: Methodological Problems and Strategies*. New York: Wiley, 119-144.
- Elder, J. W. (1976). Comparative Cross-National Methodology. *Annual Review of Sociology*, 209-230.
- Hayashi, C. (1993). Japanese National Character. *Phase'93*, 64-96.
- Hayashi, F. (1994). Comparative Analysis of the Japanese and the Germans: Some Topics on Social Values. *Behaviormetrika*. 21, 61-78.
- Inkeles, A. (1971) Fieldwork Problems in Comparative Research on Modernization. In A.R. Desai, ed. *Essays on Modernization of Underdeveloped Societies*. Bombay:Thacker, 2, 20-75.
- Kohn, M. L. (1987). Cross-National Research as an Analytic Strategy. *American Sociological Review*. 52, 713-721.
- Kuroda, Y. and Suzuki, T. (1991). Arab Students and English: The Role of Implicit Culture. *Behaviormetrika*, 23-44.
- Marsh, R. M. (1967). *Comparative Sociology*. New York: Hartcourt Brace and World.
- McClosky, H. (1967). Survey Research in Political Science. In C. Y. Glock, ed. *Survey Research in the Social Sciences*. New York: Russell Sage Foundation, 65-143.
- Nowak, S. (1977). The Strategy of Cross-National Survey Research for the Development of Social Theory. In A. Szalai and R. Petrella, eds. *Cross-National Comparative Research: Theory and Practice*. Oxford: Pergamon Press, 3-47.
- Przeworski, A. and Teune, H. (1987) *The Logic of Comparative Social Inquiry*. New York: St. Martin, 31-49.

- Raivola, R. (1985). What is Comparison? Methodological and Philosophical Considerations. *Comparative Educational Review*. **29**, 362-374.
- The Research Committee of ISM (1991). *Cultural Link Analysis for Comparative Social Research*. Research Report No. 71, Tokyo: The Institute of Statistical Mathematics.
- Sasaki, M. (1993). Religious Factors and General Social Attitudes among Five Industrial Nations. *Behaviormetrika*. **20**, 187-207.
- Sasaki, M. and Suzuki, T. (1991). Dimensions of Public Acceptance of Science and Technology among Five Industrialized Nations. *Behaviormetrika*, 73-82.
- Suzuki, T. (1993). Macro Analysis by Means of Cohort Analysis. *Behaviormetrika*. **20**, 77-90.
- Sekaran, U. (1983). Methodological and Theoretical Issues and Advancements in Cross-Cultural Research. *Journal of International Business Studies*. Fall, 61-73.
- Verba, S. (1971). Cross-National Survey Research: The Problem of Credibility. In I. Vallier, ed. *Comparative Methods in Sociology*. Berkeley: University of California Press.
- Verba, S. (1993). The Uses of Research in the Study of Comparative Politics: Issues and Strategies. *Historical Social Research*. **18**, 55-103.
- Warwick, D. and Osherson, S. (1973). Comparative Analysis in the Social Sciences. In D. Warwick and S. Osherson, eds. *Comparative Research Methods*. Englewood Cliffs, N.J.: Prentice-Hall.
- Yoshino, Y. (1992). Superculture as a Frame of Reference for Cross-National Comparisons of National Character. *Behaviormetrika*, 23-41.
- Yoshino, Y. (1994). An Overview of the Longitudinal Studies on National Character by ISM. *Proceedings of the Institute of Statistical Mathematics*. **42**, 259-276.

§ 8 結び

国際的相互理解のための調査の科学へ

本研究及び統計数理研究所の長年の研究の中で積み重ねられてきた時系列的ならびに国際比較データは、世界的にも貴重な資料として認められつつある。

この数年、東西ドイツの統一、ソ連の崩壊、ECの統合等、後世の歴史に残るであろう世界秩序の再構成が進み、より大きな、より進んだ形の社会の単位によって構成された国際社会が生まれつつある。この国際的潮流は、市場経済・自由経済の拡大として特徴づけられるであろうが、その成功には、国家間あるいは民族間の円滑な相互理解が重要である。各々の民族は、長い歴史の中でそれぞれに必要な生活習慣、倫理、宗教、人間関係等、民族固有の文化を発展させてきた。この意味での文化が各国固有の政治や経済の基盤にある。各国の文化や国民性を世界の各国が相互に深く理解することが、世界的な経済的・政治的発展の鍵となっていることが了解されるであろう。

我々の研究の進展に伴って、浮かび上がってきたのが、日本におけるデータ・ライブラリーの構築の必要性和期待であった。既に欧米の先進各国は勿論、多くの国々が各国の中心的データ・ライブラリーを保有していて、それらが例えばISSP（国際社会調査プログラム）に参加する事などによって、世界的データ・ライブラリー・ネットワークが構成され、データが総合共有されている。これによって、学術的にも、政治的にも参加各国が相互に得るものは大きい。一方、日本では、例えば統計数理研究所は過去40年にわたって収集してきた日本人の国民性意識に関するデータや、国民性の国際比較データ等を保有し、また他の調査機関も有益なデータを収集、保有している。これらのデータの重要性は世界的にも近年、急速に認められてきた。しかしながら、日本では、それらの重要データを統括的に収集し、他の国々とのネットワークに流せる形態に整理することに専念できる機関が未だにない。結果として、社会調査データのやりとりの面からは、日本は極端に輸入超過であると批判を受けても仕方のない状況なのである。

近年、ドイツのデータ・ライブラリーのセントラル・アーカイヴ（ZA）所長Scheuch氏や、米国の世論調査協会・元会長Lipset氏が我々との共同研究等に関連して来日しているが、彼らの重要な関心事の一つは日本の各社会調査機関がデータを他の国々に提供できる手段はないかという事、即ち日本のデータ・ライブラリー構築を早急に実現する事であった。日本と諸外国との相互の意思疎通を円滑にし、政治及び経済的にも日本が世界とともに発展を続けて行くためにも、社会科学に客観的なデータに基づいて諸国との関係や将来を展望する必要は誰でも認める事であろう。問題は、既に先進諸国を含む多くの国々がそのためにデータ・ライブラリーを保有、維持できているのに、諸国に比較して経済的に余裕のある日本がなぜそれを実現できていないかである。このままでは、例えば欧米のデータ・ライブラリーが日本の各調査機関と個別に交渉し、日本のデータ収集を始めるであろう。実際、Lipset氏の訪日の目的の一つは、日本で買い上げることのできるデータを調べることであったらしい。しかし、1976年に欧州社会科学データ・ライブラリー委員会が過去の経緯から確認したように、経済性、効率性、データ解釈の誤謬を避ける等の点からも、「一国、一データ・ライブラリー」の原則に沿えるようにするのが望ましい。そうでなければ、日本からのデータの数値だけが諸外国で一人歩きし、誤った解釈を生み、その結果、日本と諸外国との相互不信へとつながる危惧がある。

さて、世界から日本へ差し迫る期待と不安に、我々は早急にどう対応すべきであろうか。我々の長年にわたる計量的研究データが、何らかの形で広く世界の人々に活用されて、世界の秩序の維持と発展の一助となる基礎的情報を与えることになれば幸いである。

付録

調査票と統括表

- 1 調査票（日本語 A [国際比較用]）
- 2 調査票（日本語 B [日本調査用：本来の日本語らしい質問文]）
- 3 各質問項目のニックネームと履歴一覧
- 4 7ヶ国単純集計表

付録1 7ヶ国比較調査における日本調査票A(国際比較版)

(対象番号が3の倍数でない人に)

生活と文化に関する世論調査

[調査票A]

(No1893)

N = 2265

昭和63年10月

読新情報センター

(国)	(地点名)	(対象名)	調査日時	調査員氏名	点検者名
5			日 時		
①	② ③ ④ ⑤	⑥ ⑦			

新情報センターから世論調査に伺いました。

突然で恐れ入りますが、よろしくご協力下さいますようお願いいたします。

〔性・年齢〕〔訪問する前に記入しておきサンプルを確認する〕

あなたのお生まれは、

1	2	3	年	月
明治	大正	昭和		

ですね。 ⑧~⑫

1 男	2 女
-----	-----

⑬

1 その通りだ	2 否 →	1	2	3	年	月	生まれだ
		明治	大正	昭和			

⑭~⑰

〔該当する生年の上の数字を○でかむ〕

1	2	3	4	5	⑱
昭和38年	昭和33年	昭和28年	昭和23年	昭和18年	
以降	}	}	}	}	
	昭和37年	昭和32年	昭和27年	昭和22年	
6	7	8	9	10	
昭和13年	昭和8年	昭和3年	大正12年	大正11年	
}	}	}	}	}	
昭和17年	昭和12年	昭和7年	昭和2年	(明治も含む)	

問1 [カード1] 日本人全体の生活水準は、この10年間でどう変わったと思いますか。

- ㉑
- | | |
|------------|-------------|
| 1 非常によくなった | 5 非常にわるくなった |
| 2 ややよくなった | 6 その他(記入) |
| 3 変わらない | 7 わからない |
| 4 ややわるくなった | |

問2 [カード1] あなたの生活水準は、この10年間でどう変わりましたか。

- ㉒
- | | |
|------------|-------------|
| 1 非常によくなった | 5 非常にわるくなった |
| 2 ややよくなった | 6 その他(記入) |
| 3 変わらない | 7 わからない |
| 4 ややわるくなった | |

問3 [カード2] これから先の5年間に、あなたの生活状態はよくなると思いますか、それとも悪くなると思いますか。

- ㉓
- | | |
|--------------|---------------|
| 1 非常によくなるだろう | 5 非常にわるくなるだろう |
| 2 ややよくなるだろう | 6 その他(記入) |
| 3 変わらないだろう | 7 わからない |
| 4 ややわるくなるだろう | |

問4 これから先、ひとびとは幸福になると思いますか、不幸になると思いますか。

- ㉔
- | | | | | |
|-----|-----|-------|---------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 幸福に | 不幸に | 変わらない | その他(記入) | わからない |

問5 これから先、心のやすらかさは、まずと思いますか、へると思いますか。

- ㉕
- | | | | | |
|----|----|-------|---------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| まず | へる | 変わらない | その他(記入) | わからない |

問6 では、人間の自由は、みえると思いますか、へると思いますか。

- ㉖
- | | | | | |
|-----|----|-------|---------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| みえる | へる | 変わらない | その他(記入) | わからない |

問7 これから先、人間の健康の面はよくなってゆくと思いますか、わるくなると思いますか。

- ㉗
- | | | | | |
|------|-------|-------|---------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| よくなる | わるくなる | 変わらない | その他(記入) | わからない |

問8 [カード3] わが国の向こう10年から15年間の国家目標をどう設定したらよいかについて、最近盛んに議論されています。ここにいろいろな人が最も重視する目標がいくつかあげてあります。あなたはこれらの中で何が最も重要だと思いますか。(○は1つ)

- ㉘
- | | |
|----------------------------|---|
| 1 国家の秩序を維持すること | |
| 2 重要な政策を決める時、人々にもっと発言させること | |
| 3 物価の上昇をくいとめること | |
| 4 言論の自由を守ること | |
| 5 その他(記入) |) |
| 6 わからない | |

問9 [カード4] ときどき、自分自身のことや家族のことで不安になることがあります。あなたは、次のような危険について不安を感じることがありますか。

	非感 常じ にる	か感 なじ りる	少感 しじ はる	全じ くな 感い	そ の 他	わな か い ら	
a. まず、「重い病氣」の不安はどの程度でしょうか。……………	1	2	3	4	5	6	㉔
b. では、「交通事故」についてはどうでしょうか。……………	1	2	3	4	5	6	㉕
c. では、「失業」についてはどうでしょうか。……………	1	2	3	4	5	6	㉖
d. では、「戦争」についてはどうでしょうか。……………	1	2	3	4	5	6	㉗
e. では、「原子力施設の事故」についてはどうでしょうか。…	1	2	3	4	5	6	㉘

問10

a. 家計のやりくりをしなければならないことがありますか。

1	2	3	4	
あ る	な い	そ の 他 (配入)	わ か ら な い
		(問11へ)		

b. [カード5] 特にどこを節約しますか。下記のうちからいくつでも上げて下さい。

	あ り	な し	
a. 医 療 ……………	1	0	㉙
b. 車 の 費 用 ……………	1	0	㉚
c. 家 庭 用 品 ……………	1	0	㉛
d. 食 料 品 ……………	1	0	㉜
e. 糞 容 ……………	1	0	㉝
f. レジャー・休暇 ……………	1	0	㉞
g. 衣 料 費 ……………	1	0	㉟
h. 住 居 費 ……………	1	0	㊱
i. 子 供 の 養 育 費 ……………	1	0	㊲
j. タバコ・酒 ……………	1	0	㊳
8. そ の 他			㊴
9. わ か ら な い			㊵

問11 あなたはどちらかといえば、普通より先祖を尊ぶ方ですか、それとも普通より尊ばない方ですか。

1	2	3	4	5	
普 通 よ り 尊 ぶ 方	普 通 よ り 尊 ば な い 方	普 通	そ の 他 (配入)	わ か ら な い

問12 子供がないときは、血のつながりがない他人の子供を、養子にとって家をつがせた方がよいと思いますか、それとも、つがせる必要はないと思いますか。

1	2	3	4	5	
つ が せ た 方 が よ い	つ が せ る 必 要 は な い	場 合 に よ る	そ の 他 (配入)	わ か ら な い

問13 現在、一般的な家庭にとって望ましい子供の数は何人だと思いますか。

1 2 3 4 5 6 7 8 9
 □ 人 わからない

問14 [カード6] ここ1ヶ月の間に次にあげるものに悩みましたか。(かかりましたか。)

		かかったことあり	なし
㉔	a. 頭痛、偏頭痛 <small>へんづつう</small>	1	0
㉕	b. 背中の痛み	1	0
㉖	c. いらいら	1	0
㉗	d. うつ状態	1	0
㉘	e. 不眠症	1	0
	8. その他		
	9. わからない		

問15 [カード7] あなたと同じ年の人と比べて、あなたの健康状態はいかがですか。

㉙	1 非常に満足している	4 満足していない	
	2 満足している	5 その他(記入))
	3 あまり満足していない	6 わからない	

問16 [カード8] かりに現在の日本社会全体を、ここに書いてあるように5つの層に分けるとすれば、お宅はこのどれにはいると思いますか。

㉚	1	2	3	4	5	6	7
	上	中の上	中の中	中の下	下	その他(記入)) わからない

問17 [カード9] あなたは次のうちどちらが好ましいと思いますか。

㉛	1 収入が増えること	
	2 余暇(自由な時間)が増えること	
	3 その他(記入))
	4 わからない	

問18 もし、一生、楽に生活できるだけのお金がたまったら、あなたはずっと働きますか、それとも働くのをやめますか。

㉜	1	2	3	4
	ずっと働く	働くのをやめる	その他(記入)) わからない

問19 [カード10] 仕事について、次の2つの意見があります。どちらがあなたの気持ちに近いですか。

㉝	1 いくらお金があっても、仕事がないらば、人生はつまらない	
	2 お金があれば、仕事がなくとも、人生がつまらなとは思わない	
	3 その他(記入))
	4 わからない	

問20 [カード11] ここに仕事について、ふだん話題になることがあります。
あなたは、どれが一番関心がありますか。

- 1 お金のことを気にしないですむ程よい給料
- 2 倒産や失業の恐れがない仕事
- 3 気の合った人たちと働くこと
- 4 やりとげたいという感じもてる仕事
- 5 その他(記入)
- 6 わからない

問21 現在、あなたの一週間の予定を立てるとき、仕事上のことがあなたの個人生活や家庭生活とよくぶつかりますか。

- | | | | |
|----|-----|---------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| はい | いいえ | その他(記入) | わからない |

問22 [カード12] 人のくらし方には、いろいろあるでしょうが、つきにあげるもののうちで、どれが一番、あなた自身の気持ちに近いものですか。

- 1 一生けんめい働き、金持ちになること
- 2 まじめに勉強して、名をあげること
- 3 金や名誉を考えずに、自分の趣味にあったくらし方をする
- 4 その日その日を、のんきにクヨクヨしないでくらすこと
- 5 世の中の正しくないことを押しつけて、どこまでも清く正しくくらすこと
- 6 自分の一身のことを考えずに、社会のためにすべてを捧げてくらすこと
- 7 その他(記入)
- 8 わからない

問23 [カード13] お宅の付近の環境や住みやすさについて、全体としてどう思っていますか。

- | | |
|--------------|-----------|
| 1 満足している | 4 満足していない |
| 2 やや満足している | 5 その他(記入) |
| 3 あまり満足していない | 6 わからない |

問24 [カード14] 近所の治安についておうかがいします。次に挙げるようなことで問題になっていることがありますか。

- | | | | | | | |
|----------------------------------|---------------------------------|----------------------------|---|--------------------------------------|-------------|-----------------------|
| | 承
大
な
な
問
題
に | 問
題
に
な
っ
て | 大
な
な
問
題
に
な
っ
て | 全
然
問
題
に
な
っ
て | そ
の
他 | わ
か
ら
な
い |
| a. 「強盗にはいられること」については、どうですか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| b. 「急に襲われて身の危険を感じる事」については、どうですか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

問29 [カード17] あなたの生活についておきします。ひとくちにいてあなたは今の生活に満足して
いますか、それとも不満がありますか。

- | | | | | | | | |
|----|----------|---------------|----------|----|--------|---|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | ⑩ |
| 満足 | やや
満足 | どちらとも
いえない | やや
不満 | 不満 | その他(記入 |) | わからない |

問30 いまの社会で成功している人を見て、その人の成功には、個人の才能や努力と、運やチャンスのと
ちらが大きな役割をはたしていると思いますか。

- | | | | | |
|----------|--------|--------|---|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | ⑪ |
| 個人の才能や努力 | 運やチャンス | その他(記入 |) | わからない |

問31 [カード18] 次の二つの意見のうち、どちらがあなたの意見に近いですか。

甲：収入が不十分な世帯を国が経済的に面倒をみることは、その世帯に生活の道を与えること
になる

乙：収入が不十分な世帯を国が経済的に面倒をみることは、その世帯から責任感を全く奪うこ
とになる

⑩⑪ = 01
⑫ = 1
(カード1)

(1)~(7) = 1D
(8)~(13) = b
⑬

- | | | | |
|------|------|--------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 甲の意見 | 乙の意見 | その他(記入 |) |
| | | | わからない |

問32 こういう意見があります。

「世の中は、だんだん科学や技術が発展して、便利になって来るが、それにつれて人間らしさがなく
なって行く」

というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

- | | | | |
|--------------------|----------|---|---|
| 1 賛成(人間らしさはへる) | 4 その他(記入 |) | ⑭ |
| 2 いちがいいはいえない | 5 わからない | | |
| 3 反対(人間らしさ、不変、ふえる) | | | |

問33 小学校に行っているくらいの子供をそだてるのに、つぎのような意見があります。

「小さいときから、お金は人にとって、最も大切なものの1つだと教えるのがよい」

というのです。あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

- | | | | | | |
|----|----|------------|--------|---|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | ⑮ |
| 賛成 | 反対 | いちがいいはいえない | その他(記入 |) | わからない |

問34 こういう意見があります。

「国をよくするためには、すぐれた政治家がでてきたら、国民がたがいに議論をたたかわせるよりは
その人達にまかせる方がよい」

というのですが、あなたはこれに賛成ですか、それとも反対ですか。

- | | | | |
|-------------------|----------|---|---|
| 1 賛成(まかせる) | 4 その他(記入 |) | ⑯ |
| 2 反対(まかせっきりはいけない) | 5 わからない | | |
| 3 いちがいいはいえない | | | |

問35 あなたは、自分が正しいと思えば世間の慣習に反しても、それをおし通すべきだと思いますか、それとも世間の慣習に、従った方がまちがいないと思いますか。

- 08
- | | | | | |
|------|----|-------|---------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| おし通せ | 従え | 場合による | その他(記入) | わからない |
-

問36 こういう意見があります。

「どんなに世の中が機械化しても、人の心の豊かさ(人間らしさ)はへりはしない」
というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

- 09
- | | | | | |
|--------|------------|---|---------|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 反対(へる) | | | その他(記入) | |
| | いちがいはいえない | | わからない | |
| | 3 賛成(へらない) | | | |
-

問37 [カード19] つぎのような考え方があります。

「家庭は、ここちよく、くつろげる、ただ1つの場所である」
というのですが、あなたはそう思いますか、そうは思いませんか。

- 00
- | | | | |
|------|---------|---------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| そう思う | そうは思わない | その他(記入) | わからない |
-

問38 [カード20] つぎの3つの意見の中で、どれが一番あなたの意見に近いですか。

- 01
- | | | | | |
|------------|-----------------|----------------------|---------|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 離婚はすべきではない | | | | |
| | ひどい場合には、離婚してもよい | | | |
| | | 二人の合意さえあれば、いつ離婚してもよい | | |
| | | 4 その他(記入) | | |
| | | | 5 わからない | |
-

問39 [カード21] 家事や子供の世話について、どうお考えですか。

- 02
- | | | | | |
|--------------|---------------|-------------------------|---------|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| すべてが女性の仕事である | | | | |
| | いくつかは女性の仕事である | | | |
| | | すべての仕事は、男性、女性の区別なくやるべきだ | | |
| | | 4 その他(記入) | | |
| | | | 5 わからない | |
-

問40 「先生が何か悪いことをした」というような話を、子供が聞いてきて、親にたずねたとき、親はそれが本当であることを知っている場合、子供には、

「そんなことはない」といった方がよいと思いますか、それとも
「それはほんとうだ」といった方がよいと思いますか。

- 03
- | | | | |
|-------------|----------|---------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| そんなことはないという | ほんとうだという | その他(記入) | わからない |

問41 [カード22] 南山さんという人は、小さいときに両親に死に別れ、となりの親切な西木野さんに育てられて、大学まで卒業させてもらいました。そして、南山さんはある会社の社長にまで出世しました。ところが故郷の、育ててくれた、西木野さんが「キトクだからスグカエレ」という電報を受け取ったとき、南山さんの会社がつぶれるか、つぶれないか、ということがきまってしまう大事な会議があります。あなたはつぎのどちらの態度をとるのがよいと思いますか。よいと思う方を1つだけえらんで下さい。

- 1 なにをおいても、すぐ故郷に帰る 24
- 2 故郷のことが気になっても、大事な会議に出席する
- 3 その他(記入))
- 4 わからない

問42 [カード22] いまの質問では、思入が死にそうなときを、うかがいましたが、もしキトクなのが思入ではなくて、南山さんの親だったら、どうしたらよいと思いますか、どちらかえらんで下さい。

- 1 なにをおいても、すぐ故郷に帰る 25
- 2 故郷のことが気になっても、大事な会議に出席する
- 3 その他(記入))
- 4 わからない

問43 [カード23] 自然と人間との関係について、つぎのような意見があります。あなたがこのうち真実に近い(ほんとうのことに近い)と思うものを、1つだけ選んでください。

- 1 人間が幸福になるためには、自然に従わなければならない 26
- 2 人間が幸福になるためには、自然を利用しなければならない
- 3 人間が幸福になるためには、自然を征服していかなければならない
- 4 その他(記入))
- 5 わからない

問44 [カード24] あなたはつぎの意見の、どちらに賛成ですか。1つだけあげてください。

- 1 個人が幸福になって、はじめて国全体がよくなる 27
- 2 国がよくなって、はじめて個人が幸福になる
- 3 国がよくなることも、個人が幸福になることも同じである
- 4 その他(記入))
- 5 わからない

問45 [カード25] つぎのうち、大切なことを2つあげてくれといわれたら、どれにしますか。

		あ	り	な	し
08	a. 親孝行、親に対する愛情と尊敬	1		0	
09	b. 助けてくれた人に感謝し、必要があれば援助する	1		0	
00	c. 個人の権利を尊重すること	1		0	
01	d. 個人の自由を尊重すること	1		0	
02	5. その他(記入)				
	6. わからない				

(上の質問では、2つの項目をあげてもらうこと)

03~09=b

問46 [カード26] つぎのうち、あなたはどちらが人間として望ましいとお考えですか。

- 09
- 1 他人と仲がよく、なにかと頼りになるが、仕事はあまりできない人
 - 2 仕事はよくできるが、他人の事情や心配事には無関心な人
 - 3 その他(記入)
 - 4 わからない

問47 [カード27] 物事を決定する時に「一定の原則に従うこと」に重点をおく人と、「他人との調和をはかること」に重点をおく人では、どちらがあなたの好きな「ひとがら」ですか。

- 07
- 1 物事を決定するとき一定の原則に従うことに重点をおく人
 - 2 物事を決定するとき他人との調和をはかることに重点をおく人
 - 3 その他(記入)
 - 4 わからない

問48 [カード28] あなたが、ある会社の社長だったとします。その会社で、新しく職員を1人採用するために試験をしました。入社試験をまかせておいた課長が、
「社長のご親戚の方は2番でした。しかし、私としましては、1番の人でも、ご親戚の方でも、どちらでもよいと思いますがどうでしょうか」
と社長のおあなたに報告しました。
あなたはどちらをとれ(採用しろ)といえますか。

- 08
- 1 1番の人を採用するよういいう
 - 2 親戚を採用するよういいう
 - 3 その他(記入)
 - 4 わからない

問49 [カード29] それでは、この場合2番になったのがあなたの親戚の子供でなくて、あなたが昔世話になった人の子供だったとしたら、あなたはどうしますか。(どちらをとれといえますか)

- 09
- 1 1番の人を採用するよういいう
 - 2 昔世話になった人の子供を採用するよういいう
 - 3 その他(記入)
 - 4 わからない

問50〔カード30〕ある会社につきのような2人の課長がいます。もしあなたが使われるとしたら、どちらの課長に使われる方がよいと思いますか。どちらか1つあげてください。

- 1 規則をまけてまで、無理な仕事をさせることはありませんが、仕事以外のことで人のめんどろを見ません 40
- 2 時には規則をまけて、無理な仕事をさせることもあります。仕事のこと以外でも人のめんどろをよく見ます
- 3 その他(記入))
- 4 わからない

問51 たいていの方は、他人の役にたとうとしていますか、それとも自分のことだけ考えていると思いますか。

- 1 他人の役にたとうとしている 40
- 2 自分のことだけ考えている
- 3 その他(記入))
- 4 わからない

問52 他人は、機会があれば、あなたを利用しようとしていますか、それともそんなことはないと思いますか。

- 1 他人は機会があれば利用しようとしていると思う 40
- 2 そんなことはないと思う
- 3 その他(記入))
- 4 わからない

問53 たいていの方は信頼できると思いますか、それとも、常に用心した方がよいと思いますか。

- | | | | | |
|--------------|----------------|---------|---|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | |
| 信頼できる
と思う | 常に用心した
方がよい | その他(記入) |) | わからない |

問54〔カード31〕次のような意見がいくつかあります。ご自分の立場や個人的な感情を考えて、「賛成」「やや賛成」「やや反対」「反対」のいずれかで答えて下さい。

a. まず、「たいていの方は、他人を助けるために多少の努力をすることができる」というのですが、あなたのお考えに近いのはどれですか。

(以下同様にb～eを問く)

	賛成	やや 賛成	やや 反対	反対	その他	わから ない	
a. たいていの方は、他人を助けるために多少の努力をすることができる 1	2	3	4	5	6	40	
b. 結びつきが強い地域社会に自分が属していると思う 1	2	3	4	5	6	49	
c. 今日、人は明日のことを心配しないでその日その日を生きざるを得ない 1	2	3	4	5	6	40	
d. 収入を得るための手段の方が、得られる収入よりも大切である 1	2	3	4	5	6	47	
e. 現代は、自分も含めて、人々は孤独で他人から切り離されていると感じることが多い 1	2	3	4	5	6	48	

問55〔カード32〕 科学上の発見とその利用は、あなたの日常生活の改善に役だっていると思いますか。

- 49
- | | |
|-------------|-----------|
| 1 役だっている | 4 その他(記入) |
| 2 少しは役だっている | 5 わからない |
| 3 役だっていない | |

問56〔カード33〕 コンピュータがいろいろなところに使われるようになり、情報化社会などということが言われています。このような傾向が進むにつれて、日常生活の上で変わっていく面があると思います。あなたは、このような変化をどう思いますか。

- 50
- | | |
|---------------------------|---|
| 1 望ましいことである | |
| 2 望ましいことではないが、避けられないことである | |
| 3 困ったことであり、危険なことでもある | |
| 4 その他(記入) |) |
| 5 わからない | |

問57〔カード34〕 つぎに読み挙げる事柄についてあなたはどう思いますか。

それぞれについて、この中からお答えください。(a～cについてそれぞれ聞く)

- a 病気の中には近代医学とは別の方法で治療したほうがよいものもある。
- 51
- | | |
|---------------|--------------|
| 1 全くそのとおりだと思う | 4 決してそうは思わない |
| 2 そう思う | 5 その他(記入) |
| 3 そうは思わない | 6 わからない |

b. 科学技術が発展すれば、いつかは人間の心の中までも解明できる。

- 52
- | | |
|---------------|--------------|
| 1 全くそのとおりだと思う | 4 決してそうは思わない |
| 2 そう思う | 5 その他(記入) |
| 3 そうは思わない | 6 わからない |

c. 今日我々が直面している経済的、社会的問題のほとんどは科学技術の進歩により解決される。

- 53
- | | |
|---------------|--------------|
| 1 全くそのとおりだと思う | 4 決してそうは思わない |
| 2 そう思う | 5 その他(記入) |
| 3 そうは思わない | 6 わからない |

問58〔カード35〕 つぎに挙げることは今後25年の間に実現すると思いますか。

それぞれについてこの中からお答えください。

- | | | 多分実現する | 実現する可能性は低い | 実現しない | その他 | わからない |
|----|--|--------|------------|-------|-----|-------|
| 54 | a. まず、「原子力廃棄物の安全な処理方法」
についてはどうですか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 55 | b. 「ガンの治療方法の解明」
についてはどうですか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 56 | c. 「老人性痴呆症(ぼけ)の治療方法の解明」
についてはどうですか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 57 | d. 「宇宙ステーションでの生活」
についてはどうですか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問59 [カード36] エネルギーの節約について話題になることがしばしばあります。
あなたご自身は、このことは重要な問題だと思いますか。

- | | | | |
|-------------|-----------|---|----|
| 1 非常に重要である | 4 重要ではない |) | 69 |
| 2 重要である | 5 その他(記入) | | |
| 3 あまり重要ではない | 6 わからない | | |

問60 [カード36] 環境の保護は、あなたにとってどのくらい重要な問題ですか。

- | | | | |
|-------------|-----------|---|----|
| 1 非常に重要である | 4 重要ではない |) | 69 |
| 2 重要である | 5 その他(記入) | | |
| 3 あまり重要ではない | 6 わからない | | |

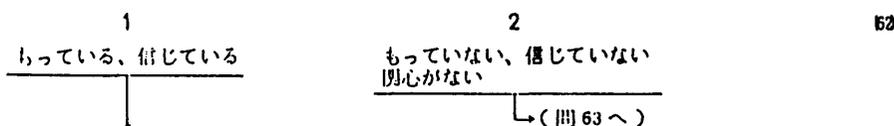
問61 日本文化ときいて、まず思い浮かべることは何ですか。

(記入)	9 わからない	60
------	------------	----

問61b そのほかいくつでもあげてください。
何かそのほかにありますか。

(記入)	9 わからない	60
------	------------	----

問62 宗教についておききたいのですが、たとえば、あなたは、何か信仰とか信心とかを持っていますか。



問62b (問62で「1 持っている、信じている」と回答した人に)
それは何という宗教ですか。

- | | | |
|--------------|---|----|
| 1 仏教系(記入) |) | 63 |
| 2 神道系(記入) |) | |
| 3 キリスト教(記入) |) | |
| 4 その他の宗教(記入) |) | |
| 5 わからない |) | |

問63 それでは、いままでの宗教にはかかわりなく、「宗教的な心」というものを、大切だと思いますか、それとも大切だとは思いませんか。

- 60
- | | | | |
|----|-------|---------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 大切 | 大切でない | その他(記入) | わからない |

問64 宗教について、こんな意見があります。

「宗教にはいろいろあり、それぞれ独自の教えを説いているが、そうした教えは、けっきょくは同じものだ」

というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

- 69
- | | | | |
|----|----|---------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 賛成 | 反対 | その他(記入) | わからない |

問65 [カード37] 政治の立場を明らかにするに当たって、世間ではよく「左(革新)」とか「右(保守)」とかいいますが、あなたはいかがですか。

この付盛りを使ってあなたの政治に対する考え方をお知らせ下さい。

左(革新) 右(保守) その他 わからない

- 6967
- | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|--|
| | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | |

問66 [カード38] あなたは政治に関心がありますか。

- 68
- | | | | |
|---|----------|---|---------|
| 1 | 非常に関心がある | 4 | 全く関心がない |
| 2 | まあ関心がある | 5 | その他(記入) |
| 3 | あまり関心がない | 6 | わからない |

問67a [カード39] あなたは「民主主義」について、どう思いますか。

このうち、あなたの意見に一番近いのはどれですか。

- 69
- | | | | |
|---|---------|---|---------|
| 1 | よい | 4 | その他(記入) |
| 2 | 時と場合による | 5 | わからない |
| 3 | よくない | | |

b [カード39] では、「資本主義」についてはどうですか。

- 70
- | | | | |
|---|---------|---|---------|
| 1 | よい | 4 | その他(記入) |
| 2 | 時と場合による | 5 | わからない |
| 3 | よくない | | |

c [カード39] では、「社会主義」についてはどうですか。

- 71
- | | | | |
|---|---------|---|---------|
| 1 | よい | 4 | その他(記入) |
| 2 | 時と場合による | 5 | わからない |
| 3 | よくない | | |

d [カード39] では、「自由主義」についてはどうですか。

- | | | |
|-----------|-----------|----|
| 1 よい | 4 その他(記入) | 72 |
| 2 時と場合による | 5 わからない | |
| 3 よくない | | |

e [カード39] では、「保守主義」についてはどうですか。

- | | | |
|-----------|-----------|----|
| 1 よい | 4 その他(記入) | 73 |
| 2 時と場合による | 5 わからない | |
| 3 よくない | | |

問68 [カード40] 日本の民主政治の運営のしかたについてはどうですか。

- | | | |
|--------------|-----------|----|
| 1 非常に満足 | 4 全く不満 | 74 |
| 2 かなり満足 | 5 その他(記入) | |
| 3 あまり満足していない | 6 わからない | |

問69 [カード41] 現在の日本で、裁判制度はよく機能していると思いますか。

- | | | |
|----------------|---------------|----|
| 1 非常によく機能している | 4 全然よく機能していない | 75 |
| 2 かなりよく機能している | 5 その他(記入) | |
| 3 あまりよく機能していない | 6 わからない | |

問70 [カード42] 労働者と経営者の関係について、次のような二つの意見があります。

甲の意見 「労働者と経営者の利害は、全くあい反しているから、労働者と経営者はあくまで戦わなければならない」

乙の意見 「会社がもうかれれば労働者の賃金も上がるというように、労働者と経営者の利害は結局において一致するのだから労働者と経営者は協力しなければならない」

あなたは、このどちらの意見に賛成ですか。

- | | | | | |
|----------------|-----------------|---------|---------|----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 76 |
| 甲に賛成
(戦うべき) | 乙に賛成
(協力すべき) | その他(記入) |) わからない | |

問71 [カード43] 次にわれわれが住んでいる社会についての考え方が3つ挙げてあります。

あなたの意見に最も近いものを1つ選んでください。

- | | |
|---|----|
| 1 われわれの社会の仕組みは、革命によって根本的に変えなければならない | 77 |
| 2 われわれの社会は、改革によって徐々に変えていかなければならない | |
| 3 われわれの現在の社会は、あらゆる破壊的勢力に対して防衛されなければならない | |
| 4 その他(記入) |) |
| 5 わからない | |

問72 日本の社会は、根本的な改革を必要としていますか。

08

1	2	3	4
思　　う	思わない	その他(記入)	わからない
↓			↘(問73へ)

問72b (思うと回答した人に)

[カード44] では、その変革は漸進的ぜんしんてきな改革がよいでしょうか、それとも急激な改革がよいでしょうか。

09=10
80=2

(カード2)

<1>~<7>=1D
<8>~<14>=10

1	2	3	4
漸進的 <small>ぜんしんてき</small> な改革 がよい	急激な改革 がよい	その他(記入)	わからない

問73 しいていえば、あなたは何党を支持しますか。

<15>

1 自 民 党	5 共 産 党	8 支持政党なし
2 社 会 党	6 社 民 連	9 わからない
3 公 明 党	7 その他の政党	
4 民 社 党	(記 入)	

↘(問75へ)

問74 (政党をあげたなら)あなたのお考えはその政党にどの程度近いでしょうか。

「非常に近い」「かなり近い」「非常に近いとはいえない」の三段階のうちどれにあたりますか。

<16>

1 非常に近い	4 その他(記入)
2 かなり近い	5 わからない
3 非常に近いとはいえない	

問75 [カード45] 政党についてお伺いします。もし好意も反感も持たない時には50度としてください。

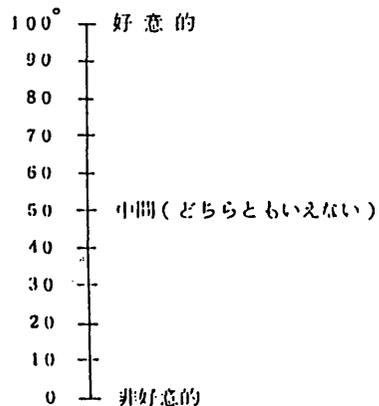
もし好意的な気持ちがあれば、その強さに応じて50度から100度のどこかを指してください。また、

もし好意を感じていなければ、やはりその強さに応じて0度から50度のどこかを指してください。

1番目は自民党です。自民党についてはどうですか。

(以下同様に問く)

<17>~<19>	自 民 党				度
<20>~<24>	社 会 党				度
<25>~<29>	公 明 党				度
<30>~<34>	民 社 党				度
<35>~<41>	共 産 党				度



<フェイス・シート>

ご意見をおうかがいするのはこれで終わりですが、この結果を統計的に分析するために、あなたご自身やご家族のことについて少しおたずねします。

<32>~<35>=b

F1 【性別】

	1	2	
	男	女	<36>

F2 【年齢】 あなたのお年は満でいくつですか。 記入 歳 <37> <38>

1	18~19歳	5	35~39歳	9	55~59歳	<39>	<40>
2	20~24歳	6	40~44歳	10	60~64歳		
3	25~29歳	7	45~49歳	11	65~69歳		
4	30~34歳	8	50~54歳	12	70歳以上		

F3 【学歴】 【カード46】 あなたが最後に卒業された学校はどちらですか。
(中途・在学中は卒業とみなす)

1	2	3	4	5	<41>
小卒	旧高小・新中卒	旧中・新高卒	旧高专・大・新大卒	不明	

F4 【本人職業】 あなたのご職業は何ですか。
(具体的に記入して下の該当する項目に○をつける)

自営者			被 傭 者				家族従業者			無 職			<42>	<43>
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
農	商	自	管	専	事	勞	農	商	自	無	学	そ		
林	工		理	門	務	務	林	工		職		の	の	
漁	サ	山	職	技	職	職	漁	サ	由	の		主	無	
業	ー	業		術			業	ー	業	主	婦	生	職	
	ビ			術				ビ		婦				
	ス			職				ス						
	業							業						

F4a 【労働組合加入】 (F4で被傭者に) あなたは、現在、労働組合に入っていますか。

1	2	<44>
入っている	入っていない	

F5 【家族人数】 ご家族は、あなたも含めて、何人ですか。(使用人は含めない)

1	2	3	4	5	6	7	<45>
1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	

F 6 【世帯構成】〔カード47〕 お宅のご家族は、このように分類した場合どれにあたりますか。

- <46>
- | | | | |
|---|-------------|---|---------------|
| 1 | 1人世帯 | 4 | 3世代世帯(親と子と孫) |
| 2 | 1世代世帯(夫婦だけ) | 5 | その他の世帯(祖父母と孫) |
| 3 | 2世代世帯(親と子) | 6 | その他の世帯() |

F 7 【世帯内の地位】 あなたと世帯主との関係をお聞きしたいのですが……。
主としてお宅の生活を支えていらっしゃるのはあなたですか、ほかのかたですか。

- <47>
- | | |
|----------------|---------|
| 1 | 2 |
| 対象者本人(実質上の世帯主) | 対象者本人以外 |
| ↓
(F9へ) | ↓ |

F 8 【世帯主職業】 (主として)お宅の家計を支えている方のご職業は何ですか。
(具体的に記入して下の該当する項目に○をつける)

- <48>
- | | | | | | | | |
|-------|---|---|-------|---|---|---|---|
| 自 営 者 | | | 被 傭 者 | | | | |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 農 | 商 | 自 | 管 | 専 | 事 | 勞 | 無 |
| 林 | 工 | | | 門 | | | |
| 漁 | サ | 山 | 理 | ・ | 務 | 務 | |
| 業 | ー | 業 | 職 | 技 | 職 | 職 | 職 |
| | ビ | | | 術 | | | |
| | ス | | | 職 | | | |
| | 業 | | | | | | |

F 9 【家事担当者】 家計のきりもりをしているのはあなたですか、ほかのかたですか。

- <49>
- | | |
|--------------|--------|
| 1 | 2 |
| 対象者本人(家事担当者) | 対象本人以外 |

F 10 【本人収入】〔カード48〕 あなたご自身の収入は、去年1年間で、およそどれくらいになりましたか。この中ではどうでしょうか。ボーナスも含め、税込みでお答え下さい。

- <50>
- | | | | |
|---|-----------------|----|-------------------|
| 1 | 200万円未満 | 6 | 1,000万円～1,500万円未満 |
| 2 | 200万円～ 400万円未満 | 7 | 1,500万円～2,000万円未満 |
| 3 | 400万円～ 600万円未満 | 8 | 2,000万円以上 |
| 4 | 600万円～ 800万円未満 | 9 | 収入なし |
| 5 | 800万円～1,000万円未満 | 10 | わからない |

F 11 【世帯収入】 【カード49】 では、お宅の収入は、ご家族全部あわせて、去年1年間でおよそどれくらいになりましたか。この中ではどうでしょうか。ボーナスも含め、税込みでお答え下さい。

- | | | |
|-------------------|---------------------|------|
| 1 200万円未満 | 6 1,000万円～1,500万円未満 | <51> |
| 2 200万円～ 400万円未満 | 7 1,500万円～2,000万円未満 | |
| 3 400万円～ 600万円未満 | 8 2,000万円以上 | |
| 4 600万円～ 800万円未満 | 9 わからない | |
| 5 800万円～1,000万円未満 | | |

F 12 【住宅の所有形態】 【カード50】 お住まいはどのようにわけると、どれにあたりますか。

- | | |
|------------------------|------|
| 1 持ち家 | <52> |
| 2 都道府県・市区町村営の賃貸住宅 | |
| 3 住宅・都市整備公団・供給公社等の賃貸住宅 | |
| 4 民営の借家または賃貸アパート | |
| 5 給与住宅（社宅・公務員住宅など） | |
| 6 住宅に間借り | |
| 7 会社等の独身寮・寄宿舎 | |
| 8 その他 | |

F 13 【乗用車所有】 お宅では自家用乗用車をお持ちですか。

- | | | |
|-------|--------|------|
| 1 | 2 | <53> |
| 持っている | 持っていない | |

（どうも長い間ありがとうございました。）

【調査員記入欄】

F 14 全般的な、調査に対する回答者の態度：

- | | | |
|--------------------|--------------------|------|
| 1 興味深げで、協力的 | 3 落ち着かず、いらいらしている様子 | <54> |
| 2 協力的だが、とくに興味はなさそう | 4 非協力的 | |

F 15 全体として、回答者は、質問の内容がわかったようであったか。

- | | | |
|--------------------|---------|------|
| 1 よくわかっているようだ | 4 その他 | <55> |
| 2 大体のところはわかっているようだ | （記入） | |
| 3 あまりよくわかっていないようだ | 5 わからない | |

<56>～<79>=b

<80>=3

（カード3）

付録2 調査票（日本B〔日本調査用：本来の日本語らしい質問文〕）

〔対象番号が3の倍数（03、06、09、12、15）の人に〕

生活と文化に関する世論調査

〔調査票B〕

（No1893）

N = 1017

昭和63年10月

読 新情報センター

(国) (地点No) (対象No)

5						
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦

調査日時	調査員氏名	点検者名
日 時		

新情報センターから世論調査に伺いました。

突然で恐れ入りますが、よろしくご協力下さいますようお願いいたします。

〔性・年齢〕〔訪問する前に記入しておきサンプルを確認する〕

あなたのお生まれは、

2.1 1	19.7 2	83.2 3	年	月
----------	-----------	-----------	---	---

ですね。 ⑧~⑫

45.3 1 男	54.7 2 女
-------------	-------------

⑬

1 その通りだ	2 否 →	1 2 3 明治 大正 昭和	年	月
---------	-------	-------------------	---	---

生まれだ ⑭~⑰

〔該当する生年の上の数字を○でかこむ〕

10.3 1	8.4 2	10.2 3	12.5 4	9.7 5	⑲
昭和38年 以降	昭和33年 昭和37年	昭和28年 昭和32年	昭和23年 昭和27年	昭和18年 昭和22年	
9.9 6	10.3 7	9.0 8	8.0 9	11.6 10	
昭和13年 昭和17年	昭和 8年 昭和12年	昭和 3年 昭和 7年	大正12年 昭和 2年	大正11年 (明治も含む)	

問1*〔カード1〕 日本人全体の生活水準は、この10年間でどう変わったと思いますか。

- ②
- | | | | | | | |
|------|---|----------|-----|---|---------|---|
| 39.9 | 1 | よくなった | 1.4 | 5 | わるくなった | |
| 34.8 | 2 | ややよくなった | 0.1 | 6 | その他(記入) |) |
| 17.0 | 3 | 変わらない | 3.5 | 7 | わからない | |
| 3.2 | 4 | ややわるくなった | | | | |

問2*〔カード1〕 あなたの生活水準は、この10年間でどう変わりましたか。

- ②
- | | | | | | | |
|------|---|----------|-----|---|---------|---|
| 16.3 | 1 | よくなった | 2.7 | 5 | わるくなった | |
| 37.1 | 2 | ややよくなった | - | 6 | その他(記入) |) |
| 35.5 | 3 | 変わらない | 1.5 | 7 | わからない | |
| 7.0 | 4 | ややわるくなった | | | | |

問3*〔カード2〕 これから先の5年間に、あなたの生活状態はよくなると思いますか、それとも悪くなると思いますか。

- ②
- | | | | | | | |
|------|---|------------|------|---|----------|---|
| 7.7 | 1 | よくなるだろう | 14.3 | 5 | わるくなるだろう | |
| 20.1 | 2 | ややよくなるだろう | 0.2 | 6 | その他(記入) |) |
| 50.3 | 3 | 変わらないだろう | 7.1 | 7 | わからない | |
| 10.3 | 4 | ややわるくなるだろう | | | | |

問4 これから先、ひとびとは幸福になると思いますか、不幸になると思いますか。

- ②
- | | | | | |
|------|------|-------|---------|-------|
| 24.5 | 11.8 | 44.1 | 1.0 | 18.7 |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 幸福に | 不幸に | 変わらない | その他(記入) | わからない |

問5 これから先、心のやすらかさは、ますと思いますか、へると思いますか。

- ②
- | | | | | |
|------|------|-------|---------|-------|
| 17.7 | 36.7 | 35.3 | 0.7 | 9.8 |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ます | へる | 変わらない | その他(記入) | わからない |

問6 では、人間の自由は、ふえると思いますか、へると思いますか。

- ②
- | | | | | |
|------|------|-------|---------|-------|
| 36.1 | 14.5 | 34.7 | 0.3 | 9.4 |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ふえる | へる | 変わらない | その他(記入) | わからない |

問7 これから先、人間の健康の面はよくなってゆくと思いますか、わるくなると思いますか。

- ②
- | | | | | |
|------|-------|-------|---------|-------|
| 42.3 | 29.3 | 21.5 | 0.2 | 6.7 |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| よくなる | わるくなる | 変わらない | その他(記入) | わからない |

問8〔カード3〕 わが国の向こう10年から15年間の国家目標をどう設定したらよいかについて、最近盛んに議論されています。ここにいろいろな人が最も重視する目標がいくつかあげてあります。あなたはこれらの中で何が最も重要だと思いますか。(○は1つ)

- ②
- | | | | | |
|------|---|--------------------------|---|--|
| 20.2 | 1 | 国家の秩序を維持すること | | |
| 27.4 | 2 | 重要な政策を決める時、人々にもっと発言させること | | |
| 36.1 | 3 | 物価の上昇をくいとめること | | |
| 6.7 | 4 | 言論の自由を守ること | | |
| 0.9 | 5 | その他(記入) |) | |
| 6.8 | 6 | わからない | | |

問9 [カード4] ときどき、自分自身のことや家族のことで不安になることがあると思います。あなたは、次のような危険について不安を感じることがありますか。

	非感 常じ にる	か感 なじ りる	少感 しじ はる	全じ く ない	そ の 他	わな かい ら	
a. まず、「重い病気」の不安はどの程度でしょうか。……………	1 ^{20.7}	2 ^{26.1}	3 ^{39.0}	4 ^{13.0}	5 ^{0.1}	6 ^{1.1}	㉓
b. では、「交通事故」についてはどうでしょうか。……………	1 ^{21.9}	2 ^{31.8}	3 ^{35.9}	4 ^{8.5}	5 ^{0.1}	6 ^{1.5}	㉔
c. では、「失業」についてはどうでしょうか。……………	1 ^{7.7}	2 ^{13.4}	3 ^{31.9}	4 ^{41.8}	5 ^{0.6}	6 ^{4.7}	㉕
d. では、「戦争」についてはどうでしょうか。……………	1 ^{10.8}	2 ^{13.9}	3 ^{39.7}	4 ^{34.4}	5 ^{0.3}	6 ^{5.9}	㉖
e. では、「原子力施設の事故」についてはどうでしょうか。…	1 ^{19.1}	2 ^{24.5}	3 ^{33.2}	4 ^{16.5}	5 ⁻	6 ^{6.7}	㉗

問10

a. 家計のやりくりをしなければならないことがありますか。

	53.4 1	42.1 2	0.2 3	4.3 4	
あ	ある	ない	その他(記入)	わからない	㉘
	↓		↓(問11へ)		

b. [カード5] 特にどこを節約しますか。下記のうちからいくつでも上げて下さい。

	あり	なし	
a. 医療 ……………	15.3	0	㉙
b. 車の費用 ……………	113.6	0	㉚
c. 家庭用品 ……………	120.1	0	㉛
d. 食料品 ……………	117.7	0	㉜
e. 美容 ……………	116.6	0	㉝
f. レジャー・休暇 ……………	128.4	0	㉞
g. 衣料費 ……………	126.5	0	㉟
h. 住居費 ……………	17.5	0	㊱
i. 子供の養育費 ……………	14.7	0	㊲
j. タバコ・酒 ……………	115.0	0	㊳
8. その他	0.2		
9. わからない	0.5		㊴

問11* あなたはどちらかといえば、先祖を尊ぶ方ですか、それとも尊ばない方ですか。

	55.7 1	8.1 2	35.5 3	4 4	1.0 5	
尊ぶ方	尊ばない方	普通	その他(記入)	わからない	㊵	

問12* 子供がないときは、たとえ血のつながりがない他人の子供でも、養子にもらって家をつがせた方がよいと思いますか、それとも、つがせる必要はないと思いますか。

	20.3 1	42.9 2	26.1 3	0.2 4	10.6 5	
つがせた方がよい	つがせる必要はない	場合による	その他(記入)	わからない	㊶	

問13 現在、一般的な家庭にとって望ましい子供の数は何人だと思いますか。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	0.4	33.2	55.4	4.6	1.1	0.3	-	4.8	
④					人				わからない

問14 [カード6] ここ1ヶ月の間に次にあげるものに悩みましたか。(かかりましたか。)

		かかったことあり	なし
⑩	a. 頭痛、偏頭痛 <small>へんずつう</small>	1 22.5	0
⑪	b. 背中 <small>せなか</small> の痛み	1 19.2	0
⑫	c. いろいろ	1 26.2	0
⑬	d. うつ状態	1 5.7	0
⑭	e. 不眠症	1 12.2	0
	8. その他	0.5	
	9. わからない	-	

問15 [カード7] あなたと同じ年の人と比べて、あなたの健康状態はいかがですか。

⑮	15.4	1 非常に満足している	5.2	4 満足していない
	57.4	2 満足している	0.1	5 その他(記入)
	20.1	3 あまり満足していない	1.8	6 わからない

問16* [カード8] かりに現在の日本社会全体を、ここに書いてあるように5つの層に分けるとすれば、お宅はこのどれにはいると思いますか。

⑯	上	下	6	7			
	1	2	3	4	5	その他(記入)	わからない
	0.4	10.0	61.3	20.2	4.4	0.2	3.5

問17* [カード9] あなたは次のうちどちらが好ましいと思いますか。

⑰	37.9	1 欲しい物がもっと買えるようになること
	47.9	2 自由な時間がもっと長くなること
	2.5	3 その他(記入)
	11.8	4 わからない

問18 もし、一生、楽に生活できるだけのお金がたまったら、あなたはずっと働きますか、それとも働くのをやめますか。

⑱	60.3	27.3	1.4	11.0
	1	2	3	4
	ずっと働く	働くのをやめる	その他(記入)	わからない

問19 [カード10] 仕事について、次の2つの意見があります。どちらがあなたの気持ちに近いですか。

⑲	70.2	1 いくらお金があっても、仕事がないと、人生はつまらない
	21.2	2 お金があれば、仕事がなくとも、人生がつまらないとは思わない
	0.8	3 その他(記入)
	7.8	4 わからない

問20*〔カード11〕ここに仕事について、ふだん話題になることがあります。

あなたは、どれが一番関心がありますか。

- 15.9 1 かなりよい給料がもらえること ⑤
- 14.8 2 倒産や失業の恐れがない仕事
- 30.2 3 気の合った人たちと働くこと
- 30.8 4 やりとげたいという感じもてる仕事
- 0.5 5 その他(記入))
- 7.8 6 わからない

問21 現在、あなたの一週間の予定を立てるとき、仕事上のことがあなたの個人生活や家庭生活とよくぶつかりますか。

- | | | | | |
|------|------|---------|-------|---|
| 34.6 | 58.9 | 0.7 | 5.9 | ⑥ |
| 1 | 2 | 3 | 4 | |
| はい | いいえ | その他(記入) | わからない | |

問22*〔カード12〕人のくらし方には、いろいろあるでしょうが、つきにあげるもののうちで、どれが一番、あなた自身の気持ちに近いものですか。

- 6.4 1 金持ちになること ⑦
- 1.3 2 名をあげること
- 47.5 3 自分の趣味にあったくらし方をする
- 28.8 4 のんきにクヨクヨしないでくらすこと
- 10.2 5 済く正しくくらすこと
- 2.3 6 社会のためにすべてを捧げてくらすこと
- 0.4 7 その他(記入))
- 3.1 8 わからない

問23*〔カード13〕お宅の付近の生活環境について、全体としてどう思っていますか。

- | | | | | |
|------|-----|---|---------|---|
| 29.5 | 4.9 | 4 | 満足していない | ⑧ |
| 46.5 | 0.2 | 5 | その他(記入) |) |
| 17.7 | 1.2 | 6 | わからない | |

問24〔カード14〕近所の治安についておうかがいします。次に挙げるようなことで問題になっていることがありますか。

- | | 重
大
な
問
題
に | 問
い
な
い
問
題
に | 大
し
と
問
題
に
は
い | 全
然
問
題
に
は
い | そ
の
他 | わ
か
ら
な
い | |
|---------------------------------|----------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|------------------|-----------------------|---|
| a. 「強盗にはいられること」については、どうですか。 | 1 ^{2.9} | 2 ^{8.7} | 3 ^{36.8} | 4 ^{48.5} | 5 ^{0.3} | 6 ^{3.3} | ⑨ |
| b. 「急に襲われて身の危険を感じる」については、どうですか。 | 1 ^{2.8} | 2 ^{8.3} | 3 ^{34.3} | 4 ^{50.7} | 5 ^{0.3} | 6 ^{3.6} | ⑩ |

問25 [カード15] イソップの童話の中に、怠け者のキリギリスと、働き者のアリの話があります。夏の間歌をうたっていたキリギリスが、冬になって、食べる物がなくなり困ってしまい、夏の間働いていたアリのところにやって来ました。この時のアリの答えには、次のような2つの型があります。あなたは、このお話のむすびとして、この中のどちらがご自分の気持ちにじっくりしますか。

- ㉔ 19.6 1 夏の間怠けていたのだから、困るのが当然だと追い返してしまう
- 74.3 2 怠けていたのはいけないけれども、これからはちゃんと働くのですよ、といさめた上で、食べ物をわけてあげる
- 0.6 3 その他(記入)
- 9.4 4 わからない

問26 あなたにとって一番大切と思うものはなんですか。1つだけあげてください。

㉔ (記入) 7.5
9
わからない

問26b そのほか、非常に大切と思うものをいくつでもあげてください。

㉔ (記入) 29.9
9
わからない

問27 [カード16] 次にあげる生活領域のそれぞれについて、あなたが重要だと思う程度に従って1~7の評価をつけてください。

	重 要 で な い						重 要	そ の 他	わ か ら な い
㉔ a. まず、「家族や子供」についてはどうですか。...	1 ^{1.0}	2 ^{0.3}	3 ^{0.6}	4 ^{3.3}	5 ^{3.9}	6 ^{8.1}	7 ^{2.1}	8 ^{0.3}	9 ^{0.4}
㉔ b. では、「職業や仕事」についてはどうですか。...	1 ^{2.0}	2 ^{1.9}	3 ^{2.3}	4 ^{9.0}	5 ^{12.3}	6 ^{17.6}	7 ^{52.6}	8 ^{0.1}	9 ^{2.3}
㉔ c. では、「自由になる時間とくつろぎ」についてはどうですか。...	1 ^{0.9}	2 ^{1.2}	3 ^{3.3}	4 ^{15.5}	5 ^{23.0}	6 ^{21.7}	7 ^{32.4}	8 ^{0.2}	9 ^{0.7}
㉔ d. では、「友人、知人」については.....	1 ^{0.6}	2 ^{0.9}	3 ^{2.2}	4 ^{10.7}	5 ^{19.0}	6 ^{28.4}	7 ^{38.0}	8 ^{0.1}	9 ^{0.3}
㉔ e. では、「両親、兄弟、姉妹、親戚」については...	1 ^{0.9}	2 ^{0.4}	3 ^{1.2}	4 ^{5.9}	5 ^{10.1}	6 ^{23.1}	7 ^{59.0}	8 ^{0.1}	9 ^{0.4}
㉔ f. では、「宗教」については.....	1 ^{14.2}	2 ^{9.1}	3 ^{12.0}	4 ^{24.4}	5 ^{14.9}	6 ^{8.7}	7 ^{13.1}	8 ^{0.2}	9 ^{3.4}
㉔ g. では、「政治」については.....	1 ^{2.3}	2 ^{4.3}	3 ^{10.1}	4 ^{26.5}	5 ^{21.0}	6 ^{14.4}	7 ^{17.7}	8 ^{0.3}	9 ^{3.3}

問28 [カード17] あなたは自分の家庭に満足していますか、それとも不満がありますか。

㉔	45.3 1	39.8 2	11.2 3	3.6 4	0.5 5	6	0.5 7
	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや 不満	不満	その他(記入)	わからない

問29〔カード17〕 あなたの生活についておききします。ひとくちにとってあなたは今の生活に満足していますか、それとも不満がありますか。

32.2	44.9	12.6	8.2	2.1	-	0.1	⑬
1	2	3	4	5	6	7	
満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	その他(記入))	わからない

問30* 人の成功には、個人の才能や努力と、運やチャンスのどちらか大きな役割をはたしていると思いますか。

51.9	35.8	3.3	7.9	⑭
1	2	3	4	
個人の才能や努力	運やチャンス	その他(記入))	わからない

問31〔カード18〕 次の二つの意見のうち、どちらがあなたの意見に近いですか。

⑮⑯ = 02
⑰ = 1
(カード1)

甲：収入が不十分な世帯を国が経済的に面倒をみることは、その世帯に生活の道を与えることになる

乙：収入が不十分な世帯を国が経済的に面倒をみることは、その世帯から責任感を全く奪うことになる

52.9	25.8	2.9	18.5	(1)~(7) = 1D (8)~(13) = b ⑱
1	2	3	4	
甲の意見	乙の意見	その他(記入))	わからない

問32 こういう意見があります。

「世の中は、だんだん科学や技術が発展して、便利になって来るが、それにつれて人間らしさがなくなって行く」

というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

44.4	1	賛成(人間らしさはへる)	-	4	その他(記入))	⑲
37.8	2	いちがいいにはいえない	5.9	5	わからない		
11.9	3	反対(人間らしさ、不変、ふえる)					

問33* 小学校に行っているくらいの子供をそだてるのに、つぎのような意見があります。

「小さいときから、お金は人にとって、とても大切なものと教えるのがよい」

というのです。あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

61.0	12.9	23.0	0.2	2.9	⑳
1	2	3	4	5	
賛成	反対	いちがいいにはいえない	その他(記入))	わからない

問34* こういう意見があります。

「国をよくするためには、すぐれた政治家がでてきたら、国民がたがいに議論をたたかわせるよりは、その人にまかせる方がよい」

というのですが、あなたはこれに賛成ですか、それとも反対ですか。

12.0	1	賛成(まかせる)	0.2	4	その他(記入))	㉑
63.0	2	反対(まかせっきりはいけない)	6.1	5	わからない		
18.7	3	いちがいいにはいえない					

問35* あなたは、自分が正しいと思えば世のしきりに反しても、それをおし通すべきだと思いますか、それとも世間のしきりに、従った方がまちがいないと思いますか。

	19.4	26.2	52.1	0.3	3.0
08	1	2	3	4	5
	おし通せ	従え	場合による	その他(記入)	わからない

問36 こういう意見があります。
「どんなに世の中が機械化しても、人の心の豊かさ(人間らしさ)はへりはしない」というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

09	30.2	1	反対(へる)	-	4	その他(記入))
	30.9	2	いちがいいにはいえない	6.6	5	わからない	
	32.4	3	賛成(へらない)				

問37 [カード19] つぎのような考え方があります。
「家庭は、ここちよく、くつろげる、ただ1つの場所である」というのですが、あなたはそう思いますか、そうは思いませんか。

00	78.5	18.2	0.3	3.0
	1	2	3	4
	そう思う	そうは思わない	その他(記入)	わからない

問38 [カード20] つぎの3つの意見の中で、どれが一番あなたの意見に近いですか。

00	35.2	1	離婚はすべきではない		
	38.5	2	ひどい場合には、離婚してもよい		
	19.0	3	二人の合意さえあれば、いつ離婚してもよい		
	0.6	4	その他(記入))	
	6.7	5	わからない		

問39* [カード21] 家事や子供の世話について、どうお考えですか。

02	14.7	1	すべてが女性の仕事である		
	61.0	2	いくつかは女性の仕事である		
	20.9	3	すべての仕事は、男性と女性とで公平に分担すべきである		
	1.0	4	その他(記入))	
	2.4	5	わからない		

問40 「先生が何か悪いことをした」というような話を、子供が聞いてきて、親にたずねたとき、親はそれが本当であることを知っている場合、子供には、
「そんなことはない」といった方がよいと思いますか、それとも
「それはほんとうだ」といった方がよいと思いますか。

03	24.2	55.2	4.6	16.0
	1	2	3	4
	そんなことはないという	ほんとうだという	その他(記入)	わからない

問41 [カード22] 南山さんという人は、小さいときに両親に死に別れ、となりの親切な西木野さんに育てられて、大学まで卒業させてもらいました。そして、南山さんはある会社の社長にまで出世しました。ところが故郷の、育ててくれた、西木野さんが「キトクだからスグカエレ」という電報を受け取ったとき、南山さんの会社がつぶれるか、つぶれないか、ということがきまってしまう大事な会議があります。あなたはつぎのどちらの態度をとるのがよいと思いますか。よいと思う方を1つだけえらんで下さい。

- 42.7 1 なにをおいても、すぐ故郷に帰る 24
- 40.5 2 故郷のことが気になっても、大事な会議に出席する
- 1.5 3 その他(記入))
- 15.3 4 わからない

問42 [カード22] いまの質問では、恩人が死にそうなきを、うかがいましたが、もしキトクなのが恩人ではなくて、南山さんの親だったら、どうしたらよいと思いますか、どちらかえらんで下さい。

- 47.2 1 なにをおいても、すぐ故郷に帰る 29
- 39.0 2 故郷のことが気になっても、大事な会議に出席する
- 0.9 3 その他(記入))
- 12.9 4 わからない

問43 [カード23] 自然と人間との関係について、つぎのような意見があります。あなたがこのうち真実に近い(ほんとうのことに近い)と思うものを、1つだけ選んでください。

- 36.6 1 人間が幸福になるためには、自然に従わなければならない 26
- 46.4 2 人間が幸福になるためには、自然を利用しなければならない
- 6.8 3 人間が幸福になるためには、自然を征服していかなければならない
- 0.7 4 その他(記入))
- 9.5 5 わからない

問44* [カード24] あなたはつぎの意見の、どちらに賛成ですか。1つだけあげてください。

- 32.6 1 個人が幸福になって、はじめて日本全体がよくなる 27
- 22.1 2 日本がよくなって、はじめて個人が幸福になる
- 37.5 3 日本がよくなることも、個人が幸福になることも同じである
- 4 その他(記入))
- 7.8 5 わからない

問45*〔カード25〕 つぎのうち、大切なことを2つあげてくれといわれたら、どれにしますか。

		あ	り	な	し
08	a. 親孝行をすること	1	73.2	0	
09	b. 恩返しをすること	1	45.0	0	
00	c. 個人の権利を尊重すること	1	37.7	0	
01	d. 自由を尊重すること	1	36.6	0	
02	5. その他(記入)				
	6. わからない				

03~09 = b

(上の質問では、2つの項目をあげてもらうこと)

問46*〔カード26〕 つぎのうち、あなたはどちらが人間として望ましいとお考えですか。

06	62.9	1	他人と仲がよく、なにかと頼りになるが、仕事の上ではバツとしない人	
	10.3	2	仕事はよくできるが、他人の事情や心配事には無関心な人	
	4.4	3	その他(記入)	
	22.3	4	わからない	

問47*〔カード27〕 物事の「スジを通すこと」に重点をおく人と、物事を「まるくおさめること」に重点をおく人では、どちらがあなたの好きな"ひとがら"ですか。

07	36.9	1	「スジを通すこと」に重点をおく人	
	52.9	2	「まるくおさめること」に重点をおく人	
	2.5	3	その他(記入)	
	7.8	4	わからない	

問48〔カード28〕 あなたが、ある会社の社長だったとします。その会社で、新しく職員を1人採用するために試験をしました。入社試験をまかせておいた課長が、「社長のご親戚の方は2番でした。しかし、私としましては、1番の人でも、ご親戚の方でも、どちらでもよいと思いますがどうでしょうか」と社長のあなたに報告しました。あなたはどちらをとれ(採用しろ)といえますか。

08	62.1	1	1番の人を採用するようという	
	21.8	2	親戚を採用するようという	
	1.4	3	その他(記入)	
	14.7	4	わからない	

問49*〔カード29〕 それでは、この場合2番になったのがあなたの親戚の子供でなくて、あなたの恩人の子供だったとしたら、あなたはどうしますか。(どちらをとれといえますか)

09	43.4	1	1番の人を採用するようという	
	40.2	2	恩人の子供を採用するようという	
	1.4	3	その他(記入)	
	15.0	4	わからない	

問50 [カード30] ある会社につきのような2人の課長がいます。もしあなたが使われるとしたら、どちらの課長に使われる方がよいと思いますか。どちらか1つあげて下さい。

- 10.7 1 規則をまげてまで、無理な仕事をさせることはありませんが、仕事以外のことで人のめんどろを見ません 40
 77.8 2 時には規則をまげて、無理な仕事をさせることもあります。仕事のこと以外でも人のめんどろをよく見ます
 0.6 3 その他(記入))
 10.9 4 わからない

問51* たいていの方は、他人の役にたとうとしていると思いますか、それとも自分のことだけに気をくばっていると思いますか。

- 29.4 1 他人の役にたとうとしている 40
 56.5 2 自分のことだけに気をくばっている
 1.1 3 その他(記入))
 13.0 4 わからない

問52* 他人は、スキがあれば、あなたを利用しようとしていると思いますか、それともそんなことはないと思いますか。

- 28.1 1 利用しようとしていると思う 42
 56.0 2 そんなことはないと思う
 0.7 3 その他(記入))
 15.1 4 わからない

問53* たいていの方は信頼できると思いますか、それとも、用心するにこしたことはないと思いますか。

- | | | | | | |
|----------|------|------------------|---------|------|-------|
| | 34.2 | 57.4 | 1.8 | 10.6 | |
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 43 |
| 信頼できると思う | | 用心するにこしたことはないと思う | その他(記入) |) | わからない |

問54 [カード31] 次のような意見がいくつかあります。ご自分の立場や個人的な感情を考えて、「賛成」「やや賛成」「やや反対」「反対」のいずれかで答えて下さい。

a. まず、「たいていの方は、他人を助けるために多少の努力をすることができる」というのですが、あなたのお考えに近いのはどれですか。

(以下同様にb~eを聞く)

- | | 賛成 | やや賛成 | やや反対 | 反対 | その他 | わからない | |
|---|--------|--------|--------|--------|-------|--------|----|
| a. たいていの方は、他人を助けるために多少の努力をすることができる | 1 46.6 | 2 42.1 | 3 3.5 | 4 0.5 | 5 0.4 | 6 5.9 | 44 |
| b. 結びつきが強い地域社会に自分が属していると思う | 1 22.5 | 2 45.3 | 3 14.8 | 4 6.2 | 5 0.5 | 6 10.1 | 49 |
| c. 今日、人は明日のことを心配しないでその日の日を生きざるを得ない | 1 13.9 | 2 27.4 | 3 29.6 | 4 20.1 | 5 0.2 | 6 8.8 | 48 |
| d. 収入を得るための手段の方が、得られる収入よりも大切である | 1 20.6 | 2 30.1 | 3 20.3 | 4 12.4 | 5 0.5 | 6 16.2 | 47 |
| e. 現代は、自分も含めて、人々は孤独で他人から切り離されていると感じることが多い | 1 8.7 | 2 32.8 | 3 30.3 | 4 18.5 | 5 0.6 | 6 9.1 | 48 |

問55 [カード32] 科学上の発見とその利用は、あなたの日常生活の改善に役だっていると思いますか。

- 49 47.8 1 役だっている 0.1 4 その他(記入))
 39.7 2 少しは役だっている 6.5 5 わからない
 5.9 3 役だっていない

問56 [カード33] コンピュータがいろいろなところに使われるようになり、情報化社会などということが言われています。このような傾向が進むにつれて、日常生活の上で変わっていく面があると思います。あなたは、このような変化をどう思いますか。

- 60 31.5 1 望ましいことである
 50.4 2 望ましいことではないが、避けられないことである
 8.1 3 困ったことであり、危険なことでもある
 0.6 4 その他(記入))
 9.4 5 わからない

問57 [カード34] つぎに読み挙げる事柄についてあなたはどう思いますか。

それぞれについて、この中からお答えください。(a～cについてそれぞれ聞く)

a 病気の中には近代医学とは別の方法で治療したほうがよいものもある。

- 61 21.7 1 全くそのとおりだと思う 6.0 4 決してそうは思わない
 47.7 2 そう思う 0.2 5 その他(記入))
 18.1 3 そうは思わない 6.3 6 わからない

b. 科学技術が発展すれば、いつかは人間の心の中までも解明できる。

- 62 2.6 1 全くそのとおりだと思う 25.8 4 決してそうは思わない
 11.3 2 そう思う - 5 その他(記入))
 52.9 3 そうは思わない 7.9 6 わからない

c. 今日我々が直面している経済的、社会的問題のほとんどは科学技術の進歩により解決される。

- 63 2.4 1 全くそのとおりだと思う 18.3 4 決してそうは思わない
 11.7 2 そう思う - 5 その他(記入))
 57.6 3 そうは思わない 10.0 6 わからない

問58 [カード35] つぎに挙げることは今後25年の間に実現すると思いますか。

それぞれについてこの中からお答えください。

- | | | 多分実現する | 実現する可能性は低い | 実現しない | その他 | わからない |
|----|------------------------------------|--------|------------|-------|------|-------|
| 64 | a. まず、「原子力廃棄物の安全な処理方法」についてはどうですか。 | 133.2 | 236.8 | 314.4 | 40.1 | 515.9 |
| 65 | b. 「ガンの治療方法の解明」についてはどうですか。 | 169.8 | 223.6 | 34.9 | 40.2 | 56.5 |
| 66 | c. 「老人性痴呆症(ぼけ)の治療方法の解明」についてはどうですか。 | 126.5 | 245.4 | 316.9 | 40.2 | 511.0 |
| 67 | d. 「宇宙ステーションでの生活」についてはどうですか。 | 120.6 | 233.5 | 329.5 | 40.3 | 516.0 |

問59 [カード36] エネルギーの節約について話題になることがしばしばあります。
あなたご自身は、このことは重要な問題だと思いますか。

- | | | | | | | | |
|------|---|-----------|-----|---|---------|---|----|
| 39.0 | 1 | 非常に重要である | 1.2 | 4 | 重要ではない |) | 58 |
| 50.7 | 2 | 重要である | 0.1 | 5 | その他(記入) | | |
| 4.8 | 3 | あまり重要ではない | 4.1 | 6 | わからない | | |

問60 [カード36] 環境の保護は、あなたにとってどのくらい重要な問題ですか。

- | | | | | | | | |
|------|---|-----------|-----|---|---------|---|----|
| 44.1 | 1 | 非常に重要である | 0.3 | 4 | 重要ではない |) | 59 |
| 47.8 | 2 | 重要である | 0 | 5 | その他(記入) | | |
| 4.8 | 3 | あまり重要ではない | 3.0 | 6 | わからない | | |

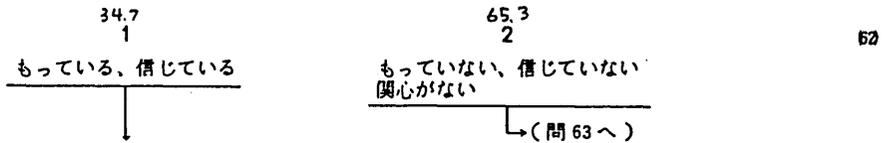
問61 日本文化ときいて、まず思い浮かべることは何ですか。

(記入)	40.8 9 わからない	60
------	--------------------	----

問61b そのほかいくつでもあげて下さい。
何かそのほかにありますか。

(記入)	65.7 9 わからない	61
------	--------------------	----

問62 宗教についておききたいのですが、たとえば、あなたは、何か信仰とか信心とかを持っていますか。



問62b (問62で「1 もっている、信じている」と回答した人に)

それは何という宗教ですか。

- | | | | | |
|------|---|------------|---|----|
| 26.2 | 1 | 仏教系(記入) |) | 63 |
| 1.5 | 2 | 神道系(記入) |) | |
| 1.7 | 3 | キリスト教(記入) |) | |
| 3.5 | 4 | その他の宗教(記入) |) | |
| 1.9 | 5 | わからない |) | |

問63 それでは、いままでの宗教にはかかわりなく、「宗教的な心」というものを、大切だと思いますか、それとも大切だとは思いませんか。

	76.6	10.4	0.6	12.4
64	1	2	3	4
	大切	大切でない	その他(記入)	わからない

問64* 宗教について、こんな意見があります。

「宗教にはいろいろあり、それぞれ立場が違うが、けっきょくは、一つのことを説いている」というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

	62.4	14.3	0.3	23.0
69	1	2	3	4
	賛成	反対	その他(記入)	わからない

問65 [カード37] 政治の立場を明らかにするに当たって、世間ではよく「左(革新)」とか「右(保守)」とかいいますが、あなたはいかがですか。

この目盛りを使ってあなたの政治に対する考え方をお知らせ下さい。

	左(革新)										右(保守)		その他	わからない
	----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- -----													
66/67	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
			4.9	5.3	27.9	14.8	8.6	11.7	2.6	4.7				

問66 [カード38] あなたは政治に関心がありますか。

68	11.6	1	非常に関心がある	6.4	4	全く関心がない
	43.0	2	まあ関心がある	-	5	その他(記入)
	37.3	3	あまり関心がない	1.8	6	わからない

問67a [カード39] あなたは「民主主義」について、どう思いますか。このうち、あなたの意見に一番近いのはどれですか。

69	50.9	1	よい	0.1	4	その他(記入)
	39.0	2	時と場合による	8.9	5	わからない
	1.0	3	よくない			

b [カード39] では、「資本主義」についてはどうですか。

70	26.6	1	よい	-	4	その他(記入)
	48.6	2	時と場合による	14.6	5	わからない
	10.2	3	よくない			

c [カード39] では、「社会主義」についてはどうですか。

71	5.6	1	よい	0.1	4	その他(記入)
	55.7	2	時と場合による	17.3	5	わからない
	21.3	3	よくない			

- d [カード39] では、「自由主義」についてはどうですか。
- | | | | | | | | | |
|------|---|---------|---|------|---|---------|---|----|
| 36.8 | 1 | よ | い | - | 4 | その他(記入) |) | 72 |
| 45.9 | 2 | 時と場合による | | 11.9 | 5 | わからない | | |
| 5.4 | 3 | よくない | | | | | | |

- e [カード39] では、「保守主義」についてはどうですか。
- | | | | | | | | | |
|------|---|---------|---|------|---|---------|---|----|
| 11.6 | 1 | よ | い | 0.3 | 4 | その他(記入) |) | 73 |
| 53.8 | 2 | 時と場合による | | 20.1 | 5 | わからない | | |
| 14.3 | 3 | よくない | | | | | | |

- 問68 [カード40] 日本の民主政治の運営のしかたについてはどうですか。
- | | | | | | | | | |
|------|---|------------|--|------|---|---------|---|----|
| 1.5 | 1 | 非常に満足 | | 3.6 | 4 | 全く不満 | | 74 |
| 29.3 | 2 | かなり満足 | | 0.2 | 5 | その他(記入) |) | |
| 50.6 | 3 | あまり満足していない | | 14.7 | 6 | わからない | | |

- 問69 [カード41] 現在の日本で、裁判制度はよく機能していると思いますか。
- | | | | | | | | | |
|------|---|--------------|--|------|---|-------------|---|----|
| 6.0 | 1 | 非常によく機能している | | 2.2 | 4 | 全然よく機能していない | | 75 |
| 41.7 | 2 | かなりよく機能している | | 0.2 | 5 | その他(記入) |) | |
| 24.7 | 3 | あまりよく機能していない | | 25.3 | 6 | わからない | | |

- 問70 [カード42] 労働者と経営者の関係について、次のような二つの意見があります。

甲の意見 「労働者と経営者の利害は、全くあい反しているから、労働者と経営者はあくまで戦わなければならない」

乙の意見 「会社がかれば労働者の賃金も上がるというように、労働者と経営者の利害は結局において一致するのだから労働者と経営者は協力しなければならない」

あなたは、このどちらの意見に賛成ですか。

- | | | | | |
|----------------|-----------------|---------|------|-------|
| 7.3 | 79.8 | 0.6 | 12.3 | |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 76 |
| 甲に賛成
(戦うべき) | 乙に賛成
(協力すべき) | その他(記入) |) | わからない |

- 問71* [カード43] 社会について、つぎの3つの考えのうち、どれがあなたの考え方に1番近いでしょうか。

- | | | | | | | |
|------|---|---------------------------|---|--|--|----|
| 0.9 | 1 | 今の社会の構造は、革命によって一挙に変えるべきだ | | | | 77 |
| 93.3 | 2 | 今の社会の悪いところは、少しずつよくしてゆくべきだ | | | | |
| 5.1 | 3 | 今の社会の体制を、あくまで守り通すべきだ | | | | |
| - | 4 | その他(記入) |) | | | |
| 10.7 | 5 | わからない | | | | |

問72 日本の社会は、根本的な改革を必要としていると思いますか。

79	29.7 1	49.2 2	1.0 3	21.1 4
	思う	思わない	その他(記入)	わからない

↓ (問73へ)

問72b (思うと回答した人に)
〔カード44〕では、その改革は漸進的な改革がよいでしょうか、それとも急激な改革がよいでしょうか。

79=b 80=2 (カード2) <1>~<7>=1D <8>~<14>=b	27.3 1 漸進的な改革 がよい	1.2 2 急激な改革 がよい	0.1 3 その他(記入)	1.1 4 わからない
--	----------------------------	--------------------------	----------------------	-------------------

問73* しいていえば、あなたのお考えに近い政党はどれですか。

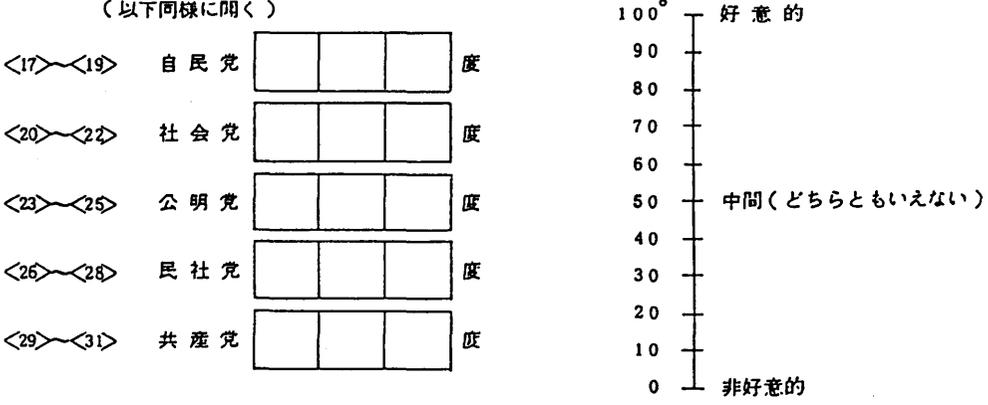
<15>	40.9	1 自 民 党	1.7	5 共 産 党	32.2	8 支持政党なし
	9.4	2 社 会 党	0.6	6 社 民 連	8.2	9 わからな
	4.2	3 公 明 党	0.1	7 その他の政党		
	2.8	4 民 社 党		(記 入)		

↓ (問75へ)

問74 (政党をあげたなら)あなたのお考えはその政党にどの程度近いでしょうか。
「非常に近い」「かなり近い」「非常に近いとはいえない」の三段階のうちどれにあたりますか。

<16>	5.4	1 非常に近い	0.3	4 その他(記入)
	26.9	2 かなり近い	3.9	5 わからな
	23.1	3 非常に近いとはいえない		

問75 [カード45] 政党についてお伺いします。もし好意も反感も持たない時には50度としてください。もし好意的な気持ちがあれば、その強さに応じて50度から100度のどこかを指してください。また、もし好意を感じていなければ、やはりその強さに応じて0度から50度のどこかを指してください。1番目は自民党です。自民党についてはどうですか。
(以下同様に開く)



<フェース・シート>

ご意見をおうかがいするのはこれで終わりですが、この結果を統計的に分析するために、あなたご自身やご家族のことについて少しおたずねします。

<32>~<35>=b

F 1	〔性別〕	45.3	54.7	
		1	2	<36>
		男	女	

F 2	〔年齢〕	あなたのお年は満でいくつですか。			記入	<input type="text"/>	歳	<37><38>
	1	18~19歳	5	35~39歳	9	55~59歳		<39><40>
	2	20~24歳	6	40~44歳	10	60~64歳		
	3	25~29歳	7	45~49歳	11	65~69歳		
	4	30~34歳	8	50~54歳	12	70歳以上		

F 3	〔学歴〕	〔カード46〕あなたが最後に卒業された学校はどちらですか。 (中途・在学中は卒業とみなす)					
		3.2	25.0	50.2	20.6	0.9	<41>
	1	2	3	4	5		
	小卒	旧高小・新中卒	旧中・新高卒	旧高専・大・新大卒	不明		

F 4 〔本人職業〕 あなたのご職業は何ですか。
(具体的に記入して下の該当する項目に○をつける)

<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>自営者</p> <table border="0"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr> <tr><td>農</td><td>商</td><td>自</td></tr> <tr><td>林</td><td>工</td><td>由</td></tr> <tr><td>漁</td><td>サ</td><td>業</td></tr> <tr><td>業</td><td>ー</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>ビス</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>ス</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>業</td><td></td></tr> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>被傭者</p> <table border="0"> <tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><td>管</td><td>専</td><td>事</td><td>労</td></tr> <tr><td>理</td><td>門</td><td>務</td><td>務</td></tr> <tr><td>職</td><td>・</td><td>務</td><td>務</td></tr> <tr><td></td><td>技</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>術</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>職</td><td>職</td><td>職</td></tr> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>家族従業者</p> <table border="0"> <tr><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr> <tr><td>農</td><td>商</td><td>自</td></tr> <tr><td>林</td><td>工</td><td>由</td></tr> <tr><td>漁</td><td>サ</td><td>業</td></tr> <tr><td>業</td><td>ー</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>ビス</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>ス</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>業</td><td></td></tr> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>無職</p> <table border="0"> <tr><td>11</td><td>12</td><td>13</td></tr> <tr><td>無</td><td>学</td><td>そ</td></tr> <tr><td>職</td><td>の</td><td>の</td></tr> <tr><td>の</td><td>主</td><td>他</td></tr> <tr><td>主</td><td>婦</td><td>の</td></tr> <tr><td>婦</td><td>生</td><td>無</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>職</td></tr> </table> </div> </div>													1	2	3	農	商	自	林	工	由	漁	サ	業	業	ー			ビス			ス			業		4	5	6	7	管	専	事	労	理	門	務	務	職	・	務	務		技				術				職	職	職	8	9	10	農	商	自	林	工	由	漁	サ	業	業	ー			ビス			ス			業		11	12	13	無	学	そ	職	の	の	の	主	他	主	婦	の	婦	生	無			職
1	2	3																																																																																																											
農	商	自																																																																																																											
林	工	由																																																																																																											
漁	サ	業																																																																																																											
業	ー																																																																																																												
	ビス																																																																																																												
	ス																																																																																																												
	業																																																																																																												
4	5	6	7																																																																																																										
管	専	事	労																																																																																																										
理	門	務	務																																																																																																										
職	・	務	務																																																																																																										
	技																																																																																																												
	術																																																																																																												
	職	職	職																																																																																																										
8	9	10																																																																																																											
農	商	自																																																																																																											
林	工	由																																																																																																											
漁	サ	業																																																																																																											
業	ー																																																																																																												
	ビス																																																																																																												
	ス																																																																																																												
	業																																																																																																												
11	12	13																																																																																																											
無	学	そ																																																																																																											
職	の	の																																																																																																											
の	主	他																																																																																																											
主	婦	の																																																																																																											
婦	生	無																																																																																																											
		職																																																																																																											

F 4 a	〔労働組合加入〕	(F 4で被傭者に)あなたは、現在、労働組合に入っていますか。		
		13.3	26.2	<44>
		1	2	
		入っている	入っていない	

F 5	〔家族人数〕	ご家族は、あなたも含めて、何人ですか。(使用人は含めない)							
		3.9	13.3	18.7	29.5	16.8	11.2	6.6	<45>
		1	2	3	4	5	6	7	
		1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	

F 6 【世帯構成】 【カード47】 お宅のご家族は、このように分類した場合どれにあたりますか。

<46>	3.9	1	1人世帯	24.1	4	3世代世帯(親と子と孫)
	10.7	2	1世代世帯(夫婦だけ)	0.6	5	その他の世帯(祖父母と孫)
	60.2	3	2世代世帯(親と子)	0.5	6	その他の世帯()

F 7 【世帯内の地位】 あなたと世帯主との関係をお聞きしたいのですが……。主としてお宅の生活を支えていらっしゃるのはあなたですか、ほかのかたですか。

<47>	39.6	1	対象者本人(実質上の世帯主)	60.4	2	対象者本人以外
			↓ (F9へ)			↓

F 8 【世帯主職業】 (主として)お宅の家計を支えている方のご職業は何ですか。(具体的に記入して下の該当する項目に○をつける)

<48>	自 営 者			被 傭 者				
	1 ^{6.4}	2 ^{9.6}	3 ^{0.9}	4 ^{5.3}	5 ^{1.5}	6 ^{15.7}	7 ^{17.5}	8 ^{3.4}
	農	商	自	管	専	事	勞	無
	林	工		理	門			
	漁	サ	由	職	・	務	務	
	業	ー	業	職	技	職	職	職
		ビ			術			
		ス			職			
		業			職			

F 9 【家事担当者】 家計のきりもりをしているのはあなたですか、ほかのかたですか。

<49>	45.5	1	対象者本人(家事担当者)	54.5	2	対象者本人以外
------	------	---	--------------	------	---	---------

F 10 【本人収入】 【カード48】 あなたご自身の収入は、去年1年間で、およそどれくらいになりましたか。この中ではどうでしょうか。ボーナスも含め、税込みでお答え下さい。

<50>	24.9	1	200万円未満	1.2	6	1,000万円～1,500万円未満
	21.5	2	200万円～400万円未満	0.4	7	1,500万円～2,000万円未満
	12.9	3	400万円～600万円未満	0.3	8	2,000万円以上
	4.2	4	600万円～800万円未満	24.6	9	収入なし
	2.5	5	800万円～1,000万円未満	7.6	10	わからない

F 11 【世帯収入】 【カード49】 では、お宅の収入は、ご家族全部あわせて、去年1年間でおよそどれくらいになりましたか。この中ではどうでしょうか。ボーナスも含め、税込みでお答え下さい。

6.2	1	200万円未満	3.4	6	1,000万円～1,500万円未満	<51>
18.7	2	200万円～400万円未満	1.6	7	1,500万円～2,000万円未満	
24.7	3	400万円～600万円未満	0.5	8	2,000万円以上	
14.3	4	600万円～800万円未満	21.2	9	わからない	
9.4	5	800万円～1,000万円未満				

F 12 【住宅の所有形態】 【カード50】 お住まいはどのように分けると、どれにあたりますか。

76.8	1	持ち家				<52>
2.9	2	都道府県・市区町村営の賃貸住宅				
2.3	3	住宅・都市整備公団・供給公社等の賃貸住宅				
13.1	4	民営の借家または賃貸アパート				
3.4	5	給与住宅(社宅・公務員住宅など)				
0.7	6	住宅に間借り				
0.5	7	会社等の独身寮・寄宿舎				
0.3	8	その他				

F 13 【乗用車所有】 お宅では自家用乗用車をお持ちですか。

79.0	1	持っている	21.0	2	持っていない	<53>
------	---	-------	------	---	--------	------

(どうも長い間ありがとうございました。)

【調査員記入欄】

F 14 全般的な、調査に対する回答者の態度：

44.0	1	興味深げで、協力的	7.1	3	落ち着かず、いらいらしている様子	<54>
47.4	2	協力的だが、とくに興味はなさそう	1.6	4	非協力的	

F 15 全体として、回答者は、質問の内容がわかったようであったか。

39.3	1	よくわかっているようだ	0.5	4	その他	<55>
43.8	2	大体のところはわかっているようだ			(記入)	
14.8	3	あまりよくわかっていないようだ	1.6	5	わからない	

<56>～<79>=b

<80>=3

(カード3)

付録3 各質問項目のニックネームと履歴一覧

3.1 国際比較調査

	その他自由記述の有無 (自由記述有りを示すカテゴリ番号) (*は調査終了後加わったカテゴリ)						
	F R G	France	UK	U S A	Japan	Italy	Holland
1987ヨーロッパ(独, 仏, 英) 1988日米調査項目							
1-#7.30B 国の生活水準10年の変化 Standard of living in country 10 years ago					6		
2-#7.30A あなたの生活水準10年の変化 Your standard of living 10 years ago					6		
3-#7.31 今後の生活水準 Living conditions in future					6		
4-#7.18E 幸福になるか Happiness in future				4	4	8	
5-#7.18B 心の安らかさはますか Peace of mind	4	4	4	4	4	8	4
6-#7.18C 人間の自由はふえるか Freedom				4	4	8	
7-#7.18 人間の健康の面はよくなるか People's health				4	4	8	
8-#8.80 国家目標 The country's goal	5	5	5	5	5		
9-#2.30 不安感-重い病気 Extent of worry: serious illness					5		
9-#2.30D 不安感-交通事故 Extent of worry: car accident					5		
9-#2.30E 不安感-失業 Extent of worry: unemployment					5		
9-#2.30F 不安感-戦争 Extent of worry: war					5		
9-#2.30G 不安感-原子力施設の事故 Extent of worry: nuclear power accident					5		
10-#7.80A 家計の節約-医療 Household expenses: health care					8		
10-#7.80B 家計の節約-車 Household expenses: motoring costs					8		
10-#7.80C 家計の節約-家庭用品 Household expenses: home appliances					8		
10-#7.80D 家計の節約-食料品 Household expenses: food					8		
10-#7.80E 家計の節約-美容 Household expenses: beauty care					8		
10-#7.80F 家計の節約-バカンス、休暇 Household expenses: vacation and leisure					8		
10-#7.80G 家計の節約-衣服 Household expenses: clothes					8		
10-#7.80H 家計の節約-住居 Household expenses: housing					8		
10-#7.80I 家計の節約-子供の養育 Household expenses: expenses for children					8		
10-#7.80J 家計の節約-タバコ、アルコール Household expenses: smoking or drinking					8		
11-#4.11 先祖を尊ぶか Respect for ancestors	4	4	4	4	4	8	4
12-#4.10 他人の子供を養子にするか Adopt a child	4	4	*5 4	*5 4	4	8	4
13-#4.80 望ましい子供の数 Ideal number of children				11dehart 8			
14-#2.80A 病気-頭痛、偏頭痛 Health problems: headaches, migraines					8		
14-#2.80B 病気-背中の痛み Health problems: backaches					8		
14-#2.80C 病気-神経の興奮 Health problems: nervousness					8		
14-#2.80D 病気-鬱病 Health problems: depression					8		
14-#2.80E 病気-不眠症 Health problems: insomnia					8		
15-#2.3G 健康状態満足か Satisfaction with health					5		
16-#1.8 社会的階層 Living class					6		
17-#7.81 収入か余暇か Choose money or free time					3		
18-#2.8 一生働くか If had enough money, still work?	3	3	*4 3	*4.5 3	3	8	3
19-#7.25 お金と仕事 Life without work					3		
20-#7.24 就職の第1の条件 Most important aspect of job				5	5	8	
21-#2.81 仕事と個人生活 Work conflicts with private life					3		
22-#2.4 暮らし方 Attitudes towards life	7	7	7	7	7	8	7
23-#2.3F 生活環境満足か Quality of life in the area where you live					5		

リストの有無 (リスト番号)							
	F R G	France	U K	U S A	Japan	Italy	Holland
1-#7.30B					1		
2-#7.30A					1		
3-#7.31		3			2		
4-#7.18E							
5-#7.18B							
6-#7.18C							
7-#7.18							
8-#8.80	1	8	A	8	3	DOM. 8	1. VAK A
9-#2.30	2	9	B	9	4	DOM. 9	1. VAK B
9-#2.30D	2	9	B	9	4	DOM. 9	
9-#2.30E	2	9	B	9	4	DOM. 9	
9-#2.30F	2	9	B	9	4	DOM. 9	
9-#2.30G	2	9	B	9	4	DOM. 9	
10-#7.80A					5		
10-#7.80B					5		
10-#7.80C					5		
10-#7.80D					5		
10-#7.80E					5		
10-#7.80F					5		
10-#7.80G					5		
10-#7.80H					5		
10-#7.80I					5		
10-#7.80J					5		
11-#4.11							
12-#4.10							
13-#4.80							
14-#2.80A					6		
14-#2.80B					6		
14-#2.80C					6		
14-#2.80D					6		
14-#2.80E					6		
15-#2.3G					7		
16-#1.8	3	16	C	16	8	DOM. 16	2. VAK A
17-#7.81					9		
18-#2.8							
19-#7.25	4	19	D	19	10	DOM. 19	2. VAK B
20-#7.24	5	20	E	20	11	DOM. 20	3. VAK A
21-#2.81							
22-#2.4	6	22	F	22	12	DOM. 22	3. VAK B
23-#2.3F			G		13		4. VAK A

		その他自由記述の有無 (自由記述有りを示すカテゴリー番号) (*は調査終了後加わったカテゴリー)						
1987ヨーロッパ(独, 仏, 英) 1988日米調査項目		FRG	France	UK	USA	Japan	Italy	Holland
24-#5. 80A	近所の治安-強盗にはいられること Safety in neighborhood: burglary					5		
24-#5. 80B	近所の治安-急に襲われて身の危険を感じること Personal safety					5		
25-#7. 82	アリとキリギリス The idle grasshopper and diligent ant	3	3	3	3	3	8	3
26-#2. 7A	一番大切なもの The most important thing in life							
26-#2. 7B	その他 非常に大切なもの Other important things							
27-#5. 81A	生活領域の重要性-あなた自身の家族と子供 Importance: immediate family and children					8		
27-#5. 81B	生活領域の重要性-職業や仕事 Importance: career and work					8		
27-#5. 81C	生活領域の重要性-自由になる時間とくつろぎ Importance: free time and relaxation					8		
27-#5. 81D	生活領域の重要性-友人、知人 Importance: friends					8		
27-#5. 81E	生活領域の重要性-両親、兄弟、姉妹、親戚 Importance: parents and other relative					8		
27-#5. 81F	生活領域の重要性-宗教 Importance: religion and church					8		
27-#5. 81G	生活領域の重要性-政治、公的生活 Importance: politics					8		
28-#2. 3C	家庭に満足か Satisfaction with family life				6	6		
29-#2. 82	生活に満足か Satisfaction with life				6	6		
29-2-#2. 82B	仕事(家事・学業)に満足か Satisfaction with job(housework, study)							
29-3-#2. 82C	余暇の過ごし方について満足か Satisfaction with pastime							
30-#7. 19	才能か運か Success: ability or luck	3	3	3	*4 3	3	8	4
31-#4. 81	生活保護の考え方 Attitude towards governmental assistance	3	3	3	*4 3	3	8	4
32-#7. 1	人間らしさはへるか Science and loss of human feeling				4	4	8	
33-#4. 5	子供に「金は大切」と教えるか Teaching children money is important	4	4	4	4	4	8	
34-#8. 1B	政治家にまかせるか Leave it up to political leaders				4	4	8	
35-#2. 1	しきりに従うか Custom versus conscience	4	4	4	4	4	8	4
36-#7. 2	心の豊かさへらないか Mechanization and human feeling				4	4	8	
37-#4. 30	家庭はくつろぐ場所 Home is relaxing place	3	3	3	3	3	8	3
38-#4. 32	離婚すべきではないか Marriage is permanent					4		
39-#4. 31	家事や子供の世話 Housework and child care	4	4	4		4		4
40-#4. 4	先生が悪い事をした Rumor about teacher	3	3	*4, 5, 6 3	*4 3	3	8	3
41-#5. 1	恩人がキトクするとき Benefactor on death-bed	3	3	3	*4 3	3	8	3
42-#5. 1B	親がキトクするとき Real father on death-bed	3	3	3	*4 3	3	8	3
43-#2. 5	自然と人間との関係 Man and nature	4	4	4	4	4	8	4
44-#7. 4	国と個人の幸福 Improve the country or make people happy				4	4	8	
45-#5. 1D	大切な道徳-親孝行をすること Important things: filial piety							
45-#5. 1D	大切な道徳-恩返しをすること Important things: repaying obligations							
45-#5. 1D	大切な道徳-個人の権利を尊重すること Important things: respect for individual rights							
45-#5. 1D	大切な道徳-自由を尊重すること Important things: respect for individual freedom							
45-#5. 1D	大切な道徳-その他(記入) Important things: other	1	1	1	1	1	1	1
45-#5. 1D	大切な道徳-D.K. Important things: D.K.							
46-#5. 6H	他人との仲か仕事か Desirable person: efficient versus friendly				3	3		
47-#2. 2B	スジがまるるか Consensus versus own principle				3	3	8	
48-#5. 1C1	入社試験(親戚) Employment examination: relative	3	3	3	3	3	8	3

リストの有無 (リスト番号)							
	F R G	France	U K	U S A	Japan	Italy	Holland
24-#5. 80A	7	24	H	24	14	DOM. 24	4. VAK B
24-#5. 80B	7	24	H	24	14	DOM. 24	4. VAK B
25-#7. 82	8	25	I	25	15	DOM. 25	5. VAK A
26-#2. 7A							
26-#2. 7B							
27-#5. 81A	9	27	J	27	16	DOM. 27	6
27-#5. 81B	9	27	J	27	16	DOM. 27	6
27-#5. 81C	9	27	J	27	16	DOM. 27	6
27-#5. 81D	9	27	J	27	16	DOM. 27	6
27-#5. 81E	9	27	J	27	16	DOM. 27	6
27-#5. 81F	9	27	J	27	16	DOM. 27	6
27-#5. 81G	9	27	J	27	16	DOM. 27	6
28-#2. 3C	10	28	K	28	17	DOM. 28-29	5. VAK B
29-#2. 82	10	29	K	28	17	DOM. 28-29	5. VAK B
29-2-#2. 82B							5. VAK B
29-3-#2. 82C							5. VAK B
30-#7. 19							
31-#4. 81			L	31	18	DOM. 31	7. VAK A
32-#7. 1							
33-#4. 5							
34-#8. 1B							
35-#2. 1							
36-#7. 2							
37-#4. 30					19		
38-#4. 32	11	38	M	38	20	DOM. 38	7. VAK B
39-#4. 31	12	39	N	39	21	DOM. 39	8. VAK A
40-#4. 4							
41-#5. 1	13	41	O	41	22	DOM. 41	8. VAK B
42-#5. 1B	14	42	O	42	22	DOM. 42	8. VAK B
43-#2. 5	15	43	P	43	23	DOM. 43	9. VAK A
44-#7. 4	16	44	Q	44	24	DOM. 44	9. VAK B
45-#5. 1D	17	45	R	45	25	DOM. 45	10. VAK A
45-#5. 1D	17	45	R	45	25	DOM. 45	10. VAK A
45-#5. 1D	17	45	R	45	25	DOM. 45	10. VAK A
45-#5. 1D	17	45	R	45	25	DOM. 45	10. VAK A
45-#5. 1D	17	45	R	45	25	DOM. 45	10. VAK A
45-#5. 1D	17	45	R	45	25	DOM. 45	10. VAK A
46-#5. 6H	18	46	S	46	26	DOM. 46	10. VAK B
47-#2. 2B	19	47	T	47	27	DOM. 47	11. VAK A
48-#5. 1C1	20	48	U	48	28	DOM. 48	11. VAK B

1987ヨーロッパ(独, 仏, 英) 1988日米調査項目		その他自由記述の有無 (自由記述有りを示すカテゴリー番号) (*は調査終了後加わったカテゴリー)										
		F	R	G	France	U	K	U	S	A	Japan	Italy
49-#5. 1C2	入社試験(恩人の子) Employment examination: son of benefactor	3			3			3		3	8	3
50-#5. 6	めんどうをみる課長 Type of boss preferred							3		3	8	3
51-#2. 12	他人のためか自分のためか Are people helpful most of the time	3			3			3		3	8	3
52-#2. 12B	スキがあれば利用されるか Are most people fair	3			3			3		3	8	3
53-#2. 12C	人は信頼できるか Are most people trustworthy	3			3			3		3	8	3
54-#2. 83A	現代生活の個人態度-他人を助ける Life: most people are helpful									5		
54-#2. 83B	現代生活の個人態度-共同体 Life: part of community									5		
54-#2. 83C	現代生活の個人態度-その日その日 Life: people live for today									5		
54-#2. 83D	現代生活の個人態度-収入より手段 Life: way of earning money is more important than amount									5		
54-#2. 83E	現代生活の個人態度-孤独感 Life: people often feel lonely									5		
55-#7. 36	科学上の発見・利用は生活に役立つか Improvement of everyday life through science									4		
56-#7. 33	コンピュータ社会は望ましいか Computers change our lives									4		
57-#7. 83	科学技術-病気の治療 Some illness treated by methods other than modern medicine									5		
57-#7. 84	科学技術-人間の心の解明 Science permits understanding of the human mind									5		
57-#7. 85	科学技術-経済的・社会的問題の解決 Resolution of social and economic problems through science									5		
58-#7. 86A	今後の25年-原子力廃棄物の安全な処理方法 The next 25 years: safe method for nuclear waste disposal									4		
58-#7. 86B	今後の25年-ガンの治療方法の解明 The next 25 years: cure for cancer									4		
58-#7. 86C	今後の25年-老人性痴呆症の治療方法の解明 The next 25 years: cure for senility									4		
58-#7. 86D	今後の25年-宇宙ステーションでの生活 The next 25 years: living in space stations									4		
58-#7. 86E	今後の25年-AIDSの治療法 The next 25 years: cure for AIDS									5		
59-#7. 34	省エネルギーは重要か Energy conservation									5		
60-#7. 35	環境の保護は重要か Environmental preservation									5		
61-#9. 80	文化(各国の文化) Culture											
61-1-#4. 91A	子供-礼儀 Child education: manner											
61-1-#4. 91B	子供-努力 Child education: effort											
61-1-#4. 91C	子供-正直 Child education: honesty											
61-1-#4. 91D	子供-清潔 Child education: clean											
61-1-#4. 91E	子供-良識 Child education: conscience											
61-1-#4. 91F	子供-自制心 Child education: self-control											
61-1-#4. 91G	子供-男の子らしく、女の子らしく Child education: boy-like, girl-like											
61-1-#4. 91H	子供-仲良く Child education: cooperation											
61-1-#4. 91I	子供-いうことをきく Child education: obedience											
61-1-#4. 91J	子供-責任感 Child education: responsibility											
61-1-#4. 91K	子供-思いやり Child education: kindness											
61-1-#4. 91L	子供-理由に関心 Child education: reason											
61-1-#4. 91M	子供-良い生徒 Child education: good student											
61-1-#4. 91N	分からない D. K.											
61-2-#2. 91A	人生の意味-自分で見出す Meaning of life: self-exploration											
61-2-#2. 91B	人生の意味-意味がない Meaning of life: meaningless											
61-2-#2. 91C	人生の意味-明確な意味 Meaning of life: definite meaning											

リストの有無 (リスト番号)							
	F R G	France	U K	U S A	Japan	Italy	Holland
49-#5. 1C2	21	49	V	49	29	DOM. 49	12, VAK A
50-#5. 6	22	50	W	50	30	DOM. 50	12, VAK B
51-#2. 12							
52-#2. 12B							
53-#2. 12C							
54-#2. 83A	23	54	X	54	31	DOM. 54 -57	13, VAK A
54-#2. 83B	23	54	X	54	31	DOM. 54 -57	13, VAK A
54-#2. 83C	23	54	X	54	31	DOM. 54 -57	13, VAK A
54-#2. 83D	23	54	X	54	31	DOM. 54 -57	13, VAK A
54-#2. 83E	23	54	X	54	31	DOM. 54 -57	13, VAK A
55-#7. 36					32	DOM. 54 -57	
56-#7. 33				56	33	DOM. 54 -57	
57-#7. 83	23	57	X	57	34	DOM. 54 -57	13, VAK A
57-#7. 84	23	57	X	57	34	DOM. 54 -57	13, VAK A
57-#7. 85	23	57	X	57	34	DOM. 54 -57	13, VAK A
58-#7. 86A	24	58	Y	58	35	DOM. 58	13, VAK B
58-#7. 86B	24	58	Y	58	35	DOM. 58	13, VAK B
58-#7. 86C	24	58	Y	58	35	DOM. 58	13, VAK B
58-#7. 86D	24	58	Y	58	35	DOM. 58	13, VAK B
58-#7. 86E						DOM. 58	13, VAK B
59-#7. 34					36		
60-#7. 35					36		
61-#9. 80							
61-1-#4. 91A						DOM. 61-1	14
61-1-#4. 91B						DOM. 61-1	14
61-1-#4. 91C						DOM. 61-1	14
61-1-#4. 91D						DOM. 61-1	14
61-1-#4. 91E						DOM. 61-1	14
61-1-#4. 91F						DOM. 61-1	14
61-1-#4. 91G						DOM. 61-1	14
61-1-#4. 91H						DOM. 61-1	14
61-1-#4. 91I						DOM. 61-1	14
61-1-#4. 91J						DOM. 61-1	14
61-1-#4. 91K						DOM. 61-1	14
61-1-#4. 91L						DOM. 61-1	14
61-1-#4. 91M						DOM. 61-1	14
61-1-#4. 91N						DOM. 61-1	14
61-2-#2. 91A						DOM. 61-2	15
61-2-#2. 91B						DOM. 61-2	15
61-2-#2. 91C						DOM. 61-2	15

1987ヨーロッパ(独, 仏, 英) 1988日米調査項目		その他自由記述の有無 (自由記述有りを示すカテゴリ番号) (*は調査終了後加わったカテゴリ)						
		FRG	France	UK	USA	Japan	Italy	Holland
61-3-#2. 92	分相応 Share							
61-4-#2. 93	価値観の異なった人と一緒 Accompany with people							
61-5-#5. 91A	隣人として好ましくない-犯罪歴 Undesirable neighbor: ex-convict							
61-5-#5. 91B	隣人として好ましくない-人種が違う Undesirable neighbor: different race							
61-5-#5. 91C	隣人として好ましくない-学生 Undesirable neighbor: student							
61-5-#5. 91D	隣人として好ましくない-左翼の過激派 Undesirable neighbor: left-wing radicalist							
61-5-#5. 91E	隣人として好ましくない-未婚の母 Undesirable neighbor: unmarried mother							
61-5-#5. 91F	隣人として好ましくない-大酒飲み Undesirable neighbor: drunken man							
61-5-#5. 91G	隣人として好ましくない-右翼の過激派 Undesirable neighbor: right-wing radicalist							
61-5-#5. 91H	隣人として好ましくない-家族が多い Undesirable neighbor: large family							
61-5-#5. 91I	隣人として好ましくない-感情が不安定 Undesirable neighbor: emotionally unstable man							
61-5-#5. 91J	隣人として好ましくない-少数派の宗教団体 Undesirable neighbor: minor religious sect							
61-5-#5. 91K	隣人として好ましくない-外国人労働者 Undesirable neighbor: foreign worker							
61-5-#5. 91L	隣人として好ましくない-どれもでない Undesirable neighbor: other							
61-6-#5. 92	秘書の給料 Secretary's salary							
61-7-#7. 91A	生活様式-物質的なこと Living manners: material							
61-7-#7. 91B	生活様式-働くこと Living manners: work							
61-7-#7. 91C	生活様式-技術の開発 Living manners: technological development							
61-7-#7. 91D	生活様式-道徳的完璧さ Living manners: ethical perfection							
61-7-#7. 91E	生活様式-権威 Living manners: authority							
61-7-#7. 91F	生活様式-家族生活 Living manners: family life							
61-7-#7. 91G	生活様式-生活様式 Living manners: living manners							
61-8-#2. 94A	自分をとりまく関係-内面的な生き方 Relationships: spiritual							
61-8-#2. 94B	自分をとりまく関係-自分と家族 Relationships: family							
61-8-#2. 94C	自分をとりまく関係-自分と友人 Relationships: friends							
61-8-#2. 94D	自分をとりまく関係-自分と隣人、近隣 Relationships: neighbors							
61-8-#2. 94E	自分をとりまく関係-自分と職場 Relationships: co-workers							
61-8-#2. 94F	自分をとりまく関係-自分と国家 Relationships: nation							
61-8-#2. 94G	自分をとりまく関係-自分と国際社会 Relationships: world							
61-9-#9. 91	国籍 nationality							
61-10-#8. 91A	政治的行動-請願書 political activity: petition							
61-10-#8. 91B	政治的行動-不買運動 political activity: boycott							
61-10-#8. 91C	政治的行動-デモ political activity: demonstration							
61-10-#8. 91D	政治的行動-ストライキ political activity: strike							
61-10-#8. 91E	政治的行動-占拠 political activity: occupation							
62-#3. 1A	宗教を信じるか Religious faith							
62-#3. 1B	(Aで信じている人に) 何という宗教か Religion	5	5	8	Set Face	4	8	3
63-#3. 2	「宗教心」は大切か Religious attitude	3	3	3	3	3	8	3
64-#3. 3	宗教は1つか All religions same	3	3	3	3	3	8	3
65-#8. 81	革新か保守か Political stance					11		

	リストの有無 (リスト番号)						Holland
	F R G	France	U K	U S A	Japan	Italy	
61-3-#2. 92							16. VAK A
61-4-#2. 93						DOM. 61-4	
61-5-#5. 91A						DOM. 61-5	16. VAK B
61-5-#5. 91B						DOM. 61-5	16. VAK B
61-5-#5. 91C						DOM. 61-5	16. VAK B
61-5-#5. 91D						DOM. 61-5	16. VAK B
61-5-#5. 91E						DOM. 61-5	16. VAK B
61-5-#5. 91F						DOM. 61-5	16. VAK B
61-5-#5. 91G						DOM. 61-5	16. VAK B
61-5-#5. 91H						DOM. 61-5	16. VAK B
61-5-#5. 91I						DOM. 61-5	16. VAK B
61-5-#5. 91J						DOM. 61-5	16. VAK B
61-5-#5. 91K						DOM. 61-5	16. VAK B
61-5-#5. 91L						DOM. 61-5	16. VAK B
61-6-#5. 92							
61-7-#7. 91A							17. VAK A
61-7-#7. 91B							17. VAK A
61-7-#7. 91C							17. VAK A
61-7-#7. 91D							17. VAK A
61-7-#7. 91E							17. VAK A
61-7-#7. 91F							17. VAK A
61-7-#7. 91G							17. VAK A
61-8-#2. 94A							17. VAK B
61-8-#2. 94B							17. VAK B
61-8-#2. 94C							17. VAK B
61-8-#2. 94D							17. VAK B
61-8-#2. 94E							17. VAK B
61-8-#2. 94F							17. VAK B
61-8-#2. 94G							17. VAK B
61-9-#9. 91							18. VAK A
61-10-#8. 91A							18. VAK B
61-10-#8. 91B							18. VAK B
61-10-#8. 91C							18. VAK B
61-10-#8. 91D							18. VAK B
61-10-#8. 91E							18. VAK B
62-#3. 1A							
62-#3. 1B							
63-#3. 2							
64-#3. 3							
65-#8. 81	25	65	Z	65	37	DOM. 65	19. VAK A

3.2 項目の出典

		統計研 日本人の国民性の研究								
		53	58	63	68	73	78	83	88	93
		K S I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX
1-#7.30B	1987ヨーロッパ(独、仏、英)1988日米調査項目 国の生活水準10年の変化 Standard of living in country 10 years ago							M14 b		
2-#7.30A	あなたの生活水準10年の変化 Your standard of living 10 years ago							M14 a	M25	
3-#7.31	今後の生活水準 Living conditions in future							M15		
4-#7.18E	幸福になるか Happiness in future					M27 e	M25 e			
5-#7.18B	心の安らかさはますか Peace of mind					M27 b	M25 b			
6-#7.18C	人間の自由はふえるか Freedom					M27 c	M25 c			
7-#7.18	人間の健康の面はよくなるか People's health					M27 a	M25 a			
8-#8.80	国家目標 The country's goal									
9-#2.30	不安感-重い病気 Extent of worry: serious illness							M25 a		
9-#2.30D	不安感-交通事故 Extent of worry: car accident							M25 d		
9-#2.30E	不安感-失業 Extent of worry: unemployment							M25 e		
9-#2.30F	不安感-戦争 Extent of worry: war							M25 f		
9-#2.30G	不安感-原子力施設の事故 Extent of worry: nuclear power accident							M25 g		
10-#7.80A	家計の節約-医療 Household expenses: health care									
10-#7.80B	家計の節約-車 Household expenses: motoring costs									
10-#7.80C	家計の節約-家庭用品 Household expenses: home appliances									
10-#7.80D	家計の節約-食料品 Household expenses: food									
10-#7.80E	家計の節約-美容 Household expenses: beauty care									
10-#7.80F	家計の節約-バカンス、休暇 Household expenses: vacation and leisure									
10-#7.80G	家計の節約-衣服 Household expenses: clothes									
10-#7.80H	家計の節約-住居 Household expenses: housing									
10-#7.80I	家計の節約-子供の養育 Household expenses: expenses for children									
10-#7.80J	家計の節約-タバコ、アルコール Household expenses: smoking or drinking									
11-#4.11	先祖を尊ぶか Respect for ancestors	3				K20	K10	K14	K12	
12-#4.10	他人の子供を養子にするか Adopt a child	23の1	106	2	2	K3	K3	M3	K2	
13-#4.80	望ましい子供の数 Ideal number of children									
14-#2.80A	病気-頭痛、偏頭痛 Health problems: headaches, migraines									
14-#2.80B	病気-背中の痛み Health problems: backaches									
14-#2.80C	病気-神経の興奮 Health problems: nervousness									
14-#2.80D	病気-鬱病 Health problems: depression									
14-#2.80E	病気-不眠症 Health problems: insomnia									
15-#2.3G	健康状態満足か Satisfaction with health							M13		
16-#1.8	社会的階層 Living class							K33	K32	
17-#7.81	収入か余暇か Choose money or free time							M30	M23	
18-#2.8	一生働くか If had enough money, still work?					M2	K1	K2	K3	
19-#7.25	お金と仕事 Life without work							M1	M1	
20-#7.24	就職の第1の条件 Most important aspect of job						K24 a	K24	K23	
21-#2.81	仕事と個人生活 Work conflicts with private life							M11	M11	
22-#2.4	くらし方 Attitudes towards life	39	22	26	31	K34	K19	K20	K18	
23-#2.3F	生活環境満足か Quality of life in the area where you live							M20	M9	
								M12		

	統計研究				77 7月	France	
	72 I	78 II	83 III	88 IV		1979 CREDOC	1982 1984
1-#7. 30B			22	1		G13	J5
2-#7. 30A			21	2		G13	J5
3-#7. 31			23	3		G14	J6
4-#7. 18E			1				J6
5-#7. 18B		11	3	5			
6-#7. 18C		12	4				
7-#7. 18		10	2	7			
8-#8. 80			44				ALL82 Q32
9-#2. 30			50 a	9 a		N6	ISR
9-#2. 30D			50 d	9 b		N5	
9-#2. 30E			50 e	9 c		N6	
9-#2. 30F			50 f	9 d		N5	
9-#2. 30G			50 g	9 e		N6	
10-#7. 80A						G10	J4
10-#7. 80B						G10	J4
10-#7. 80C						G10	J4
10-#7. 80D						G10	J4
10-#7. 80E						G10	J4
10-#7. 80F						G10	J4
10-#7. 80G						G10	J4
10-#7. 80H						G10	J4
10-#7. 80I						G10	J4
10-#7. 80J						G10	J4
11-#4. 11		73	14	11	14		
12-#4. 10	9	4	7	12	4		
13-#4. 80						C1	C7 C9 GSS88 211
14-#2. 80A						F3	I2
14-#2. 80B						F3	I2
14-#2. 80C						F3	I2
14-#2. 80D						F3	I2
14-#2. 80E						F3	I2
15-#2. 3G							I3
16-#1. 8				44			ALL82 Q28
17-#7. 81						G33 G27	ISR
18-#2. 8		2	5	18	2		GSS88 181
19-#7. 25							ISR
20-#7. 24			43	20	33		ALL82 Q6
21-#2. 81						E22	G32 G28
22-#2. 4	44	26	29	22	26		GSS88 182
23-#2. 3F			20	23		D15	D13 D15

		統数研 日本人の国民性の研究								
		'53	'58	'63	'68	'73	'78	'83	'88	'93
		K S I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX
24-#5. 80A	1987ヨーロッパ(独,仏,英)1988日米調査項目 近所の治安-強盗にはいられること Safety in neighborhood: burglary									
24-#5. 80B	近所の治安-急に襲われて身の危険を感じる Personal safety									
25-#7. 82	アリとキリギリス The idle grasshopper and diligent ant									
26-#2. 7A	一番大切なもの The most important thing in life	47	29	29	34	K41	K32	K13	K11	
26-#2. 7B	その他 非常に大切なもの Other important things		129							
27-#5. 81A	生活領域の重要性-あなた自身の家族と子供 Importance: immediate family and children									
27-#5. 81B	生活領域の重要性-職業や仕事 Importance: career and work									
27-#5. 81C	生活領域の重要性-自由になる時間とくつろぎ Importance: free time and relaxation									
27-#5. 81D	生活領域の重要性-友人、知人 Importance: friends									
27-#5. 81E	生活領域の重要性-両親、兄弟、姉妹、親戚 Importance: parents and other relative									
27-#5. 81F	生活領域の重要性-宗教 Importance: religion and church									
27-#5. 81G	生活領域の重要性-政治、公的生活 Importance: politics									
28-#2. 3C	家庭に満足か Satisfaction with family life					M9 a	M5 a	K32 a		
29-#2. 82	生活に満足か Satisfaction with life									
29-2-#2. 82B	仕事(家事・学業)に満足か Satisfaction with job(housework, study)									M20 b
29-3-#2. 82C	余暇の過ごし方について満足か Satisfaction with pastime									M20 d
30-#7. 19	才能か運か Success: ability or luck						M2		M6	
31-#4. 81	生活保護の考え方 Attitude towards governmental assistance									
32-#7. 1	人間らしさはへるか Science and loss of human feeling	5	3	6	7	K10	K2	K3	K4	
33-#4. 5	子供に「金は大切」と教えるか Teaching children money is important	24の1		5	5	K6	K5	K5	K6	
34-#8. 1B	政治家にまかせるか Leave it up to political leaders						K8	K10	K8	
35-#2. 1	しきたりに従うか Custom versus conscience	4	7	7	8	K11	K6	K6	K7	
36-#7. 2	心の豊かさはへらないか Mechanization and human feeling	29	107	24	12	13	K18	K12	M8	K27
37-#4. 30	家庭はくつろぐ場所 Home is relaxing place							M9		
38-#4. 32	離婚すべきではないか Marriage is permanent							M11		
39-#4. 31	家事や子供の世話 Housework and child care							M10		
40-#4. 4	先生が悪い事をした Rumor about teacher	9	6	4	4	K5	K4	K4	K5	
41-#5. 1	恩人がキトクするとき Benefactor on death-bed	41	111 a	13 a	15 a	K21 a	K15 a	K16 a	K14 a	
42-#5. 1B	親がキトクするとき Real father on death-bed	42	111 b	13 b	15 b	K21 b	K15 b	M16 a		
43-#2. 5	自然と人間との関係 Man and nature	34	15	15	17	K23	K16	K17	K15	
44-#7. 4	国と個人の幸福 Improve the country or make people happy	45		16	19	M20	K25	K17	K18	K16
45-#5. 1D	大切な道徳-親孝行をすること Important things: filial piety			17	20	K26	K18	K19	K17	
45-#5. 1D	大切な道徳-恩返しをすること Important things: repaying obligations			17	20	K26	K18	K19	K17	
45-#5. 1D	大切な道徳-個人の権利を尊重すること Important things: respect for individual rights			17	20	K26	K18	K19	K17	
45-#5. 1D	大切な道徳-自由を尊重すること Important things: respect for individual freedom			17	20	K26	K18	K19	K17	
45-#5. 1D	大切な道徳-その他(記入) Important things: other			17	20	K26	K18	K19	K17	
45-#5. 1D	大切な道徳-D K Important things: D. K.									
46-#5. 6H	他人との仲か仕事か Desirable person: efficient versus friendly						K14	K26		
47-#2. 2B	スジかまるるか Consensus versus own principle						K13	K27	K25	
48-#5. 1C1	入社試験(親戚) Employment examination: relative			20 a	22 a	K28 a	K21 a	K22 a	K21 a	
						M16 a		M21 a		

	統計研				13ヶ 国 78	France CREDOC		
	72 I	78 II	83 III	88 IV		1979	1982	1984
24-#5. 80A							- D17	
24-#5. 80B							- D17	
25-#7. 82								5ヶ国新
26-#2. 7A				26 A				
26-#2. 7B				26 B				
27-#5. 81A							G S S 88(82のみ) 282A	
27-#5. 81B							G S S 88(82のみ) 282B	
27-#5. 81C							G S S 88(82のみ) 282C	
27-#5. 81D							G S S 88(82のみ) 282d	
27-#5. 81E							G S S 88(82のみ) 282e (Relative)	
27-#5. 81F							G S S 88(82のみ) 282 f	
27-#5. 81G							G S S 88(82のみ) 282g (Politic life)	
28-#2. 3C		38	38	28	31			I S R
29-#2. 82		40	39	29	32			13ヶ国80
29-2-#2. 82B								
29-3-#2. 82C								
30-#7. 19		3	6		3			
31-#4. 81							M7 M5	
32-#7. 1	13		10	32	7			
33-#4. 5	11	6	9	33	6			
34-#8. 1B	18	8	11	34	9			
35-#2. 1	15	7	12	35	8			
36-#7. 2	19		15	36	11			
37-#4. 30			16	37		C4	C1 C1	
38-#4. 32			17	38		C5	C2 C2	
39-#4. 31			18	39		C9	C6 -	
40-#4. 4	10	5	8	40	5			
41-#5. 1	22	20	24	41	15			
42-#5. 1B	23	21	25	42	16			
43-#2. 5	25	22	26	43	17			
44-#7. 4	28	23	27	44	18			
45-#5. 1D	29	24 a	28	45	19			
45-#5. 1D	29	24 b	28	45	19			
45-#5. 1D	29	24 c	28	45	19			
45-#5. 1D	29	24 d	28	45	19			
45-#5. 1D	29		28	45	19			
45-#5. 1D								
46-#5. 6H		27	30	46	27			
47-#2. 2B	31	28	31	47	21			
48-#5. 1C1	32	29	32	48	22			

		統数研 日本人の国民性の研究								
		53	58	63	68	73	78	83	88	93
		K S I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX
49-#5. 1C2	1987ヨーロッパ(独、仏、英) 1988日米調査項目 入社試験(恩人の子) Employment examination: son of benefactor			20 b	22 b	K 28 b M16 b	K 21 b	K 22 b M21 b	K 21 b	
50-#5. 6	めんどうをみる課長 Type of boss preferred	35	117	21	23	K 29	K 22	K 33 M22	K 22 M18	
51-#2. 12	他人のためか自分のためか Are people helpful most of the time						K 27	K 7		
52-#2. 12B	スキがあれば利用されるか Are most people fair						K 28	K 8		
53-#2. 12C	人は信頼できるか Are most people trustworthy						K 29	K 9		
54-#2. 83A	現代生活の個人態度-他人を助ける Life: most people are helpful									
54-#2. 83B	現代生活の個人態度-共同体 Life: part of community									
54-#2. 83C	現代生活の個人態度-その日その日 Life: people live for today									
54-#2. 83D	現代生活の個人態度-収入より手段 Life: way of earning money is more important than amount									
54-#2. 83E	現代生活の個人態度-孤独感 Life: people often feel lonely									
55-#7. 36	科学上の発見・利用は生活に役立つか Improvement of everyday life through science							M 28		
56-#7. 33	コンピュータ社会は望ましいか Computers change our lives							M 26		
57-#7. 83	科学技術-病気の治療 Some illness treated by methods other than modern medicine									
57-#7. 84	科学技術-人間の心の解明 Science permits understanding of the human mind									
57-#7. 85	科学技術-経済的・社会的問題の解決 Resolution of social and economic problems through science									
58-#7. 86A	今後の25年-原子力廃棄物の安全な処理方法 The next 25 years: safe method for nuclear waste disposal									
58-#7. 86B	今後の25年-ガンの治療方法の解明 The next 25 years: cure for cancer									
58-#7. 86C	今後の25年-老人性痴呆症の治療方法の解明 The next 25 years: cure for senility									
58-#7. 86D	今後の25年-宇宙ステーションでの生活 The next 25 years: living in space stations									
58-#7. 86E	今後の25年-AIDSの治療法 The next 25 years: cure for AIDS									
59-#7. 34	省エネルギーは重要か Energy conservation							M 27 a		
60-#7. 35	環境の保護は重要か Environmental preservation							M 27 b		
61-#9. 80	文化(各国の文化) Culture									
61-1-#4. 91A	子供-礼儀 Child education: manner									
61-1-#4. 91B	子供-努力 Child education: effort									
61-1-#4. 91C	子供-正直 Child education: honesty									
61-1-#4. 91D	子供-清潔 Child education: clean									
61-1-#4. 91E	子供-良識 Child education: conscience									
61-1-#4. 91F	子供-自制心 Child education: self-control									
61-1-#4. 91G	子供-男の子らしく、女の子らしく Child education: boy-like, girl-like									
61-1-#4. 91H	子供-仲良く Child education: cooperation									
61-1-#4. 91I	子供-いうことをきく Child education: obedience									
61-1-#4. 91J	子供-責任感 Child education: responsibility									
61-1-#4. 91K	子供-思いやり Child education: kindness									
61-1-#4. 91L	子供-理由に関心 Child education: reason									
61-1-#4. 91M	子供-良い生徒 Child education: good student									
61-1-#4. 91N	分からない D. K.									
61-2-#2. 91A	人生の意味-自分で見出す Meaning of life: self-exploration									
61-2-#2. 91B	人生の意味-意味がない Meaning of life: meaningless									
61-2-#2. 91C	人生の意味-明確な意味 Meaning of life: definite meaning									

	統計研				7/78	France		
	72 I	78 II	83 III	88 IV		1979 CREDOC	1982 1984	
49-#5. 1C2	33	30	33	49	23			
50-#5. 6	34	31	35	50	24			
51-#2. 12		60	40	51	38			GSS88 158 I S R
52-#2. 12B		61	41	52	39			GSS88 159 I S R
53-#2. 12C		62	42	53	40			GSS88 160A I S R
54-#2. 83A						L6		
54-#2. 83B						L6		
54-#2. 83C						L6		GSS88 (176)
54-#2. 83D						L6		
54-#2. 83E						L6		
55-#7. 36			56	55		P1	N3 N3	
56-#7. 33			52	56		P2	N4 N4	
57-#7. 83								1987科学技術 NSF Q6-(1)SOFRES
57-#7. 84								1987科学技術 NSF Q9-(3)SOFRES
57-#7. 85								1987科学技術 Q9-(7)
58-#7. 86A								1987科学技術 Q18-(1) NSF
58-#7. 86B								1987科学技術 Q18-(2) NSF
58-#7. 86C								1987科学技術 Q18-(4) NSF
58-#7. 86D								1987科学技術 Q18-(6)
58-#7. 86E								オランダ新
59-#7. 34			53	59			E14 -	
60-#7. 35			54	60		D22	F1 F1	
61-#9. 80				61				
61-1-#4. 91A								日本D ALLBUS82
61-1-#4. 91B								日本D ALLBUS82
61-1-#4. 91C								日本D ALLBUS82
61-1-#4. 91D								日本D ALLBUS82
61-1-#4. 91E								日本D ALLBUS82
61-1-#4. 91F								日本D ALLBUS82
61-1-#4. 91G								日本D ALLBUS82
61-1-#4. 91H								日本D ALLBUS82
61-1-#4. 91I								日本D ALLBUS82
61-1-#4. 91J								日本D ALLBUS82
61-1-#4. 91K								日本D ALLBUS82
61-1-#4. 91L								日本D ALLBUS82
61-1-#4. 91M								日本D ALLBUS82
61-1-#4. 91N								日本D ALLBUS82
61-2-#2. 91A								日本D ALLBUS82
61-2-#2. 91B								日本D ALLBUS82
61-2-#2. 91C								日本D ALLBUS82

		統計研 日本人の国民性の研究								
		53	58	63	68	73	78	83	88	93
		K S I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX
61-3-#2.92	1987ヨーロッパ(独、仏、英)1988日米調査項目 分相応 Share									
61-4-#2.93	価値観の異なった人と一緒 Accompany with people									
61-5-#5.91A	隣人として好ましくない-犯罪歴 Undesirable neighbor: ex-convict									
61-5-#5.91B	隣人として好ましくない-人種が違ふ Undesirable neighbor: different race									
61-5-#5.91C	隣人として好ましくない-学生 Undesirable neighbor: student									
61-5-#5.91D	隣人として好ましくない-左翼の過激派 Undesirable neighbor: left-wing radicalist									
61-5-#5.91E	隣人として好ましくない-未婚の母 Undesirable neighbor: unmarried mother									
61-5-#5.91F	隣人として好ましくない-大酒飲み Undesirable neighbor: drunken man									
61-5-#5.91G	隣人として好ましくない-右翼の過激派 Undesirable neighbor: right-wing radicalist									
61-5-#5.91H	隣人として好ましくない-大家族が多い Undesirable neighbor: large family									
61-5-#5.91I	隣人として好ましくない-感情が不安定 Undesirable neighbor: emotionally unstable man									
61-5-#5.91J	隣人として好ましくない-少数派の宗教団体 Undesirable neighbor: minor religious sect									
61-5-#5.91K	隣人として好ましくない-外国人労働者 Undesirable neighbor: foreign worker									
61-5-#5.91L	隣人として好ましくない-どれでもない Undesirable neighbor: other									
61-6-#5.92	秘書の給料 Secretary's salary									
61-7-#7.91A	生活様式-物質的なこと Living manners: material									
61-7-#7.91B	生活様式-働くこと Living manners: work									
61-7-#7.91C	生活様式-技術の開発 Living manners: technological development									
61-7-#7.91D	生活様式-道徳的完璧さ Living manners: ethical perfection									
61-7-#7.91E	生活様式-権威 Living manners: authority									
61-7-#7.91F	生活様式-家族生活 Living manners: family life									
61-7-#7.91G	生活様式-生活様式 Living manners: living manners									
61-8-#2.94A	自分をとりまく関係-内面的な生き方 Relationships: spiritual									M27 a
61-8-#2.94B	自分をとりまく関係-自分と家族 Relationships: family									M27 b
61-8-#2.94C	自分をとりまく関係-自分と友人 Relationships: friends									M27 c
61-8-#2.94D	自分をとりまく関係-自分と隣人、近隣 Relationships: neighbors									M27 d
61-8-#2.94E	自分をとりまく関係-自分と職場 Relationships: co-workers									M27 e
61-8-#2.94F	自分をとりまく関係-自分と国家 Relationships: nation									M27 f
61-8-#2.94G	自分をとりまく関係-自分と国際社会 Relationships: world									M27 g
61-9-#9.91	国籍 nationality									
61-10-#8.91A	政治的行動-請願書 political activity: petition									
61-10-#8.91B	政治的行動-不買運動 political activity: boycott									
61-10-#8.91C	政治的行動-デモ political activity: demonstration									
61-10-#8.91D	政治的行動-ストライキ political activity: strike									
61-10-#8.91E	政治的行動-占拠 political activity: occupation									
62-#3. 1A	宗教を信じるか Religious faith		16 a	28 a	33 a	K19 a	K11 a	K15 a	K13 a	
62-#3. 1B	(Aで信じている人に) 何という宗教か Religion		16 b	28 a	33 a	K19 a				
63-#3. 2	「宗教心」は大切か Religious attitude		16 c	28 b	33 b	K19 b	K11 b	K15 b	K13 b	
64-#3. 3	宗教は1つか All religions same		17							
65-#8. 81	革新か保守か Political stance									

	統計研				トク 78	France CREDOC			
	72 I	78 II	83 III	88 IV		1979	1982	1984	
61-3-#2. 92									日本D ALLBUS82
61-4-#2. 93									日本D 価値観7ヶ国81
61-5-#5. 91A									日本D 価値観7ヶ国81
61-5-#5. 91B									日本D 価値観7ヶ国81
61-5-#5. 91C									日本D 価値観7ヶ国81
61-5-#5. 91D									日本D 価値観7ヶ国81
61-5-#5. 91E									日本D 価値観7ヶ国81
61-5-#5. 91F									日本D 価値観7ヶ国81
61-5-#5. 91G									日本D 価値観7ヶ国81
61-5-#5. 91H									日本D 価値観7ヶ国81
61-5-#5. 91I									日本D 価値観7ヶ国81
61-5-#5. 91J									日本D 価値観7ヶ国81
61-5-#5. 91K									日本D 価値観7ヶ国81
61-5-#5. 91L									日本D 価値観7ヶ国81
61-6-#5. 92									日本D 価値観7ヶ国81
61-7-#7. 91A									日本D 価値観7ヶ国81
61-7-#7. 91B									日本D 価値観7ヶ国81
61-7-#7. 91C									日本D 価値観7ヶ国81
61-7-#7. 91D									日本D 価値観7ヶ国81
61-7-#7. 91E									日本D 価値観7ヶ国81
61-7-#7. 91F									日本D 価値観7ヶ国81
61-7-#7. 91G									日本D 価値観7ヶ国81
61-8-#2. 94A									13ヶ国80
61-8-#2. 94B									13ヶ国80
61-8-#2. 94C									13ヶ国80
61-8-#2. 94D									13ヶ国80
61-8-#2. 94E									13ヶ国80
61-8-#2. 94F									13ヶ国80
61-8-#2. 94G									
61-9-#9. 91									オランダ新
61-10-#8. 91A									Political Actions (Kaase, Barnes)
61-10-#8. 91B									Political Actions (Kaase, Barnes)
61-10-#8. 91C									Political Actions (Kaase, Barnes)
61-10-#8. 91D									Political Actions (Kaase, Barnes)
61-10-#8. 91E									Political Actions (Kaase, Barnes)
62-#3. 1A	49	F 2	F 01	62 a					
62-#3. 1B	50	F 3	F 02	62 b					A L L 82 S 33
63-#3. 2		F 5	F 03	63	42				
64-#3. 3		F 7	F 04	64	43				
65-#8. 81									G S S 88 (68 B) E C

国際比較

付録4 7ヶ国単純集計表

Q No	Item	Category	1992 ITALY 1048	1987 FRANCE 1013	1987 FRG 1000	1993 NL 1083	1987 UK 1043	1988 USA 1563	1988 JPN-A 2265	1988 JPN-B 1017	1989 JPN-C 1537	1988 HAWAII NJ		
1 7.30b 121	Standard of living in country 10 years ago	1.Much better	28.9	2.6	19.2	13.9	21.4	17.0	25.1	39.9	17.6	22.6		
		2.Slightly better	28.2	18.5	42.0	38.5	40.0	32.0	49.8	34.8	47.8	40.4		
		3.About the same	13.8	17.1	26.0	21.3	13.0	18.0	16.7	17.0	22.5	13.5		
		4.Slightly worse	16.1	37.4	9.6	17.5	15.0	21.8	4.5	3.2	8.5	14.7		
		5.Much worse	11.8	23.0	1.4	3.8	8.0	9.3	0.8	1.4	1.5	4.4		
		8.Other	-	-	-	-	-	-	-	0.1	0.1	1.6		
		9.D.K.	1.0	1.5	1.8	5.0	2.7	1.9	3.1	3.5	2.0	2.8		
		2 7.30a 122	Your standard of living 10 years ago	1.Much better	21.2	6.7	16.6	20.5	24.0	25.9	7.2	16.3	5.0	30.6
				2.Slightly better	30.0	19.4	38.9	34.8	30.4	27.0	43.7	37.1	37.8	27.9
3.About the same	32.8			25.9	33.3	24.0	25.2	26.2	37.9	35.5	43.3	21.6		
4.Slightly worse	10.8			29.7	8.0	12.7	11.8	14.3	7.9	7.0	10.5	8.2		
5.Much worse	4.7			16.5	2.0	5.9	6.7	6.0	1.3	2.7	1.5	1.9		
8.Other	-			-	-	-	-	-	0.1	-	-	0.9		
9.D.K.	0.6			1.8	1.2	2.1	1.9	0.6	1.9	1.5	1.9	0.9		
3 7.31 123	Living conditions in future			1.Much better	8.2	6.7	3.8	5.0	11.8	17.1	2.6	7.7	1.4	19.4
				2.Slightly better	18.5	25.1	27.4	17.2	28.2	29.9	22.4	20.1	18.7	32.0
		3.About the same	43.0	28.5	47.6	48.8	38.6	35.0	52.2	50.3	51.7	31.0		
		4.Slightly worse	15.9	27.4	15.6	25.8	12.8	8.6	14.8	10.3	19.6	19.3		
		5.Much worse	6.2	6.4	1.0	6.2	3.1	3.7	1.5	4.3	2.7	1.9		
		8.Other	-	-	-	-	-	-	0.0	0.2	-	2.5		
		9.D.K.	0.1	5.8	4.6	4.1	5.5	5.7	6.5	7.1	6.0	2.8		
		4 7.18a 124	Happiness in future	1.Happier	14.9	15.6	12.8	7.1	18.0	28.7	22.1	24.5	-	27.3
				2.Less happy	45.8	55.2	33.7	65.2	51.3	37.3	11.6	11.8	-	28.5
3.About the same	31.6			19.3	43.4	28.9	20.9	24.5	47.7	44.1	-	32.3		
8.Other	0.1			-	-	-	-	2.1	0.9	1.0	-	5.3		
9.D.K.	7.6			9.9	10.1	6.8	8.8	7.4	17.7	18.7	-	6.6		
5 7.18b 125	Peace of mind			1.Increase	15.0	15.3	11.3	14.6	17.3	31.0	17.3	17.7	-	27.6
				2.Decrease	50.6	56.8	47.4	69.3	59.3	46.6	37.4	36.7	-	33.5
				3.Not change	26.8	16.6	33.2	10.9	16.1	18.1	36.1	35.3	-	29.5
				8.Other	-	0.7	0.2	0.5	1.5	1.3	0.4	0.5	-	3.8
		9.D.K.	7.6	10.7	7.9	4.8	5.8	4.9	8.8	9.8	-	5.8		
		6 7.18c 126	Freedom	1.Increase	29.2	29.6	21.2	32.9	42.5	29.9	37.5	36.1	-	-
				2.Decrease	28.6	42.1	33.4	40.1	32.2	37.4	17.7	19.5	-	-
				3.Not change	34.2	21.9	38.1	21.4	21.1	27.6	34.9	34.7	-	-
				8.Other	0.1	-	-	-	-	1.4	0.1	0.3	-	-
9.D.K.	7.9			6.4	7.3	5.6	4.2	3.8	9.7	9.4	-	-		
7 7.18 127	People's Health			1.Improve	49.9	49.3	25.5	27.8	61.6	63.9	41.3	42.3	-	72.7
				2.Get worse	30.4	35.2	43.8	48.3	24.1	25.5	31.2	29.3	-	15.0
				3.Not change	14.8	10.3	23.7	19.7	10.6	7.9	21.5	21.5	-	8.8
				8.Other	-	-	-	-	-	0.6	0.1	0.2	-	1.6
		9.D.K.	4.9	5.2	7.0	4.2	3.7	2.1	5.9	6.7	-	1.9		
		8 8.00 128	The country's goal	1.Maintain order	39.9	35.6	38.1	42.5	40.4	29.4	20.6	20.2	-	32.9
				2.Give people more say	34.2	15.4	29.5	24.2	31.4	33.1	27.1	27.4	-	25.4
				3.Fight rising prices	15.9	21.5	8.8	7.9	14.3	22.6	35.1	36.1	-	19.1
				4.Protect freedom of speech	9.0	22.0	18.8	22.9	11.0	10.9	7.5	6.7	-	16.0
8.Other	-			3.7	1.2	-	1.9	2.2	0.6	0.9	-	4.1		
9.D.K.	1.0			1.8	3.6	2.5	1.0	1.7	9.1	8.8	-	2.5		

國際比較

Q No	Item	Category	1992	1987	1987	1993	1987	1988	1988	1988	1988	
			ITALY 1048	FRANCE 1013	FRG 1000	NL 1083	UK 1043	USA 1563	JPN-A A	JPN-B B	JPN-C C	
9 2.30 129	Extent of worry: Serious illness	1.Very much	76.4	50.5	16.9	7.7	31.7	32.3	21.9	20.7		
		2.Somewhat	16.2	24.6	21.8	16.0	17.6	33.5	24.9	26.1		
		3.Slightly	5.2	17.7	35.4	36.2	30.7	22.3	38.7	39.0		
		4.Not at all	1.5	7.0	25.5	36.1	19.7	11.5	13.6	13.0		
		8.Other	-	-	-	-	-	-	0.0	0.1		
		9.D.K	0.6	0.2	0.5	4.1	0.3	0.4	1.0	1.1		
9 2.30d 130	Extent of worry: Car accident	1.Very much	58.9	43.7	8.5	6.2	23.6	21.9	26.0	21.9		
		2.Somewhat	26.0	27.6	13.6	13.7	16.1	29.0	31.1	31.8		
		3.Slightly	11.0	20.5	40.5	33.1	33.1	28.9	32.4	35.9		
		4.Not at all	3.9	8.0	35.7	43.4	26.7	19.8	9.2	8.8		
		8.Other	-	-	-	-	-	-	-	0.1		
		9.D.K	0.3	0.1	1.7	3.7	0.5	0.4	1.3	1.5		
9 2.30e 131	Extent of worry: Unemploy- ment	1.Very much	47.2	54.2	13.0	13.3	31.6	22.3	8.2	7.7		
		2.Somewhat	30.5	19.8	16.3	17.5	13.6	19.3	14.4	13.4		
		3.Slightly	14.8	14.7	25.2	23.3	22.3	22.8	30.7	31.9		
		4.Not at all	6.8	10.1	43.2	39.9	31.9	33.9	41.1	41.8		
		8.Other	-	-	-	-	-	-	-	0.5	0.6	
		9.D.K	0.7	1.2	2.3	6.0	0.5	1.7	5.1	4.7		
9 2.30f 132	Extent of worry: war	1.Very much	53.1	30.9	19.9	10.9	24.9	21.8	11.3	10.8		
		2.Somewhat	21.6	16.7	20.5	16.9	15.2	25.2	13.3	13.9		
		3.Slightly	15.5	28.2	32.4	26.5	26.1	27.4	36.4	34.7		
		4.Not at all	9.4	23.4	26.1	44.0	33.0	24.3	32.9	34.4		
		8.Other	-	-	-	-	-	-	-	0.1	0.3	
		9.D.K	0.5	0.8	1.1	1.7	0.8	1.2	5.9	5.9		
9 2.30g 133	Extent of worry: Nuclear power accident	1.Very much	47.9	25.8	30.3	13.9	34.3	25.7	18.8	19.1		
		2.Somewhat	28.1	16.5	28.3	20.0	18.5	24.4	24.8	24.5		
		3.Slightly	14.3	31.6	27.8	28.2	23.3	24.3	34.4	33.2		
		4.Not at all	7.6	23.6	12.4	36.1	23.3	23.6	15.5	16.5		
		8.Other	-	-	-	-	-	-	-	0.1	-	
		9.D.K	2.0	2.6	1.2	1.8	0.6	1.9	6.4	6.7		
10 7.80a 135	Household expenses: Health care	1.Yes		9.7	6.3		26.1	41.8	5.6	5.3		
		2.No		89.8	91.6		67.8	57.0	93.7	94.0		
		8.Other		-	-		-	-	-	0.2	0.2	
		9.D.K		0.5	2.1		6.1	1.2	0.5	0.5		
10 7.80b 136	Household expenses: Motoring costs	1.Yes		37.7	21.0		35.9	58.2	12.5	13.6		
		2.No		54.6	74.6		44.2	38.0	86.8	85.7		
		8.Other		-	-		-	-	-	0.2	0.2	
		9.D.K		7.7	4.4		19.9	3.8	0.5	0.5		
10 7.80c 137	Household expenses: Home appliance	1.Yes		40.2	12.4		46.1	39.7	18.1	20.1		
		2.No		56.4	84.8		50.8	58.5	81.2	79.3		
		8.Other		-	-		-	-	-	0.2	0.2	
		9.D.K		3.5	2.8		3.1	1.8	0.5	0.5		
10 7.80d 138	Household expenses: Food	1.Yes		19.1	8.2		29.1	38.4	15.3	17.7		
		2.No		80.4	90.6		69.9	61.2	84.0	81.6		
		8.Other		-	-		-	-	-	0.2	0.2	
		9.D.K		0.6	1.2		1.1	0.4	0.5	0.5		

國際比較

Q No	Item	Category	1992 ITALY 1048	1987 FRANCE: 1013	1987 FRG 1000	1993 NL 1083	1987 UK 1043	1988 USA 1563	1988 JPN-A A	1988 JPN-B B	1989 JPN-C C
10 7.80e 139	Household expenses: Beauty care	1. Yes 2. No 8. Other 9. D.K		32.8 51.8 — 15.4	12.3 80.9 — 6.8		19.8 59.0 — 21.3	27.4 66.3 — 6.3	16.5 82.8 0.2 0.5	16.6 82.7 0.2 0.5	
10 7.80f 140	Household expenses: Vacation and leisure	1. Yes 2. No 8. Other 9. D.K		49.6 45.6 — 4.8	35.2 61.3 — 3.5		57.2 39.1 — 3.6	58.6 38.8 — 2.6	30.4 68.9 0.2 0.5	28.4 70.9 0.2 0.5	
10 7.80g 141	Household expenses: Clothes	1. Yes 2. No 8. Other 9. D.K		46.4 52.0 — 1.6	19.2 79.3 — 1.5		52.5 46.2 — 1.2	50.0 49.4 — 0.6	27.8 71.6 0.2 0.5	26.5 72.9 0.2 0.5	
10 7.80h 142	Household expenses: Housing	1. Yes 2. No 8. Other 9. D.K		20.5 75.3 — 4.1	14.3 83.6 — 2.1		39.7 53.0 — 7.3	43.4 54.1 — 2.4	7.1 92.2 0.2 0.5	7.5 91.8 0.2 0.5	
10 7.80i 143	Household expenses: Expenses for Children	1. Yes 2. No 8. Other 9. D.K		17.2 61.6 — 21.2	9.3 78.9 — 11.8		22.1 35.4 — 42.5	33.3 44.5 — 22.1	4.5 94.9 0.2 0.5	4.7 94.6 0.2 0.5	
10 7.80j 144	Household expenses: Smoking or drinking	1. Yes 2. No 8. Other 9. D.K		19.7 68.9 — 19.3	12.9 80.0 — 7.1		24.4 53.5 — 22.1	18.0 59.3 — 22.6	14.7 84.6 0.2 0.5	15.0 84.3 0.2 0.5	
11 4.11 146	Respect for ancestors	1. More than average 2. Less than average 3. About the same 8. Other 9. D.K	36.5 9.2 49.5 — 4.8	29.0 16.5 49.8 1.4 3.4	9.1 15.7 64.7 8.4 10.1	40.9 4.2 44.5 1.7 8.8	41.9 8.7 45.7 0.3 3.4	73.1 8.1 17.0 0.2 1.7	47.5 8.4 42.5 0.0 1.5	55.5 8.1 35.5 — 1.0	48.1 6.4 43.4 0.1 2.0
12 4.10 147	Adopt a child	1. Desirable 2. Undesirable 3. It depends 8. Other 9. D.K	59.3 14.6 22.1 0.1 3.9	63.9 21.1 9.6 2.7 2.8	39.5 28.8 24.0 1.0 6.7	14.4 63.0 10.7 5.0 6.9	34.3 44.6 11.9 5.8 3.4	52.3 34.5 8.2 1.8 3.1	19.1 42.4 30.5 0.2 7.8	20.3 42.9 26.1 0.2 10.6	16.3 46.4 28.2 0.1 9.0
13 4.00 148	Ideal number of children	0. None 1. 1 2. 2 3. 3 4. 4 5. 5 6. More than 5 9. Other, D.K	0.2 5.2 55.6 28.7 3.9 0.8 0.3 5.3	— 2.8 45.7 42.6 5.2 0.9 0.2 2.6	4.2 13.3 60.4 15.2 2.2 0.2 0.1 4.4	1.8 3.0 49.7 24.2 8.3 1.3 0.8 11.0	1.3 1.5 60.8 18.6 9.6 1.1 0.9 6.2	0.8 2.1 49.6 24.3 13.2 2.1 2.3 5.6	— 0.9 35.6 55.4 3.6 1.0 0.1 3.4	— 0.9 33.2 55.4 4.6 1.1 0.3 4.8	

國際比較

Q No	Item	Category	1992	1987	1987	1993	1987	1988	1988	1988	1989	
			ITALY 1048	FRANCE 1013	FRG 1000	NL 1093	UK 1043	USA 1563	JPN-A A	JPN-B B	JPN-C C	
14 2.80 149	Health problems: Headaches	1.Yes 2.No 8.Other 9.D.K	44.7 54.5 - 0.9	35.8 63.9 - 0.3	40.6 58.3 - 1.1	40.4 58.0 - 1.7	36.1 63.5 - 0.4	34.6 64.8 - 0.6	21.9 76.9 1.1 -	22.5 77.0 0.5 -	-	
14 2.80b 150	Health problems: Backaches	1.Yes 2.No 8.Other 9.D.K	45.8 53.1 - 1.0	46.3 53.6 - 0.1	32.9 65.8 - 1.3	34.0 64.5 - 1.5	35.5 64.0 - 0.6	37.8 61.7 - 0.5	19.1 79.8 1.1 -	19.2 80.3 0.5 -	-	
14 2.80c 151	Health problems: Nervousnes	1.Yes 2.No 8.Other 9.D.K	55.0 43.9 - 1.1	55.8 44.0 - 0.2	25.1 72.7 - 2.2	34.3 64.1 - 1.7	19.7 79.7 - 0.7	30.3 69.0 - 0.8	25.7 73.2 1.1 -	26.2 73.4 0.5 -	-	
14 2.80d 152	Health problems: Depression	1.Yes 2.No 8.Other 9.D.K	24.5 73.9 - 1.6	19.5 80.2 - 0.3	7.7 90.6 - 1.7	14.2 83.8 - 1.9	20.9 78.4 - 0.7	20.7 78.2 - 1.0	5.4 93.4 1.1 -	5.7 93.8 0.5 -	-	
14 2.80e 153	Health problems: Insomnia	1.Yes 2.No 8.Other 9.D.K	24.4 74.2 - 1.3	31.9 67.9 - 0.2	25.9 72.5 - 1.6	25.0 73.8 - 1.2	18.5 80.4 - 1.1	16.9 82.4 - 0.7	12.0 86.8 1.1 -	12.2 87.3 0.5 -	-	
15 2.3g 154	Satisfac- tion with health	1.Very satisfied 2.Fairly satisfied 3.Fairly dissatisfied 4.Very dissatisfied 8.Other 9.D.k	28.6 57.5 9.8 3.6 - 0.4	22.6 64.4 11.4 1.6 - 0.1	19.2 61.3 14.2 2.6 - 2.7	48.9 40.4 5.8 3.5 - 1.4	40.2 47.2 8.4 4.0 - 0.2	46.1 41.0 8.4 4.3 - 0.2	13.6 57.5 21.1 5.4 0.1 2.3	15.4 57.4 20.1 5.2 0.1 1.8	-	
16 1.8 155	Living class	1.Upper 2.Upper middle 3.Middle 4.Lower middle 5.Lower 8.Other 9.D.K	1.9 12.3 70.9 10.9 3.0 - 1.0	1.8 10.8 61.2 18.9 6.3 - 1.1	0.9 15.9 53.7 21.5 3.4 - 4.6	11.2 32.5 44.4 6.5 3.8 - 1.7	0.4 7.2 53.6 28.1 8.1 - 2.6	1.5 16.7 54.5 21.6 5.2 - 0.5	1.1 10.9 53.6 26.9 5.4 - 2.1	0.4 10.0 61.3 20.2 4.4 0.2 3.5	-	
17 7.81 156	Choose money or free time	1.More money 2.More free time 8.Other 9.D.K	53.6 39.9 - 6.5	66.8 25.0 - 8.2	43.9 40.7 - 15.4	45.9 37.3 - 16.8	66.0 27.2 - 6.8	65.3 30.1 - 4.7	60.6 32.7 1.5 5.3	37.9 47.9 2.5 11.8	60.1 32.8 2.0 5.2	-
18 2.8 157	If had enough money, still work	1.Continue working 2.Stop working 8.Other 9.D.K	56.3 35.2 0.6 7.9	55.2 39.7 7.4 3.8	39.4 47.7 4.3 8.6	52.4 20.3 23.9 3.4	55.7 34.1 6.3 3.8	57.8 30.4 8.7 3.1	64.1 24.1 1.5 10.4	60.3 27.3 1.4 11.0	64.3 25.4 1.6 8.7	-
19 7.25 158	Life without work	1.Life without work 2.With money life 8.Other 9.D.K	65.3 29.5 - 5.2	51.0 43.3 - 5.6	39.8 52.5 - 7.7	60.1 28.5 - 11.4	54.4 37.8 - 7.9	64.6 32.0 - 3.5	72.8 19.8 1.0 6.4	70.2 21.2 0.8 7.8	69.9 22.6 0.6 7.0	-

國際比較

O No	Item	Category	1992	1987	1987	1993	1987	1988	1988	1988	1989
			ITALY 1048	FRANCE 1013	FRG 1000	NL 1083	UK 1043	USA 1563	JPN-A A	JPN-B B	JPN-C C
20 7.24 159	Most important aspect of job	1.Good salary 2.Safe job 3.Likable coworkers 4.Accomplishment 8.Other 9.D.K	20.5 35.9 9.9 32.1 0.1 1.5	16.7 40.4 6.6 35.0 - 1.3	12.9 36.0 20.2 23.2 - 7.7	11.6 17.2 11.8 56.3 - 3.0	16.5 29.1 14.9 37.0 - 2.6	20.9 21.6 11.3 43.6 0.4 2.1	19.8 15.4 29.2 30.2 0.5 5.7	15.9 14.8 30.8 28.6 0.5 7.8	20.7 14.6 31.0 28.6 0.2 4.9
21 2.81 160	Work conflicts with private life	1.Yes 2.No 3.Not in paid employment 8.Other 9.D.K	38.2 32.9 27.7 - 1.2	26.0 30.0 43.5 - 0.5	30.2 37.6 28.5 - 3.7	26.6 34.7 34.3 - 4.3	31.9 31.0 36.3 - 0.8	40.6 36.1 22.4 - 0.8	35.2 58.4 - 0.8 5.6	34.6 58.8 - 0.7 5.9	
22 2.4 161	Attitudes towards life	1.Get rich 2.Make a name 3.Suit own taste 4.No worrying 5.Pure & just life 6.Serve society 8.Other 9.D.K	9.1 11.0 35.4 13.3 24.0 3.0 1.0 3.3	8.1 5.5 36.9 29.3 8.9 3.7 3.4 4.2	2.8 15.6 32.4 21.5 15.6 2.1 1.6 8.4	3.9 3.3 43.8 21.1 19.1 1.7 4.0 3.2	7.3 3.6 38.0 42.0 5.0 1.7 1.3 1.1	6.1 7.2 33.2 37.1 11.2 2.8 0.8 1.5	13.8 1.7 37.3 32.0 5.9 2.9 1.2 5.2	6.4 1.3 47.5 28.8 10.2 2.3 0.4 3.1	13.9 3.1 43.1 26.5 4.9 3.1 1.1 4.4
23 2.3f 162	Quality of life in the area where you live	1.Very satisfied 2.Fairly satisfied 3.Fairly dissatisfied 4.Very dissatisfied 8.Other 9.D.K	12.1 65.3 15.2 5.9 - 1.5	23.9 60.1 12.2 3.7 - 0.1	21.8 65.9 9.7 0.9 - 1.7	42.0 49.0 5.4 2.6 - 1.0	28.2 57.9 8.9 4.9 - 0.1	40.0 46.3 9.1 3.9 - 0.7	36.2 43.4 15.4 4.3 0.0 0.6	29.5 46.5 17.7 4.9 0.2 1.2	
24.a 5.80a 163	Safety in neighborhood: Burglary	1.A serious problem 2.A problem 3.Not a serious problem 4.Not a problem at all 8.Other 9.D.K	28.1 29.1 26.5 15.6 - 0.7	29.5 39.4 15.2 15.2 - 0.7	2.8 12.9 38.3 42.2 - 3.8	8.3 20.9 42.4 26.4 - 2.0	14.0 26.2 42.1 15.9 - 1.8	8.6 16.2 44.8 29.6 - 0.8	2.4 6.3 34.3 53.6 0.1 3.4	2.5 8.7 36.8 48.5 0.3 3.3	
24.b 5.80b 164	Personal safety	1.A serious problem 2.A problem 3.Not a serious problem 4.Not a problem 8.Other 9.D.K	18.0 19.1 31.2 30.4 - 1.2	43.5 30.0 10.3 15.0 - 1.2	1.4 7.1 31.3 50.5 - 9.7	3.9 11.2 34.2 46.8 - 4.0	7.0 14.0 43.5 33.8 - 1.6	4.7 8.2 37.9 48.2 - 1.0	2.7 6.3 32.0 55.0 0.1 3.9	2.8 8.3 34.3 50.7 0.3 3.6	
25 2.82 165	Idle grasshopper and diligent ant	1.Ant sends him away 2.Ant shares food 8.Oter 9.D.K	29.2 66.2 0.5 4.1	13.9 78.8 5.5 1.8	12.9 77.8 1.3 8.0	17.8 73.4 1.8 7.0	12.6 82.6 0.1 4.7	11.6 85.1 0.6 2.7	15.3 75.0 0.3 9.4	15.6 74.3 0.6 9.4	
26.a 2.7 166	The most important thing	1.Answered 9.D.K		99.7 0.3	95.9 4.1		99.5 0.5		92.3 7.7	92.7 7.3	
26.b 2.7b 167	Other important things	1.Answered 9.D.K		96.5 3.5	89.4 10.6		97.0 3.0		71.2 28.8	70.6 29.4	

國際比較

Q No	Item	Category	1992	1987	1987	1993	1987	1988	1988	1988	1989
			ITALY 1048	FRANCE 1013	FRG 1000	NL 1083	UK 1043	USA 1563	JPN-A A	JPN-B B	JPN-C C
27 5.91 168	Importance: Immediate family and children	1. Not important at all	0.6	2.0	1.6	0.8	1.2	0.6	0.6	1.0	
		2.	-	1.0	1.2	0.5	0.2	0.0	0.2	0.3	
		3.	0.5	0.5	0.9	1.4	0.3	0.4	0.4	0.6	
		4.	1.0	1.6	4.6	2.1	1.1	0.9	2.6	3.3	
		5.	1.8	4.1	5.4	4.5	2.2	2.0	4.4	3.9	
		6.	5.4	8.6	14.8	9.0	4.5	3.9	7.5	8.1	
		7. Very important	90.4	80.1	66.9	80.1	88.9	91.6	82.6	82.1	
		8. Other	-	-	-	-	-	-	0.2	0.3	
		9. D.K	0.4	2.2	4.6	1.6	1.6	0.6	1.5	0.4	
27 5.81b 169	Importance: Career and work	1. Not important at all	5.4	4.7	8.5	6.0	16.5	10.4	1.4	2.0	
		2.	3.3	1.8	7.3	3.4	2.9	2.3	0.9	1.9	
		3.	5.0	1.8	10.7	5.2	4.1	6.0	1.3	2.3	
		4.	10.4	4.7	20.0	15.1	14.2	11.5	8.4	9.0	
		5.	21.1	15.2	22.3	22.9	15.1	18.1	12.3	12.3	
		6.	22.9	26.7	17.1	22.8	15.5	17.4	17.6	17.6	
		7. Very important	30.8	43.5	12.0	16.1	26.4	29.8	54.6	52.6	
		8. Other	-	-	-	-	-	-	0.5	0.1	
		9. D.K	1.0	1.6	2.1	8.5	5.4	4.7	3.1	2.3	
27 5.81c 170	Importance: Free time and relaxation	1. Not important at all	2.1	1.5	0.3	0.6	3.4	1.9	0.6	0.9	
		2.	3.5	2.0	1.5	1.4	3.1	2.4	1.1	1.2	
		3.	7.1	6.5	2.7	2.2	6.8	5.7	3.1	3.3	
		4.	16.1	16.2	11.8	10.7	19.0	15.0	17.0	15.5	
		5.	25.0	23.6	25.4	23.9	25.9	24.6	24.2	23.0	
		6.	23.1	23.9	30.1	30.0	19.0	22.5	20.8	21.7	
		7. Very important	21.9	25.8	27.0	29.2	21.5	27.0	31.2	33.4	
		8. Other	-	-	-	-	-	-	0.1	0.2	
		9. D.K	1.2	0.6	1.2	1.9	1.4	0.8	1.9	0.7	
27 5.81d 171	Importance: Friends	1. Not important at all	1.2	1.7	0.4	0.8	1.2	1.0	0.4	0.6	
		2.	2.0	3.5	0.5	1.1	1.9	1.7	0.7	0.8	
		3.	4.4	7.0	4.2	1.9	5.8	4.0	1.5	2.2	
		4.	12.0	14.7	9.4	7.8	15.3	10.4	8.7	10.7	
		5.	22.5	23.7	21.2	18.1	21.7	20.0	20.4	19.0	
		6.	29.9	24.7	34.2	35.1	27.1	26.6	27.5	28.4	
		7. Very important	27.7	24.7	29.0	34.4	26.7	36.0	39.4	38.0	
		8. Other	-	-	-	-	-	-	0.0	0.1	
		9. D.K	0.3	0.1	1.1	0.6	0.3	0.3	1.5	0.3	
27 5.81e 172	Importance: Parents and other relative	1. Not important at all	0.6	1.8	1.7	1.4	3.3	1.2	0.5	0.9	
		2.	0.7	2.0	2.1	1.6	2.4	0.8	0.4	0.4	
		3.	1.4	4.2	4.9	3.0	3.4	2.4	1.0	1.2	
		4.	3.3	8.5	9.3	5.7	6.5	4.2	5.1	5.9	
		5.	8.7	14.4	17.1	13.7	10.6	9.5	10.6	10.1	
		6.	20.9	24.1	29.9	25.7	19.4	18.0	22.6	23.1	
		7. Very important	63.8	44.1	33.6	46.5	52.6	62.3	58.1	58.0	
		8. Other	-	-	-	-	-	-	0.0	-	
		9. D.K	0.6	0.9	1.4	2.4	1.8	1.6	1.6	0.4	

國際比較

Q No	Item	Category	1992	1987	1987	1993	1987	1988	1988	1988	1989		
			ITALY 1048	FRANCE: 1013	FRG 1000	NL 1083	UK 1043	USA 1563	JPN-A A	JPN-B B	JPN-C C		
27 5.81f 173	Importance: Religion and church	1. Not important at all	10.1	25.8	15.6	33.0	20.4	5.7	12.4	14.2			
		2.	6.5	11.8	13.8	11.4	12.8	4.2	8.7	9.1			
		3.	8.2	12.2	15.3	9.8	15.0	5.3	13.1	12.0			
		4.	11.1	14.7	16.6	11.7	15.5	8.8	24.5	24.4			
		5.	18.3	12.2	16.4	9.0	11.8	13.5	15.9	14.9			
		6.	19.5	11.1	11.9	8.9	10.5	15.0	7.8	8.7			
		7. Very important	25.8	11.9	9.4	14.8	13.8	47.2	13.8	13.1			
		8. Other	-	-	-	-	-	-	0.2	0.2			
		9. D.K	0.6	0.2	1.0	1.4	0.2	0.3	3.6	3.4			
27 5.81g 174	Importance: Politics	1. Not important at all	25.1	36.2	9.8	14.8	24.2	11.5	2.8	2.3			
		2.	14.0	14.7	11.1	10.4	13.6	8.0	5.3	4.3			
		3.	14.3	13.5	17.0	16.8	16.9	12.2	8.9	10.1			
		4.	17.1	12.0	21.3	24.1	19.3	21.9	24.5	26.5			
		5.	12.3	11.7	21.2	16.8	13.9	21.2	20.9	21.0			
		6.	9.4	6.3	12.9	9.6	5.8	12.3	15.0	14.4			
		7. Very important	6.1	5.0	5.9	5.6	6.0	12.2	18.2	17.7			
		8. Other	-	-	-	-	-	-	0.1	0.3			
		9. D.K	1.7	0.4	0.8	1.8	0.4	0.7	4.4	3.3			
28 2.3c 175	Satisfaction with family life	1. Completely satisfied	38.1	40.7	30.2	48.3	50.1	42.8	43.5	45.3			
		2. Somewhat satisfied	50.5	26.9	51.2	39.3	39.2	38.3	38.7	38.8			
		3. Neither satisfied	8.2	16.6	12.7	4.8	6.1	11.2	10.4	11.2			
		4. Somewhat dissatisfied	2.1	7.5	2.9	2.1	2.4	6.0	4.6	3.6			
		5. Completely dissatisfied	0.7	7.2	0.3	0.9	0.9	1.2	1.2	0.5			
		8. Other	-	-	-	-	-	0.1	0.1	-			
		9. D.K	0.5	1.1	2.7	4.5	1.2	0.5	1.4	0.5			
		29 2.82 176	Satisfaction with life	1. Completely satisfied	16.6	21.0	17.2	34.4	31.1	31.2	32.8	32.2	
				2. Somewhat satisfied	55.4	30.8	59.3	52.5	54.5	48.6	41.4	44.9	
3. Neither satisfied	18.4			31.5	16.5	6.8	7.5	12.3	13.2	12.6			
4. Somewhat dissatisfied	6.9			10.3	4.3	4.1	4.7	6.7	9.6	8.2			
5. Completely dissatisfied	2.4			5.8	0.8	1.0	1.8	0.8	2.7	2.1			
8. Other	-			-	-	-	-	0.1	-	-			
9. D.K	0.3			0.6	1.9	1.1	0.5	0.4	0.3	0.1			
30 7.19 177	Success: Ability or Luck			1. Ability & effort	48.4	63.7	57.1	46.0	56.1	69.9	52.7	51.9	
				2. Luck and chance	36.7	21.0	28.2	18.3	32.1	23.2	35.2	35.8	
		3. Both	-	-	-	33.0	-	-	-	-			
		8. Other	4.8	12.7	7.0	1.1	8.4	4.8	3.6	3.3			
		9. D.K	10.1	2.6	7.7	3.6	3.4	2.2	8.5	8.9			
31 4.81 214	Attitude towards governmental assistance	1. Enable them to live	63.7	49.9	57.5	46.3	59.4	46.5	53.0	52.9			
		2. Take away responsi-	23.9	35.1	25.9	14.1	29.1	42.4	26.9	25.8			
		3. Both	-	-	-	29.5	-	-	-	-			
		8. Other	1.1	8.9	2.1	3.3	8.1	7.4	1.9	2.9			
		9. D.K	11.3	6.1	14.5	6.7	3.3	3.7	18.1	18.5			
32 7.1 215	Science and loss of human feeling	1. Agree	60.0	60.6	68.6	68.5	69.8	69.0	44.6	44.4	44.0		
		2. Disagree	22.2	29.0	14.5	17.5	20.2	24.2	9.9	11.9	14.3		
		3. Undecided	13.4	7.0	13.2	10.8	6.6	5.6	39.3	37.8	37.2		
		8. Other	-	-	-	-	-	0.1	0.0	-	-		
		9. D.K	4.4	3.4	3.7	3.2	3.4	1.1	6.1	5.9	4.6		

國際比較

Q No	Item	Category	1992	1987	1987	1993	1987	1988	1988	1988	1988
			ITALY	FRANCE	FRG	NL	UK	USA	JPN-A	JPN-B	JPN-C
			1048	1013	1000	1083	1043	1563	2265	1017	1537
33	Teaching children money is important	1. Agree	24.3	40.9	26.2	15.4	21.1	16.6	47.8	61.0	48.0
4.5-		2. Disagree	65.8	53.0	55.6	72.0	73.8	78.4	18.7	12.9	22.1
216		3. Undecided	8.1	2.9	15.1	9.1	3.7	4.1	30.7	23.0	27.7
		8. Other	-	2.2	0.3	-	0.6	0.3	0.1	0.2	0.1
		9. D.K	1.7	1.1	2.8	3.4	0.8	0.6	2.7	2.9	2.1
34	Leave it up to political leaders	1. Agree	50.1	37.9	7.7	8.3	13.0	7.4	13.1	12.0	12.9
8.1b		2. Disagree	34.7	42.1	73.4	83.1	80.2	80.2	61.6	63.0	62.2
217		3. Undecided	9.5	12.1	16.2	5.7	5.3	3.0	19.0	18.7	20.0
		8. Other	-	-	-	-	-	0.3	0.1	0.2	0.4
		9. D.K	5.6	7.9	2.7	2.9	1.4	1.2	6.2	6.1	4.5
35	Custom vs. conscience	1. Go ahead	61.0	75.2	52.7	65.5	69.1	69.9	19.2	18.2	21.9
2.1		2. Follow custom	18.5	14.6	16.9	18.2	20.6	19.4	25.7	26.2	22.7
210		3. Undecided	17.6	5.9	27.1	12.1	8.3	5.5	52.0	52.1	52.1
		8. Other	-	0.3	0.1	0.9	0.3	0.2	0.1	0.3	0.1
		9. D.K	3.0	3.9	3.2	3.3	1.6	1.0	3.0	3.0	3.2
36	Mechanization and human feeling	1. Agree	62.1	69.0	20.8	45.3	71.9	76.1	29.6	32.4	31.8
7.2		2. Disagree	22.9	22.1	52.7	37.2	19.8	19.0	31.3	30.2	32.0
219		3. Undecided	9.9	4.6	19.1	9.6	5.6	3.5	32.4	30.9	31.6
		8. Other	-	-	-	-	-	0.1	0.0	-	0.1
		9. D.K	5.1	4.2	7.4	7.8	2.7	1.3	6.6	6.6	4.6
37	Home is relaxing place	1. Yes	73.6	65.4	56.1	31.6	50.7	44.8	80.3	78.5	
4.30		2. No	24.7	29.7	37.5	65.5	48.0	54.4	16.3	18.2	
220		8. Other	-	3.3	2.0	0.8	0.4	0.1	0.6	0.3	
		9. D.K	1.7	1.6	4.4	2.1	0.9	0.7	2.8	3.0	
38	Marriage is permanent	1. Permanent	24.8	25.9	9.9	24.2	43.1	45.2	35.4	35.2	
4.32		2. Broken under serious	39.0	33.3	36.5	29.6	39.3	41.3	37.7	38.5	
221		3. Broken by agreement	34.4	37.4	44.7	42.8	16.6	12.2	19.5	19.0	
		8. Other	-	-	-	-	-	-	0.7	0.6	
		9. D.K	1.7	3.5	8.9	3.4	1.0	1.3	6.8	6.7	
39	Housework and child care	1. Women's work	15.1	4.4	12.4	7.1	12.3	6.3	13.6	14.7	
4.31		2. Some of work	35.5	25.4	35.0	31.7	34.1	33.1	53.7	61.0	
222		3. Men and women	48.5	68.6	48.3	54.1	51.2	59.1	28.3	20.9	
		8. Other	-	1.1	2.9	3.7	1.9	-	0.8	1.0	
		9. D.K	1.0	0.5	1.4	3.4	0.5	1.5	3.5	2.4	
40	Rumor about teacher	1. Tell the truth	77.1	64.2	58.3	76.6	74.9	90.3	55.5	55.2	61.0
4.4		2. Deny it	13.3	21.4	18.8	6.2	8.3	2.7	24.6	24.2	20.4
223		8. Other	8.2	8.1	4.8	7.8	11.6	3.8	3.8	4.6	3.3
		9. D.K	9.4	6.3	18.1	9.3	5.2	3.1	16.2	16.0	15.3
41	Benefactor death-bed	1. Go home	74.8	62.6	58.0	70.1	62.4	66.3	45.7	42.7	44.4
5.1		2. Attend the meeting	16.4	22.8	22.2	13.9	27.4	24.4	37.7	40.5	39.1
224		8. Other	1.3	7.2	4.6	8.5	4.7	5.0	1.3	1.5	1.6
		9. D.K	7.4	7.4	15.2	7.5	5.5	4.4	15.4	15.3	14.9
42	Real father death-bed	1. Go home	79.4	65.6	61.5	69.3	73.5	64.4	45.4	47.2	47.6
5.1b		2. Attend the meeting	13.2	20.0	18.3	14.0	18.7	25.7	40.6	39.0	38.6
225		8. Other	1.3	6.8	4.5	8.5	4.1	4.7	1.2	0.9	1.2
		9. D.K	6.1	7.5	15.7	8.1	3.6	5.2	12.8	12.9	12.6

國際比較

Q No	Item	Category	1992	1987	1987	1993	1987	1988	1988	1988	1988
			ITALY 1048	FRANCE 1013	FRG 1000	NL 1083	UK 1043	USA 1563	JPN-A 2265	JPN-B 1017	JPN-C 1537
43 2.5 226	Man and nature	1.Follow nature	66.7	22.0	36.8	20.5	22.5	25.5	36.6	36.6	42.7
		2.Make use of nature	24.2	66.0	46.6	64.4	67.1	66.2	47.9	46.4	43.7
		3.Conquer nature	4.8	6.4	6.7	1.8	4.5	4.5	5.3	6.9	5.3
		8.Other	0.2	2.5	1.4	6.6	0.7	1.0	0.7	0.7	0.4
		9.D.K	4.1	3.1	8.5	6.7	5.2	2.8	9.5	9.5	7.9
44 7.4 227	Improve the country or make people happy	1.Individual->Country	29.2	23.8	23.0	34.0	24.8	27.1	34.0	32.6	32.1
		2.Country->Individual	31.6	23.3	37.4	20.6	31.6	29.3	22.4	22.1	23.7
		3.Country=Individual	33.3	46.8	28.4	32.0	37.7	36.7	36.0	37.5	37.7
		8.Other	0.4	-	-	-	-	2.3	0.2	-	0.1
		9.D.K	5.5	6.1	11.2	13.4	5.8	5.6	7.3	7.8	6.4
45 5.1D 228 -233	Important thing	1.Filial piety	78.6	52.4	55.0	66.5	63.4	69.4	77.7	73.2	76.1
		2.Repaying obligations	30.2	38.2	15.0	14.6	49.6	27.6	56.8	45.0	58.4
		3.Individual rights	46.9	47.8	65.9	58.9	46.4	62.3	25.2	37.7	23.8
		4.Individual freedom	42.3	57.7	57.4	55.3	36.1	33.1	32.8	36.6	36.4
		5.Other answer	0.3	0.3	1.8	1.6	1.4	0.5	-	-	-
9.D.K	0.6	2.1	2.3	0.9	1.4	-	-	-	1.8		
46 5.6h 236	Desirable person: efficient vs. friendly	1.Friendly	65.3	62.5	77.9	87.4	84.7	78.6	61.5	62.9	62.3
		2.Efficient	26.4	30.7	12.6	4.8	10.9	15.2	11.3	10.3	11.4
		8.Other	-	-	-	-	-	2.1	4.3	4.4	6.1
		9.D.K	8.3	6.9	9.5	7.8	4.4	4.0	23.0	22.3	20.2
		9.D.K	8.3	6.9	9.5	7.8	4.4	4.0	23.0	22.3	20.2
47 2.2b 237	Consensus vs. principle	1.Stress own principle	50.5	29.4	28.3	40.3	44.4	47.6	20.2	36.9	21.0
		2.Stress consensus	44.8	65.7	62.4	51.3	52.1	47.1	68.3	52.9	69.3
		8.Other	0.1	-	-	-	-	1.4	1.3	2.5	1.2
		9.D.K	4.7	4.8	9.3	8.4	3.5	3.9	10.3	7.8	8.5
		9.D.K	4.7	4.8	9.3	8.4	3.5	3.9	10.3	7.8	8.5
48 5.1c1 238	Employment examination: Relative	1.Highest grade	67.3	58.8	44.5	60.6	72.6	65.9	60.4	62.1	62.6
		2.Relative	24.7	34.9	39.8	28.5	21.3	29.5	22.8	21.8	22.3
		8.Other	0.6	1.2	2.1	3.2	2.0	1.7	1.0	1.4	1.2
		9.D.K	7.4	5.0	13.6	7.7	4.1	2.9	15.8	14.7	13.9
		9.D.K	7.4	5.0	13.6	7.7	4.1	2.9	15.8	14.7	13.9
49 5.1c2 239	Employment examination: son of benefactor	1.Highest grade	62.9	50.2	36.2	68.2	68.6	64.9	40.6	43.4	41.1
		2.Son of benefactor	27.6	43.2	46.9	19.4	23.9	30.4	42.3	40.2	43.4
		8.Other	0.7	1.0	3.4	3.0	2.1	1.5	1.2	1.4	1.3
		9.D.K	8.9	5.5	13.5	9.3	5.5	3.3	15.9	15.0	14.2
		9.D.K	8.9	5.5	13.5	9.3	5.5	3.3	15.9	15.0	14.2
50 5.6 240	Type of boss preferred	1.Non-paternalistic	45.0	30.9	22.8	16.8	39.9	44.9	9.0	10.7	10.3
		2.Paternalistic	48.2	64.1	68.6	78.1	56.7	51.4	80.3	77.8	80.2
		8.Other	0.1	-	-	0.4	-	0.4	0.1	0.6	0.5
		9.D.K	6.7	5.0	8.6	4.7	3.5	3.3	10.6	10.9	9.0
		9.D.K	6.7	5.0	8.6	4.7	3.5	3.3	10.6	10.9	9.0
51 2.12 241	Are people helpful most of the time	1.Try to be helpful	20.7	19.2	42.8	31.9	52.9	53.6	31.2	29.4	32.0
		2.Look out for themselves	75.4	77.2	48.2	54.4	42.8	43.6	54.2	56.5	51.5
		8.Other	-	2.2	2.2	6.8	2.3	1.1	1.5	1.1	2.0
		9.D.K	3.9	1.4	6.8	6.8	2.0	1.7	13.2	13.0	14.5
		9.D.K	3.9	1.4	6.8	6.8	2.0	1.7	13.2	13.0	14.5
52 2.12b 242	Are most people fair	1.Take advantage	61.1	57.7	29.9	42.9	37.5	40.4	32.3	28.1	33.8
		2.Try to be fair	30.2	35.8	54.9	48.1	57.8	56.0	52.8	56.0	52.8
		8.Other	0.1	3.0	2.6	2.5	1.9	1.2	0.9	0.7	1.4
		9.D.K	8.7	3.6	12.6	6.5	2.8	2.4	14.0	15.1	12.1
		9.D.K	8.7	3.6	12.6	6.5	2.8	2.4	14.0	15.1	12.1

國際比較

Q No	Item	Category	1992	1987	1987	1993	1987	1988	1988	1988	1988
			ITALY 1048	FRANCE 1013	FRG 1000	NL 1083	UK 1043	USA 1563	JPN-A 2265	JPN-B 1017	JPN-C 1537
53 2.12c 243	Are most people trustworthy	1.Can be trusted	13.9	22.8	37.8	47.5	36.3	42.4	39.1	34.2	48.9
		2.Cannot be trusted	83.9	73.8	47.0	44.4	60.0	54.5	46.0	53.4	46.0
		8.Other	-	1.8	4.6	3.8	1.5	1.3	2.8	1.8	2.3
		9.D.K	2.2	1.6	10.6	4.3	2.1	1.8	12.1	10.6	10.8
54 2.83 244	Life: Most people are helpful	1.Strongly agree	3.1	26.4	7.7	12.2	12.6	12.7	42.2	46.6	
		2.Agree to some extent	18.8	46.2	39.6	48.4	67.9	62.7	46.8	43.1	
		3.Disagree to some ext	55.0	22.5	35.3	25.2	16.0	20.0	4.4	3.5	
		4.Strongly disagree	21.9	4.1	14.1	12.9	2.9	4.0	1.2	0.5	
		8.Other	-	-	-	-	-	-	0.1	0.4	
		9.D.K	1.2	0.8	3.3	1.3	0.7	0.6	5.3	5.9	
54 2.83b 245	Life: Part of community	1.Strongly agree	3.0	15.3	19.3	23.7	12.3	21.4	23.9	22.5	
		2.Agree to some extent	22.7	32.6	48.4	36.1	43.0	45.7	46.8	45.8	
		3.Disagree to some ext	48.6	28.8	22.7	22.3	28.0	23.2	13.8	14.8	
		4.Strongly disagree	24.0	18.9	6.5	15.1	14.7	8.2	4.5	6.2	
		8.Other	-	-	-	-	-	-	0.3	0.5	
		9.D.K	1.8	4.4	3.1	2.7	2.0	1.5	10.7	10.1	
54 2.83c 246	Life: People live for today	1.Strongly agree	10.8	9.5	11.1	24.4	25.6	20.9	12.3	13.9	
		2.Agree to some extent	27.9	15.9	28.0	30.3	46.2	34.2	31.1	27.4	
		3.Disagree to some ext	31.2	27.8	34.6	21.0	19.9	28.9	28.3	29.6	
		4.Strongly disagree	28.8	45.5	24.4	23.0	7.7	14.9	18.4	20.1	
		8.Other	-	-	-	-	-	-	0.5	0.2	
		9.D.K	1.3	1.3	1.9	1.4	0.6	1.1	9.4	8.8	
54 2.83d 247	Life: Way of earning money is important than amount	1.Strongly agree	41.3	37.3	31.1	50.0	30.2	40.8	18.8	20.6	25.2
		2.Agree to some extent	35.2	39.5	41.3	29.5	45.3	35.0	31.9	30.1	34.0
		3.Disagree to some ext	12.9	11.7	17.7	8.0	14.4	13.2	20.8	20.3	12.9
		4.Strongly disagree	7.9	8.2	5.8	9.8	6.5	9.3	11.3	12.4	7.7
		8.Other	-	-	-	-	-	-	0.3	0.5	0.3
		9.D.K	2.7	3.3	4.1	2.7	3.6	1.7	17.0	16.2	19.8
54 2.83e 248	Life: People feel lonely	1.Strongly agree	10.2	15.2	5.7	8.4	9.2	8.4	9.8	8.7	
		2.Agree to some extent	21.6	25.2	25.1	14.0	23.2	26.5	29.5	32.8	
		3.Disagree to some ext	30.2	26.9	27.5	14.6	28.3	30.8	30.5	30.3	
		4.Strongly disagree	35.8	32.1	38.4	61.3	38.2	33.3	19.9	18.5	
		8.Other	-	-	-	-	-	-	0.5	0.6	
		9.D.K	2.2	0.7	3.3	1.7	1.2	1.1	9.8	9.1	
55 7.36 249	Improvement of everyday life through science	1.A lot	52.5	33.4	37.2	21.6	50.4	61.3	47.6	47.8	
		2.A little bit	33.2	52.1	48.3	63.1	39.6	33.7	39.2	39.7	
		3.Not at all	7.6	10.2	8.7	8.1	7.6	3.3	6.6	5.9	
		8.Other	-	-	-	-	-	-	0.1	0.1	
		9.D.K	6.7	4.3	5.8	7.2	2.4	1.8	6.4	6.5	
56 7.33 250	Computers change our lives	1.Desirable thing	47.7	31.8	14.7	19.0	15.9	33.6	30.5	31.5	
		2.Inevitable thing	34.4	51.0	55.0	64.2	63.1	51.4	52.8	50.4	
		3.Dangerous thing	5.8	12.5	25.6	11.1	16.7	11.6	6.6	8.1	
		8.Other	-	-	-	-	-	-	0.3	0.6	
		9.D.K	12.1	4.6	4.7	5.7	4.3	3.5	9.8	9.4	

國際比較

Q No	Item	Category	1992 ITALY 1048	1987 FRANCE 1013	1987 FRG 1000	1993 NL 1083	1987 UK 1043	1988 USA 1563	1988 JPN-C 2265	1988 JPN-B 1817	1988 JPN-C 1537
57 7.83 251	Some illness treated by methods other than modern medicine	1.Strongly agree	13.9	23.0	29.1	30.1	22.7	20.7	21.6	21.7	
		2.Agree to some extent	35.5	39.1	48.1	40.2	53.0	50.9	50.0	47.7	
		3.Disagree to some extent	27.3	15.5	13.4	11.1	11.4	17.3	17.3	18.1	
		4.Strongly disagree	12.0	19.2	5.9	8.9	6.2	6.9	4.9	6.8	
		8.Other	-	-	-	-	-	-	0.1	0.2	
		9.D.K	11.3	3.2	3.5	9.8	6.6	4.2	6.1	6.3	
57 7.84 252	Science permits understanding the human mind	1.Strongly agree	15.5	26.8	9.1	11.1	12.4	18.6	2.5	2.6	
		2.Agree to some extent	36.8	37.9	25.3	20.9	37.3	39.2	11.3	11.3	
		3.Disagree to some extent	24.1	17.0	26.2	18.8	22.3	23.2	54.1	52.5	
		4.Strongly disagree	14.7	14.1	32.4	41.6	21.2	15.1	24.0	25.8	
		8.Other	-	-	-	-	-	-	0.1	0.0	
		9.D.K	8.9	4.2	7.0	7.7	6.8	3.9	8.0	7.9	
57 7.85 253	Resolution of social and economic problems through science	1.Strongly agree	13.5	15.5	7.3	7.7	9.5	12.2	2.7	2.4	
		2.Agree to some extent	38.8	33.8	36.7	27.5	33.3	34.7	12.4	11.7	
		3.Disagree to some extent	28.8	25.4	27.8	22.4	28.5	30.5	55.1	57.6	
		4.Strongly disagree	11.2	21.7	23.0	35.4	23.2	19.7	18.8	18.3	
		8.Other	-	-	-	-	-	-	0.1	0.0	
		9.D.K	7.6	3.7	5.2	7.0	5.6	2.9	10.9	10.0	
58 7.86 254	Safe method for nuclear wastes disposal	1.Very likely	34.3	28.4	17.1	24.3	33.7	32.2	33.4	33.2	
		2.Possible	47.4	50.5	42.3	40.1	44.3	50.0	35.8	36.8	
		3.Not at all likely	10.8	15.6	36.0	26.4	18.5	14.8	16.1	14.4	
		8.Other	-	-	-	-	-	-	0.2	0.1	
			9.D.K	7.5	5.4	4.6	9.2	3.5	2.9	14.4	15.5
58 7.86b 255	Cure for cancer	1.Very likely	62.2	68.3	36.5	44.0	63.5	61.9	65.1	64.9	
		2.Possible	31.6	26.4	46.8	43.8	32.2	32.9	24.3	23.6	
		3.Not at all likely	3.4	3.0	12.7	7.5	3.3	4.2	5.3	4.9	
		8.Other	-	-	-	-	-	-	0.2	0.2	
			9.D.K	2.8	2.4	4.0	4.8	1.1	1.0	5.2	6.5
58 7.86c 256	Cure for senility	1.Very likely	24.6	23.4	16.8	26.8	11.7	25.0	28.7	26.5	
		2.Possible	39.4	44.6	40.0	42.6	38.4	51.0	44.5	45.4	
		3.Not at all likely	28.6	21.4	37.1	22.2	45.6	20.3	18.0	16.9	
		8.Other	-	-	-	-	-	-	0.1	0.2	
			9.D.K	7.3	10.6	6.1	8.5	4.2	3.7	8.6	11.0
58 7.86d 257	Living in space stations	1.Very likely	12.1	23.4	35.6	20.7	32.7	41.3	19.3	20.6	
		2.Possible	28.1	36.7	37.4	29.8	34.0	36.1	32.1	33.5	
		3.Not at all likely	51.8	31.4	22.2	40.3	28.9	20.2	33.2	29.5	
		8.Other	-	-	-	-	-	-	0.3	0.3	
			9.D.K	8.0	8.5	4.8	9.2	4.4	2.5	15.1	16.0
59 7.34 258	Energy conservation	1.Very important	65.1	33.1	56.2	49.2	50.9	66.0	41.9	39.0	
		2.Important	29.3	54.2	39.2	44.0	39.4	30.4	47.5	50.7	
		3.Not very important	3.1	10.0	3.4	4.2	6.3	2.8	5.7	4.8	
		4.Not at all important	0.3	1.9	0.8	0.3	1.4	0.6	0.5	1.2	
		8.Other	-	-	-	-	-	-	0.0	0.1	
		9.D.K	2.2	0.9	1.2	2.3	1.9	0.3	4.3	4.1	

國際比較

Q No	Item	Category	1992 ITALY 1048	1987 FRANCE 1013	1987 FRG 1000	1993 NL 1083	1987 UK 1043	1988 USA 1563	1988 JPN-A 2265	1988 JPN-B 1017	1988 JPN-C 1537
60 7.35 259	Environmental preservation	1. Very important 2. Important 3. Not very important 4. Not at all important 8. Other 9. D.K	72.9 23.5 1.8 0.7 - 1.1	69.6 28.1 1.2 0.4 - 0.7	74.2 24.3 0.7 0.2 - 0.6	70.1 25.9 1.8 0.2 - 2.0	74.0 23.2 1.5 0.1 - 1.2	84.2 14.7 0.6 0.2 - 0.3	45.6 45.7 4.7 0.2 - 3.8	44.1 47.8 4.8 0.3 - 3.0	
61 9.80 260	Culture	1. Answered 9. D.K		79.2 20.8	77.6 22.4		73.7 26.3		58.4 41.6 67.7	59.6 40.4 66.3	
62.a 3.1 261	Religious faith	1. Yes 2. No 9. D.K	87.8 12.0 0.2	64.4 34.8 0.8	74.8 21.8 3.4	57.1 38.7 4.2	64.2 34.3 1.4	85.3 13.9 0.8	36.5 63.5 -	34.7 65.3 -	36.4 63.6 -
62.b 3.1b 262	Religion	1. Protestant 2. Catholic 3. Jewish 4. Buddhist 5. Moslem 6. Shinto 7. Christian 8. Other 9. D.K 0. missing	0.2 86.9 0.1 - - - - 0.6 - 12.2	1.6 60.3 0.5 - 0.9 - - 0.8 0.3 35.6	33.7 38.3 - - - - - 2.6 0.2 25.2	22.7 23.3 - - - - - 7.4 3.7 42.9	50.0 8.4 0.2 0.1 0.9 - - 4.2 0.4 35.8	54.8 24.4 1.2 - - - - 2.5 2.5 14.7	- - - 28.5 - 2.1 1.2 3.2 1.5 63.5	- - - 26.2 - 1.5 1.7 3.5 1.9 65.3	
63 3.2 263	Religious attitude	1. Important 2. Not important 8. Other 9. D.K	86.0 10.0 0.2 3.8	62.5 33.2 2.2 2.2	57.6 34.3 1.6 6.5	49.6 39.2 3.8 7.4	59.5 36.3 3.4 1.8	87.3 10.4 1.0 1.3	75.5 11.1 1.1 12.4	76.6 10.4 0.6 12.4	76.8 10.1 0.8 12.3
64 3.3 264	All Religions Same	1. Agree 2. Disagree 8. Other 9. D.K	60.9 27.7 - 11.5	57.8 33.0 1.0 8.2	61.8 28.7 0.4 17.1	70.1 22.3 1.5 6.1	71.2 24.5 0.9 3.4	56.5 39.9 1.0 2.7	63.3 16.4 0.5 19.9	62.4 14.3 0.3 23.0	
65 8.81 255 256	Political stance	01. Left 02. 03. 04. 05. 06. 07. 08. 09. 10. Right 00. Other 99. D.K	3.1 3.9 7.3 10.5 17.5 12.2 4.4 3.0 1.0 3.1 12.6 21.6	3.3 3.8 10.9 11.0 28.7 9.7 7.6 7.0 1.5 1.6 - 15.1	2.1 3.5 11.8 13.3 19.6 13.4 10.6 7.2 2.1 1.4 6.7 8.3	2.3 2.9 9.3 13.4 23.5 14.1 10.6 6.7 2.0 3.0 2.7 9.4	3.0 1.4 4.0 7.2 30.0 12.8 11.7 12.3 2.7 5.2 - 9.8	2.9 2.6 7.7 6.8 23.9 13.7 12.2 13.8 4.7 7.3 - 4.5	1.4 1.0 4.2 6.0 27.3 15.0 10.3 9.9 3.2 4.6 0.6 16.5	1.1 0.9 4.9 5.3 27.9 14.8 8.6 11.7 2.6 4.7 1.0 16.5	
66 8.82 267	Interest in politics	1. A great deal 2. To some extent 3. Not much 4. Not at all 9. D.K	3.1 22.6 32.2 41.0 1.0	8.8 30.0 31.4 29.1 0.7	10.7 38.8 38.4 10.3 1.8	12.7 47.9 23.2 13.8 2.5	10.0 40.8 31.6 17.0 0.6	21.7 47.7 21.6 8.6 0.5	11.3 45.9 34.7 6.2 1.8	11.6 43.0 37.3 6.4 1.8	

國際比較

Q No	Item	Category	1992	1987	1987	1993	1987	1988	1988	1988	1988
			ITALY	FRANCE	FRG	NL	UK	USA	JPN-A	JPN-B	JPN-C
			1048	1013	1000	1083	1043	1563	2265	1017	1537
67 8.2e 268	Democracy	1.Favourable	67.2	70.9	86.1	81.5	65.8	83.6	52.1	50.9	
		2.It depends	12.6	17.2	11.0	6.9	22.1	11.2	37.7	39.0	
		3.Unfavourable	10.4	4.9	1.5	1.5	5.0	2.9	1.7	1.0	
		8.Other	-	-	-	-	-	-	0.1	0.1	
		9.D.K	9.8	7.0	1.4	10.1	7.1	2.3	8.4	8.9	
67 8.2f 269	Capitalism	1.Favourable	13.9	14.0	19.1	13.3	23.1	41.5	27.3	26.6	
		2.It depends	27.0	36.9	43.2	24.4	37.5	30.9	48.3	48.6	
		3.Unfavourable	42.1	42.5	32.2	48.8	29.7	20.9	10.1	10.2	
		8.Other	-	-	-	-	-	-	-	-	
		9.D.K	17.0	6.5	5.5	13.5	9.7	6.8	14.3	14.6	
67 8.2h 270	Socialism	1.Favourable	24.1	30.3	13.7	33.0	22.4	10.9	6.3	5.6	
		2.It depends	29.2	41.6	38.3	26.9	39.1	32.2	54.3	55.7	
		3.Unfavourable	28.8	20.2	40.8	24.8	30.7	49.5	20.9	21.3	
		8.Other	-	-	-	-	-	-	0.0	0.1	
		9.D.K	17.8	7.9	7.2	15.3	7.8	7.5	18.4	17.3	
67 8.2g 271	Liberalism	1.Favourable	21.2	48.7	20.5	28.2	21.6	16.9	33.5	36.8	
		2.It depends	28.2	34.1	46.9	25.8	47.2	43.6	47.1	45.9	
		3.Unfavourable	25.3	9.7	18.1	24.8	20.9	29.4	5.5	5.4	
		8.Other	-	-	-	-	-	-	0.0	-	
		9.D.K	25.3	7.6	14.5	21.2	10.4	10.1	13.9	11.9	
68 8.83 272	Satisfaction with democracy	1.Very satisfied	0.9	3.3	6.7	7.7	9.9	17.8	2.3	1.5	
		2.Fairly satisfied	13.0	49.0	64.6	58.4	58.4	62.6	30.3	29.3	
		3.Not very satisfied	40.6	28.8	23.0	20.5	20.6	14.8	47.5	50.6	
		4.Not at all satisfied	41.7	11.0	2.7	7.7	5.8	3.1	3.7	3.6	
		8.Other	-	-	-	-	-	-	0.3	0.2	
9.D.K	3.9	8.0	3.0	5.7	5.4	1.8	15.9	14.7			
69 8.84 273	Legal system	1.Very well	0.9	1.1	7.4	5.9	7.3	7.0	6.3	6.0	
		2.Fairly well	14.6	35.4	60.7	52.8	48.8	46.8	41.9	41.7	
		3.Poorly	45.7	44.4	23.1	25.6	30.2	34.9	25.0	24.7	
		4.Very poorly	32.1	16.0	2.8	7.5	9.7	9.9	2.4	2.2	
		8.Other	-	-	-	-	-	-	0.6	0.2	
9.D.K	6.8	3.1	6.0	8.2	4.0	1.3	23.8	25.3			
70 7.87 274	Employer vs. Employee	1.Conflict with	13.1	20.9	23.8	5.9	3.2	5.8	8.1	7.3	
		2.Co-operate with	80.4	74.3	64.1	89.1	92.7	91.7	79.2	79.8	
		8.Other	-	-	-	-	-	-	0.8	0.6	
		9.D.K	6.5	4.7	12.1	5.0	4.1	2.6	11.9	12.3	
71 8.8 275	Attitudes concerning society	1.Change by revolution	9.2	4.8	3.7	3.2	4.3	4.4	2.6	0.9	4.0
		2.Improve by reform	73.7	62.6	55.2	61.8	70.0	66.4	58.5	83.3	62.5
		3.Defend against force	13.2	29.0	27.8	26.4	19.7	24.6	15.0	5.1	13.4
		8.Other	-	-	-	-	-	-	0.3	-	0.3
		9.D.K	4.0	3.6	13.3	8.6	6.0	4.6	23.5	10.7	19.8
72.a 8.85 276	Profound transformation of society	1.Yes	82.3	58.4	21.0	37.0	43.4	39.3	29.4	29.7	
		2.No	11.9	37.3	62.4	50.6	48.1	53.3	47.3	48.2	
		8.Other	-	-	-	-	-	-	0.8	1.0	
		9.D.K	5.8	4.2	16.6	12.4	8.4	7.4	22.6	21.1	

國際比較

Q No	Item	Category	1992	1987	1987	1993	1987	1988	1988	1988	1988	1988
			ITALY 1048	FRANCE 1013	FRG 1000	NL 1003	UK 1043	USA 1563	JPN-A 2265	JPN-B 1017	JPN-C 1537	HAWAII NJ
72.b 8.85b 277	The way of changing society	1.Gradual	72.8	45.2	18.1	30.7	32.3	33.3	27.4	27.3		
		2.Radical	22.0	11.8	2.5	5.4	10.2	4.9	1.0	1.2		
		3.Other	-	-	-	-	-	-	0.1	0.1		
		9.D.K	5.2	1.4	0.4	0.8	1.0	1.0	0.8	1.1		
		0.	-	41.6	79.0	63.0	56.6	60.7	70.6	70.3		
74 8.86 316	Close to party	1.Very close	7.5	4.5	5.2	7.0	9.8	16.3	5.2	5.4		
		2.Fairly close	30.1	12.7	17.5	33.5	39.5	45.0	27.6	26.9		
		3.Not very close	11.0	50.0	16.7	36.1	31.6	16.1	23.0	23.1		
		3.Other	-	-	-	-	-	-	0.1	0.3		
		9.D.K	0.8	1.4	0.7	3.9	0.9	0.6	5.0	3.9		
0.missing	50.7	31.3	59.9	19.5	18.2	21.9	39.1	40.3				
SEX		1.Male	47.8	46.6	44.4	44.7	47.6	50.5	46.2	45.3	48.7	48.6
		2.Female	52.2	53.4	55.6	55.3	52.4	49.5	53.8	54.7	51.3	51.4
AGE		1. - 19	4.3	4.4	3.9	3.5	4.2	3.3	2.8	3.3	4.4	0.6
		2. 20-24	10.7	10.8	9.7	8.0	9.8	6.8	7.0	5.8	7.3	3.8
		3. 25-29	9.3	11.0	12.0	11.1	9.4	10.0	6.1	7.7	7.4	7.5
		4. 30-34	8.2	12.6	9.7	11.9	10.0	9.9	9.0	10.3	9.1	8.2
		5. 35-39	8.4	10.9	11.4	11.1	8.9	10.3	10.4	11.3	12.1	12.6
		6. 40-44	8.0	8.4	8.4	11.3	8.9	9.0	10.9	11.4	10.9	11.3
		7. 45-49	8.7	5.8	9.9	9.1	8.6	7.5	10.9	9.7	10.1	7.5
		8. 50-54	8.9	7.1	8.6	6.1	7.5	6.1	9.9	10.1	9.3	6.0
		9. 55-59	7.4	7.1	7.0	6.0	6.3	7.0	10.1	9.1	10.0	5.6
		10. 60-64	8.1	6.7	6.5	6.5	7.4	6.8	8.3	8.0	7.4	10.3
		11. 65-69	7.4	5.2	5.2	5.2	5.8	8.3	6.1	6.6	5.5	9.7
		12. 70 -	9.6	9.5	7.1	10.2	13.2	15.0	8.6	6.6	6.4	16.3
		0. D.K.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.6
EDUC		1.Low	24.1	30.9	33.6	22.9	45.5	28.2	38.8	28.2	28.8	16.3
		2.Middle	50.9	46.2	42.7	35.5	40.1	59.2	48.5	50.2	50.7	37.3
		3.High	23.0	22.6	21.7	38.0	13.8	20.3	19.7	20.6	20.1	62.1
		9.D.K	2.0	0.3	2.0	3.6	0.6	0.3	1.0	0.9	0.4	0.6

国際比較

Q No	Item	Category	1987 FRANCE 1013	1987 FRG 1000	1993 NL 1003	1987 UK 1043	1988 USA 1563	1988 JPN-A 2265	1988 JPN-B 1017	1988 JPN-C 1537
73	Political	11.CDU		15.4						
8.7	party	12.SPD		16.4						
314	FRG	13.FDP		2.6						
315		14.NPD		0.1						
		15.DKP		0.2						
		16.GRUNEN		5.1						
		17.Other		0.3						
		18.No party		57.0						
		19.D.K		2.9						
73	Political	21.Communiste	5.3							
8.7	party	22.Socialiste	29.7							
314	FRANCE	23.Ecologiste	9.0							
315		24.U.D.F	9.0							
		25.R.P.R	12.8							
		26.Front national	2.9							
		27.Other	1.1							
		28.No party	25.1							
		29.D.K	5.1							
73	Political	31.Conservative				38.0				
8.7	party	32.Labour				30.4				
314	UK	33.Liberal				7.9				
315		34.Nationalist				0.8				
		35.Ecology				0.5				
		36.SDP				2.6				
		37.Alliance				1.0				
		38.Other				0.8				
		39.No party				12.5				
		30.D.K				5.8				
73	Political	41.Republioon					35.3			
8.7	party	42.Demoorat					42.8			
314	USA	43.Independent					8.3			
315		44.Other					0.7			
		45.No party					10.2			
		46.Refuse					0.9			
		40.D.K					1.9			
73	Political	51.Jimin					42.5	40.9	31.8	
8.7	party	52.Shakai					11.0	9.4	15.5	
314	JAPAN	53.Kousei					2.9	4.2	4.6	
315		54.Minsha					2.4	2.8	2.5	
		55.Kyosan					1.3	1.7	3.1	
		56.Shaminren					0.5	0.6	0.3	
		57.Other					0.2	0.1	0.7	
		58.No party					32.5	32.2	28.6	
		59.D.K					6.7	8.2	12.9	

国際比較

Q No	Item	Category	1992	1987	1987	1993	1987	1988	1988	1988	1988
			ITALY 1048	FRANCE 1013	FRG 1000	NL 1083	UK 1043	USA 1563	JPN-A 2265	JPN-B 1017	JPN-C 1537
73	Political	61. DC	16.1								
8.7	party	62. PDS	7.8								
314	ITALY	63. RC	2.7								
315		64. PSI	5.3								
		65. MSI-DN	2.5								
		66. LL	5.0								
		67. PRI	1.9								
		68. PSDI	0.5								
		69. FU	1.4								
		70. LP	1.2								
		71. PLI	1.6								
		72. SUP	0.8								
		73. LRND	2.7								
		74. AP	0.6								
		75. No party	30.0								
		76. Refuse	11.9								
		77. D.K	8.8								
73	Political	81. CDA				20.0					
8.7	party	82. PvdA				19.3					
314	NL	83. UUD				11.0					
315		84. D'66				16.0					
		85. Green Links				7.5					
		86. RPF				1.3					
		87. GPU				1.3					
		88. SGP				1.4					
		89. CD				1.3					
		90. Other				1.8					
		91. Refuse				2.1					
		92. D.K				17.4					

謝辞

本研究レポートは、文部省科学研究費・試験研究A(1)課題番号04509001「意識の国民性比較における連鎖的調査分析方法の実用化に関する研究」の成果の報告書を研究レポート用に手直ししたものである。この研究は、それまでの統計数理研究所における長年の学際的、国際的調査研究の延長上にある。これまで、文部省や財団等多方面からの大きな御援助をいただき、深く感謝いたします。

また、この研究レポート作成にあたり、宮本彩子、金田ユリ子、林玲、井上未央、水野涼子、神むつみ、釜野さおり、許綺徳の皆様にもご協力いただき、感謝いたします。

Research Report
General Series No.76

Application of Cultural Link Analysis for Comparative Social Survey

March 1995

The Institute of Statistical Mathematics
(Tōkei-Sūri Kenkyūzyo)

4-6-7 Minami-Azabu, Minato-ku
Tokyo 106, Japan